

令和8年5月27日

質問に対する回答書

入札参加者様

工事担当課長 建築局公共建築部学校整備課長

工事名 菊名小学校建替工事（建築工事）

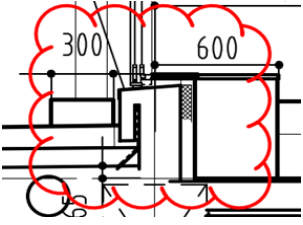
上記工事の設計図書に関して質問がありましたので、次のとおり回答します。

番号	質問	回答
1	設計書P21・36 校舎棟 鉄筋工事の溶接金網と金属工事の溶接金網敷は材工の価格でしょうか。ご教授ください。	材工の価格です。
2	設計書P110 外構工事 その他工事の学級園畑の詳細が不明です。ご教授下さい。	別添をご確認ください。
3	設計書P111 外構工事 撤去工事の第三校舎残置部分撤去 一式の内訳をご教授下さい。	代価表544の通りです。
4	設計書P113 共通仮設費 仮囲い(引継分)の内訳は、撤去費・賃料・運搬費と考えてよろしいでしょうか。ご教授ください。	宜しいです。
5	設計書P14 校舎棟 土工事 建設発生土処分について、現場説明書P8 積算情報に則ると処分費立米@4,920ですが、令和8年4月に価格改定があり立米@5,220です。差額分については別途協議していただけたらと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。別途協議いたします。

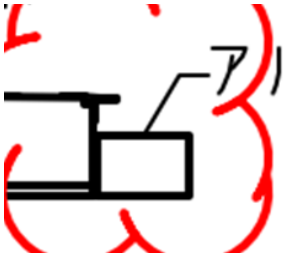
6	<p>工期について令和11年3月30日までとなっていますが前回発注時（令和7年12月16日公告、令和8年3月6日開札）の工期と同じです。 3ヶ月強短くなっておりますが工期の延長について協議いただけるという認識で宜しいでしょうか。 また、中東情勢の影響によりやむを得ず工期の遅延が見込まれる場合についても協議いただけますでしょうか。</p>	<p>工期の延長については、工事請負契約約款第22条のとおりです。 また、中東情勢の影響によりやむを得ず工期の遅延が見込まれる場合についても、必要に応じて協議の対象となります。</p>
7	<p>柱フープの加工方法は、全てH形と考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。（AS008, AS210, AS211）</p>	<p>宜しいです。但し、円柱は、SP形又は丸形です。</p>
8	<p>柱リスト(1)に定着プレート要領図の記載がありますが、定着プレートを採用する場合に限り適用するとし、柱頭柱脚主筋及び梁主筋の柱内定着部は全て在来折り曲げアンカー定着と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。（AS210）</p>	<p>宜しいです。</p>
9	<p>大梁リスト(2) 1階G3Cの梁幅Bがリストでは400mmですが、断面図では500mmある様に思われます。500mmを正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。（AS213）</p>	<p>宜しいです。</p>
10	<p>大梁リスト(2) 1階G3Cのスターラップ形状がリストでは中子筋2本有りですが、断面図には中子筋の記載が見当りません。リストの中子筋2本有りを正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。（AS213）</p>	<p>宜しいです。</p>
11	<p>スラブリストS20及びS20Aの備考欄に給食ブリッジ範囲はフラットデッキ(Z27)との記載がありますが、デッキプレート厚の記載が見当りません。1.2mmと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。（S218, AS307）</p>	<p>宜しいです。</p>
12	<p>雑詳細図-7においてダイヤグラムに使用されているPLを下記のように読み替えて考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。（AS307） ・PL-24 → PL-25 ・PL-27 → PL-28</p>	<p>内訳書に記載の通りとしてください。 変更が必要な場合には別途協議とします。</p>

13	<p>ハイドラポイント検床鉄骨において持ち出し鉄骨のRC躯体接合部を下記の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A751)</p> <p>・H-150*150*7*10 BPL-16*250*250 A. Bolt4-M20 L600 無収縮モルタル30</p>	宜しいです。
14	<p>シャッター受鉄骨において上弦・下弦材の□-100*100*2.3は上階のRCスラブ下から吊って固定すると考えて宜しいでしょうか。(A740～741)</p>	宜しいです。
15	<p>上記で宜しい場合、RC接合部の詳細を下記の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <p>・BPL-6*150*200 A. Bolt2-M16 L400 無収縮モルタル30</p>	宜しいです。
16	<p>部分詳細図16においてレール受け用のPL-5をPL-6に読み替えて考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A736)</p>	内訳書に記載の通りとしてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
17	<p>部分詳細図9においてスチールパーテーション受の吊補強材とRC接合部の詳細を下記の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A729)</p> <p>・C-100*50*20*2.3 BPL-6*100*150 A. Bolt2-M16 L400 無収縮モルタル30</p>	宜しいです。
18	<p>部分詳細図2において昇降口AW受用支柱のRC接合部詳細を下記の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A722)</p> <p>・BPL-6*150*150 A. Bolt2-M16 L400 無収縮モルタル30</p>	宜しいです。
19	<p>雑詳細図-9においてSB25剛接合端部はSN400Bとありますが屋根伏図には剛接合の図示がありません。SB25に剛接合は無しと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(AS309)</p>	宜しいです。

20	<p>外部仕上表 外部詳細 屋上パラペットにおいて、共通事項にコンクリート笠木は天端及びはな面をウレタン系塗膜防水X-2の立上り部の仕様で仕上る。と記載がありますが、ステンス笠木設置部分の天端もウレタン系塗膜防水は必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A201・701)</p>	不要です。
21	<p>屋上 ステンス笠木において、表面仕上はHL仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A701)</p>	宜しいです。
22	<p>標準詳細図-1 A-6 設備関連 屋上設備立上り B部分詳細図において、設備配管貫通部シーリングの記載がありますが、設備配管貫通部のシーリングは設備工事区分と考えて宜しいでしょうか。建築工事区分の場合は、貫通配管のサイズ、員数を御指示下さい。(A701)</p>	設備工事区分とお考えください。
23	<p>屋上 小屋において、取出口とは異なる位置にベントキャップ (VC) の記載がありますが、ベントキャップは設備工事区分と考えて宜しいでしょうか。建築工事の場合は、ベントキャップの仕様・詳細を御指示下さい。(A106)</p>	設備工事区分とお考えください。
24	<p>部分詳細図27において、図面名称に階段金属手摺5と記載がありますが、姿図より屋上に設置されている手摺と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A106・747)</p>	宜しいです。
25	<p>屋上 手摺において、手摺基礎の記載がありますが、PC既製品と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A106・747)</p>	宜しいです。
26	<p>部分詳細図31(ハイトライト断面図) 外壁 押出成形セメント板において、t=100と記載されていますが、特記仕様書(その2) コンクリートブロック・ALCパネル及び押出成形セメント板工事では厚さ60mmが適用、標準詳細図-2 B-15 押出成形セメント板壁:一般部(縦壁工法)でもt=60で記載されています。部分詳細図31(ハイトライト断面図)を優先し、外壁 押出成形セメント板の厚みは100mmと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A13・702・751)</p>	宜しいです。

27	<p>テラス 出入口 サツ部において、矩計図2と標準詳細図-1 A-11 防水サツ部納まりで図示が異なっていますが、標準詳細図-1 A-11 防水サツ部納まりを正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A402・701/A-11)</p>	<p>宜しいです。</p>
28	<p>上記質疑に関しまして、矩計図2が正しい場合、どの様に納まっているか不明です。添付図 雲マーク範囲の防水サツ部納まり詳細を御指示下さい。(A402)</p> 	<p>上記の通り、A701標準詳細図-1 A-11図の納まりとさせていただきます。</p>
29	<p>テラス 出入口前に踏台の記載がありますが、仕上が不明です。詳細を御指示下さい。(A401)</p>	<p>後打コンクリート造作 素地仕上とさせていただきます。配筋はD10@200ダブル配筋とさせていただきます。</p>
30	<p>R階 給食機械室 出入口上部に庇の記載がありますが、仕様・詳細が不明です。下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <p><input type="checkbox"/>小庇…RC造</p> <p><input type="checkbox"/>天端…ウレタン系塗膜防水仕上</p> <p><input type="checkbox"/>鼻先・上裏…防水形複層塗材RE仕上 (A532)</p>	<p>・小庇：RC造</p> <p>・天端：防水形複層塗材RE仕上</p> <p>・鼻先・上裏：防水形複層塗材RE仕上とさせていただきます。</p> <p>配筋はスラブリストCS15とさせていただきます。</p>
31	<p>2階平面詳細図1 テラス1において、側溝 W=100と記載がありますが、矩計図3では、W=300程度で図示されており、相違しています。矩計図3を正とし、テラスの排水溝はW=300と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A403・424)</p>	<p>平面詳細図を正とさせていただきます。</p>
32	<p>上記質疑に関連しますが、屋上の排水溝も同様にW=300と考えて宜しいでしょうか。又、排水溝 モルタル内に溶接金網 φ2.6*50*50程度のひび割れ防止が必要と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。(A106・403)</p>	<p>W=300とさせていただきます。</p> <p>溶接金網は要とさせていただきます。</p>
33	<p>給食機械室 屋根 パラペット笠木において、下記のように相違しています。矩計図5を正とし、ステンレス笠木と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <p><input type="checkbox"/>矩計図5…ステンレス笠木</p> <p><input type="checkbox"/>給食室 矩計図…防水形複層塗材RE (A405・535)</p>	<p>宜しいです。</p>

34	上記質疑に関連しますが、給食室 矩計図 防水形複層塗材REが正しい場合、防水アゴの仕上は、防水形複層塗材RE、ウレタ塗膜防水のどちらで見込めば宜しいでしょうか。御指示下さい。(A535)	防水アゴの仕上げについては、内訳書の通りウレタン塗膜防水としてください。
35	給食室 矩計図1において、樋受け石の記載がありますが、仕様が不明です。取消し線(斜め線)がされていますが、標準詳細図-1 A-9 ドレみわり:樋受け石を適用すると考えて宜しいでしょうか。不可の場合は、樋受け石の仕様・詳細を御指示下さい。(A535・701/A-9)	宜しいです。
36	給食室 北側バルコニー X11通り付近にスロープ 1/50の記載があり、スロープを境にスラブレベルがFL-280からFL-180で記載されていますが、構造図 3階伏図では、上記の段差が記載されていません。又、スロープ 1/50 1800mmでは100mmの段差になりません。構造伏図を正とし、給食室 北側バルコニー X11通り付近にスロープは不要と考えると宜しいでしょうか。不可の場合、正しい構造伏図、スロープの傾斜又は寸法を御指示下さい。(A434・AS106)	宜しいです。
37	給食室 北側バルコニーにおいて、床仕上は長尺塩ビシートと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A434)	宜しいです。
38	給食室 ブリッジにおいて、排水溝、排水柵 グレーチング 蓋 T-20の記載がありますが、仕様が不明です。スチール溶融亜鉛メッキ 細目ノンスリップ 溝幅300、柵500角と考えると宜しいでしょうか。(A406・434)	宜しいです。
39	部分詳細図28(給食ブリッジ詳細図)において、天井下地にケイカル板 t=8.0と記載がありますが、外部仕上表 軒天よりt=8.0+8.0と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A201・748)	宜しいです。
40	部分詳細図30(給食ブリッジアルミカバー-2)において、アルミパネル下地 L-50*50*4のピッチが不明です。ピッチ1000程度と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A750)	宜しいです。

41	部分詳細図29・30(給食ブリッジアルミカバー1・2)において、構造 雑詳細図-7 B-Typeフレーム部分の詳細図と思われますが、A-Typeフレーム部分の詳細が不明です。A-Typeフレーム部分のアルミカバーの詳細図をご指示下さい。(A749・750・AS307)	B-Typeフレーム部分と同じとしてください。
42	上記質疑に関連しますが、標準詳細図E-9 管理扉 ステンレス材の表面仕上はHL仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A437・705)	宜しいです。
43	給食ブリッジ～バルコニー接続部分に踏台の記載がありますが、仕様、詳細が不明です。後打コンクリート造作 素地仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A437)	宜しいです。
44	1階平面詳細図5 X6・AY6付近 昇降口前に設置されている排水桝において、部分詳細図36(グレーチング2)に記載が無く、詳細が不明です。350*500角 クリンピット YQ-H-A-15 枠:RL-15と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A418・756)	宜しいです。
45	<p>矩計図3 AY5通り 庇において、先端部分にアングルの様な図示(下記添付)がありますが、仕様・詳細が不明です。不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は、アングルの材質、サイズ・厚みをご指示下さい。(A403)</p> 	アングルは不要です。
46	矩計図3 AY5通り 庇 アルミ軒樋において、詳細が不明です。参考メーカー・品番等が御座いましたら、併せて御指示下さい。(A403)	HACO HIGH FRONT-GH同等品としてください。
47	矩計図3 AY5通り 庇 アルミ軒樋において、樋の仕様、サイズ、設置数が不明です。ステンレス樋 φ100 2本設置と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A103・104・403)	宜しいです。

48	渡り廊下詳細図 α - α 断面図において、AY6通り 擁壁天端の仕上が不明です。コンクリート金鍍 素地仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A715)	宜しいです。
49	地下1階 廊下B1-2前 通路において、床仕上が不明です。磁器質タイル 300角と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A411)	宜しいです。
50	地下1階 廊下B1-2前 通路において、平面詳細図に壁付手摺の記載がありますが、仕様・詳細が不明です。屋外階段2と同仕様の溶融亜鉛メッキ リン酸処理 ϕ 32 2段と考えて宜しいでしょうか。不可の場合は、壁付手摺の仕様・詳細をご指示下さい。(A411・526)	宜しいです。
51	地下1階平面詳細図1 AY1 X2-5間 ドライエリアにおいて、床仕上が不明です。防水モルタル金鍍仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A411)	バルコニーと同様とし、長尺シートとしてください。
52	地下1階平面詳細図1 AY1 X2-5間 ドライエリアにおいて、蓋無しの排水溝が図示されていますが、防水モルタル金鍍仕上 W100*H50程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A411)	宜しいです。
53	地下1階平面詳細図1 AY1 X2-5間 ドライエリアにおいて、擁壁天端の仕上は防水形複層塗材RE仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A411)	バルコニーと同様とし、側溝までを防水形複層塗材RE仕上としてください。
54	2階 キッズルーム前 犬走りにおいて、コンクリート打ち放しと記載がありますが、コンクリート金鍍 素地を示すと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A405)	宜しいです。

55	<p>2階 キッズルーム前 犬走りにおいて、仕上 が下記の様に相違しています。矩計図 5を正とし、コンクリート金鏝 素地と 考えて宜しいでしょうか。</p> <p>□矩計図5…コンクリート金鏝 素地 □2階平面詳細図6…砂利敷</p> <p>2階平面詳細図6が正しい場合、砂利敷 の仕様・明確な砂利敷の範囲を御指示 下さい。(A405・426)</p>	宜しいです。
56	<p>2階キッズルーム前 犬走りにおいて、排水 柵、排水溝の記載がありますが、仕様 が不明です。部分詳細図35(グレーチング 1) あ・う・えに倣うと考えて宜しいで しょうか。不可の場合は、2階キッズルーム 前 犬走り 排水柵、排水溝の仕様・詳 細を御指示下さい。(A405・756)</p>	宜しいです。
57	<p>2階キッズルーム前 犬走りにおいて、手摺 の記載がありますが、仕様・詳細が不 明です。部分詳細図23～25 階段金属 手摺に倣うと考えて宜しいでしよ うか。不可の場合は犬走り 手摺の仕様・ 詳細を御指示下さい。(A405・743～ 745)</p>	宜しいです。
58	<p>地下1階平面詳細図1 X2通り 壁際に排 水柵、排水溝の記載がありますが、仕 様が不明です。仕様が不明です。部分 詳細図35(グレーチング1) あ・う・えに倣 うと考えて宜しいでしょうか。不可の場 合は、B1階 X2通り 壁際に排水柵、排 水溝の仕様・詳細を御指示下さい。 (A115・756)</p>	宜しいです。
59	<p>地下1階 廊下B1-1 X2通り側のサッシ部分 において、矩計図にW300*H75の踏台の 図示がありますが、平面詳細図では排 水溝が図示されており、相違してい ます。平面詳細図を正とし、排水溝設 置、踏台は無しと考えて宜しいでし ょうか。矩計図が正しい場合、踏台の仕 様・詳細、明確な範囲を御指示下 さい。(A401・411)</p>	宜しいです。
60	<p>地下1階 屋外階段1下部に手洗い・足洗 いの様な図示がありますが、詳細が不 明です。標準詳細図-6 F-17 コンクリート製 流し詳細図に取消し線がありますが、 適用すると考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。(A411・706/F-17)</p>	宜しいです。
61	<p>上記質疑に関連しますが、標準詳細図 -6 F-17 コンクリート製流し詳細図を適用す る場合、下記の様に考えて宜しいで しょうか。御指示下さい。</p> <p>□スチールグレーチング…溶融亜鉛メッキ T-2 600*500 1ヶ所 □排水目皿…ステンレス φ50 (A411・706/F-17)</p>	宜しいです。

62	給食室前 搬入スペースにおいて、天井が直天井で記載されていますが、仕上は防水形複層塗材REと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A406)	宜しいです。
63	B1階ロビー天井仕上において、確認となりますが、ケイ酸カルシウム板部分は防水形複層塗材RE、木毛セメント板部はEP-Gと仕上が異なっていますが、図示通りの使い分けが必要と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A404)	宜しいです。
64	2階北側バルコニーに給湯器カバーの記載がありますが、仕様・詳細が不明です。御指示下さい。(A427)	内訳書通りステンレスパンチングパネルt2としてください。
65	屋外階段2・3 排水溝において、U字溝と記載がありますが、断面詳細を見ますと現場打コンクリート造作の様に見受けられます。現場打コンクリート造作とし、U字溝の設置は不要と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A526・527)	宜しいです。
66	屋外階段1 壁付手摺において、仕様が不明です。屋外階段2・3に倣い、スチール溶融亜鉛メッキリン酸処理 φ32 2段と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A525～527)	宜しいです。
67	バルコニー床において、雑詳細図1では長尺シート下は床増打(t50～60程度)の図示ですが、矩計図ではモルタル(t70～80程度)の様な図示になっており相違しています。雑詳細図を正と考えるとバルコニーには床増打(t50～60程度)を見込と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A401・709)	宜しいです。
68	雑詳細図1 バルコニー手摺壁において、笠木部分にスチールプレート t3.0 L=30程度が図示されていますが、溶融亜鉛メッキと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A709)	宜しいです。
69	バルコニー 金属手摺において、矩計図と部分詳細図で金属手摺の詳細が相違しています。部分詳細図を正と考えるとバルコニーの手摺はステンレス製と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A401～402・742)	宜しいです。

70	1階バルコニー(X7/AY1付近)・3階バルコニー(X13/BY3付近)において、階段のような図示がありますが、詳細が不明です。詳細を御指示下さい。(A103・105)	給食ブリッジ～バルコニー接続部分の踏台と同様の考え方によるものとします。
71	1階平面図 X1-2/AY4-5 吹抜部において、吹抜部の断面詳細の分かる図面等ございましたら御指示下さい。(A103)	ございません。
72	渡り廊下 $\delta-\delta'$ 断面図において、CX2 通り付近に柵の様な図示がありますが、平面図では該当箇所に柵の図示がなく相違しています。平面図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A713・715)	断面図が正で柵が必要です。 グレーチングはスチールで溶融亜鉛メッキ T-2としてください。
73	渡り廊下詳細図3 $\alpha-\alpha'$ 断面図において、AY6通りの梁上にW150*H850のRC立上りが図示されていますが、仕上が不明です。天端・立上り共に打放補修(素地)仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A715)	左記に加え、仕上げを防水型複層塗材REとしてください。
74	渡り廊下詳細図5 エキパンジョイントにおいて、仕上材充填(Exp. J外工事)とありますが、仕上げ材の詳細が不明です。詳細を御指示下さい。(A717)	無収縮モルタルとしてください。
75	屋外階段詳細図4 踏面・蹴上において、RC打放し金ゴテ押えと記載されていますが、図面ではモルタルの様な厚みが図示されています。踏面・蹴上共にモルタル仕上(t30)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A528)	宜しいです。
76	屋外階段1～5 床仕上において、矩計図では屋外階段2・3は踊場・踏面・蹴上共にタイル仕上で図示されていますが、その他の屋外階段の踊場・踏面・蹴上共にモルタル仕上(t30)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A402・404・525～529)	宜しいです。
77	屋外階段1 手摺壁において、屋外階段詳細図1では腰壁の位置にSUS鋼板t2.3が図示されていますが、部分詳細図23では鋼板の図示が無く相違しています。部分詳細図23を正と考えて宜しいでしょうか。又、腰壁のSUS鋼板が適用の場合は詳細を御指示下さい。(A525・743～745)	鋼板ありを正としてください。

78	屋外階段5において、片開き戸の図示がありますが、詳細が不明です。詳細を御指示下さい。(A529)	A705、E-09としてください。
79	外壁 吹付下に打放面目荒らし処理(WJ工法)と記載がありますが、洗浄強さが不明です。用途により洗浄強さが変更となる為、洗浄強さ(想定されているMpa数等)をご指示下さい。	最大吐出圧力280MPa、最大数量30L/minとしてください。
80	廊下B1-1・2の天井仕上げについて、仕上表では木毛セメント板+EP-Gとありますが、矩計図では木毛セメント板+EPと相違しています。仕上表のEP-Gを正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A202・401)	宜しいです。
81	廊下B1-1において、壁種L25の図示がありますが、壁種別図にはL25は無い為、L22と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A401・708)	宜しいです。
82	廊下の壁仕上げについて、仕上表ではRC打放し+カーキア塗装・EP-Gとなっていますが、展開図ではCH=2600までがカーキア塗装・CH=2600～がEP-Gとなっておりポर्ट面 ^ポ にカーキア塗装になるため、相違しています。仕上表の通りRC打放し面にカーキア塗装・ポर्ट面 ^ポ にはEP-Gと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A202・502)	CH2600まで左記の考えで宜しいです。CH2600以上はEP-Gとしてください。
83	壁種別図において、間仕切高さがスラブ-スラブ ^ス かスラブ-天井かが不明です。L12・22～24・27・28・32・38はスラブ-スラブ ^ス で見込むと考えて宜しいでしょうか。またこの場合、ポर्ट ^ポ も張り伸ばすと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A707・708)	左記はスラブ-天井でお見込みください。L01～04、L11をスラブ-スラブ ^ス でお見込みください。
84	廊下天井の杉準不燃羽目板t=15について、雑詳細図で塗装の記載がありませんが、UC塗りを見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A711)	宜しいです。
85	仕上表 1F職員・来校者用玄関の床仕上げは磁器質タイル600*600とありますが、平面詳細図では磁器質タイル□300と相違しています。□300と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A202・420)	宜しいです。

86	上記質疑の場合、昇降口は平面詳細図に□300の図示が無い為、磁器質タイル600*600と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A202・418)	300角で統一ください。
87	1F職員・来校者用玄関の床仕上げはNC、廊下1-1はCTとありますが、平面詳細図で床仕上げの切り替わる範囲が不明です。職員・来校者用玄関の床仕上げもCTと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A202・420)	宜しいです。
88	上記質疑と同様に1F職員・来校者用玄関の中木仕上げも切り替え範囲が不明な為、磁器質タイル範囲以外はSBと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A202・420)	宜しいです。
89	仕上表 1F廊下1-3の壁仕上げで沓合板目透かし張りt5.5+UCとありますが、平面詳細図では壁種から沓合板の範囲が無く、ボードか木毛セメント板がとなりますが、仕上げの塗装はボード面・木毛セメント板面共にEP-Gと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A202・414・415)	宜しいです。
90	1F昇降口において、平面詳細図で壁種G18・L38とありますが、仕上表では木毛セメント板の記載が無く相違しています。木毛セメント板面にはEP-G塗装を見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい(A202・418・707)	宜しいです。
91	平面詳細図1F廊下1-4において、防滑ビニル床シート張りの3方に見切縁の図示がありますが、4方に見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A418)	宜しいです。
92	2F廊下2-1において、屋外階段3側に手摺がありますが、仕様は部分詳細図27の手摺と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A506・747)	宜しいです。
93	壁仕上げの沓合板目透し張りt=5.5について、仕上表ではUC塗装となっていますが、雑詳細図の沓合板コーナー納まりではOSUC、壁目地ではOSCLとあり相違しています。仕上表のUC塗装を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A202・709)	宜しいです。

94	屋内階段2において、1FのL型踏面中央に手摺の図示がありますが、断面図では壁付手摺の図示がありますが、自立手摺と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A523)	宜しいです。
95	屋内階段3において、吹抜部分の自立手摺に補助手摺の図示がありませんが、階段吹抜部の自立手摺の補助手摺は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A524)	宜しいです。
96	B1F音楽室の展開図において、スピーカーやテレビ・オーディオラック等の別途工事の図示がありますが、建築工事で見込む下地がございましたら御指示下さい。(A450)	LGSの開口補強と合板 t = 12 を下地としてお見込みください。
97	平面詳細図B1F保健室の壁種について、G05という壁種がありますが、壁種別図にはG05は無く相違しています。G05はG02と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A411・707)	宜しいです。
98	平面詳細図B1F保健室にCL2とありますが、詳細が不明です。詳細を御指示下さい。(A411)	CB2の誤記になります。カーテンボックスをお見込みください。
99	B1F保健相談教材①において、ライニング壁の図示がありますが、トイレ内の仕上げ同様下記と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■ライニング 壁 マシン化粧板+耐水石膏ボード t=12.5+LGS65 ■ライニング 甲板 マシンポ ストフォーム (A411・466・704/D-5)	宜しいです。
100	B1F消火ポンプ室の壁仕上げについて、仕上表にGP-F素地とありますが、平面詳細図の壁種よりGWと読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A202・413・707)	宜しいです。
101	壁仕上げのグラスウールボードについて、巾木取合部にはアルミ見切縁を見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A707)	宜しいです。

102	B1F消火ポンプ室の機械基礎について、天端・立上りは床仕上げ同様と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A413)	宜しいです。
103	平面詳細図B1F児童更衣室において、壁種L25とありますが、壁種別図には記載がありません。L22と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A411・708)	宜しいです。
104	平面詳細図B1F技術員室等の壁種でG45とありますが、断熱材有りのG55と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A411・707)	宜しいです。
105	平面詳細図B1F技術員室・倉庫のAY1通りの壁種にG05とありますが、壁種別図にはG05は図示されておらず、相違しています。G02と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A411・707)	宜しいです。
106	平面詳細図B1Fゴミ置場の地流しについて、標準詳細図のモルタル地流しを見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A487・703/C-11)	宜しいです。
107	平面詳細図B1Fゴミ置場において、ラックのような図示がありますが、別途工事と考えて宜しいでしょうか。建築工事で見込む場合、詳細を御指示下さい。(A411・487)	宜しいです。 変更が必要となった場合には別途協議とします。
108	1F職員室の壁仕上げについて、シ合板目透かし張りt5.5+UCとありますが、平面詳細図の壁種がL22・G02・G52となるため、シ合板の範囲がありません。下地が全てボードとなるため、EP-G塗装を見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A202・417・707)	宜しいです。
109	1F校長室や事務室等の各平面詳細図展開図に手洗いエット・鏡の図示がありますが、備品リストや仕上表等に記載が無い為、別途工事と考えて宜しいでしょうか。また建築工事で見込む場合、それぞれの仕様を御指示下さい。(A461～464)	宜しいです。

110	1F教育相談室において、壁種L22とL23がありますが、壁仕上げがサ合板目透かし張りt5.5+UCとあるため、L22はL23と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A202・419)	宜しいです。
111	2Fキッズクラブルーム1において、ライニング壁の図示がありますが、トイレ内の仕上げ同様下記と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■ライニング壁 マリン化粧板+耐水石膏ボード t=12.5+LGS65 ■ライニング甲板 マリンボードフォーム (A483・704/D-5)	宜しいです。
112	特記仕様書のセルフベリング塗りについて、セメント系 NT・CT部全てとありますが、工事積算内訳書にはセルフベリングの項目が無い為、FL-15の範囲はコンクリートの増し打ちを見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A-014)	宜しいです。 変更が必要となった場合には別途協議とします。
113	柱型仕上げ詳細図の該当範囲が平面詳細図から読み取れない為、範囲を御指示下さい。(A712)	音楽教室の柱のうち、X3-AY5、X3'-AY5、X3-AY4と、廊下からの扉2か所に隣接した出隅部でお見込みください。
114	普通教室他に記載の掲示板について掲示板クロスと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A441)	宜しいです。
115	普通教室他に記載の掲示板下地材について全て雑詳細図1に記載の様に考えて宜しいでしょうか。下地材の使い分けが御座いましたら御指示下さい。(A441他, 709) ■掲示板クロス+サ合板t5.5+胴縁下地杉45*24@450タテヨコ	宜しいです。
116	普通教室 掲示板の周囲枠について下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■掲示板周囲枠→米ビバ 45*35+UC塗装	宜しいです。
117	部分詳細図1 普通教室のAW額縁について姿図とB・C部断面詳細図で下額縁の寸法に相違が御座います。断面詳細図のW=315を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A721)	宜しいです。

118	2階倉庫2-1の壁仕上げについて仕上表ではRC打放し+カーキア塗装とありますが、平面詳細図では壁がL22で囲われています。仕上はボード素地と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A202, 427)	ボードの上EP-Gとしてください。
119	1階倉庫 天井仕上げについて仕上表ではGB-D(T)と記載があっても、平面詳細図・展開図にて天井がRCの記載になっている箇所に関してはRC打放し+カーキア塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A202, 494, 495)	宜しいです。
120	2階少量危険物倉庫の排水桝とマスについてグレーチング等の蓋は無しと考えて宜しいでしょうか。必要でしたら仕様詳細を御指示下さい。(A485)	桝分のみ铸铁製グレーチングT-2をお見込みください。
121	1階耐火書庫の壁仕上げについて仕上表ではRC打放し+カーキア塗装となっていますが、ボード面仕上はボード素地と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A203, 420)	ボード仕上げはEP-Gとしてください。
122	倉庫1-1横EPS-PS間の間仕切壁について壁種L22と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A419)	宜しいです。
123	スライディングウォール(SLW2)の懐壁について部分詳細図にてボードt=21+21の記載が御座いますが、強化石膏ボードと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A736)	宜しいです。
124	RF給食機械室と消音室取合の胴縁下のRC立上りについて下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■RC立上り→W220*H150	宜しいです。
125	凡例水勾配に水勾配50mm以上の場合は溶接金網6φ100*100敷設とありますが、ピット床の水勾配t=50以上の箇所ありましたら、御指示下さい。(A101)	全ピットt=50mm以上としてお見込みください。

126	<p>ピット壁、釜場の仕上が不明です。 下記の様に考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。</p> <p>■壁:打放補修 素地 ■釜場:防水モルタル 素地 (共通)</p>	宜しいです。
127	<p>断熱範囲図1凡例に、床スラブ下面梁部熱被含むとありますが、 矩計図3のピットスラブ下の断熱はスラブ下面のみの図示となっております。断熱範囲図1を正と考えて、梁部も断熱材を見込んでよろしいでしょうか。御指示下さい。(A811, A403)</p>	宜しいです。
128	<p>矩計図5 BY3-BY4ピットに断熱材t=50立下りH=450の図示がありますが、他のピット内には立下りの図示はありません。ピット内全てに立下りH=450を見込んでよろしいでしょうか。御指示下さい。(A405)</p>	宜しいです。
129	<p>昇降機設備は別途工事となりますが、 工事区分表において昇降機工事で一部建築工事での区分となっている項目がありますが、昇降機関連図がありません。工事積算内訳書の内容のみ見積を行うと考えて宜しいでしょうか。(A022, 現場説明書1)</p>	内訳書の内容のみ積算してください。 ただし、変更が必要な場合には別途協議とします。
130	<p>人通孔上部に取り付く握りバーをW=400 D=150と考えて見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。(A703)</p>	宜しいです。
131	<p>地下1階ピット図凡例では通気孔VP100φ、通水孔VP150φ半割。 標準詳細図-3 C-6では連通管:硬質塩化ビニル管200φ半割、通気管:硬質塩化ビニル管50φとなっております。またB1階伏図・1階ピット伏図凡例とも相違します。 地下1階ピット図凡例を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A101, A703, AS103)</p>	通気孔VP100φ、通水孔VP125φとしてください。
132	<p>特記仕様書では吹付硬質ウレタンフォームは厚50mmとなっておりますが、 給食室矩計図では断熱材吹付t30となっております。特記仕様種を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A-016, A535)</p>	宜しいです。

133	部分詳細図31で耐火被覆t=40となっております。 特記仕様書では半乾式吹付ロックウール1時間耐火とありますが、厚さは25mmと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A-012, A751)	宜しいです。
134	WD1-01の仕上が化粧シートとありますが、セフィシート貼と考えて宜しいでしょうか。宜しければ、メーカー・品番を御指示下さい。(A613)	宜しいです。
135	2Fトイレ2-5の仕上表備考欄にトイレベースと記載がありますが、平面図よりトイレベースは無しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A104, 202)	宜しいです。
136	各男子便所に汚垂タイルの記載がありますが、仕様・寸法・詳細、参考メーカー・品番等が不明です。御指示下さい。(A489)	ハイドロセラ・フロア PU (薄型) 同等としてください。寸法は図面に記載寸法通りです。
137	3F調理室 エプロン掛(4人用)の記載がありますが、詳細図より5人用に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A531, 560)	宜しいです。
138	詳細図D-34 床排水トラップの記載がありますが、仕様・寸法・詳細、参考メーカー・品番等が不明です。御指示下さい。(A559)	H5551C-W-50同等品としてください。
139	スマートフォーム断面図において、壁種別図1ではRC躯体+スマートフォーム+断熱材+各種仕上となっておりますが、雑詳細図2のスマートフォーム詳細図ではRC躯体+断熱材+スマートフォームとなっております。壁種別図を正と考えて宜しいでしょうか。(A707, 710)	宜しいです。
140	給食機械室に取り付く建具に於きまして、建具キャプション・建具表と給食室建具キャプション・建具表で記号・仕様が相違しています。給食室建具キャプション・建具表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A540, 541, 604, 613)	宜しいです。

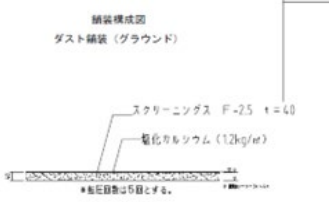
141	2階建具キープランに於きまして、地域交流室・倉庫2-4の外部側に窓のような図示がありますが、建具記号の記載がありません。建具表よりAW2-06と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A606, 608)	宜しいです。									
142	SS1-03に於きまして、建具表に記載がありますが、建具キープランに記号の記載がありません。建具表通り1か所必要と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A614)	宜しいです。									
143	シートシャッターに於きまして、建具表の寸法欄と姿図で寸法が以下のように相違しています。それぞれ姿図寸法を正と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。 <table border="1" data-bbox="263 750 766 862"> <thead> <tr> <th>建具記号</th> <th>建具表</th> <th>姿図寸法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SH2-05</td> <td>W4360</td> <td>W4387.5</td> </tr> <tr> <td>SH2-06</td> <td>W16362.5</td> <td>W10362.5</td> </tr> </tbody> </table> (A614)	建具記号	建具表	姿図寸法	SH2-05	W4360	W4387.5	SH2-06	W16362.5	W10362.5	宜しいです。
建具記号	建具表	姿図寸法									
SH2-05	W4360	W4387.5									
SH2-06	W16362.5	W10362.5									
144	AW2-05に於きまして、建具表の寸法欄にH2300とありますが、姿図ではH2400となっており相違しています。姿図を優先しH2400と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A608, 609)	宜しいです。									
145	SD0-10に於きまして、建具表の姿図ではガリの記載がありませんが、建具表の姿図凡例ではDWG-1(額・ガリ付)となっており相違しています。凡例を優先しがりは必要と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A601, 613)	宜しいです。									
146	SS0-01に於きまして、建具表の備考欄に特定防火設備とありますが、防火性能欄に特定防火設備の記載がありません。備考欄を優先し特定防火設備は必要と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A614)	特定防火設備仕様は不要です。									
147	SD0-08に於きまして、建具表の名称に2連片引きとありますが、建具キープランでは2連片開きとなっており相違しています。建具キープランを優先し2連片開きと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A604, 613)	宜しいです。									
148	給食室のP1に於きまして、建具表の姿図はW1180となっておりありますが、寸法欄にはW1220となっており相違しています。姿図を優先しW1180と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A542)	W1220を正としてください。									

149	給食室のP3に於きまして、建具表の形式に上部オープンタイプの記載はありませんが、姿図より上部オープンタイプと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A542)	宜しいです。
150	LSD1-03に於きまして、建具表の姿図のフタ部分にガラスの記載がありますが、建具表のガラス欄にガラス仕様の記載はありません。強化4と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A613)	宜しいです。
151	LSD3-04に於きまして、建具表の姿図にガラスの記載がありますが、建具表のガラス欄にガラス仕様の記載はありません。強化4と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A613)	宜しいです。
152	SS(給食室を除く)に於きまして、建具表の仕上欄に図示とありますが、詳細図等にその図示はありません。SOP塗程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A614, 741)	宜しいです。
153	シャッター及びシートシャッター(給食室を除く)に於きまして、枠欄に図示とありますが、詳細図等に枠のような記載はありません。三方枠は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A614, 740, 741)	宜しいです。
154	給食室に取り付くシャッターに於きまして、枠欄にマシン焼付とありますが、詳細図等に枠のような図示はありません。三方枠は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A541, 554, 558)	宜しいです。
155	アルミ製建具の防火設備に於きまして、建具表のガラス仕様に網入り(PW)6.8+A6+T5と記載のある建具がありますが、防火設備の個別認定制度よりLow-Eが必要と考え、PW6.8+A6+Low-E+T5と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A540, 541, 608)	宜しいです。
156	AWI-16に於きまして、建具表のガラス仕様に網入耐熱強化8.0とありますが、耐熱強化ガラスに網入り仕様はありません。通常の耐熱強化ガラス8.0と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A608)	宜しいです。

157	AW3-15に於きまして、建具表のガラス仕様にLow-E5+AL6+網入(PW)6.8とありますが、防火設備範囲は一部のみとなっております。もし非防火範囲でガラス仕様の変更がある場合、その仕様を御指示下さい。 (A609, 610)	防火設備範囲以外についてはLow-E5+AL6+TP5としてください。
158	SPのガラスに於きまして、建具表の欄外にガラスは全て型板ガラスとありますが、ガラス仕様には強化ガラスとあります。SPのガラスは姿図に透明と記載のあるもの以外すべて強化型板ガラスで見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A611)	宜しいです。
159	SPのガラスに於きまして、建具表に飛散防止フィルムの記載はありませんが、建具共通事項【ガラス】01に強化ガラスは飛散防止フィルムとあります。飛散防止フィルムは必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A601, 611)	宜しいです。
160	前記質疑に関連して、建具表に飛散防止フィルムの記載がない場合でも、強化ガラスを用いる場合は飛散防止フィルムが必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A540, 541, 601, 613)	宜しいです。
161	LSD0-01に於きまして、建具表の備考欄に三方枠H2600とありますが、LSD0-01のH寸法は幕板含めH2500となっております。三方枠はH2500と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A613)	幕板含めH2600としてください。
162	衝突防止マークに於きまして、建具表とサイン図で範囲が相違しています。衝突防止マークの範囲はサイン図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A608～614, 802～804)	宜しいです。
163	3階建具キープランに於きまして、X4・AY3部分のDSに片開き戸の図示がありますが、建具記号の記載がありません。この扉の寸法・仕様等詳細を御指示下さい。 (A607)	SD3-06と同様としてください。
164	外部SDに於きまして、建具表には記載がありませんが、建具共通事項2T-08より内部側にスチール額縁が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A602)	宜しいです。

165	1階平面図、3階平面図に於きまして、管理扉(計3ヶ所)の記載がありますが、建具キープン等に建具記号の記載はありません。標準詳細図-5 E-9の管理扉の仕様で見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A103, 105, 705)	宜しいです。
166	前記質疑に関連して、3階平面図X13・BY3部分の管理扉に関しては袖部分に管理扉同仕様の袖格子を見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A105, 705)	宜しいです。
167	R階平面図に於きまして、ハ小屋部分に点検口の記載がありますが、建具キープン等に建具記号の記載はありません。標準詳細図-1 A-6の点検口の仕様で見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A106, 701)	宜しいです。
168	SS3-03に於きまして、建具表の形式・開閉欄に収納防火戸の記載はありませんが、姿図より収納防火戸が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A614)	宜しいです。
169	SDのセミアタイト仕様建具の充填物に於きまして、建具共通事項1の標準事項ではガラスウール充填とありますが、建具共通事項2のT-02ではロックウール充填とあり相違しています。ロックウール充填を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A601, 602)	宜しいです。
170	シャッターに於きまして、建具共通事項1のシャッター-04に下部3枚のスラットはSUS製とありますが、該当建具が不明です。該当建具記号を御指示下さい。(A601)	全てのSSとしてください。
171	アルミ製建具に於きまして、詳細図にLIXIL PRO-SE70とありますが、該当建具が不明です。すべてのAWに該当するものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A721~723)	全て同等品としてお考え下さい。
172	給食室のWD1, 2の枠に於きまして、建具表では樹脂化粧合板とありますが、詳細図では米ひば+UC塗となっており相違しています。詳細図を優先し米ひば+UC塗と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A541, 558, 560)	宜しいです。

173	α部植栽について、工事積算内訳書にも客土等の記載がない為、植え込み用土は既存のものとし、植栽基盤整備も不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A901)	宜しいです。
174	α部植栽面積について、α-1 630m ² 、α-2 1622m ² の範囲が不明瞭で算出根拠が不明です。指定数量と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A901)	宜しいです。
175	既存体育館の北側の舗装範囲について、外構平面図ではインターロッキング舗装のハッチングですが、アルミフェンス範囲図では既存アスファルトのままで相違しております。また、外構撤去平面図ではコンクリート舗装で相違しております。アルミフェンス範囲図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A901・906・921)	インターロッキングを正としてください。
176	外構詳細図2 A アルミフェンス 断面図でL型擁壁の寸法値が全て可変となっておりますが、外構詳細図4 Bフェンス 擁壁ありと同様と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A903・905)	宜しいです。
177	アルミフェンス下部L型擁壁の仕上が不明です。コンクリート打放し補修仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A905)	宜しいです。
178	アルミフェンス門扉W900×H1800 3箇所の詳細図が無く不明です。基礎の詳細と併せて御指示下さい。(A905・921)	別添をご確認ください。
179	正門 敷地境界部に館銘サインS-01がありますが、外構詳細図2では下地擁壁の記載が無く、相違しております。擁壁が必要な場合は詳細を御指示下さい。(A801・806・903)	既存門柱に取り付ける仕様となります。
180	外構詳細図4 D RC立ち上がりに施設案内サイン、インターホ点字サインがありますが、サインプランに記載がありません。サインS-17、S-28をそれぞれ見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A803・905)	宜しいです。

181	地下一階平面図 グラウンド側 AY1-2間に手洗い4口ありますが、詳細が不明です。標準詳細図-6 F-17 外構部分:コンクリート製流し詳細図に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A102・706)	宜しいです。
182	正門 アスファルト舗装部に駐車スペースがありますが、ライン引き・車止めの有無が不明です。標準詳細図-6 F-14 2本線の駐車マス・車止めトラフィックペイントに斜線となっている為、不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A706・901)	宜しいです。
183	外構詳細図1 正門 詳細図で門塀沿いに縁石120角と玉砂利W300の記載がありますが、外構平面図では記載なく相違しております。外構詳細図1 正門詳細図の通り見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A901・902)	宜しいです。
184	スクリーング舗装の詳細が不明です。詳細を御指示下さい。(A901)	<p>下記としてください。</p> 
185	舗装下の地盤改良の有無が不明です。不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。また、必要な場合は範囲・仕様を御指示下さい。(A901)	不要ですが、特記の通り現場でのCBR検査の結果によって、現場協議とします。
186	建築工事特記仕様書(その7) 22. 舗装工事 3. 路床土の支持力比(CBR)試験で行うに○がありますが、試験箇所数が不明です。3箇所程度見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
187	園庭2に学級園 畑が7か所ありますが、工事積算内訳書にも寸法のみ記載となっており、詳細が不明です。詳細を御指示下さい。(A901)	別添をご確認ください。
188	インターロッキング舗装(車道用)の範囲が不明です。不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A902)	全て車両用としてお見込みください。

189	集水柵の各場所毎のH寸法が不明です。H=450程度と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A905)	宜しいです。
190	地下1階平面図で建物南側X2通りに門扉の記載がありますが、外構平面図に記載なく相違しております。外構詳細図3の複連引戸NA型を見込むと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A102・902・904)	宜しいです。
191	外構詳細図3 スマートラインA1型門扉の適用範囲が不明です。不要と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A904)	宜しいです。
192	建物北東・東側のインターロッキング舗装及びスクリュー舗装範囲について、矩計図5及び6では一部 犬走り コンクリート舗装で相違しております。矩計図5及び6を正と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A405・406・901)	犬走りについてはA104の範囲を正としてください。
193	側溝の耐荷重について、外構詳細図4に記載無く不明です。給食室ブリッジ道路境界部と正門道路境界部のみT-20とし、その他は歩行用と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A901・905)	宜しいです。
194	工事区分表-7排水 雨水柵で躯体利用以外のもので建築工事に○がありませんが、雨水第一柵は建築工事と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A022)	宜しいです。
195	工事区分表-7排水 排水溝、柵、及び蓋で建築工事と設備工事に○がありますが、排水溝は建築工事、柵は設備工事と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A022)	1次柵までは建築工事です。
196	給食室 雑詳細図10 D-44 グリストラップ 詳細図で※の表示は、屋外配管の導入高さにより決定とありますが、※h=300程度と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A561)	h=600としてください。

197	外構詳細図2 ミニグラウト詳細図 スロープ 建物間にエアスタイクがありますが、厚みが不明です。T=25程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A903)	宜しいです。
198	スクリーング舗装撤去の撤去厚はt=40と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A906)	宜しいです。
199	スクリーング舗装撤去範囲に建築工事と附帯施設工事の区分ラインがありますが、いずれの範囲も本工事にて撤去を行うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A906)	附帯施設工事の区分は別途工事です。
200	凡例C 既存間知石擁壁撤去に階段、格子フェンスの記載がありますが、階段の詳細、設置箇所及び格子フェンスの仕様、H寸法を御指示下さい。(A906)	階段、格子フェンスは解体工事で撤去予定です。
201	南側、既存U字溝U-240は蓋無しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A906)	宜しいです。
202	南側、既存ネットフェンス+CB塀撤去のネットフェンスのH寸法及びCB塀の詳細を御指示下さい。(A903)	ネットフェンスは平均H=1000mmとしてください。CB塀は一般的なCB塀として見込んでください。変更が必要となった場合には別途協議とします。
203	第三校舎残置部分、既存屋外階段の両側立上り壁の詳細を御指示下さい。(A910)	外構撤去詳細図-4に記載の通り、RC壁としています。
204	第三校舎残置部分、既存屋外階段の手摺H=800の詳細を御指示下さい。(A910)	金属手摺に関しては 支柱、手すり34φ程度とします。 RC手摺に関しては図面通りとしてください。

205	第三校舎残置部分、既存屋外階段の鋼製門扉のH寸法を御指示下さい。(A910)	H2000としてください。
206	南側、既存グレーチング側溝の側溝の仕様、寸法及びグレーチング蓋の仕様を御指示下さい。(A906)	U-240 +グレーチング蓋としてください。
207	南側、既存グレーチング側溝端部の集水桝の仕様、寸法及びグレーチング蓋の仕様を御指示下さい。(A906)	集水桝は600角、H450、グレーチング蓋はスチール製としてください。
208	南側、既存U字溝U-240端部の集水桝の仕様、寸法及び桝蓋の仕様を御指示下さい。(A906)	集水桝は600角、H450、グレーチング蓋はスチール製としてください。
209	既存排水管φ200C・250C・350Cは遠心力鉄筋コンクリート管と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A916)	φ200Vは塩ビ管、250C、350Cは遠心力鉄筋コンクリート管としてください。
210	既存コンクリート桝φ900の詳細及び桝蓋の仕様を御指示下さい。御指示下さい。(A916)	桝の詳細は図面に記載の通りです。蓋は鋳鉄製蓋です。
211	凡例F既存植栽に石積みのような図示がありますが、詳細を御指示下さい。御指示下さい。(A907)	石積みはございません。
212	工事積算内訳書の外構その他工事において、南側正門や北側シグナメントスロープのコンクリート工事が人力と記載されております。人力打設では対応できない数量の項目もありますので、施工者計画によりポンプ打設等も可能と考えると宜しいでしょうか。(工事積算内訳書)	宜しいです。

213	現場説明書の15建設副産物の処理に関わる事項において、建設発生土のみ指定があり、解体時のコンクリート他廃材についての指定はありませんが、工事積算内訳書では指定処分となっております。現場説明書を正と考え、処分先に指定はないものと考えて宜しいでしょうか。指定がある場合は各廃材の処分先をご提示下さい。（現場説明書、工事積算内訳書）	コンクリート、アスファルト、路盤材等のがれき類は指定処分としてください。 内訳書上の処分先は下記です。 名称：世紀東急工業株式会社 横浜混合所 所在地：横浜市都筑区川和町219 その他の指定処分先については「本市工事に伴い排出する建設副産物の処分要領」をご確認ください。
214	山留めの撤去について、設計図では存置しないと記載がありますが、工事積算内訳書では残置と相違します。引抜き後の周辺地盤への影響を考慮し、工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。（A012）	宜しいです。
215	工事積算内訳書の仮囲いの項目に、引継ぎ分及び新規分の仮囲い数量が明示されておりますが、範囲が分かる資料がありません。外構撤去平面図1に新設仮囲いと書かれている範囲を引継ぎ部分、それ以外を新規分と考えてよろしいでしょうか。（A906、A1001）	A906に記載の仮囲い及び新規仮囲い部分は引継ぎ分とし、それ以外のA1002に記載の仮囲いは新規としてください。
216	工事区分表において、消火器が建築工事となっておりますが、工事積算内訳書に記載がありません。別途設備工事と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は詳細をご指示下さい。	内訳書を正としてください。変更が必要となった場合には別途協議とします。
217	図面内の各室平面詳細・展開図に「横浜市立小・中学校詳細・備品関係詳細図」参照としてG符号やその他I符号、及びJ符号があります。横浜市のホームページよりG符号は確認できましたが、I符号（給湯器カバー、手洗・足洗い他）及びJ符号（ファイリングキャビネット棟）が確認できません。I符号及びJ符号の最新標準図をご提示ください。	G家具・J備品図及びI詳細図を添付します。別添をご確認ください。
218	別紙質疑書として工事積算内訳書と図面による積算数量の差異等をまとめておりますが、現場説明書より工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。その際、一部建具工事等、個別認定に係る法規及びメーカー製作上変更が必要となる項目もありますので、契約後に内容精査の上、変更協議をお願いいたします。（工事積算内訳書）	現場説明書を優先とします。契約後、変更が必要な場合には別途協議とします。

219	工事区分表において、借地料が建設工事となっておりますが、該当範囲が不明です。該当範囲及び月額等、借地料の詳細をご提示下さい。(A022)	今回積算は不要です。 契約後、別途協議とします。
220	家屋調査において、摘要欄が「事前・事後調査 経費含む」との記載とあり、該当範囲が不明です。指定数量・対象範囲がわかる資料をご指示下さい。(工事積算内訳書)	数量については、別紙00-0088に記載のとおりです。 範囲については、契約後に提示します。
221	現場説明書の14施工・工程等に係る事項(10)に施工時間、施工方法、関係期間との協議等に施工時間・施工期間等は協議によると記載があります。工程・仮設計画にあたり、現段階で判明している学校行事等による作業不能日・運搬規制等の条件がありましたらご提示下さい。(現場説明書)	大まかな年間行事予定は下記です。 2月頃：全校集会 3月頃：卒業証書授与式、修了式 4月頃：着任式・始業式・入学式、学力調査 5月頃：学力調査 6月頃：授業参観 その他にも作業に影響する学校行事等もありますので都度調整をお願いします。
222	現場説明書の17周辺環境に対する配慮事項において、大型車両その通行日には工事用の出入口に加え、監督員の指示する箇所交通整理員を配置と記載がありますが、配置指定箇所が不明です。想定されている指定箇所をご指示下さい。(現場説明書)	南側搬出入口に至るまでの道路が狭いため、その経路上に配置としています。現場説明書に記載の通りの延べ人数を計上してください。契約後、変更が必要な場合には別途協議とします。
223	多目的室(集会・発表等)において、ひな段及び階段があり、仕上「天板：白樺積層合板t20 UC、側板：シ合板t20 UC」と記載がありますが、詳細図が無く、下地組が不明です。詳細図をご指示下さい。(A457)	A457図に追記しました。別添図をご確認ください。
224	公告資料・現場説明書20 本工事における特別な事項にて、「埋蔵文化財の試掘調査のために、工事期間を3週間程度止める必要がある」と記載がありますが、全体工程に3週間の工事休止期間が必要でしょうか。必要な場合、対象となる具体的な場所(範囲)、時期、期間を御指示下さい。	本工事における埋蔵文化財調査については、試掘調査は工事着手前に実施することを想定しています。このため、試掘調査に伴う工事期間中の約3週間の休止期間については、原則見込むものではありません。ただし、諸事情により工事休止期間等が生じる場合は、別途協議の対象とします。なお、試掘調査の結果、埋蔵文化財が確認された場合には、本格調査(数か月程度)が必要となり、その期間中は工事を停止する可能性があります。その際の対応についても別途協議の対象とします。

225	<p>工事積算内訳書と実際の施工において乖離があり増減が発生した場合について、横浜市工事請負契約約款の第25条では「当該契約締結時の価格を基礎として、発注者と請負人とが協議して定める。」と記載がありますが、当該契約締結時の価格（単価）とは請負会社が入札時に提出した工事内訳書の単価でしょうか。若しくは横浜市にて入札時の予算として算出された工事内訳書の単価となるのでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>当該契約締結時の価格（単価）については、横浜市にて算出した工事内訳書の単価を基礎とします。</p>
226	<p>給食室二重床スタイロフォーム嵩上げにおいて、断熱材の種別が不明です。1種と考えて宜しいでしょうか。異なる場合は種別を御指示下さい。</p>	<p>押出法ポリスチレンフォーム断熱材 1種と考えています。</p>
227	<p>外構舗装工事において、黒玉石とありますがグレードが不明です。指定なしと考えて宜しいでしょうか。異なる場合はグレード他詳細を御指示下さい。</p>	<p>指定なしと考えて宜しいです。</p>
228	<p>外構工事において、フェンス沿いのL型側溝W450がありますが、工事積算内訳書では建築工事標準詳細図9-11-2とありますが、図面では縁石+鉄筋コンクリートの標準詳細9-11-4(街きよ)のような表記となっております。工事積算内訳書を正と考え、L型側溝(既製品程度)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(工事積算内訳書P107、A904)</p>	<p>宜しいです。</p>
229	<p>工事区分表において、1. 共通事項に本設電力の使用料金が本工事とありますが、トランス容量が不明です。トランス容量を御指示下さい。(A-022)</p>	<p>单相225kVA、三相700kVAです。</p>
230	<p>工事区分表において、1. 共通事項に電力・電話・上下水道・ガスその他本設用引込負担金・基本料は別途工事とありますが、水道加入金及び引き渡しまでの各種基本料金も別途と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A-022)</p>	<p>宜しいです。</p>
231	<p>本年3月以降、各メーカーから中東情勢の影響による価格改定の通達が届いております。この影響については、横浜市工事請負契約約款第26条（賃金又は物価の変動に基づく請負代金額の変更）等にて協議いただけるという認識でよろしいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。必要に応じて協議の対象となります。</p>

232	中東情勢の影響により、一部資材の新規受注を停止するという通知をメーカーから受けております。着工後に資材調達ができず、やむを得ず工期の遅延が見込まれる場合については、横浜市工事請負契約約款第22条（工期の延長）に基づき協議いただけるという認識でよろしいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。施工者の責によらない場合に限り、必要に応じて協議の対象となります。
233	地鎮祭・上棟式・竣工式等の式典費用は不要（別途）と考えて宜しいでしょうか。見積りに含むべき項目がある場合は詳細を御指示下さい。	式典費用については、共通費率に含まれています。
234	現場説明書にて建設発生土の指定処分先の記載がありますが、可能な受入れ土量の最大値に制限がありましたらご指示ください。 また、受入れ対応時間は9～16時を想定しておりますが、宜しいでしょうか。ご指示ください。（現場説明書15建設副産物の処理に係る事項）	受入れ土量については、状況により変動するため、その時点での調整となります。 また、受入れ対応時間については別添の建設発生土受入手続のP2に記載のとおりです。なお、最新の情報については以下のURLをご参照ください。 https://yokohamaport.co.jp/business/soil/
235	仮設計画は横浜市「工事請負契約約款」（総則）第1条3項により、「請負人がその責任において定める。」と記載があるので、任意仮設と解釈してよろしいでしょうか。	任意仮設として取り扱って差し支えありません。ただし、設計図書に示す条件（安全対策、周辺環境対策、施工条件等）を十分に踏まえ、適切な仮設計画を見込んでください。
236	給食ブリッジの高力ボルト締付け本数において工事積算内訳書では3082本となっておりますが、図面より算出すると3057本と相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。（AS307）	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
237	屋上目隠し鉄骨のH-244*175*7*11の重量において工事積算内訳書では9.9tとなっておりますが、図面より算出すると12.6tと相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。（AS306）	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
238	屋上目隠し鉄骨のL-65*65*6の重量において工事積算内訳書では1.1tとなっておりますが図面上には無く、相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。（AS306）	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
239	屋上目隠し胴縁において詳細が不明です。工事積算内訳書より、下記の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。（A753） ・C-150*50*20*3.2@750 GPL-6 2-M12（中ボルト）	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。

240	ハサドトラト鉄骨のPL-6(SS400)の重量において工事積算内訳書では33kgとなっていますが図面上には無く、相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(AS308)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
241	目隠し壁胴縁の中ボルト本数において工事積算内訳書では728本となっていますが、図面より算出すると649本と相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A753)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
242	給食機械室胴縁の中ボルト本数において工事積算内訳書では1319本となっていますが、図面より算出すると1240本と相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A532・535)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
243	シャッター受鉄骨のアンカーボルト本数において工事積算内訳書では44本となっていますが、図面より算出すると108本と相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A740~741)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
244	スライディングウォール受鉄骨のあと施工アンカー本数において工事積算内訳書ではPC-3020が計135本となっていますが、図面より算出するとPC-3020が79本、ウェッジ式トルコンアンカーが24本の計103本と相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A736)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
245	昇降口AW受鉄骨のアンカーボルト本数において工事積算内訳書では60本となっていますが、図面より算出すると64本と相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A722)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
246	渡り廊下本体鉄骨の高力ボルトにおいて工事積算内訳書ではM16のみとなっていますが、図面上ではM12・M20も必要であり相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(AS309)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
247	渡り廊下本体鉄骨の高力ボルト締付け本数において工事積算内訳書では857本となっていますが、図面より算出すると564本と相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(AS309)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。

248	外壁 打継目地シリングにおいて、工事積算内訳書では923mとありますが、図面より算出すると1687mと相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えるて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A102~113)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
249	外壁 誘発目地シリングにおいて、工事積算内訳では1074mとありますが、図面より算出すると1716mと相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えるて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A102~113)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
250	軒天 防水形複層塗材RE ケカル板面において、工事積算内訳書では59.6m ² とありますが、図面より算出すると209m ² と相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えるて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A401~406)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
251	EP-G塗り ケカル板面 見上において、工事積算内訳書では416m ² とありますが、図面より算出すると281m ² と相違しています。積算上は工事積算内訳書を正と考えるて宜しいでしょうか、御指示下さい。(A401~406)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
252	天井 けい酸カルシウム板において、工事積算内訳書では突付けで計上されていますが、設計図では目透しと相違しています。積算上は工事積算内訳書を正と考えるて宜しいでしょうか、御指示下さい。(A302~304)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
253	テラス屋根 ゴムチップ舗装において、工事積算内訳書ではt=15で計上されていますが、設計図ではt=30と相違しています。積算上は工事積算内訳書を正と考えるて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A401)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
254	テラス 床仕上 ゴムチップ舗装 t=30と記載がありますが、工事積算内訳書ではt15と記載されております。工事積算内訳書を正として、ABC商会:パークコート ゴムチップカー-t15HS工法同等と考えるて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A401)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。

255	給湯器カバーにおいて、工事積算内訳書では2階バルコニー・2階北側バルコニー北側に2台×2列=4台のステンレスパンチングパネル t2の給湯器カバーが1箇所ずつ記載されていますが、設計図では給湯器カバーの該当箇所は2階北側バルコニーと保健室横(地下1階)に記載されており、相違しています。該当箇所は2階北側バルコニーと保健室横と考え、給湯器カバーの詳細に関しては工事積算内訳書通りのステンレスパンチングパネル t2と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A411・465)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
256	渡り廊下 床仕上において、工事積算内訳書では防水モルタルの厚みがt15とありますが、図面ではt80程度で図示されており相違しています。工事積算内訳書を正と考え、防水モルタルの厚みはt15と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A715)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
257	上記質疑に関連して、渡り廊下の階段仕上において、工事積算内訳書では防水モルタルt30と記載されていますが、図面ではモルタルの厚みの図示がないと思われます。工事積算内訳書を正と考え、階段の仕上は防水モルタルt30と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
258	渡り廊下 手摺において、工事積算内訳書では部分詳細図の手摺の仕様が記載されていますが、図面では手摺SUS φ34と記載されており、相違しています。工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A713)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
259	屋外階段3 X8/AY7-8 金属手摺において、工事積算内訳書では手摺の仕様が記載されていますが、該当範囲の手摺の仕様は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A527・747)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
260	壁仕上げの木毛セメント板について、壁種別図ではt=14とありますが、工事積算内訳書ではt=15と相違しています。工事積算内訳書のt=15を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A707)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
261	屋内階段の自立手摺について、屋内階段詳細図ではH=1100・1400・1600とありますが、工事積算内訳書では全てH=1100と相違しています。屋内階段詳細図の寸法を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A521～524)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。

262	工事積算内訳書 校舎棟 防水工事において、塗膜防水 平面 4.1㎡・立上り 3.1㎡計上されていますが、範囲が不明です。防水を見込む範囲を御指示下さい。	地下二重壁排水溝部分です。(A703)
263	工事積算内訳書 校舎棟 木工事において、壁 木製胴縁 728㎡とありますが、B1F音楽教室・1Fスタジオ室・3F多目的室(集会)の壁種 G21・22・L11・12の合計が191㎡となり相違しています。この範囲以外に木製胴縁を見込む範囲がございましたら御指示下さい。(A707・708)	左記部屋以外に各室掲示板の下地を含みます。(A709) 内訳書を正として計上してください。
264	工事積算内訳書 校舎棟 塗装工事において、SOP塗り 鉄鋼面 7.6㎡とありますが、該当範囲を御指示下さい。	方立金物(間仕切〜サッシ取合部)およびトイレ出入口三方枠(270*25)部分です。
265	工事積算内訳書 校舎棟 塗装工事において、SOP塗り(糸幅300mm以下) 鉄鋼面 15165㎡とありますが、一方枠や三方枠等のSOP塗り(糸幅300mm以下)の合計が603㎡と数量が相違しています。SOP塗り(糸幅300mm以下)の該当範囲を御指示下さい。	ハイドライト見切縁、トイレ出入口三方枠(138.5*25、170*25)、トイレ袖壁端部枠、職員更衣室1、2袖壁端部枠、廊下天井照明器具取付用金物、照明器具吊りパイプ、廊下天井枠有孔合板、羽目板取付金物部分です。 内訳書を正として計上してください。
266	工事積算内訳書 校舎棟 内装工事において、階段ビニル床シート 5.7㎡とありますが、仕上表はCT(ビニル床タイル)とあるため、階段ビニル床シートの範囲が不明です。該当範囲を御指示下さい。(A203)	該当範囲は2階廊下2-6の階段部分です。 仕様は工事積算内訳書を正として計上してください。
267	工事積算内訳書 校舎棟 内装工事において、ビニル床タイル 厚さ2 コポジションビニル床タイルKT 多湿部 帯電防止 232㎡とありますが、該当範囲が不明な為、範囲を御指示下さい。	該当範囲は昇降口です。
268	工事積算内訳書 校舎棟 内装工事において、ビニル床シート モルタル調 0.6㎡とありますが、該当範囲が不明な為、範囲を御指示下さい。	技術員室、技術員室倉庫の踏込部床です。
269	工事積算内訳書 校舎棟 内装工事において、壁 けい酸カルシウム板張り タイプ2(ノアス)0.8FK 厚 8 11㎡とありますが、該当範囲を御指示下さい。	各所ライニング壁下地です。(A704 D-16)

270	工事積算内訳書 校舎棟 内装工事において、天井 木毛セメント板 t15 準不燃塗装下 1.7㎡とありますが、範囲を御指示下さい。	廊下B1-1の下り天井部分です。
271	工事積算内訳書 校舎棟 内装工事において、木毛セメント板(SD1-12)とありますが、建具表に記載が無い為、無しと考えて宜しいでしょうか。木毛セメント板を見込む場合、詳細を御指示下さい。(A613)	ありとし、SDに表面張りとしてください。内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
272	工事積算内訳書 給食室 木工事において、AW付額縁 40*25 4.8mと165*25 3.2mとありますが、具体的な該当建具が不明です。御指示下さい。	40*25→AD11部分、165*25→AD12部分です。(A548 D-31、32)
273	工事積算内訳書 給食室 金属工事において、厨房機器周囲ステンレスパネル W60・W80・W100・W120・W130・W250・W290・W350の8項目の記載がありますが、各々の具体的な範囲が不明です。御指示下さい。	W60→牛乳冷蔵庫側部 H80→牛乳冷蔵庫下部 W100→食器消毒保管庫上部、側部 W120→食品保冷库、食品冷蔵庫下部 W130→食器消毒保管庫下部 W250→食品保冷库上部 W290→牛乳冷蔵庫上部 W350→食品冷蔵庫上部
274	工事積算内訳書 給食室 エット及びその他において、調理衣掛け 5人用のW寸法が650とありますが、詳細図D-39ではW700であり相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。(A560)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
275	工事積算内訳書 給食室 エット及びその他において、エプロン掛け 5人用のW寸法が700とありますが、詳細図D-39ではW650であり相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。(A560)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
276	工事積算内訳書 給食室 エット及びその他において、エプロン掛け 6人用のW寸法が800とありますが、詳細図D-39ではW900であり相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。(A560)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
277	1F職員更衣室1・2の脱衣コーナーにおいて、棚と図示がありますが、仕様は積算内訳書の仕様に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A478)	A478図、内部仕上表下部に記載の通り、お見積りください。

278	断熱において、図面では壁・建具廻り・屋上設備基礎欠陥部等は断熱材吹付となっておりますが、工事積算内訳書では記載がありません。断熱吹付が正と考えて宜しいでしょうか。	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
279	AW0-03, 2-14, 2-25, 2-26に於きまして、工事積算内訳書では水切とありますが、建具表には水切の記載はありません。積算上は工事積算内訳書を正とし水切は必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A608、工事積算内訳書P44, 45、85)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
280	AW3-03, 3-04, 3-08, 3-09, 3-12, 3-14に於きまして、工事積算内訳書に防火設備とありますが、建具表には防火設備の記載がありません。積算上は建具表を優先し防火設備は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A609、工事積算内訳書P45)	内訳書を正とし、防火設備としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
281	AW3-02に於きまして、工事積算内訳書に2連FIX窓とありますが、建具表では引違い窓となっております。積算上は建具表を優先し引違い窓と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A608, 610、工事積算内訳書P45)	内訳書を正とし、FIX窓としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
282	SD1-13に於きまして、工事積算内訳書では防火設備とありますが、建具表では特定防火設備となっております。積算上は建具表を優先し特定防火設備と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A613、工事積算内訳書P47)	内訳書を正とし、防火設備としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
283	SD2-06, 3-02に於きまして、工事積算内訳書に2連片引きとありますが、建具表では2連片開きとなっております。積算上は建具表を優先し2連片開きと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A613、工事積算内訳書P47)	建具表通り、2連片開きとしてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
284	SD1-12に於きまして、工事積算内訳書に木毛セメント板別計上とありますが、建具表の仕上は焼付塗装となっております。積算上は建具表を優先し焼付塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A613、工事積算内訳書P47)	焼付塗装としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。

285	SH2-05に於きまして、工事積算内訳書にH2505とありますが、建具表ではH2450とあり相違しています。積算上は建具表を優先しH2450と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A614、工事積算内訳書P50)	内訳書を正とし、H2505としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
286	SSに於きまして、工事積算内訳書と建具表で以下のように寸法が相違しています。それぞれ積算上は建具表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 建具記号 工事積算内訳書 建具表 SS1-01 H2600 H2450 SS3-02 H2600 H2450 SS3-03 H2505 H2450 (A614、工事積算内訳書P51)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
287	SP0-01、3-07に於きまして、工事積算内訳書ではガリ付の記載がありませんが、建具表ではガリ付となっており相違しています。積算上は建具表を優先しガリ付と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A611, 612、工事積算内訳書P52)	ガリ付としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
288	SP3-01に於きまして、工事積算内訳書では引違い戸とありますが、建具表では片引き戸となっており相違しています。積算上は建具表を優先し片引き戸と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A612、工事積算内訳書P52)	片引き戸としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
289	SP3-02に於きまして、工事積算内訳書では6連となっておりませんが、建具表・詳細図では5連となっており相違しています。積算上は建具表・詳細図を優先し5連と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A612, 726、工事積算内訳書P52)	6連としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
290	SP2-10に於きまして、工事積算内訳書には扉：額入の記載がありませんが、建具表では額入となっており相違しています。積算上は建具表を優先し扉：額入と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A611、工事積算内訳書P86)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
291	給食室のAW5に於きまして、工事積算内訳書にステンレス下額縁の記載がありませんが、建具表ではステンレス下額縁の記載があり相違しています。積算上は建具表を優先しステンレス下額縁が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A541、工事積算内訳書P95)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。

292	AW0-03に於きまして、工事積算内訳書の名称に片開き戸の記載がありませんが、建具表では片開き戸の図示があり相違しています。積算上は建具表を優先し片開き戸が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A609, 工事積算内訳書P44)	片開き戸はなしとしてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
293	SPのガラスに於きまして、工事積算内訳書のパーティション工事ではガラス共とありますが、ガラス工事ではSP用のガラスが計上されており相違しています。積算上はガラスは別計上と考え、ガラス工事に計上が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (工事積算内訳書P52, 54, 55, 86)	SPではガラスは計上されていません。SPはガラス別途とし、ガラス工事に計上してください。
294	AWの外部性能に於きまして、工事積算内訳書では気密性:A-3、水密性:W-4とありますが、詳細図では気密性:A-4、水密性:W-5とあり相違しています。積算上は工事積算内訳書を優先し気密性:A-3、水密性:W-4と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A721, 723, 工事積算内訳書P44、85, 94)	気密性:A-4、水密性:W-5として計上してください。変更が必要な場合には別途協議とします。
295	AWの遮音性に於きまして、工事積算内訳書では遮音性:T-3とありますが、特記仕様書では遮音性:T-1とあり相違しています。積算上は工事積算内訳書を優先し遮音性:T-3と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A014、工事積算内訳書P44、85, 94)	遮音性:T-1として計上してください。変更が必要な場合には別途協議とします。
296	塗装工事に於きまして、工事積算内訳書の校舎棟・塗装工事内部(建具)にSOP塗り(糸幅300mm以下)が510m計上されておりますが、施工箇所が不明です。施工箇所を御指示下さい。 (工事積算内訳書P56)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
297	防水工事に於きまして、工事積算内訳書の給食室・防水工事外部に建具枠廻りシーリング10*10二重シールが54.6m計上されておりますが、施工箇所が不明です。施工箇所を御指示下さい。 (工事積算内訳書P89)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。

298	<p>外構ステップ 図 仮設校舎解体開始 新校舎(仮使用)利用開始で記載の下記の撤去工事が工事積算内訳書では記載がありません。別途工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A931)</p> <p><input type="checkbox"/> 仮設校舎用受水ポンプ 解体 <input type="checkbox"/> 仮設校舎用消化水槽消化ポンプ 解体 <input type="checkbox"/> 仮設給食室解体 <input type="checkbox"/> 仮設校舎解体 <input type="checkbox"/> 屋外渡り廊下1解体</p>	<p>内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。</p>
299	<p>グラウンド内の舗装、雲梯等が工事積算内訳書では記載がありません。別途工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A901・931)</p>	<p>内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。</p>
300	<p>上記質疑で本工事の場合、下記の詳細を基礎も含めてそれぞれ御指示下さい。(A901・931)</p> <p><input type="checkbox"/> グラウンド 舗装構成 <input type="checkbox"/> グラウンドのライン引きの有無・仕様 <input type="checkbox"/> 体育砂場工 <input type="checkbox"/> ジャンゲルゴム <input type="checkbox"/> 鉄奉工 <input type="checkbox"/> ハト一棒 <input type="checkbox"/> 雲梯</p>	<p>上記の通りです。</p>
301	<p>園庭1内の下記の内容が工事積算内訳書では記載がありません。別途工事と考えて宜しいでしょうか。また、本工事の場合それぞれ詳細を御指示下さい。(A901・931)</p> <p><input type="checkbox"/> 体育倉庫 <input type="checkbox"/> 飼育小屋 <input type="checkbox"/> 教材池 <input type="checkbox"/> 立水栓・地流し <input type="checkbox"/> 百葉箱 <input type="checkbox"/> ベチマ棚 <input type="checkbox"/> 水田 <input type="checkbox"/> 造形砂場 <input type="checkbox"/> 学級園 畑 <input type="checkbox"/> 集水桝</p>	<p>内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。</p>
302	<p>園庭1内のスクリーング舗装は別途工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A901)</p>	<p>内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。</p>

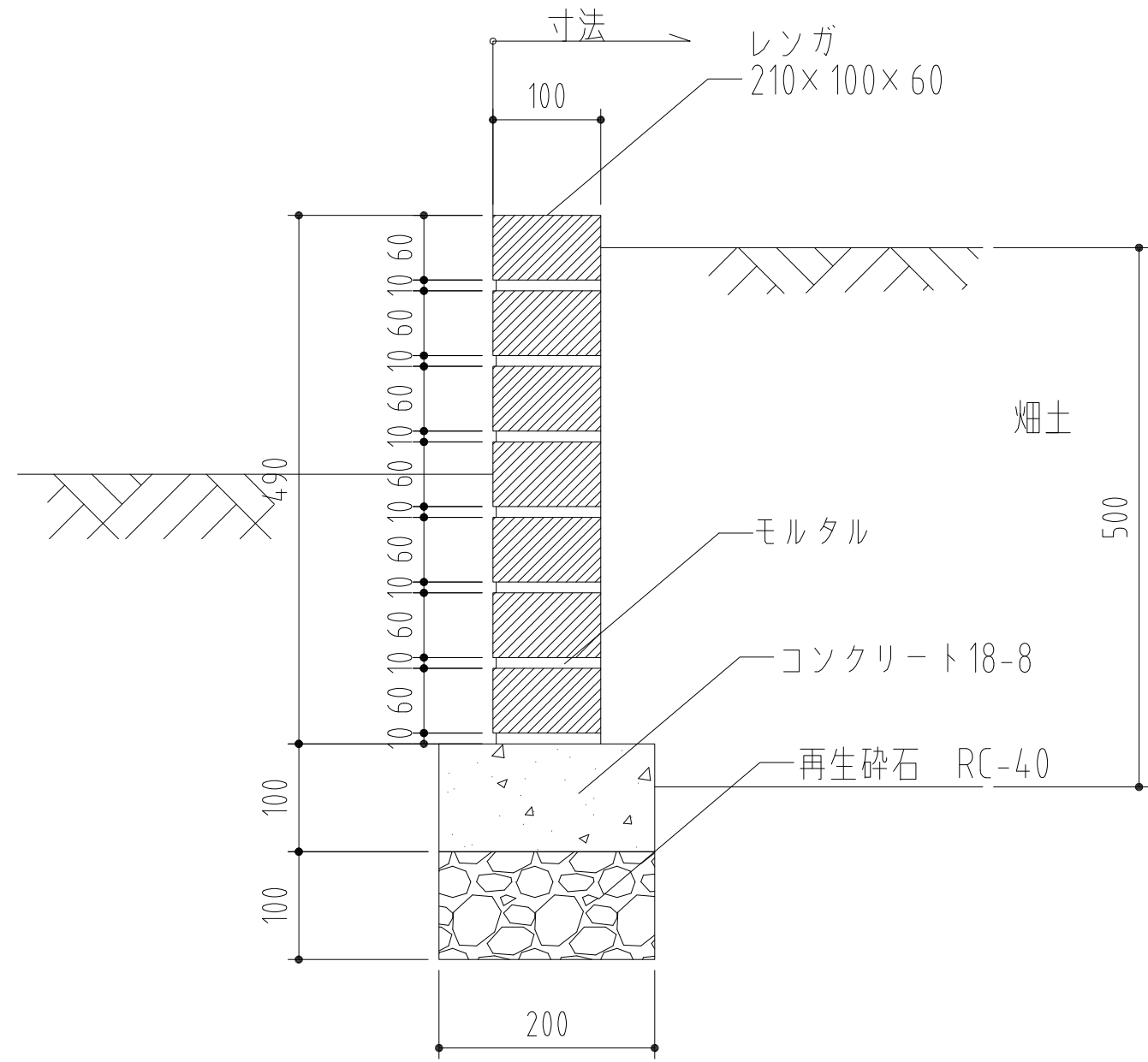
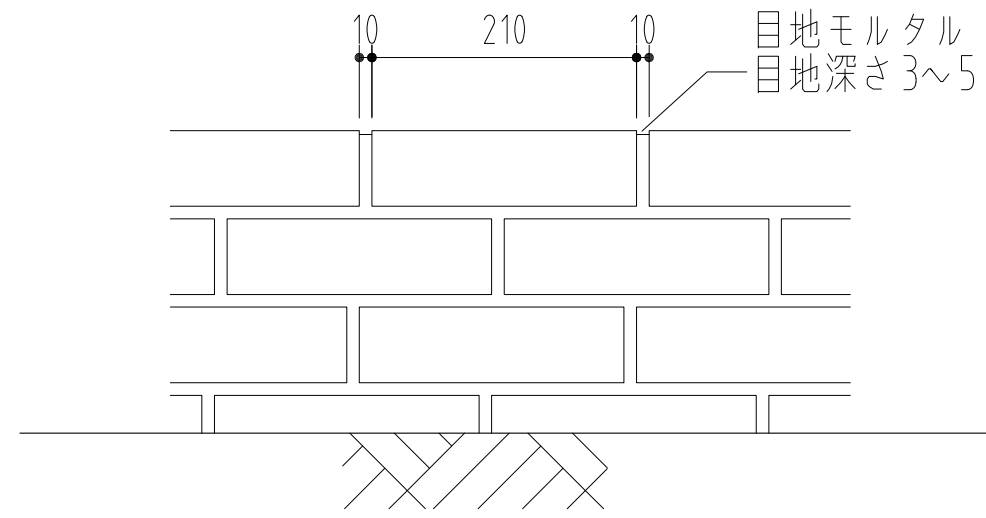
303	ミゲラウト及びPC法枠の北側にW1500×L27000程度の階段のような記載がありますが、工事積算内訳書では記載がありません。別途工事と考えて宜しいでしょうか。また、本工事の場合は断面詳細を御指示下さい。(A901)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
304	屋外階段4前U字溝について、屋外階段詳細図4ではW300×H300ですが、工事積算内訳書ではW240で相違しております。工事積算内訳書を正とし、外構詳細図4 U型側溝W240に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A528, 905)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
305	給食室ブリッジ 道路境界部 U字溝について、部分詳細図28(給食ブリッジ詳細図)ではW400×H400ですが、工事積算内訳書ではW240で相違しております。工事積算内訳書を正とし、外構詳細図4 U型側溝W240に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A748, 905)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
306	本体躯体上部のアスファルト舗装について、詳細図がなく不明です。工事積算内訳書通り表層アスファルトt80と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A902)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
307	本体躯体上部のインターロッキング舗装について、外構詳細図1ではインターロッキングブロックt60+敷き砂層t30ですが、工事積算内訳書ではインターロッキングt60+敷き砂t20不織布で相違しております。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A902)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
308	外構平面図 α部植栽 サツキについて、詳細が不明です。工事積算内訳書より、H0.4×W0.5 10本/m2と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A901)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。

309	<p>舗装の面積について、下記の通り工事積算内訳書と算出数量で相違しております。算出数量を正と考えて宜しいでしょうか。(A401, 405, 406, 901)</p> <p style="text-align: right;">工</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">工事積算内訳書</td> <td style="width: 50%;">算出数量</td> </tr> <tr> <td>□地下1階インターロッキング舗装</td> <td></td> </tr> <tr> <td>184m²</td> <td>257m²</td> </tr> <tr> <td>□インターロッキング舗装</td> <td></td> </tr> <tr> <td>996m²</td> <td>883m²</td> </tr> <tr> <td>□スクリーニング舗装</td> <td></td> </tr> <tr> <td>509m²</td> <td>453m²</td> </tr> <tr> <td>□玉砂利</td> <td></td> </tr> <tr> <td>45.9m²</td> <td>48.1m²</td> </tr> </table>	工事積算内訳書	算出数量	□地下1階インターロッキング舗装		184m ²	257m ²	□インターロッキング舗装		996m ²	883m ²	□スクリーニング舗装		509m ²	453m ²	□玉砂利		45.9m ²	48.1m ²	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
工事積算内訳書	算出数量																			
□地下1階インターロッキング舗装																				
184m ²	257m ²																			
□インターロッキング舗装																				
996m ²	883m ²																			
□スクリーニング舗装																				
509m ²	453m ²																			
□玉砂利																				
45.9m ²	48.1m ²																			
310	外構詳細図4 D RC立ち上がりの仕上材について、図面では防水型複層塗材RE7素ですが、工事積算内訳書では外装薄塗材 Eで相違しております。工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A905)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。																		
311	正門の門扉及びミニグラウト部 扉の仕上材について、図面では外装薄塗材 Eですが、工事積算内訳書では防水型複層塗材RE7素で相違しております。工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A902, 903)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。																		
312	外構土工事の工作物解体部の埋戻しの数量が、工事積算内訳書では53.1m ³ とありますが、図面より算出すると約148m ³ と相違します。工事積算内訳書が正の場合、工作物解体部の埋戻し53.1m ³ の内訳を御指示下さい。	内訳書を正としてください。 第三校舎残置部分撤去部分、地中埋設配管撤去です。 変更が必要な場合には別途協議とします。																		
313	L型側溝撤去の数量が、工事積算内訳書では145mとありますが、図面より算出すると209m(附帯工事施設範囲16mを含む)と相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A906)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。																		
314	工事積算内訳書より地中埋設配管撤去はφ75～350 129mですが、給排水衛生設備配置図ではφ200・250C・350Cの合計47.5mと相違しています。工事積算内訳書が正の場合、埋設管の仕様及び管径毎のm数を御指示下さい。(A916)	内訳書を正としてください。 φ75 : 21.5m φ200 : 34.0m φ250 : 32.3m φ350 : 41.0m 変更が必要な場合には別途協議とします。																		

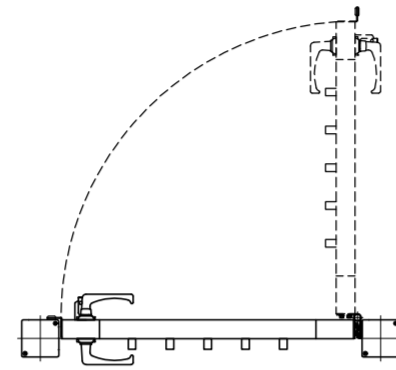
315	<p>工事積算内訳書より発生材処理 運搬の発生材積込みに無筋コンクリート類 449m³の記載がありますが、図面より算出すると約366m³と相違します。工事積算内訳書が正の場合、無筋コンクリート類 449m³の内訳を御指示下さい。</p>	<p>内訳書を正としてください。 コンクリート舗装：47.9m³ A. コンクリート擁壁：10.5m³ B. コンクリート擁壁：55.1m³（階段、柵含む） C. 間知石擁壁：184m³（階段含む） D. 間知石擁壁：3.8m³ 南側. ネットフェン基礎：3.4m³ U字溝：5.1m³ L型側溝：11.6m³ 第三校舎残置部分撤去：115m³ 中埋設配管撤去：11.5m³ 変更が必要な場合には別途協議とします。</p>
316	<p>工事積算内訳書より発生材処理 運搬の発生材積込みと発生材運搬に内装材(石こうボード類) 2m³の記載がありますが、図中に見当たりません。工事積算内訳書が正の場合、内装材(石こうボード類)の厚み及び撤去範囲を御指示下さい。</p>	<p>内訳書に記載の「石こうボード類」は誤記です。具体的な内容としてはメッシュフェンス、U字溝のグレーチング蓋、第三校舎残置部分撤去の金属手すり、地中配管です。ただし、変更が必要な場合には別途協議とします。</p>
317	<p>工事積算内訳書より発生材処理 処分の発生材処分に建設廃材指定処分費 2.3tの記載がありますが、詳細が不明です。該当撤去物の内訳を御指示下さい。</p>	<p>具体的な内容としてはメッシュフェンス、U字溝のグレーチング蓋、第三校舎残置部分撤去の金属手すり、地中配管です。ただし、変更が必要な場合には別途協議とします。</p>
318	<p>工事積算内訳書より発生材処理 処分の有価物売却に鉄スクラップ 控除 44.9tの記載がありますが、詳細が不明です。該当撤去物の内訳を御指示下さい。</p>	<p>外構工事 撤去工事における鉄筋くずを指します。発生材処分の無筋コンクリート類449m³にたいして100kg/m³相当で算出しております。ただし、変更が必要な場合には別途協議とします。</p>

学校整備課 電話045-671-2969

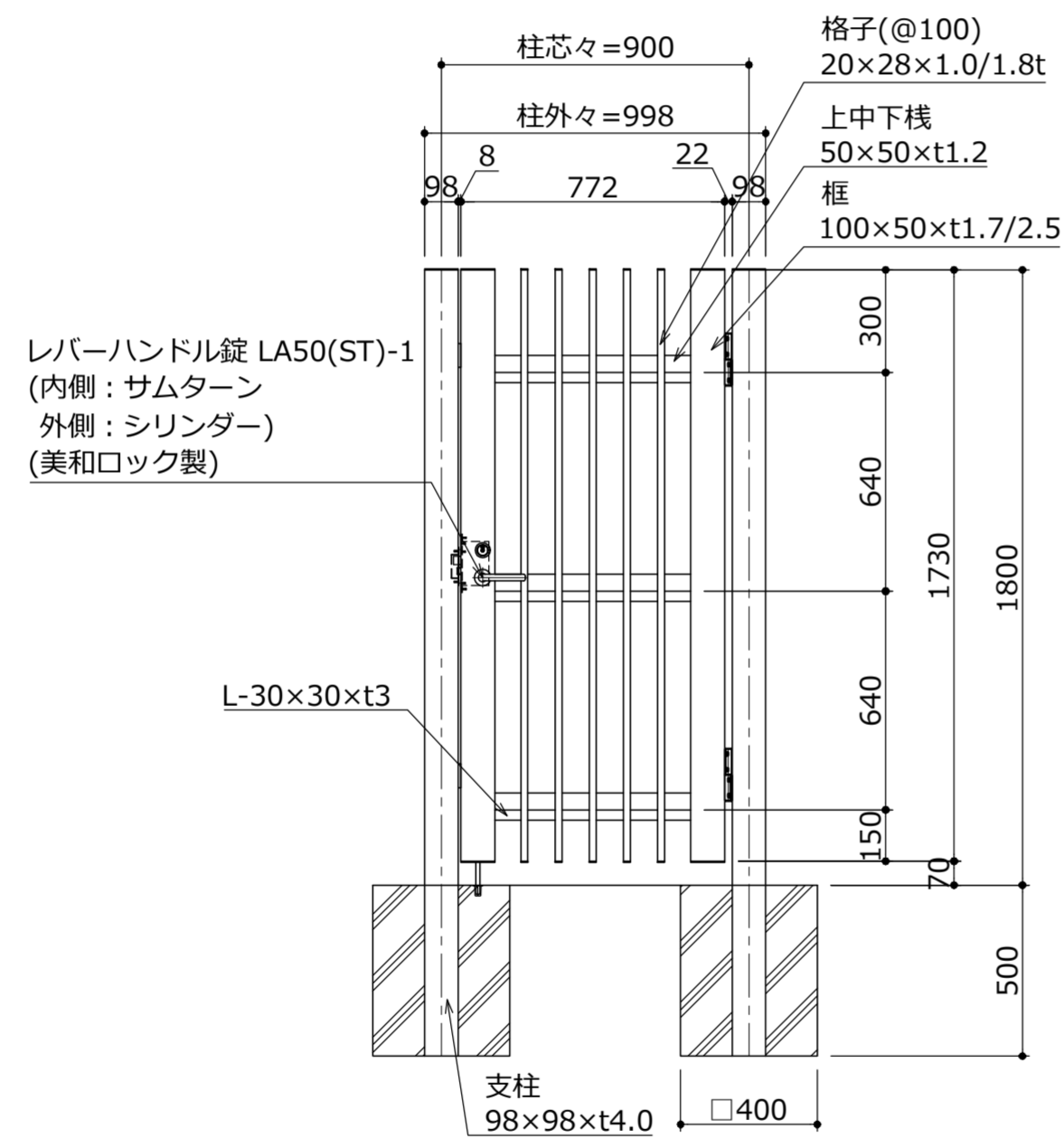
質問No. 2, 187 回答図



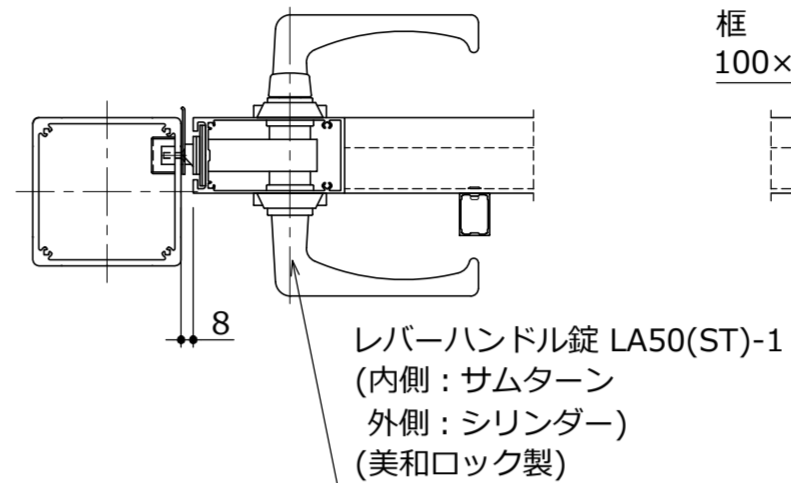
平面図 S=1:20



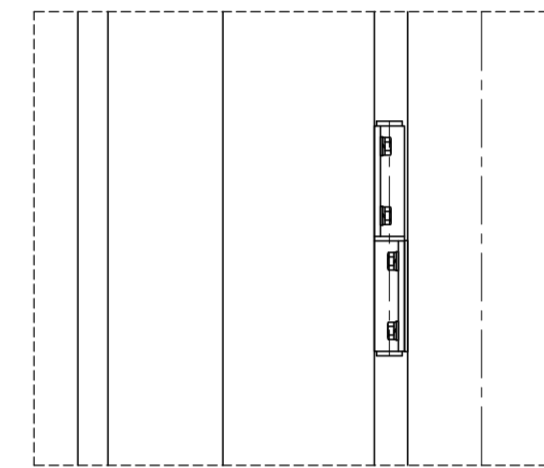
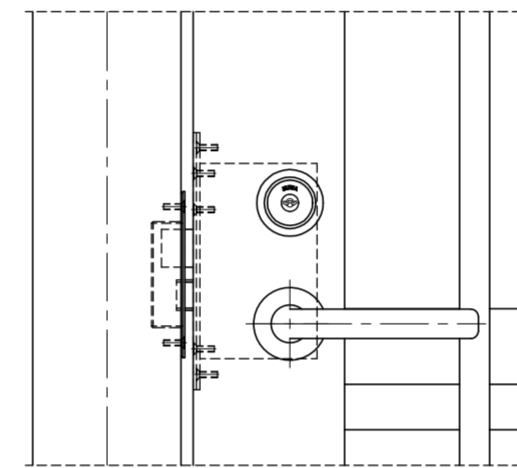
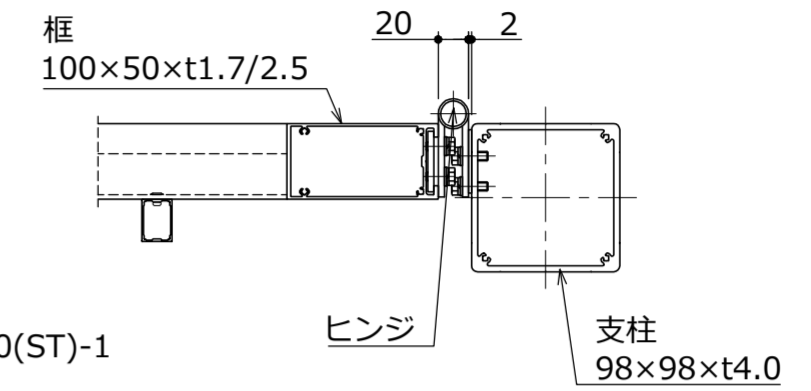
正面図 S=1:20



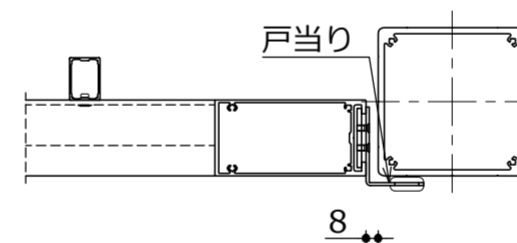
錠部 詳細図 S=1:5



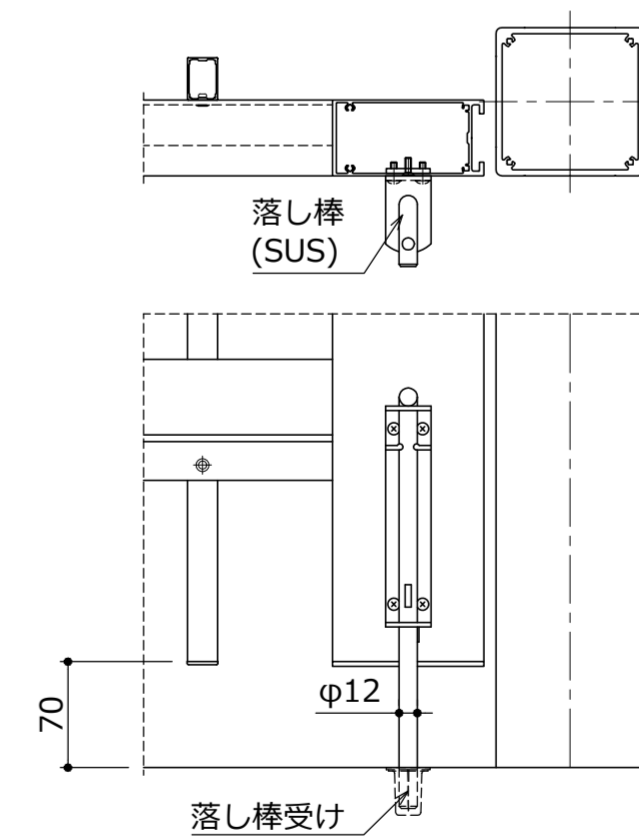
ヒンジ部 詳細図 S=1:5



戸当り部(内観) 詳細図 S=1:5



落とし棒部(内観) 詳細図 S=1:5



スマートラインA1型門扉			
H1800×W900・片開き・LA錠			
部材	サイズ	材質	表面処理
支柱	98×98×t4.0	JIS H 4100 A6005CS-T5	JIS H 8602
框	100×50×t1.7/2.5		
上中下棧	50×50×t1.2		
格子	20×28×1.0/1.8t	JIS H 4100 A6063S-T5	

横浜市立小・中学校標準図

校舎 9 5 型 1 2 改

(G家具・J備品)

【令和6年度改訂版】

図面記号の構成 G系列分類表

区分番号	000	100	200	300	400	500	600	700	800	900
	一般事項	ステンレス家具	収納家具 (スチール)	収納家具 (木・パーテーション)	収納家具 (木・その他)	収納家具 (木・その他)	掲示用家具	実習用家具	雑家具	
校舎	00	共通事項	共通事項	共通事項	共通事項		共通事項	共通事項	共通事項	
	10	清掃用流し	整理戸棚	収納戸棚	収納戸棚	ロッカー	黒板・ホワイトボード	理科教室	雑	
	20	一槽流し		収納棚		掃除用具入	行事用ホワイトボード	家庭科教室（小学校）		
	30	給湯付一槽流し	引出付整理戸棚	ショーケース	引出付収納戸棚	靴入	曲面 黒板 ホワイトボード	家庭科教室（中学校）		鏡
	40		整理棚			吊戸棚	上下 黒板 ホワイトボード			
	50	二槽流し	書架	書架	収納棚		引分 黒板 ホワイトボード			
	60	三槽流し	作業台	作業台			片引ホワイトボード			
	70	流し（市販品）	ロッカー		書架		上下曲面ホワイトボード			
	80	作業台・コンロ台	掃除用具入		作業台		掲示板（アルミ枠）			
90	戸棚・棚他	靴入								
部室・武道場・ 屋内運動場（改修）		1121（武） 1122B（都）	1280（武・都） 1291（武・都・屋改修）		1450（武） 1451（都）	1510（武） 1512A・B（都）	1610（都）		1810（武） 1812（武） 1831（武）	
プール（参考）					1460（ア）	1511A・B（ア） 1520（ア） 1530（ア）				

※屋内運動場の備品は『横浜市立小・中学校屋内運動場95型18改（大規模校参考図）』に記載しました。

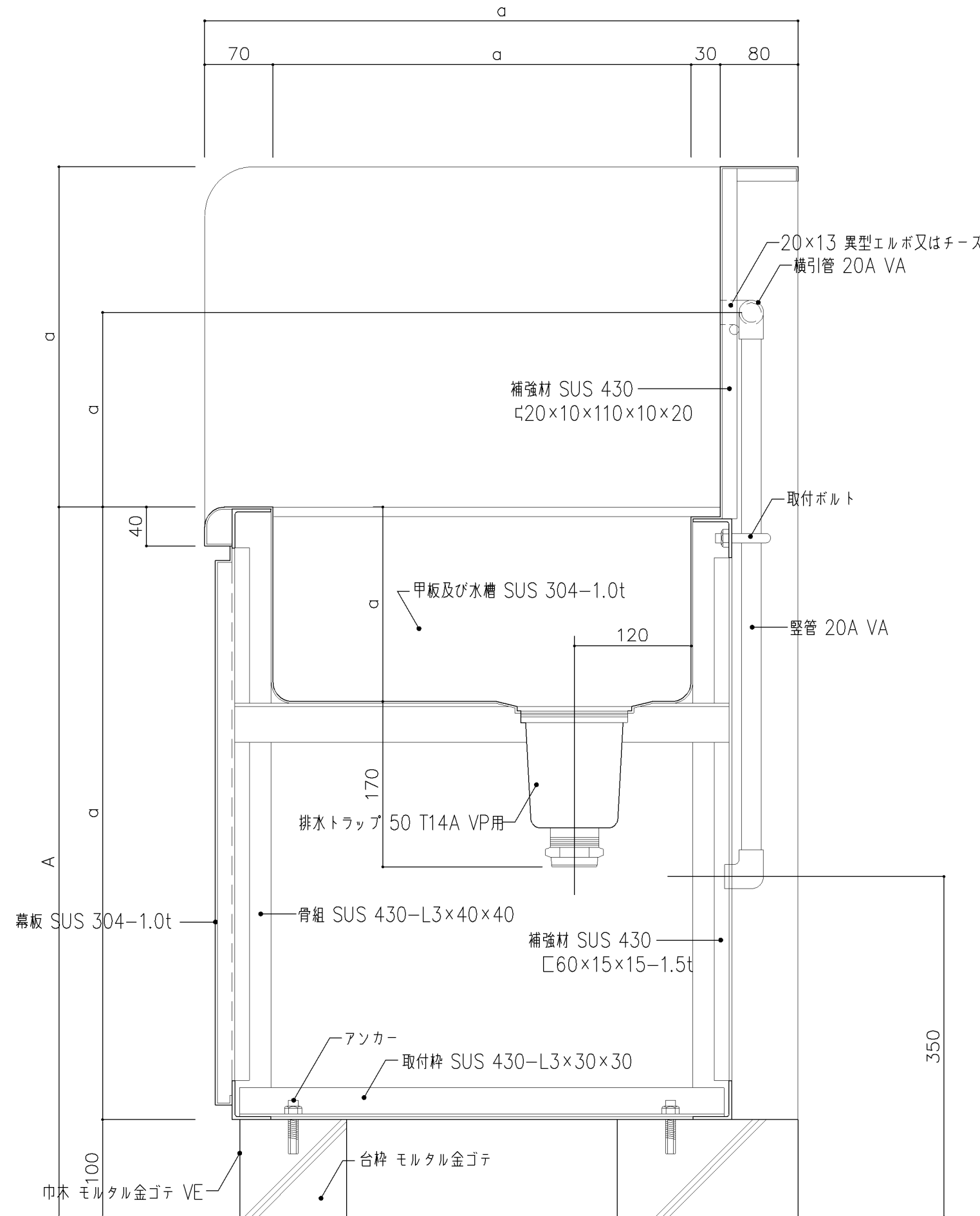
※屋内運動場改修工事の備品は『横浜市立小・中学校屋内運動場95型18改（大規模校参考図）』を使用します。
（ただし、靴入のみG-1291を使用します。）

名称	分類表		
縮尺		記号	G-000
設計年月日	令和7年3月		
横浜市建築局			

G-100 ステンレス家具（仕様）

1. 適用範囲	1) 本仕様は、横浜市学校建築工事備品のステンレス流し、観察台及び、収納庫等に適用する。	4. 仕 上	1) ステンレス鋼板表面は、#300以上のバフ研磨仕上とする。 2) 前項の給水管、給湯管は保温厚さ20mmのグラスウール保温筒を使用し、鉄線、原紙、綿布の順に仕上げ、綿布上に塗装（下塗り、中塗り、上塗り）を施したものとする。 3) シンクの裏面及び給水管は、アクリル樹脂系防露断熱塗装 厚2mmを施すものとする。
2. 材料及び規格	1) 使用するステンレス鋼は、JIS G 4304（熱間圧延ステンレス鋼 板及び鋼帯）または、JIS G 4305（冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯）のSUS 304 及び SUS 430とする。 2) 使用する給水管は、JWWA K116水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管「VA管」とし、ねじ込み式管端防食管継手とする。 3) 使用する給湯管は、JWWA K140水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管「HVA管」とし、継手類は給湯用ねじ込み式管端防食継手とする。 4) 給水管、給湯管とも保温帯を巻くものとする。	5. 付属金物	1) 引手及び取手は、ステンレスSUS 304とする。 2) 使用するビスは、ステンレスとする。 3) 排水トラップは、オーバーフロー付の場合は、T14AOC-50 VP用、その他の場合は、T14A-50VP用とし、ゴミ収納器付とする。
3. 製 作	1) 溶接は、直流アルゴンアーク溶接とする。但し、骨組部は、交流アーク溶接も可とする。 2) 骨組及び補強材の溶接は、連続溶接とし、その強度は、部材と同等以上とする。 3) 人体の接し易い出隅部分は、10~20mm程度の丸面をとるものとする。 4) 幕板は、四方を折曲げ、四隅は平滑に仕上げる。長尺の場合は、各流しに図示通りに割付けタップビス止めとし、取外し可能とする。 5) 水栓取付部の穴は、φ26とし、その裏面に補強材をスポット溶接として取付ける。（図示） 6) 給水管及び給湯管取付金物は、縦管は1箇所、横引管は、両端に1箇所ずつ取付ける。但し、最大支持間隔は、1200とする。 7) 給水管、給湯管のネジ接合部にはシール材を使用し、規定の締め付けを行う。	6. 据付け 7. 検査及び試験 8. 工事区分	1) 据付けは、ホールインアンカーにより、床に水平に固定する。 1) 製品は、図面と適合していなければならない。 2) 仕上は、良好で、著しい傷、変形、亀裂及び溶接ずれなどがあるてはならない。 3) ネジ類の締付け、溶接が完全に行われていなければならない。 4) 製品の寸法精度は、±2mm以下とする。 5) 給水管及び給湯管は、10kg/m ² による20分間の水圧試験を行う。 6) シンク及びトラップ取合部は、満水試験（20分間）により漏水がないものとする。

名称	仕様		
縮尺		記号	G-100
設計年月日	令和7年3月		
横浜市建築局			



■ A (床面からの高さ) 寸法	
清掃用流し	
・小学校	: 580
・中学校	: 730
・管理諸室	: 730
(但し特殊学級は 800とする)	

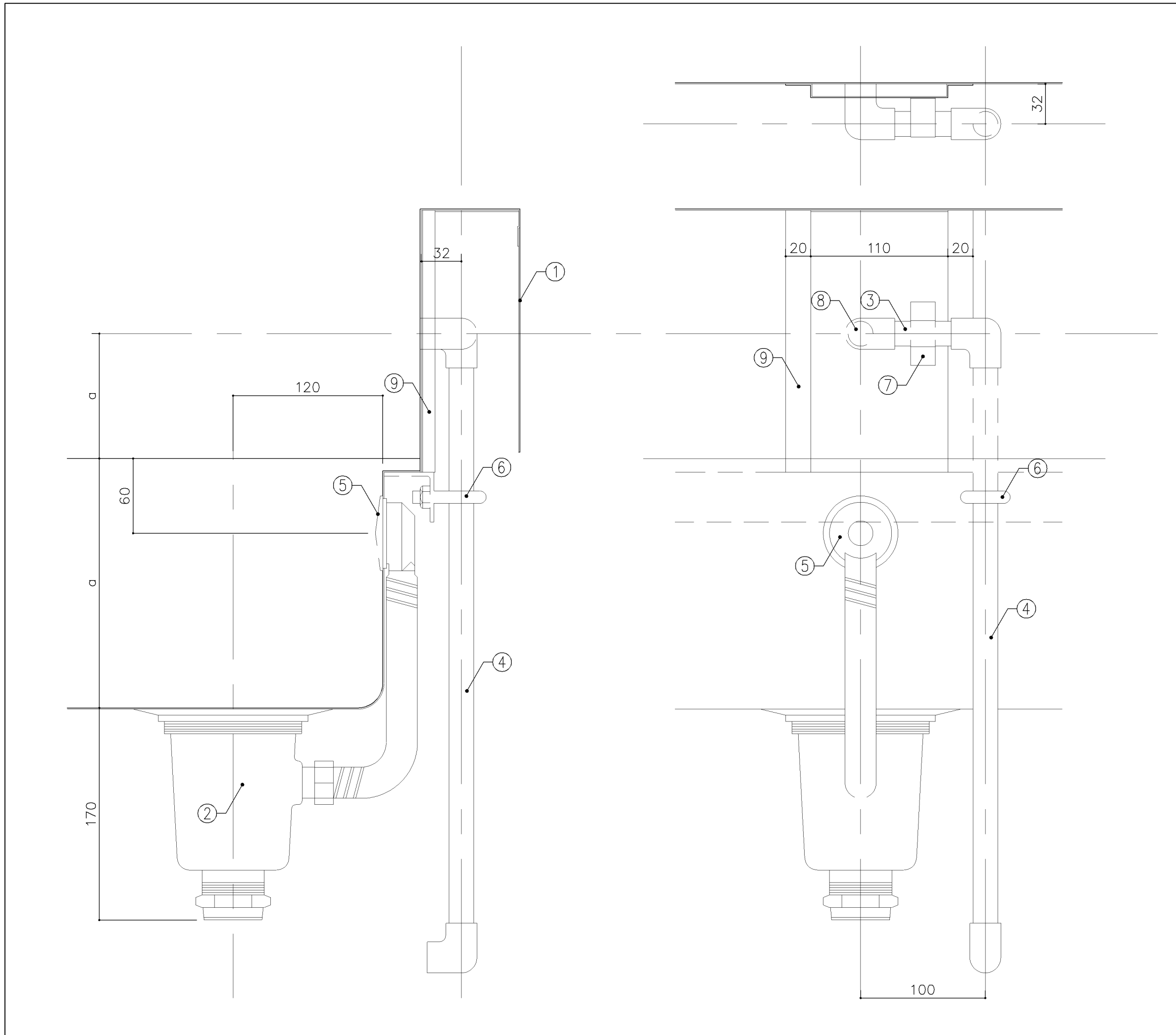
手洗い流し	
・小学校	: 580
・中学校	: 730
・管理諸室	: 730

流し	
・小学校	: 670
・中学校	: 760
・管理諸室	: 800
(但し保健室は 750とする)	

※流しのA寸法は、学校用家具の手引(文部省発行)の実験台、実習台と同じ高さを基本としている。

注) a寸法は、各図面参照

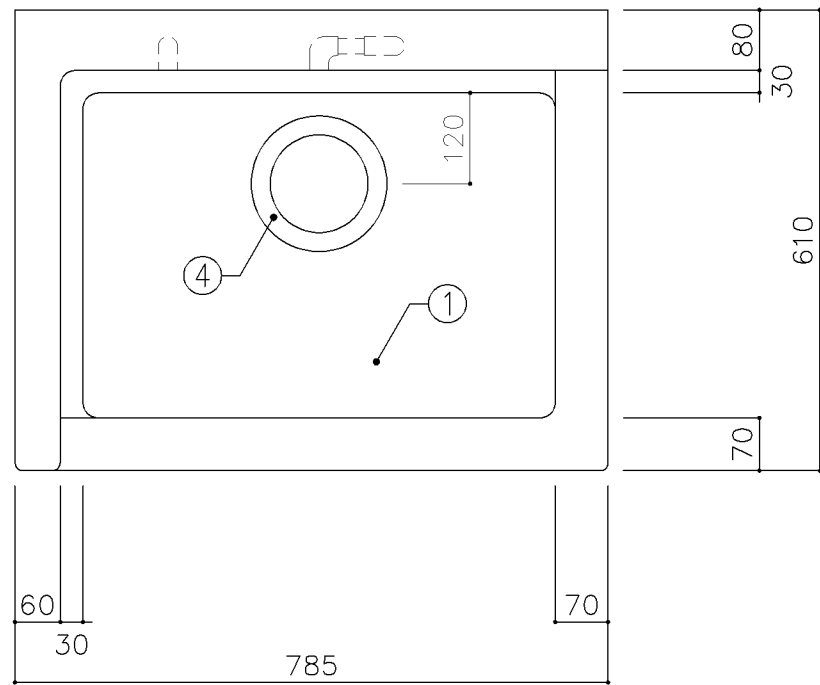
名称	標準断面詳細図		
縮尺	1/5	記号	G-101
設計年月日	令和7年3月		
横浜市建築局			



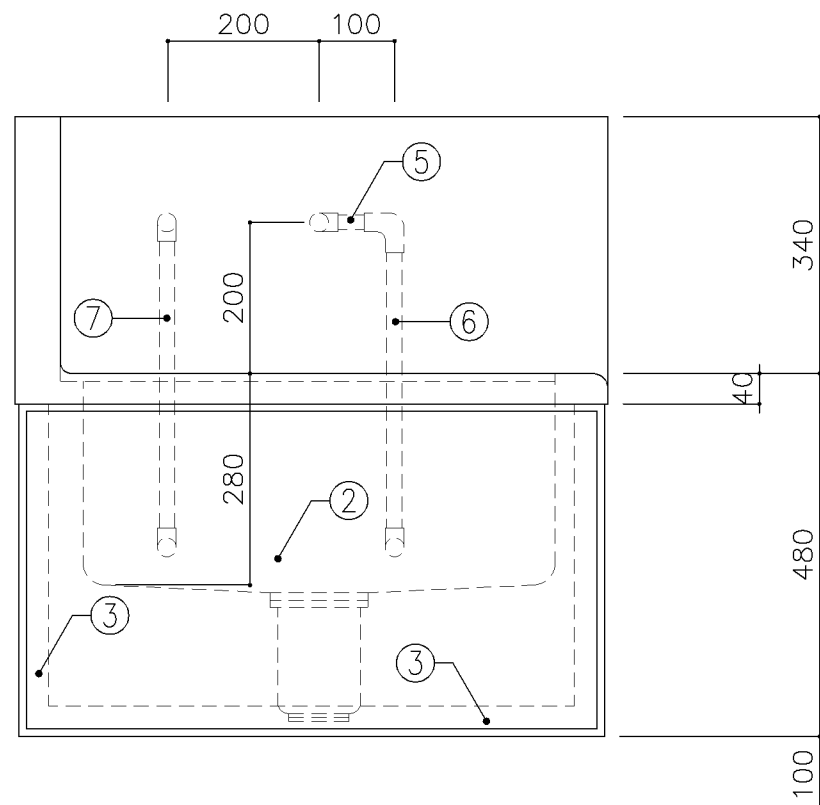
仕 様		
番号	名称	材質
①	幕板	SUS 304-1.0t
②	排水トラップ	50T14AOCVP用 ゴミ収納付
③	給水横引管	20A VA
④	給水縦引管	20A VA
⑤	オーバーフロー	25A ストレーナー付
⑥	取付ボルト	
⑦	取付金具	
⑧	取出シ	
⑨	補強材	SUS 430-1.0t

注) a寸法は、各図面参照

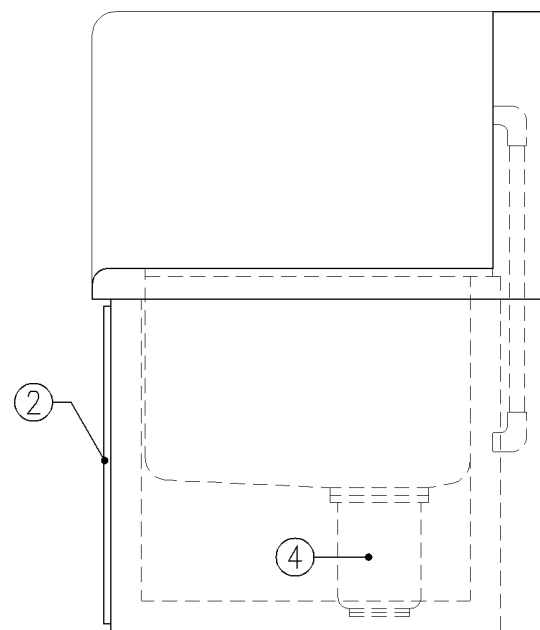
名称	標準詳細図		
縮尺	1/3	記号	G-102
設計年月	令和7年3月		
横浜市建築局			



平面図



正面図



側面図

寸法
W785 × D610 × H480

使用箇所
家庭科教室（小学校）

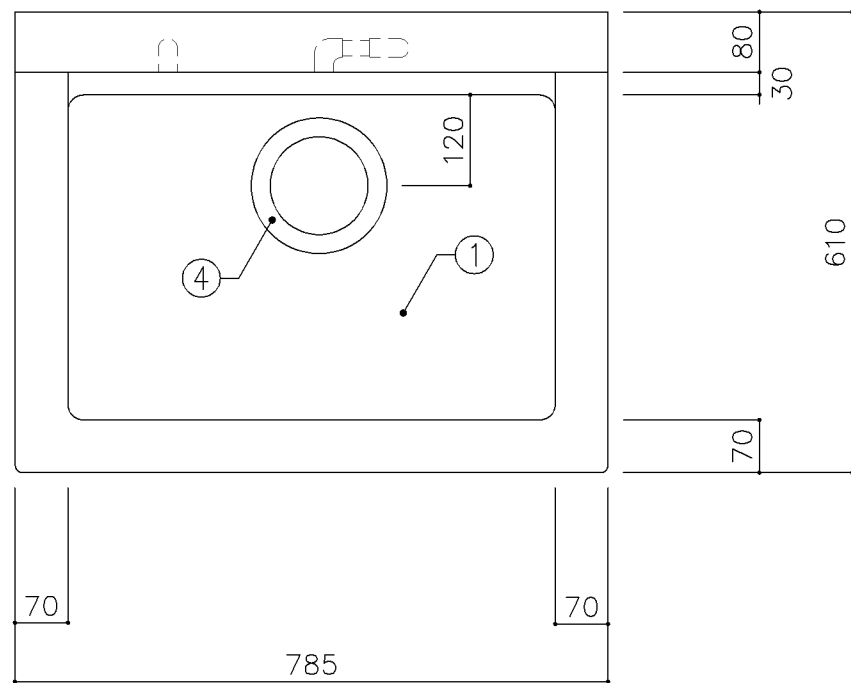
仕様		
番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304-1.0t
②	幕板	SUS 304-1.0t
③	骨組	SUS 430-L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AVP用 ゴミ収納付
⑤	給水横引管	20A VA
⑥	給水縦引管	20A VA
⑦	給湯縦引管	20A HVA

金物
番号 使用箇所 名称

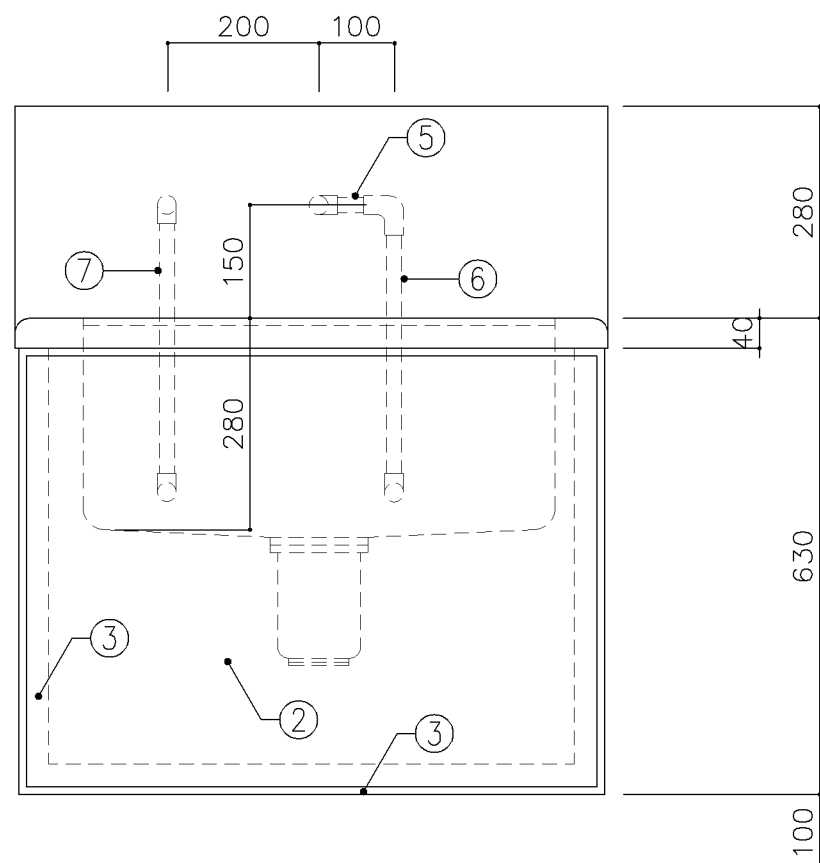
特記事項
混合×1

名称 清掃用流し
縮尺 1/10 記号 G-110
設計年月日 令和7年3月

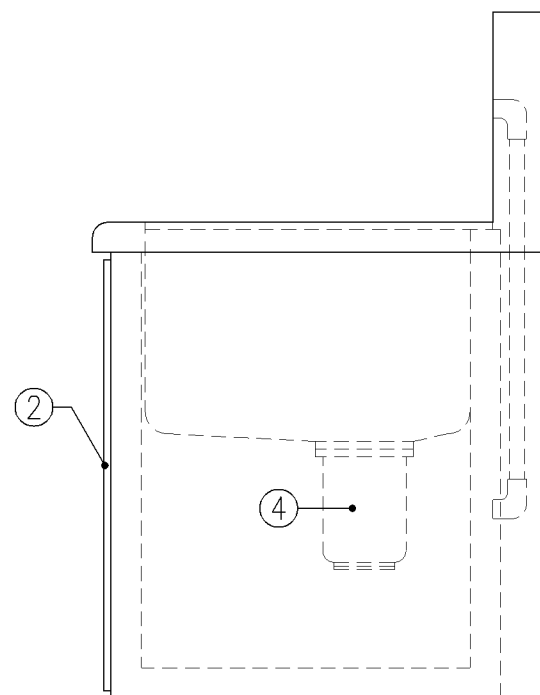
横浜市建築局



平面図



正面図



側面図

寸法
W785 × D610 × H630

使用箇所
家庭科教室（中学校）

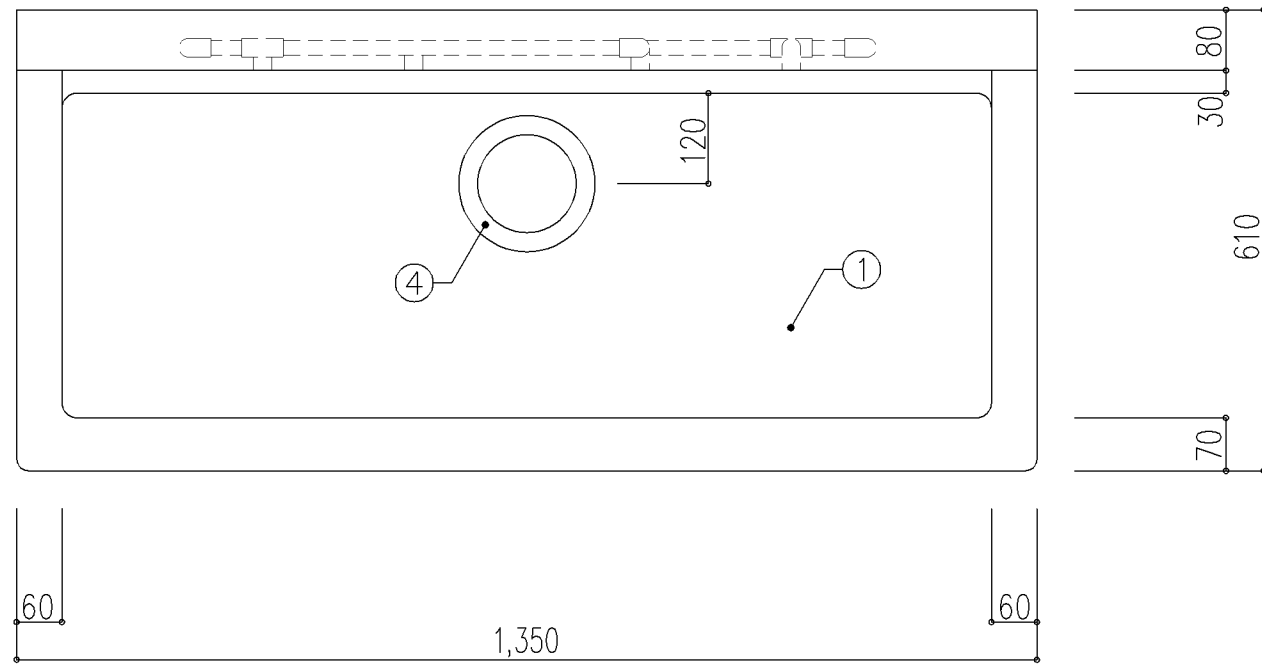
仕様		
番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304-1.0t
②	幕板	SUS 304-1.0t
③	骨組	SUS 430-L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AVP用 ゴミ収納付
⑤	給水横引管	20A VA
⑥	給水縦引管	20A VA
⑦	給湯縦引管	20A HVA

金物
番号 使用箇所 名称

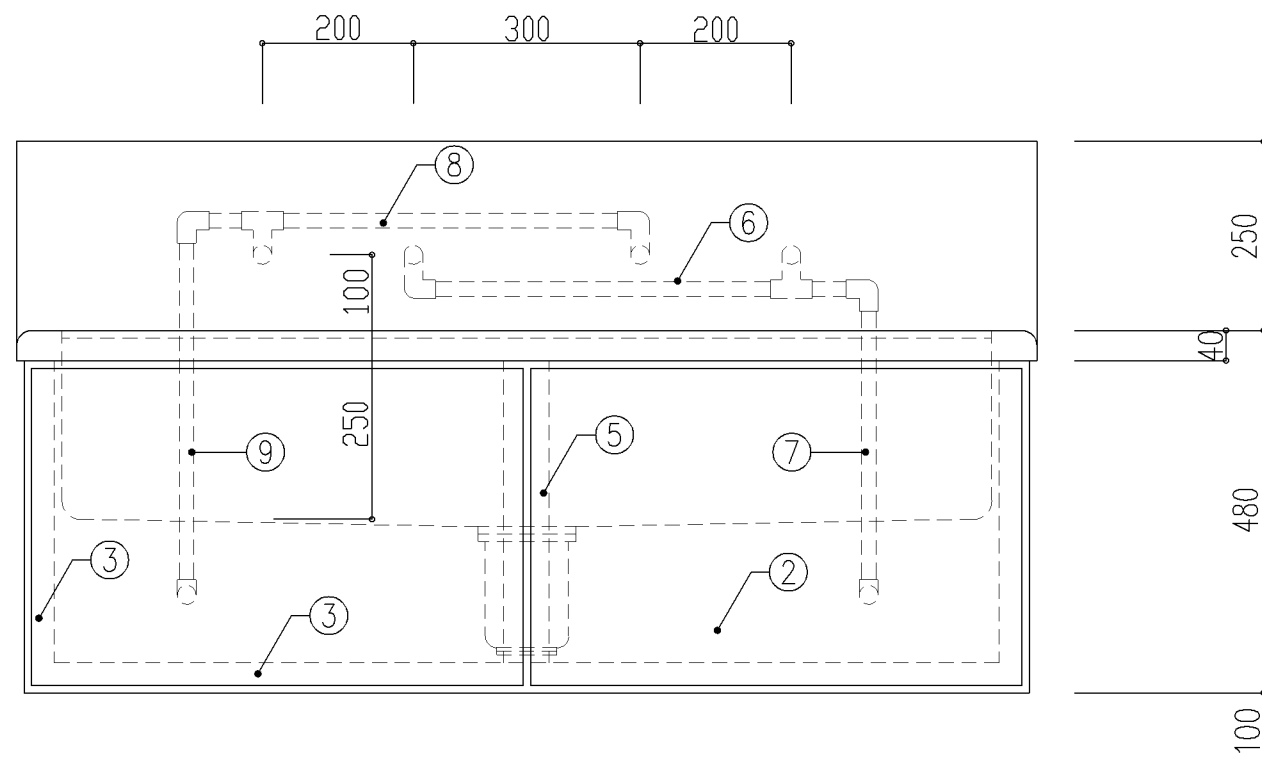
特記事項
混合×1

名称 清掃用流し
縮尺 1/10 記号 G-111
設計年月日 令和7年3月

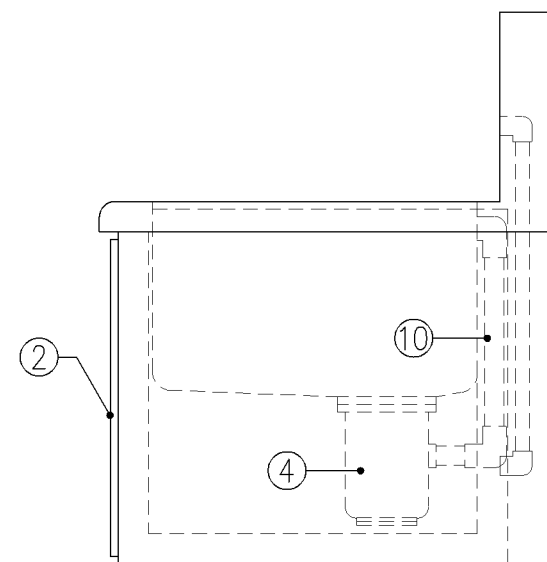
横浜市建築局



平面図



正面図



側面図

寸法
W1,350 × D610 × H480

使用箇所
個別支援学級教室（第二学習室）（小学校）

仕様		
番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304-1.0t
②	幕板	SUS 304-1.0t
③	骨組	SUS 430-L3×40×40
④	排水トラップ	50T14A0CVP用 ゴミ収納付
⑤	補強材	SUS 430-1.5t×60
⑥	給水横引管	20A VA
⑦	給水縦引管	20A VA
⑧	給湯横引管	20A HVA
⑨	給湯縦引管	20A HVA
⑩	オーバーフロー	20Aストレーナー付

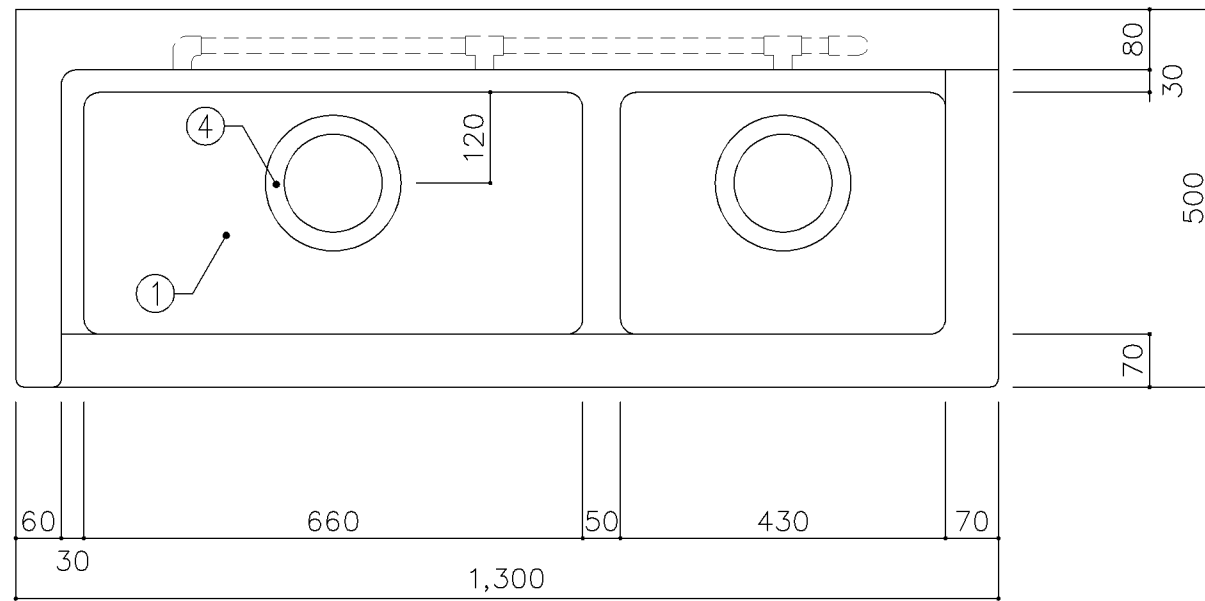
金物及びその他
番号使用箇所 名称

特記事項

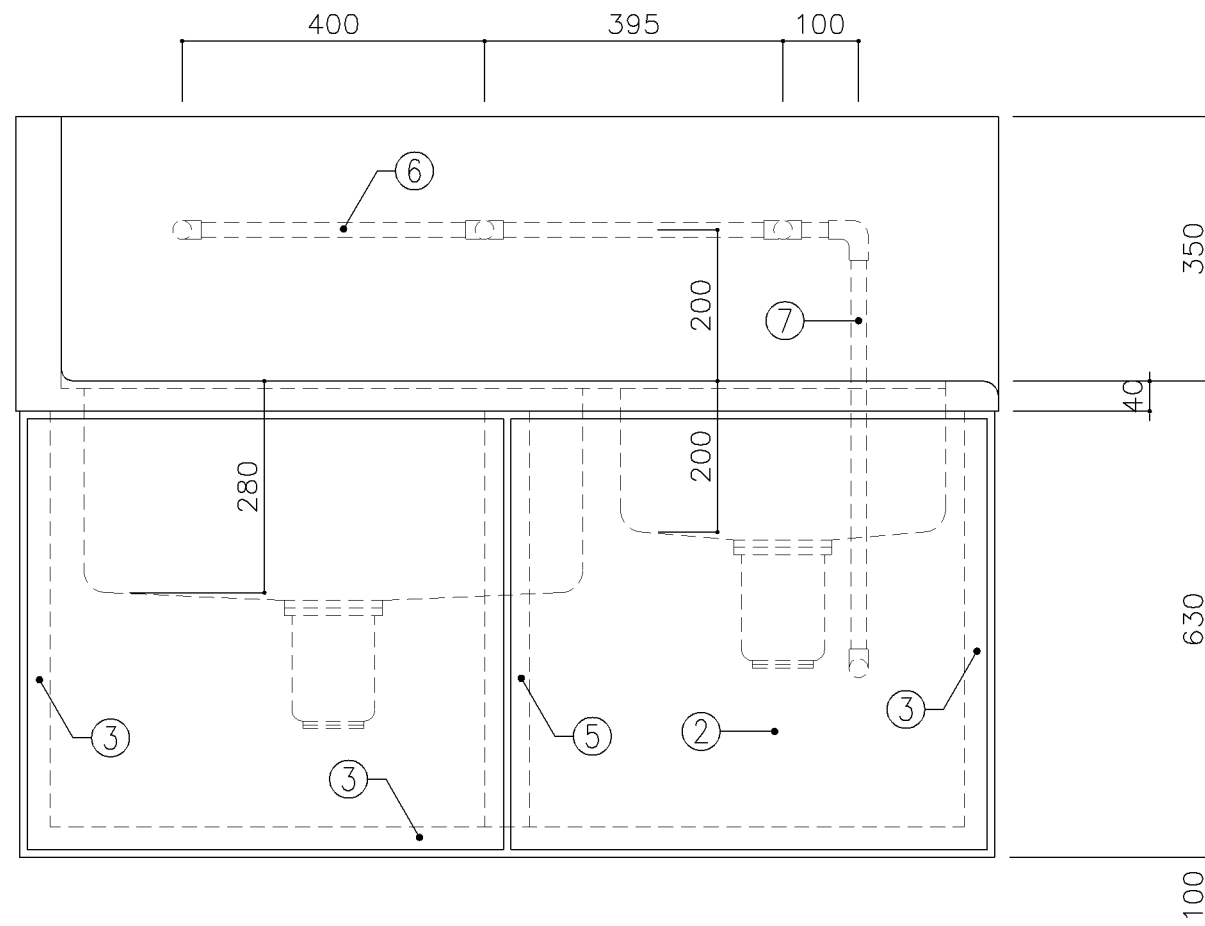
・混合×2

名称	清掃用流し		
縮尺	1/10	記号	G-112
設計年月日	令和7年3月		

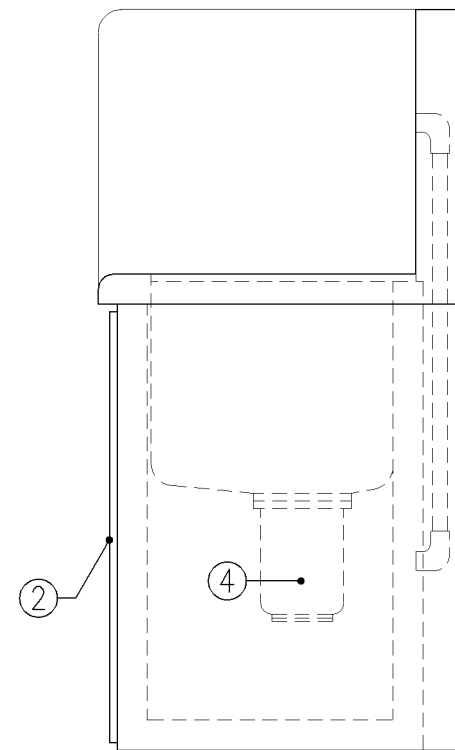
横浜市建築局



平面図

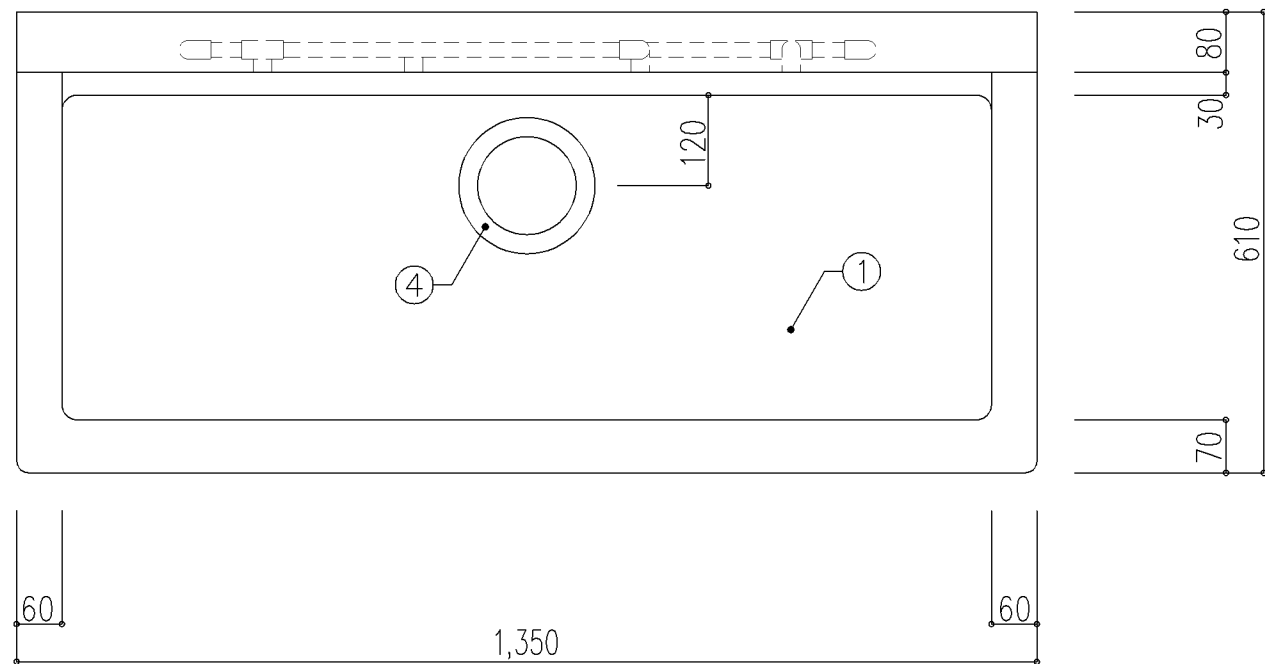


正面図

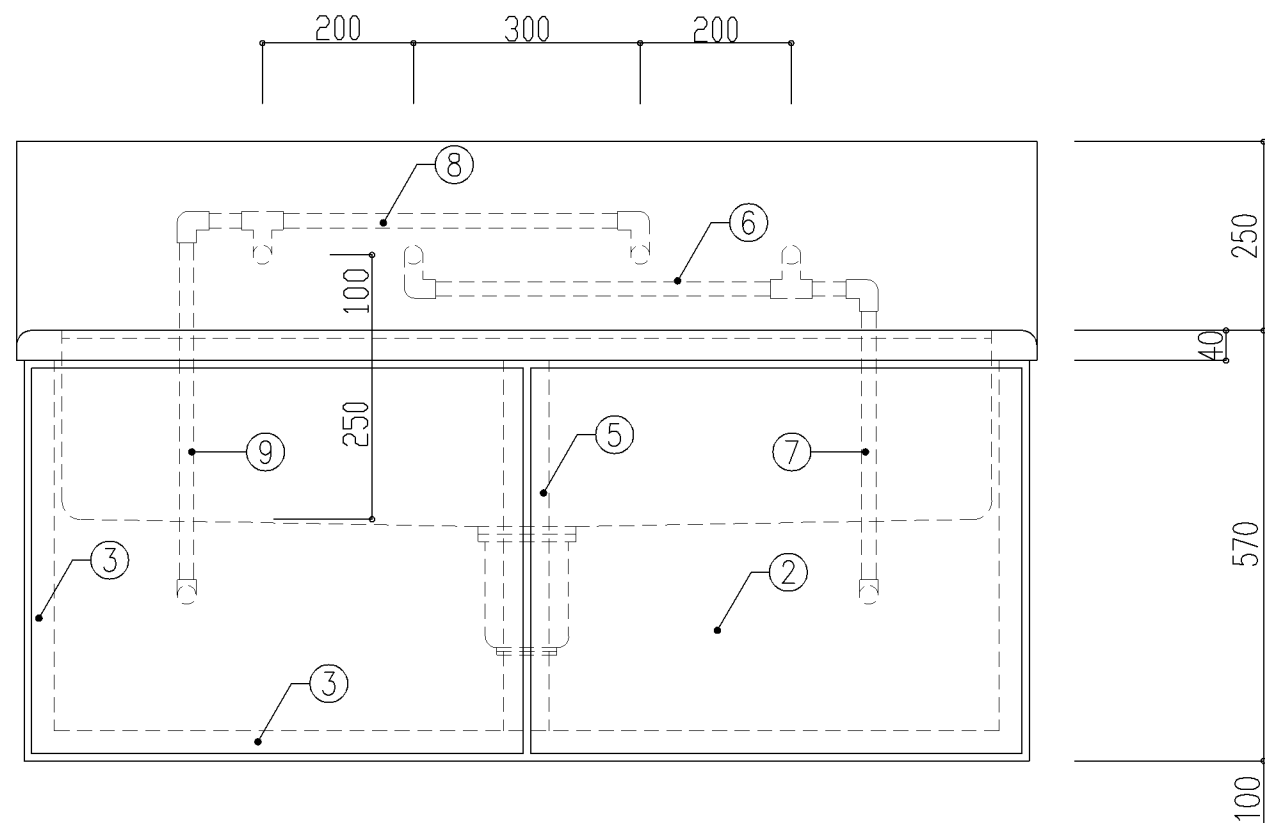


側面図

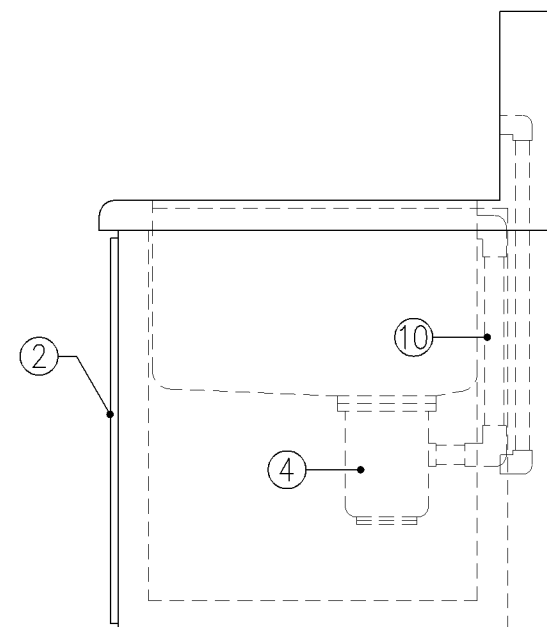
寸法		
W1,300 × D500 × H630		
使用箇所		
倉庫		
仕様		
番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304-1.0t
②	幕板	SUS 304-1.0t
③	骨組	SUS 430-L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AVP用 ゴミ収納付
⑤	補強材	SUS 430-1.5t×60
⑥	給水横引管	20A VA
⑦	給水縦引管	20A VA
金物		
番号	使用箇所	名称
特記事項		
給水×3		
名称	清掃用二槽流し	
縮尺	1/10	記号 G-113
設計年月日	令和7年3月	
横浜市建築局		



平面図



正面図



側面図

寸法
W1,350 × D610 × H570

使用箇所
個別支援学級教室（第二学習室）（中学校）

仕様		
番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304-1.0t
②	幕板	SUS 304-1.0t
③	骨組	SUS 430-L3×40×40
④	排水トラップ	50T14A0CVP用 ゴミ収納付
⑤	補強材	SUS 430-1.5t×60
⑥	給水横引管	20A VA
⑦	給水縦引管	20A VA
⑧	給湯横引管	20A HVA
⑨	給湯縦引管	20A HVA
⑩	オーバーフロー	20Aストレーナー付

金物及びその他
番号使用箇所 名称

特記事項

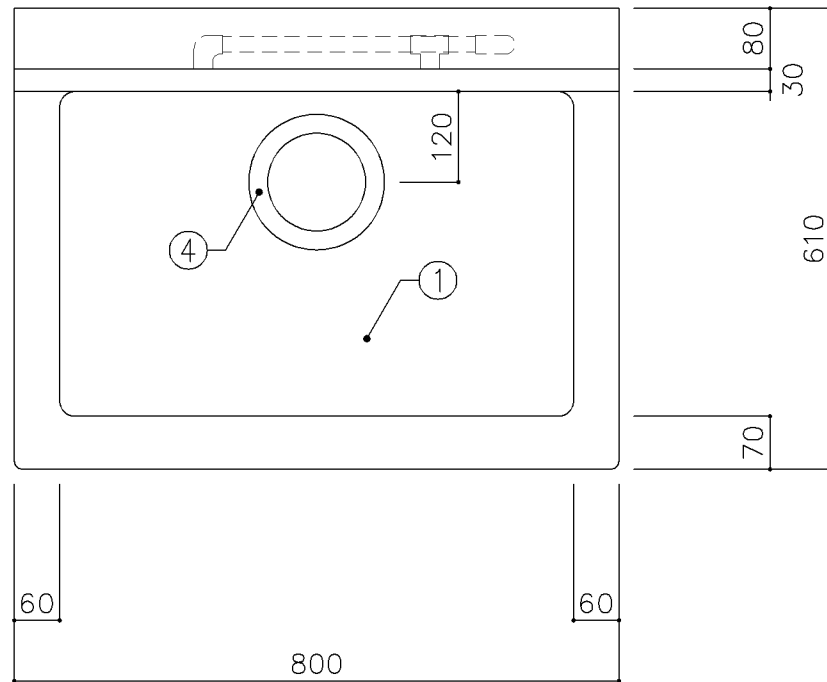
・混合×2

名称 清掃用流し

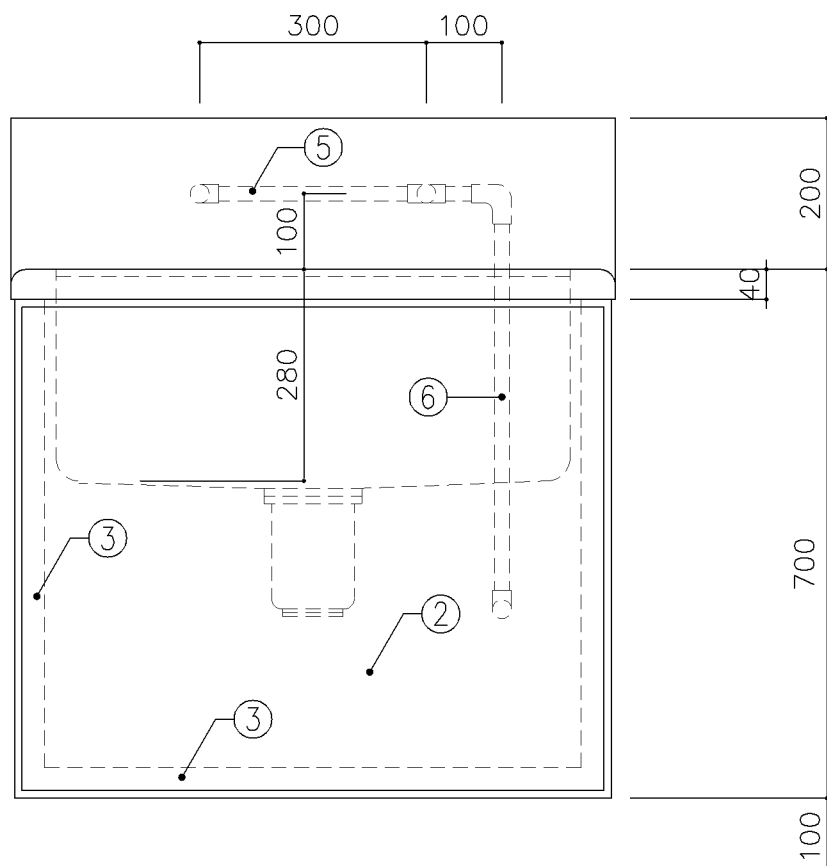
縮尺 1/10 記号 G-114

設計年月日 令和7年3月

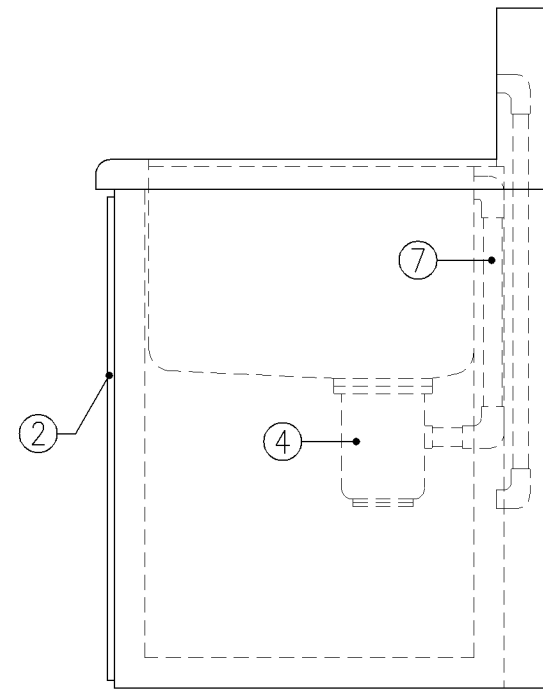
横浜市建築局



平面図



正面図



側面図

寸法
W800 × D610 × H700

使用箇所

図画工作準備室

仕様

番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304-1.0t
②	幕板	SUS 304-1.0t
③	骨組	SUS 430-L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AOCVP用 ゴミ収納付
⑤	給水横引管	20A VA
⑥	給水縦引管	20A VA
⑦	オーバーフロー	25Aストレーナー付

金物

番号 使用箇所 名称

特記事項

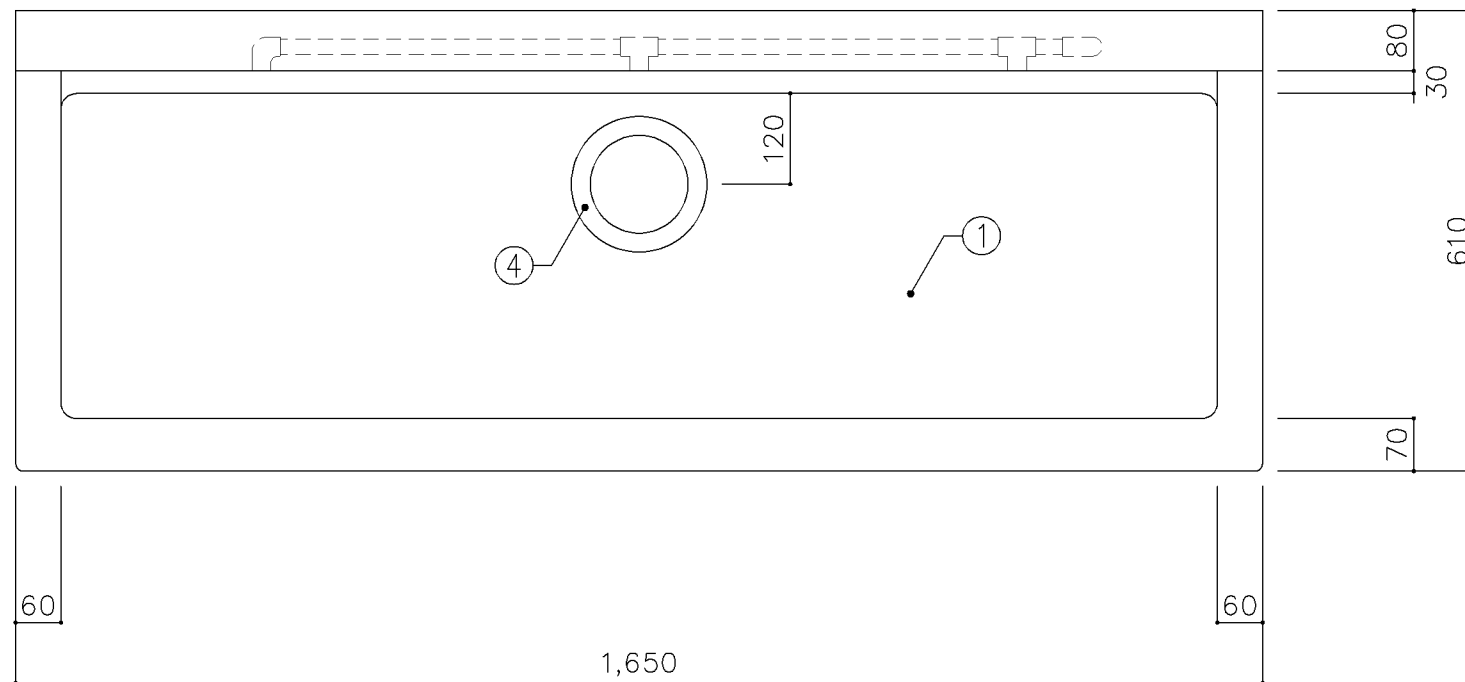
給水×2

名称 一槽流し

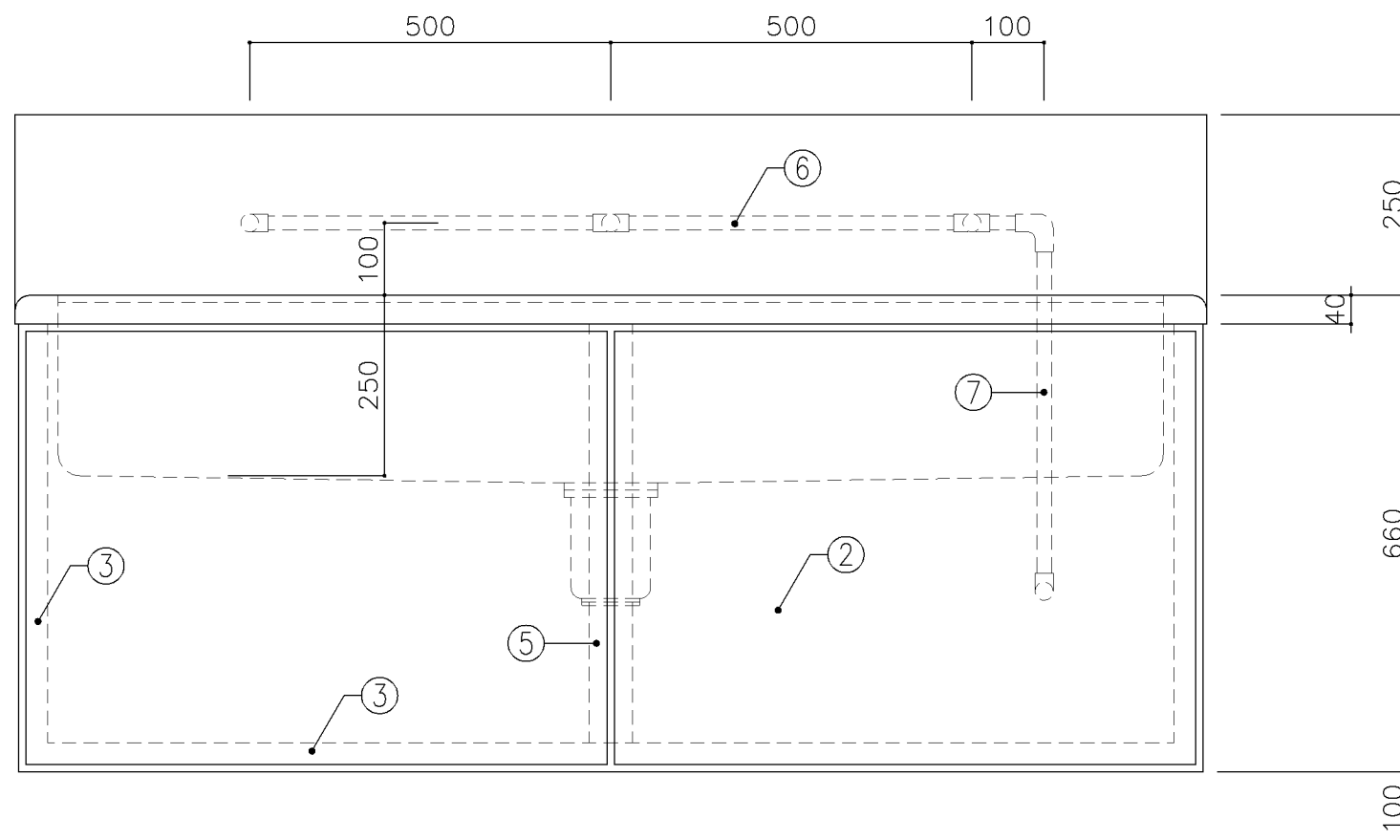
縮尺 1/10 記号 G-120

設計年月日 令和7年3月

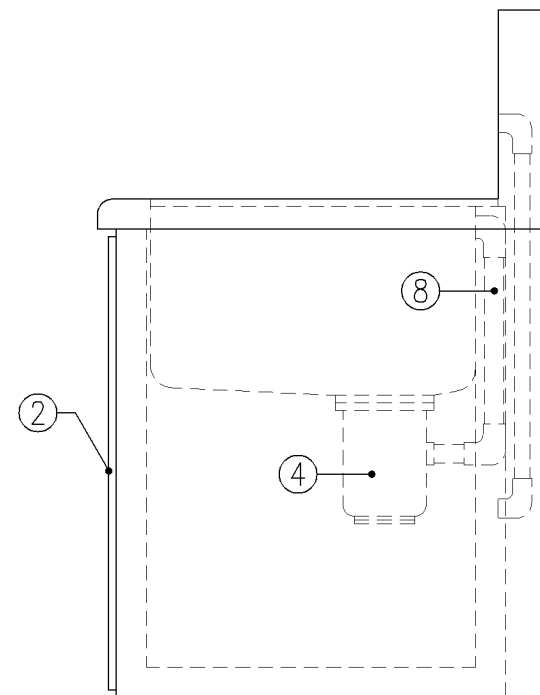
横浜市建築局



平面図

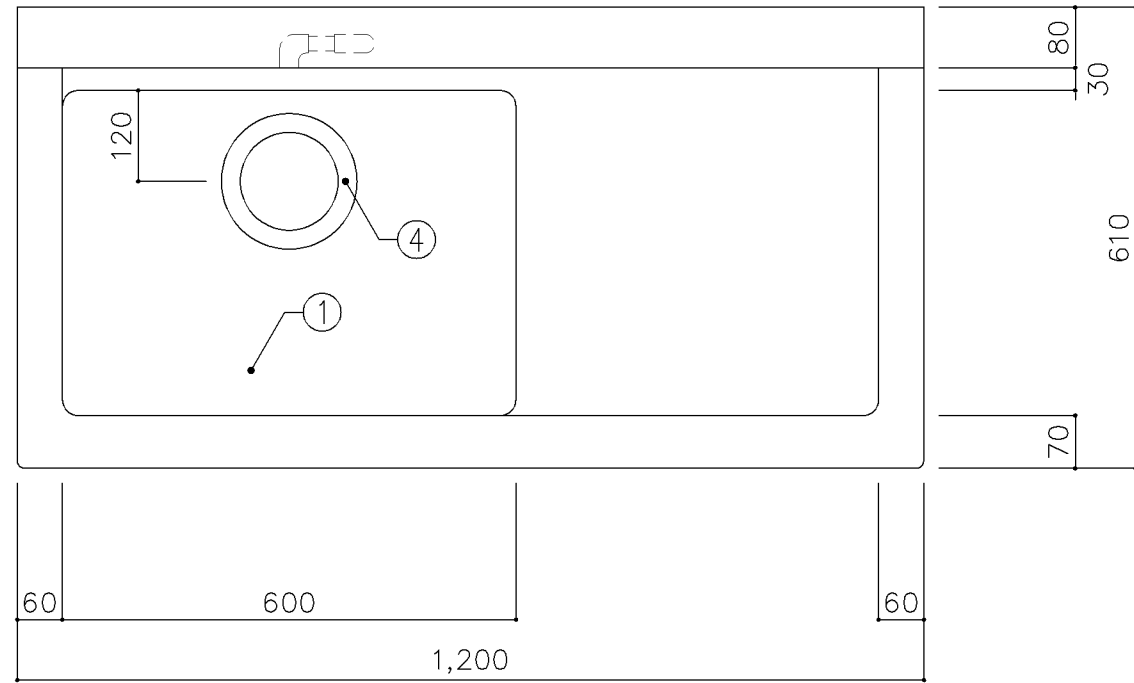


正面図

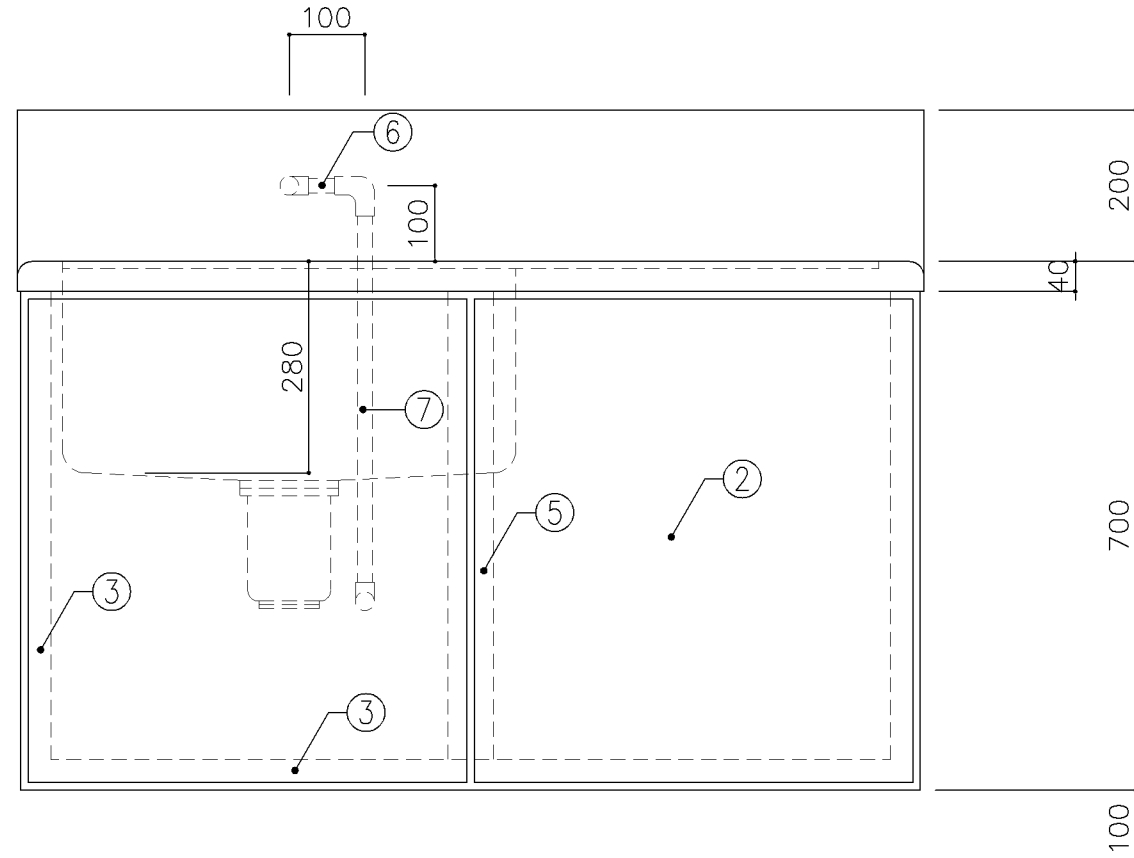


側面図

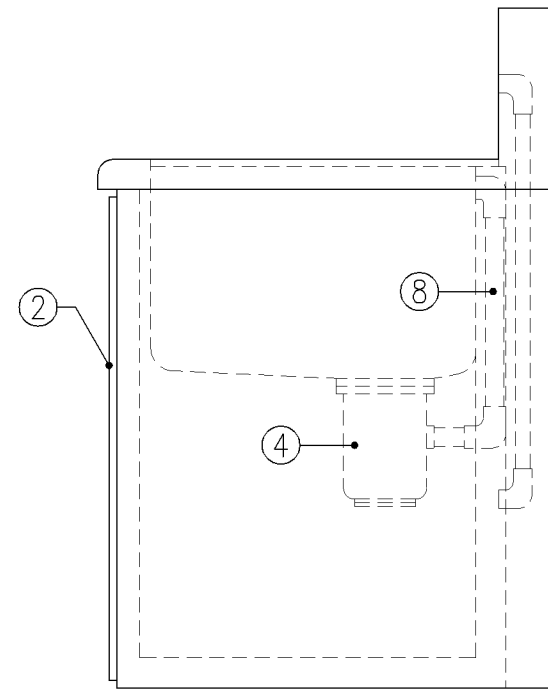
寸 法			
W1,650 × D610 × H660			
使用箇所			
美術教室			
仕 様			
番号	名称	材質	
①	甲板・水槽	SUS 304-1.0t	
②	幕板	SUS 304-1.0t	
③	骨組	SUS 430-L3×40×40	
④	排水トラップ	50T14AOCVP用 ゴミ収納付	
⑤	補強材	SUS 430-1.5t×60	
⑥	給水横引管	20A VA	
⑦	給水縦引管	20A VA	
⑧	オーバーフロー	25Aストレーナー付	
金 物			
番号	使用箇所	名称	
特記事項			
給水×3			
名称	一槽流し		
縮尺	1/10	記号	G-121
設計年月日	令和7年3月		
横浜市建築局			



平面図

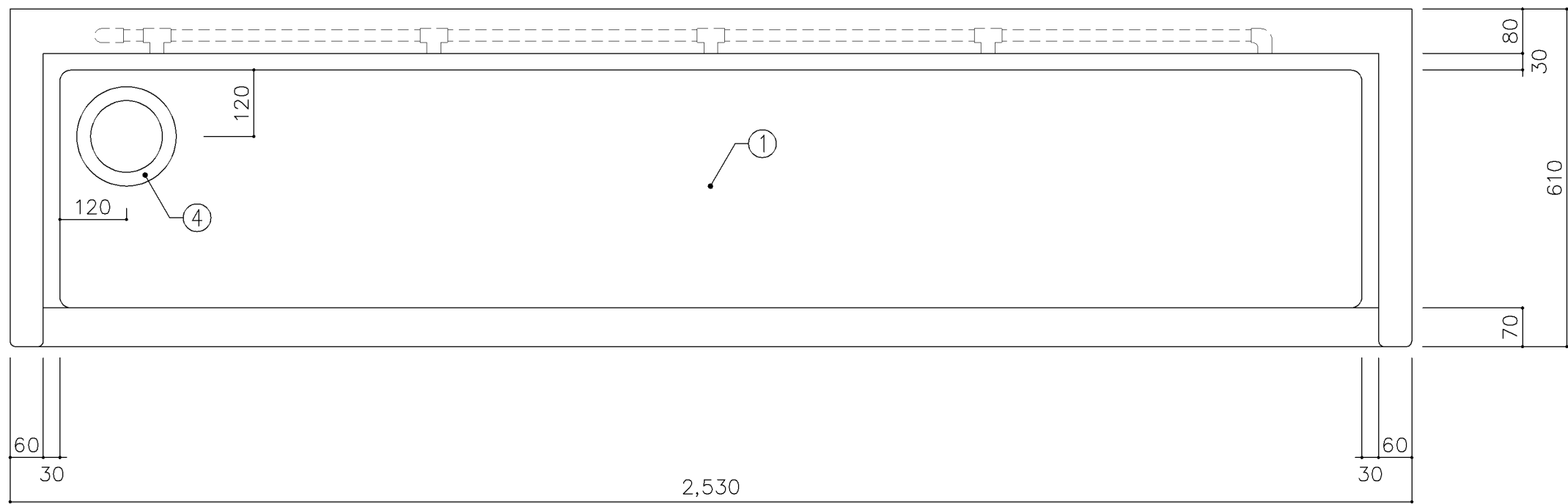


正面図

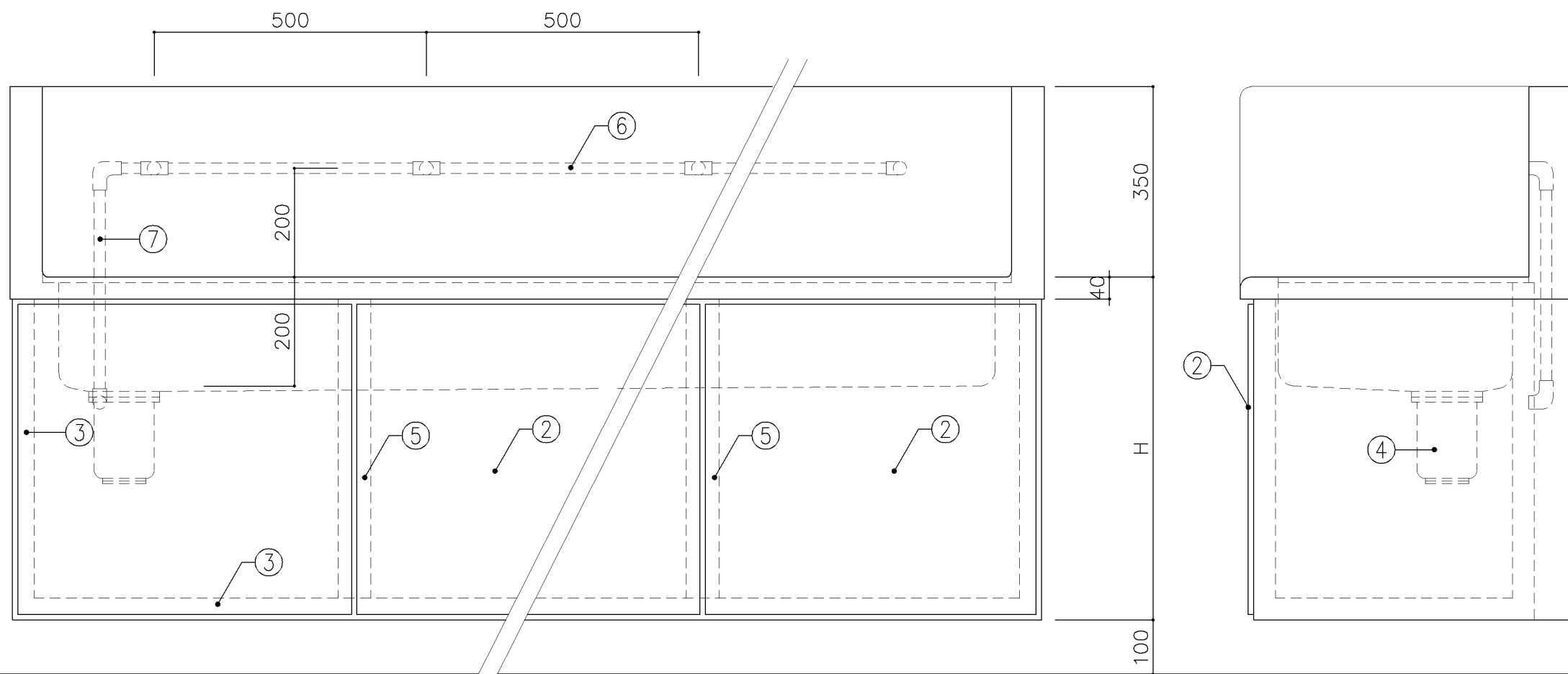


側面図

寸 法			
W1,200 × D610 × H700			
使用箇所			
美術準備室			
仕 様			
番号	名称	材質	
①	甲板・水槽	SUS 304-1.0t	
②	幕板	SUS 304-1.0t	
③	骨組	SUS 430-L3×40×40	
④	排水トラップ	50T14AOCVP用 ゴミ収納付	
⑤	補強材	SUS 430-1.5t×60	
⑥	給水横引管	20A VA	
⑦	給水縦引管	20A VA	
⑧	オーバーフロー	25Aストレーナー付	
金 物			
番号	使用箇所	名 称	
特記事項			
給水×1			
名称	作業台付一槽流し		
縮尺	1/10	記号	G-122
設計年月日		令和7年3月	
横浜市建築局			



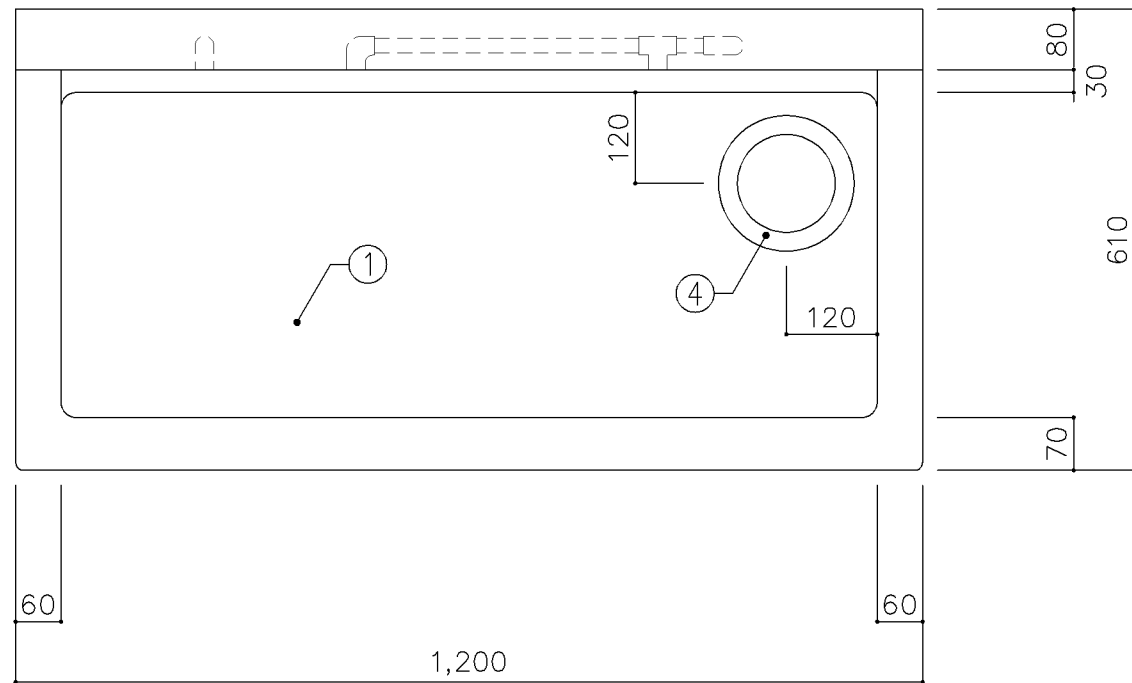
平面図



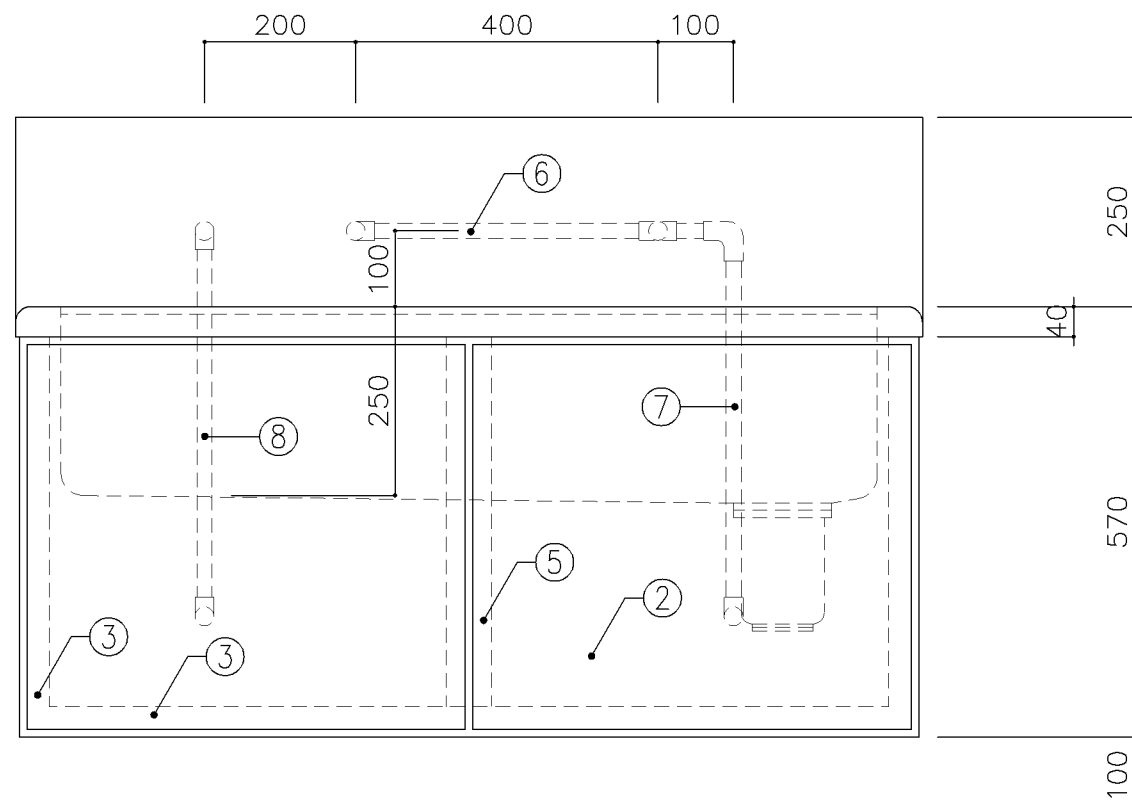
正面図

側面図

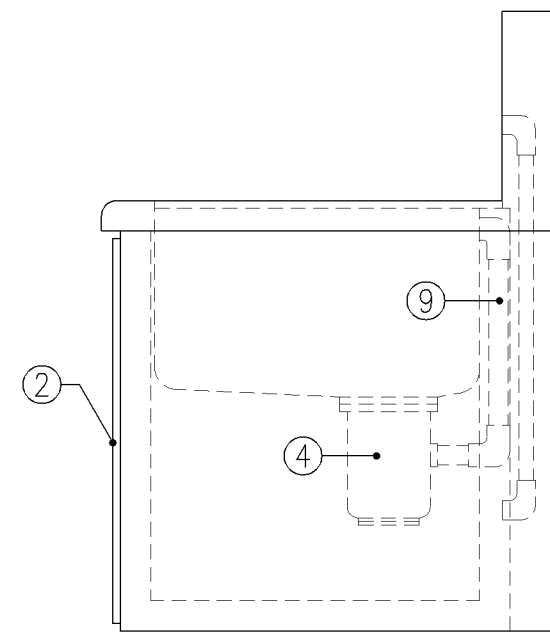
寸法		
A: W2,530 x D610 x H480		
B: W2,530 x D610 x H630		
使用箇所		
A: 廊下(小学校)		
B: 廊下(中学校)		
仕様		
番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304-1.0t
②	幕板	SUS 304-1.0t
③	骨組	SUS 430-L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AVP用 ゴミ収納付
⑤	補強材	SUS 430-1.5t×60
⑥	給水横引管	20A VA
⑦	給水縦引管	20A VA
金物		
番号	使用箇所	名称
特記事項		
・W寸法は実施設計対応とする。		
給水×5		
名称	一槽手洗い流し	
縮尺	1/10	記号 G-123
設計年月日	令和7年3月	
横浜市建築局		



平面図

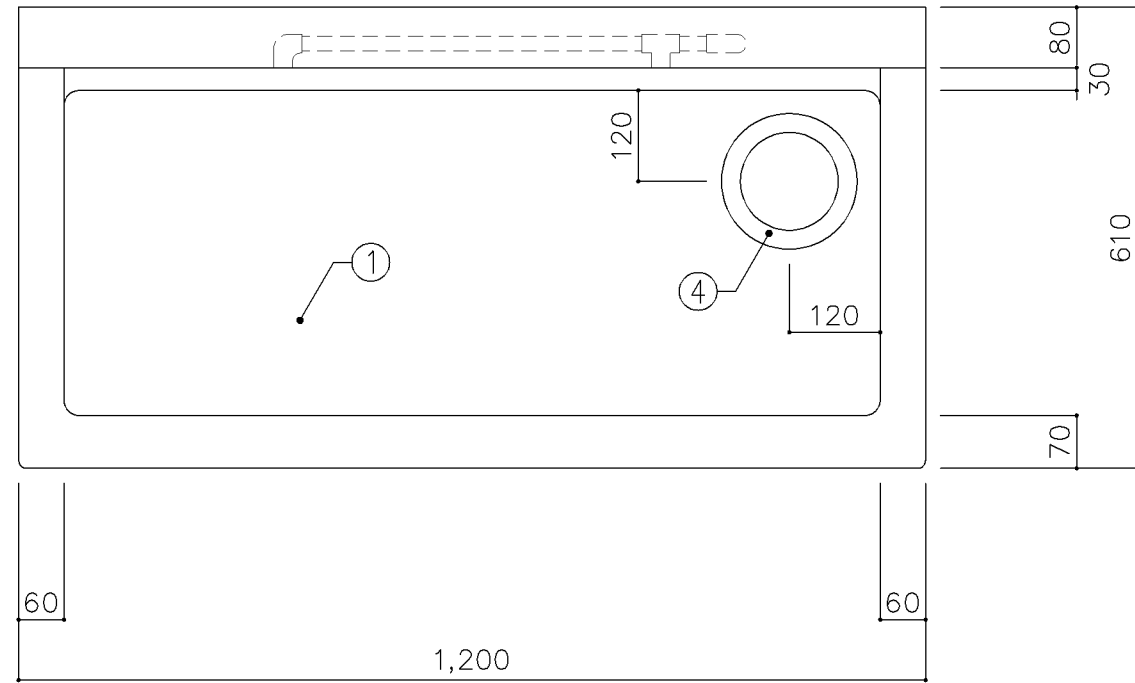


正面図

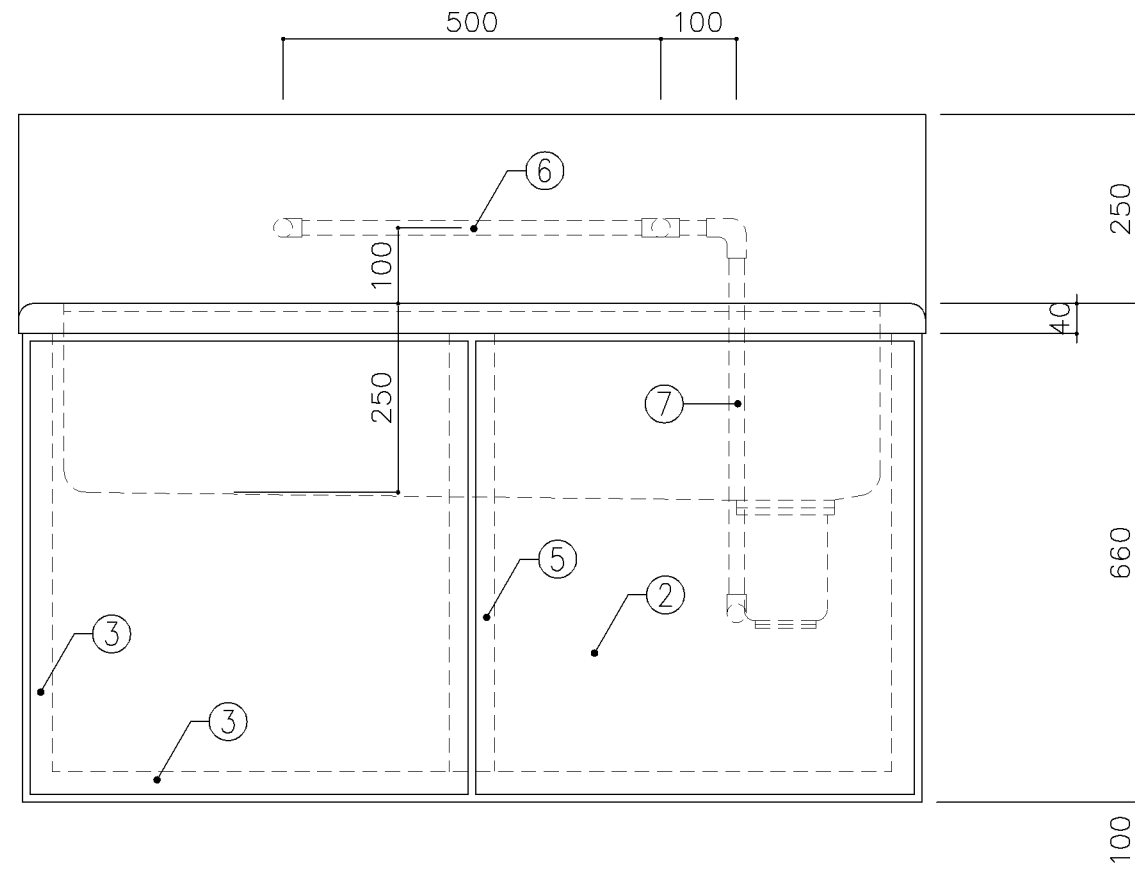


側面図

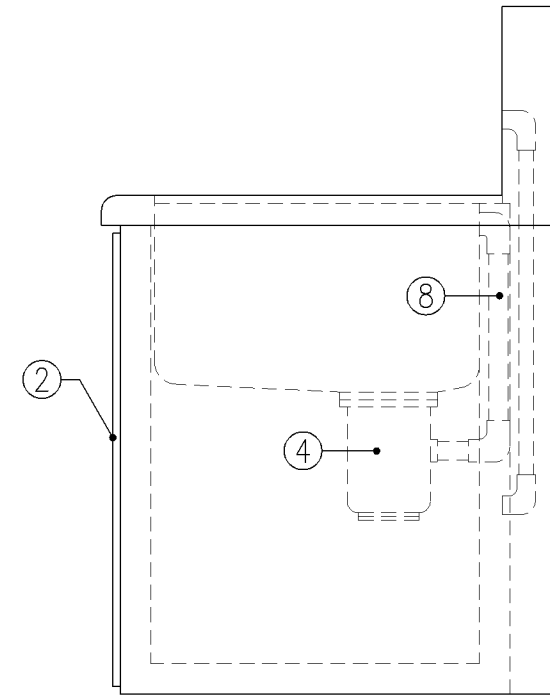
寸 法			
W1,200 x D610 x H570			
使用箇所			
家庭科教室（小学校）			
仕 様			
番号	名称	材質	
①	甲板・水槽	SUS 304-1.0t	
②	幕板	SUS 304-1.0t	
③	骨組	SUS 430-L3×40×40	
④	排水トラップ	50T14AOCVP用 ゴミ収納付	
⑤	補強材	SUS 430-1.5t×60	
⑥	給水横引管	20A VA	
⑦	給水縦引管	20A VA	
⑧	給湯縦引管	20A HVA	
⑨	オーバーフロー	25Aストレーナー付	
金 物			
番号	使用箇所	名 称	
特記事項			
給水×1			
混合×1（左）			
名称	一槽流し		
縮尺	1/10	記号	G-130A
設計年月日		令和7年3月	
横浜市建築局			



平面図

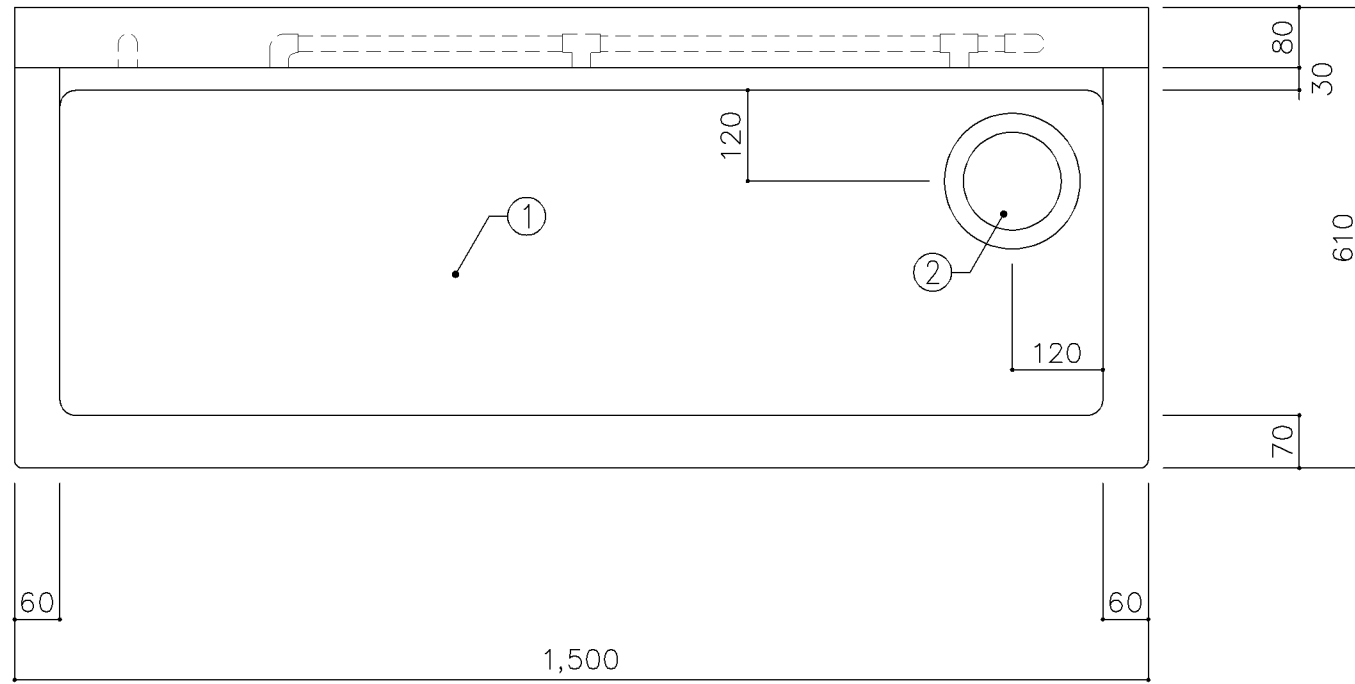


正面図

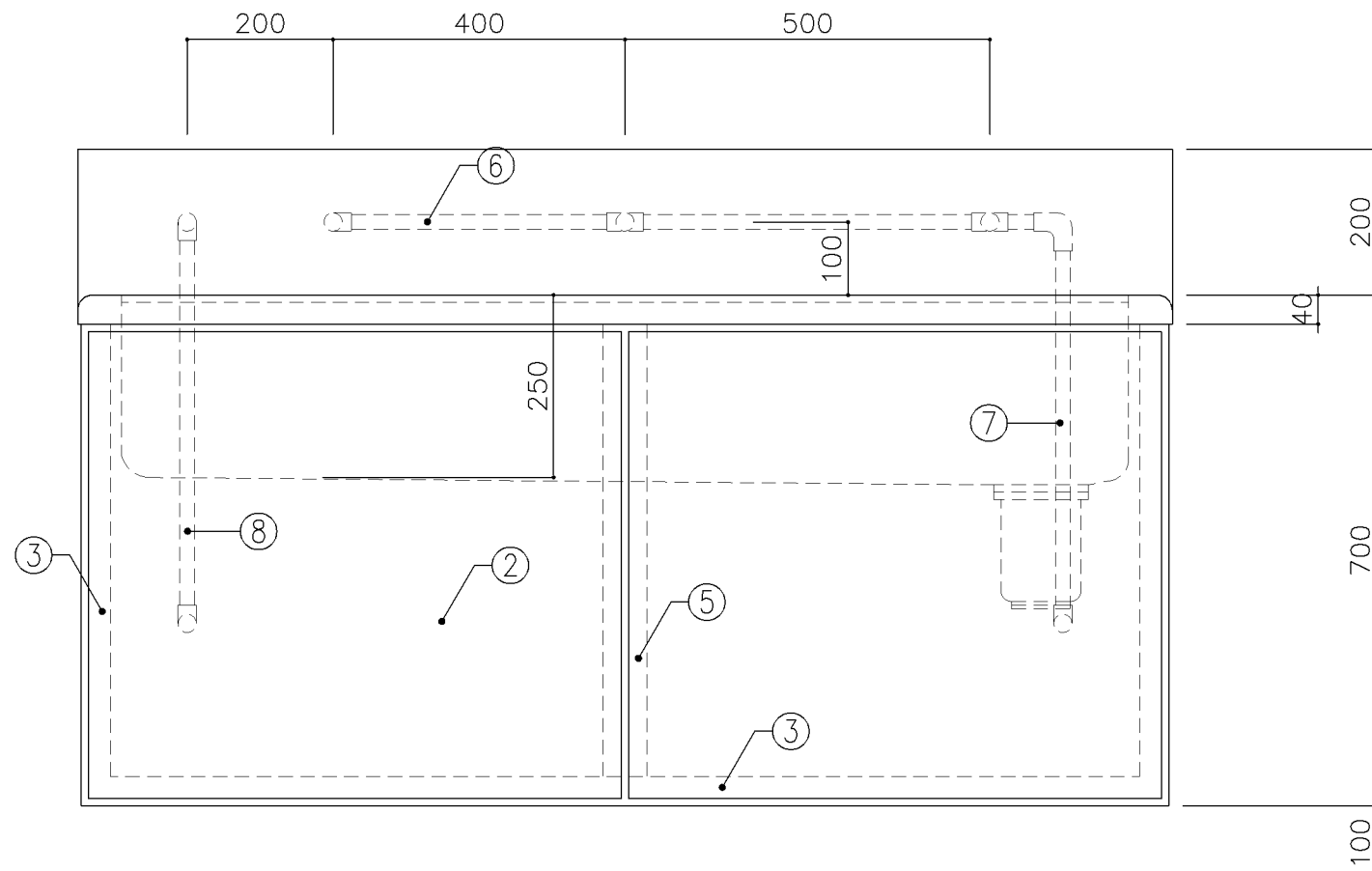


側面図

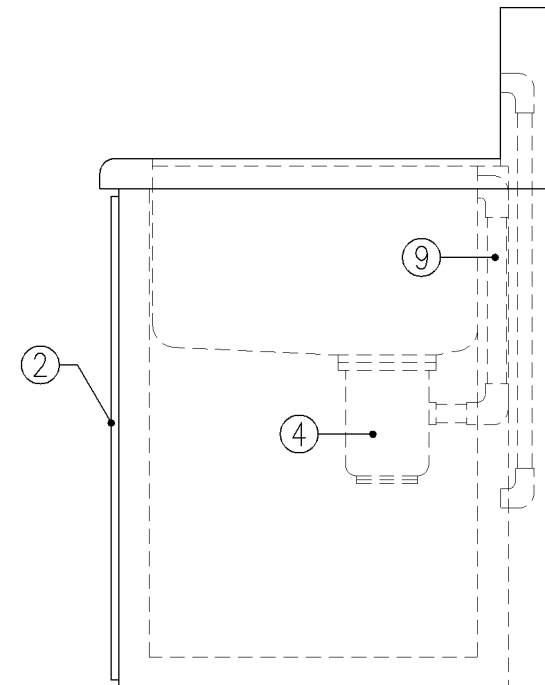
寸 法			
W1,200 x D610 x H660			
使用箇所			
家庭科準備室（中学校）			
給食配膳室（1）、給食配膳室（2）			
仕 様			
番号	名称	材質	
①	甲板・水槽	SUS 304-1.0t	
②	幕板	SUS 304-1.0t	
③	骨組	SUS 430-L3×40×40	
④	排水トラップ	50T14AOCVP用 ゴミ収納付	
⑤	補強材	SUS 430-1.5t×60	
⑥	給水横引管	20A VA	
⑦	給水縦引管	20A VA	
⑧	オーバーフロー	25Aストレーナー付	
金 物			
番号	使用箇所	金 物 名称	
特記事項			
給水×2			
名称	一槽流し		
縮尺	1/10	記号	G-130B
設計年月日	令和7年3月		
横浜市建築局			



平面図

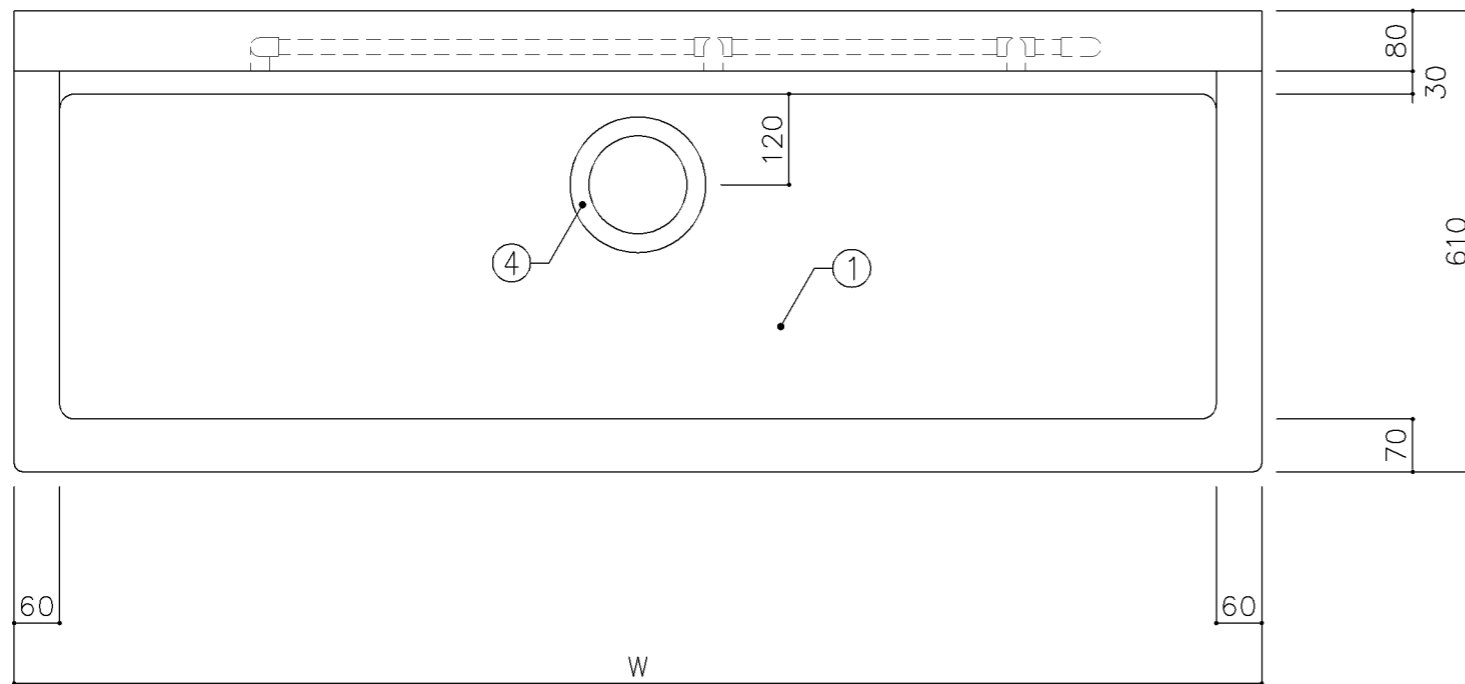


正面図

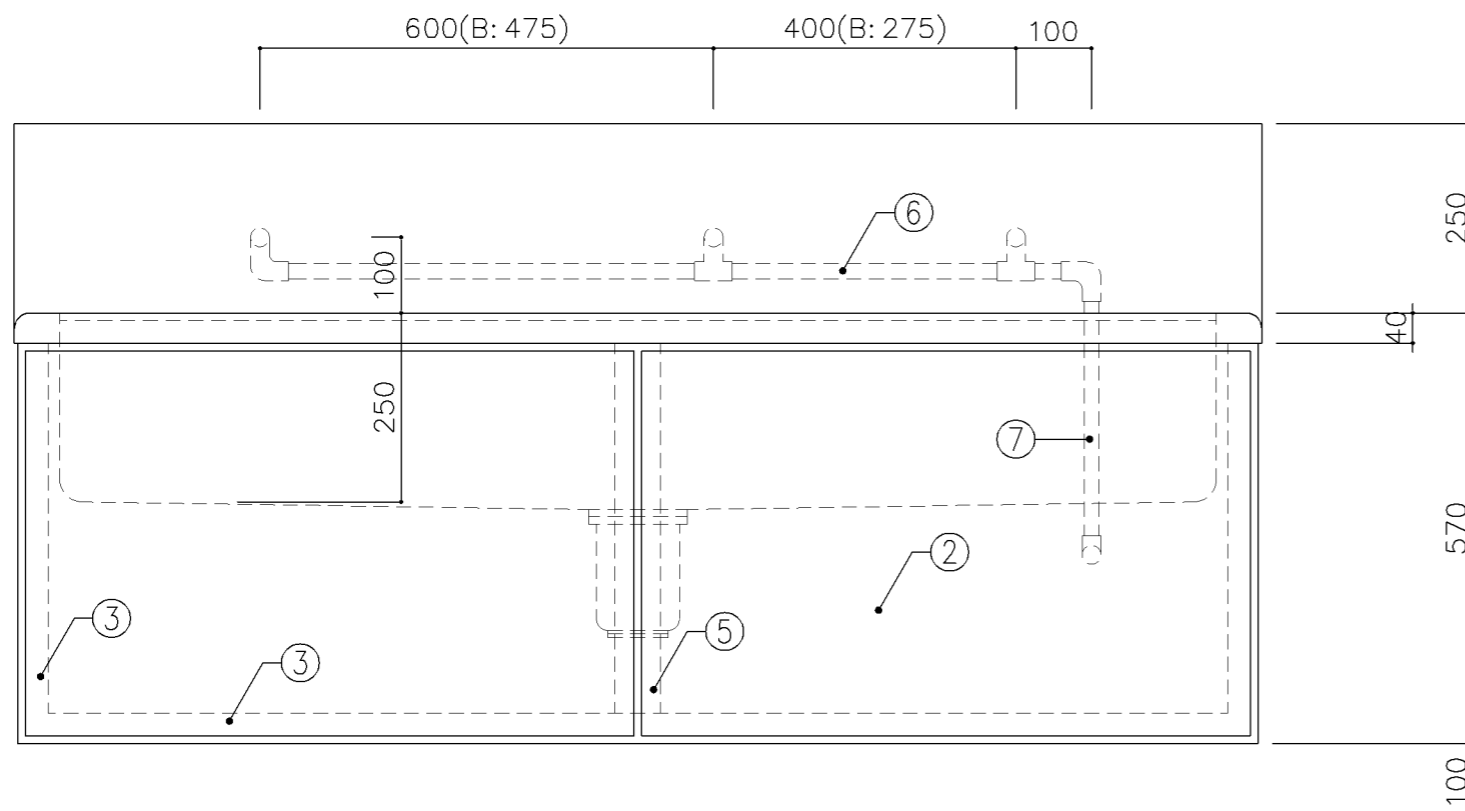


側面図

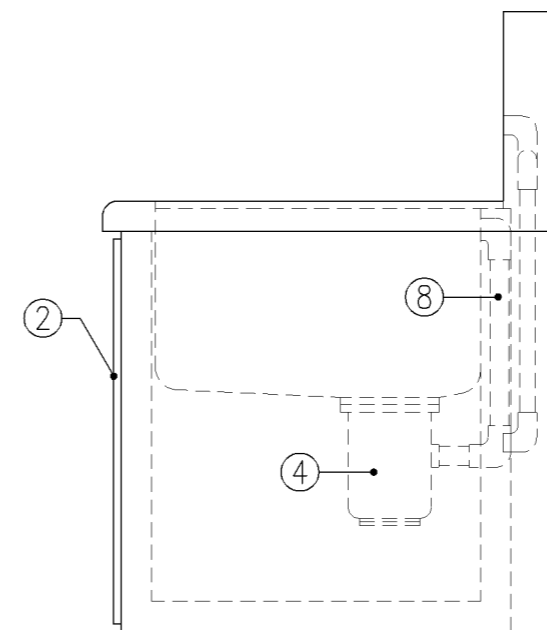
寸 法			
W1,500 × D610 × H700			
使用箇所			
理科準備室			
仕 様			
番号	名称	材質	
①	甲板・水槽	SUS 304-1.0t	
②	幕板	SUS 304-1.0t	
③	骨組	SUS 430-L3×40×40	
④	排水トラップ	50T14AOCVP用 ゴミ収納付	
⑤	補強材	SUS 430-1.5t×60	
⑥	給水横引管	20A VA	
⑦	給水縦引管	20A VA	
⑧	給湯縦引管	20A HVA	
⑨	オーバーフロー	25Aストレーナー付	
金 物			
番号	使用箇所	名称	
特記事項			
給水×2			
混合×1 (左)			
名称	一槽流し		
縮尺	1/10	記号	G-131
設計年月日		令和7年3月	
横浜市建築局			



平面図

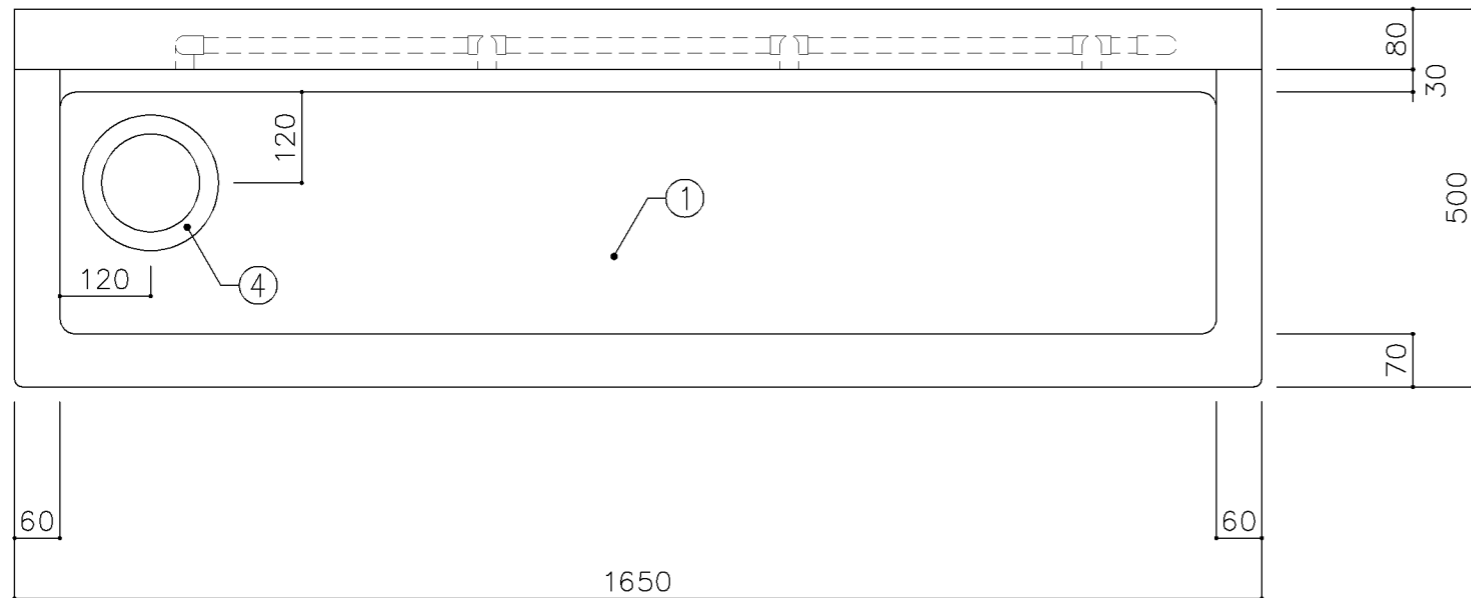


正面図

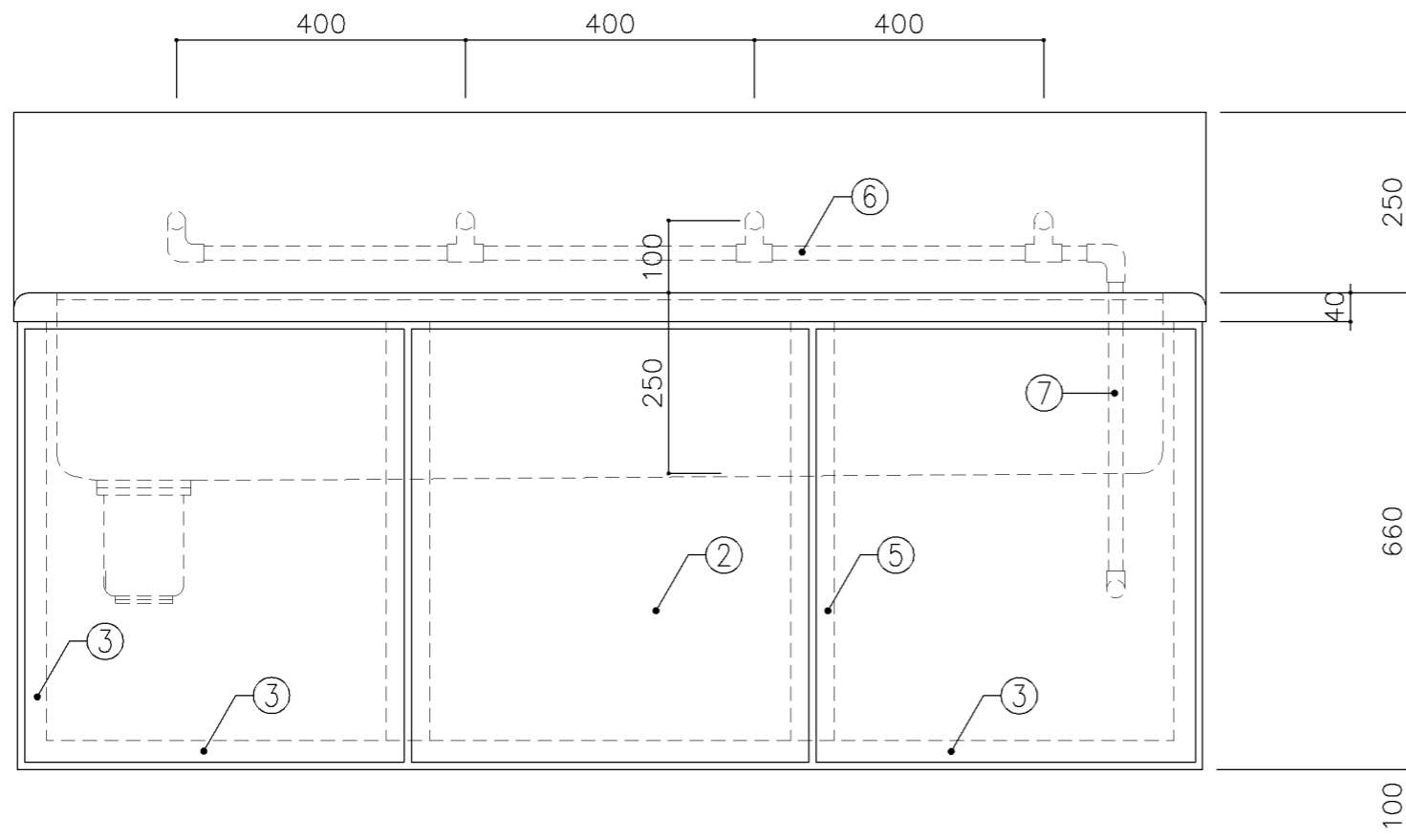


側面図

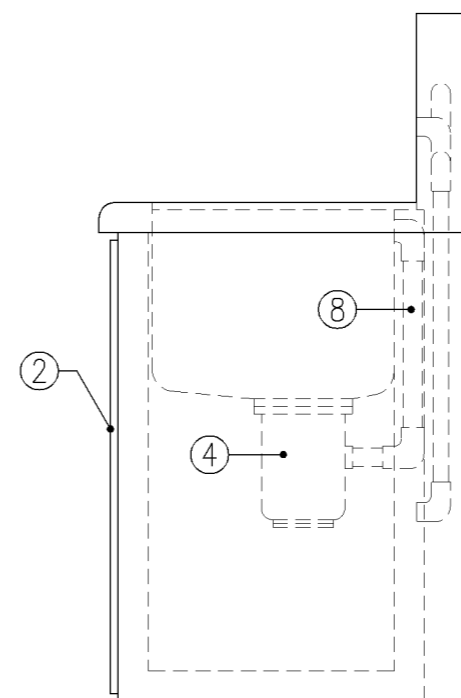
寸 法			
A: W1,650 x D610 x H570			
B: W1,400 x D610 x H570			
使用箇所			
A: 図画工作教室			
B: 多目的室(水廻り学習等)			
仕 様			
番号	名称	材質	
①	甲板・水槽	SUS 304-1.0t	
②	幕板	SUS 304-1.0t	
③	骨組	SUS 430-L3×40×40	
④	排水トラップ	50T14AOCVP用 ゴミ収納付	
⑤	補強材	SUS 430-1.5t×60	
⑥	給水横引管	20A VA	
⑦	給水縦引管	20A VA	
⑧	オーバーフロー	25Aストレーナー付	
金 物			
番号	使用箇所	名称	
特記事項			
給水×3			
名称	一槽流し		
縮尺	1/10	記号	G-132
設計年月日		令和7年3月	
横浜市建築局			



平面図



正面図



側面図

寸法
W1,650 × D500 × H660

使用箇所

技術教室

仕様

番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304-1.0t
②	幕板	SUS 304-1.0t
③	骨組	SUS 430-L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AOCVP用 ゴミ収納付
⑤	補強材	SUS 430-1.5t×60
⑥	給水横引管	20A VA
⑦	給水縦引管	20A VA
⑧	オーバーフロー	25Aストレーナー付

金物

番号 使用箇所 名称

特記事項

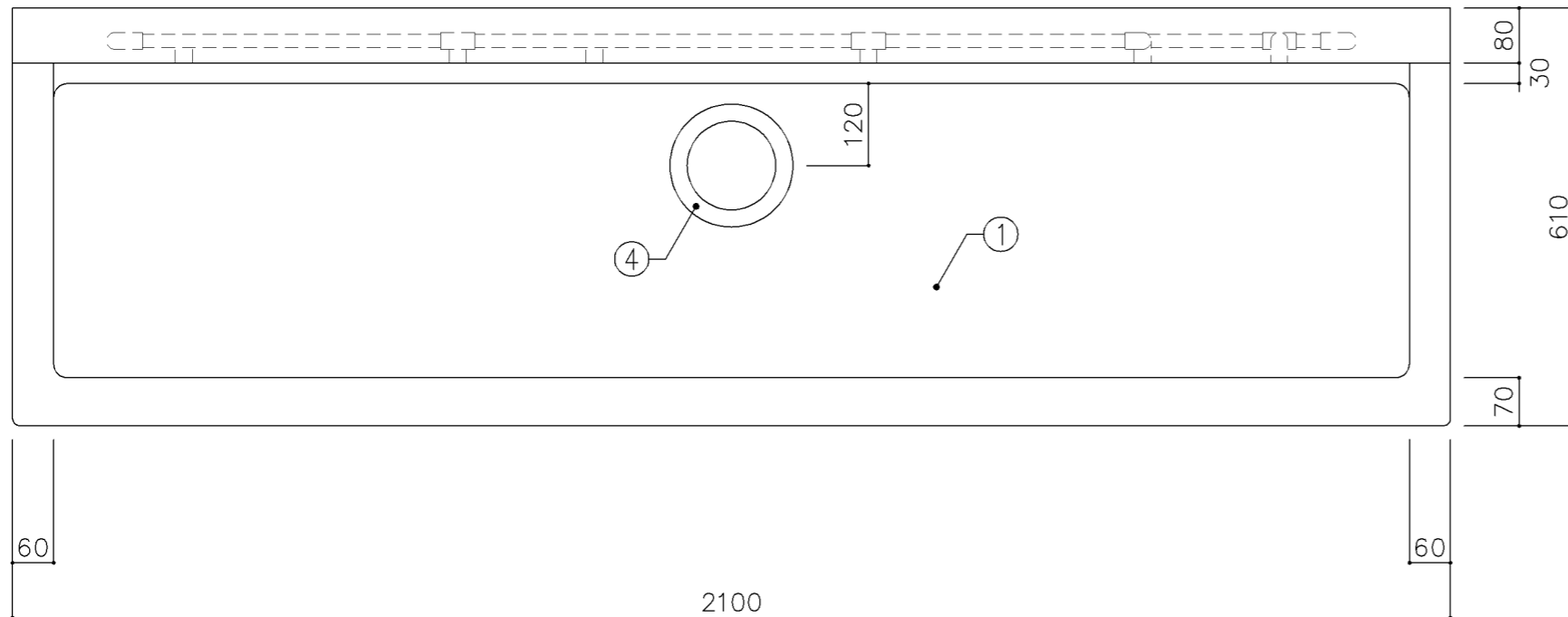
給水×4

名称 一槽流し

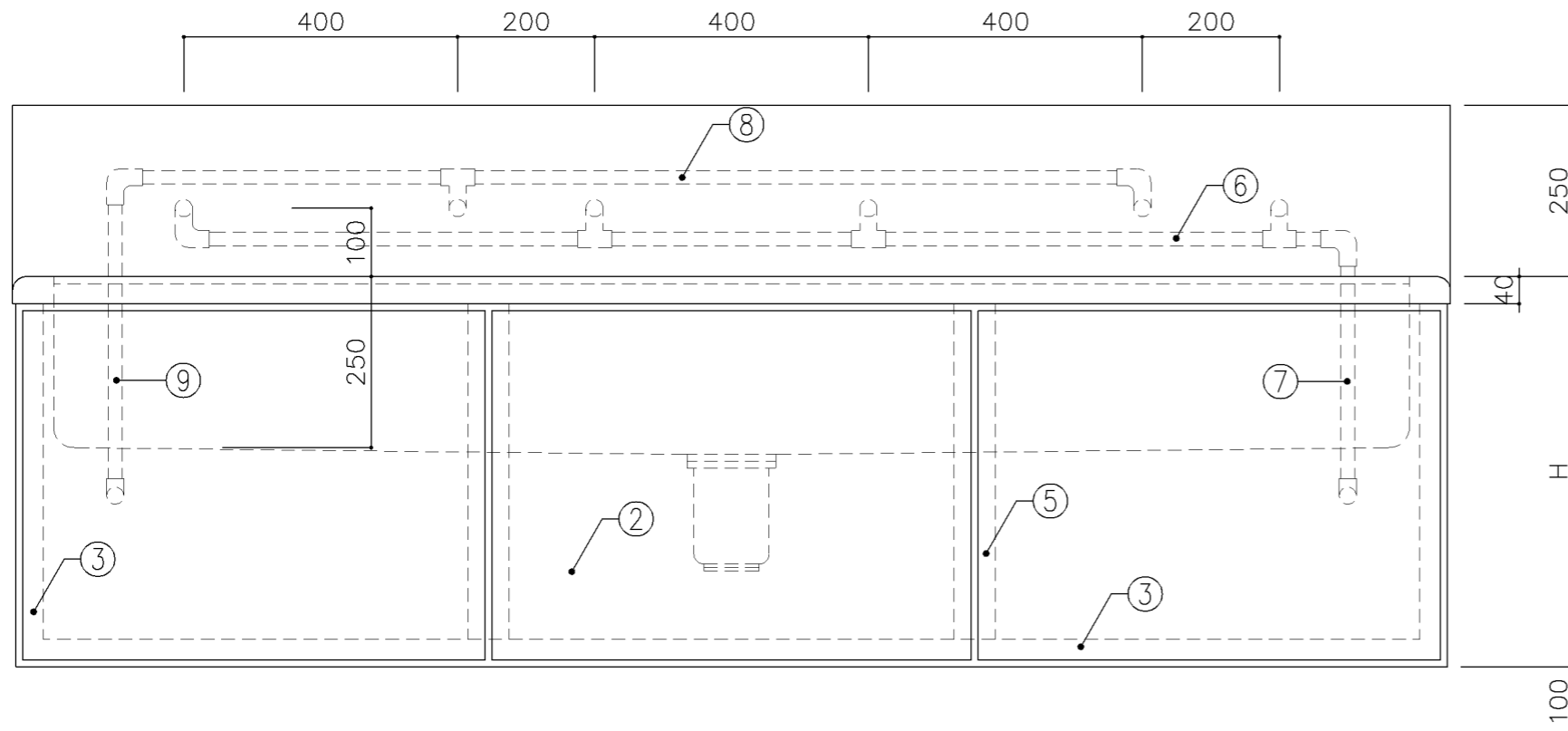
縮尺 1/10 記号 G-133

設計年月日 令和7年3月

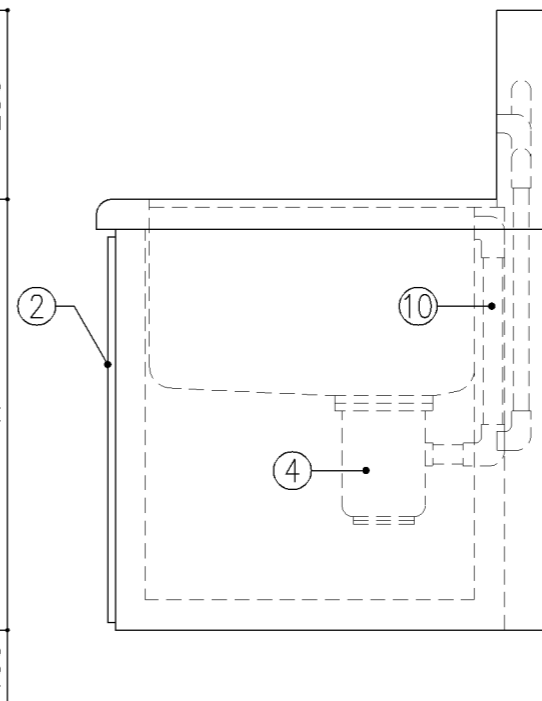
横浜市建築局



平面図

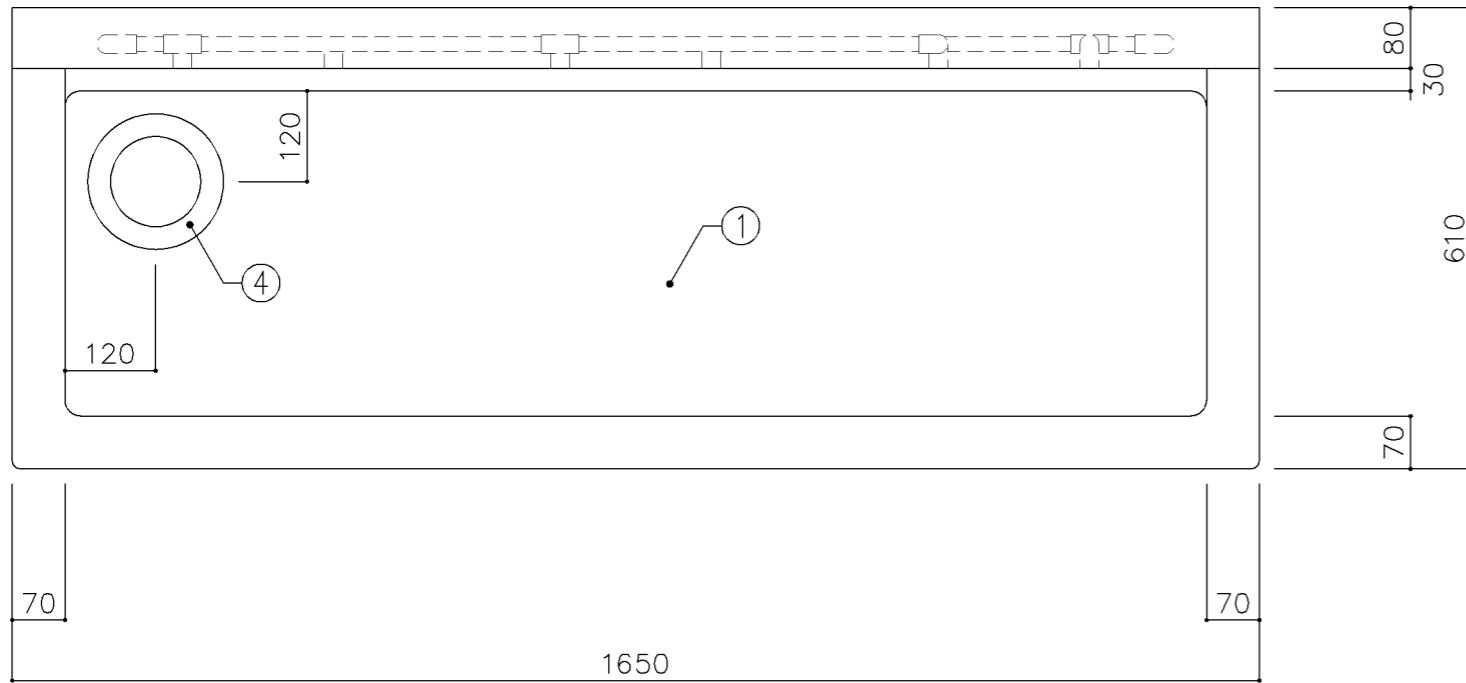


正面図

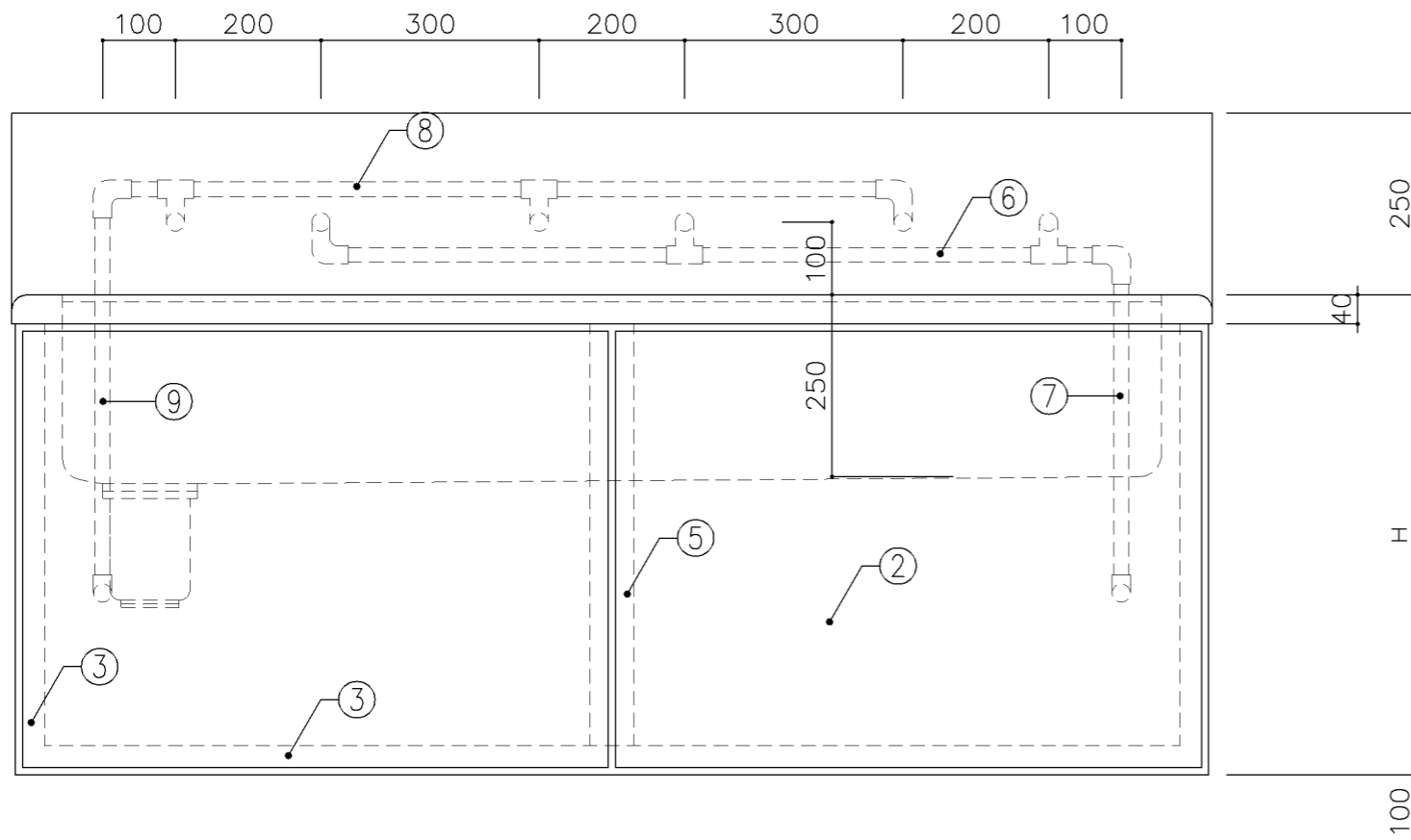


側面図

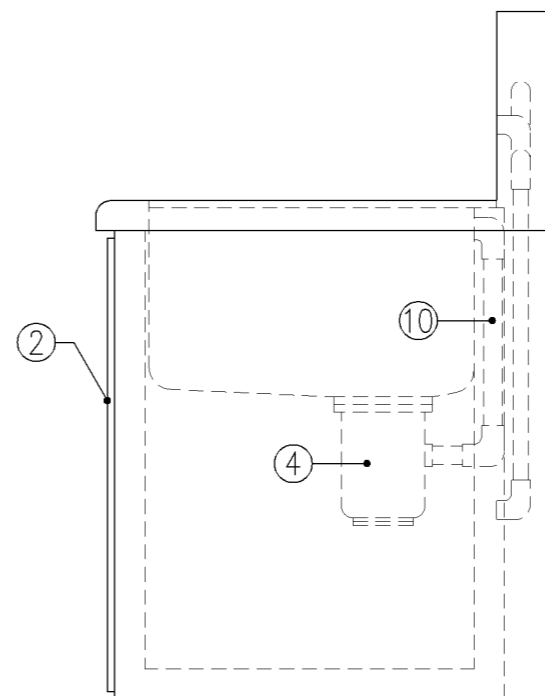
寸 法			
A:		W2,100 x D610 x H570	
B:		W2,100 x D610 x H660	
使用箇所			
A:		家庭科教室（小学校）	
B:		家庭科教室（中学校）	
仕 様			
番号	名称	材質	
①	甲板・水槽	SUS 304-1.0t	
②	幕板	SUS 304-1.0t	
③	骨組	SUS 430-L3×40×40	
④	排水トラップ	50T14AOCVP用 ゴミ収納付	
⑤	補強材	SUS 430-1.5t×60	
⑥	給水横引管	20A VA	
⑦	給水縦引管	20A VA	
⑧	給湯横引管	20A HVA	
⑨	給湯縦引管	20A HVA	
⑩	オーバーフロー	25Aストレーナー付	
金 物			
番号	使用箇所	名称	
特記事項			
給水×2			
混合×2（交互）			
名称		一槽流し	
縮尺	1/10	記号	G-134
設計年月日		令和7年3月	
横浜市建築局			



平面図



正面図



側面図

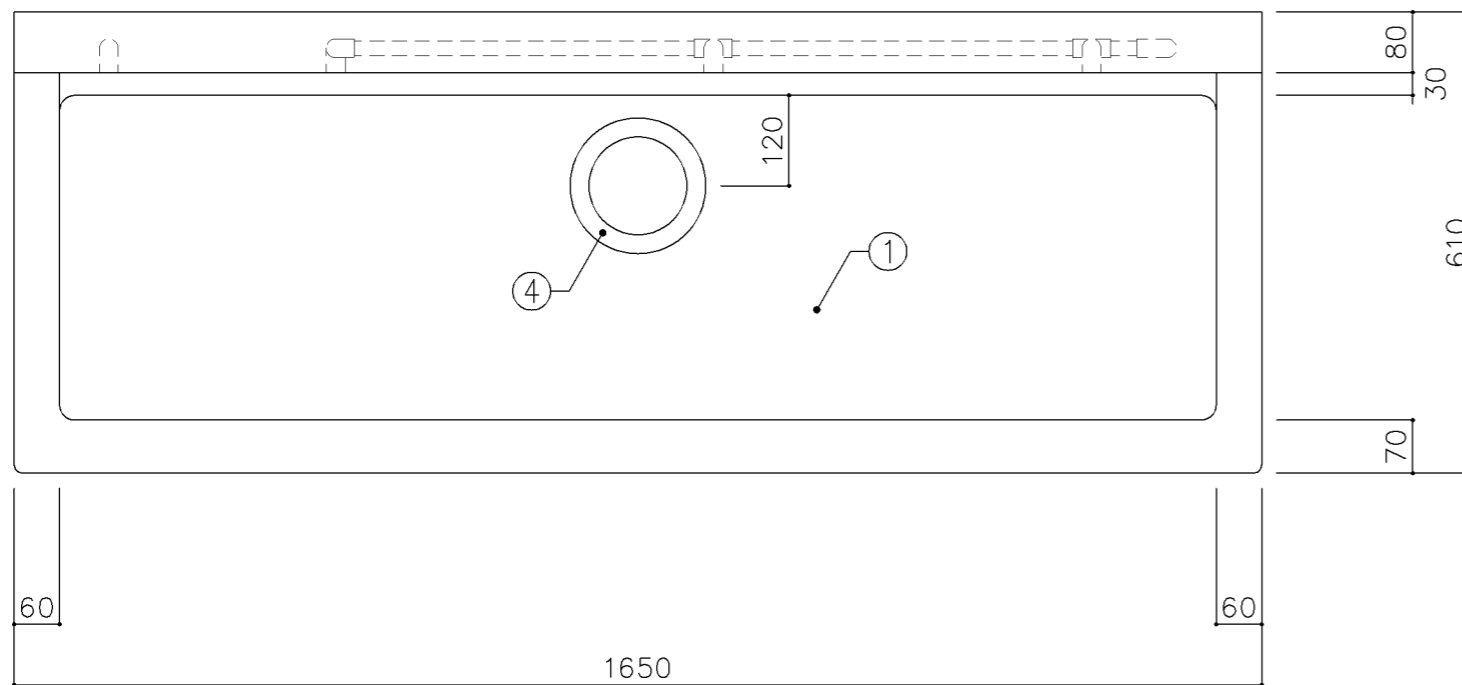
寸 法		
A: W1,650 x D610 x H570		
B: W1,650 x D610 x H660		
使用箇所		
A: 理科教室（小学校）		
B: 理科教室（中学校）		
仕 様		
番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304-1.0t
②	幕板	SUS 304-1.0t
③	骨組	SUS 430-L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AOCVP用 ゴミ収納付
⑤	補強材	SUS 430-1.5t×60
⑥	給水横引管	20A VA
⑦	給水縦引管	20A VA
⑧	給湯横引管	20A HVA
⑨	給湯縦引管	20A HVA
⑩	オーバーフロー	25Aストレーナー付

金 物		名称
番号	使用箇所	

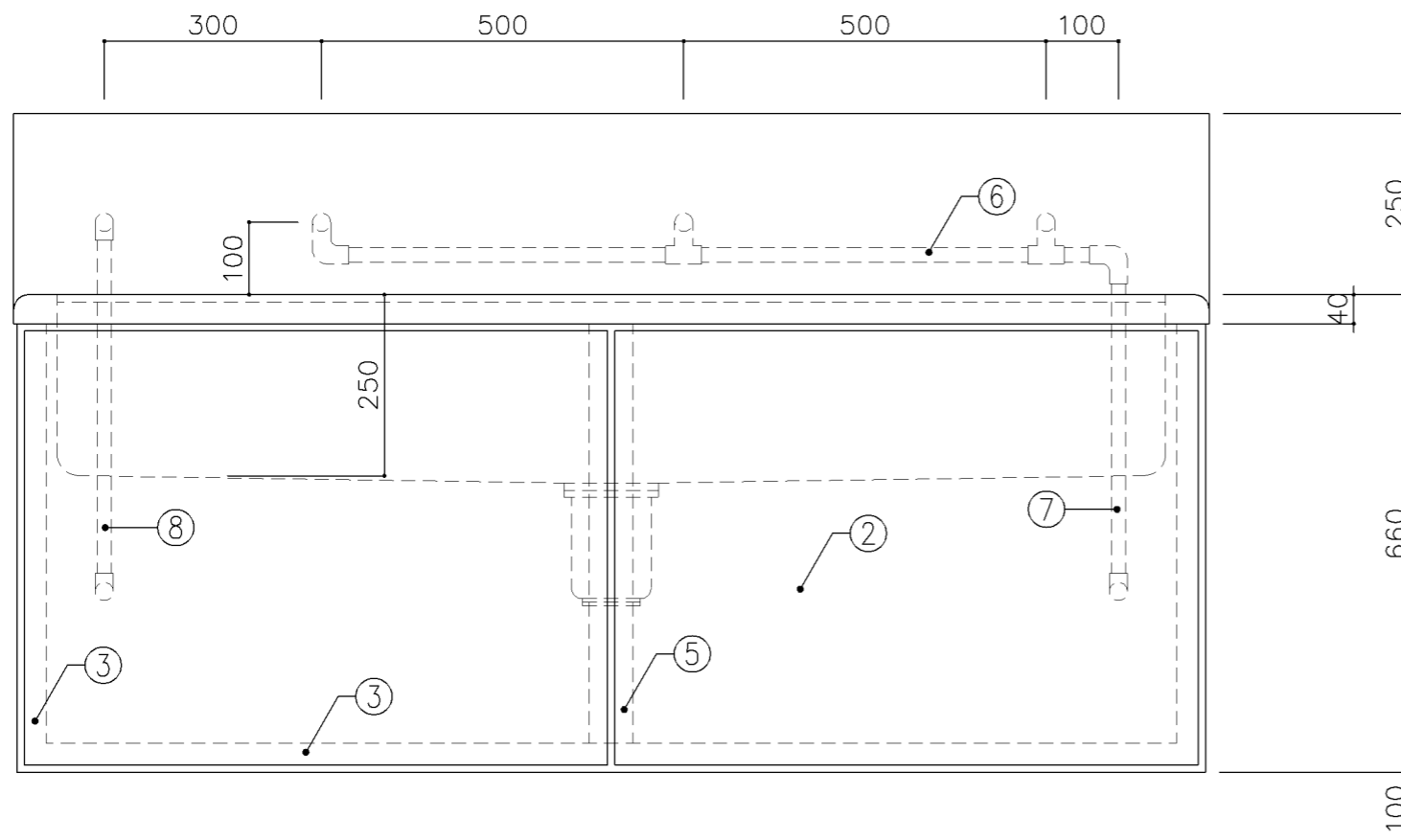
特記事項	
混合×3	

名称	一槽流し		
縮尺	1/10	記号	G-135
設計年月日		令和7年3月	

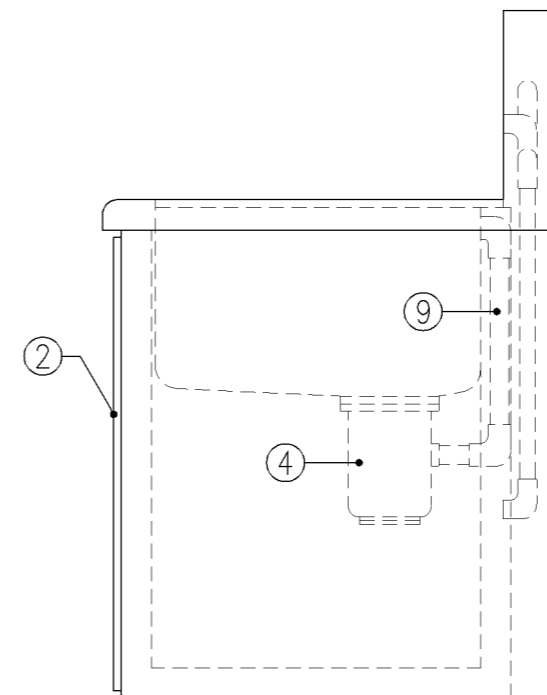
横浜市建築局



平面図



正面図



側面図

寸 法			
W1,650 × D610 × H660			
使用箇所			
美術教室			
仕 様			
番号	名称	材質	
①	甲板・水槽	SUS 304-1.0t	
②	幕板	SUS 304-1.0t	
③	骨組	SUS 430-L3×40×40	
④	排水トラップ	50T14AOCVP用 ゴミ収納付	
⑤	補強材	SUS 430-1.5t×60	
⑥	給水横引管	20A VA	
⑦	給水縦引管	20A VA	
⑧	給湯縦引管	20A HVA	
⑨	オーバーフロー	25Aストレーナー付	
金 物			
番号	使用箇所	名 称	
特記事項			
混合×1、給水×2			
名称	一槽流し		
縮尺	1/10	記号	G-136
設計年月日		令和7年3月	
横浜市建築局			

寸 法			
W1,650 x D610 x H660			

使用箇所			
保健室			

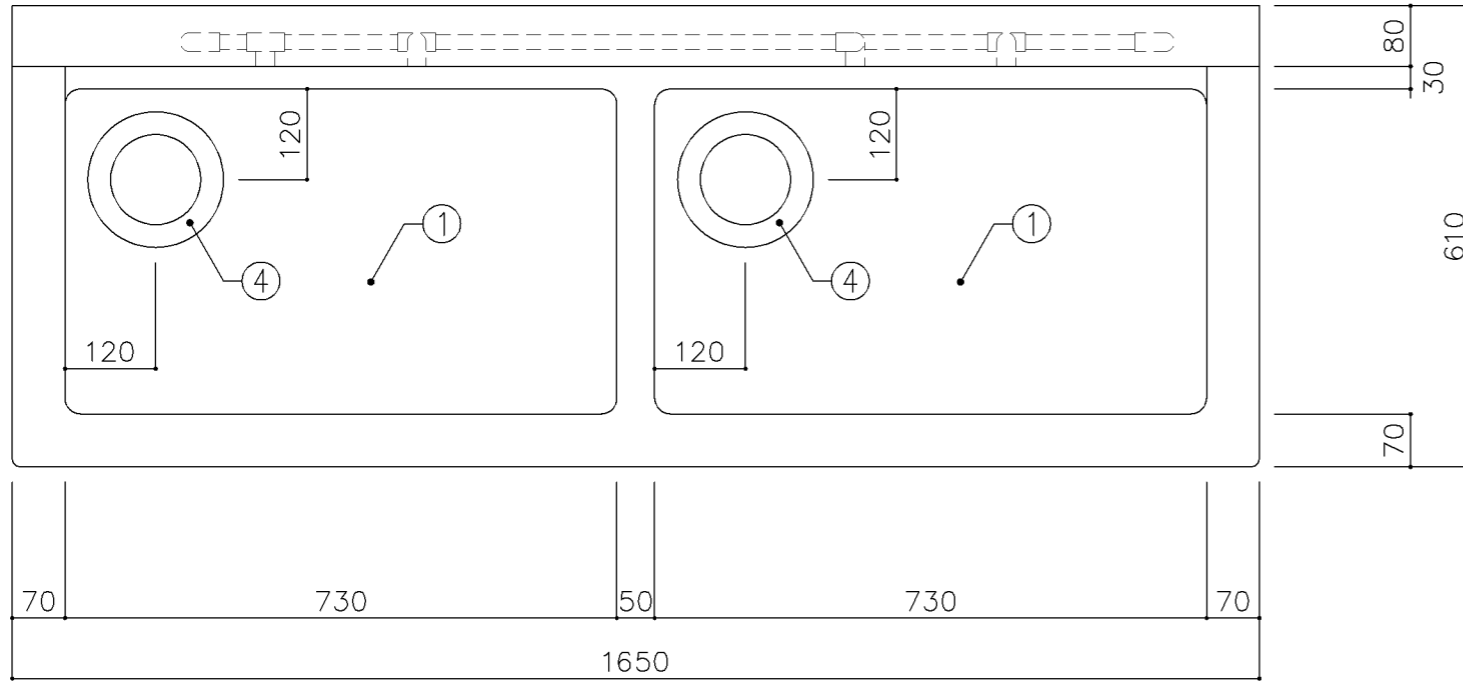
仕 様		
番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304-1.0t
②	幕板	SUS 304-1.0t
③	骨組	SUS 430-L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AOCVP用 ゴミ収納付
⑤	補強材	SUS 430-1.5t×60
⑥	給水横引管	20A VA
⑦	給水縦引管	20A VA
⑧	給湯横引管	20A HVA
⑨	給湯縦引管	20A HVA
⑩	オーバーフロー	25Aストレーナー付

金 物		
番号	使用箇所	名称

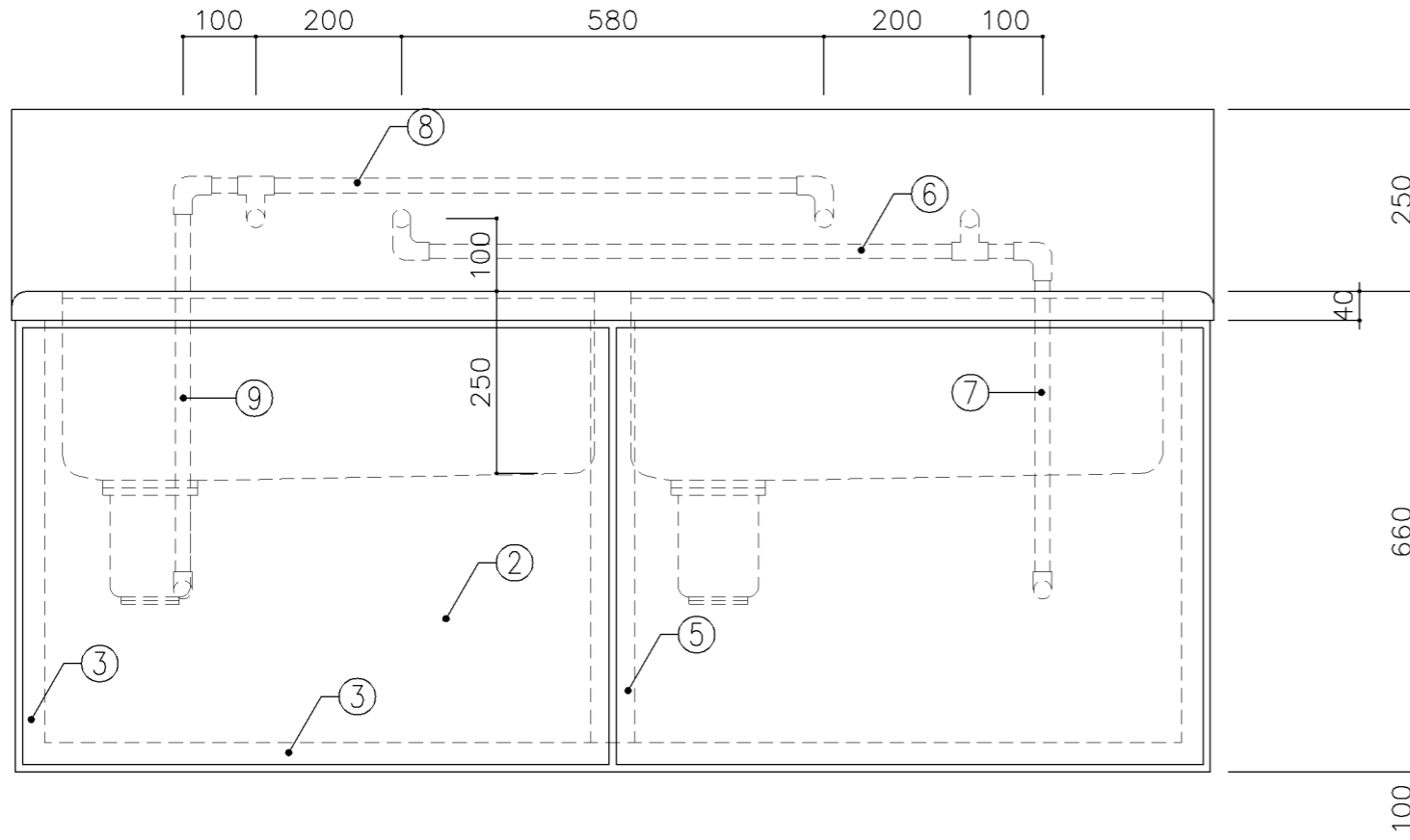
特記事項			
混合×2			

名称	二槽流し		
縮尺	1/10	記号	G-138
設計年月日			令和7年3月

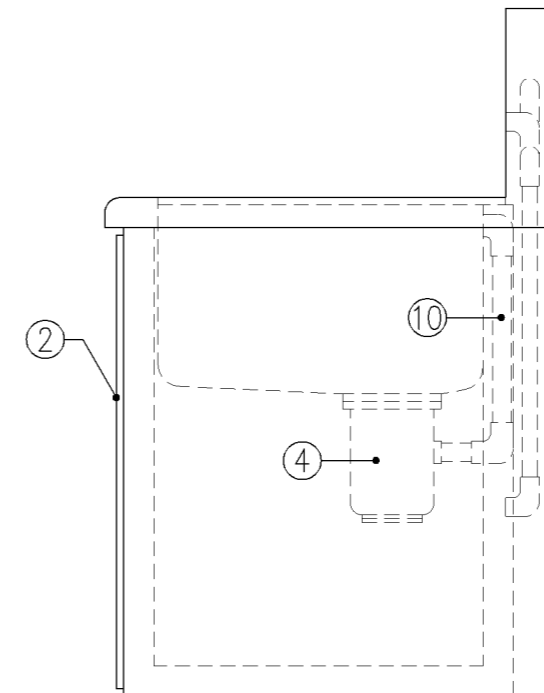
横浜市建築局



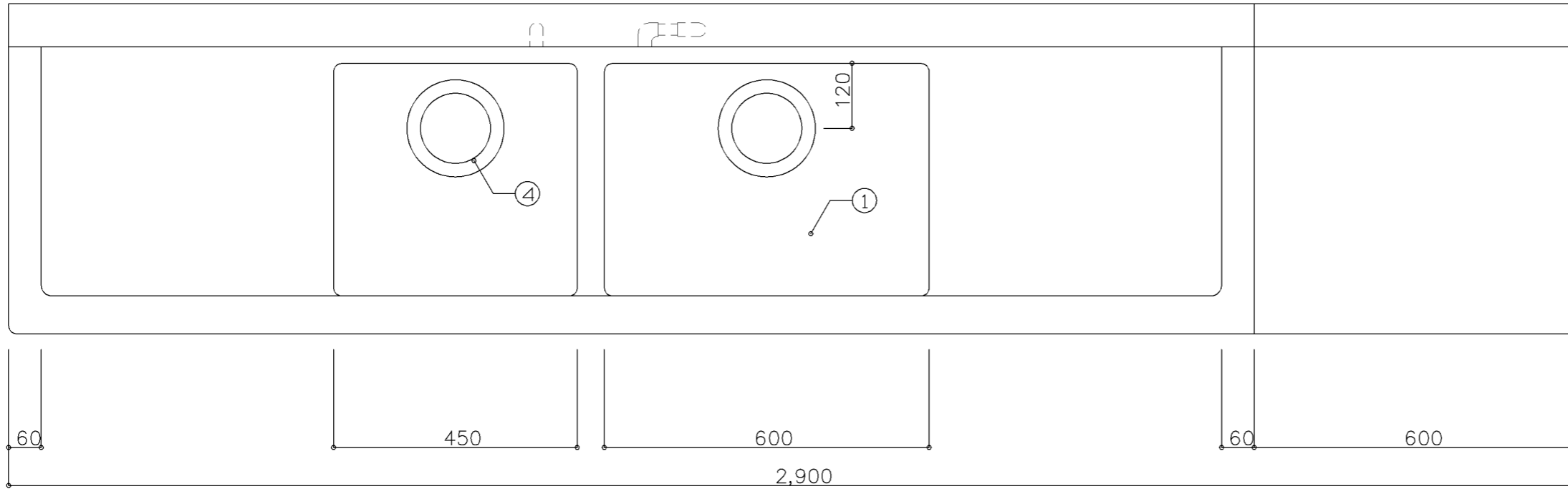
平面図



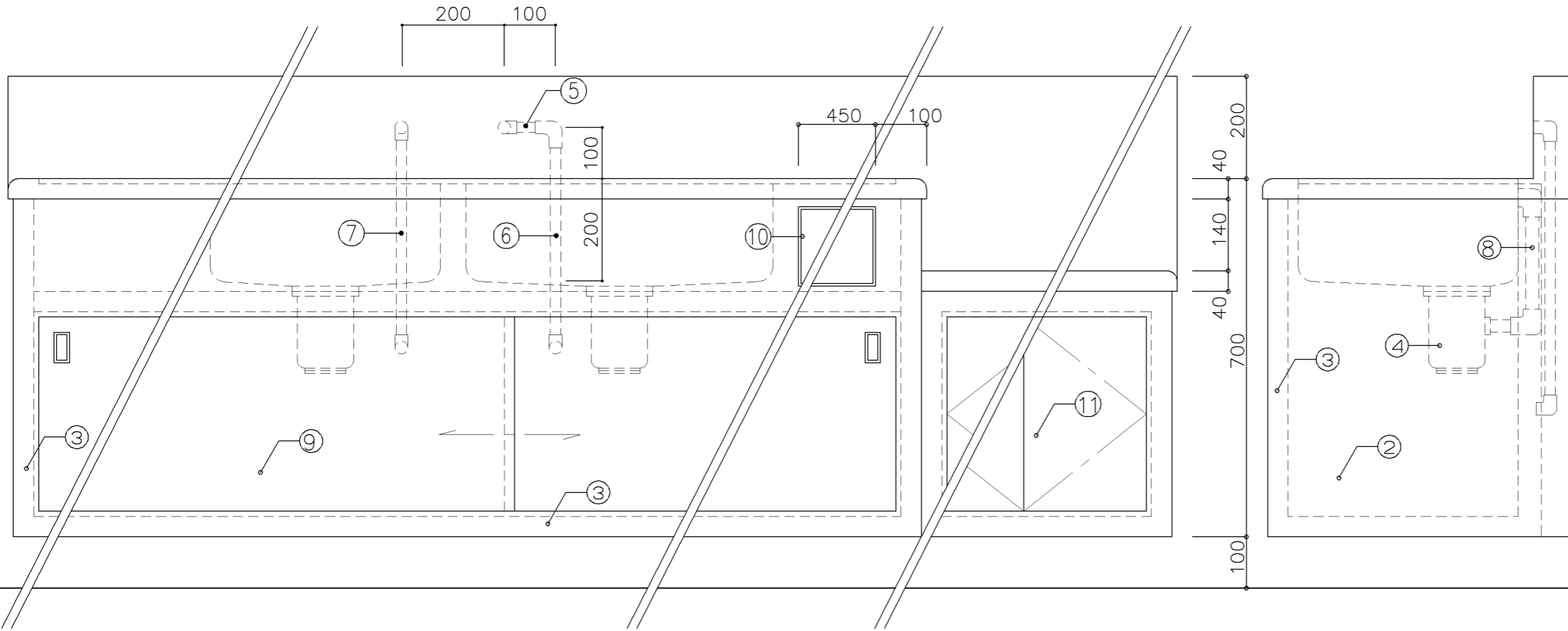
正面図



側面図



平面図



正面図

側面図

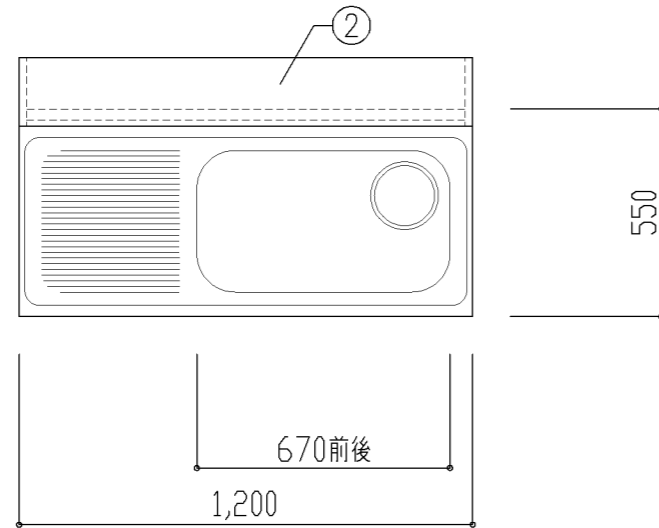
寸 法		
W2,900 × D610 × H700		
使用箇所		
技術員室 (小学校) 技術員室 (中学校)		
仕 様		
番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304-1.0t
②	幕板	SUS 304-1.0t
③	骨組	SUS 430-L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AOCVP用 ゴミ収納付
⑤	給水横引管	20A VA
⑥	給水縦引管	20A VA
⑦	給湯縦引管	20A HVA
⑧	オーバーフロー	25Aストレーナー付
⑨	スライドドア	SUS 430-1.0t (引手)
⑩	引出	SUS 430-1.0t (引手)
⑪	扉	SUS 430-1.0t (取手)

金 物	
番号	使用箇所 名称

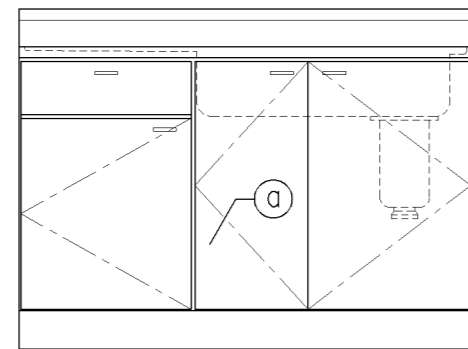
特記事項	
混合×1	

名称	コンロ台付二槽流し		
縮尺	1/10	記号	G-150
設計年月日	令和7年3月		

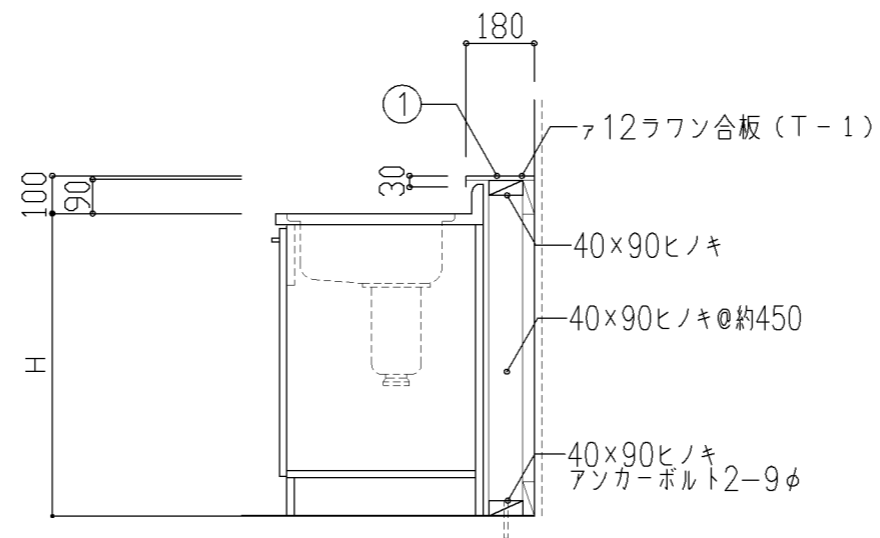
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸法

A: W1,200 × D550 × H700
 B: W1,200 × D550 × H800

使用箇所

A: 個別支援学級教室（第一学習室）（小学校）
 B: 個別支援学級教室（第一学習室）（中学校）
 職員室（小・中学校）

仕様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	水切カバー		SUS 304 0.8t	研磨
②	側板		本体と同材	

・流し台は、各メーカーBL認定品とし
 細目仕様は、各メーカー仕様とする。

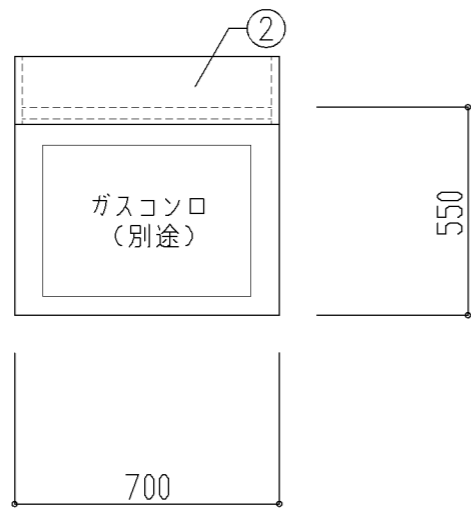
金物

番号	使用箇所	名称
①	扉	スライド丁番、取手、包丁差 ローラーキャッチャー

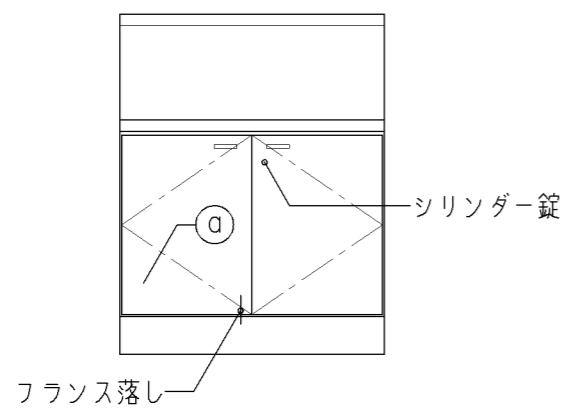
特記事項

・コンクリートに接する木部は、防腐剤塗とする。

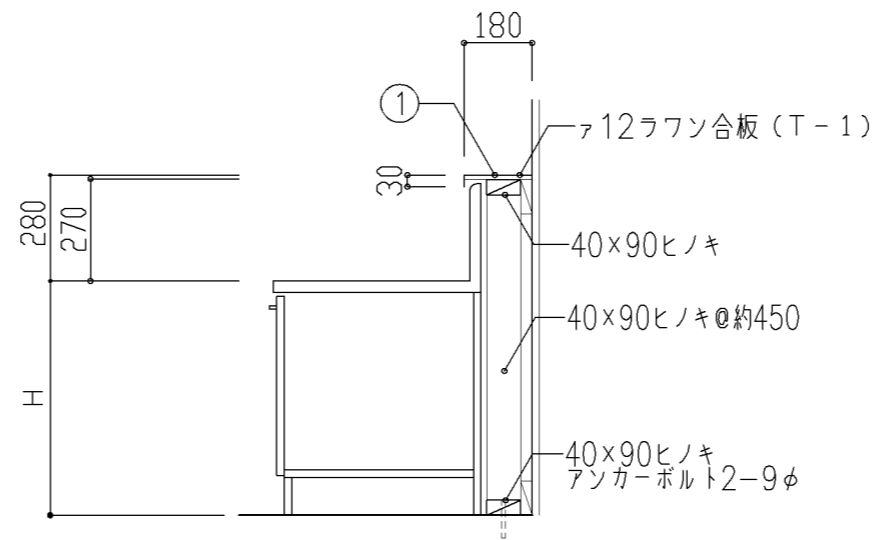
名称	流し台		
縮尺	1/20	記号	G-170
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



平面図



正面図



断面図

寸法

A: W700 × D550 × H520
B: W700 × D550 × H620

使用箇所

A: 個別支援学級教室(第一学習室)(小学校)
B: 個別支援学級教室(第一学習室)(中学校)

仕様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	水切カバー		SUS 304 0.8t	研磨
②	側板		本体と同材	

・流し台は、各メーカーBL認定品とし
細目仕様は、各メーカー仕様とする。

金物

番号	使用箇所	名称
ⓐ	扉	スライド丁番、取手、シリンダー錠 フランス落し

特記事項

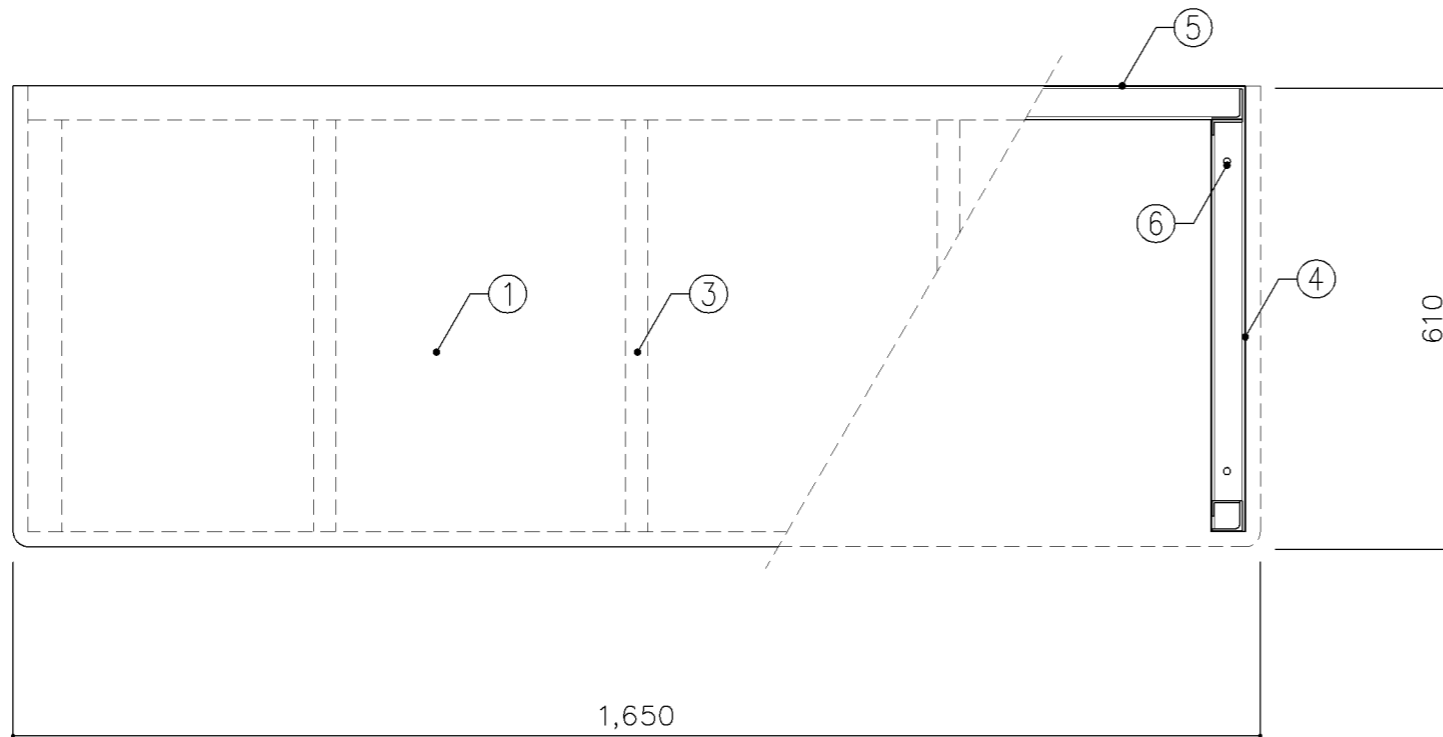
・コンクリートに接する木部は、防腐剤塗とする。

名称 コンロ台(鍵付)

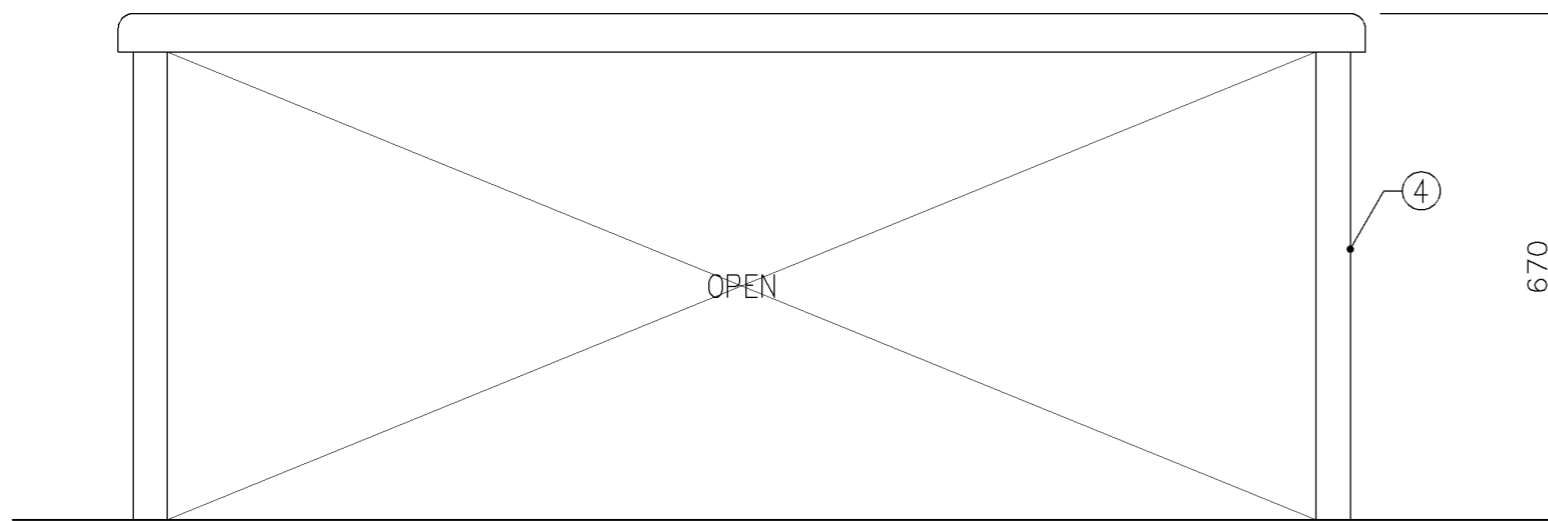
縮尺 1/20 記号 G-171

設計年月 令和7年3月

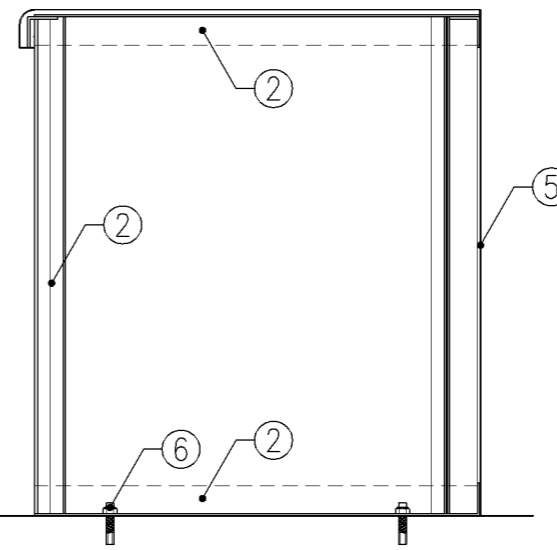
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸 法	
W	1,650 × D610 × H670

使用箇所	
理科教室 (小学校)	

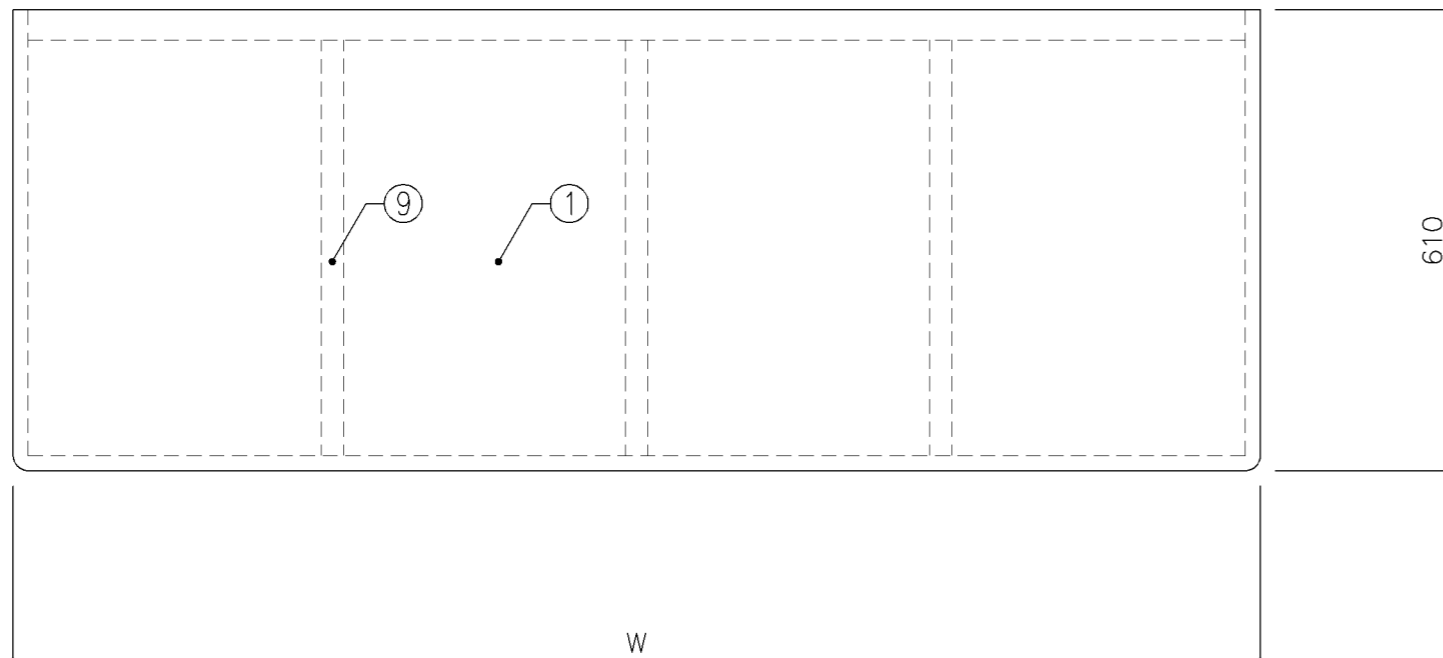
仕 様		
番号	名称	材質
①	甲板	SUS 304-1.0t
②	骨組	SUS 430-L3×40×40
③	補強材	SUS 430-L3×30×30
④	側板	SUS 304-1.0t
⑤	裏板	SUS 304-1.0t
⑥	アンカー	

金 物		
番号	使用箇所	名称

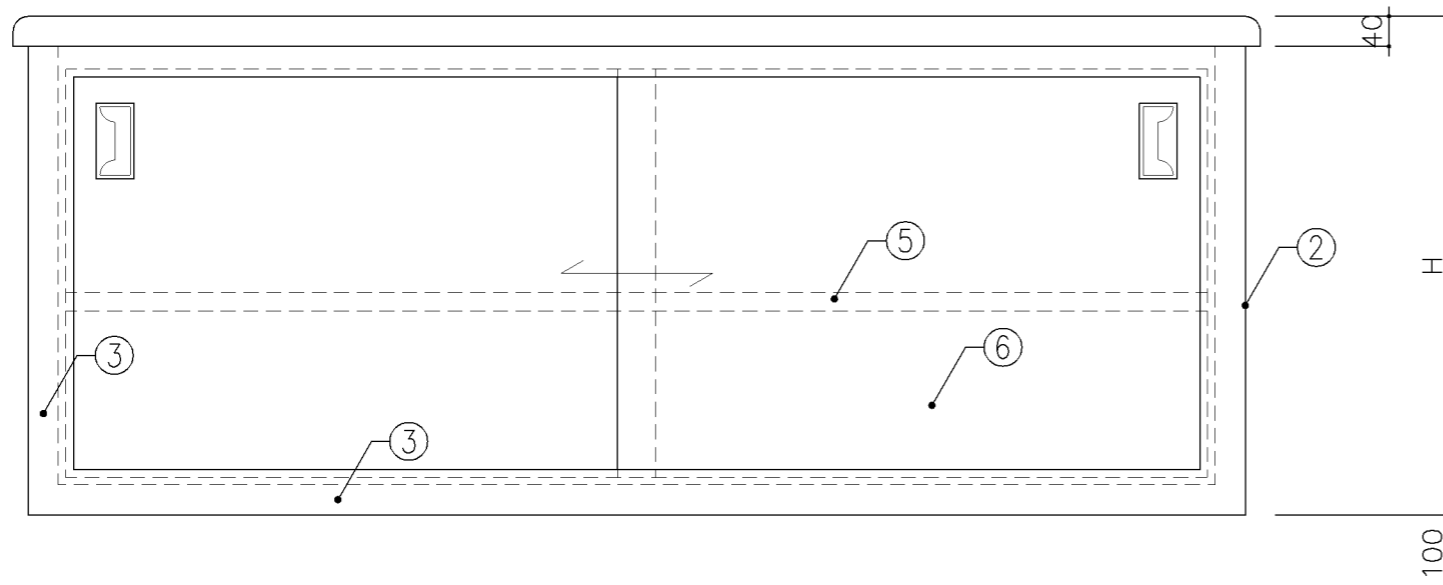
特記事項	

名称	観察台		
縮尺	1/10	記号	G-180
設計年月日	令和7年3月		

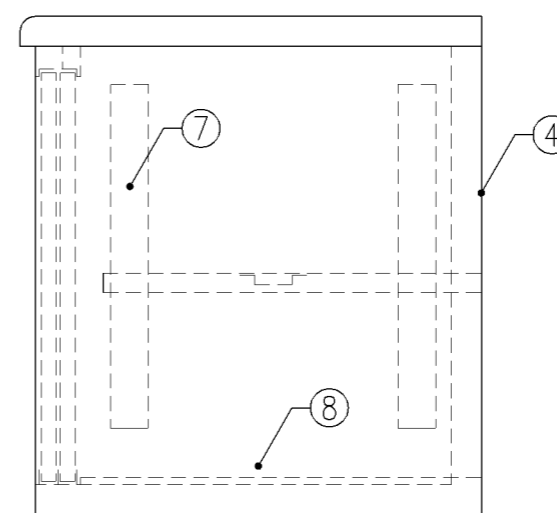
横浜市建築局



平面図



正面図



側面図

寸法

A: W1,650 x D610 x H660
 B: W1,800 x D610 x H570

使用箇所

A: 理科教室(中学校)
 B: 多目的室(水廻り 学習等)

仕様

番号	名称	材質
①	甲板	SUS 304-1.0t
②	側板	SUS 304-1.0t
③	骨組	SUS 430-L3×40×40
④	裏板	SUS 304-1.0t
⑤	棚板	SUS 304-1.0t
⑥	引違戸	SUS 430-1.0t
⑦	棚受	SUS 430-1.0t
⑧	底板	SUS 304-1.0t
⑨	補強材	SUS 430-L3×30×30

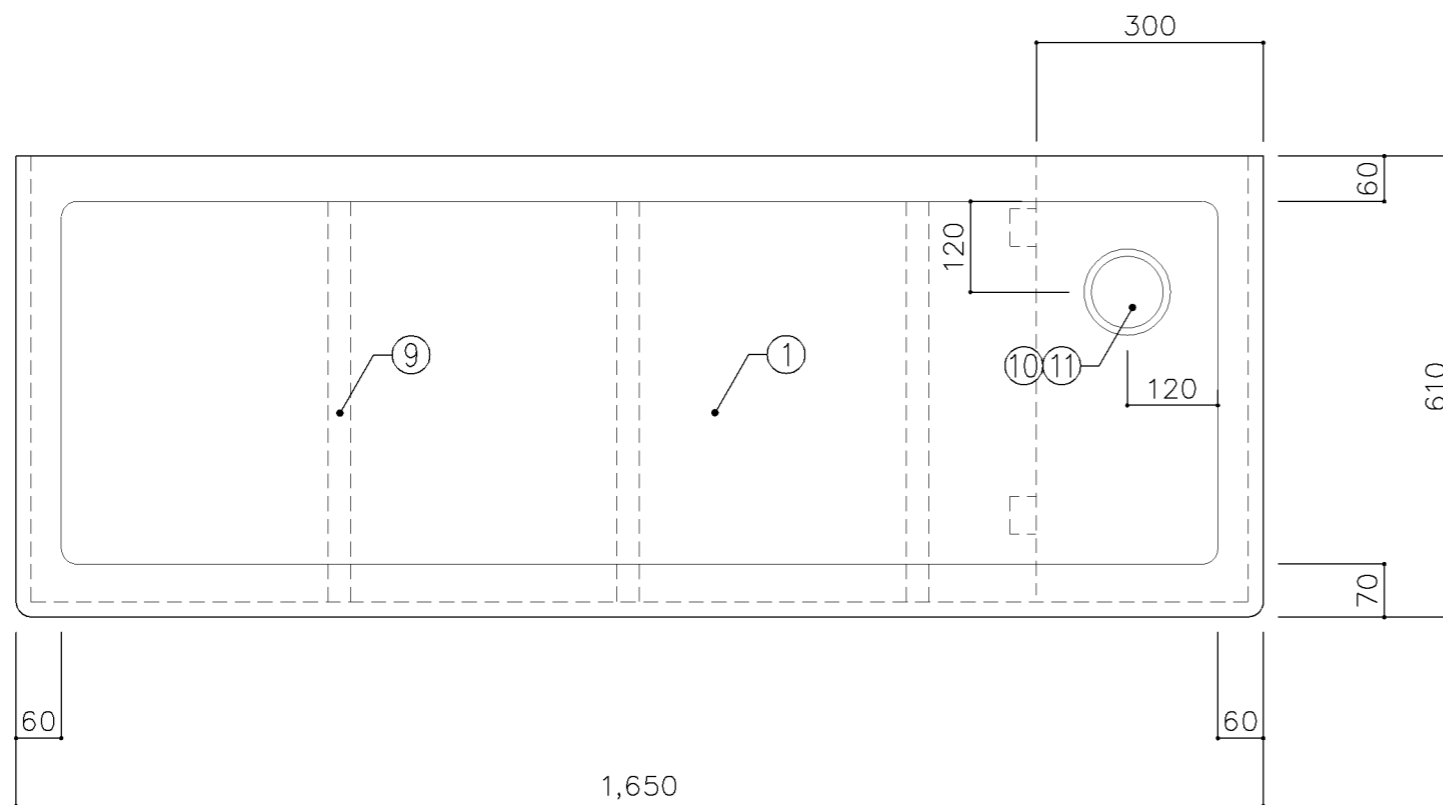
金物

番号	使用箇所	名称
⑩	引違戸	堀込引手

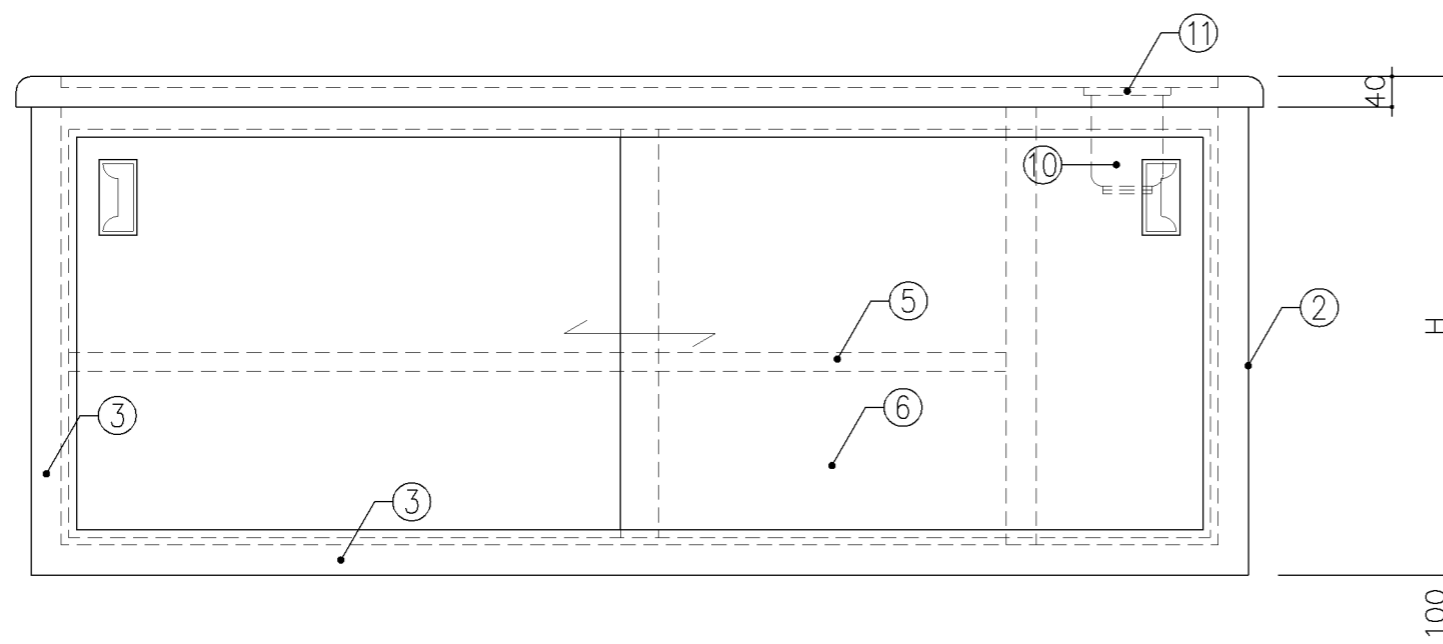
特記事項

名称	観察台		
縮尺	1/10	記号	G-181
設計年月日	令和7年3月		

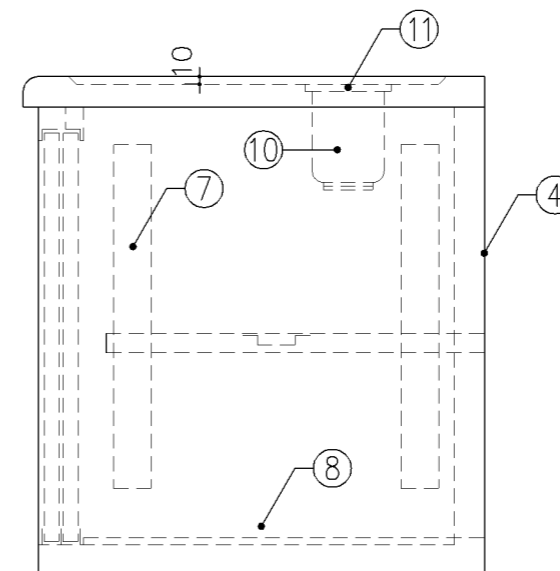
横浜市建築局



平面図



正面図



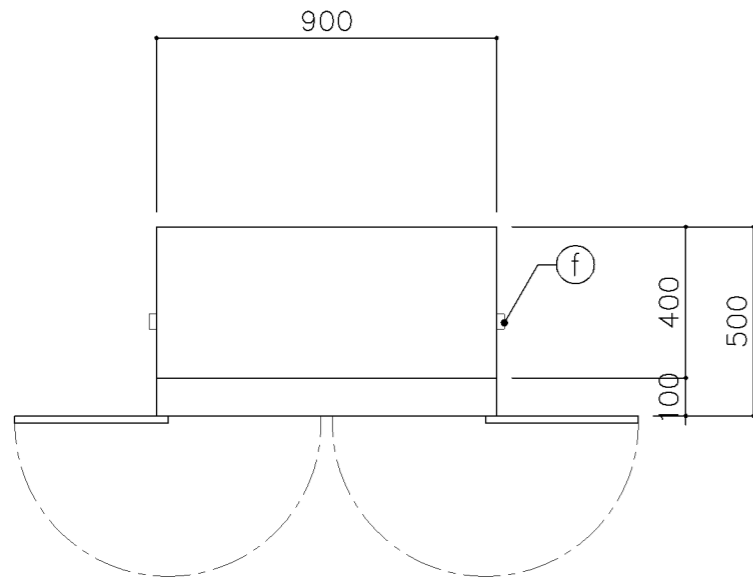
側面図

寸法		
A:	W1,650 x D610 x H570	
B:	W1,650 x D610 x H660	
使用箇所		
A:	理科教室(小学校)	
B:	理科教室(中学校)	
仕様		
番号	名称	材質
①	甲板	SUS 304-1.0t
②	側板	SUS 304-1.0t
③	骨組	SUS 430-L3×40×40
④	裏板	SUS 304-1.0t
⑤	棚板	SUS 304-1.0t
⑥	引違戸	SUS 430-1.0t
⑦	棚受	SUS 430-1.0t
⑧	底板	SUS 304-1.0t
⑨	補強材	SUS 430-L3×30×30
⑩	排水トラップ	40T14A VP用
⑪	ゴム蓋	鎖付き

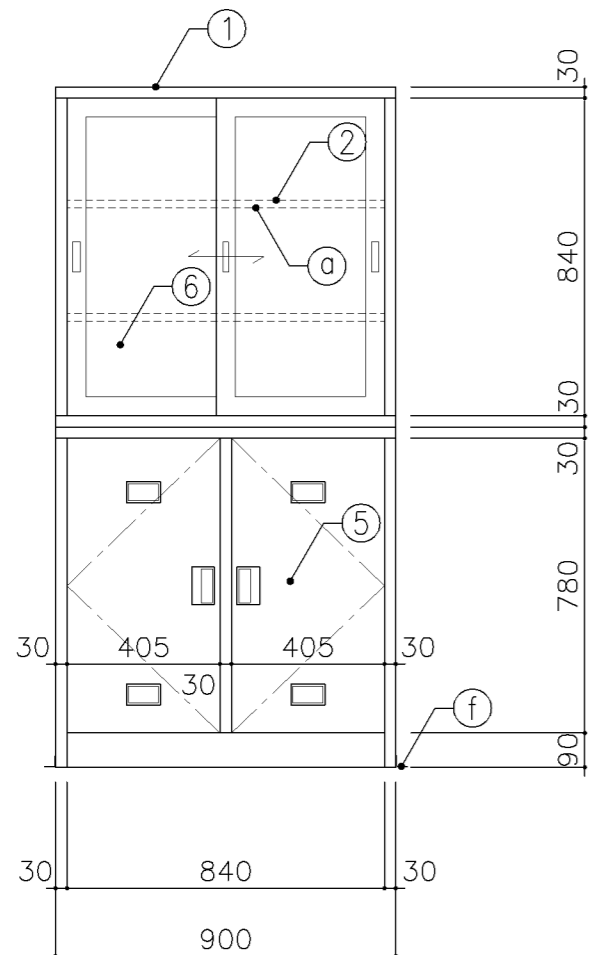
金物		
番号	使用箇所	名称
⑩	引違戸	堀込引手

特記事項	

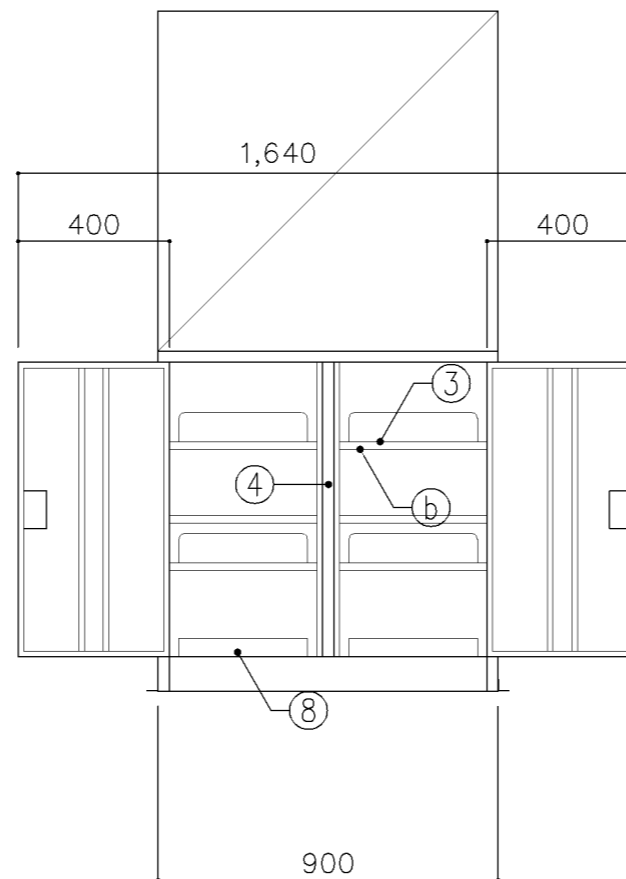
名称	水槽台		
縮尺	1/10	記号	G-182
設計年月日	令和7年3月		
横浜市建築局			



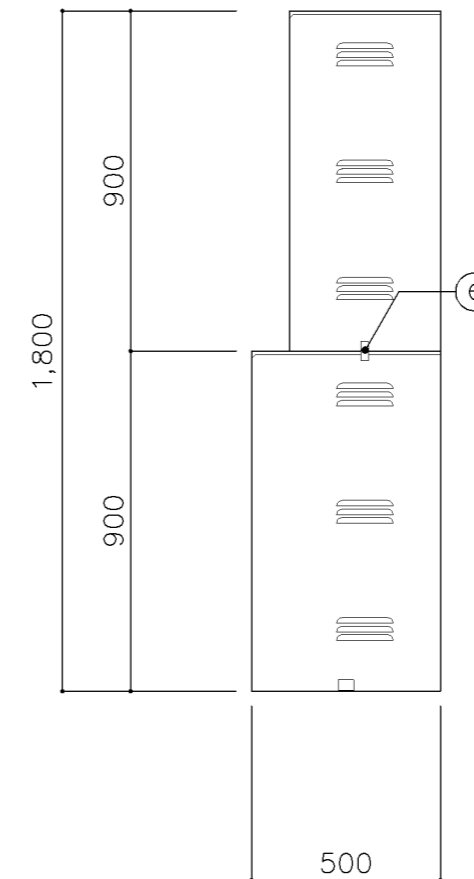
平面図



正面図



正面図



側面図

寸法
W900 × D400/500 × H1,800

使用箇所

理科準備室

仕様

番号	名称	材質
①	本体	SUS 304-0.8t
②	可動棚	SUS 304-0.8t
③	可動棚	SUS 304-0.8t
④	中仕切	SUS 304-0.8t
⑤	扉	SUS 304-0.8t
⑥	框戸	ア3 ポリカーボネード板
⑦	扉補強	SUS 304-0.8t
⑧	砂皿(焼砂共)	塩化ビニール樹脂製

金物

番号	使用箇所	名称
①	可動棚	棚爪
②	可動棚	棚爪、耐震ガードプレート
③	扉	丁番、シリンダー錠、掘込引手、名札入れ
④	框戸	シリンダー錠、掘込引手、レール
⑤		上段、下段取付固定金物
⑥		耐震用固定金具

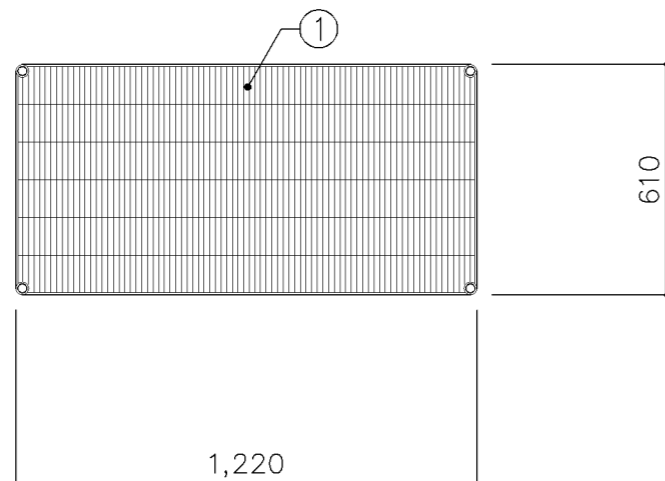
特記事項

・備品周囲を換気のため50以上あけること
H13年3月 焼砂を工事対応

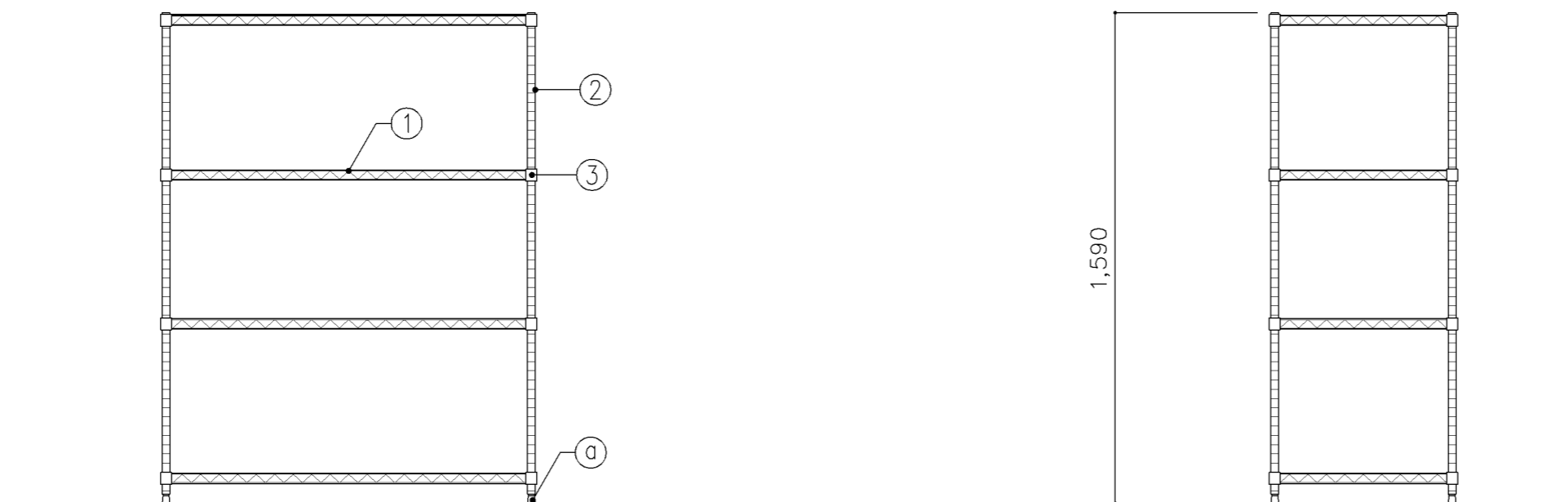
名称	薬品戸棚		
縮尺	1/20	記号	G-190

設計年月 令和7年3月

横浜市建築局



平面図



正面図

断面図

寸法		
W1,220 × D610 × H1,590		
使用箇所		
美術準備室 図画工作準備室		
仕様		
番号	名称	材質
①	棚板	スチールワイヤ 3.75φ 4.8φ 5φ 6.35φ (クロームメッキ)
②	脚	SUS 430-1.2t 25φ
③	テーパ	ABS樹脂製

金物		
番号	使用箇所	名称
㊾	脚	床固定金物 (三角フットプレート) ~SUS 304 4ヶ所 (1ヶ所~3点止)

特記事項	
・エレクターシェルフ同等品とする。	

名称	作品保管棚		
縮尺	1/20	記号	G-191
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			

G-200 スチール収納家具（仕様）

1. 適用範囲

- 1) 本仕様は、横浜市学校建築工事備品の収納家具に適用する。
- 2) 本仕様に明記していない事項については、各製作者の社内規格によるものとし、横浜市建築局公共建築部学校整備課の承認を得る。

2. 材料及び規格

- 1) 収納家具に使用する材料は、下表による。

材料種別	使用区分	材質・規格
鋼板	天板	JIS G 3141（冷間圧延鋼板及び鋼帯）
	地板	同上
	側板	同上
中質繊維板 (M.D.F)	化粧天板	JIS A 5906

- 2) 板厚は、各詳細図の仕様による。

3. 仕上及び焼付塗装

- 1) 鋼材に焼付塗装する時は、原則としてりん酸塩被膜処理を行う。
- 2) 防せい処理又は表面処理した鋼材の加工又は組付けによって生じたはがれなど、劣化の部分は防せい処理又は表面処理の補修をしなければならない。
- 3) 焼付塗装には、JIS K 5652（アミノアルキド樹脂エナメル）に規定する焼付樹脂エナメル又は塗膜がこれと同等以上の硬さ及び耐久性のある塗料を使用する。
- 4) アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極被膜は、JIS H 8601（アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化被膜）に規定する処理を行う。

4. 製作

- 1) 構造は十分な強度を保ち、工作は確実にしなければならない。
- 2) 接着や溶接は確実にし、見えがかりの接合面は、滑らかに仕上げなければならない。又、組立は、緩みを生じないように確実に締め付けなければならない。

5. 付属金物

6. 組立・取付

- 3) 部材には、適当な面をとり、手ざわりよく仕上げなければならない。

- 4) 錠、取手、丁番は戸締された状態で、破壊以外の方法による取りはずしができない構造とする。

- 5) 引違い戸の戸当たり部には、緩衝部を設ける。

- 1) 小ネジ・ナット等は、日本工業規格（JIS）に適合したもの、合成樹脂は、その用途に適合したものとする。

- 1) 組立は、工場生産とする。

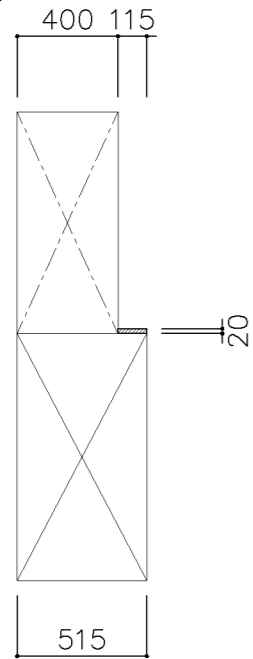
- 2) 取付は、別添〈G-203〉図、又は各詳細図による。

名称	仕様		
縮尺		記号	G-200
設計年月日	令和7年3月		
横浜市建築局			

G-200 スチール収納家具（化粧天板）

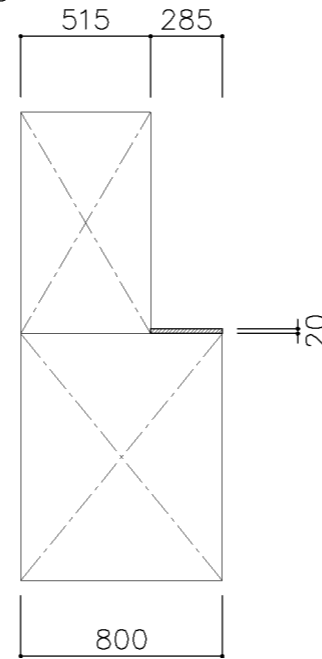
整理戸棚 1 段の場合及び 2 段の場合で、D 寸法が異なる場合は、下図の通り化粧天板張りとする。

A タイプ
W=1,200



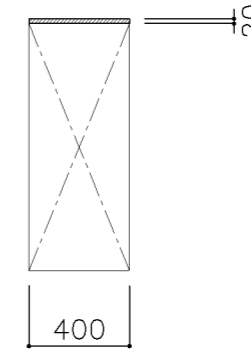
理科教室
技術教室
上: G-214A
下: G-210B

C タイプ
W=1,200



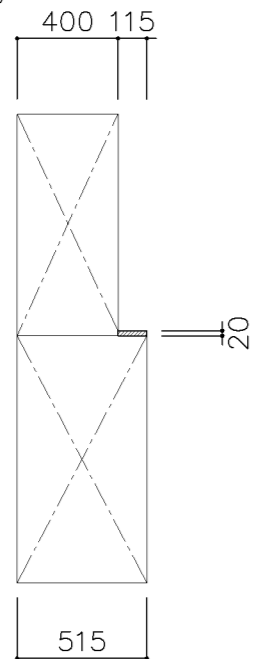
図画工作準備室
上: G-214B
下: G-232

E タイプ
W=1,760



校長室
多目的室（少人数指導）（中学校）
G-213B

B タイプ
W=1,760



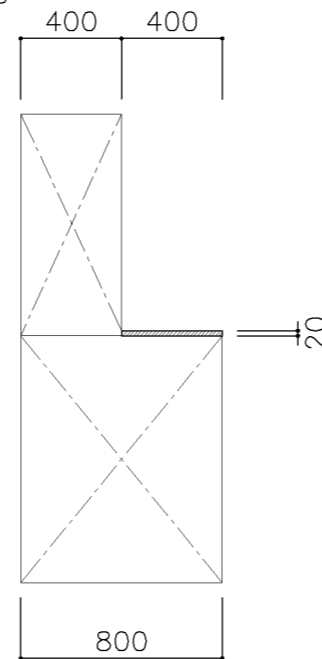
多目的室（水廻り学習等）
多目的室（少人数指導）（中学校）
PTA会議室
地域交流室
特別活動室
上: G-215A W=1,760
下: G-213C

理科準備室
上: G-215A W=1,760
下: G-211B

家庭科準備室（中学校）
上: G-215C W=1,650
下: G-230A

技術教室
上: G-215D W=1,550
下: G-211D

D タイプ
W=1,200



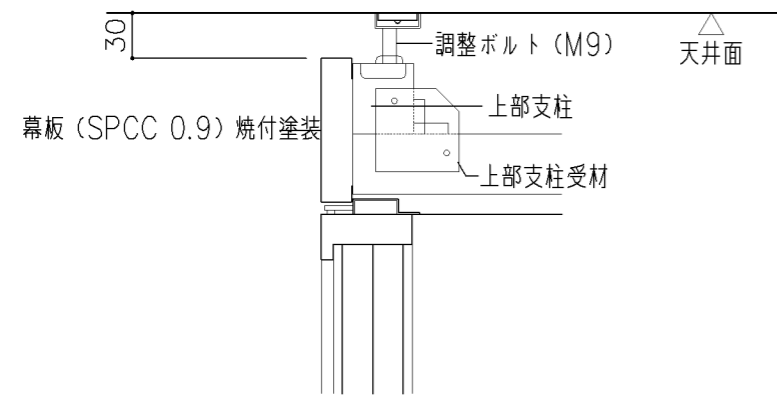
美術準備室
上: G-214A
下: G-232

天板仕様

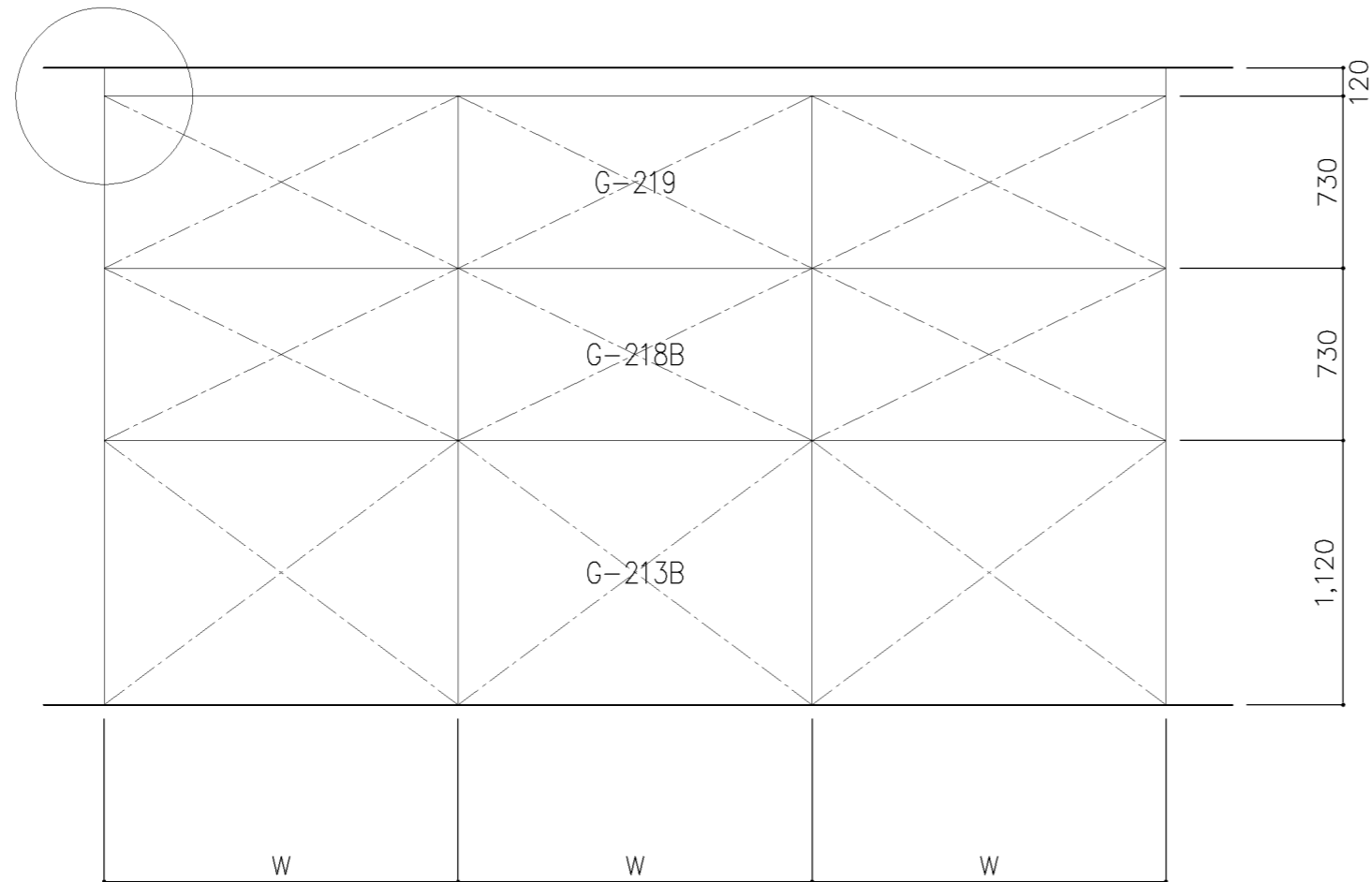
MDFコア、メラミン化粧シート張りとし前面は、全て丸面仕上とする。

名称	化粧天板		
縮尺		記号	G-201
設計年月日	令和7年3月		
横浜市建築局			

G-200 収納家具（スチール）幕板



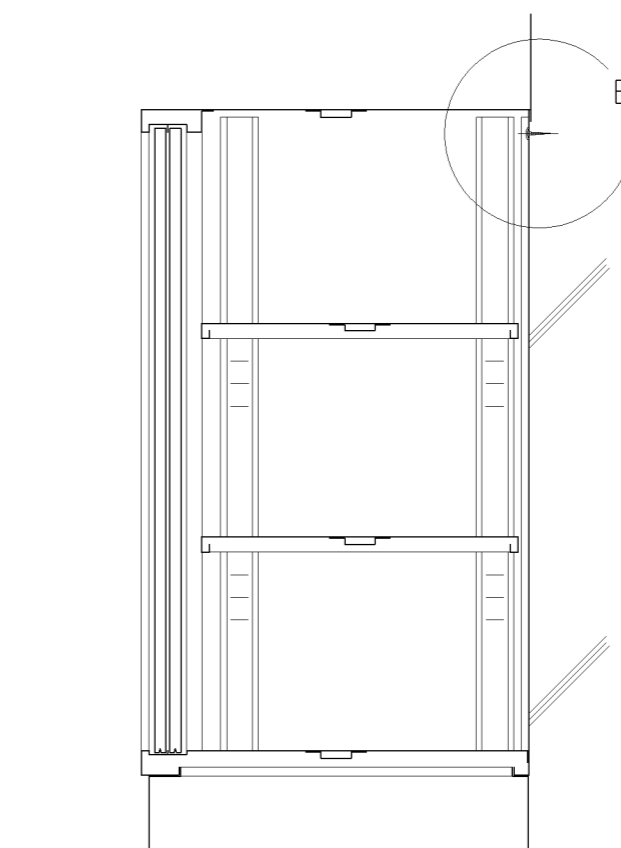
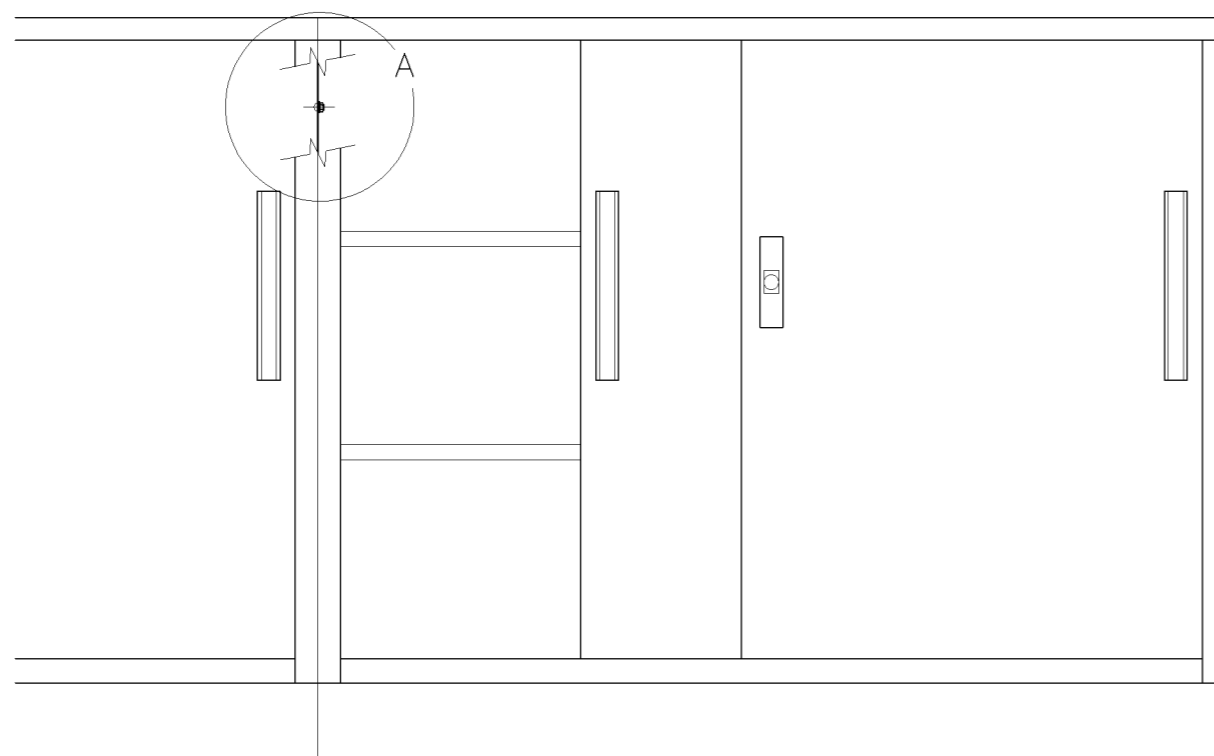
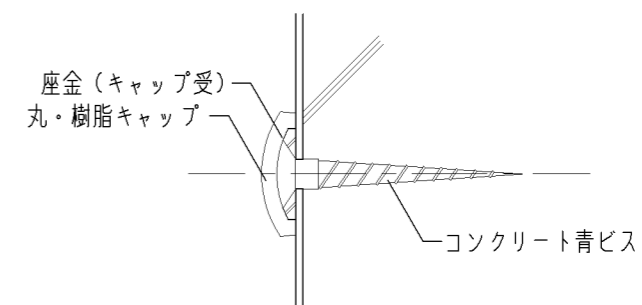
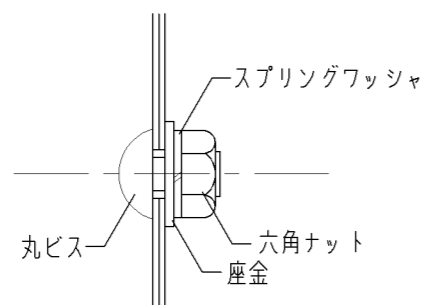
事務室
 上: G-219
 中: G-218B
 下: G-213B



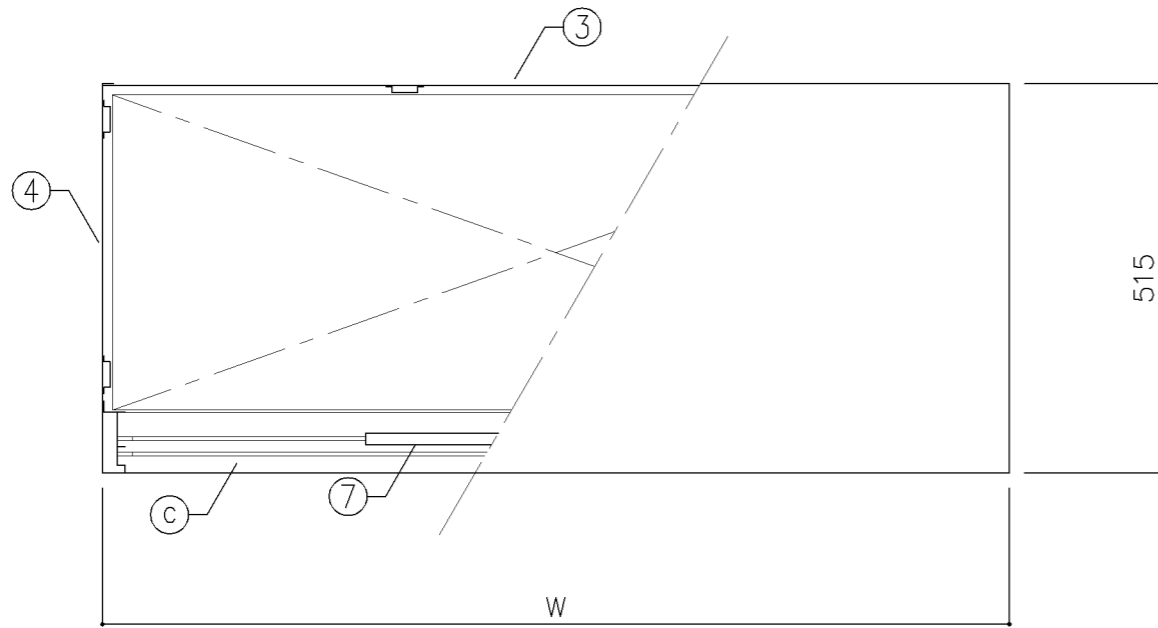
W=1500,1760

名称	幕板		
縮尺		記号	G-202
設計年月日	令和7年3月		
横浜市建築局			

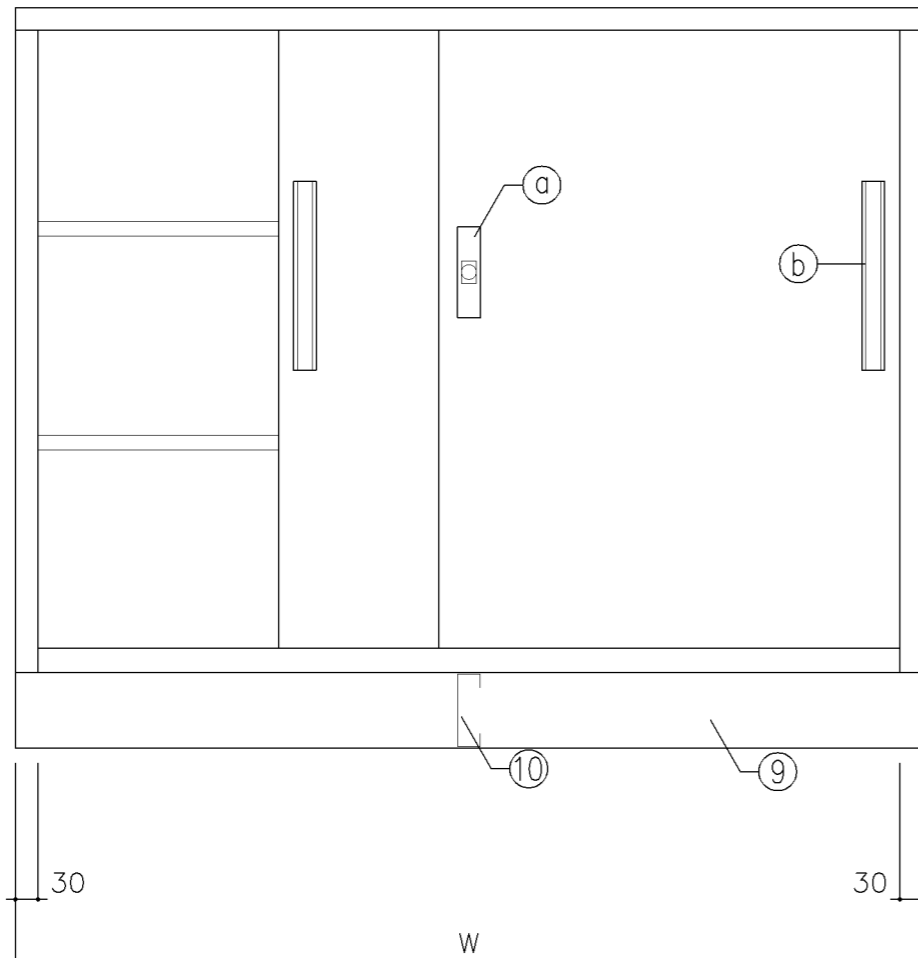
G-200 スチール収納家具（取付仕様）



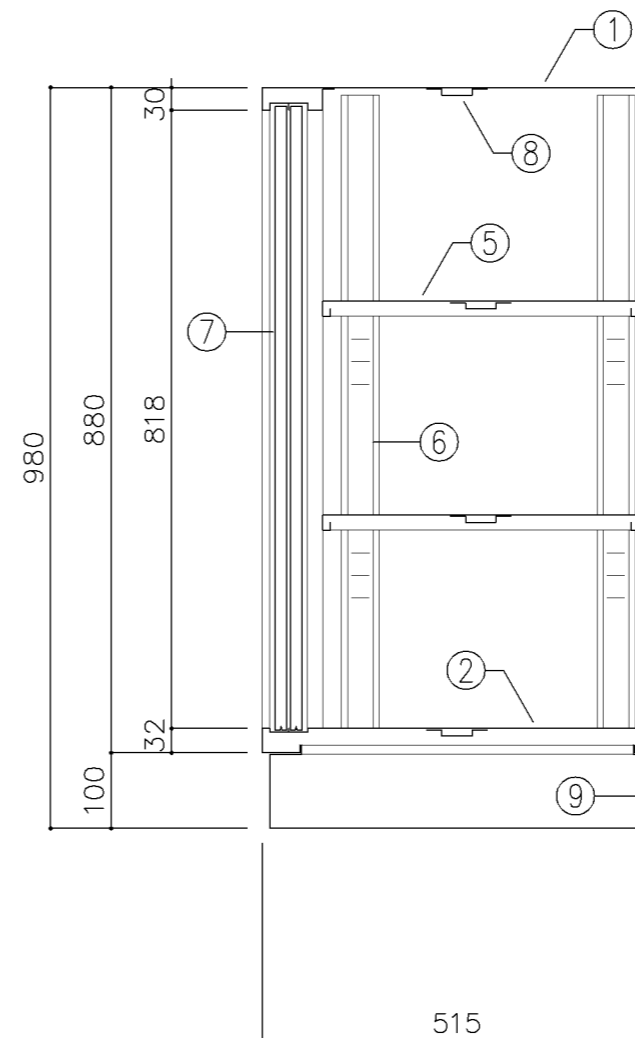
名称	取付詳細図		
縮尺		記号	G-203
設計年月日	令和7年3月		
横浜市建築局			



平面図



正面図



断面図

寸法

A : W 880 x D 515 x H 980
 B : W1,200 x D 515 x H 980

使用箇所

A : 理科準備室 (中学校)
 B : 理科準備室 (小学校)、技術教室、美術準備室

仕様

番号	名称	材質	仕上
①	天板	SPCC 1.0	焼付塗装
②	地板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	裏板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	側板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	棚板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	棚受	SPCC 0.8	焼付塗装
⑦	引違戸	SPCC 0.8	焼付塗装
⑧	補強板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑨	ベース	SPCC 1.0	焼付塗装
⑩	ベース補強	SPCC 1.0	焼付塗装

金物及びその他

番号	名称	材質	仕上
a	鍵飾板	ダイキャスト	クロムメッキ
b	掘込引手	アルミ	アルマイト
c	レール	SPCC 0.8	焼付塗装
d	シリンダ-ブッシュ	亜鉛合金	ニッケルメッキ
e	棚爪	SGC	

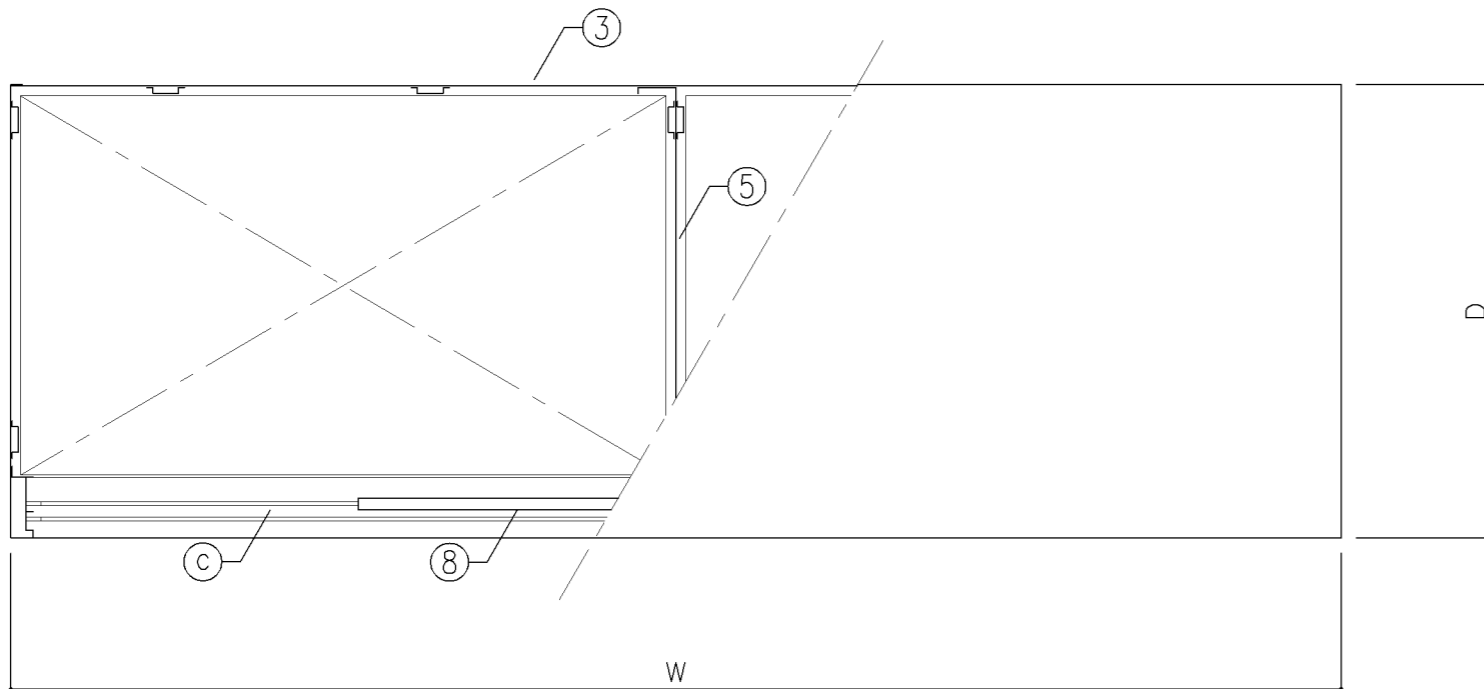
特記事項

名称 整理戸棚 (下段)

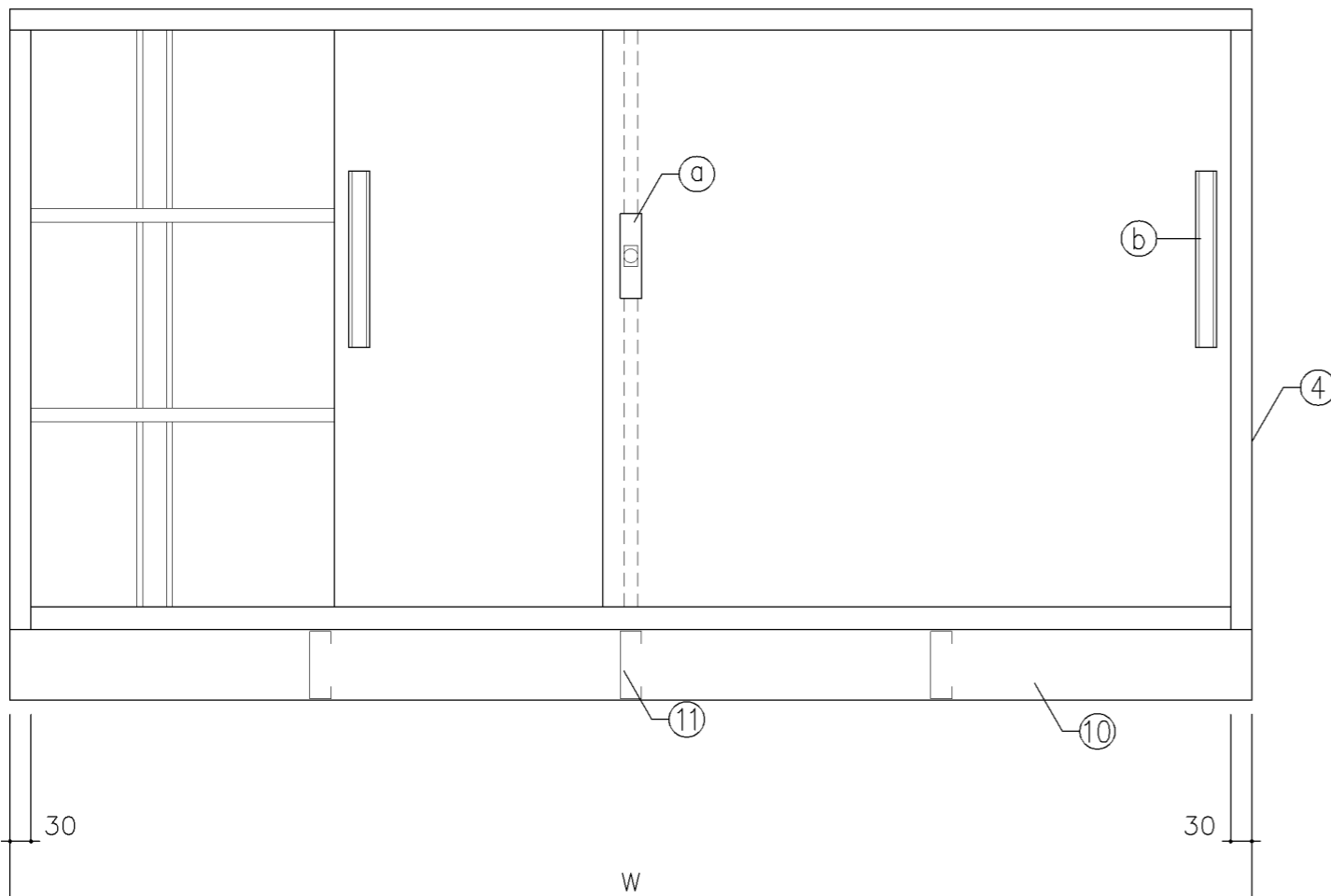
縮尺 1/10 記号 G-210

設計年月日 令和7年3月

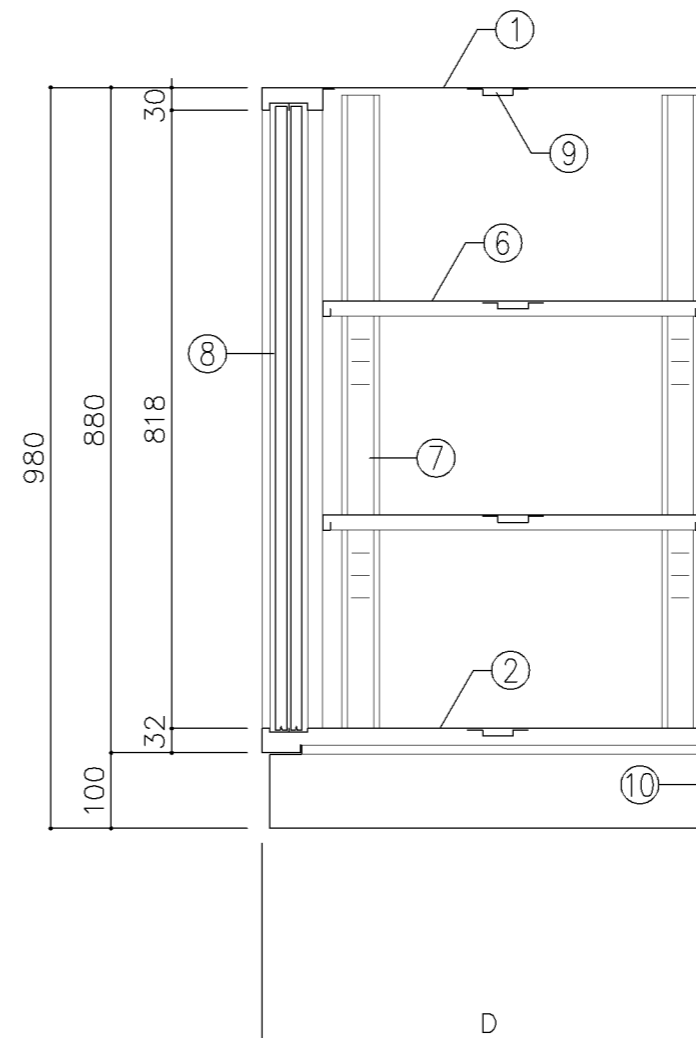
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸 法			
A	: W1,760	x D 400	x H 980
B	: W1,760	x D 515	x H 980
C	: W1,500	x D 600	x H 980
D	: W1,550	x D 515	x H 980

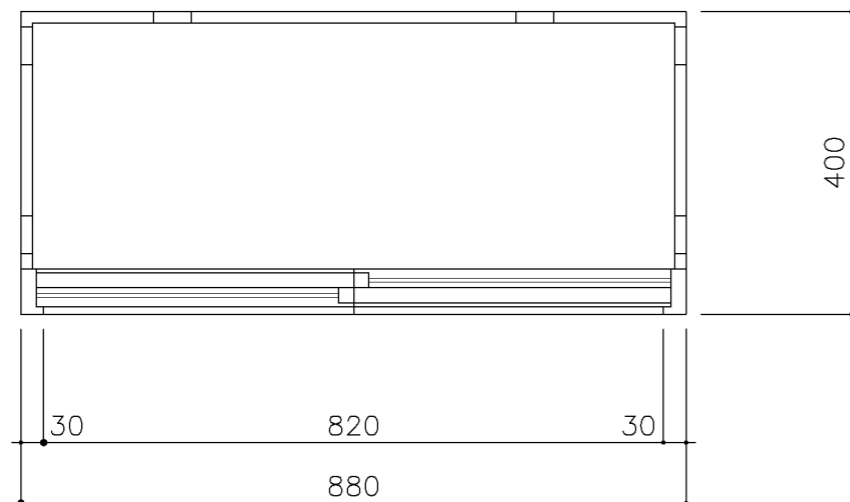
使用箇所			
A: 図書室(中学校)、教育相談室、進路指導室			
B: 理科準備室(小・中学校)、美術準備室 図画工作準備室			
C: 技術員室(小学校)、技術員室(中学校)			
D: 技術教室			

仕 様			
番号	名称	材質	仕上
①	天 板	SPCC 1.0	焼付塗装
②	地 板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	裏 板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	側 板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	縦仕切板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	棚 板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑦	棚 受	SPCC 0.8	焼付塗装
⑧	引 違 戸	SPCC 0.8	焼付塗装
⑨	補 強 板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑩	ベ ー ス	SPCC 1.0	焼付塗装
⑪	ベ ー ス補強	SPCC 1.0	焼付塗装

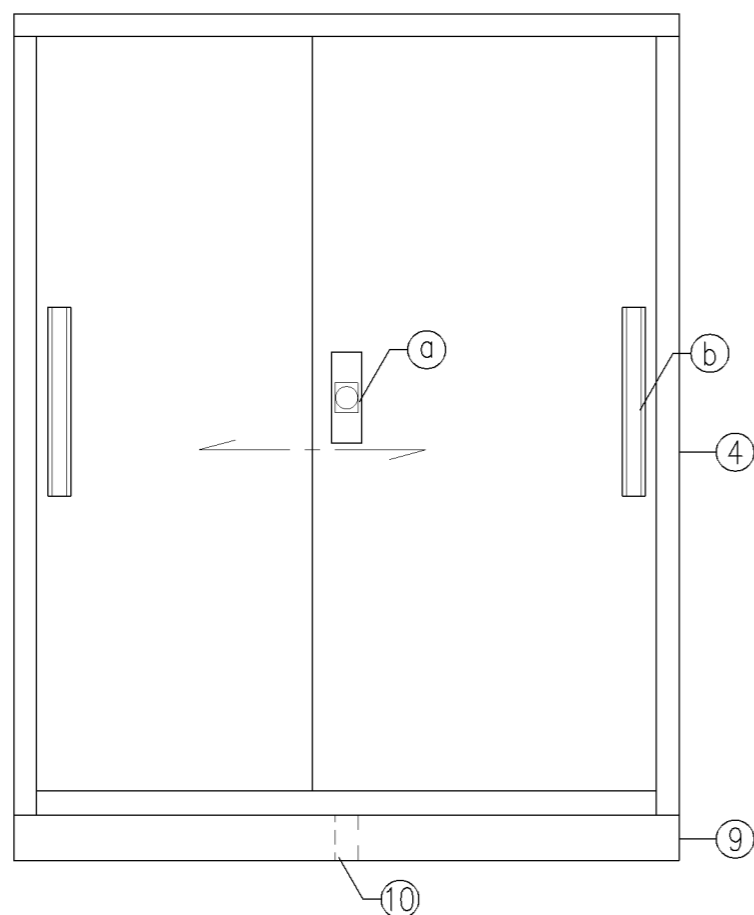
金物及びその他			
番号	名称	材質	仕上
a	鍵 飾 板	ダイキャスト	クロムメッキ
b	掘込引手	アルミ	アルマイト
c	レ ー ル	SPCC 0.8	焼付塗装
d	ソリダグ-ブツ鍵	亜鉛合金	ニッケルメッキ
e	棚 爪	SGC	

特記事項			

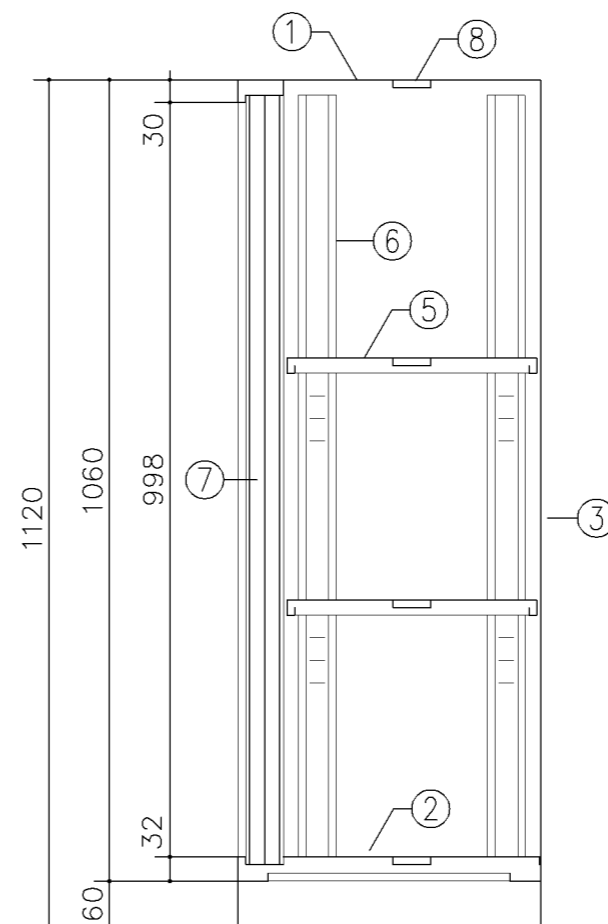
名称	整理戸棚(下段)		
縮尺	1/10	記号	G-211
設計年月日	令和7年3月		
横浜市建築局			



平面図



立面図



断面図

寸法
W 880 x D 400 x H1,120

使用箇所
耐火書庫

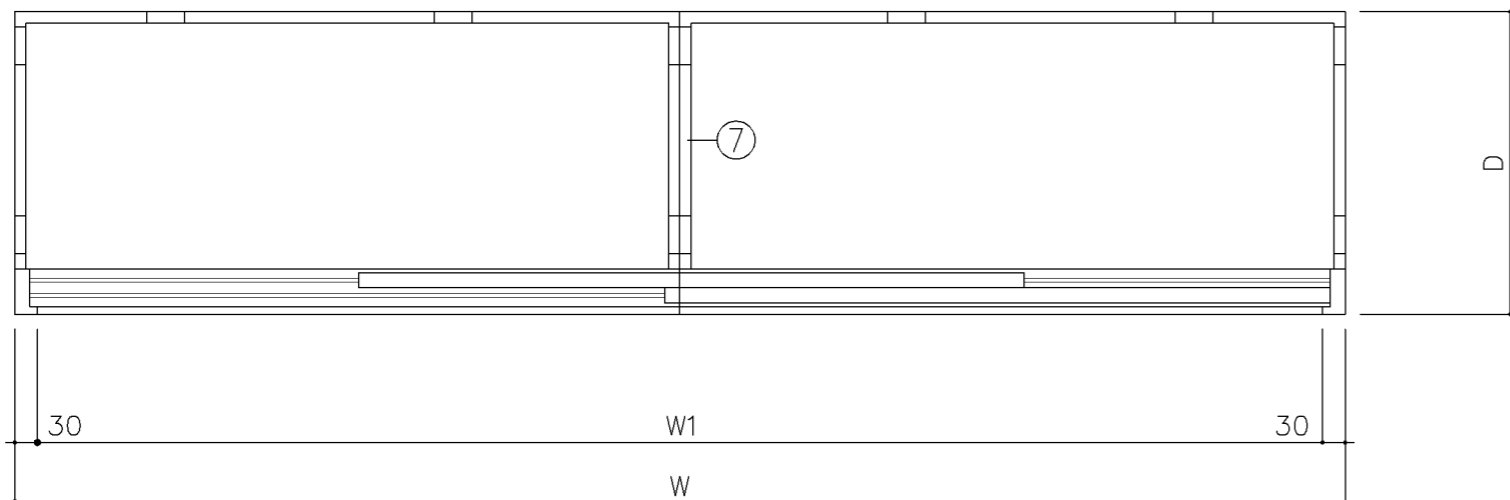
仕様			
番号	名称	材質	仕上
①	天板	SPCC1.0	焼付塗装
②	地板	SPCC0.8	焼付塗装
③	裏板	SPCC0.8	焼付塗装
④	側板	SPCC0.8	焼付塗装
⑤	棚板	SPCC0.8	焼付塗装
⑥	棚受	SPCC0.8	焼付塗装
⑦	引違戸	SPCC0.8	焼付塗装
⑧	補強板	SPCC0.8	焼付塗装
⑨	ベース	SPCC1.0	焼付塗装
⑩	ベース補強	SPCC1.0	焼付塗装

金物及びその他			
番号	名称	材質	仕上
Ⓐ	錠飾板	ダイキャスト	クロムメッキ
Ⓑ	彫込引手	アルミ	アルマイト
Ⓒ	レール	SPCC0.8	焼付塗装
Ⓓ	シロッコ-ブッシュ錠	亜鉛合金	ニッケルメッキ
Ⓔ	棚爪	SGC	

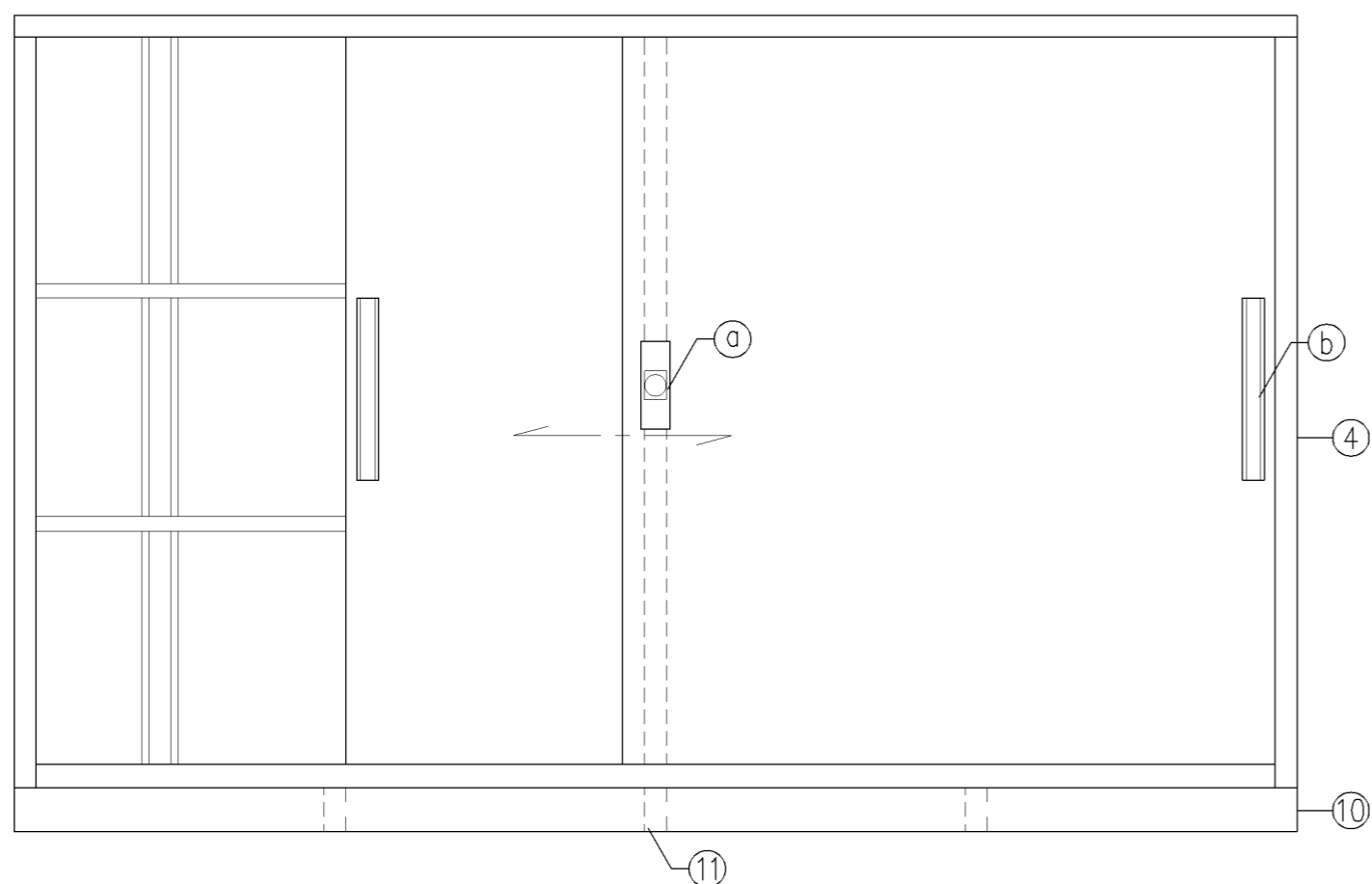
特記事項
・A4ファイル対応品

名称	整理戸棚（下段）		
縮尺	1/10	記号	G-212
設計年月日	令和7年3月		

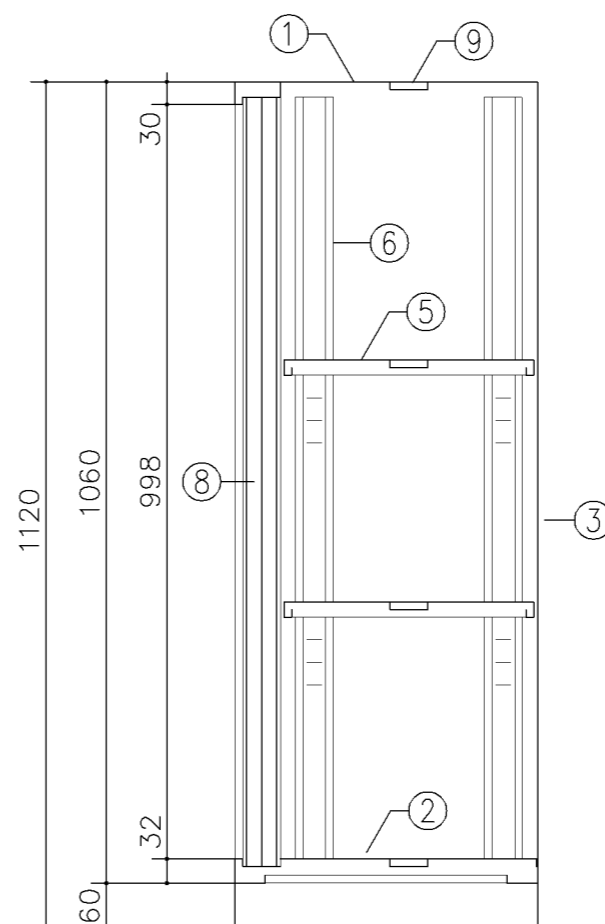
横浜市建築局



平面図



立面図



断面図

寸 法			
A	: W1,500	x D 400	x H1,120
B	: W1,760	x D 400	x H1,120
C	: W1,760	x D 515	x H1,120

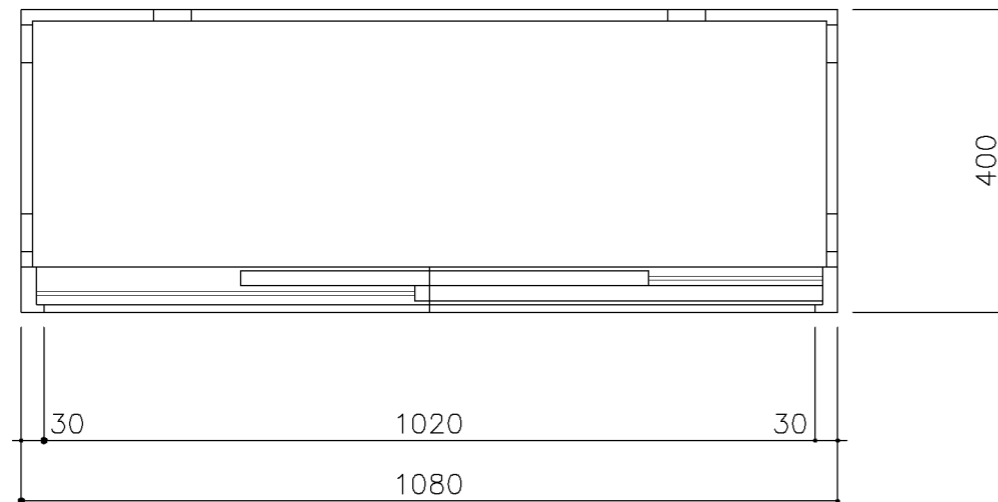
使用箇所			
A : 放送スタジオ、職員室、校長室、倉庫			
B : 多目的室(少人数指導)(中学校)			
校長室、事務室			
技術員室(小学校)、技術員室(小学校)			
C : 多目的室(水廻り学習等)			
多目的室(少人数指導)(中学校)			
PTA会議室、保健相談室、地域交流室			
特別活動室			

仕 様			
番号	名称	材質	仕上
①	天 板	SPCC1.0	焼付塗装
②	地 板	SPCC0.8	焼付塗装
③	裏 板	SPCC0.8	焼付塗装
④	側 板	SPCC0.8	焼付塗装
⑤	棚 板	SPCC0.8	焼付塗装
⑥	棚 受	SPCC0.8	焼付塗装
⑦	中仕切	SPCC0.8	焼付塗装
⑧	引 込 戸	SPCC0.8	焼付塗装
⑨	補 強 板	SPCC0.8	焼付塗装
⑩	ベ ー ス	SPCC1.0	焼付塗装
⑪	ベ-ス補強	SPCC1.0	焼付塗装

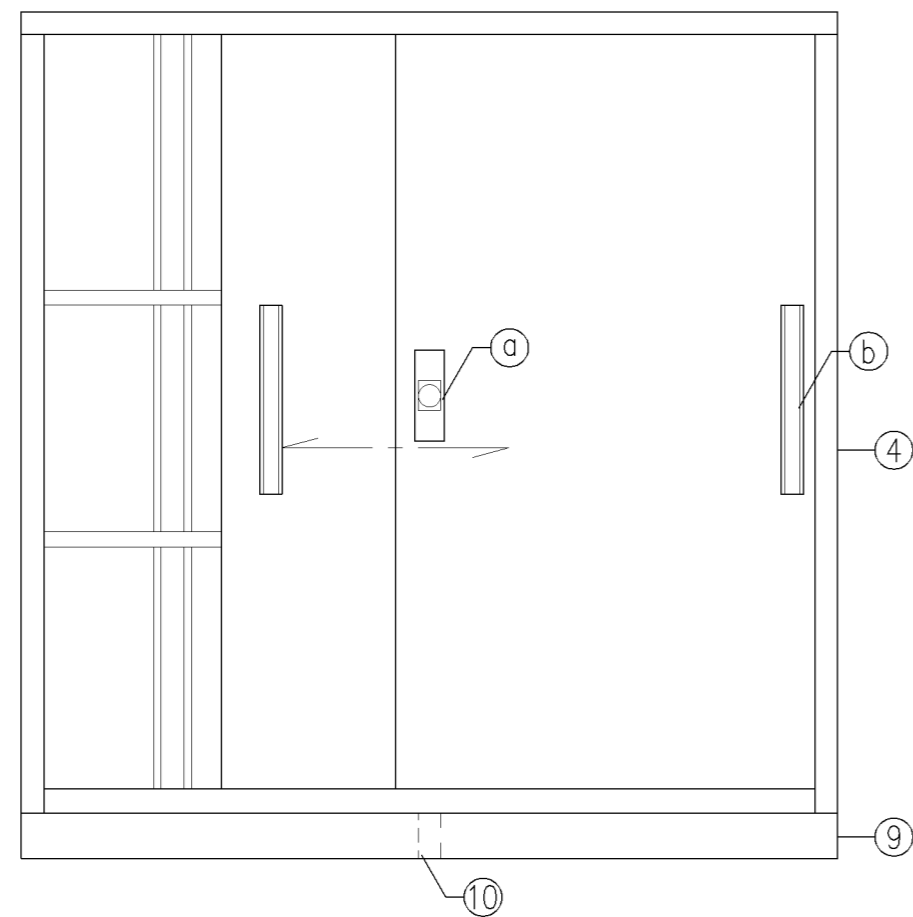
金物及びその他			
番号	名称	材質	仕上
a	錠 節 板	ダイキャスト	クロムメッキ
b	彫込引手	アルミ	アルマイト
c	レ ー ル	SPCC0.8	焼付塗装
d	ソリダ-ブ錠	亜鉛合金	ニッケルメッキ
e	棚 爪	SGC	

特記事項			
・A4ファイル対応品			

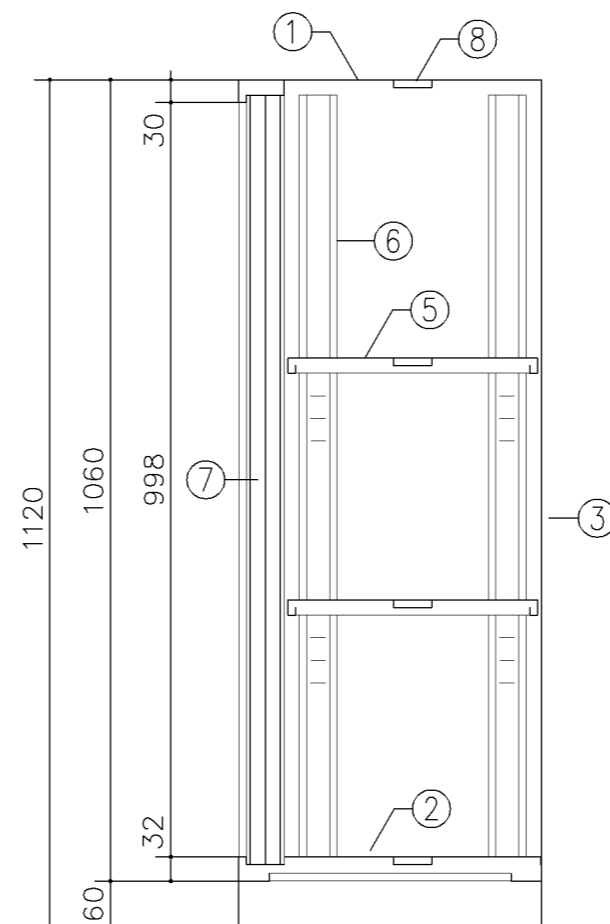
名称	整理戸棚(下段)		
縮尺	1/10	記号	G-213
設計年月日	令和7年3月		
横浜市建築局			



平面図



立面図



断面図

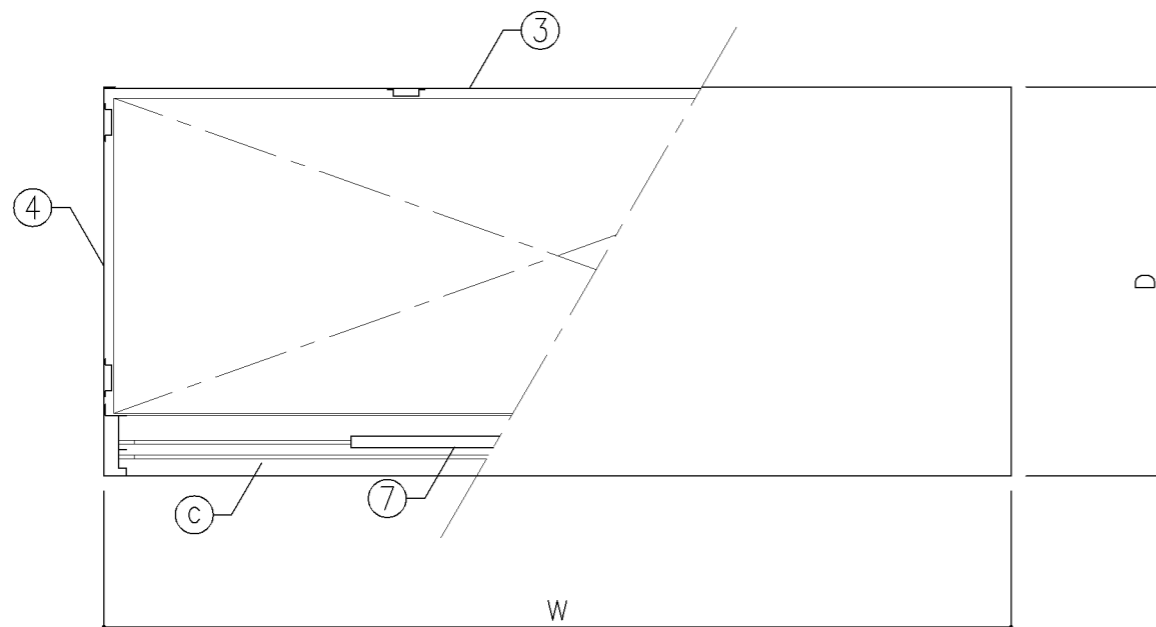
寸 法	
W1,080 x D 400 x H1,120	
使用箇所	
耐火書庫	
仕 様	

番号	名称	材質	仕上
①	天 板	SPCC1.0	焼付塗装
②	地 板	SPCC0.8	焼付塗装
③	裏 板	SPCC0.8	焼付塗装
④	側 板	SPCC0.8	焼付塗装
⑤	棚 板	SPCC0.8	焼付塗装
⑥	棚 受	SPCC0.8	焼付塗装
⑦	引 違 戸	SPCC0.8	焼付塗装
⑧	補 強 板	SPCC0.8	焼付塗装
⑨	ベ ー ス	SPCC1.0	焼付塗装
⑩	ベース補強	SPCC1.0	焼付塗装

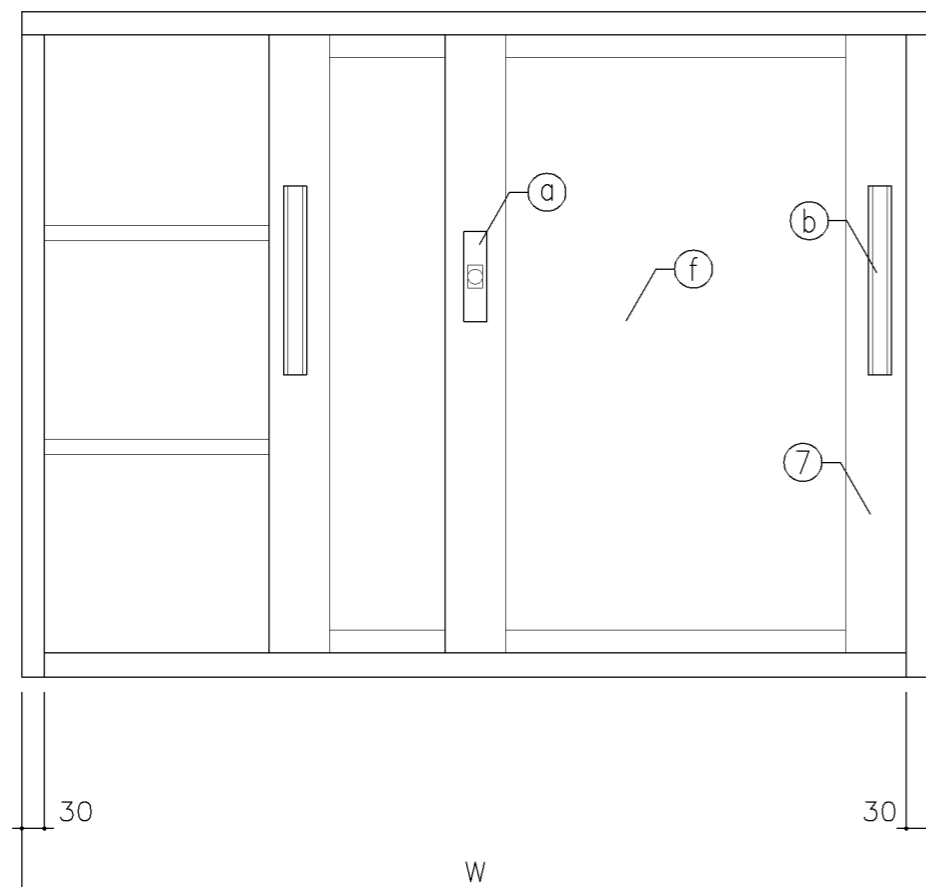
金物及びその他			
番号	名称	材質	仕上
Ⓐ	錠 飾 板	ダイキャスト	クロムメッキ
Ⓑ	彫込引手	アルミ	アルマイト
Ⓒ	レ ー ル	SPCC0.8	焼付塗装
Ⓓ	シリダ-プ-ッ錠	亜鉛合金	ニッケルメッキ
Ⓔ	棚 爪	SGC	

特記事項	
・ A4ファイル対応品	

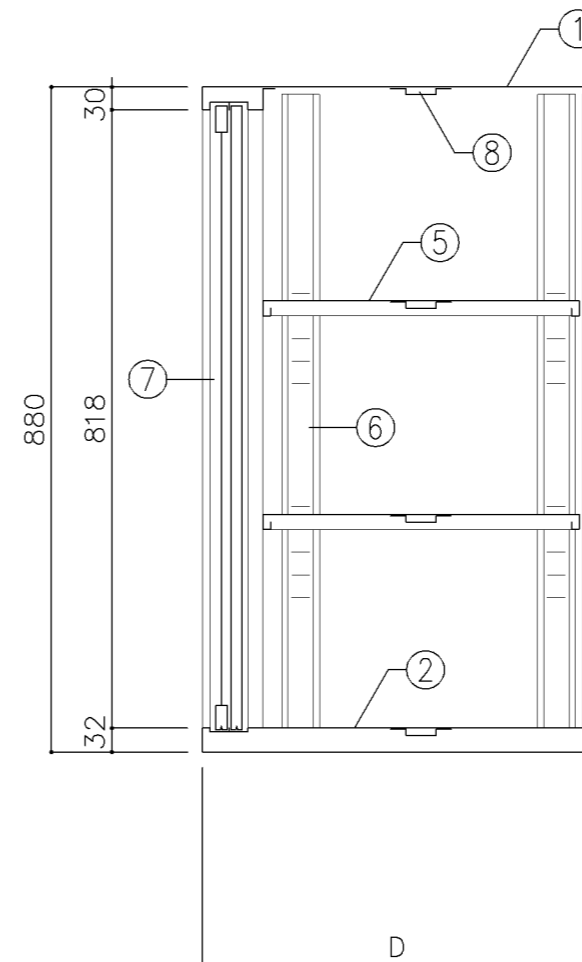
名称	整理戸棚 (下段)		
縮尺	1/10	記号	G-213D
設計年月日	令和7年3月		
横浜市建築局			



平面図



正面図



断面図

寸 法			
A	: W1,200	x D 400	x H 880
B	: W1,200	x D 515	x H 880
C	: W 880	x D 400	x H 880

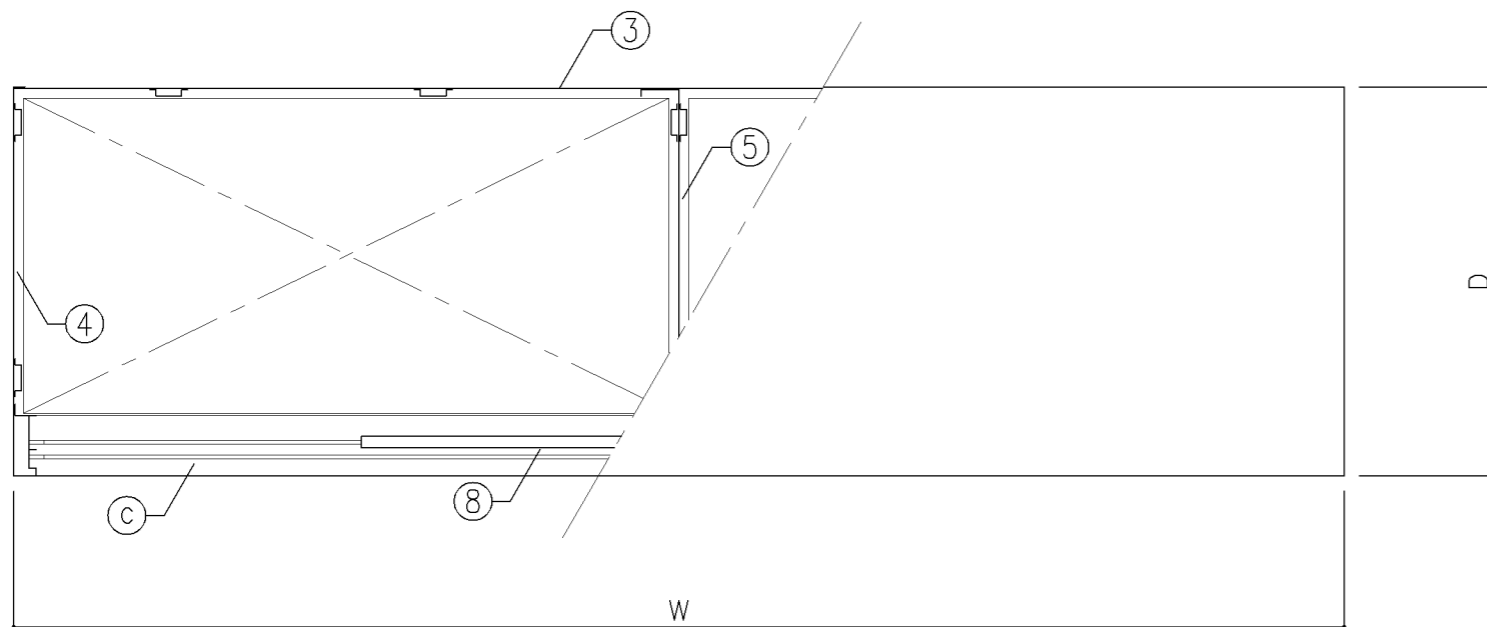
使用箇所			
A : 理科準備室 (小学校)、美術準備室、技術教室			
B : 図画工作準備室、美術準備室			
C : 理科準備室 (中学校)			

仕 様			
番号	名称	材質	仕上
①	天 板	SPCC 1.0	焼付塗装
②	地 板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	裏 板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	側 板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	棚 板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	棚 受	SPCC 0.8	焼付塗装
⑦	框 戸	SPCC 0.8	焼付塗装
⑧	補 強 板	SPCC 0.8	焼付塗装

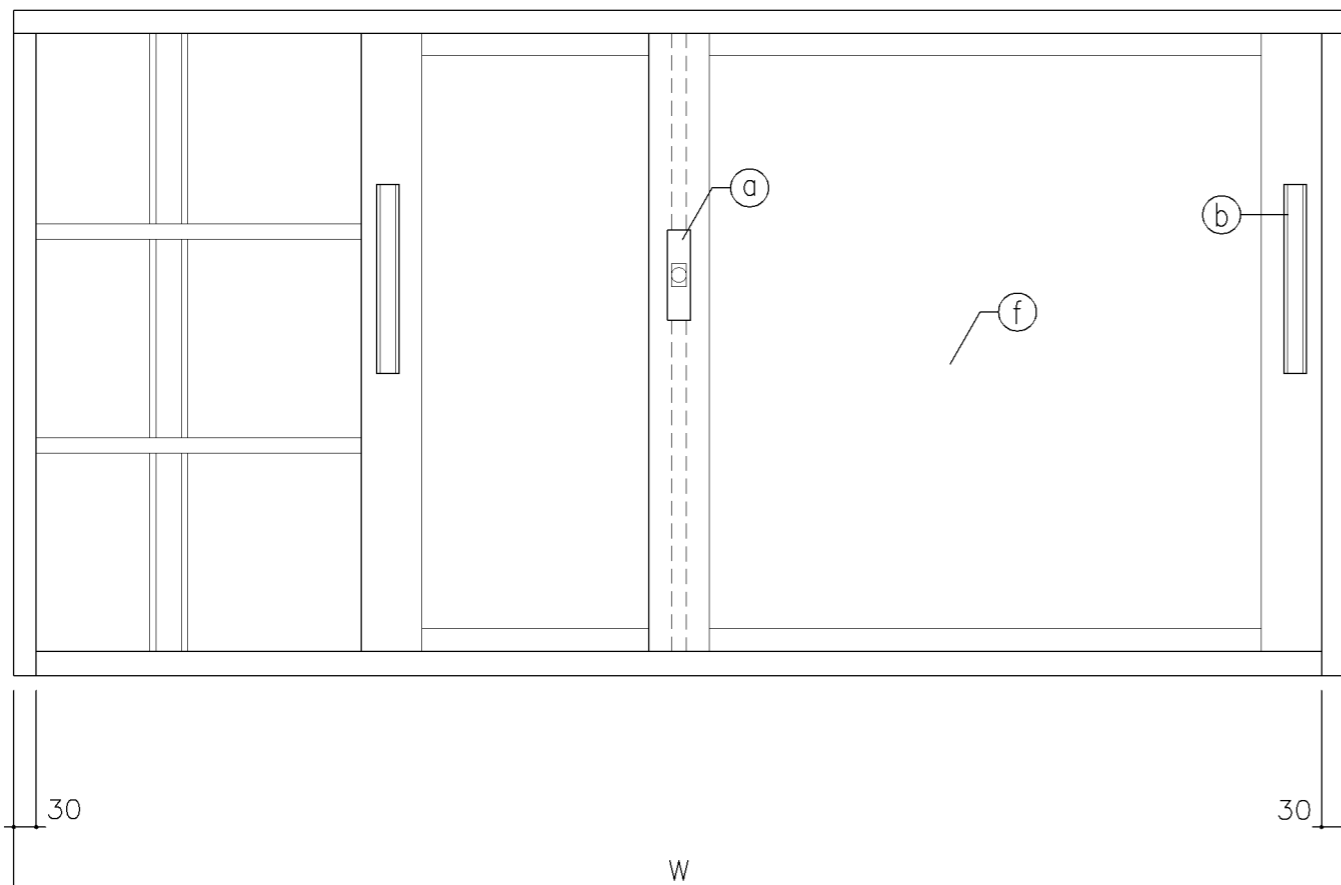
金物及びその他			
番号	名称	材質	仕上
a	鍵 節 板	ダイキャスト	クロムメッキ
b	掘込引手	アルミ	アルマイト
c	レ ー ル	SPCC 0.8	焼付塗装
d	リリダ-ブツ鍵	亜鉛合金	ニッケルメッキ
e	棚 爪	SGC	
f	硝 子	73ポリカーボネード板	

特記事項			

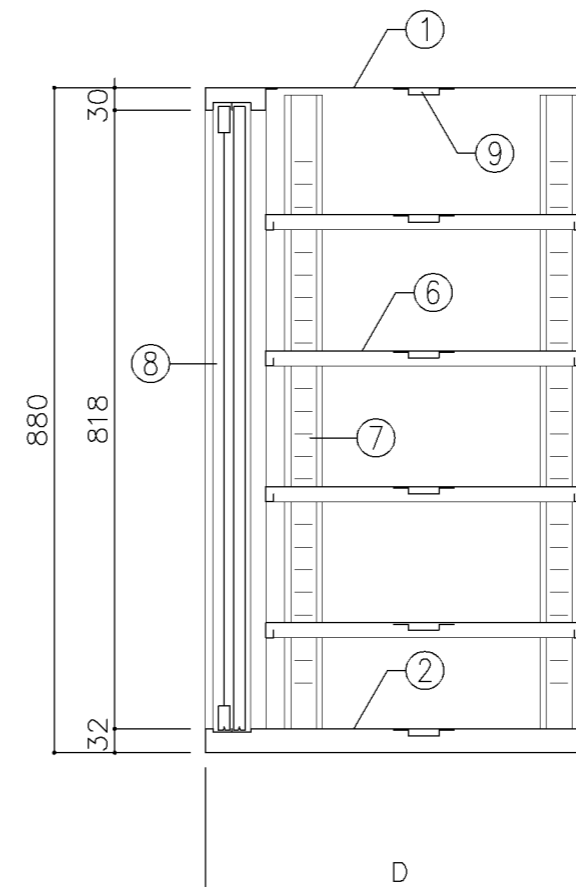
名称	整理戸棚 (上段)		
縮尺	1/10	記号	G-214
設計年月日	令和7年3月		
横浜市建築局			



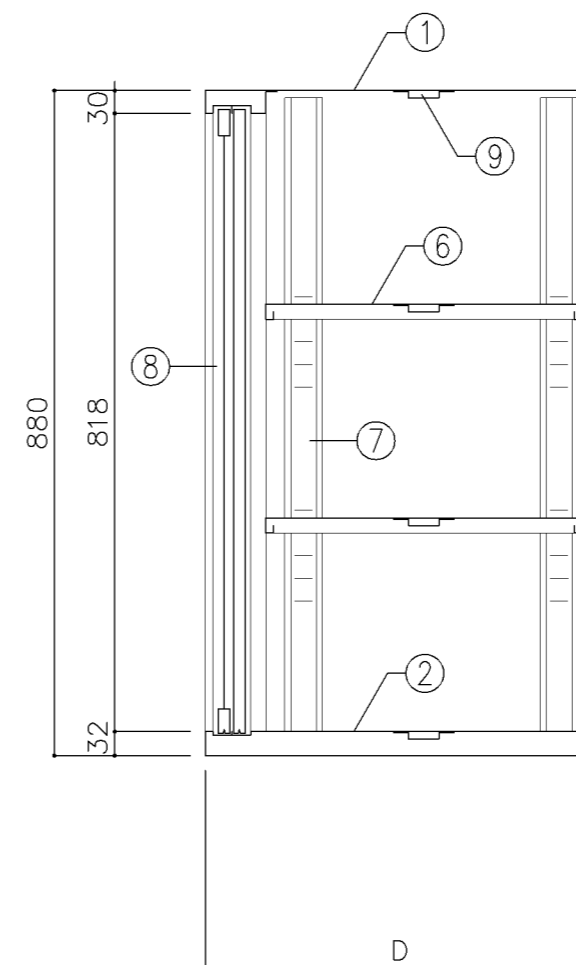
平面図



正面図



断面図



断面図

寸法			
A	: W1,760	x D 400	x H 880
B	: W1,760	x D 515	x H 880
C	: W1,650	x D 400	x H 880
D	: W1,550	x D 400	x H 880

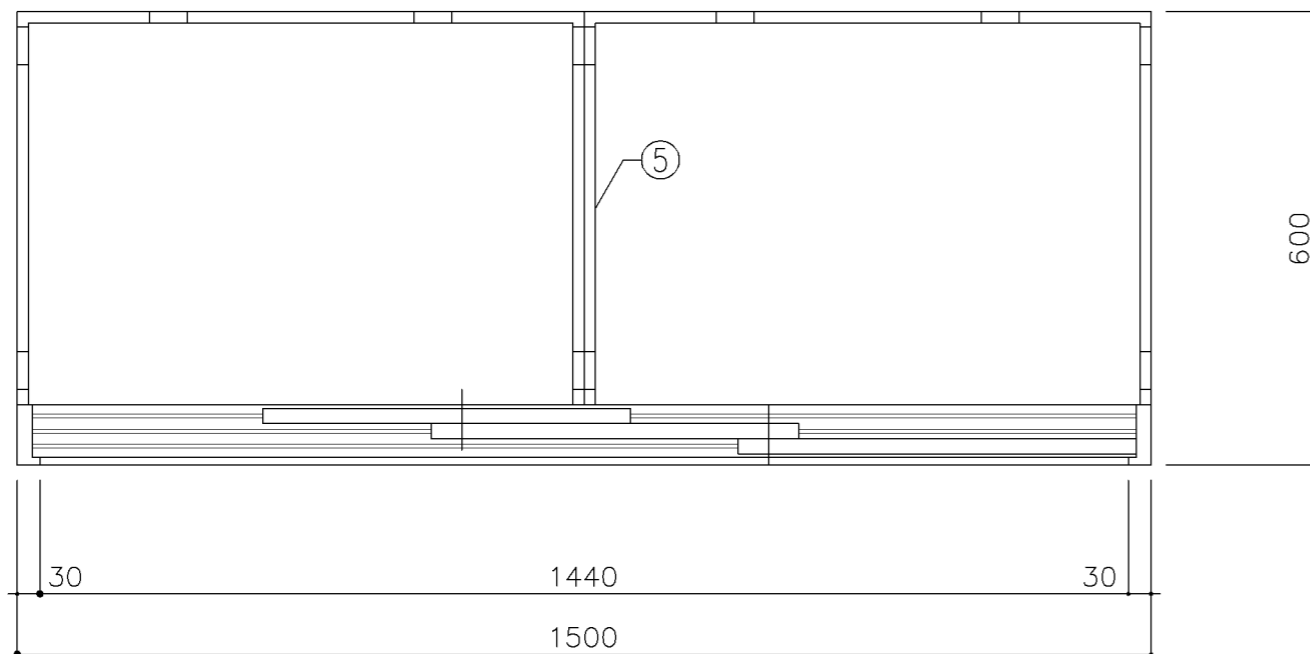
使用箇所			
A: 理科準備室(小・中学校)、図書室(中学校) 教育相談室、進路指導室 多目的室(水廻り学習等) PTA会議室、地域交流室、特別活動室			
B: 保健相談室、図画工作準備室、美術準備室			
C: 家庭科準備室(中学校)			
D: 技術教室			

仕様			
番号	名称	材質	仕上
①	天板	SPCC 1.0	焼付塗装
②	地板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	裏板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	側板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	縦仕切板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	棚板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑦	棚受	SPCC 0.8	焼付塗装
⑧	框戸	SPCC 0.8	焼付塗装
⑨	補強板	SPCC 0.8	焼付塗装

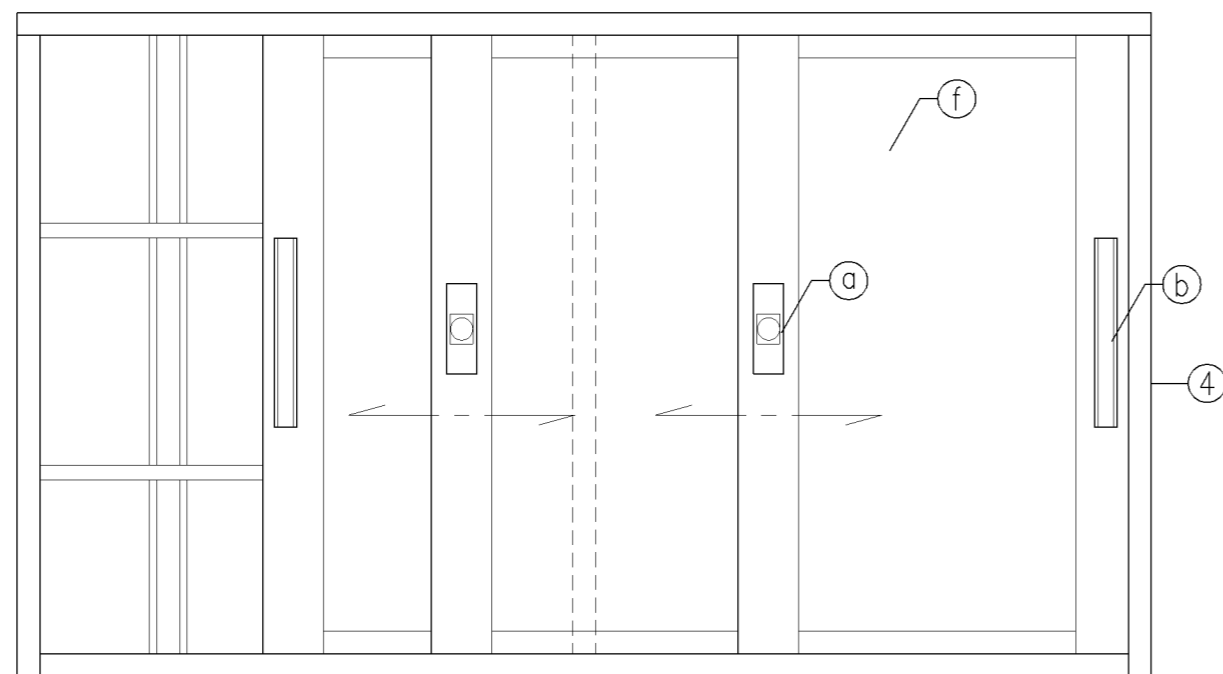
金物及びその他			
番号	名称	材質	仕上
a	鍵節板	ダイキャスト	クロムメッキ
b	掘込引手	アルミ	アルマイト
c	レール	SPCC 0.8	焼付塗装
d	リフトアップ鍵	亜鉛合金	ニッケルメッキ
e	棚爪	SGC	
f	硝子	73ポリカーボネード板	

特記事項			

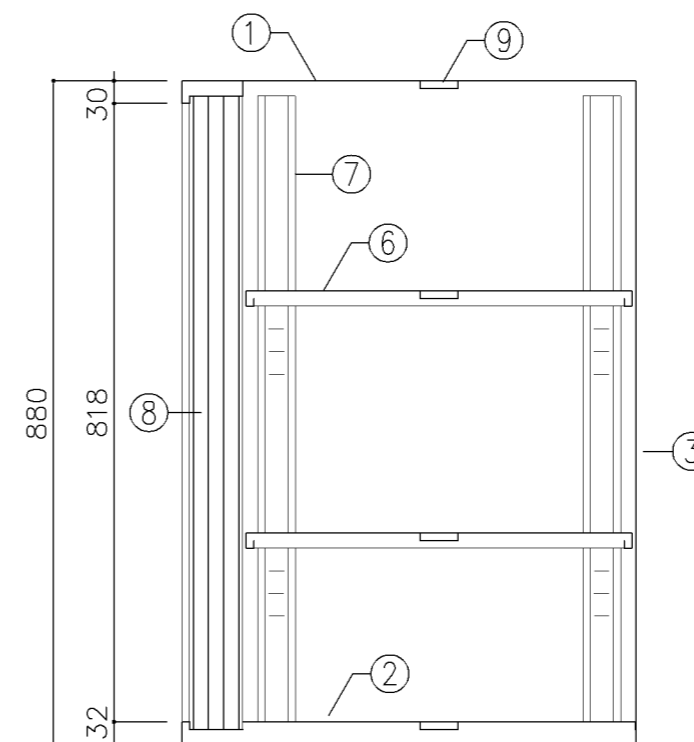
名称	整理戸棚(上段)		
縮尺	1/10	記号	G-215
設計年月日	令和7年3月		
横浜市建築局			



平面図



立面図



断面図

寸法
W1,500 x D 600 x H 880

使用箇所

技術員室（小学校）
技術員室（中学校）

仕様

番号	名称	材質	仕上
①	天板	SPCC 1.0	焼付塗装
②	地板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	裏板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	側板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	縦仕切板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	棚板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑦	棚受	SPCC 0.8	焼付塗装
⑧	カマチ戸	SPCC 0.8	焼付塗装
⑨	補強板	SPCC 0.8	焼付塗装

金物及びその他

番号	名称	材質	仕上
a	鍵飾板	ダイキャスト	クロムメッキ
b	掘込引手	アルミ	アルマイト
c	レール	SPCC 0.8	焼付塗装
d	ソリダグ-ブツ鍵	亜鉛合金	ニッケルメッキ
e	棚爪	SGC	
f	硝子	73ポリカーボネード板	

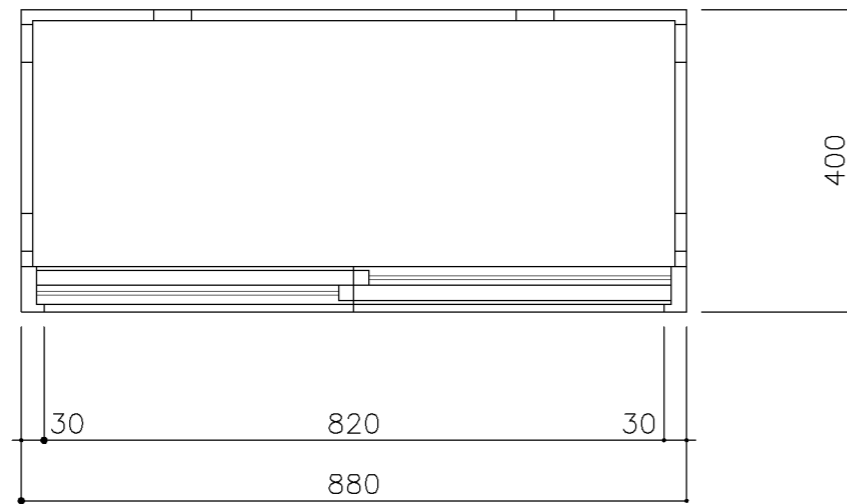
特記事項

名称 整理戸棚（3枚引）

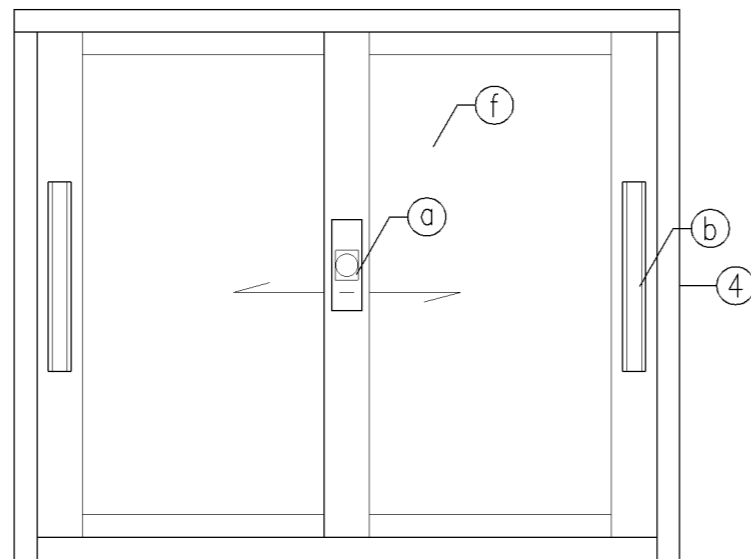
縮尺 1/10 記号 G-216

設計年月日 令和7年3月

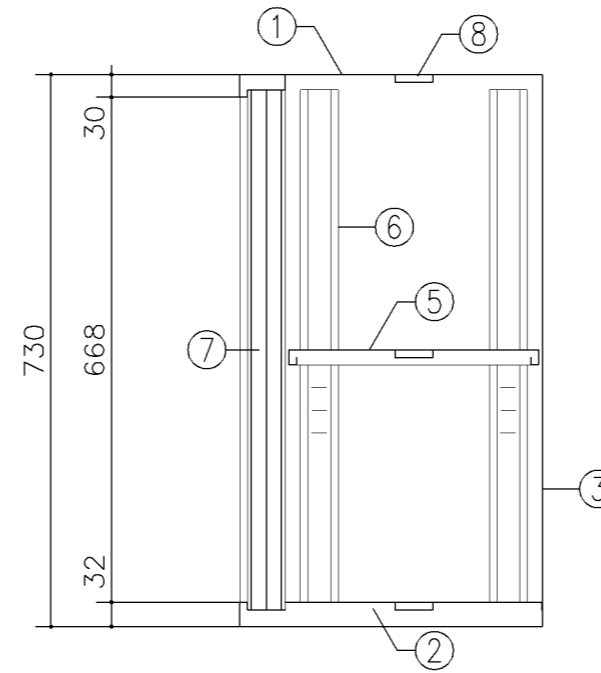
横浜市建築局



平面図



立面図



断面図

寸法
W 880 x D 400 x H 730

使用箇所

耐火書庫

仕様

番号	名称	材質	仕上
①	天板	SPCC1.0	焼付塗装
②	地板	SPCC0.8	焼付塗装
③	裏板	SPCC0.8	焼付塗装
④	側板	SPCC0.8	焼付塗装
⑤	棚板	SPCC0.8	焼付塗装
⑥	棚受	SPCC0.8	焼付塗装
⑦	カマチ戸	SPCC0.8	焼付塗装
⑧	補強板	SPCC0.8	焼付塗装

金物及びその他

番号	名称	材質	仕上
Ⓐ	錠飾板	ダイキャスト	クロムメッキ
Ⓑ	彫込引手	アルミ	アルマイト
Ⓒ	レール	SPCC0.8	焼付塗装
Ⓓ	シリンダー・ブッシュ錠	亜鉛合金	ニッケルメッキ
Ⓔ	棚爪	SGC	
Ⓕ	硝子	ポリカーボネード板73	

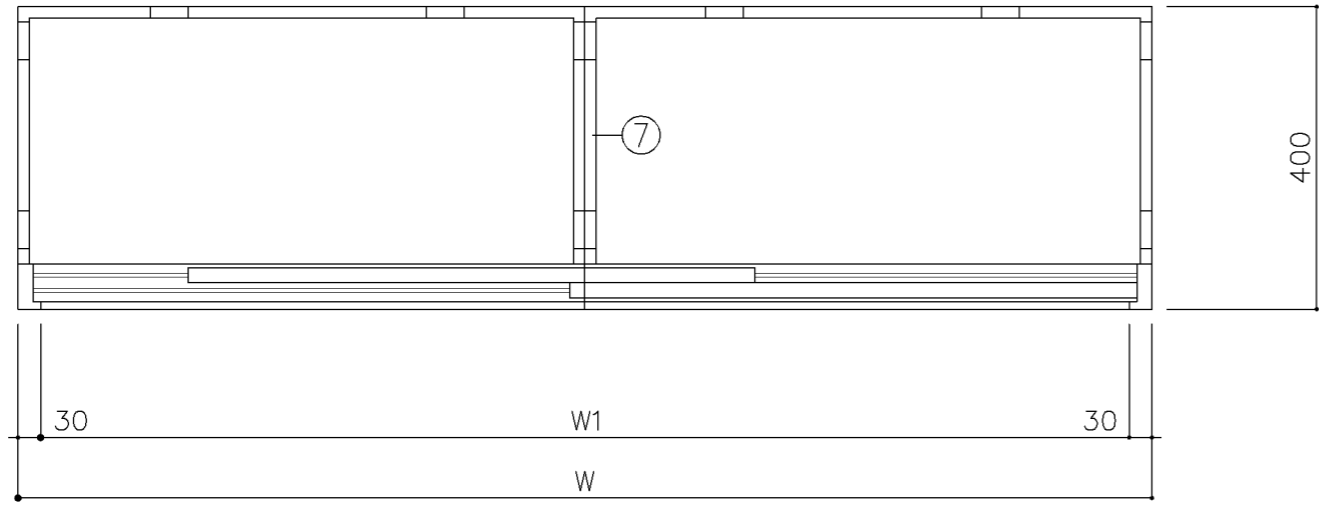
特記事項

名称 整理戸棚 (上段)

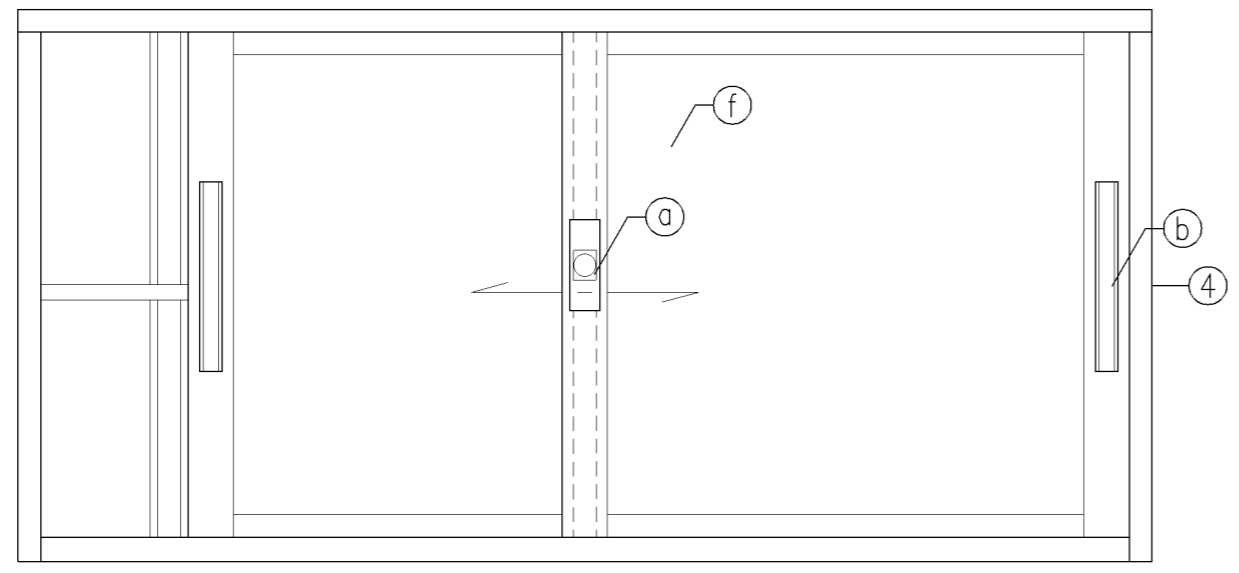
縮尺 1/10 記号 G-217

設計年月日 令和7年3月

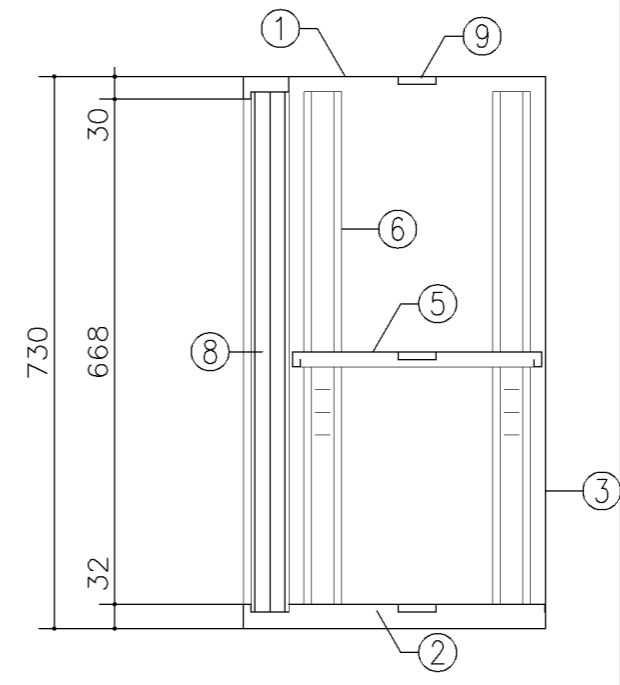
横浜市建築局



平面図

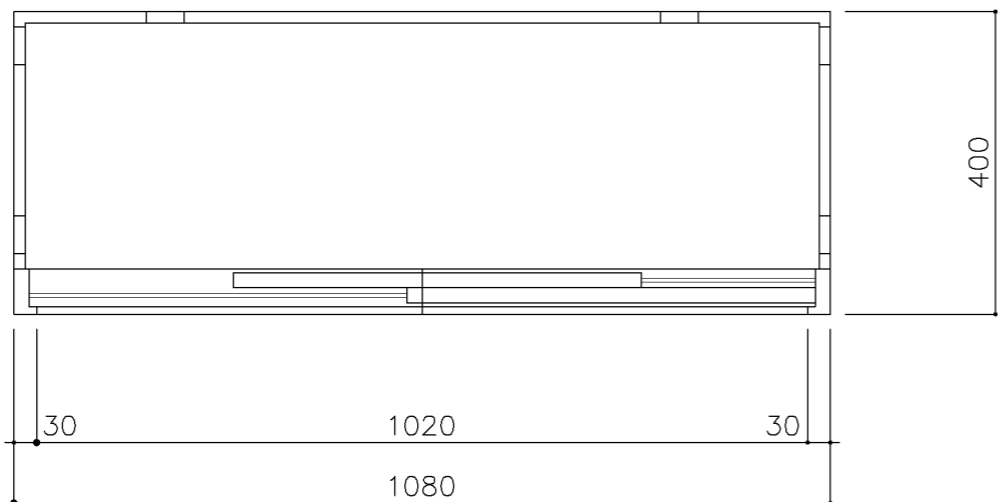


立面図

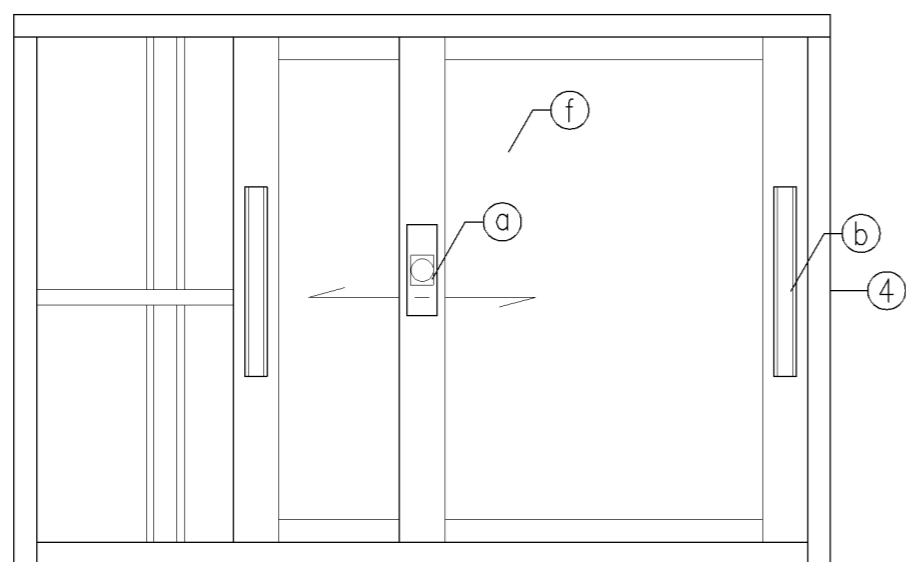


断面図

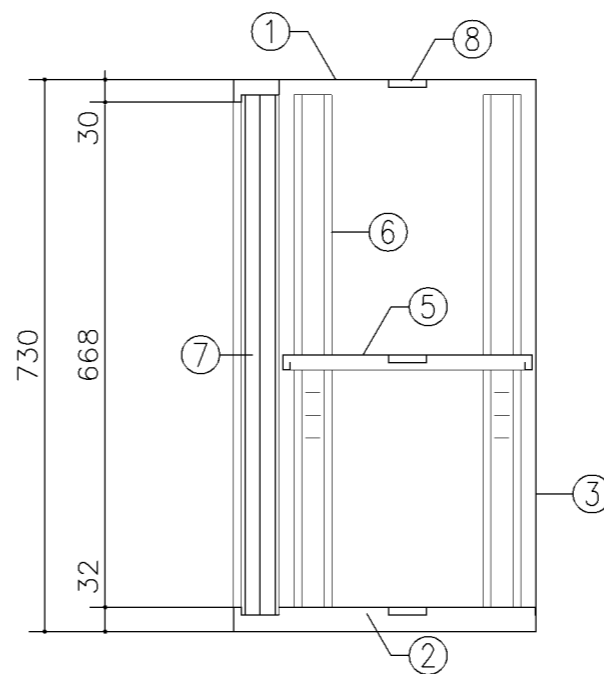
寸 法			
A		W1,500 x D 400 x H 730	
B		W1,760 x D 400 x H 730	
使用箇所			
A : 放送スタジオ、職員室、校長室、倉庫			
B : 事務室			
技術員室 (小学校)、技術員室 (中学校)			
多目的室 (少人数指導) (中学校)			
仕 様			
番号	名称	材質	仕上
①	天 板	SPCC1.0	焼付塗装
②	地 板	SPCC0.8	焼付塗装
③	裏 板	SPCC0.8	焼付塗装
④	側 板	SPCC0.8	焼付塗装
⑤	棚 板	SPCC0.8	焼付塗装
⑥	棚 受	SPCC0.8	焼付塗装
⑦	中仕切	SPCC0.8	焼付塗装
⑧	カマチ戸	SPCC0.8	焼付塗装
⑨	補強板	SPCC0.8	焼付塗装
金物及びその他			
番号	名称	材質	仕上
Ⓐ	錠 飾 板	ダイキャスト	クロムメッキ
Ⓑ	彫込引手	アルミ	アルマイト
Ⓒ	レール	SPCC0.8	焼付塗装
Ⓓ	シロッコ-ブッシュ錠	亜鉛合金	ニッケルメッキ
Ⓔ	棚 爪	SGC	
Ⓕ	硝 子	ポリカーボネード板73	
特記事項			
名称		整理戸棚 (上段)	
縮尺	1/10	記号	G-218
設計年月日		令和7年3月	
横浜市建築局			



平面図



立面図



断面図

寸法
W1,080 x D 400 x H 730

使用箇所
耐火書庫

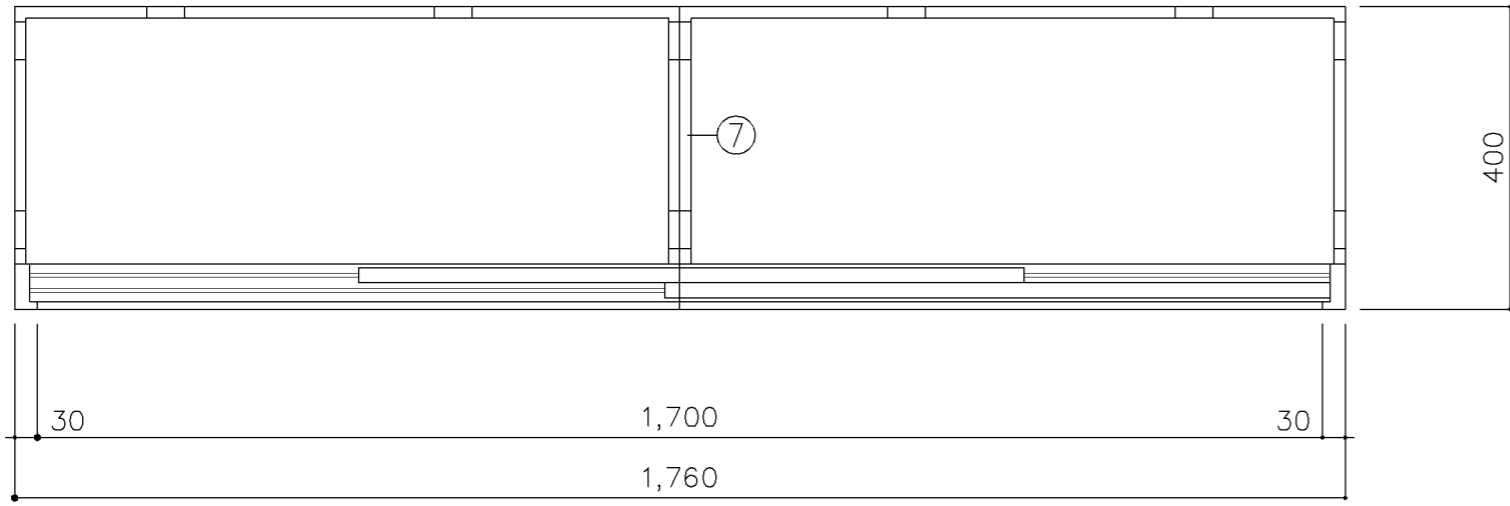
仕様			
番号	名称	材質	仕上
①	天板	SPCC1.0	焼付塗装
②	地板	SPCC0.8	焼付塗装
③	裏板	SPCC0.8	焼付塗装
④	側板	SPCC0.8	焼付塗装
⑤	棚板	SPCC0.8	焼付塗装
⑥	棚受	SPCC0.8	焼付塗装
⑦	カマチ戸	SPCC0.8	焼付塗装
⑧	補強板	SPCC0.8	焼付塗装

金物及びその他			
番号	名称	材質	仕上
Ⓐ	錠飾板	ダイキャスト	クロムメッキ
Ⓑ	彫込引手	アルミ	アルマイト
Ⓒ	レール	SPCC0.8	焼付塗装
Ⓓ	リリダ-ブ錠	亜鉛合金	ニッケルメッキ
Ⓔ	棚爪	SGC	
Ⓕ	硝子	ポリカーボネード板73	

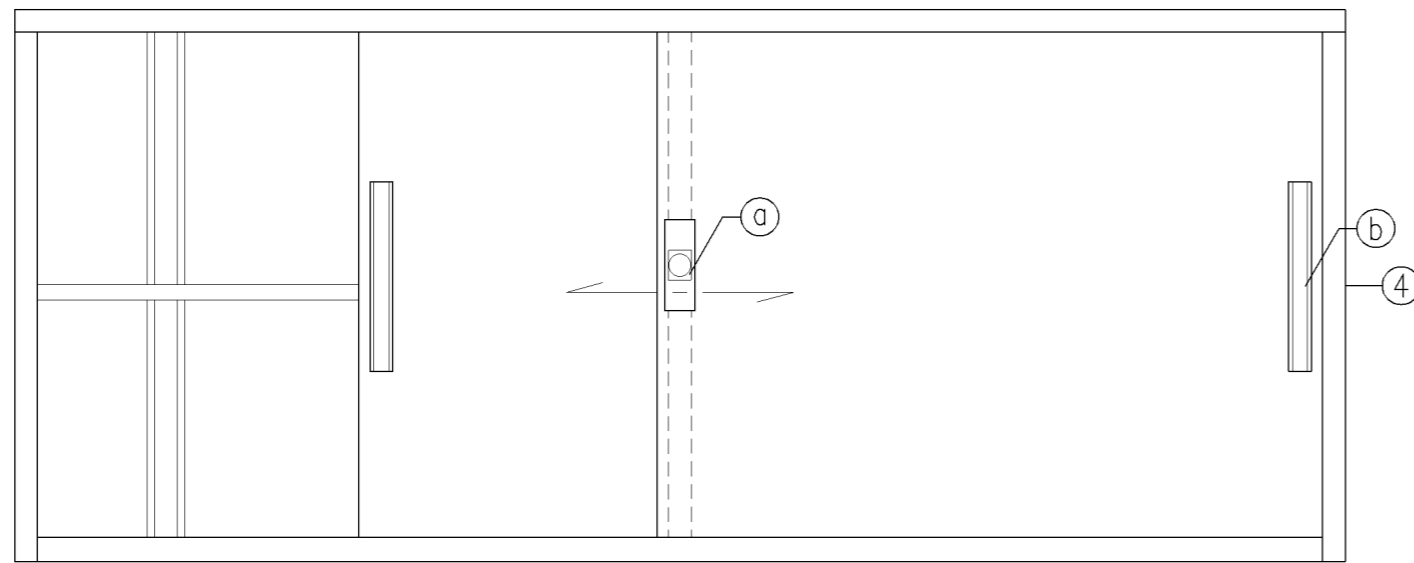
特記事項

名称 整理戸棚 (上・中段)
縮尺 1/10 記号 G-218C
設計年月日 令和7年3月

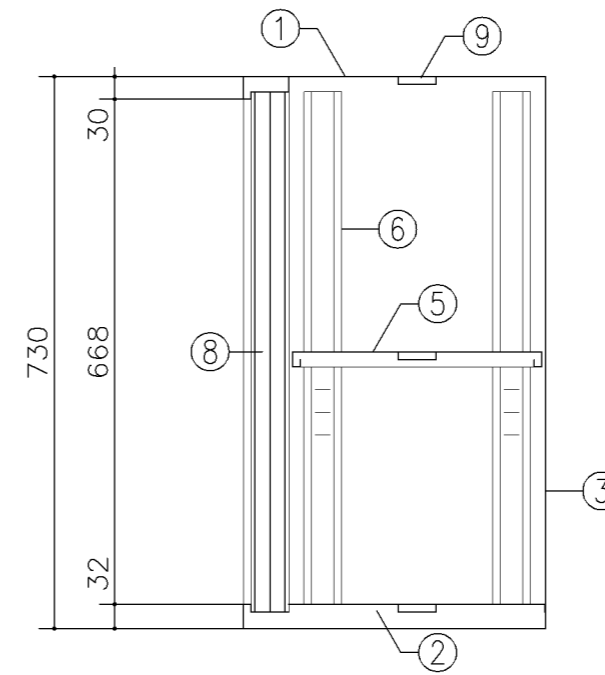
横浜市建築局



平面図

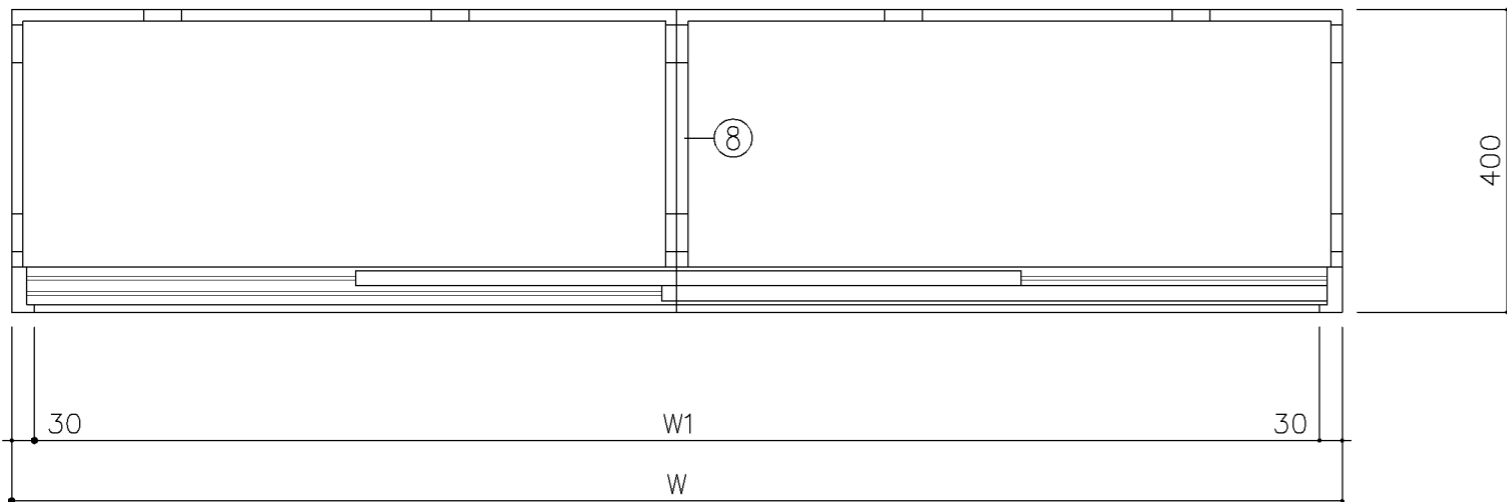


立面図

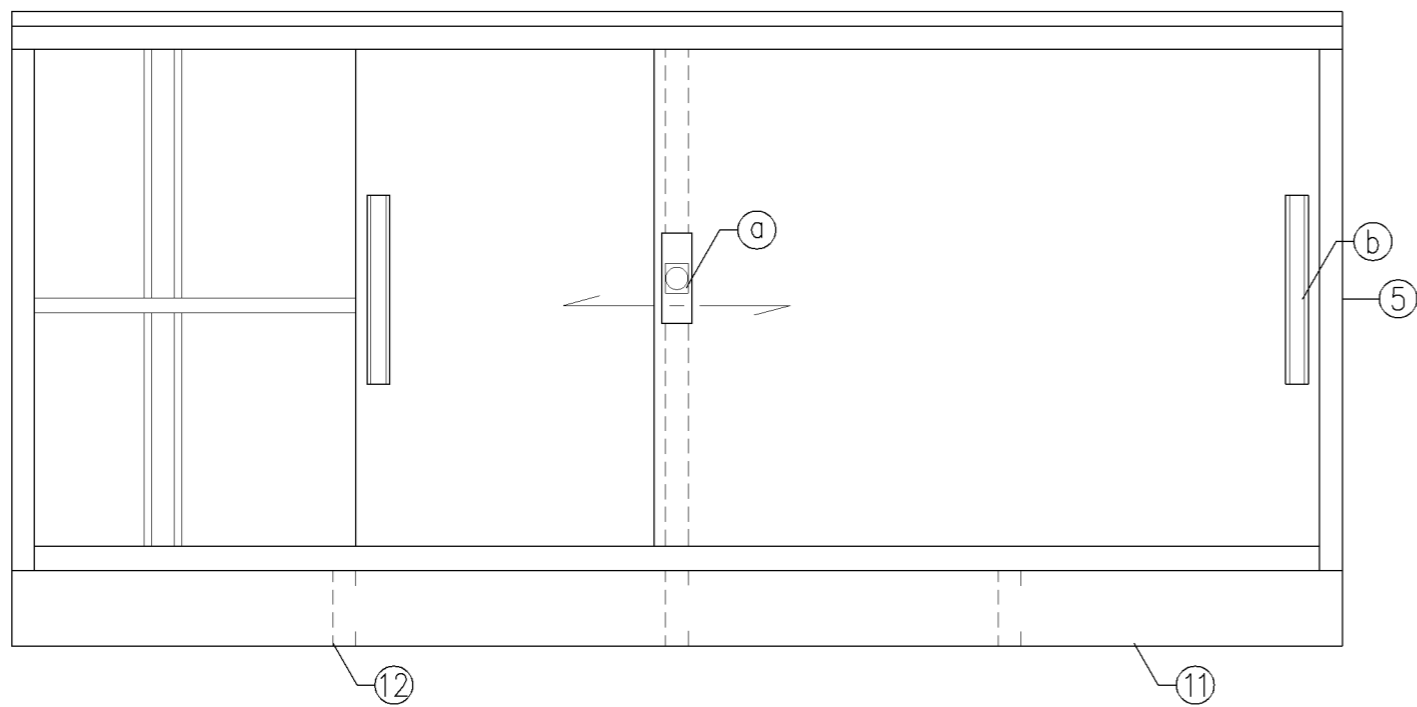


断面図

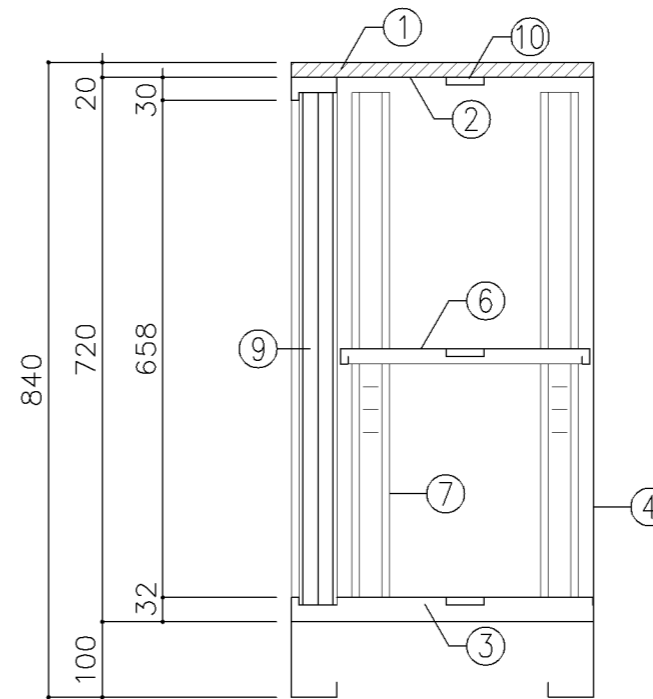
寸 法			
W1,760 x D 400 x H 730			
使用箇所			
多目的室（少人数指導）（中学校）			
事務室			
仕 様			
番号	名称	材質	仕上
①	天 板	SPCC1.0	焼付塗装
②	地 板	SPCC0.8	焼付塗装
③	裏 板	SPCC0.8	焼付塗装
④	側 板	SPCC0.8	焼付塗装
⑤	棚 板	SPCC0.8	焼付塗装
⑥	棚 受	SPCC0.8	焼付塗装
⑦	中仕切	SPCC0.8	焼付塗装
⑧	引違戸	SPCC0.8	焼付塗装
⑨	補強板	SPCC0.8	焼付塗装
金物及びその他			
番号	名称	材質	仕上
Ⓐ	錠飾板	ダイキャスト	クロムメッキ
Ⓑ	彫込引手	アルミ	アルマイト
Ⓒ	レール	SPCC0.8	焼付塗装
Ⓓ	シロッコ-ブッシュ錠	亜鉛合金	ニッケルメッキ
Ⓔ	棚 爪	SGC	
特記事項			
名称	整理戸棚（上段）		
縮尺	1/10	記号	G-219
設計年月日	令和7年3月		
横浜市建築局			



平面図

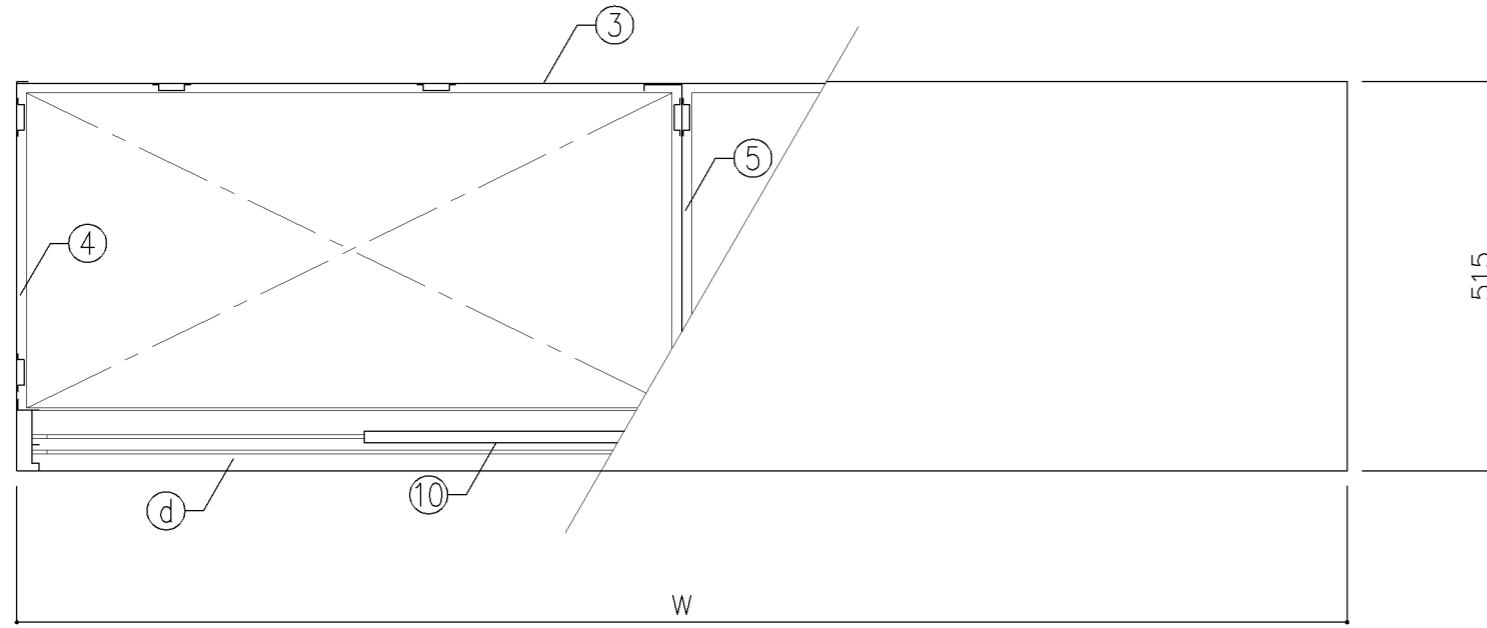


立面図

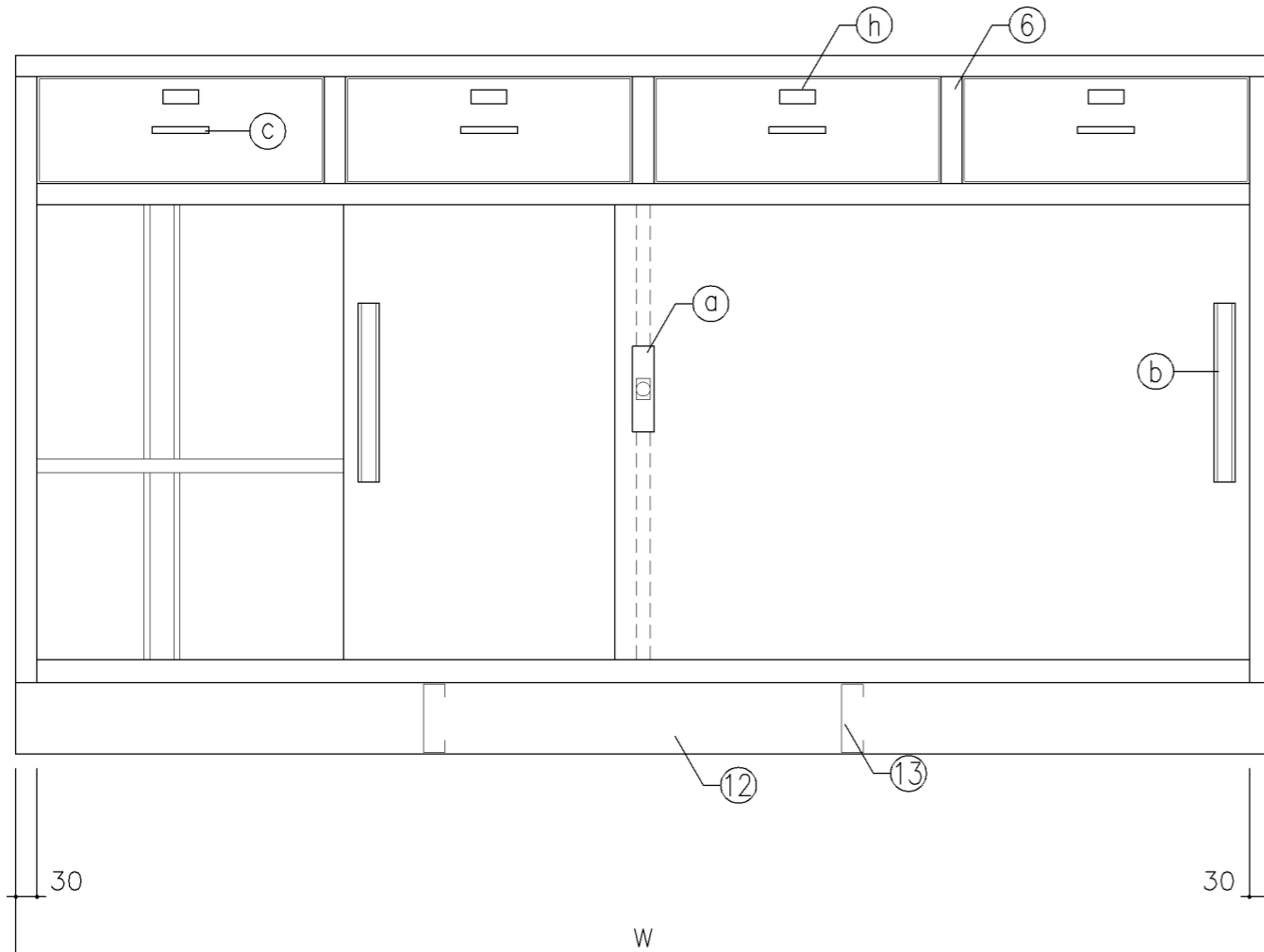


断面図

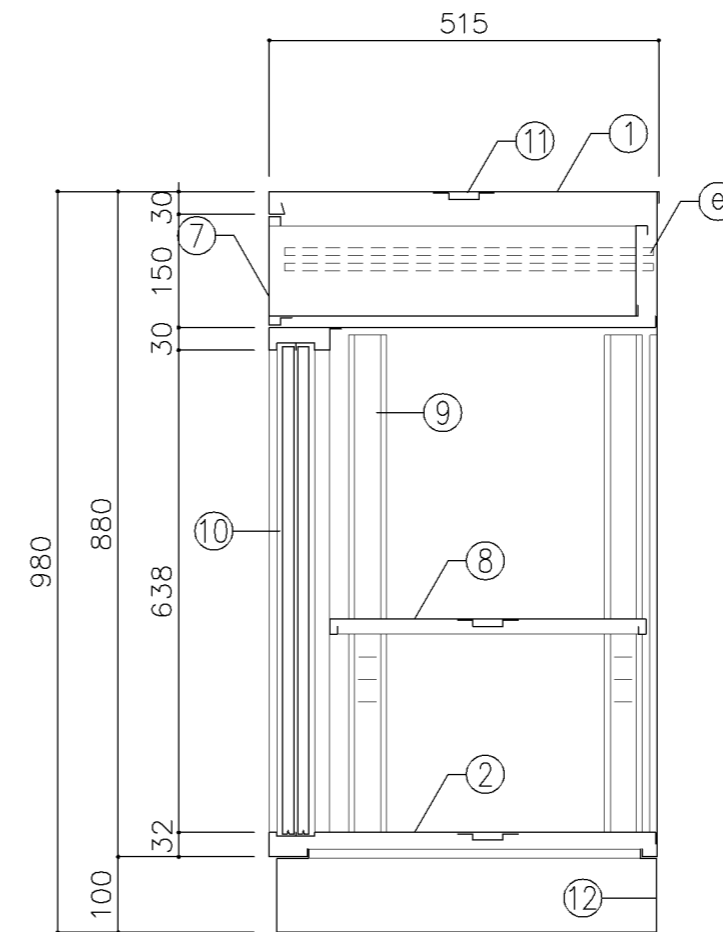
寸 法			
A : W1,500 x D 400 x H 840			
B : W1,760 x D 400 x H 840			
使用箇所			
A : 職員室			
B : 職員室			
仕 様			
番号	名称	材質	仕上
①	化粧天板	MDF	メラミン樹脂板
②	天 板	SPCC1.0	焼付塗装
③	地 板	SPCC0.8	焼付塗装
④	裏 板	SPCC0.8	焼付塗装
⑤	側 板	SPCC0.8	焼付塗装
⑥	棚 板	SPCC0.8	焼付塗装
⑦	棚 受	SPCC0.8	焼付塗装
⑧	中仕切	SPCC0.8	焼付塗装
⑨	カマチ戸	SPCC0.8	焼付塗装
⑩	補強板	SPCC0.8	焼付塗装
⑪	ベース	SPCC1.0	焼付塗装
⑫	ベース補強	SPCC1.0	焼付塗装
金物及びその他			
番号	名称	材質	仕上
a	錠飾板	ダイキャスト	クロムメッキ
b	彫込引手	アルミ	アルマイト
c	レール	SPCC0.8	焼付塗装
d	シリンダーブッシュ錠	亜鉛合金	ニッケルメッキ
e	棚 爪	SGC	
特記事項			
名称		台下戸棚	
縮尺	1/10	記号	G-220
設計年月日		令和7年3月	
横浜市建築局			



平面図



正面図

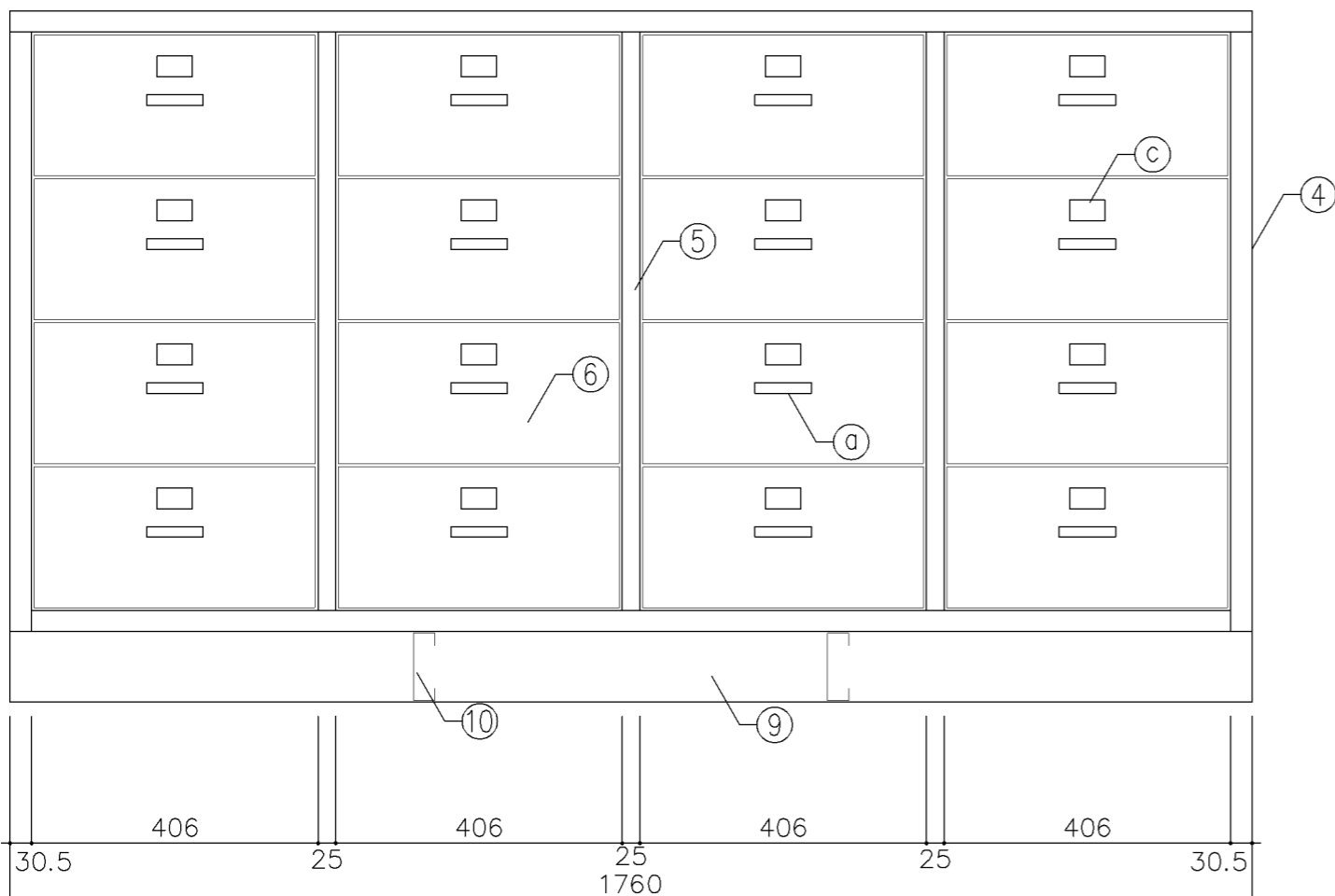


断面図

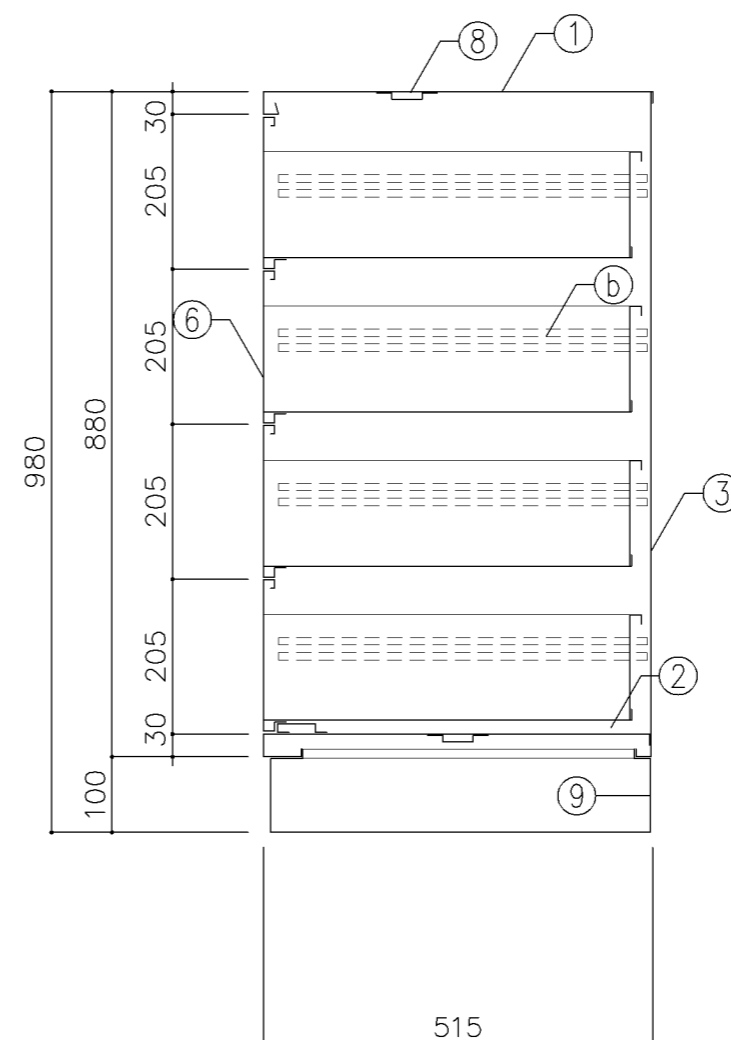
寸法			
A : W1,650 x D 515 x H 980			
B : W1,760 x D 515 x H 980			
使用箇所			
A : 家庭科準備室 (中学校)			
B : 図画工作準備室			
仕様			
番号	名称	材質	仕上
①	天板	SPCC 1.0	焼付塗装
②	地板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	裏板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	側板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	縦仕切板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	縦仕切板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑦	引出	SPCC 0.8	焼付塗装
⑧	棚板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑨	棚受	SPCC 0.8	焼付塗装
⑩	引違戸	SPCC 0.8	焼付塗装
⑪	補強板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑫	ベース	SPCC 1.0	焼付塗装
⑬	ベース補強	SPCC 1.0	焼付塗装
金物及びその他			
番号	名称	材質	仕上
a	鍵飾板	ダイキャスト	クロムメッキ
b	掘込引手	アルミ	アルマイト
c	掘込引手	アルミ	アルマイト
d	レール	SPCC 0.8	焼付塗装
e	レール	SPCC 1.6	焼付塗装
f	ソリダグ-ブロッ	亜鉛合金	ニッケルメ
g	棚爪	SGC	
h	名札入		
特記事項			
名称		引出付整理戸棚	
縮尺	1/10	記号	G-230
設計年月日		令和7年3月	
横浜市建築局			



平面図



正面図



断面図

寸法
W1,760 x D 515 x H 980

使用箇所

図画工作準備室

仕様

番号	名称	材質	仕上
①	天板	SPCC 1.0	焼付塗装
②	地板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	裏板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	側板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	縦仕切板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	引出	SPCC 0.8	焼付塗装
⑦	引出受	SPCC 1.6	焼付塗装
⑧	補強板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑨	ベース	SPCC 1.0	焼付塗装
⑩	ベース補強	SPCC 1.0	焼付塗装

金物及びその他

番号	名称	材質	仕上
Ⓐ	掘込引手	アルミ	アルマイト
Ⓑ	レール	SPCC 1.6	焼付塗装
Ⓒ	名札入		

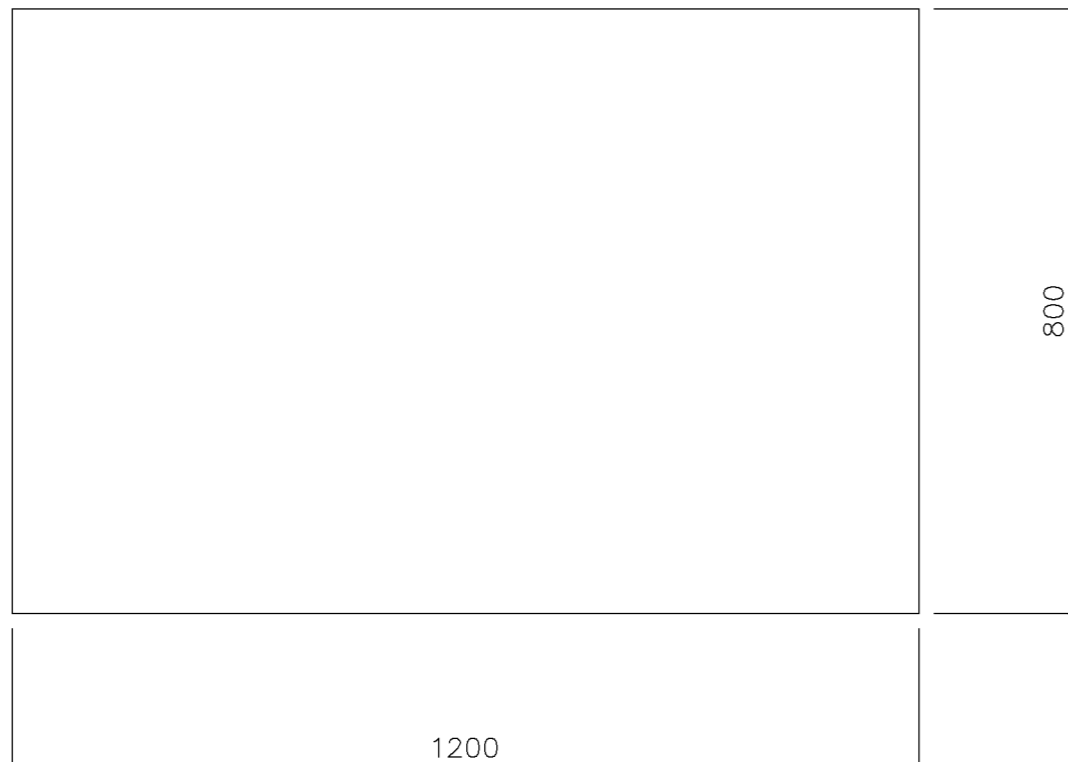
特記事項

名称 整理引出キャビネット

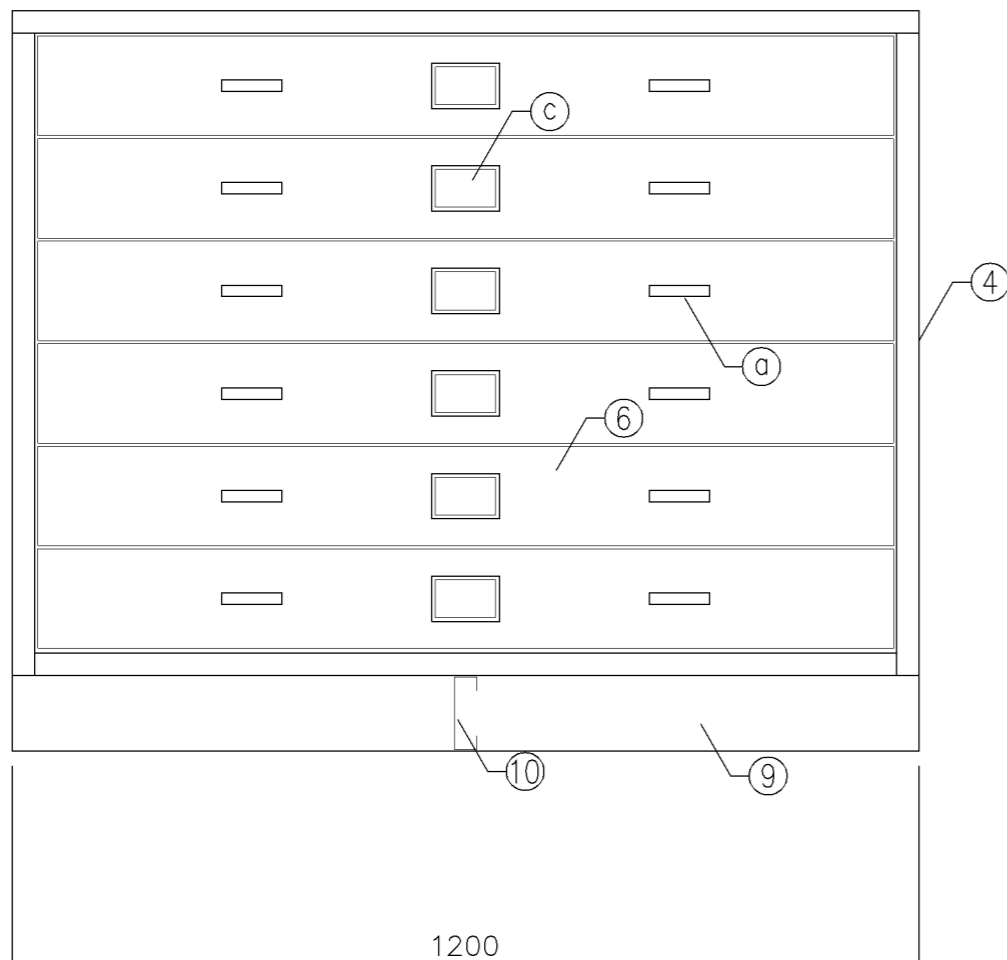
縮尺 1/10 記号 G-231

設計年月日 令和7年3月

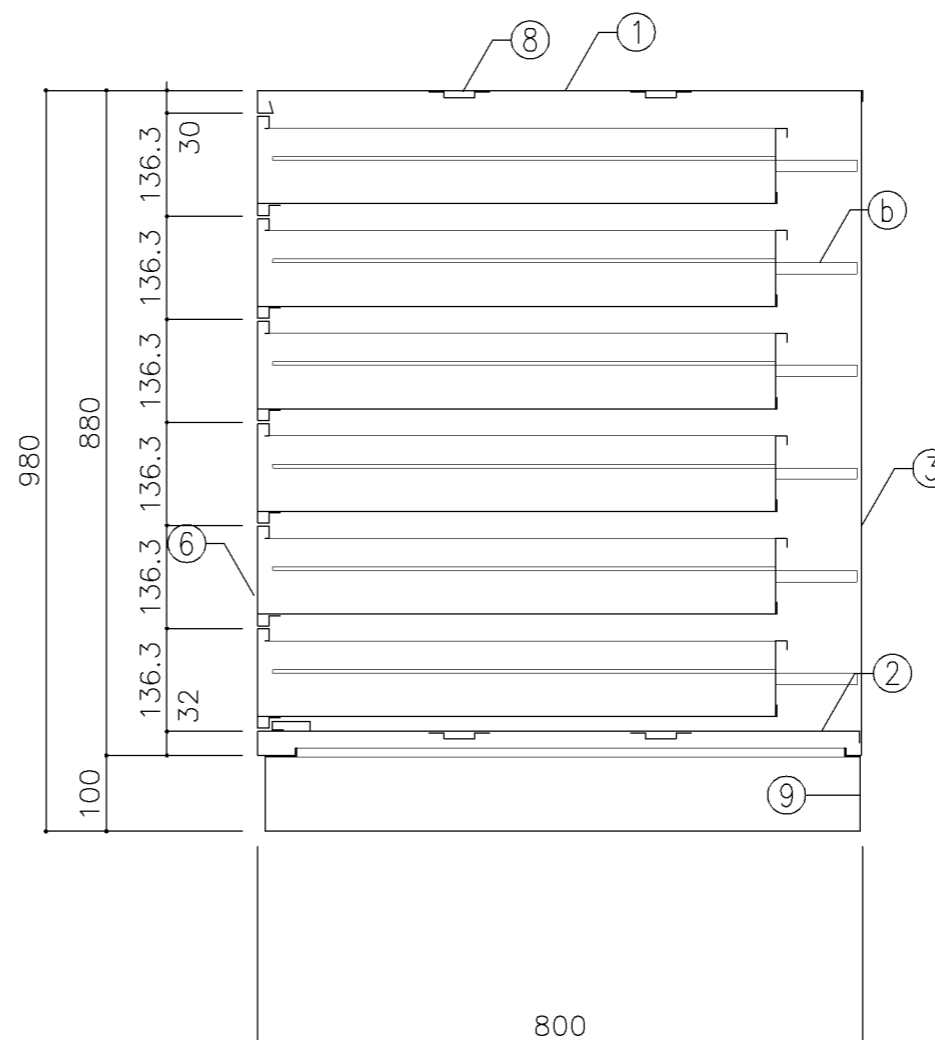
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸法
W1,200 x D 800 x H 980

使用箇所
図画工作準備室、美術準備室

仕様

番号	名称	材質	仕上
①	天板	SPCC 1.0	焼付塗装
②	地板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	裏板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	側板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	中仕切板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	引出	SPCC 0.8	焼付塗装
⑦	引出受	SPCC 1.6	焼付塗装
⑧	補強板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑨	ベース	SPCC 1.0	焼付塗装
⑩	ベース補強	SPCC 1.0	焼付塗装

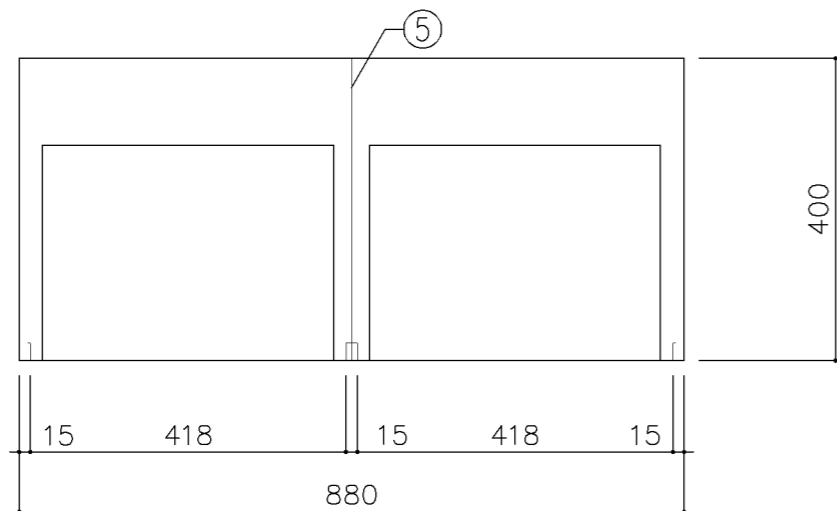
金物及びその他

番号	名称	材質	仕上
Ⓐ	掘込引手	アルミ	アルマイト
Ⓑ	レール	SPCC 1.6	焼付塗装
Ⓒ	名札入		

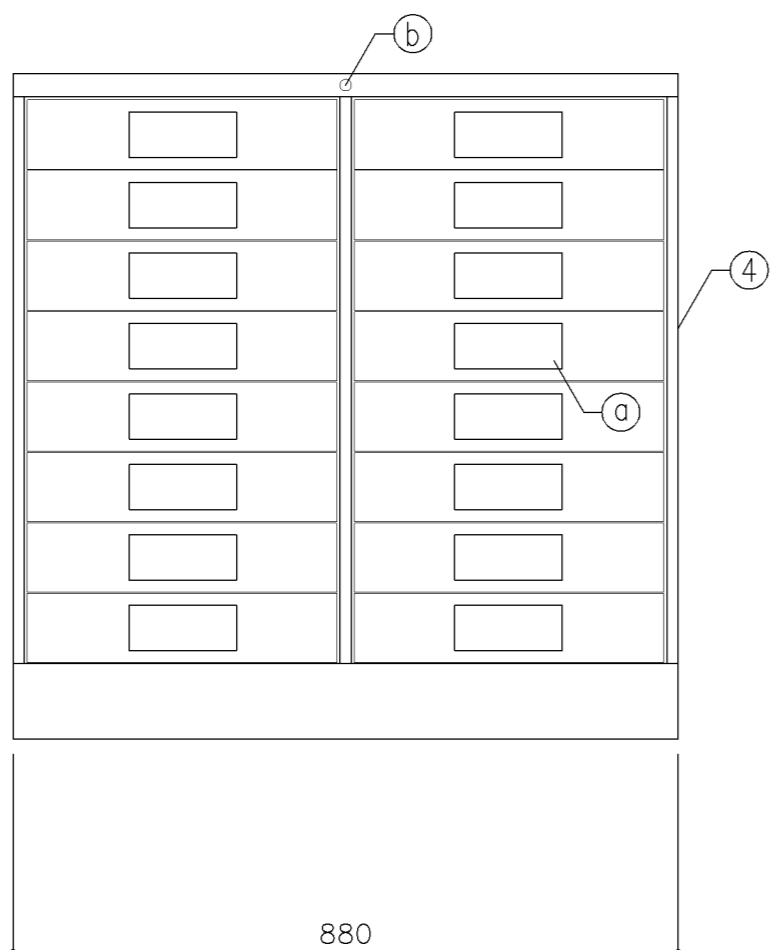
特記事項

名称 引出箱保管庫
縮尺 1/10 記号 G-232
設計年月日 令和7年3月

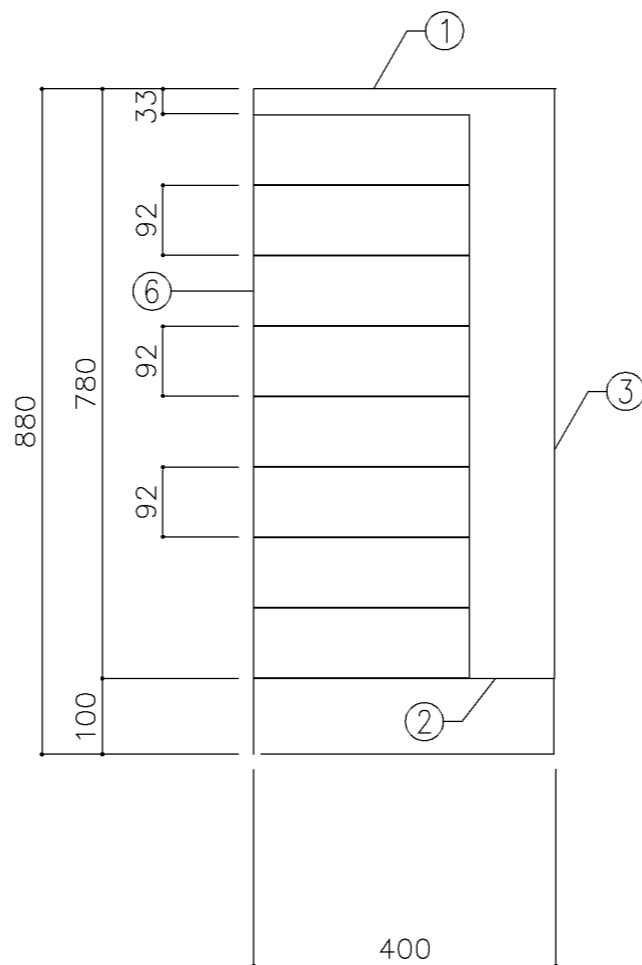
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸法
W880 x D400 x H880

使用箇所

保健室

仕様

番号	名称	材質	仕上
①	天板	SPCC 1.0	焼付塗装
②	地板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	裏板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	側板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	中仕切板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	引出	SPCC 0.8	焼付塗装

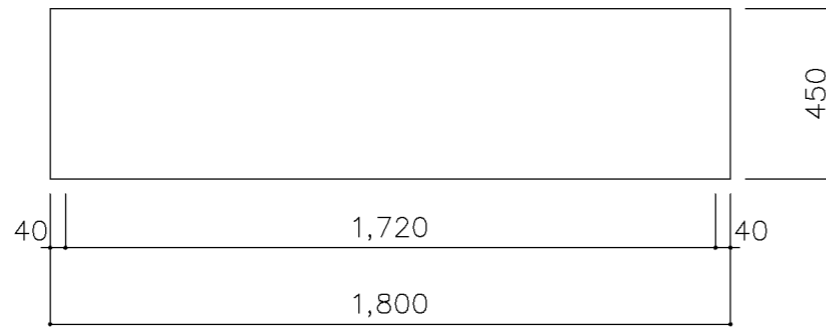
金物及びその他

番号	名称	材質	仕上
①	掘込引手	アルミ	アルマイト
②	オールロック錠	亜鉛合金	ニッケルメッキ

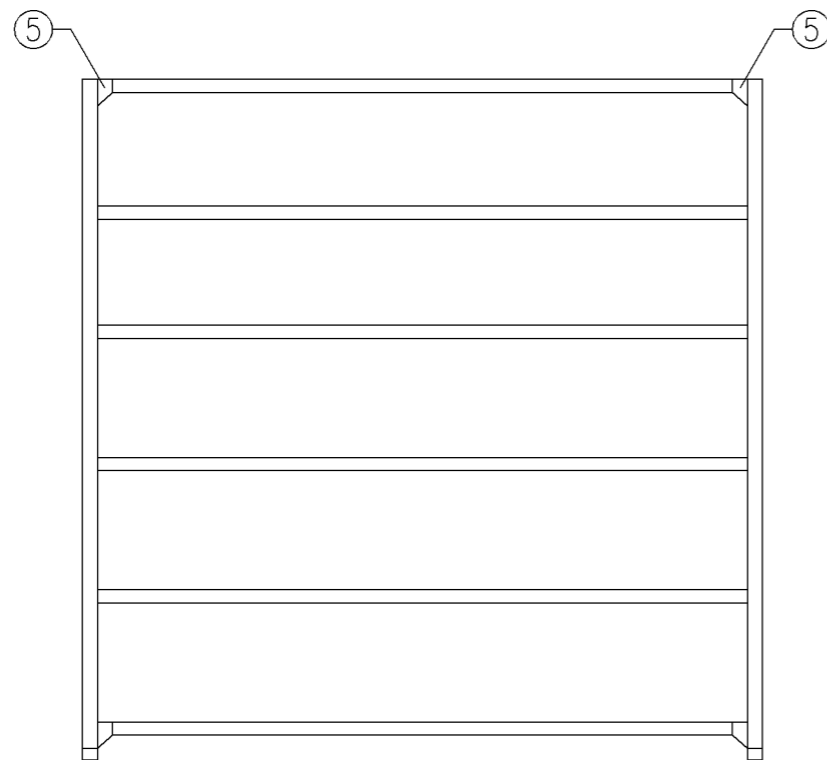
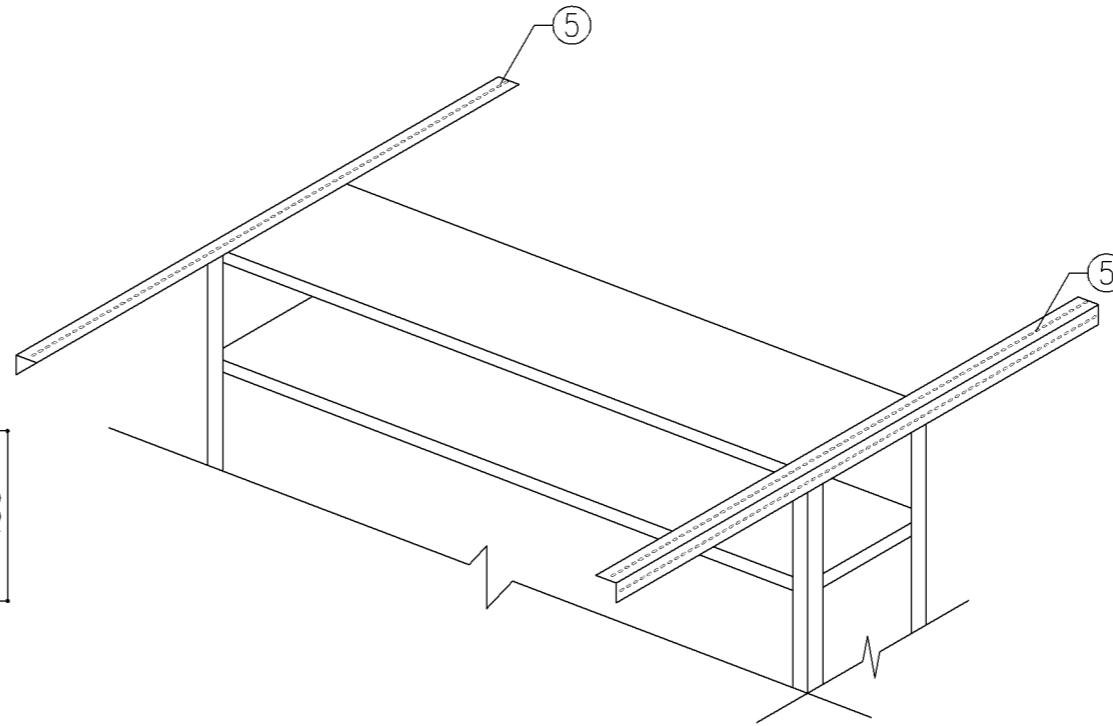
特記事項

名称	資料戸棚		
縮尺	1/10	記号	G-233
設計年月日	令和7年3月		

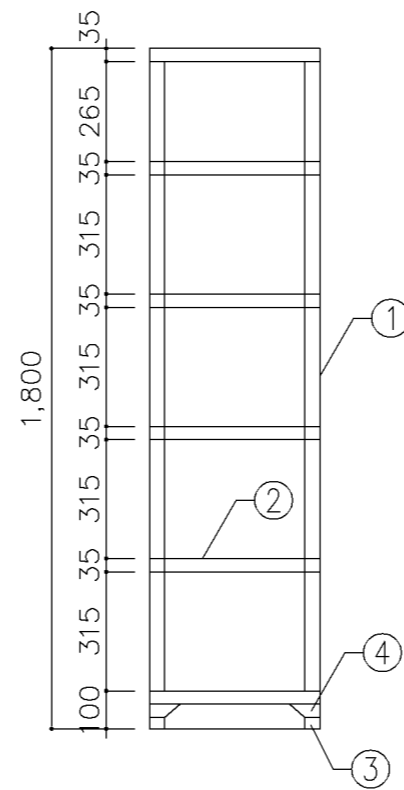
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸法
W1,800 x D 450 x H 1,800

使用箇所

印刷室

仕様

番号	名称	材質	仕上
①	支柱	SPCC 2.0	焼付塗装
②	棚板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	ベース金具	SPCC 1.2	焼付塗装
④	コーナプレート	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	耐震用振止	L-40x40x2	焼付塗装

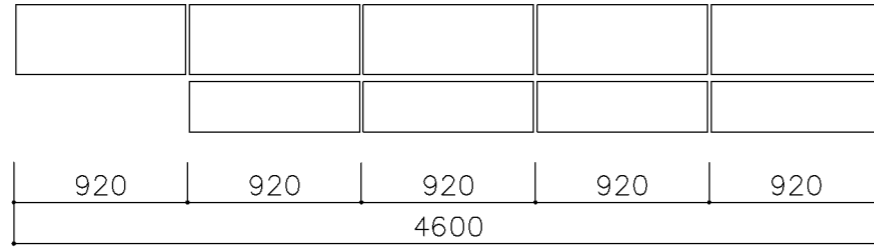
金物及びその他

番号	名称	材質	仕上
①	ボルト	SWRMM6	ニクロメッキ

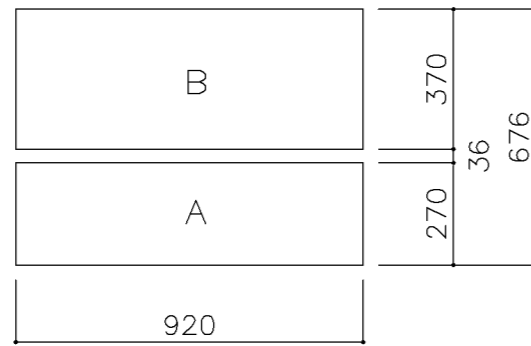
特記事項

名称	スチール棚		
縮尺	1/20	記号	G-240
設計年月日	令和7年3月		

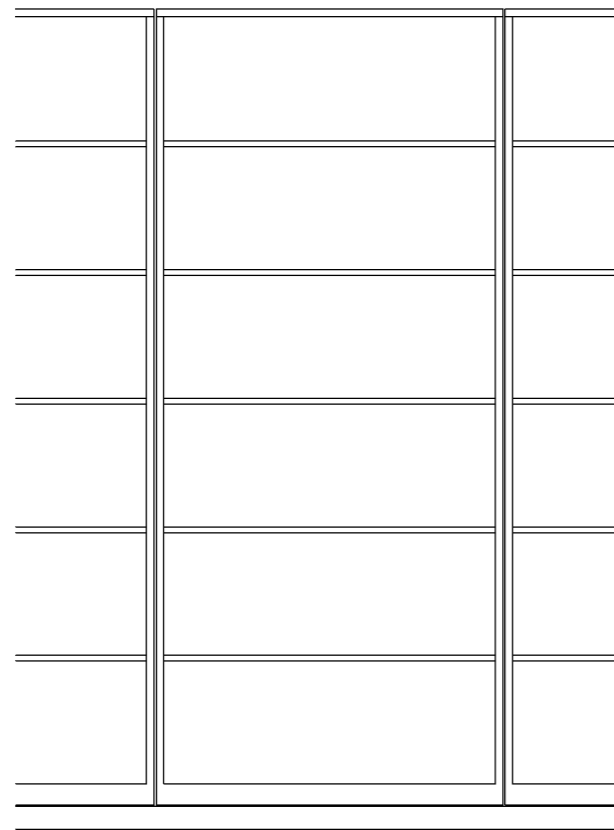
横浜市建築局



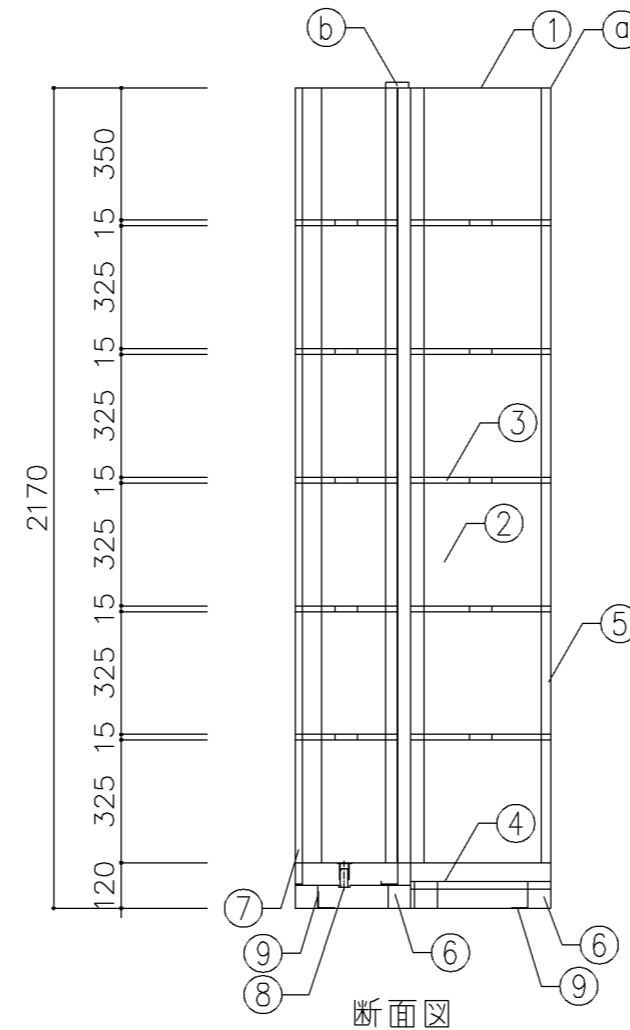
平面図



平面図



正面図



断面図

寸法
W4,600 x D 676 x H 2,170

使用箇所

職員室

仕様

番号	名称	材質	仕上
①	天板	SPCC 2.0	焼付塗装
②	側板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	棚板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	底板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	背板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	ベース	SPCC 1.2	焼付塗装
⑦	移動用台枠	SPCC 1.2	焼付塗装
⑧	エンドレール	SUS 2.5	焼付塗装
⑨	固定用金具	SPCC 3.2	焼付塗装

金物及びその他

番号	名称	材質	仕上
Ⓐ	本体	振止チャンネル	
Ⓑ	移動本体	転倒防止ガイドローラー	

特記事項

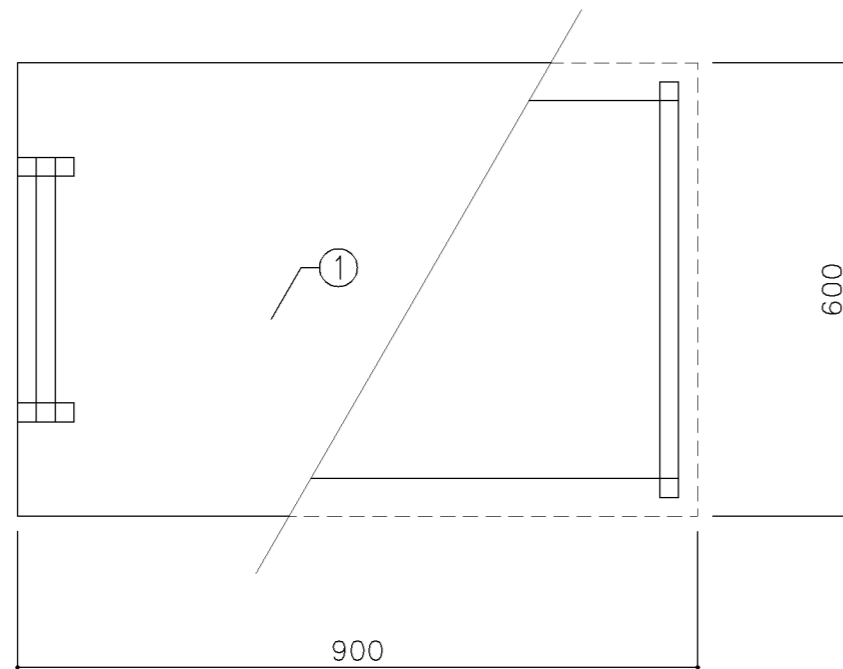
・移動本体は耐震性を講じる事

名称 5連スライド書架

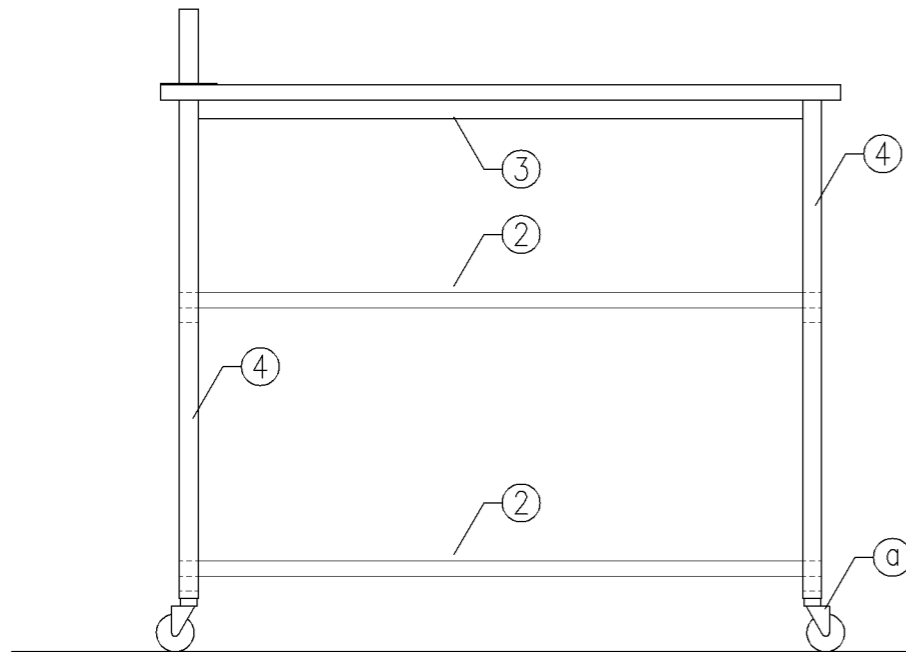
縮尺 1/20 記号 G-251

設計年月日 令和7年3月

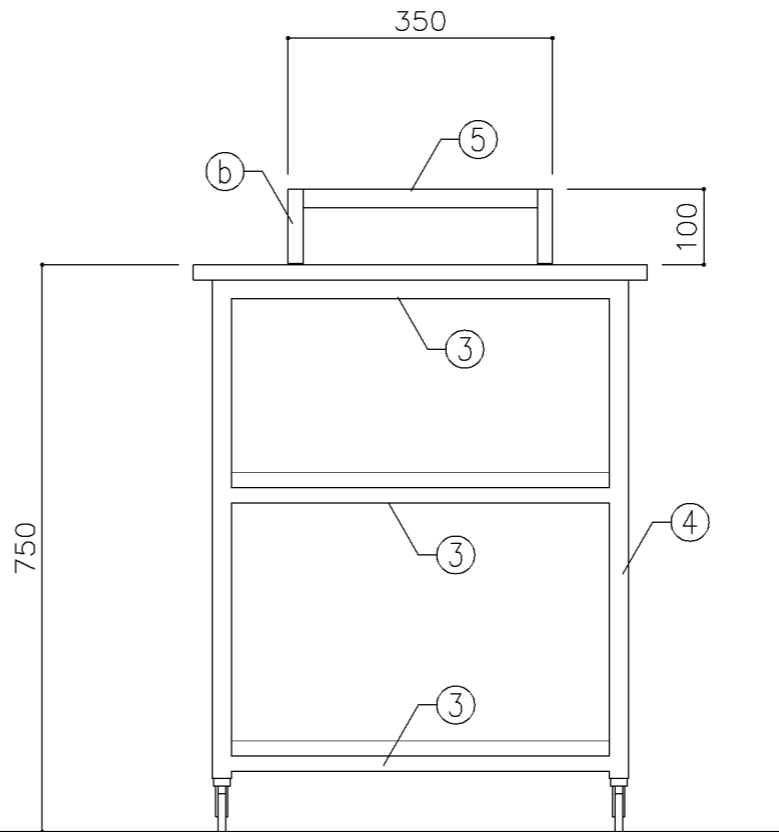
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸法
W 900 x D 600 x H 750

使用箇所
家庭科教室（中学校）

仕様

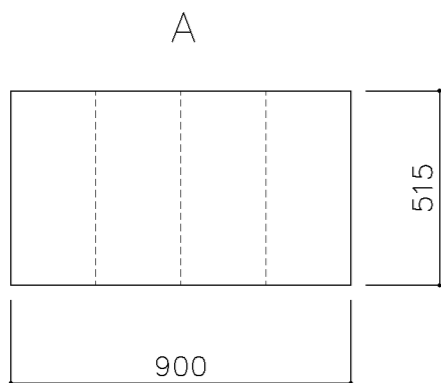
番号	名称	材質	仕上
①	天板	メラミン化粧板	焼付塗装
②	棚板	メラミン化粧板	焼付塗装
③	棚受	25角 スチールパイプ	焼付塗装
④	脚	25角 スチールパイプ	焼付塗装
⑤	引手	25角 スチールパイプ	クロムメッキ

金物及びその他

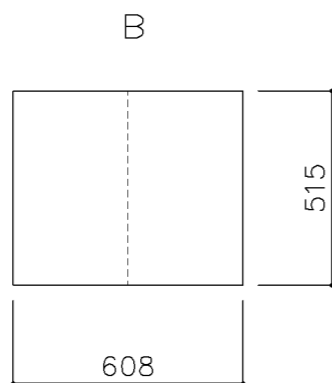
番号	名称	材質	仕上
Ⓐ	キャスター		
Ⓑ	パイプ受	スチール	焼付塗装

特記事項

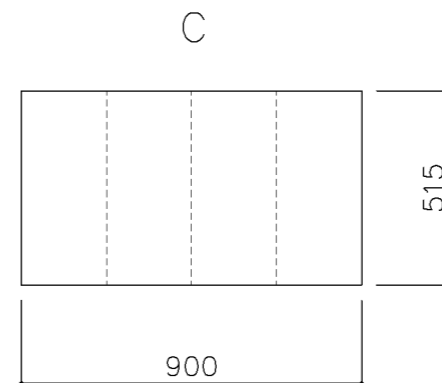
名称 分配台（ワゴン）
縮尺 1/10 記号 G-260
設計年月日 令和7年3月
横浜市建築局



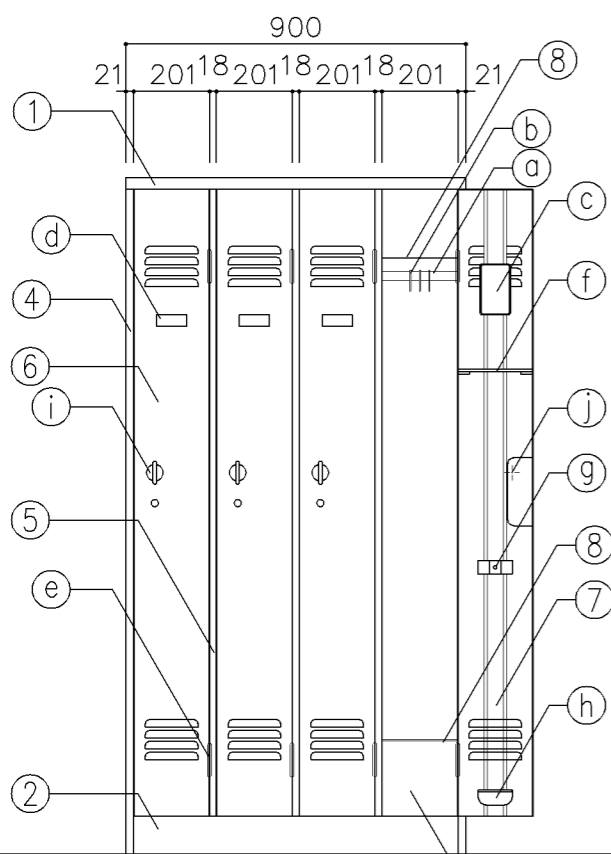
平面図



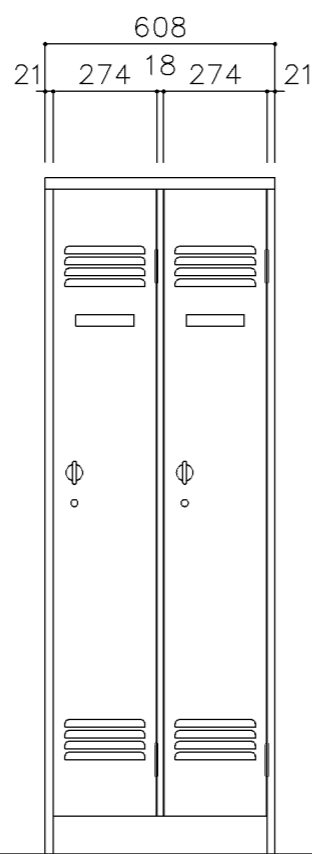
平面図



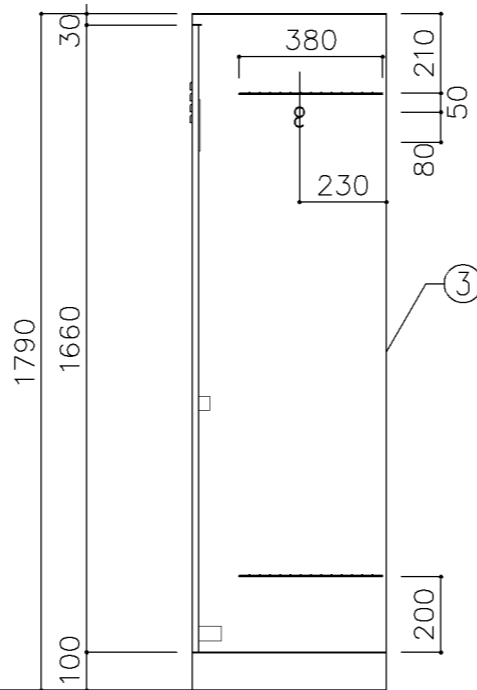
平面図



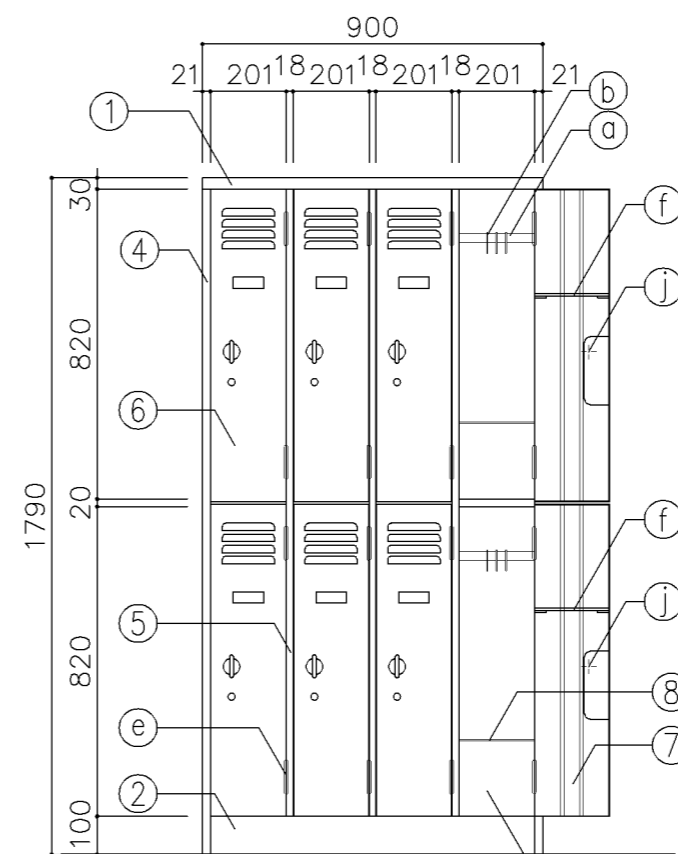
正面図



正面図



断面図



正面図

寸 法	
A	W 900 x D 515 x H 1,790 (4連)
B	W 608 x D 515 x H 1,790 (2連)
C	W 900 x D 515 x H 1,790 (8人用)

使用箇所	
A	職員更衣室
B	校長室、事務室
	技術員室(小学校)、技術員室(中学校)
C	給食配膳室(1)、給食配膳室(2)

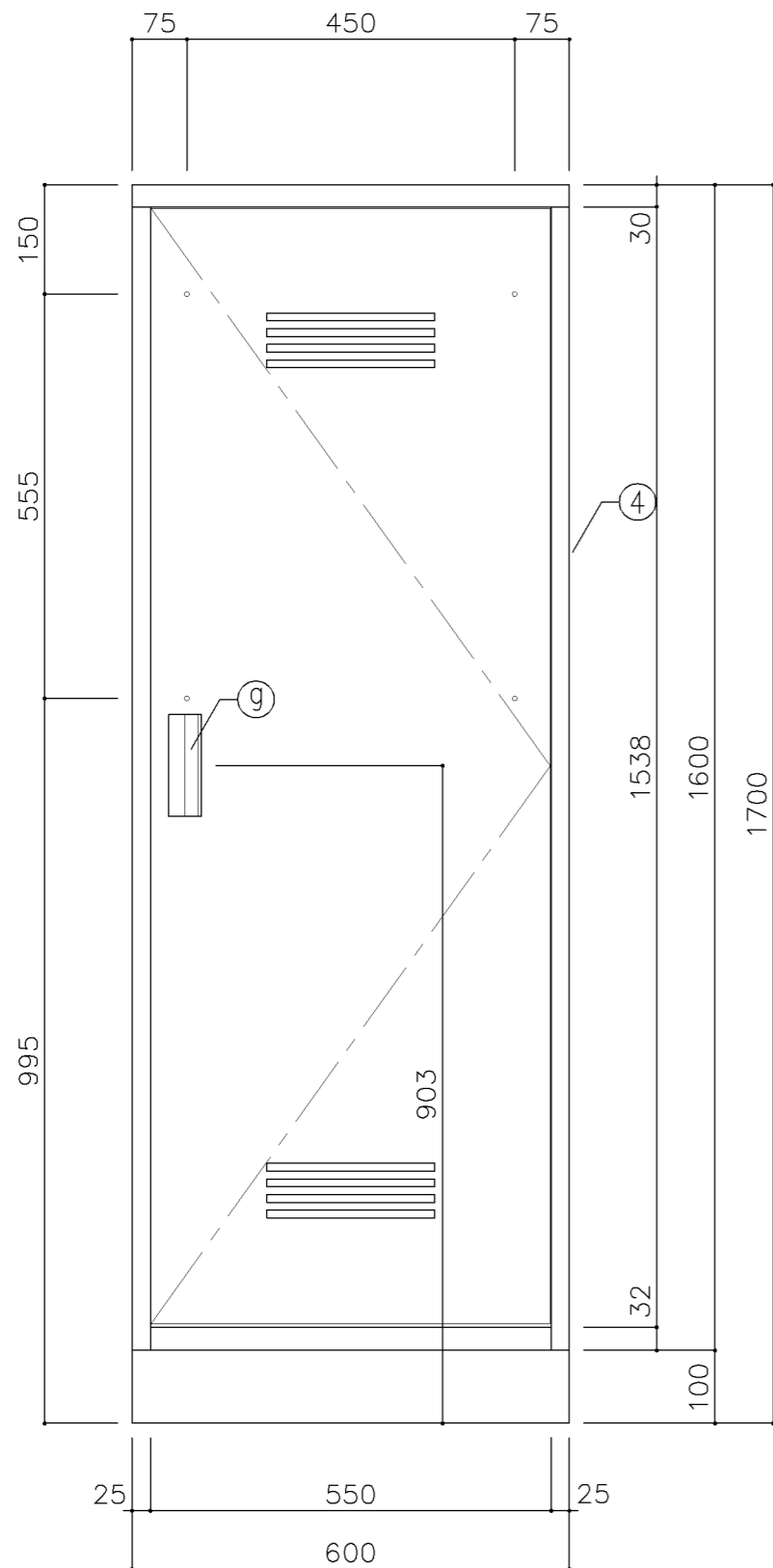
仕 様			
番号	名称	材 質	仕 上
①	天 板	SPCC 0.8	焼付塗装
②	ベース	SPCC 1.0	焼付塗装
③	裏 板	SPCC 0.6	焼付塗装
④	側 板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	縦仕切板	SPCC 0.6	焼付塗装
⑥	扉 板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑦	扉補強	SPCC 0.8	焼付塗装
⑧	網 棚	SWRM	クロムメッキ

金 物			
番号	使用箇所	材 質	仕 上
a	ハンガーパイプ	STKM	塩ビコーティング
b	S 環		クロムメッキ
c	鏡		射出成型
d	名刺入	ZDC	クロムメッキ
e	丁 番	SPCC	焼付塗装
f	タオル掛	SWRM	クロムメッキ
g	傘立て	プラスチック	
h	零受け	プラスチック	
i	把 手	ZDC	クロムメッキ
j	裏カバー	SPCC0.6	焼付塗装

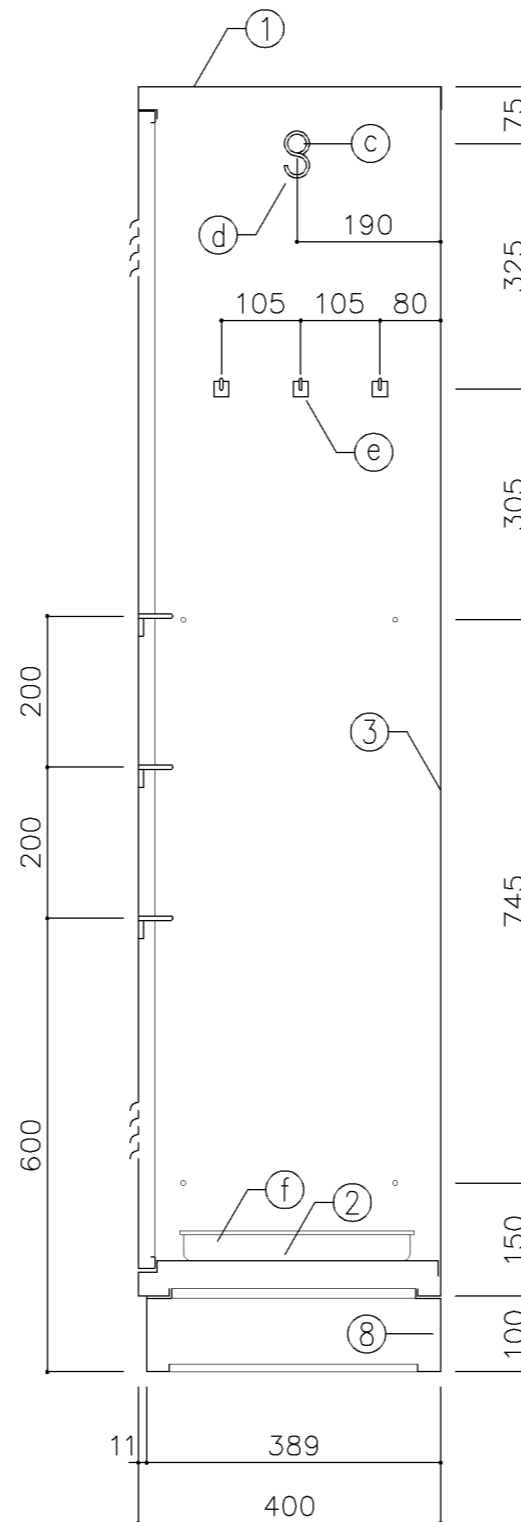
特記事項	

名称	職員ロッカー		
縮尺	1/20	記号	G-270
設計年月	令和7年3月		

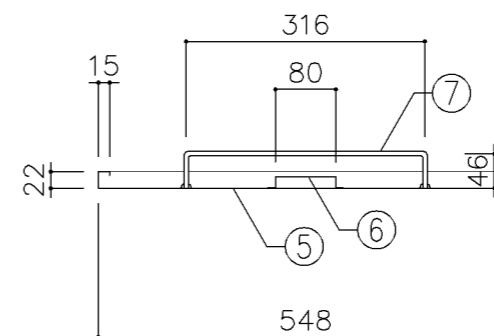
横浜市建築局



正面図



断面図



扉断面図

寸法
W 600 x D 400 x H 1,700

使用箇所

- 理科教室 (小・中学校)
- 家庭科教室 (小・中学校)
- 音楽教室、図画工作教室、美術教室
- 技術教室、図書室 (小・中学校)
- 教育相談室、特別活動室、進路指導室
- 多目的室 (水廻り学習等)
- 職員室、会議室、印刷室、倉庫
- 放送スタジオ室
- 技術員室 (小学校)
- 技術員室 (中学校)
- 給食配膳室 (1)、給食配膳室 (2)
- 地域交流室、PTA会議室

仕様

番号	名称	材質	仕上
①	天板	SPCC 0.8	焼付塗装
②	地板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	裏板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	側板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	扉板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	扉補強	SPCC 0.8	焼付塗装
⑦	雑巾掛	SWRM 6φ	
⑧	ベース	SPCC 1.0	
⑨	隅金具	SPCC 2.3	
⑩	アジャスター	SWRM PE	

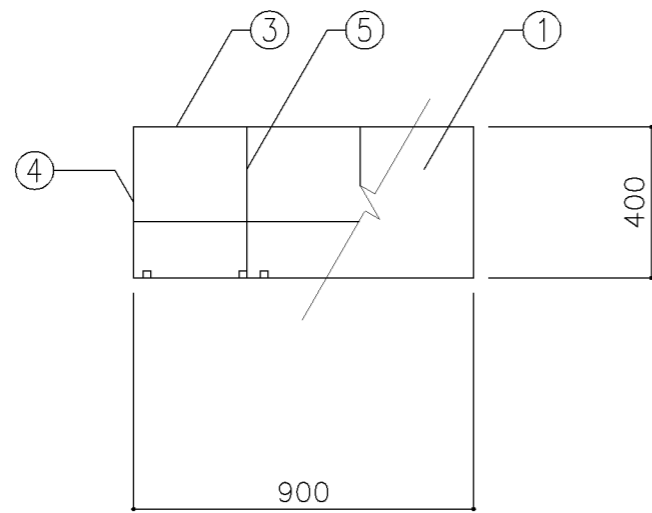
金物及びその他

番号	名称	材質	仕上
a	丁番	SPCC 1.2	
b	マグネット		
c	ハガパイ	ハガパイ (SUS) 25φ	
d	Sカン	SWRM 3φ	
e	フック	ABS	
f	トレー	SUS304	
g	把手	A6063S	

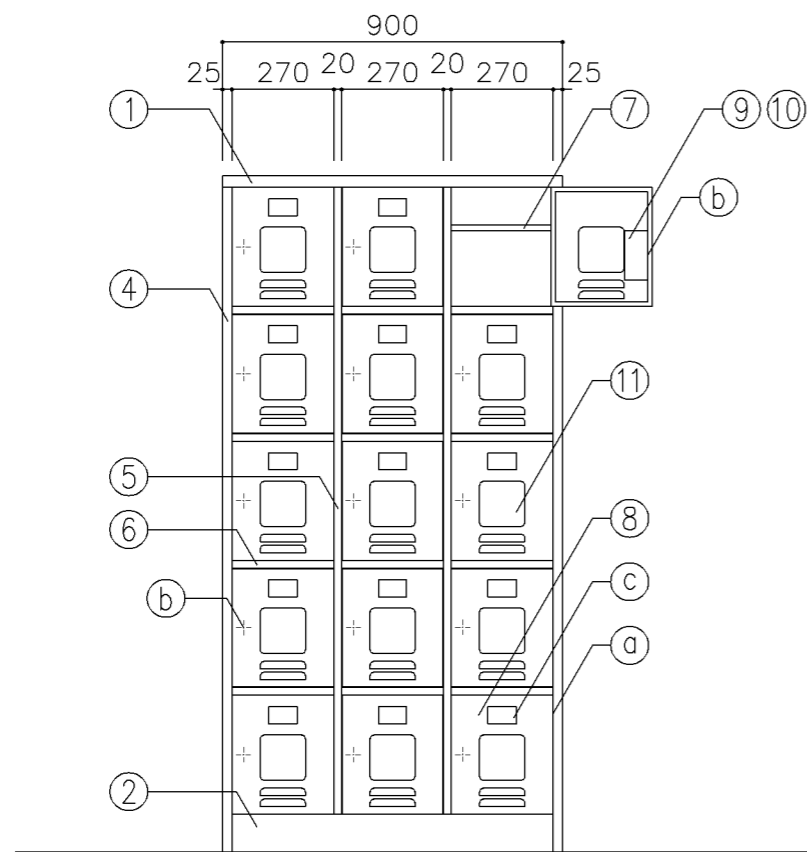
特記事項

名称	掃除用具入		
縮尺	1/10	記号	G-280
設計年月日	令和7年3月		

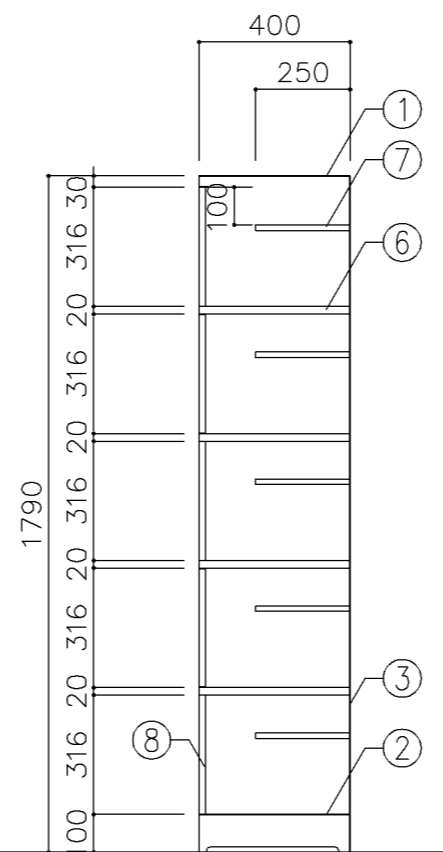
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸法
W900 x D 400 x H1,790

使用箇所

職員・来校者用玄関

仕様

番号	名称	材質	仕上
①	天板	SPCC 0.8	焼付塗装
②	ベース	SPCC 1.0	焼付塗装
③	裏板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	側板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	縦仕切板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	横仕切板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑦	棚板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑧	扉板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑨	引手、引付板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑩	引手カバー	SPCC 0.8	焼付塗装
⑪	小窓	アクリル 73.0	

金物

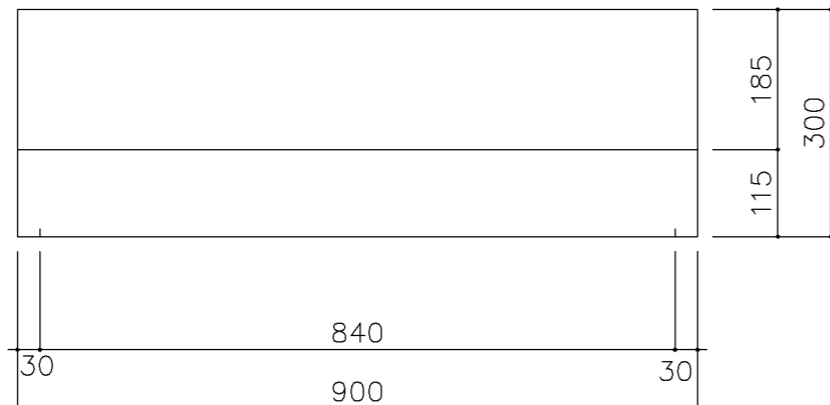
番号	使用箇所	材質	仕上
Ⓐ	丁番	SPCC 1.6	焼付塗装
Ⓑ	カンヌキ	SPCC 3.2	クロムメッキ
Ⓒ	名刺入	合成樹脂	射出成型

特記事項

・扉付小窓の面積は0.01平米以上とする

名称	職員用靴入		
縮尺	1/20	記号	G-290
設計年月	令和7年3月		

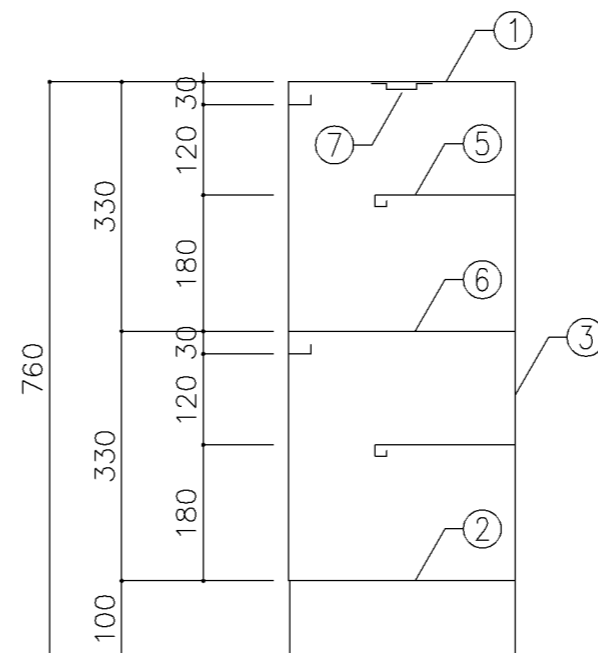
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸法
W900 x D300 x H760

使用箇所
職員室（小・中学校）

仕様			
番号	名称	材質	仕上
①	天板	SPCC 1.0	焼付塗装
②	地板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	裏板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	側板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	縦仕切板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	縦仕切板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑦	引出	SPCC 0.8	焼付塗装

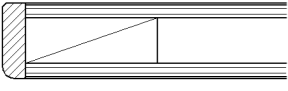
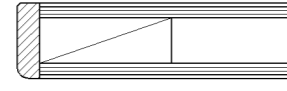
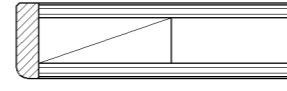
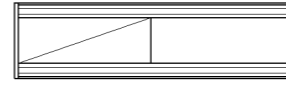
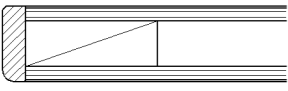
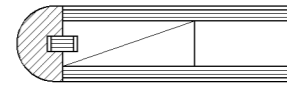
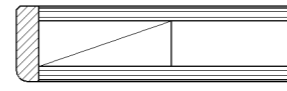
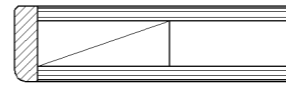
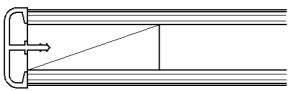
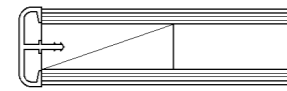
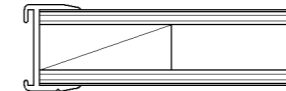
金物及びその他			
番号	名称	材質	仕上
⑧	アジャスター	合成樹脂	

特記事項
・8足収納

名称	靴入		
縮尺	1/10	記号	G-291
設計年月日	令和7年3月		
横浜市建築局			

G-300 収納家具（木・パーティション）共通事項

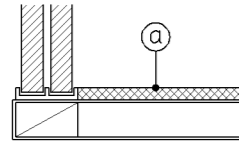
- 1. 収納家具等の木口材及び芯材は下記による。
- 1. 部位別の表面材と木口材は、下記リスト表より選定するものとする。
尚リスト表に記載されていないものに関しては、横浜市建築工事担当課の承認を得るものとする。
- 1. 芯材は原則として、リスト表によるものとする。
- 1. 各部塗装は、国土交通省仕様を順守の事。

部位別による表面材と木口形状リスト					芯材リスト（凡例）	
本体（枠板）	天板形状（甲板）	扉	棚板形状（可動棚）		※各図面の芯材の蘭の表記は下記による	
㉠ ポリエステル化粧合板  木口：タモ ャ6（面取加工）	㉠ メラミン化粧板  木口：タモ ャ6（面取加工）	㉠ ポリエステル化粧合板  木口：タモ ャ6（面取加工）	㉠ ポリエステル化粧合板  木口：メラミン化粧板		A-1	フラッシュ
㉡ しな合板  木口：タモ ャ6（面取加工）	㉡ メラミン化粧板  木口：タモ（アール加工）	㉡ しな合板  木口：タモ ャ6（面取加工）	㉡ しな合板 		B-1	ブロックコア
㉢ ポリエステル化粧合板 Or しな合板  木口：塩ビエッジ	㉢ メラミン化粧板  木口：塩ビエッジ		㉢ ポリエステル化粧合板 Or しな合板  木口：アルミ成形レール		C-1	ベタ芯

名称	共通事項		
縮尺	1/2	記号	G-300
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			

■ レール・戸車

1. 引違い戸、框戸に使用するレール・戸車の材質は、下記より選択するものとする。
 - a. 上枠 —— 塩ビ製又はアルミ製鴨居レール（埋込・外付両タイプ）
下枠 —— アルミVレール（埋込タイプ）
 - b. 上枠・下枠 共 —— 塩化ビニール樹脂成型品（外付タイプ）
2. 戸車はナイロン戸車を原則とする。
3. 下枠レールに塩化ビニール樹脂成型品（外付タイプ）を使用する際は、棚板と段差を設けず、フラットに仕上げる事とする。（図中 ㊸部）

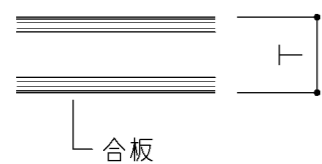


■ 框戸

1. 框材は下記より選択するものとする。
 - a : 木製
 - b : 塩ビ樹脂コーティングアルミサッシュ

■ 合板フラッシュ

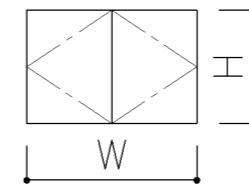
1. 合板フラッシュの合板の厚みは、下記に依るものとする。



T > 25 の場合 ㊸ 5.5
T ≤ 25 の場合 ㊸ 4

■ スライド丁番

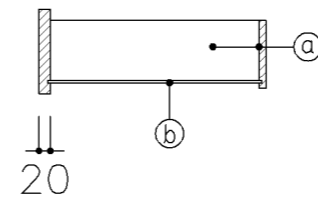
1. 自動締り機構付とする。
1. 開き角度は120°以上とする。
1. 取付丁番の個数は、下記に依るものとする。



1/2W=600 以下の場合	
H ≤ 1200	----- 2個
1200 < H ≤ 1600	----- 3個
1600 < H ≤ 2000	----- 4個

■ 引出し

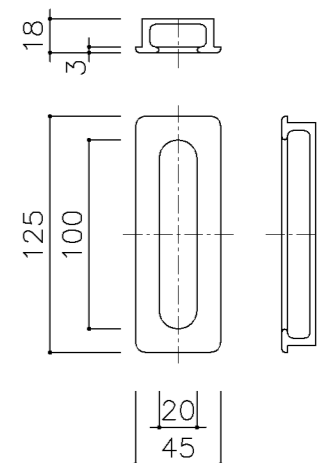
1. 特記無き限り引出しの使用は、下記に依るものとする。



㊸ 側、先板 : アガチス合板又はしな合板 ㊸ 12
㊸ 底 板 : アガチス合板又はしな合板 ㊸ 4

■ 引手

1. 引手は国産スギ、ヒノキ材掘込引手とする。



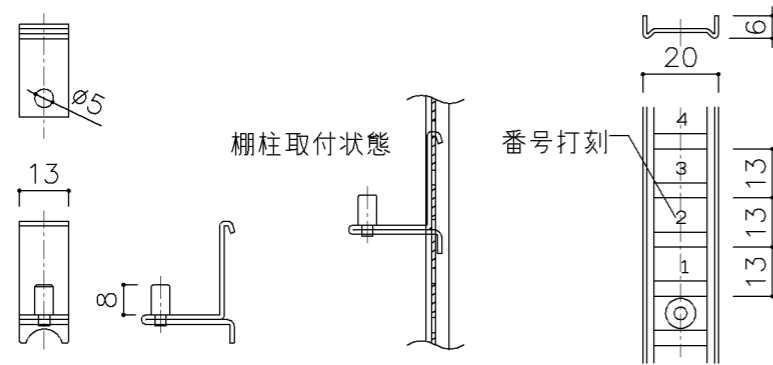
名称	共通事項		
縮尺	1/20	記号	G-301
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			

■ ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）

1. 棚柱はステンレス製とし、4点支持で安全荷重約60kgを満足するものとする。
可動ピッチは13mmとし、可動ピッチの番号打刻入りとする。
2. 棚受はステンレス製とし、突起ダボをφ5とする。

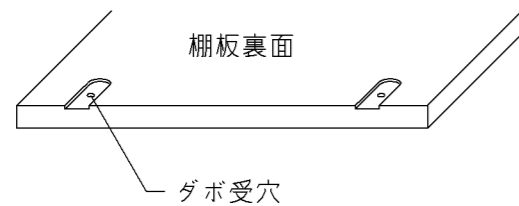
注) 棚柱・棚受については震度6相当の揺れでも棚板の外れや落下等がないようにすること。

注) 棚柱・棚受ともにステンレス製とし、書籍に錆や腐食等を付着させないこと。



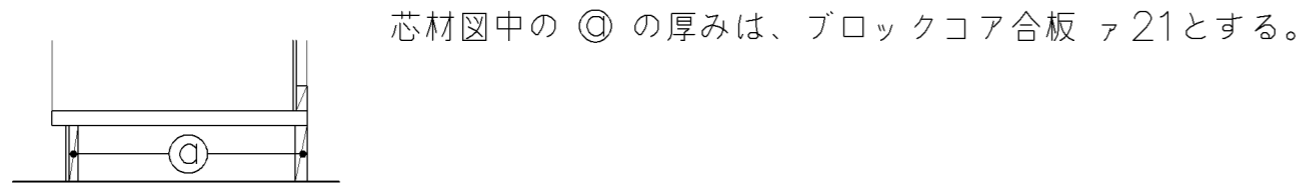
■ 可動棚

1. 棚板にはダボ受穴を設ける。



■ 巾木

1. 仕様は下記による。（仕上材は各図面参照）

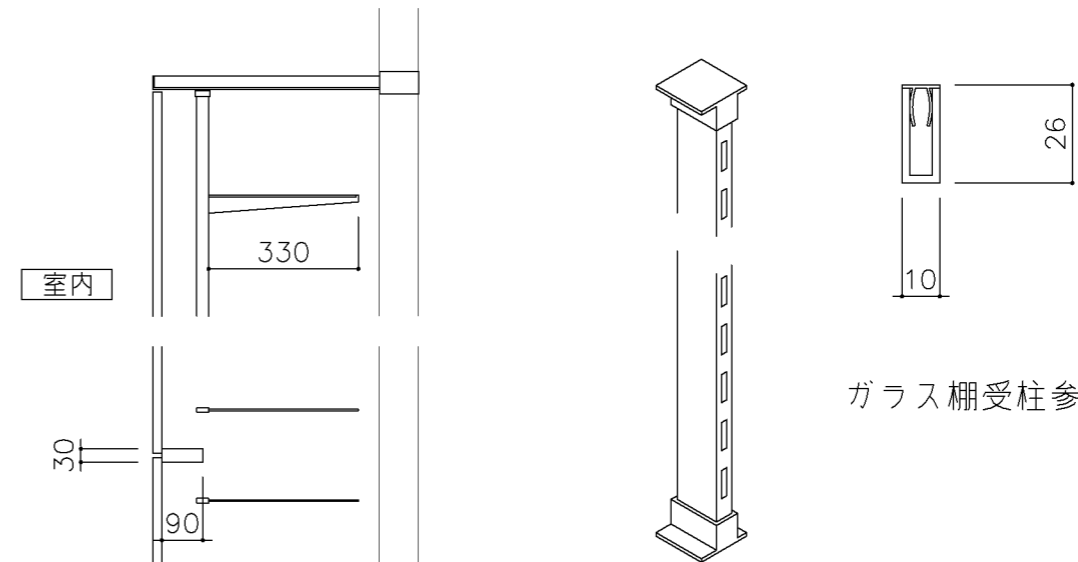


芯材図中の◎の厚みは、ブロックコア合板φ21とする。

■ ショーケース

A. ガラス棚受柱、ブラケット

1. ステンレス製（ヘアーライン）#300とする。（上下座共）
1. 水平ブラケットは、80kg（安全荷重）に耐えうるものとする。
1. 水平ブラケットは、透明すべり止めエンビ付のものとする。
1. ステンレスの材質は、SUS 304とする。
1. ステンレス製（ヘアーライン）#300とする。（上下座共）

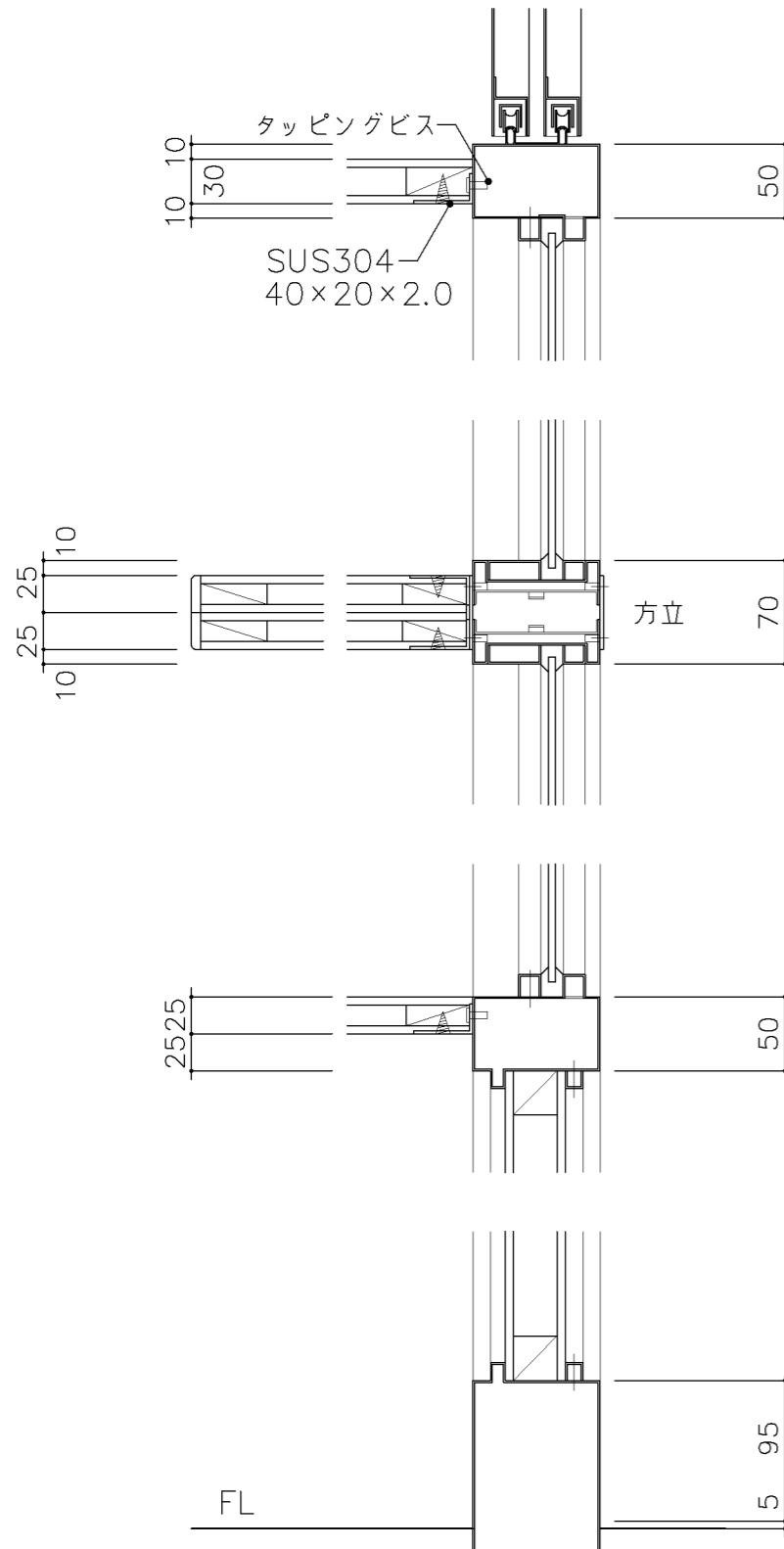


ガラス棚受柱参考図

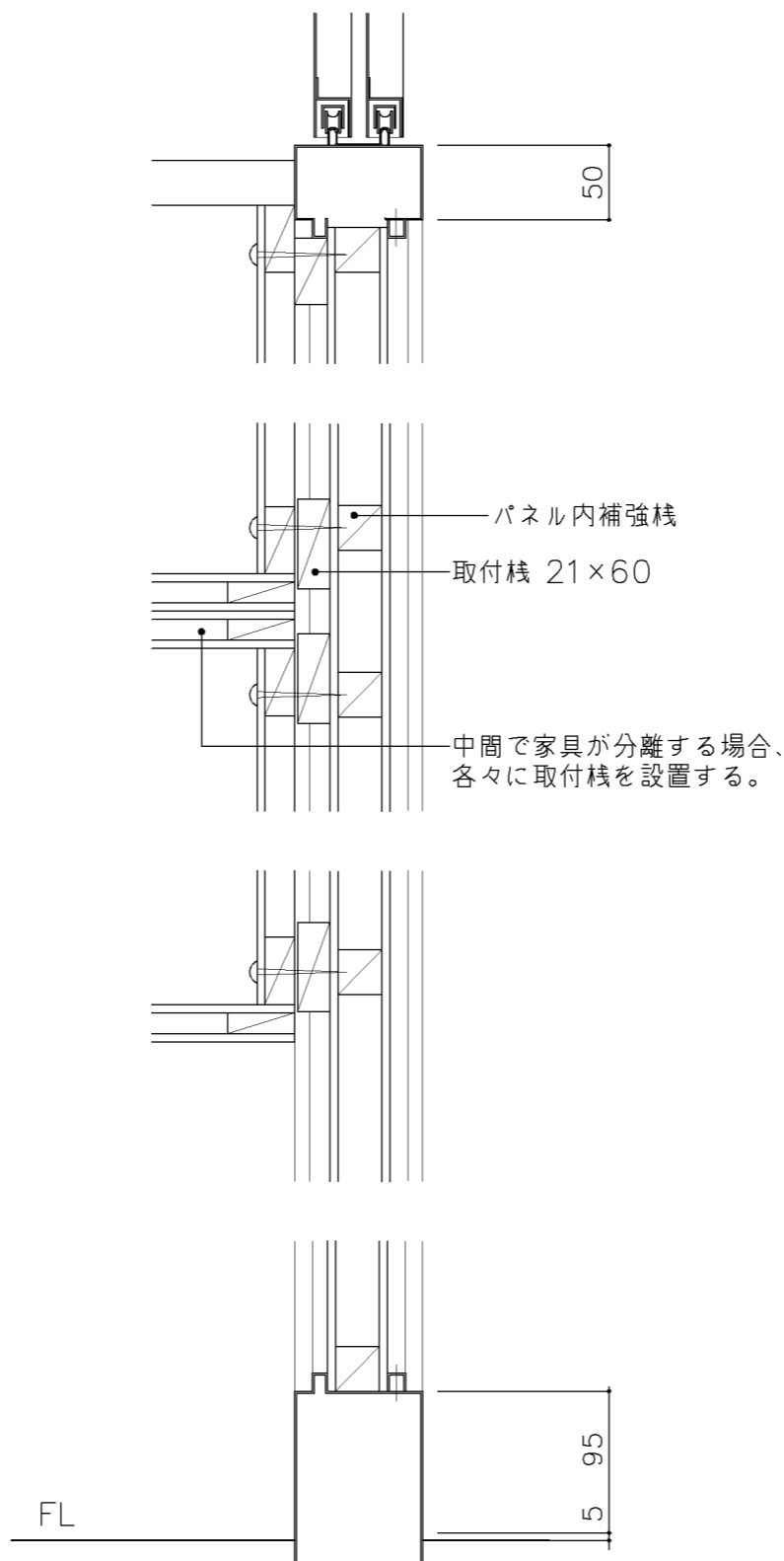
名称	共通事項		
縮尺	1/20	記号	G-302
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			

G-300 収納家具（木・パーティション）共通事項

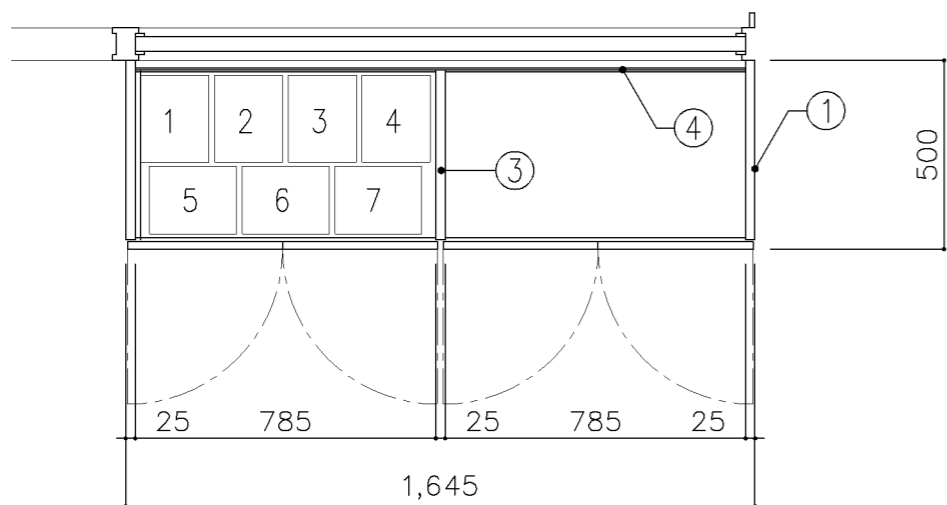
■ パーティション付ショーケース 取合詳細図



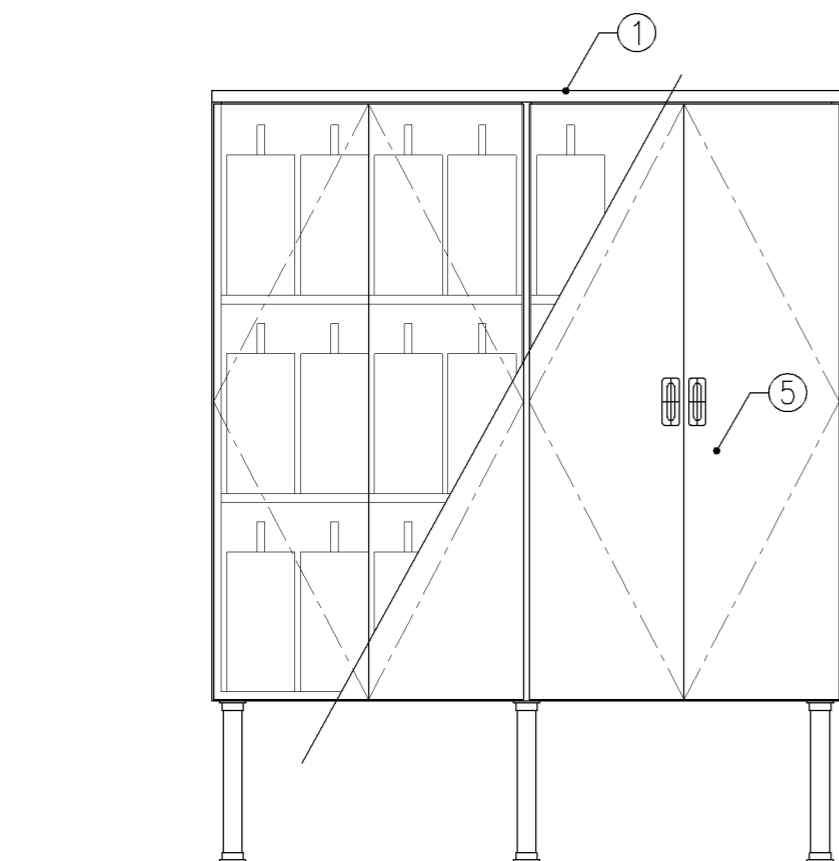
■ パーティション付収納戸棚・展示棚他 詳細図



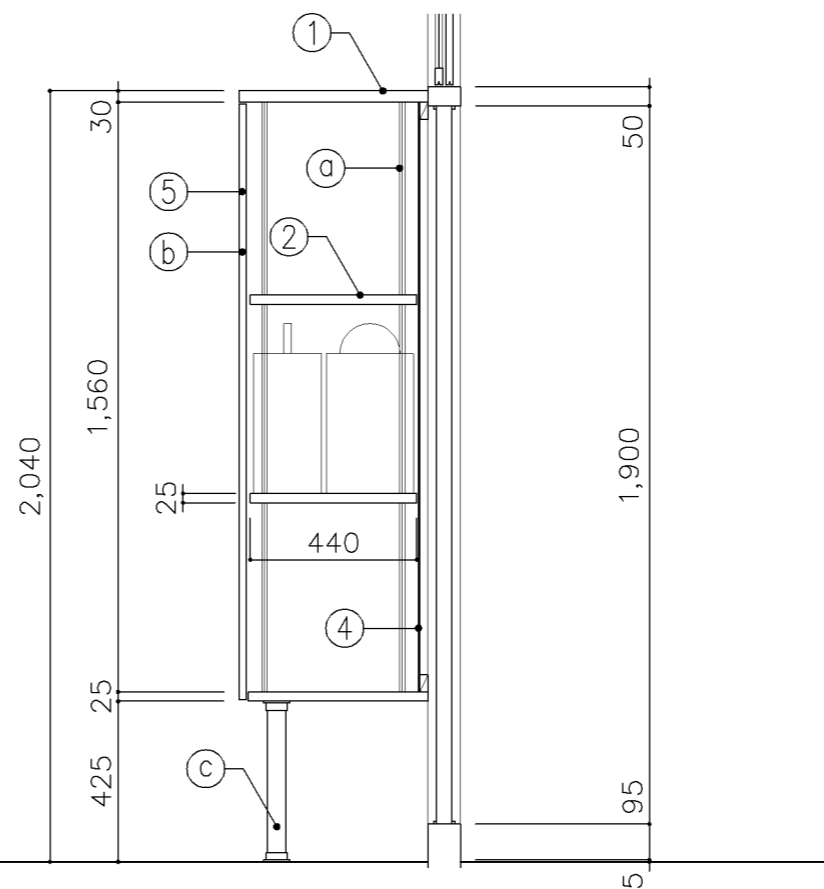
名称	収納戸棚		
縮尺	1/5	記号	G-303
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



平面図

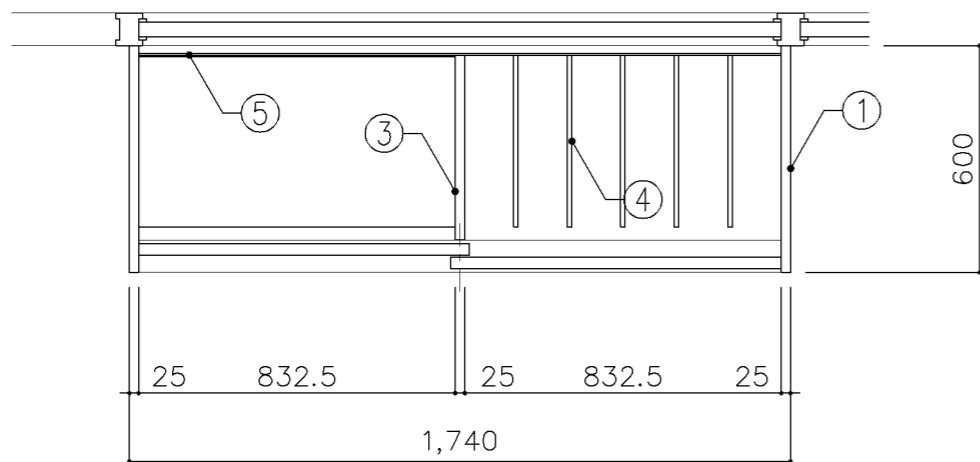


正面図

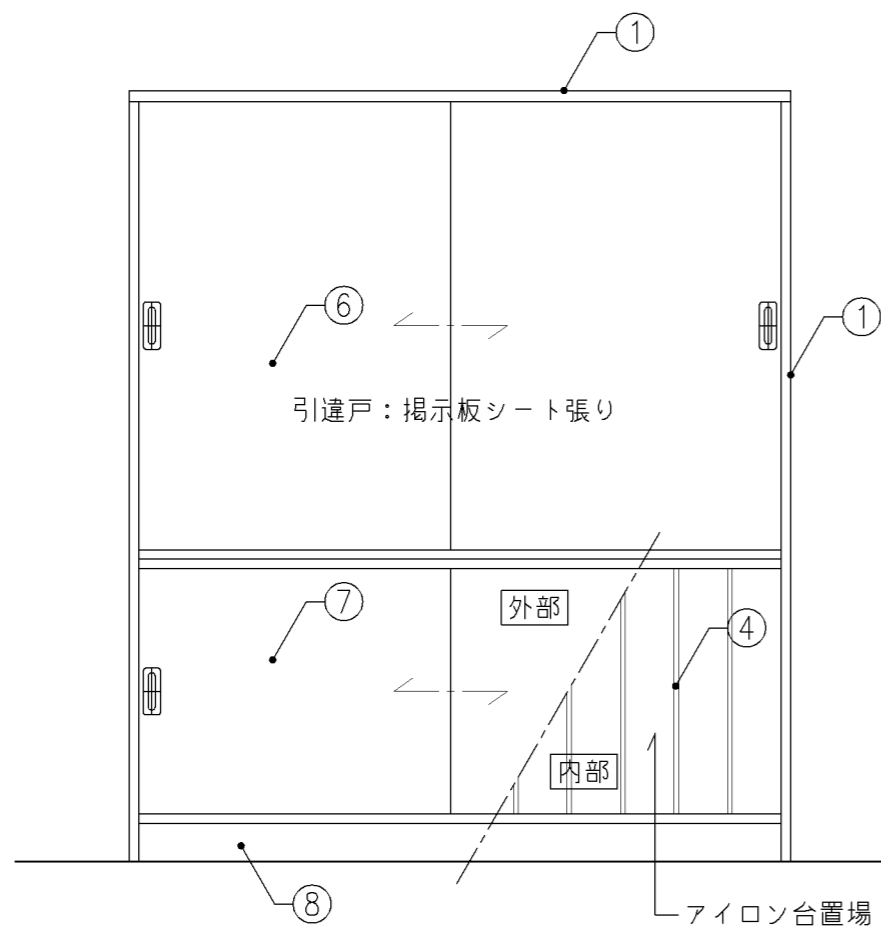


断面図

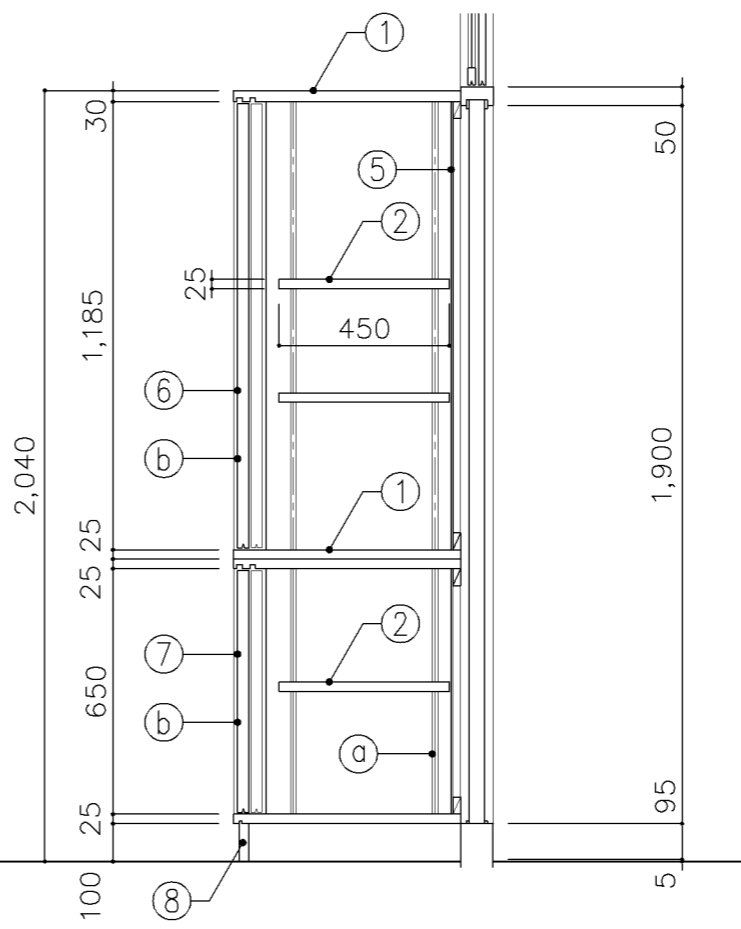
寸 法				
W1,645 x D 500 x H 2,040				
使用箇所				
理科教室（中学校）				
仕 様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	しな合板	
③	中仕切	A-1	しな合板	
④	裏板	片A-1	しな合板	
⑤	扉	A-1	ポリエステル化粧合板	
金 物				
番号	使用箇所	名称		
Ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）		
Ⓑ	扉	スライド丁番、3点ロック（プッシュ式） 国産材掘込引手		
Ⓒ	脚	ステンレスパイプ 50φ（丸座共）		
特記事項				
・木口の形状については、G-300より選定する。				
・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。				
・フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。				
・扉の厚みは、20mmを原則とする。				
・芯材は、国産杉芯合板とする。				
・顕微鏡ケース参考寸法：180×230×370				
名称	顕微鏡収納戸棚			
縮尺	1/20	記号	G-310	
設計年月		令和7年3月		
横浜市建築局				



平面図



正面図



断面図

寸 法	
W1,740	x D 600 x H 2,040

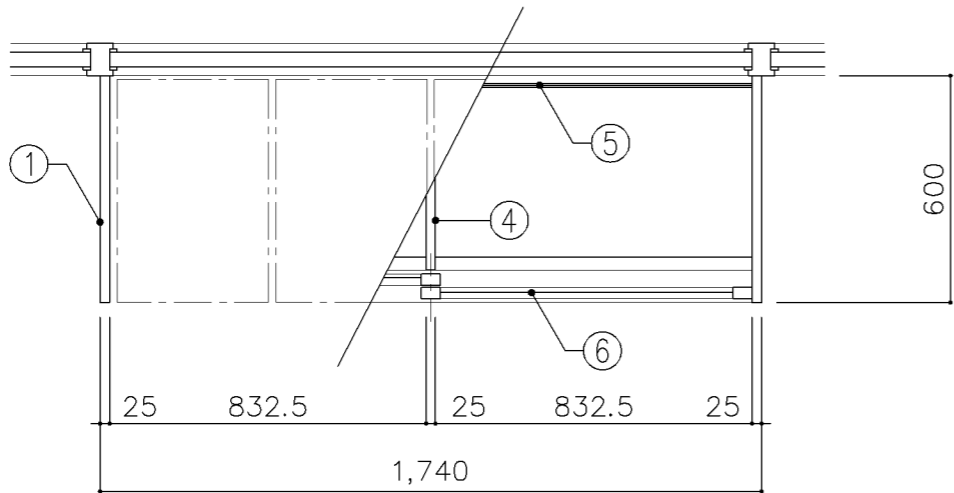
使用箇所	
家庭科教室（小学校）	

仕 様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A-1	ポリエステル化粧合板	
④	仕切板		φ12 しな合板 木口：ナラ突板張り	UC
⑤	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
⑥	引違戸	A-1	しな合板 片面掲示板シート張り	
⑦	引違戸	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑧	巾木	B-1	ポリエステル化粧合板	

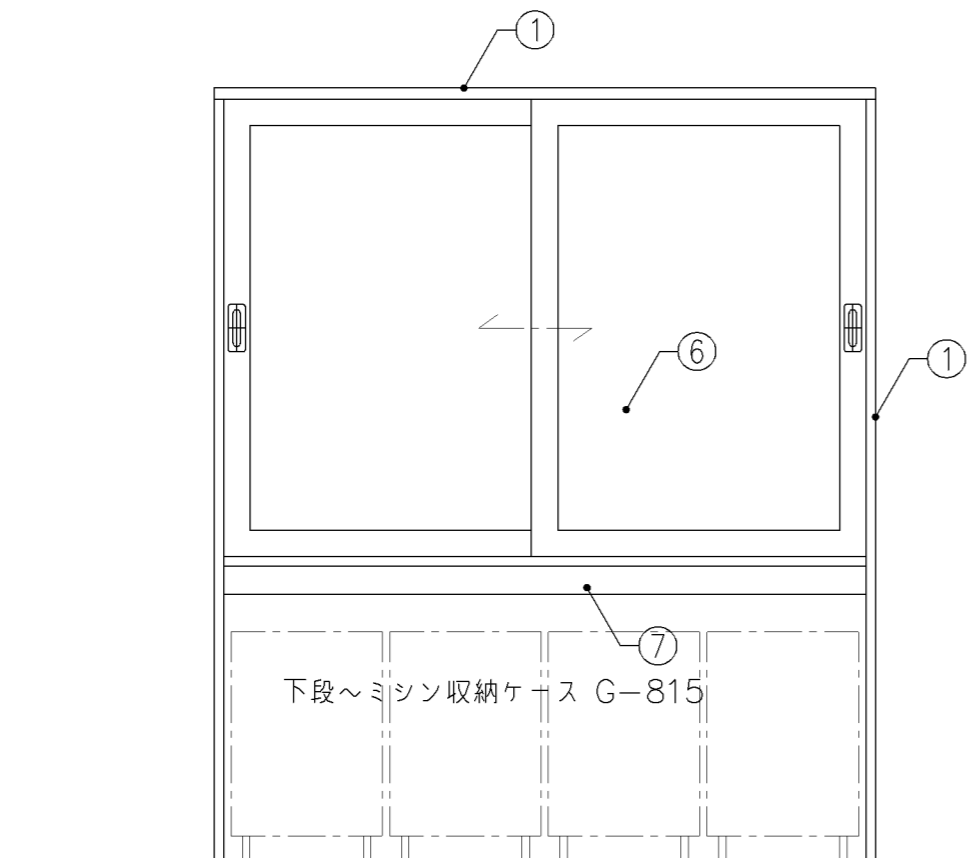
金 物		
番号	使用箇所	名称
Ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
Ⓑ	引違戸	シリンダー栓錠、国産材掘込引手

特記事項	
・木口の形状については、G-300より選定する。	
・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。	
・フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。	
・引違戸の厚みは、30mmを原則とする。	
・芯材は、国産杉芯合板とする。	

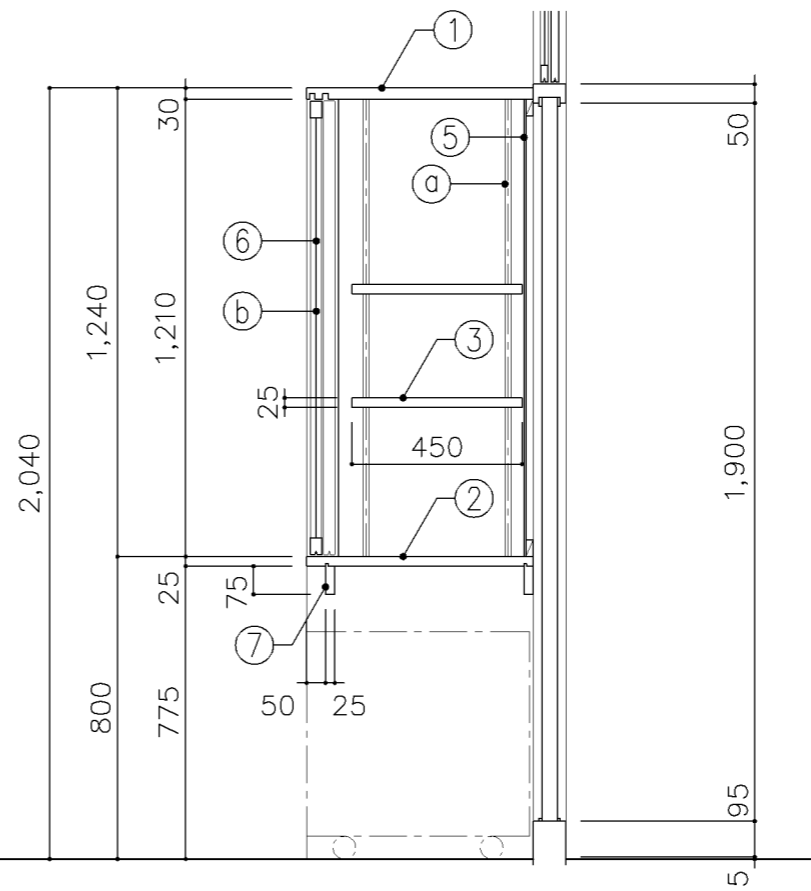
名称	収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G-311
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



平面図

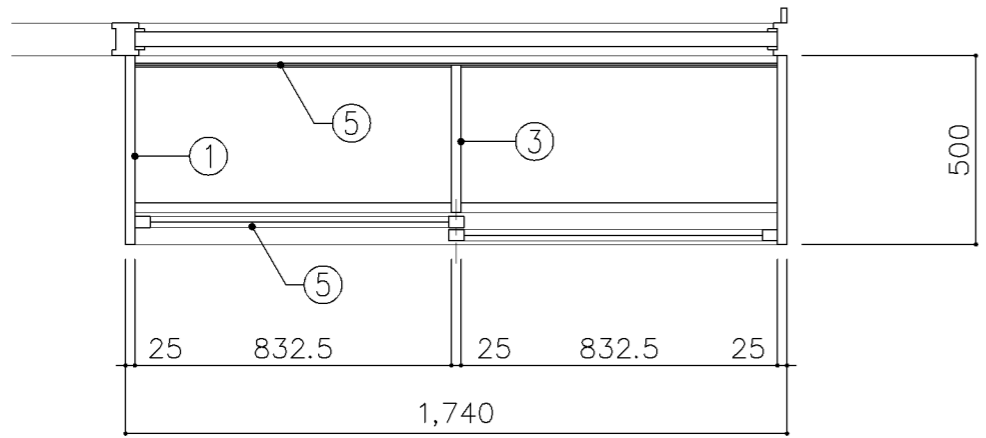


正面図

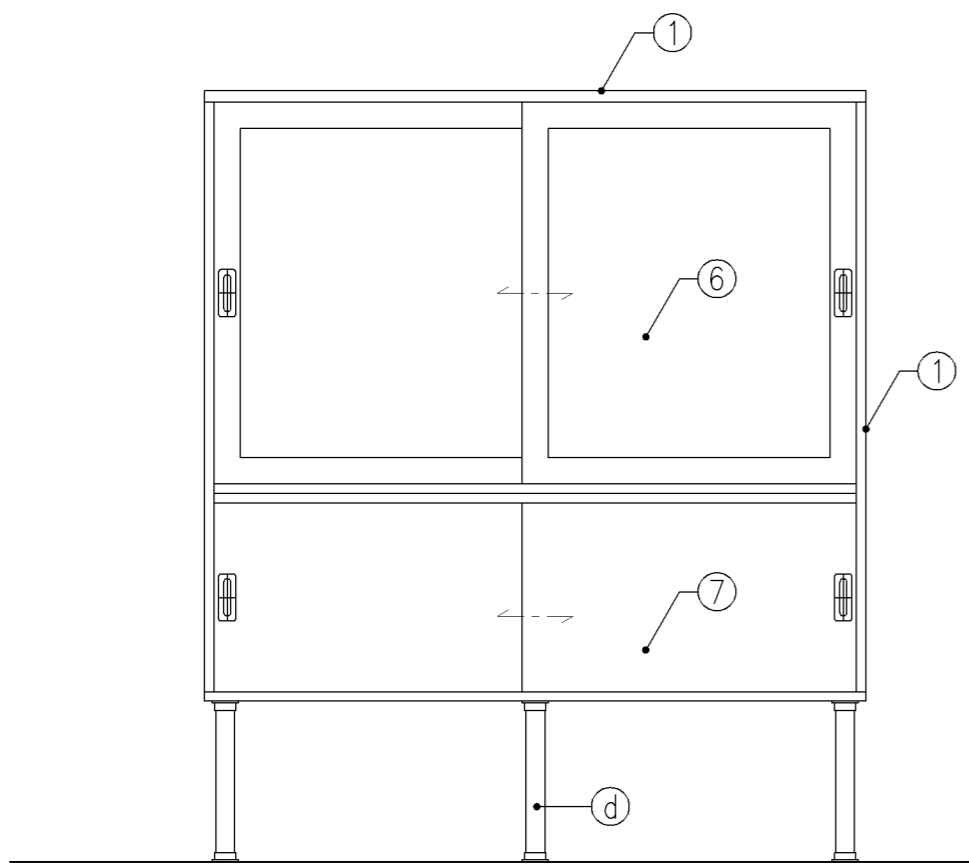


断面図

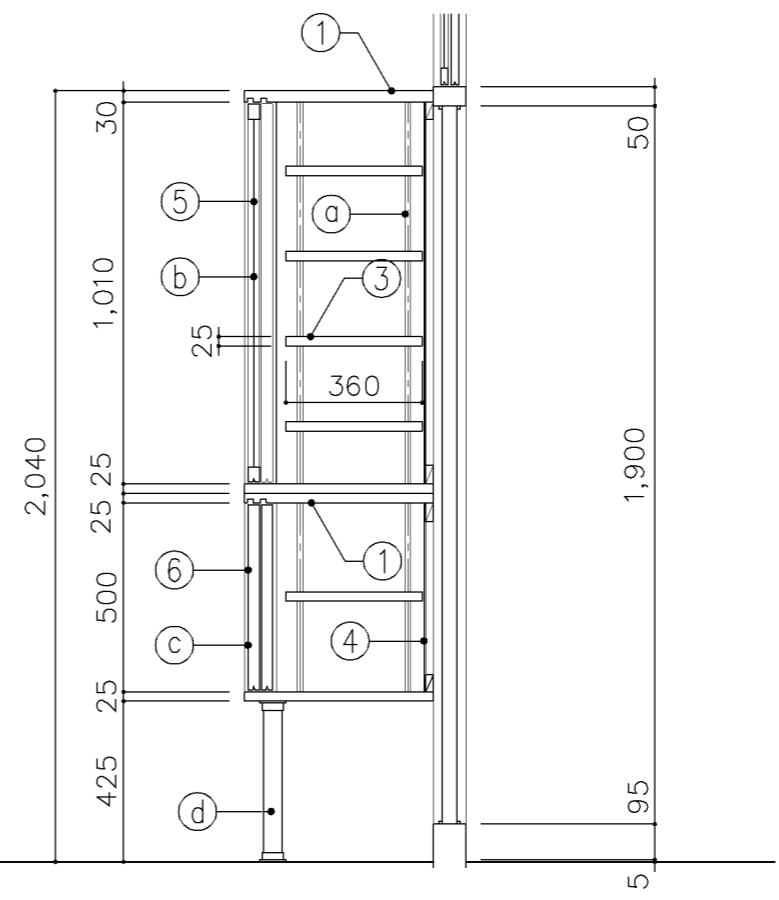
寸 法				
W1,740 x D 600 x H 2,040				
使用箇所				
家庭科教室（小学校）				
仕 様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	棚板	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	可動棚	A-1	ポリエステル化粧合板	
④	中仕切	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑤	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
⑥	框戸		ァ3 ポリカーボネード板	
⑦	補強板	B-1	ポリエステル化粧合板	
金 物				
番号	使用箇所	名称		
Ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）		
Ⓑ	框戸	シリンドー栓錠、国産材掘込引手		
特記事項				
・木口の形状については、G-300より選定する。				
・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。				
・フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。				
・引違い戸の厚みは、30mmを原則とする。				
・芯材は、国産杉芯合板とする。				
名称	収納戸棚			
縮尺	1/20	記号	G-312	
設計年月		令和7年3月		
横浜市建築局				



平面図

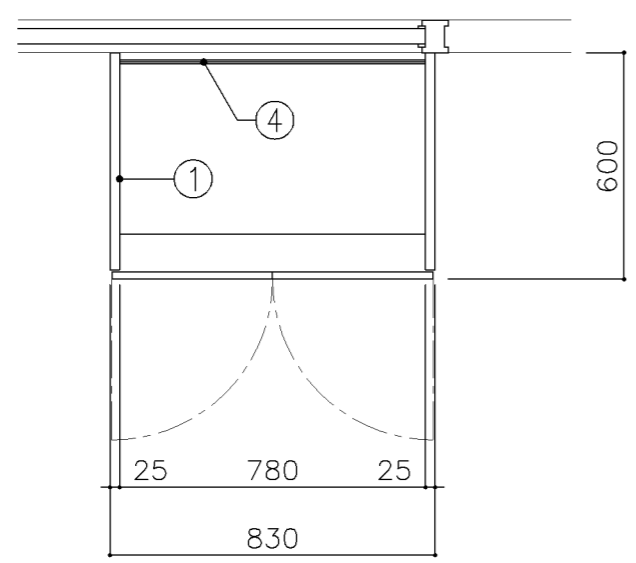


正面図

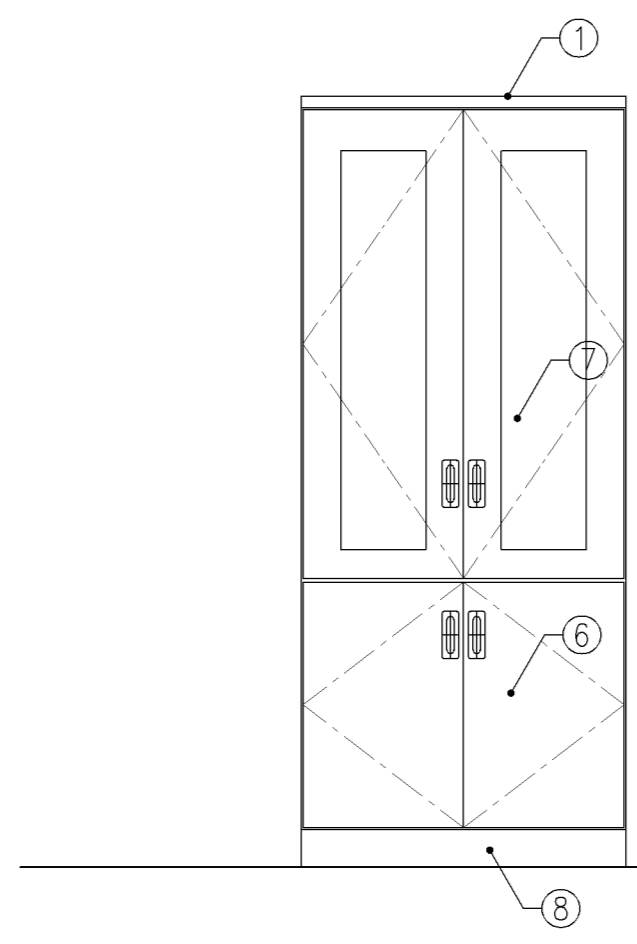


断面図

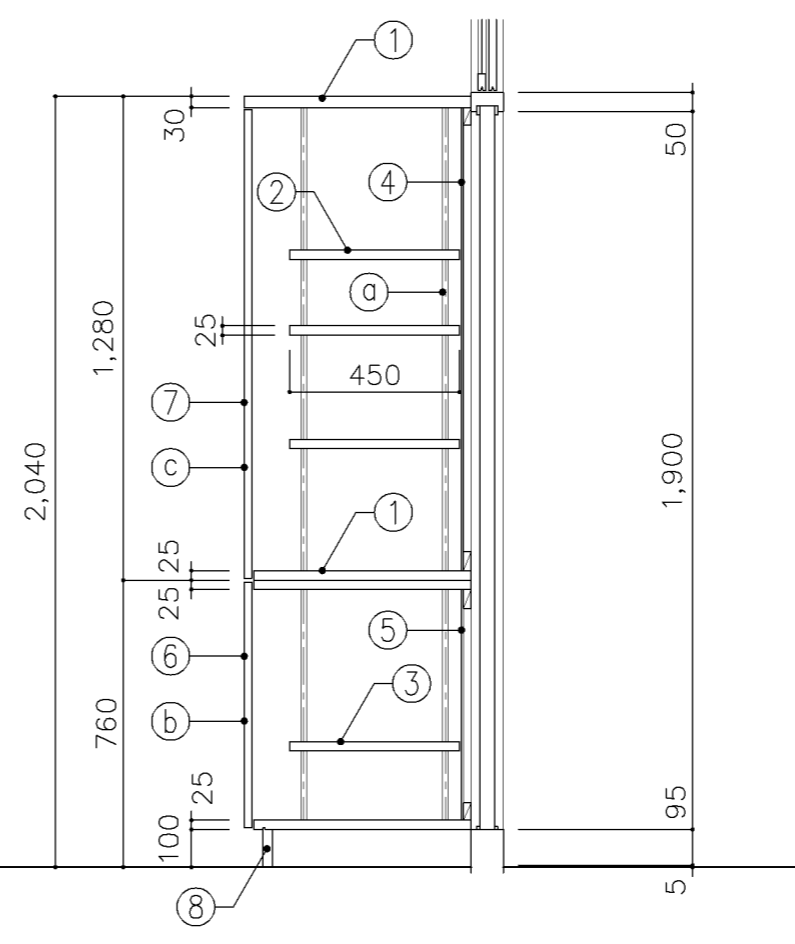
寸 法				
W1,740 x D 500 x H 2,040				
使用箇所				
家庭科教室（中学校）				
仕 様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A-1	ポリエステル化粧合板	
④	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
⑤	框戸		ァ3 ポリカーボネード板	
⑥	引違戸	A-1	ポリエステル化粧合板	
金 物				
番号	使用箇所	名称		
Ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）		
Ⓑ	框戸	シリンダー栓錠、国産材掘込引手		
Ⓒ	引違戸	シリンダー栓錠、国産材掘込引手		
Ⓓ	脚	ステンレスパイプ 50φ（丸座共）		
特記事項				
・木口の形状については、G-300より選定する。				
・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。				
・フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。				
・引違戸の厚みは、30mmを原則とする。				
・芯材は、国産杉芯合板とする。				
名称	収納戸棚			
縮尺	1/20	記号	G-313	
設計年月		令和7年3月		
横浜市建築局				



平面図



正面図



断面図

寸 法			
W 830 x D 600 x H 2,040			

使用箇所			
家庭科教室（中学校）			

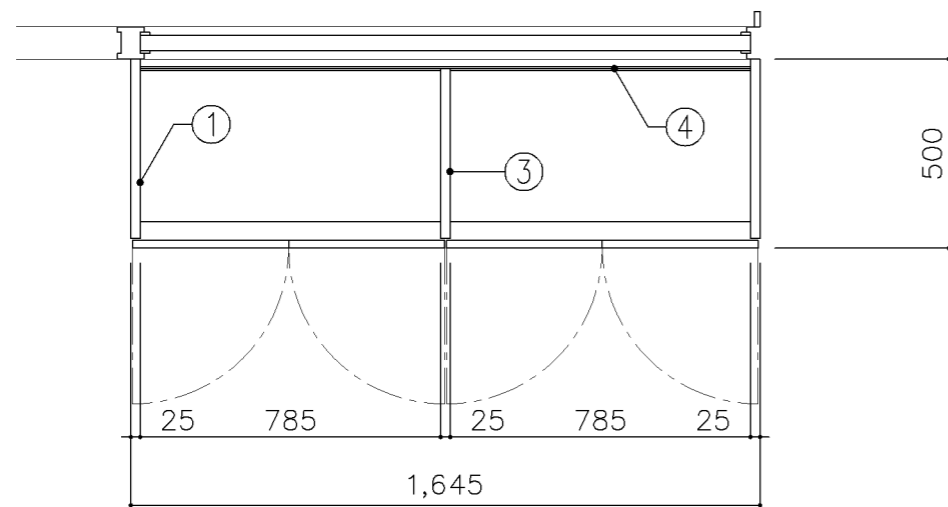
仕 様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	可動棚	A-1	しな合板	
④	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
⑤	裏板	片A-1	しな合板	
⑥	扉	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑦	框戸		ッ3 ポリカーボネード板	
⑧	巾木	B-1	ポリエステル化粧合板	

金 物		名 称	
番号	使用箇所		
㉑	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）	
㉒	扉	スライド丁番、国産材掘込引手、セーフラッチ	
㉓	框戸	スライド丁番、3点ロック（プッシュ式）	
		国産材掘込引手	

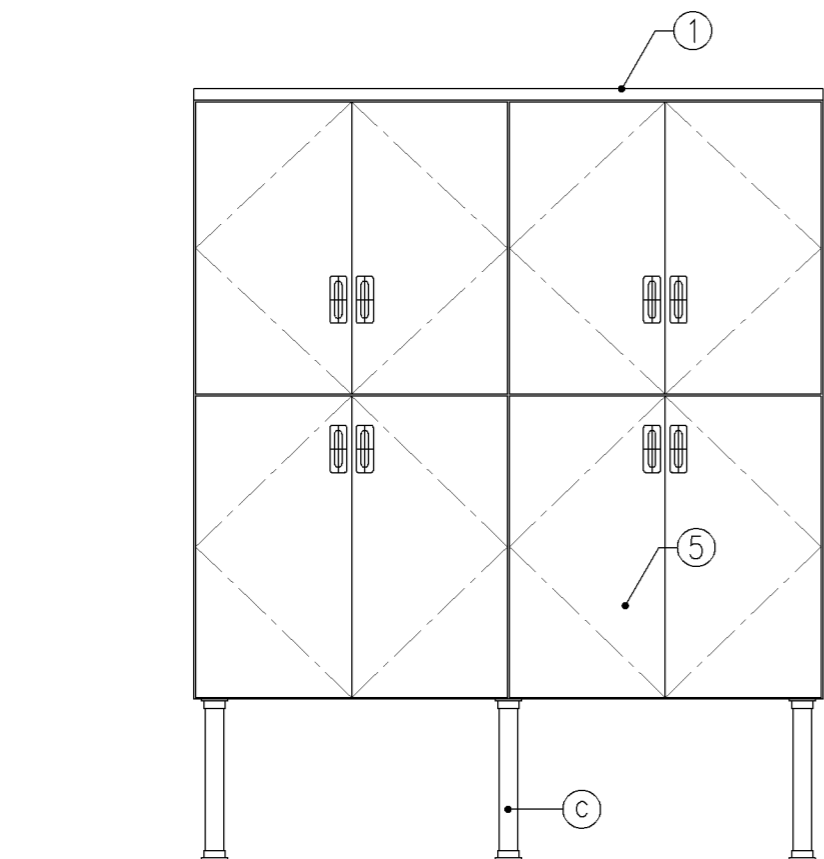
特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・木口の形状については、G-300より選定する。 ・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。 ・フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。 ・扉の厚みは、20mmを原則とする。 ・芯材は、国産杉芯合板とする。 	

名称	収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G-314

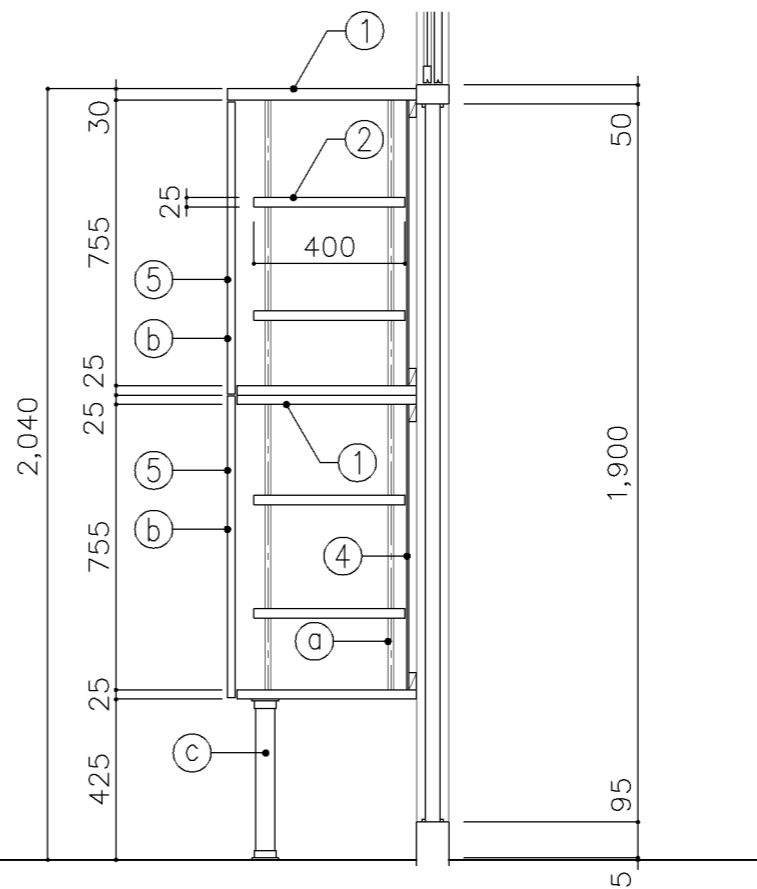
設計年月	令和7年3月
横浜市建築局	



平面図



正面図



断面図

寸法
W1,645 x D 500 x H 2,040

使用箇所
美術教室
図画工作教室
多目的室（水廻り学習等）

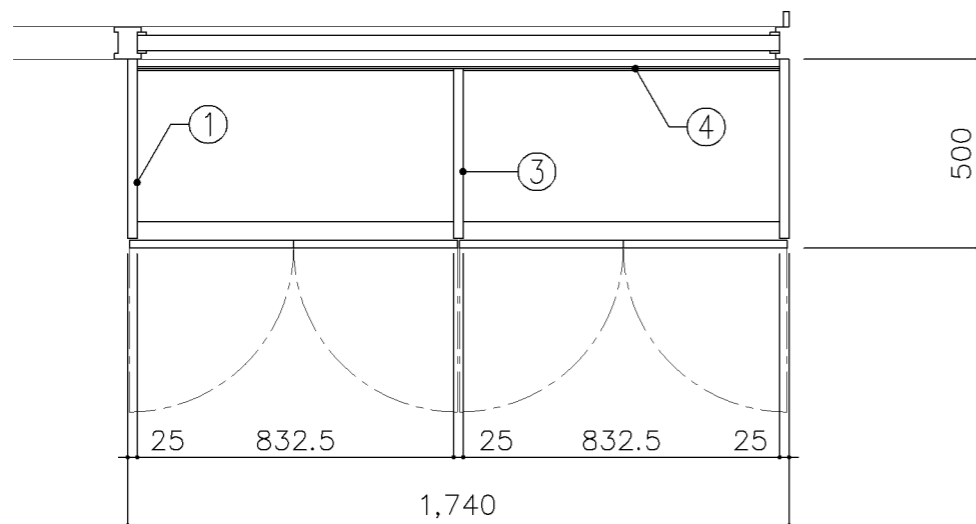
仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	しな合板	
③	中仕切	A-1	しな合板	
④	裏板	片A-1	しな合板	
⑤	扉	A-1	ポリエステル化粧合板	

金物		
番号	使用箇所	名称
①	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
②	扉	スライド丁番、国産材掘込引手、セーフラッチ
③	脚	ステンレスパイプ 50φ（丸座共）

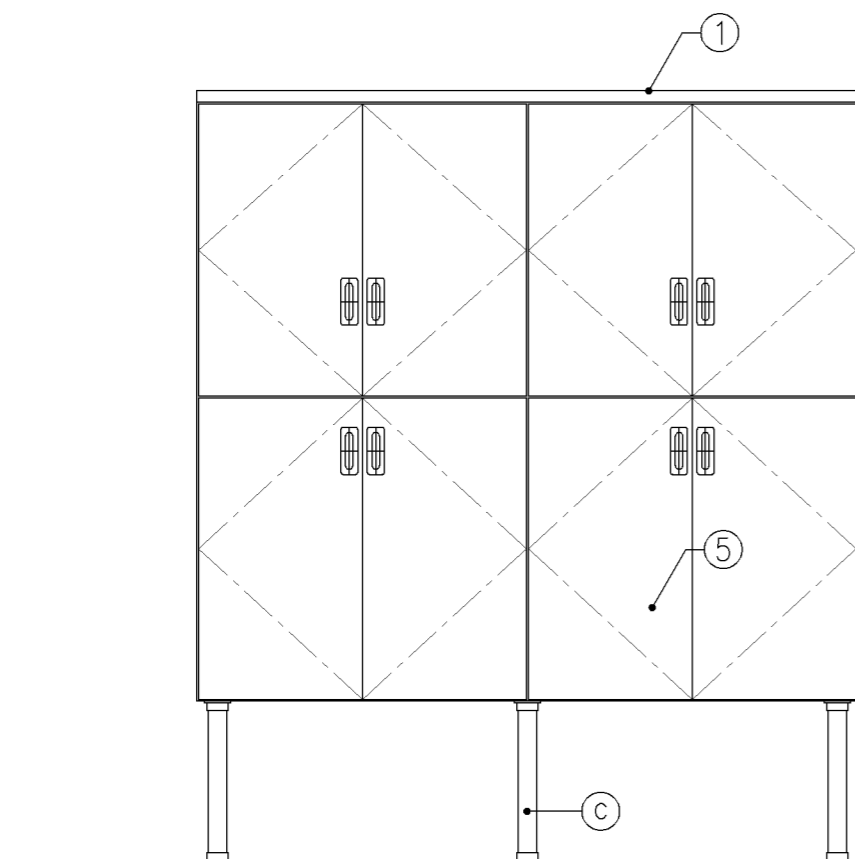
特記事項

- ・木口の形状については、G-300より選定する。
- ・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- ・フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- ・扉の厚みは、20mmを原則とする。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

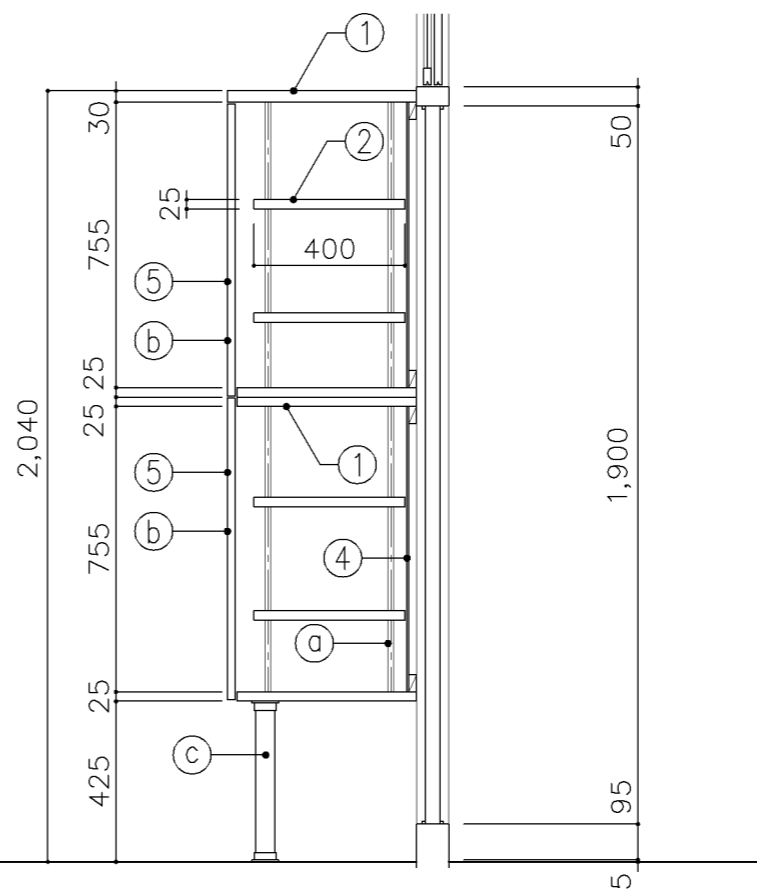
名称	収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G-315A
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



平面図



正面図



断面図

寸法
W1,740 x D 500 x H 2,040

使用箇所
理科教室（小・中学校）
多目的室（水回り学習等）

仕様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	しな合板	
③	中仕切	A-1	しな合板	
④	裏板	片A-1	しな合板	
⑤	扉	A-1	ポリエステル化粧合板	

金物

番号	使用箇所	名称
Ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
Ⓑ	扉	スライド丁番、国産材掘込引手、セーフラッチ
Ⓒ	脚	ステンレスパイプ 50φ（丸座共）

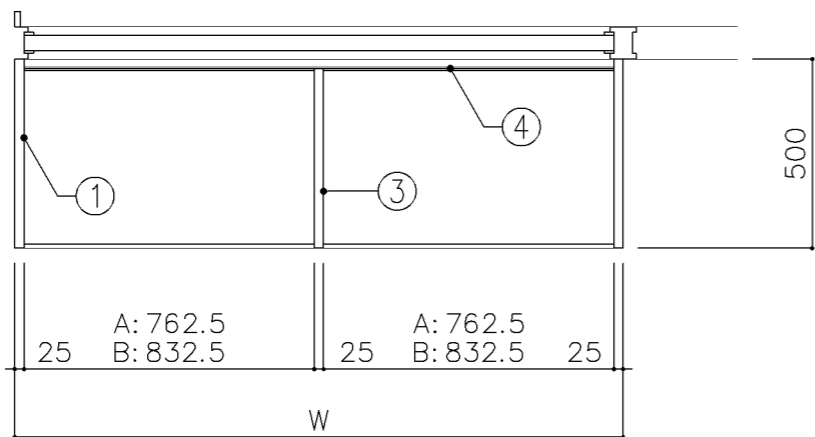
特記事項

- ・木口の形状については、G-300より選定する。
- ・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- ・フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- ・扉の厚みは、20mmを原則とする。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

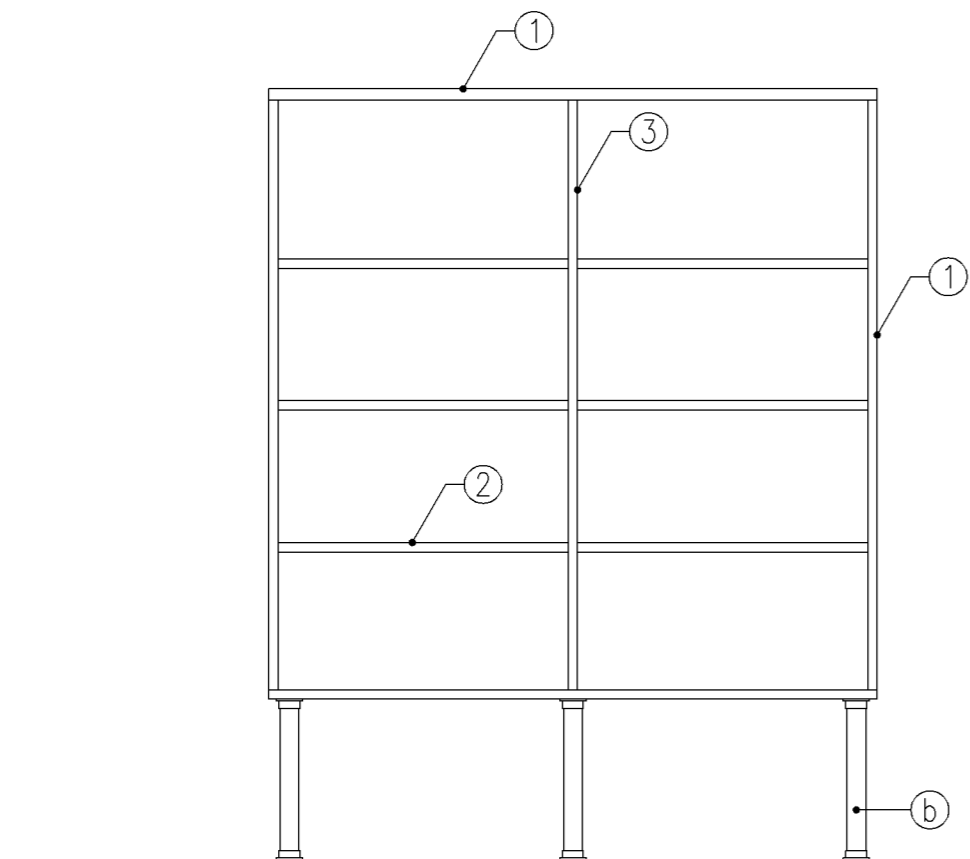
名称	収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G-315B

設計年月 令和7年3月

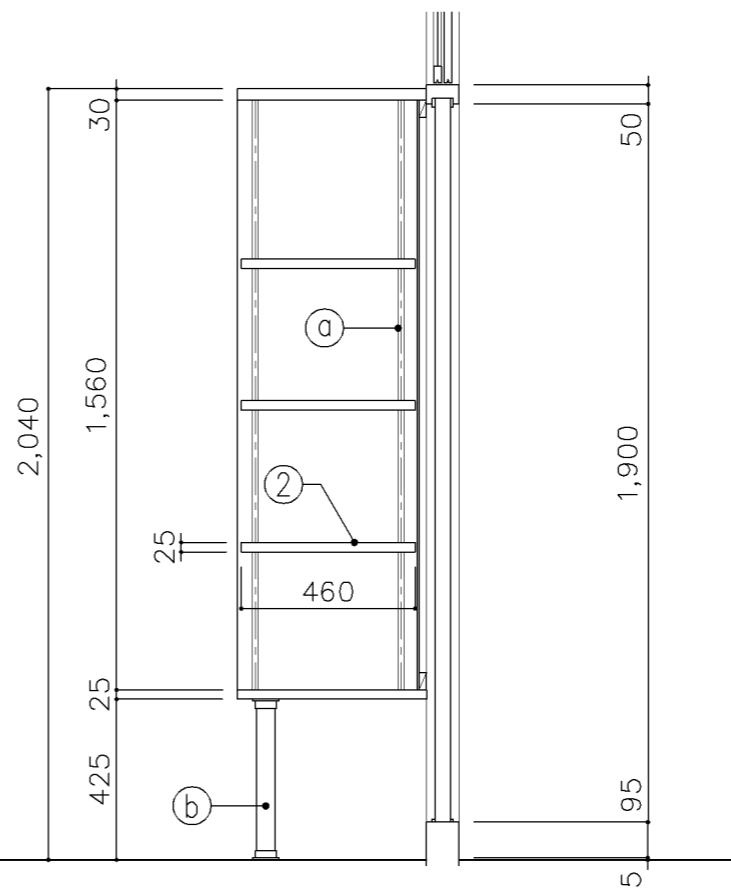
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸法

A: W1,600 x D500 x H2,040

B: W1,740 x D500 x H2,040

使用箇所

A: 保健室

B: 図画工作教室、美術教室

仕様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A-1	ポリエステル化粧合板	
④	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	

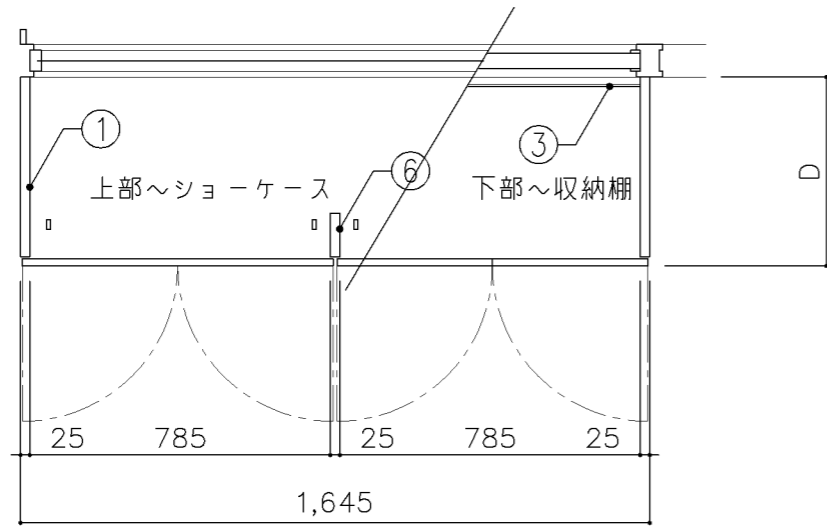
金物

番号	使用箇所	名称
Ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱 (番号入り)
Ⓑ	脚	ステンレスパイプ 50φ (丸座共)

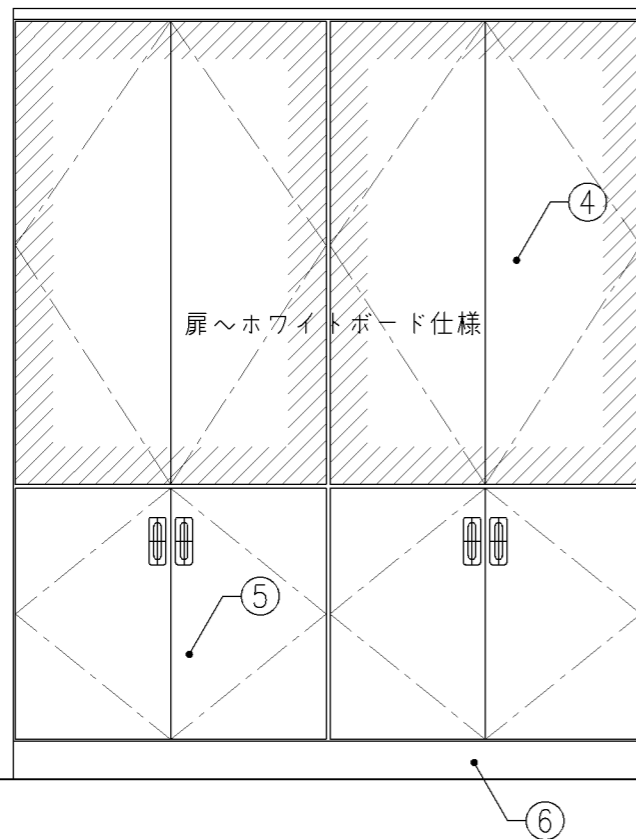
特記事項

- ・木口の形状については、G-300より選定する。
- ・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

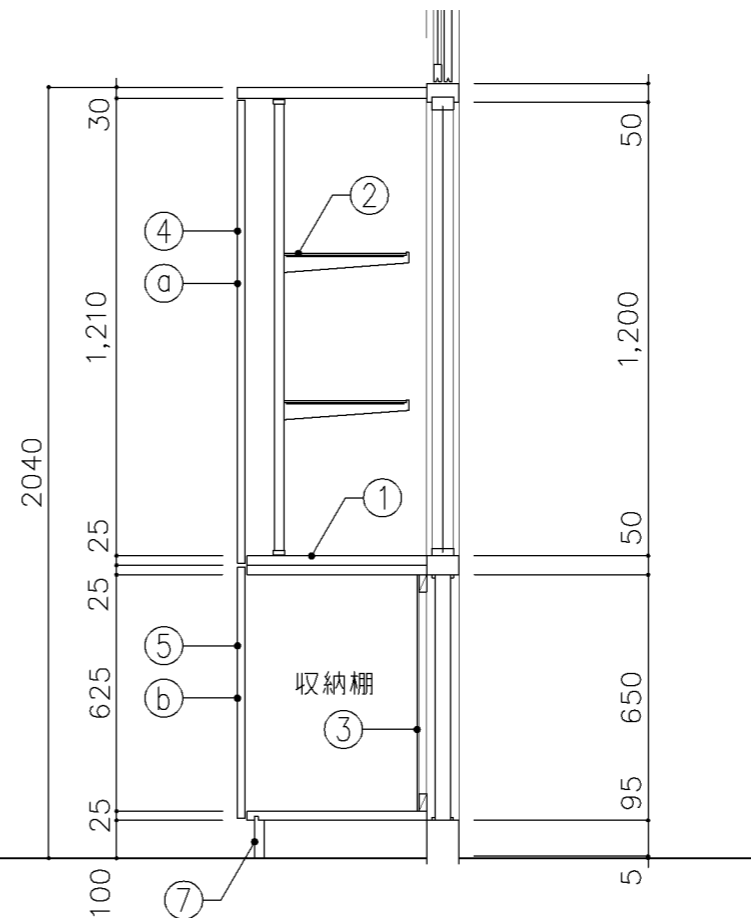
名称	展示棚		
縮尺	1/20	記号	G-320
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



平面図



正面図



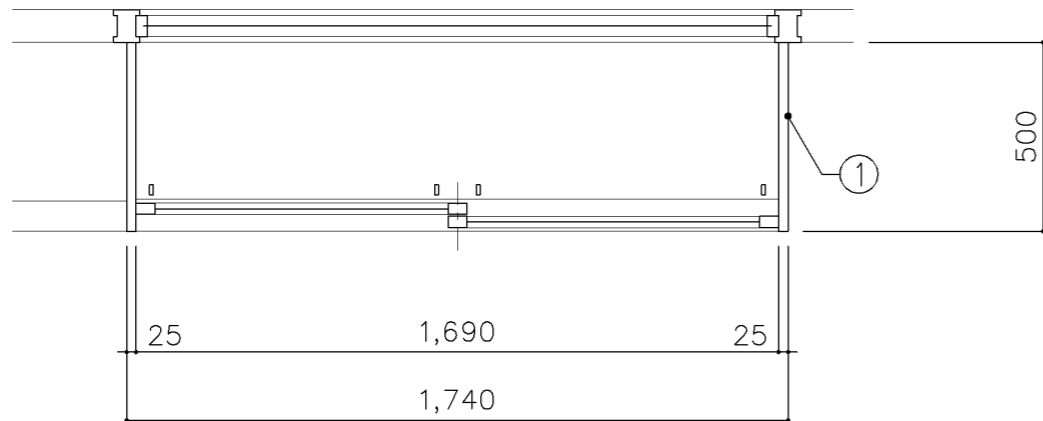
断面図

寸 法				
W1,645 x D 500 x H 2,040				
使用箇所				
理科教室 (小・中学校)				
仕 様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	ガラス棚		φ5 透明	
③	裏板	片A-1	しな合板	
④	扉	A-1	ポリエステル化粧合板 片面ホワイトボード仕様	
⑤	扉	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑥	方立	B-1	ポリエステル化粧合板	
⑦	巾木	B-1	ポリエステル化粧合板	

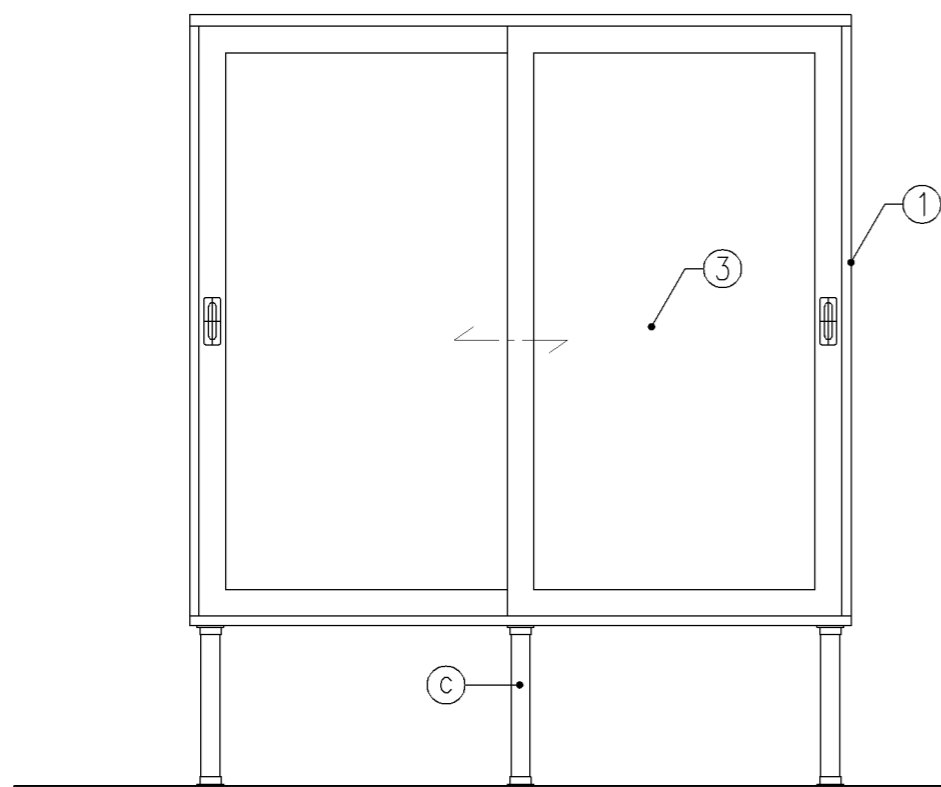
金 物		
番号	使用箇所	名称
Ⓐ	扉	スライド丁番、3点ロック (プッシュ式)
Ⓑ	扉	スライド丁番、国産材掘込引手 面付シリンドー錠、セーフラッチ
Ⓒ	ガラス棚	棚柱、ブラケット、座金

特記事項	
・木口の形状については、G-300より選定する。	
・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。	
・フラッシュ戸 (引違い、扉) 内部は、しな合板とする。	
・扉の厚みは、20mmを原則とする。	
・芯材は、国産杉芯合板とする。	

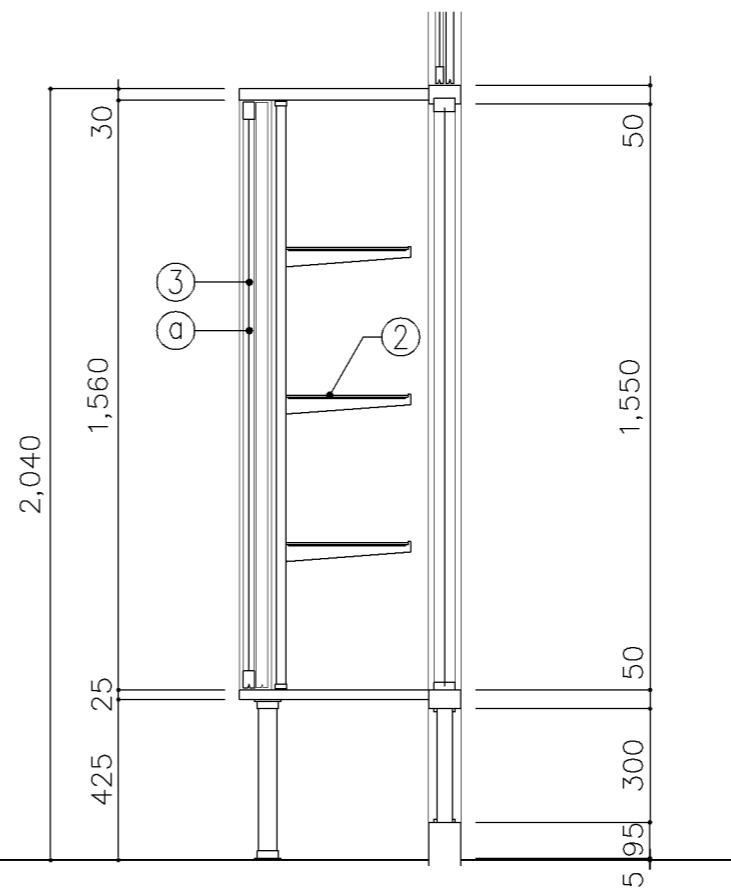
名称	ショーケース		
縮尺	1/20	記号	G-330
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



平面図

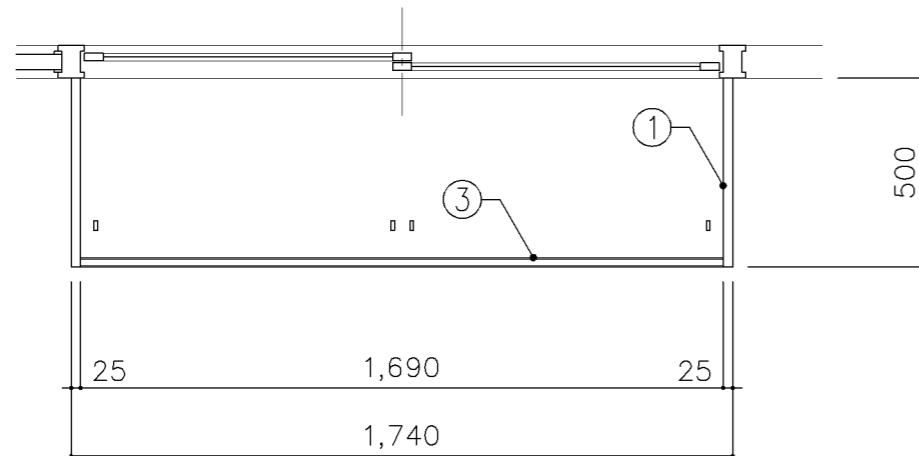


正面図

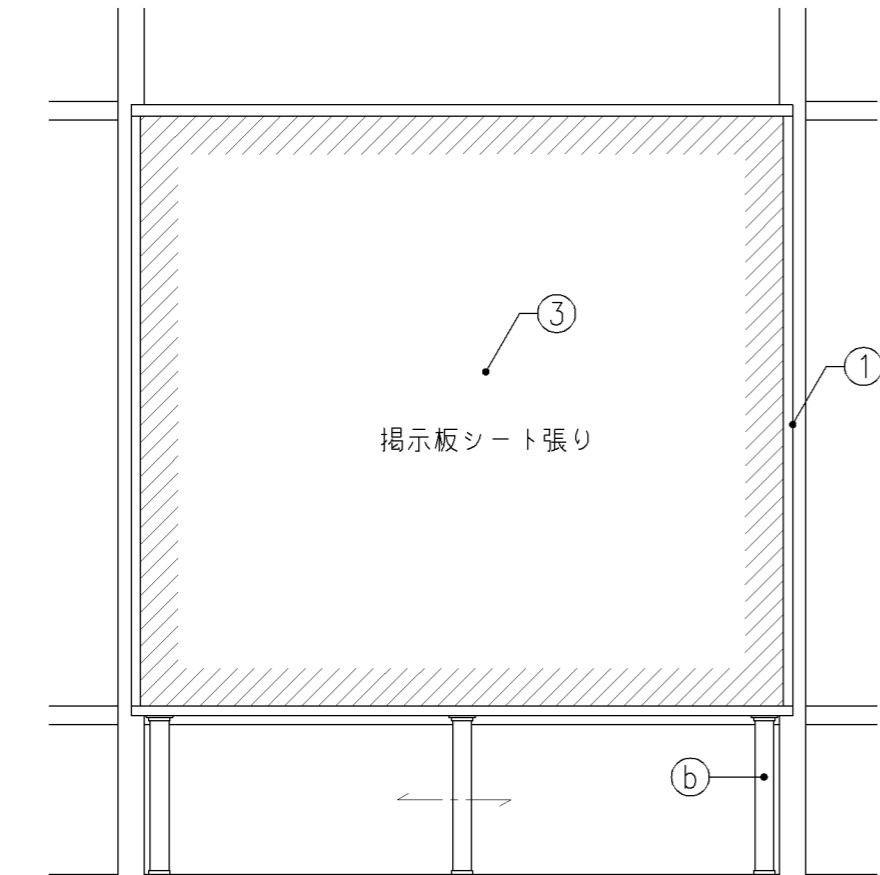


断面図

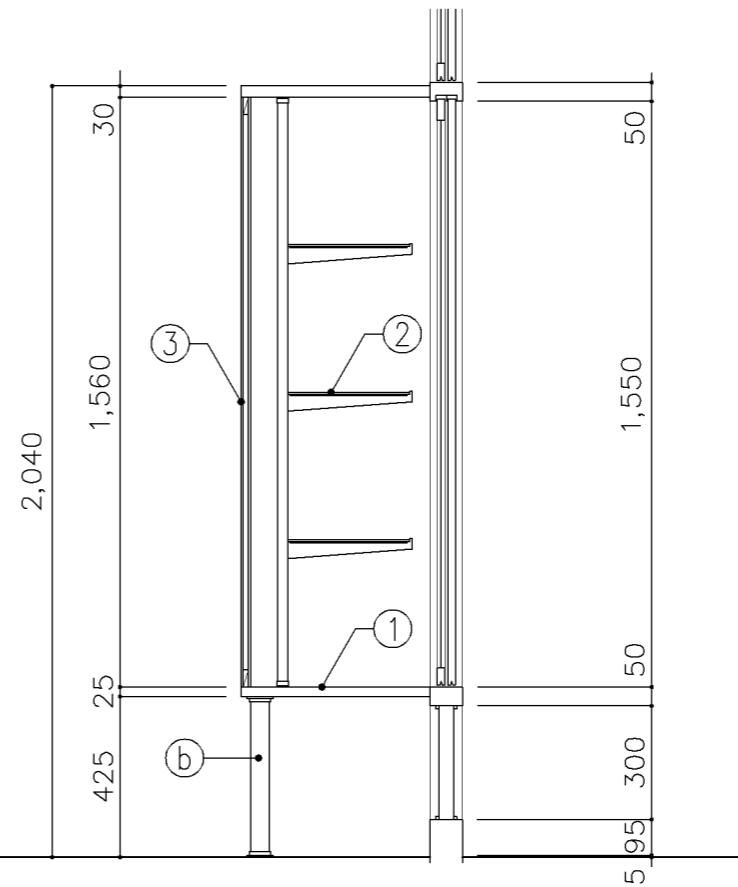
寸 法				
W1,740 x D 500 x H 2,040				
使用箇所				
図画工作教室				
仕 様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	ガラス棚		φ5 透明	
③	框戸		φ5 ポリカーボネード板	
金 物				
番号	使用箇所	名称		
①	框戸	シリンドー栓錠、国産材掘込引手		
②	ガラス棚	棚柱、ブラケット、座金		
③	脚	ステンレスパイプ 50φ (丸座共)		
特記事項				
・ 木口の形状については、G-300より選定する。				
・ 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。				
・ 引違戸の厚みは、30mmを原則とする。				
・ 芯材は、国産杉芯合板とする。				
名称	ショーケース			
縮尺	1/20	記号	G-331	
設計年月		令和7年3月		
横浜市建築局				



平面図

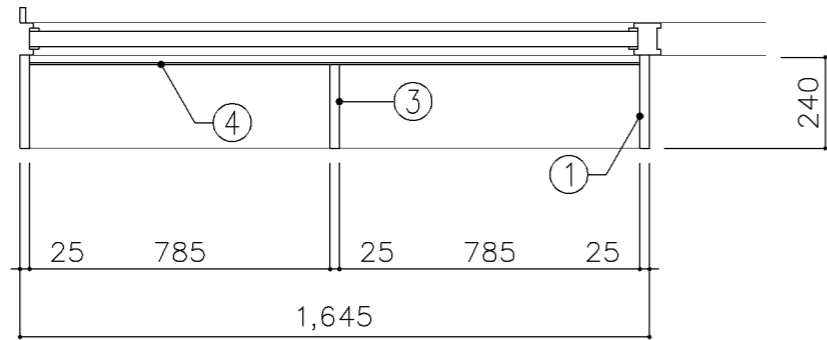


正面図

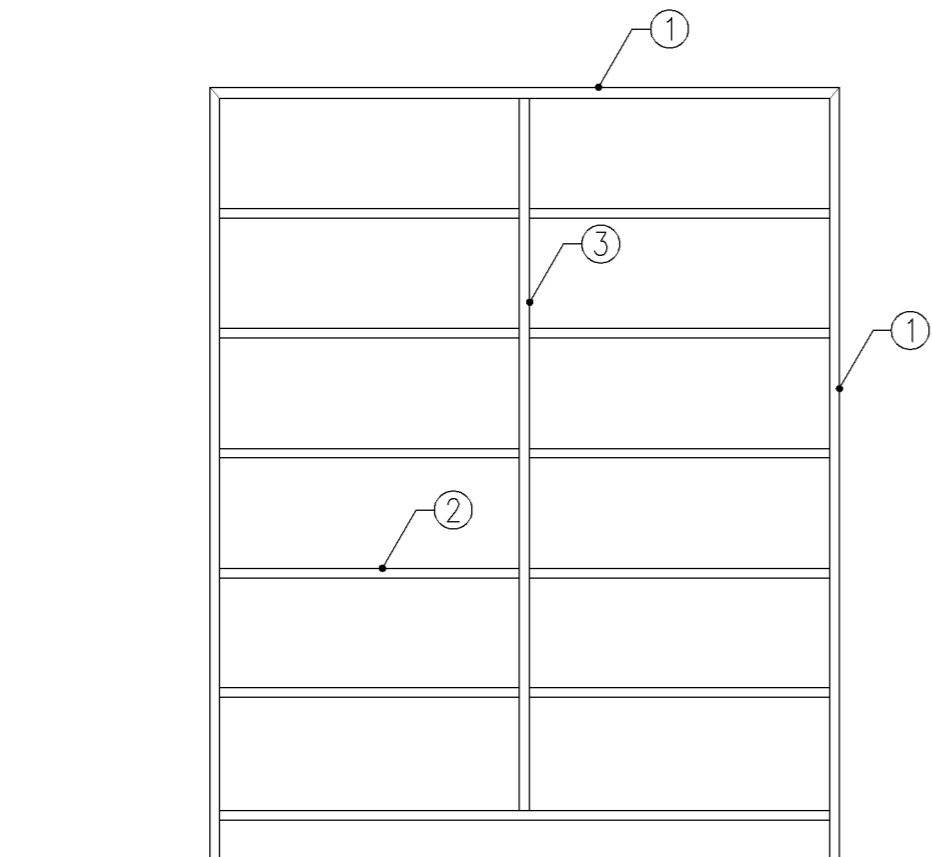


断面図

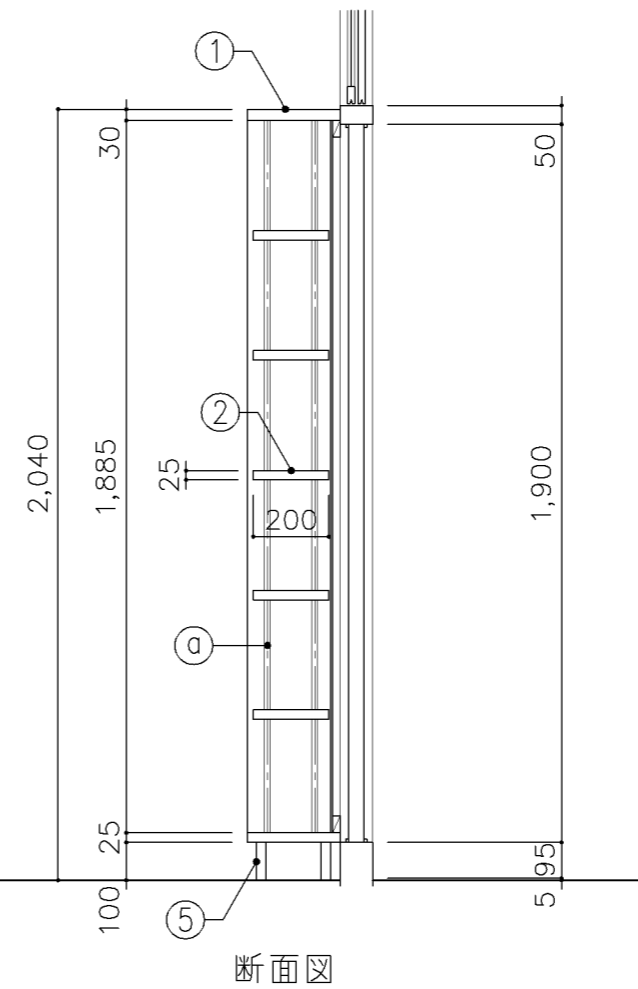
寸 法				
W1,740 x D 500 x H 2,040				
使用箇所				
美術教室				
仕 様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	ガラス棚		75 透明	
③	裏板	A-1	ポリエステル化粧合板 片面掲示板シート張り	
金 物				
番号	使用箇所	名称		
Ⓐ	ガラス棚	棚柱、ブラケット、座金		
Ⓑ	脚	ステンレスパイプ 50φ (丸座共)		
特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・木口の形状については、G-300より選定する。 ・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。 ・芯材は、国産杉芯合板とする。 				
名称	ショーケース			
縮尺	1/20	記号	G-332	
設計年月		令和7年3月		
横浜市建築局				



平面図



正面図



断面図

寸法

W1,645 x D 240 x H 2,040

使用箇所

理科準備室(小・中学校)
図書室(中学校)

仕様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A-1	ポリエステル化粧合板	
④	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
⑤	巾木	B-1	ポリエステル化粧合板	

金物

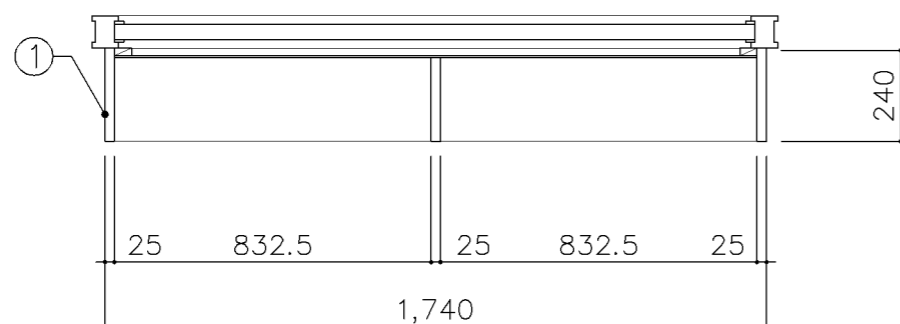
番号	使用箇所	名称
①	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱(番号入り)

特記事項

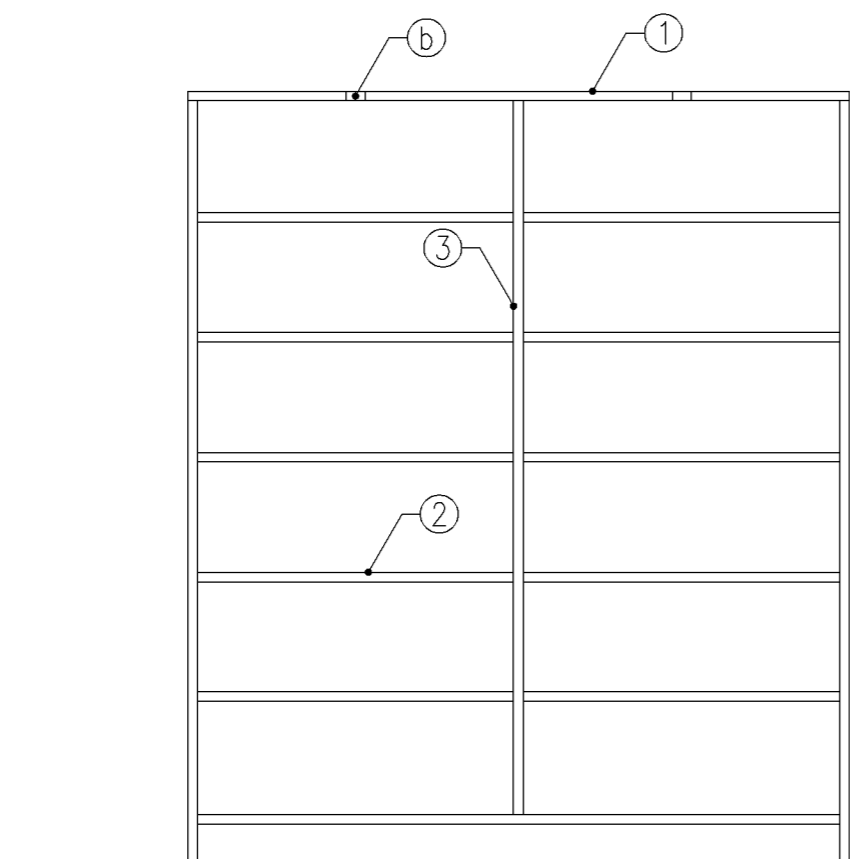
- ・木口の形状については、G-300より選定する。
- ・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	書架		
縮尺	1/20	記号	G-350
設計年月		令和7年3月	

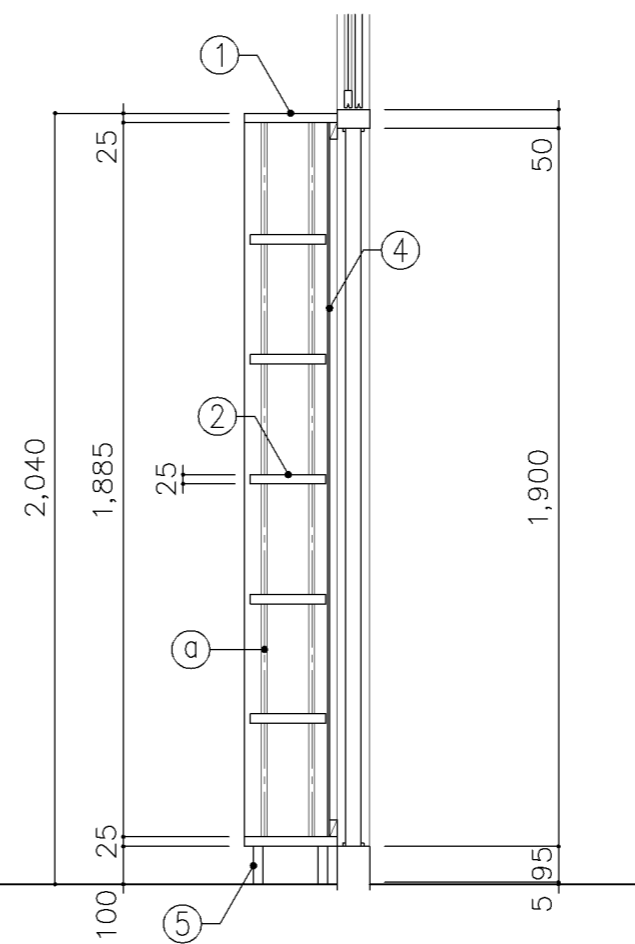
横浜市建築局



平面図

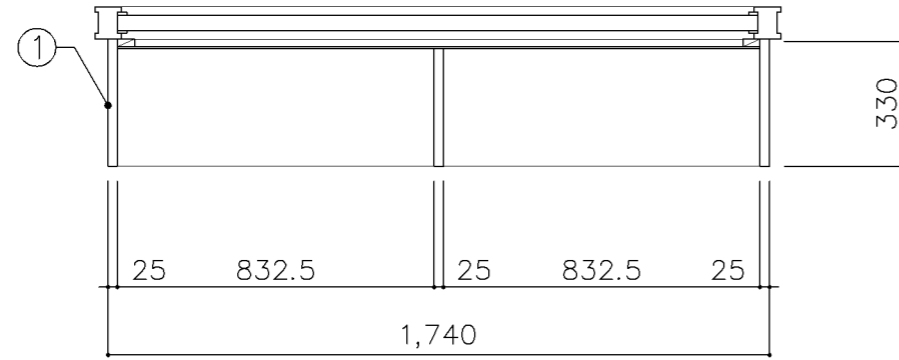


正面図

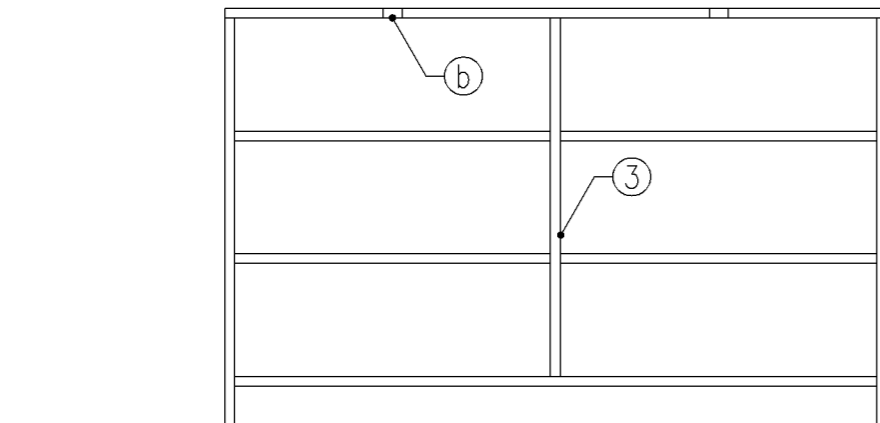


断面図

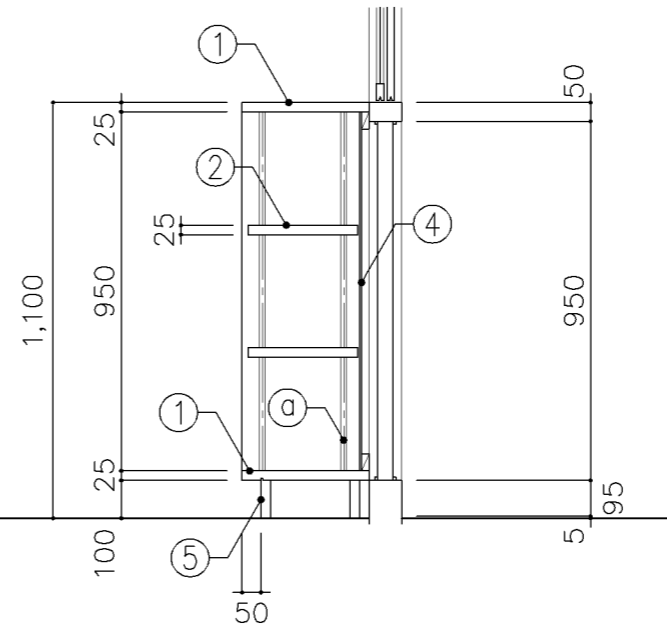
寸法				
W1,740 x D 240 x H 2,040				
使用箇所				
図書室（小・中学校）				
仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	B-1	しな合板	UC
②	可動棚	B-1	しな合板	UC
③	中仕切	B-1	しな合板	UC
④	裏板	片A-1	しな合板	UC
⑤	巾木	B-1	しな合板	UC
金物				
番号	使用箇所	名称		
Ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）		
Ⓑ	カード差し	塩化ビニール製		
特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・木口の形状については、G-300より選定する。 ・見掛けり部はUC仕上とする。 ・芯材は、国産杉芯合板とする。 				
名称	書架			
縮尺	1/20	記号	G-351	
設計年月		令和7年3月		
横浜市建築局				



平面図



正面図



断面図

寸法
W1,740 x D 330 x H1,100

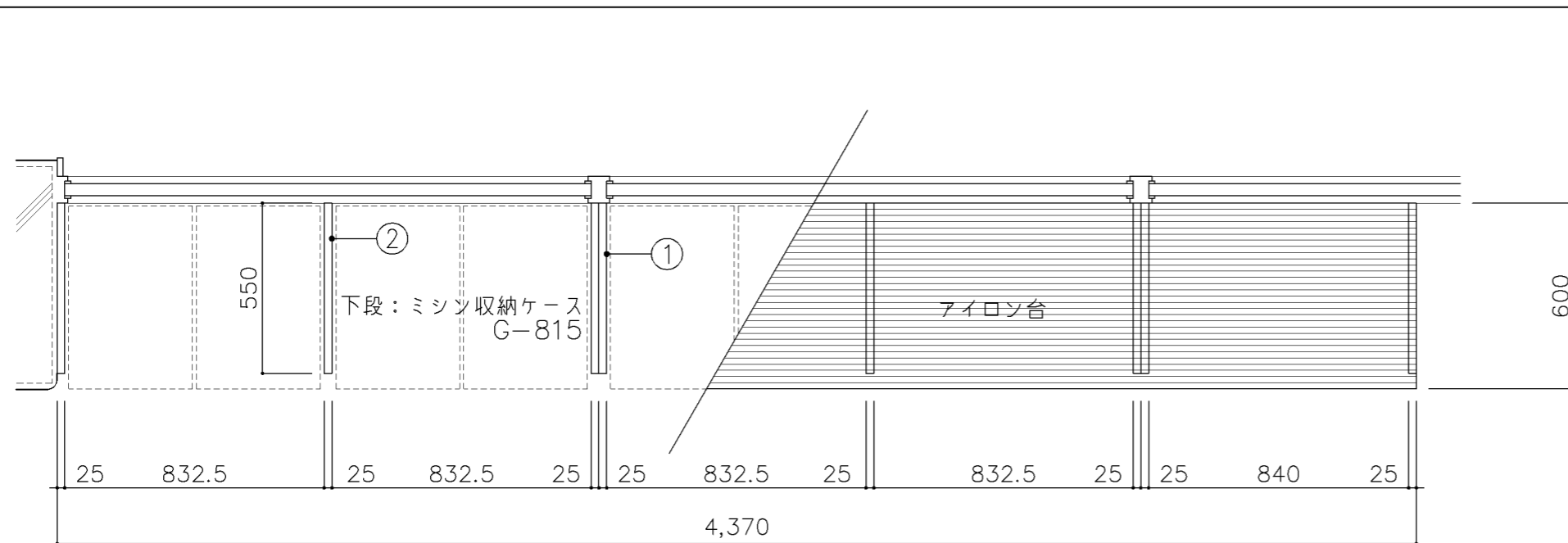
使用箇所
図書室（小・中学校）

仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	B-1	しな合板	UC
②	可動棚	B-1	しな合板	UC
③	中仕切	B-1	しな合板	UC
④	裏板	片A-1	しな合板	UC
⑤	巾木	B-1	しな合板	UC

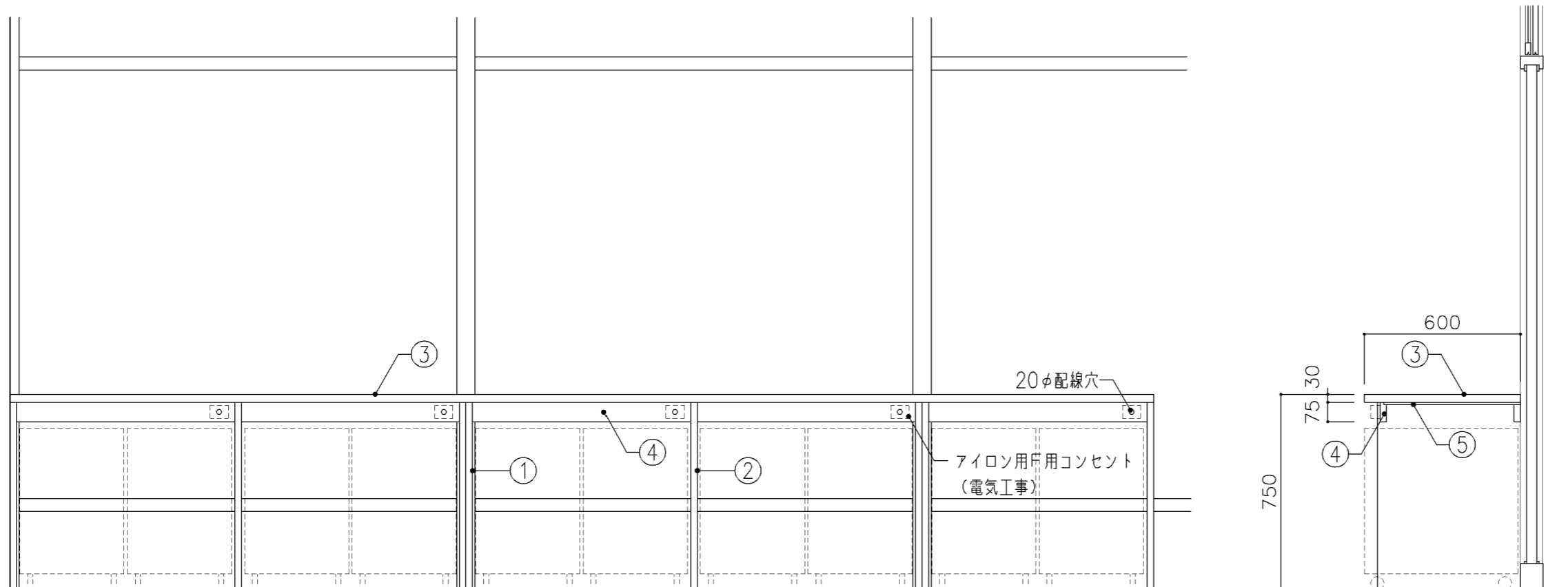
金物	
番号	使用箇所 名称
Ⓐ	可動棚 ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
Ⓑ	カード差し 塩化ビニール製

特記事項
 ・木口の形状については、G-300より選定する。
 ・見掛かり部はUC仕上とする。
 ・芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	書架		
縮尺	1/20	記号	G-352
設計年月	令和7年3月		
横浜市建築局			



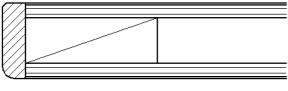
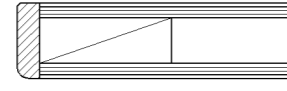
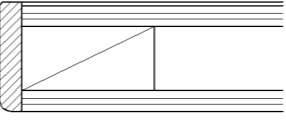
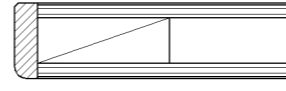
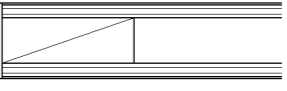
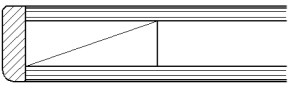
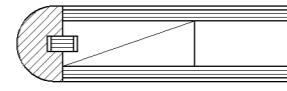
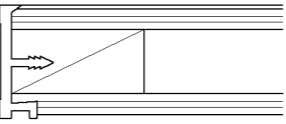
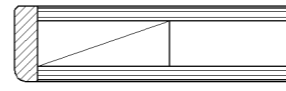
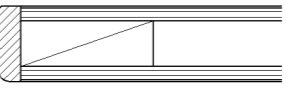
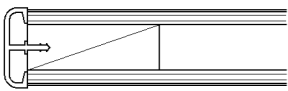
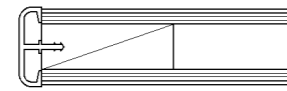
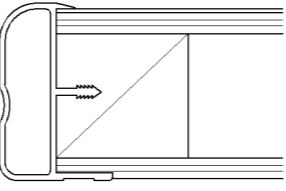
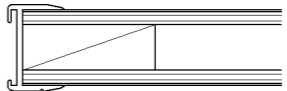
平面図



寸法				
W4,370 x D 600 x H 750				
使用箇所				
家庭科教室 (中学校)				
仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	中仕切	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	天板		φ30 ナラ積層材	UC
④	補強板	B-1	ポリエステル化粧合板	
⑤	下地板		φ9 針葉樹合板	
金物				
番号	使用箇所	名称		
特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・木口の形状については、G-300より選定する。 ・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。 ・芯材は、国産杉芯合板とする。 				
名称	アイロン台			
縮尺	1/20	記号	G-360	
設計年月	令和7年3月			
横浜市建築局				

G-400 収納家具（木・その他）共通事項

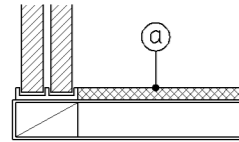
- 1. 収納家具等の木口材及び芯材は下記による。
- 1. 部位別の表面材と木口材は、下記リスト表より選定するものとする。
尚リスト表に記載されていないものに関しては、横浜市建築工事担当課の承認を得るものとする。
- 1. 芯材は原則として、リスト表によるものとする。
- 1. 各部塗装は、国土交通省仕様を順守の事。

部位別による表面材と木口形状リスト					芯材リスト（凡例） ※各図面の芯材の蘭の表記は下記による	
本体（枠板）	天板形状（甲板）		扉	棚板形状（可動棚）		
① ポリエステル化粧合板  木口：タモ ャ6（面取加工）	① メラミン化粧板  木口：タモ ャ6（面取加工）	④ 耐薬品特殊アクリル系樹脂化粧板  木口：タモ ャ6（面取加工）	① ポリエステル化粧合板  木口：タモ ャ6（面取加工）	① ポリエステル化粧合板  木口：メラミン化粧板	A-1	フラッシュ
② しな合板  木口：タモ ャ6（面取加工）	② メラミン化粧板  木口：タモ（アール加工）	⑤ 耐薬品特殊アクリル系樹脂化粧板  木口：樹脂成形品	② しな合板  木口：タモ ャ6（面取加工）	② しな合板 	B-1	ブロックコア
③ ポリエステル化粧合板 Or しな合板  木口：塩ビエッジ	③ メラミン化粧板  木口：塩ビエッジ	⑥ 耐薬品特殊アクリル系樹脂化粧板  木口：アルミ成形品		③ ポリエステル化粧合板 Or しな合板  木口：アルミ成形レール	C-1	ベタ芯

名称	共通事項		
縮尺	記号	G-400	
設計年月日	令和7年3月		
横浜市建築局			

■ レール・戸車

1. 引違い戸、框戸に使用するレール・戸車の材質は、下記より選択するものとする。
 - a. 上枠 —— 塩ビ製又はアルミ製鴨居レール（埋込・外付両タイプ）
下枠 —— アルミVレール（埋込タイプ）
 - b. 上枠・下枠 共 —— 塩化ビニール樹脂成型品（外付タイプ）
2. 戸車はナイロン戸車を原則とする。
3. 下枠レールに塩化ビニール樹脂成型品（外付タイプ）を使用する際は、棚板と段差を設けず、フラットに仕上げる事とする。（図中 ㊸部）

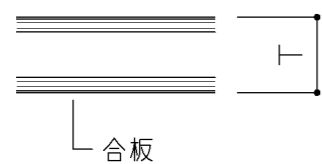


■ 框戸

1. 框材は下記より選択するものとする。
 - a : 木製
 - b : 塩ビ樹脂コーティングアルミサッシュ

■ 合板フラッシュ

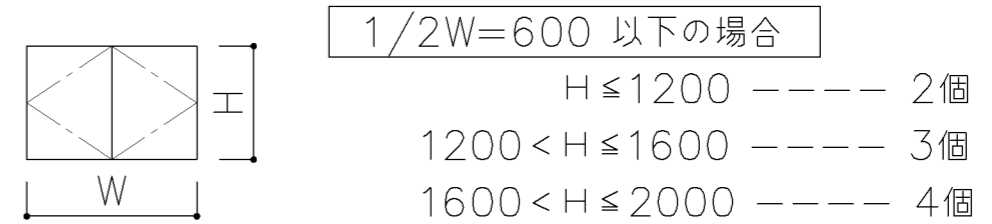
1. 合板フラッシュの合板の厚みは、下記に依るものとする。



T > 25 の場合 ㇲ5.5
T ≤ 25 の場合 ㇲ4

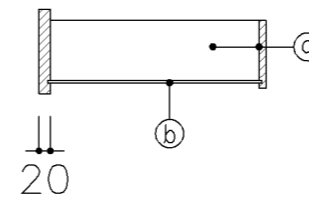
■ スライド丁番

1. 自動締り機構付とする。
1. 開き角度は120°以上とする。
1. 取付丁番の個数は、下記に依るものとする。



■ 引出し

1. 特記無き限り引出しの使用は、下記に依るものとする。



㊸ 側、先板 : アガチス合板又はしな合板 ㇲ12
㊹ 底 板 : アガチス合板又はしな合板 ㇲ4

1. 金工・木工準備室の工具収納戸棚（G-434、G-435、G-436）の仕様は、下記に依るものとする。
 - ㊸ 側、先板 : ㇲ15 ラワン
 - ㊹ 底 板 : ラワン合板 ㇲ4

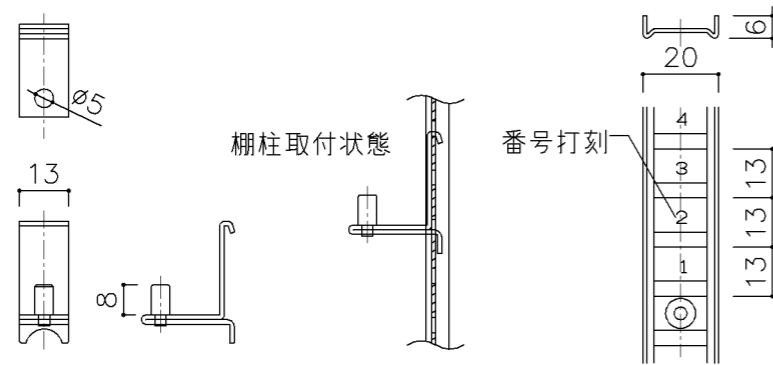
名称	共通事項		
縮尺		記号	G-401
設計年月日	令和7年3月		
横浜市建築局			

■ ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）

1. 棚柱はステンレス製とし、4点支持で安全荷重約60kgを満足するものとする。
可動ピッチは13mm程度とし、可動ピッチの番号打刻入りとする。
2. 棚受はステンレス製とし、突起ダボをφ5とする。

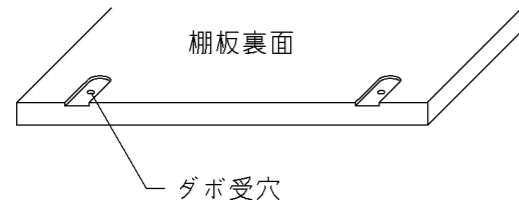
注) 棚柱・棚受については耐震性があるものとし、棚板の外れや落下等がないようにすること。

注) 棚柱・棚受ともにステンレス製とし、書籍に錆や腐食等を付着させないこと。



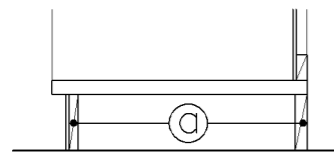
■ 可動棚

1. 棚板にはダボ受穴を設ける。



■ 巾木

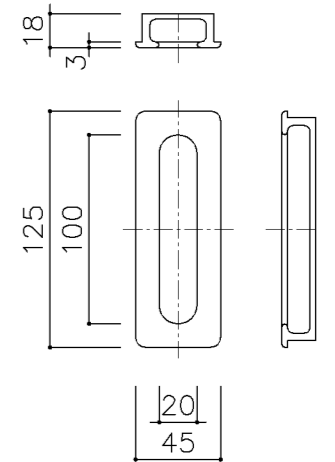
1. 仕様は下記による。（仕上材は各図面参照）



芯材図中の◎の厚みは、ブロックコア合板 21とする。

■ 引手

1. 引手は国産スギ、ヒノキ材掘込引手とする。

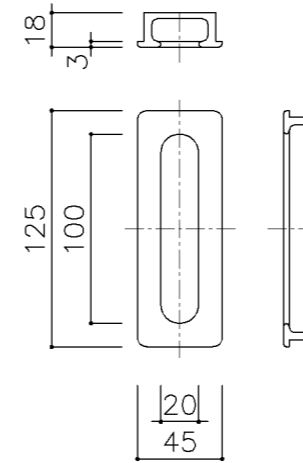


名称	共通事項		
縮尺		記号	G-402
設計年月日	令和7年3月		
横浜市建築局			

G-400 収納家具（木・その他）共通事項

□ 特殊学級 収納家具等 共通仕様

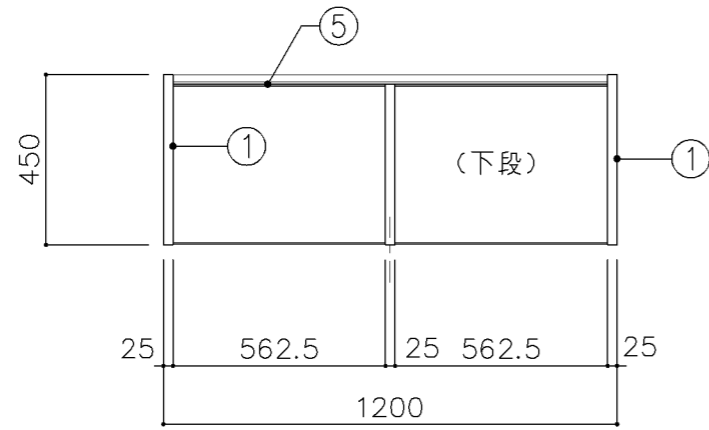
1. 摘要 特記なき限り、材料、各部詳細は下記の通りとする (D-1、2、3)
2. 建具金物 丁番 自動締り付スライド丁番 (135° 開放以上)
引手 国産スギ、ヒノキ材掘込引手
注) 空気孔、開き止めマグネットキャッチは取付けない
3. 棚板 ダボ取合部分には、ダボ受穴を設ける (共通事項参照)



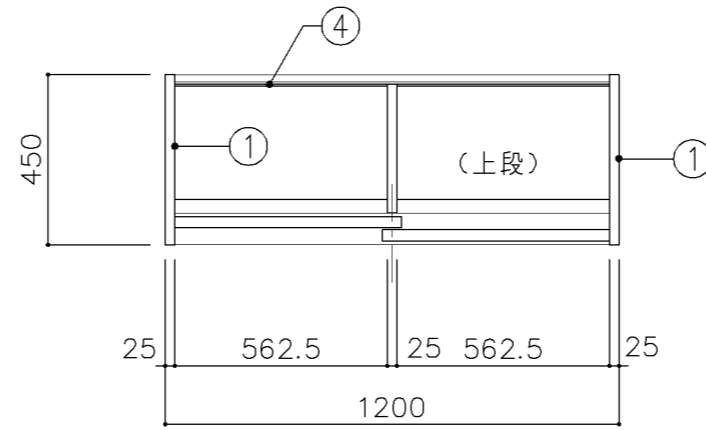
□ 特殊学級 収納家具等 各部詳細図

D-1 収納戸棚	D-2 収納棚	D-3 棚板	

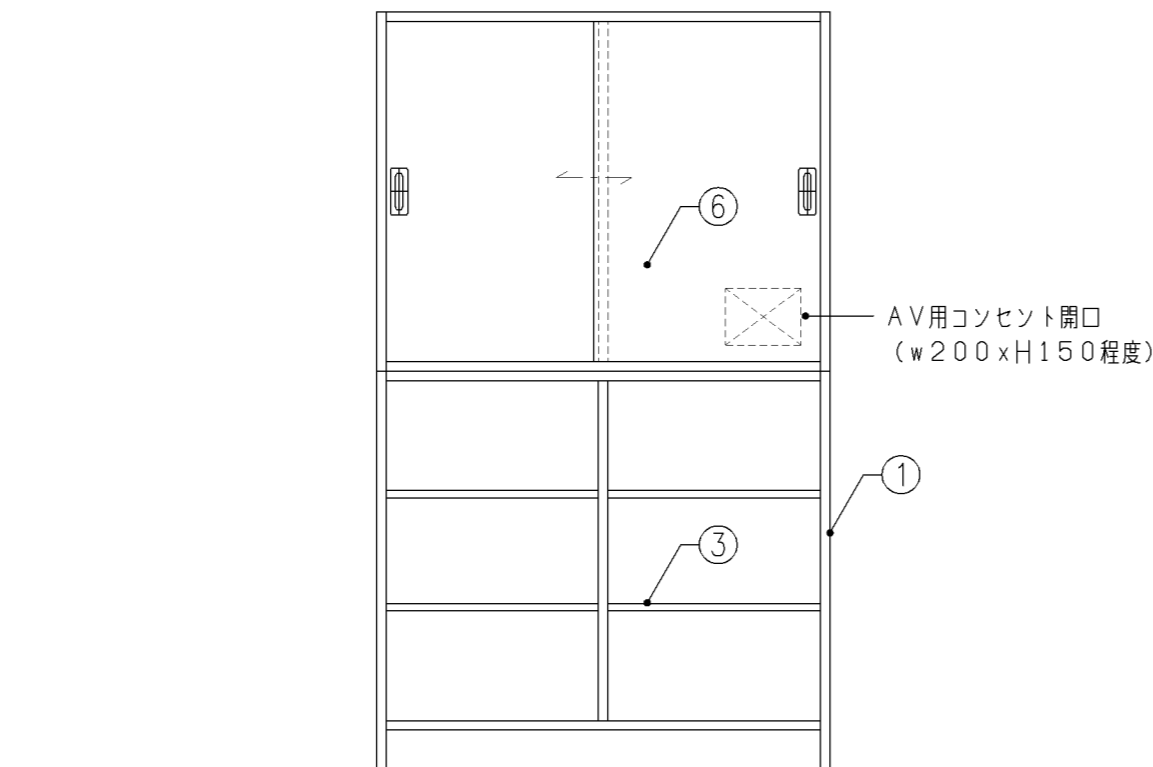
名称	特殊学級用共通仕様		
縮尺		記号	G-403
設計年月日	令和7年3月		
横浜市建築局			



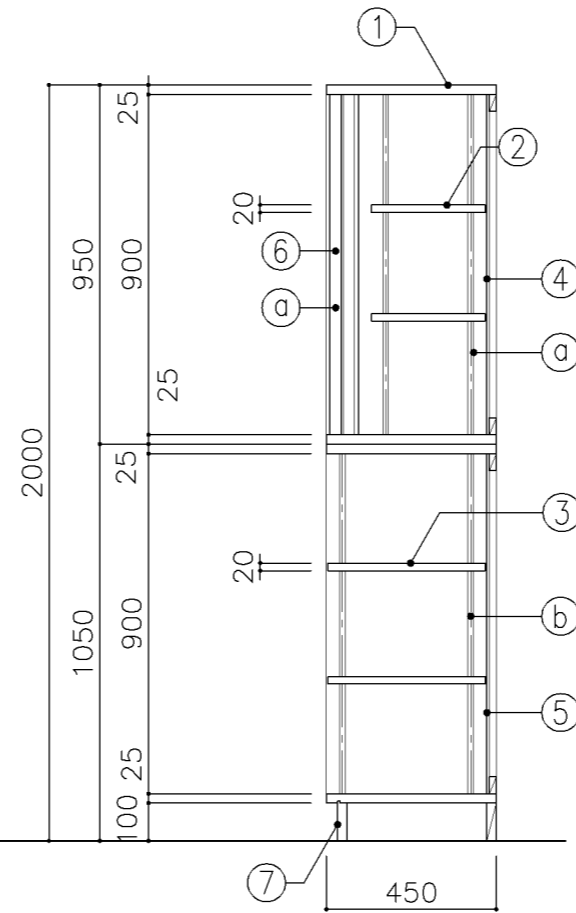
平面図



平面図

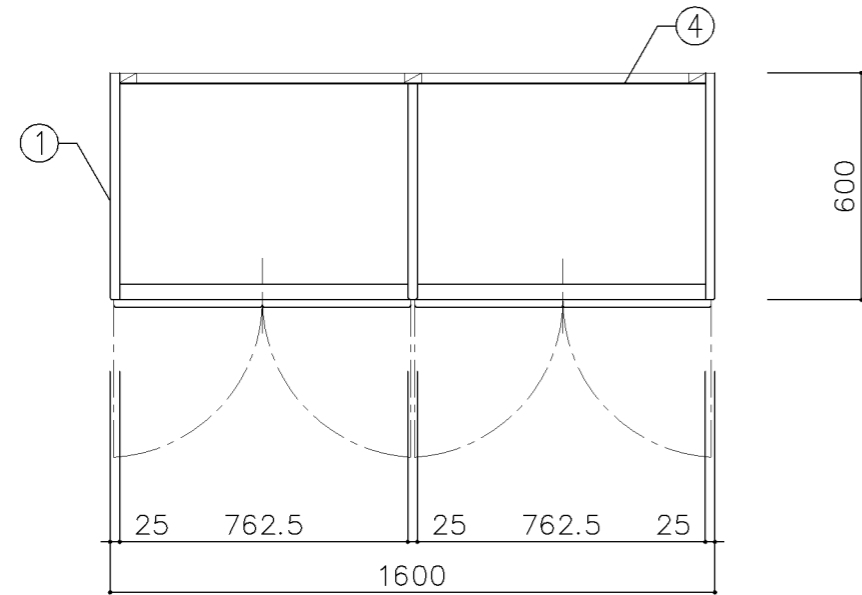


正面図

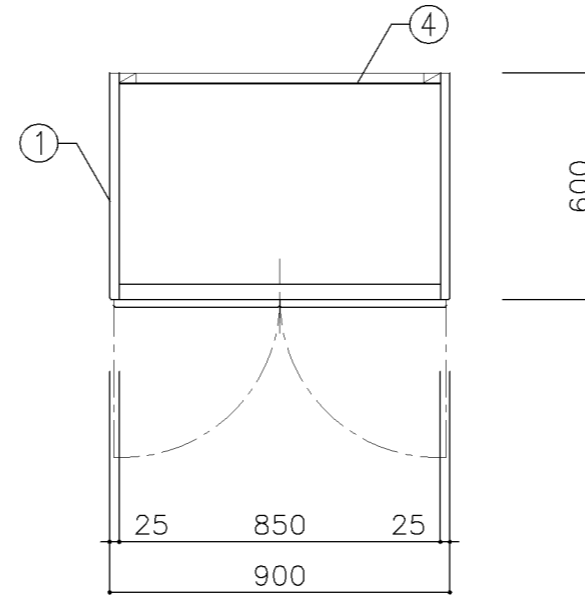


断面図

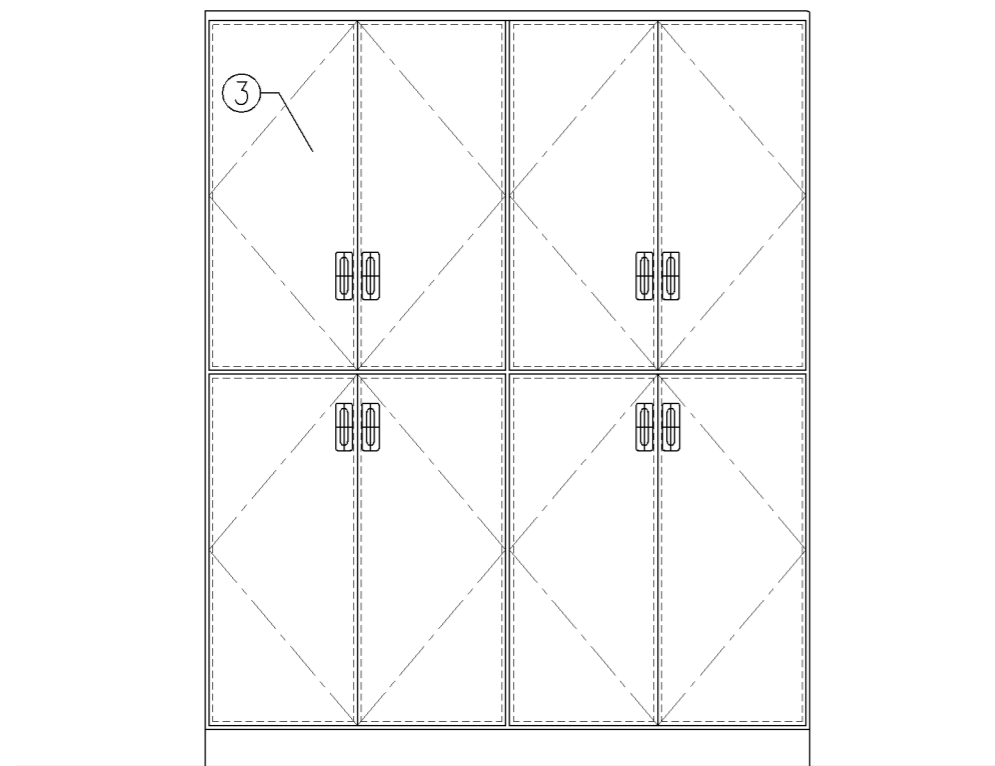
寸法				
W 1,200 x D 450 x H 2,000				
使用箇所				
普通教室（小学校）				
多目的室（少人数）（小学校）				
仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	しな合板	
③	可動棚	A-1	ポリエステル化粧合板	
④	裏板	片A-1	しな合板	
⑤	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
⑥	引違戸	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑦	巾木	B-1	ポリエステル化粧合板	
金物				
番号	使用箇所	名称		
Ⓐ	引違戸	シリンドー栓錠、国産材掘込引手		
Ⓑ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）		
特記事項				
・木口の形状については、G-400より選定する。				
・見掛かりはポリエステル化粧合板とする。				
・フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。				
・引違戸の厚みは、30mmを原則とする。				
・芯材は、国産杉芯合板とする。				
・コンセント開口位置については電気工事請負業者と打合せ				
・コンセント用開口廻りは、棧にて補強する。				
名称	教師用戸棚			
縮尺	1/20	記号	G-410	
設計年月		令和7年3月		
横浜市建築局				



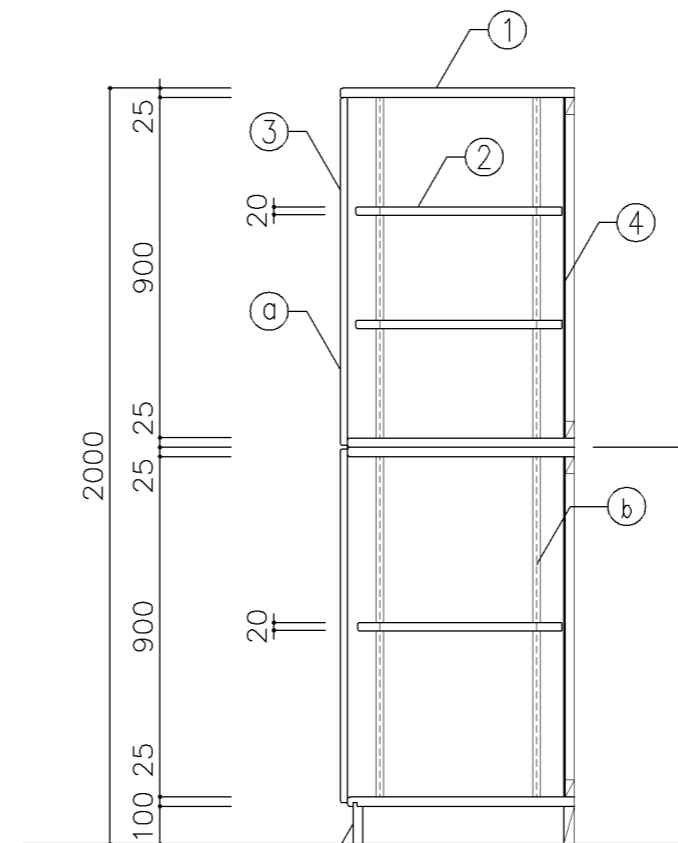
B平面図



A平面図

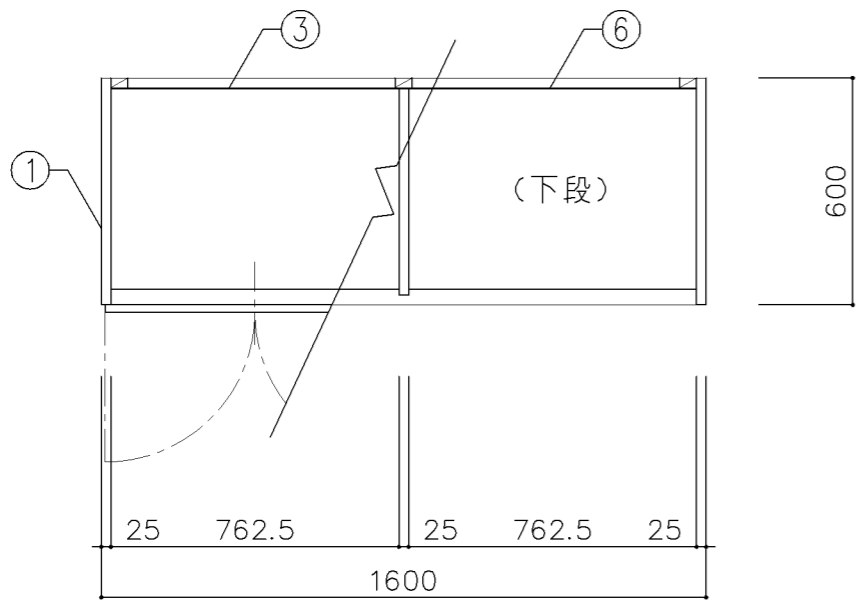


正面図

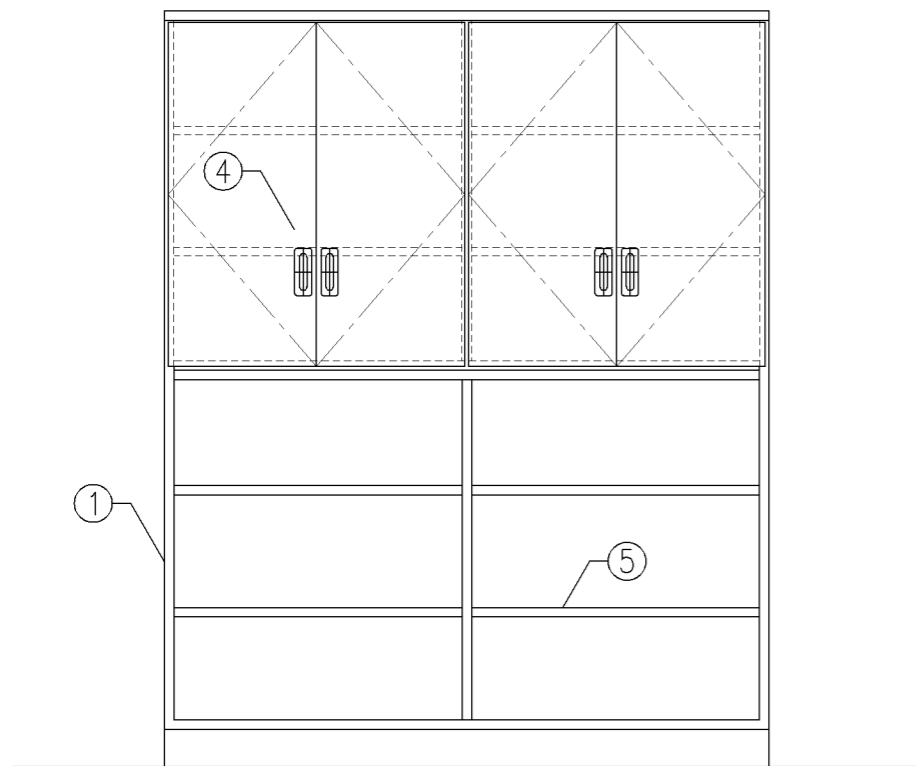


断面図

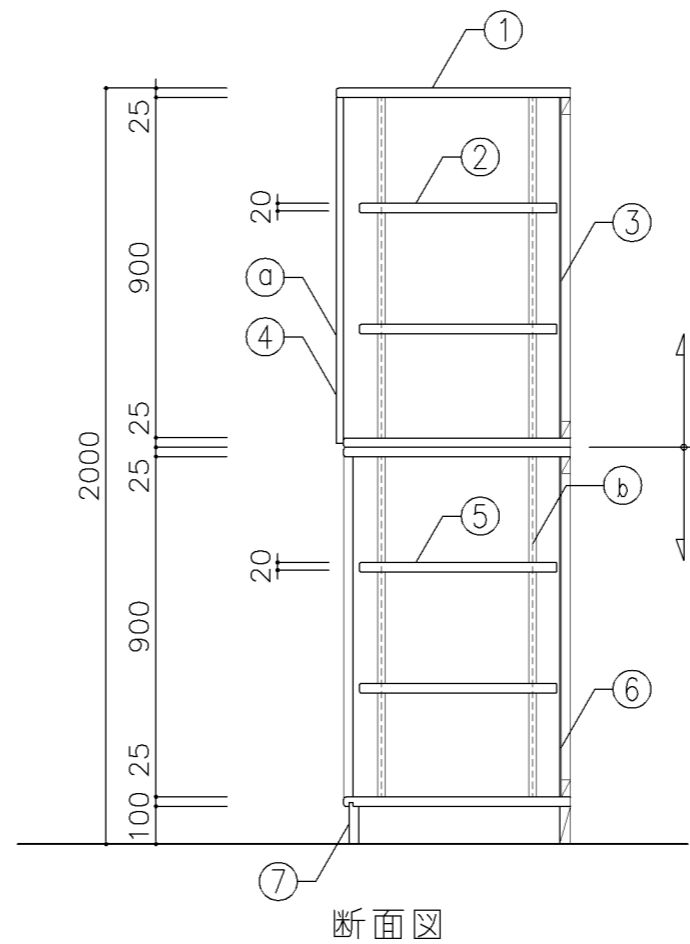
寸 法				
A: W900 × D600 × H2,000				
B: W1,600 × D600 × H2,000				
使用箇所				
A: 個別支援教室(第二学習室)(小・中学校)				
B: 個別支援教室(第二学習室)(小・中学校)				
仕 様				
番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	本体	A-1	しな合板	UC
②	可動棚	A-1	しな合板	
③	扉	A-1	しな合板	UC
④	裏板	片A-1	しな合板	
⑤	巾木	B-1	しな合板	UC
金 物				
番号	使用箇所	名 称		
Ⓐ	扉	スライド丁番、国産材掘込引手、耐震ラッチ 面付シリリンダー錠		
Ⓑ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱(番号入り)		
特記事項				
・木口の形状については、G-400より選定する。				
・見掛かり部はUC仕上とする。				
・扉の厚みは、20mmを原則とする。				
・芯材は、国産杉芯合板とする。				
名称		収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G-411	
設計年月		令和7年3月		
横浜市建築局				



平面図

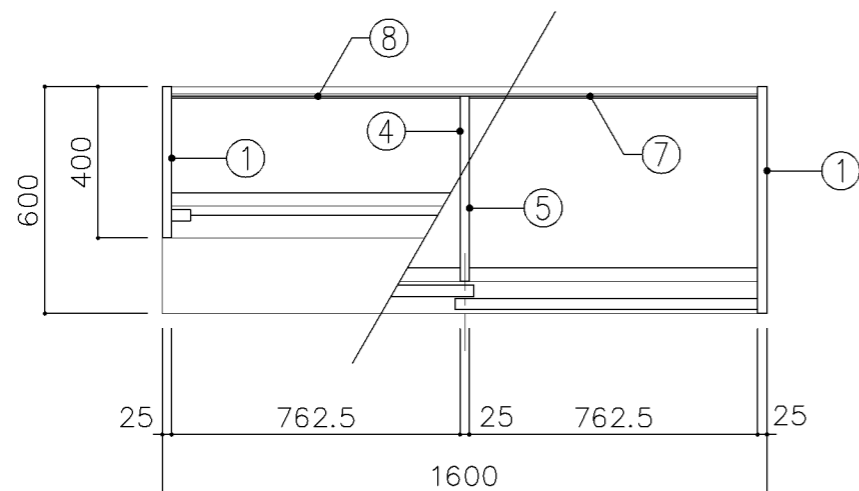


正面図

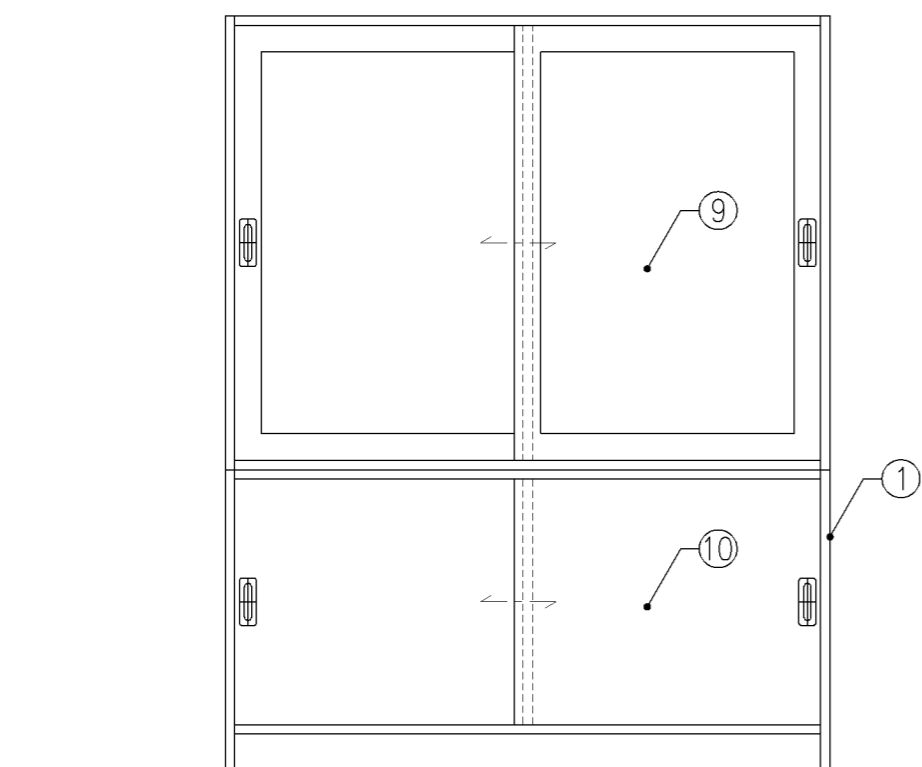


断面図

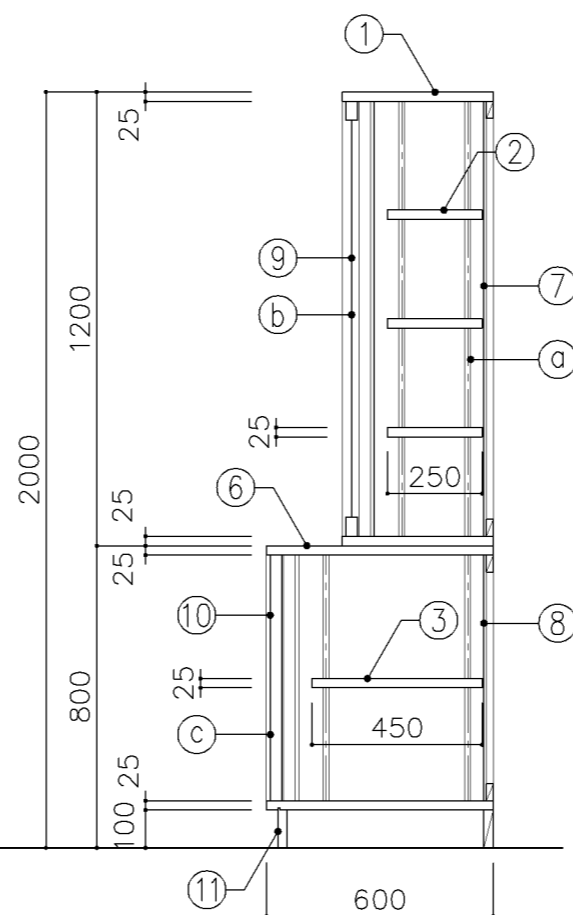
寸 法				
W1,600 × D600 × H2,000				
使用箇所				
個別支援教室（第一学習室）（小・中学校）				
仕 様				
番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	本体	A-1	しな合板	UC
②	可動棚	A-1	しな合板	
③	裏板	片A-1	しな合板	
④	扉	A-1	しな合板	UC
⑤	可動棚	A-1	しな合板	UC
⑥	裏板	片A-1	しな合板	UC
⑦	巾木	B-1	しな合板	UC
金 物				
番号	使用箇所	名 称		
ⓐ	扉	スライド丁番、国産材掘込引手、耐震ラッチ 面付シリリンダー錠		
ⓑ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）		
特記事項				
・木口の形状については、G-400より選定する。				
・見掛かり部はUC仕上とする。				
・扉の厚みは、20mmを原則とする。				
・芯材は、国産杉芯合板とする。				
名称	収納戸棚			
縮尺	1/20	記号	G-412	
設計年月	令和7年3月			
横浜市建築局				



平面図

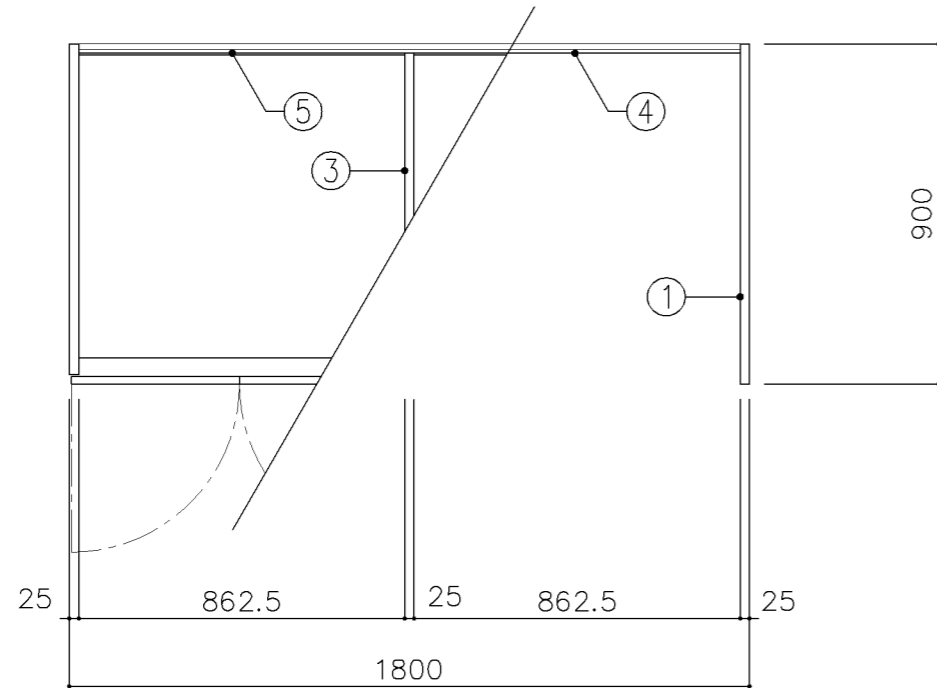


正面図

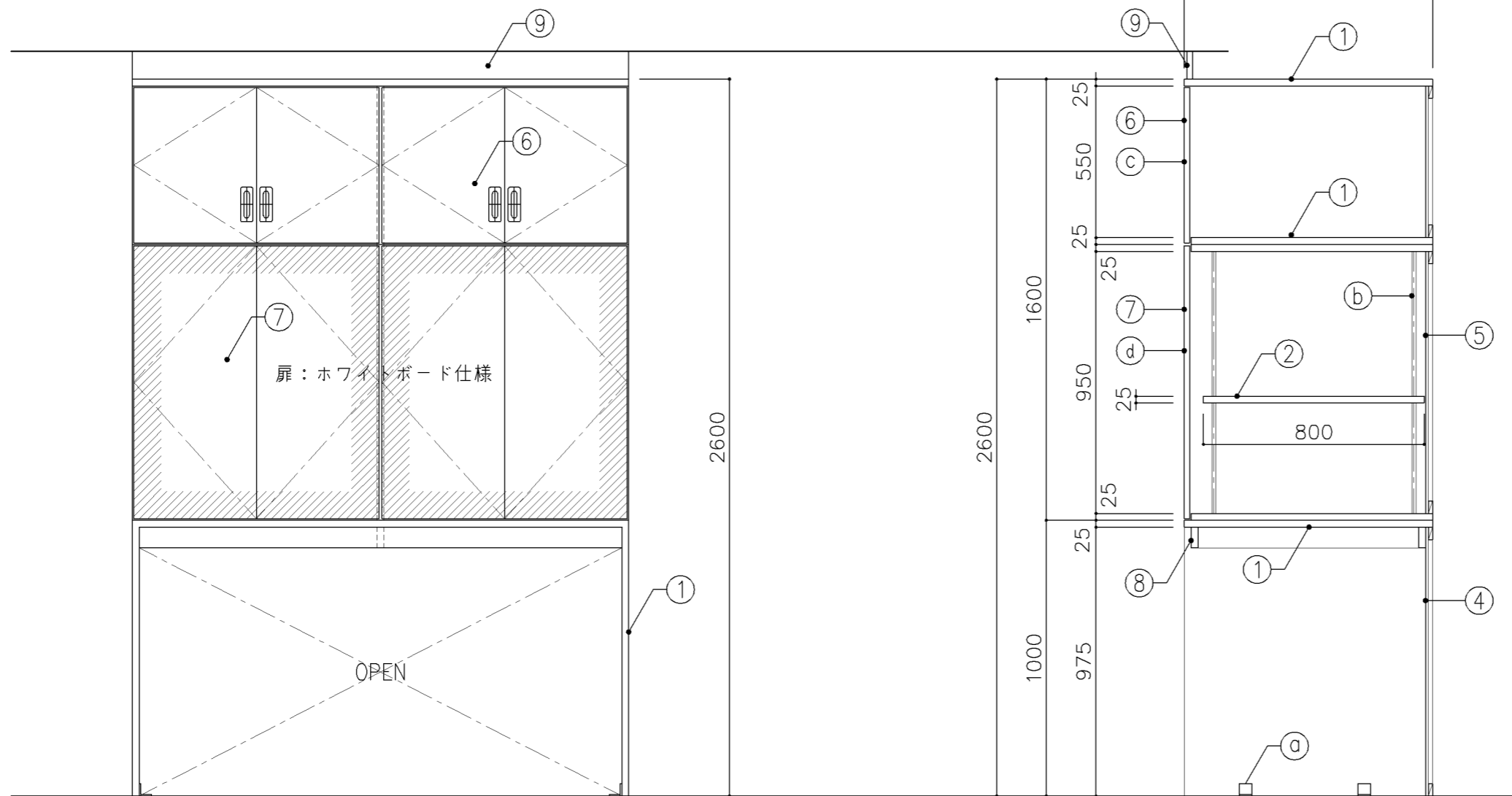


断面図

寸 法				
W 1,600 x D 400/600 x H 2,000				
使用箇所				
理科教室 (小・中学校)				
仕 様				
番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	可動棚	A-1	しな合板	
④	中仕切	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑤	中仕切	A-1	しな合板	
⑥	天板	A-1	メラミン化粧板	
⑦	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
⑧	裏板	片A-1	しな合板	
⑨	扉戸		ポリカーボネード板	
⑩	引違戸	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑪	巾木	B-1	ポリエステル化粧合板	
金 物				
番号	使用箇所	名 称		
Ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱 (番号入り)		
Ⓑ	扉戸	シリンダー栓錠、国産材掘込引手		
Ⓒ	引違戸	シリンダー栓錠、国産材掘込引手		
特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・木口の形状については、G-400より選定する。 ・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。 ・フラッシュ戸 (引違い、扉) 内部は、しな合板とする。 ・引違戸の厚みは、30mmを原則とする。 ・芯材は、国産杉芯合板とする。 				
名称	収納戸棚			
縮尺	1/20	記号	G-413	
設計年月		令和7年3月		
横浜市建築局				



平面図



正面図

断面図

寸法
W1,800 x D 900 x H 2,600

使用箇所

音楽教室

仕様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	しな合板	
③	中仕切	A-1	しな合板	
④	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
⑤	裏板	片A-1	しな合板	
⑥	扉	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑦	扉	A-1	しな合板 ホワイトボード仕様	
⑧	補強板	B-1	ポリエステル化粧合板	
⑨	幕板	A-1	ポリエステル化粧合板	

金物

番号	使用箇所	名称
a	本体	床固定金物
b	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱 (番号入り)
c	扉	スライド丁番、国産材掘込引手、耐震フッチ
d	扉	スライド丁番、プッシュフッチ 面付シリンダー錠

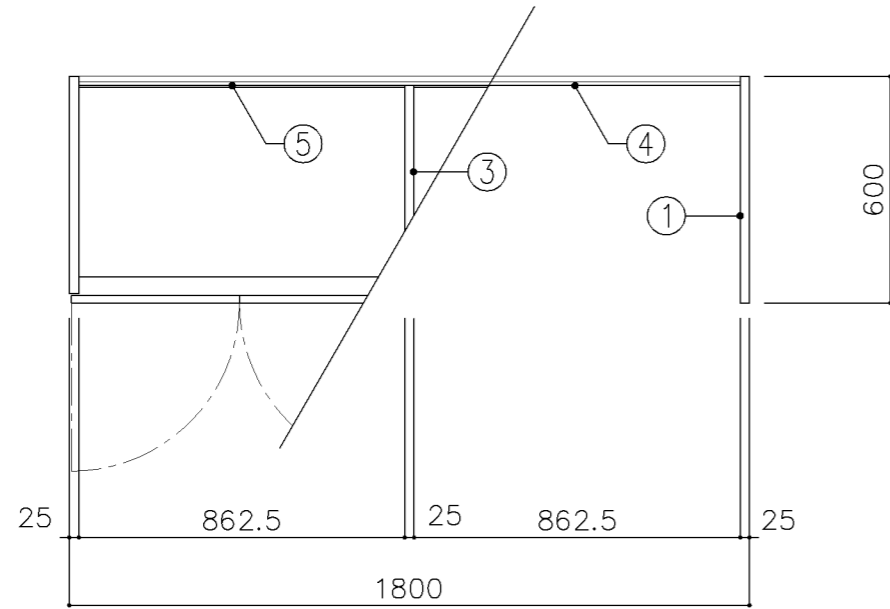
特記事項

- ・木口の形状については、G-400より選定する。
- ・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- ・フラッシュ戸 (引違い、扉) 内部は、しな合板とする。
- ・扉の厚みは、20mmを原則とする。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

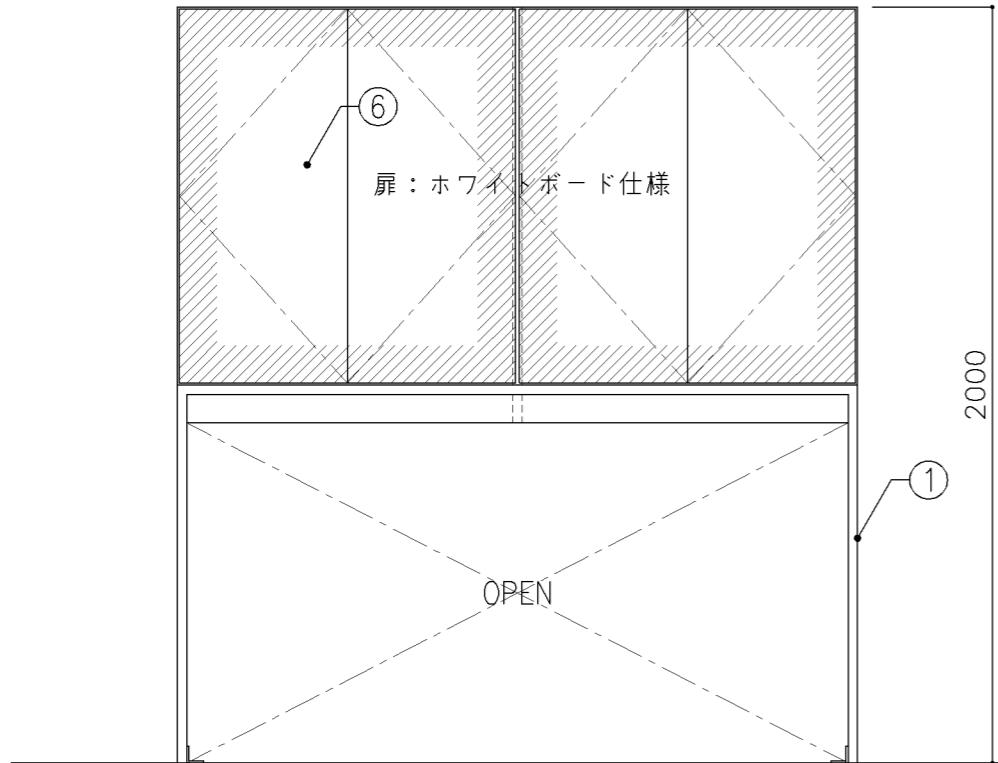
名称	収納戸棚・ホワイトボード		
縮尺	1/20	記号	G-414A

設計年月 令和7年3月

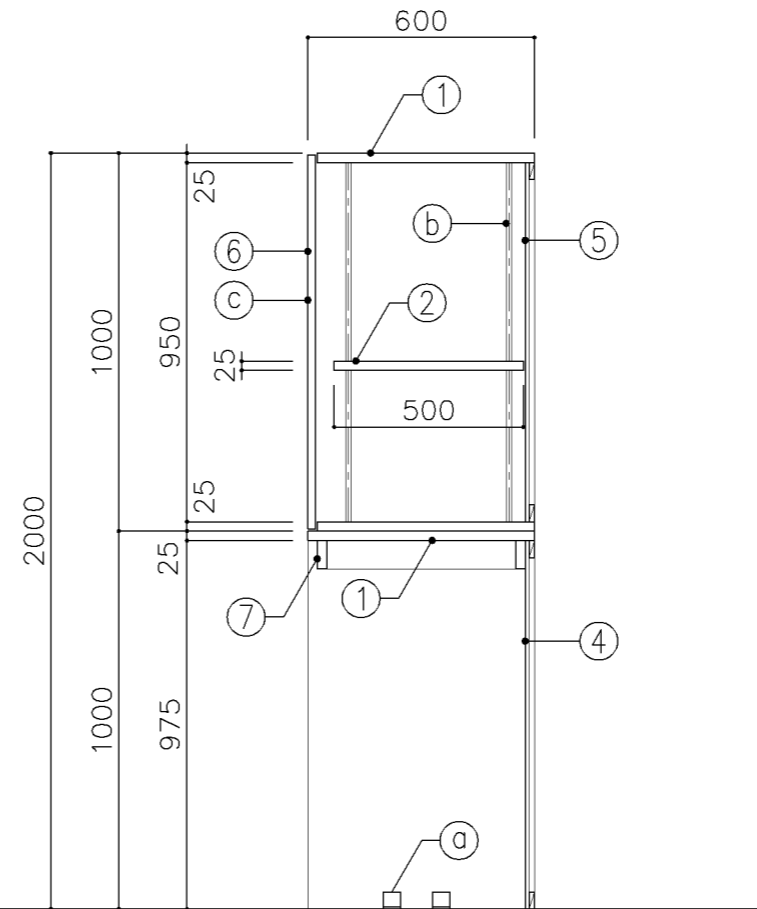
横浜市建築局



平面図

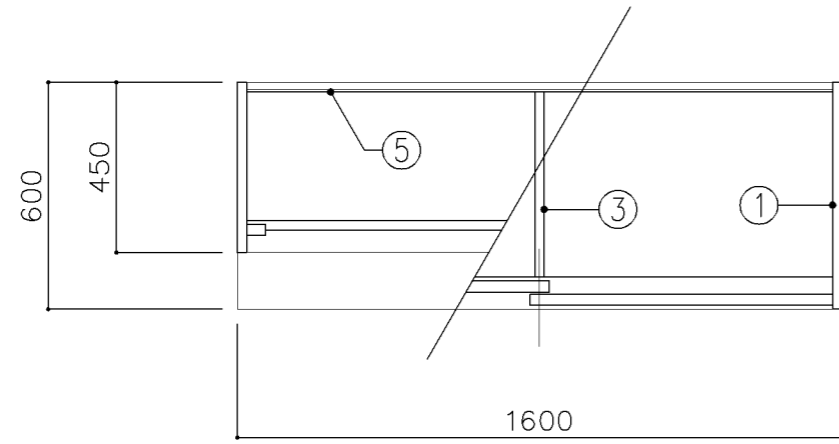


正面図

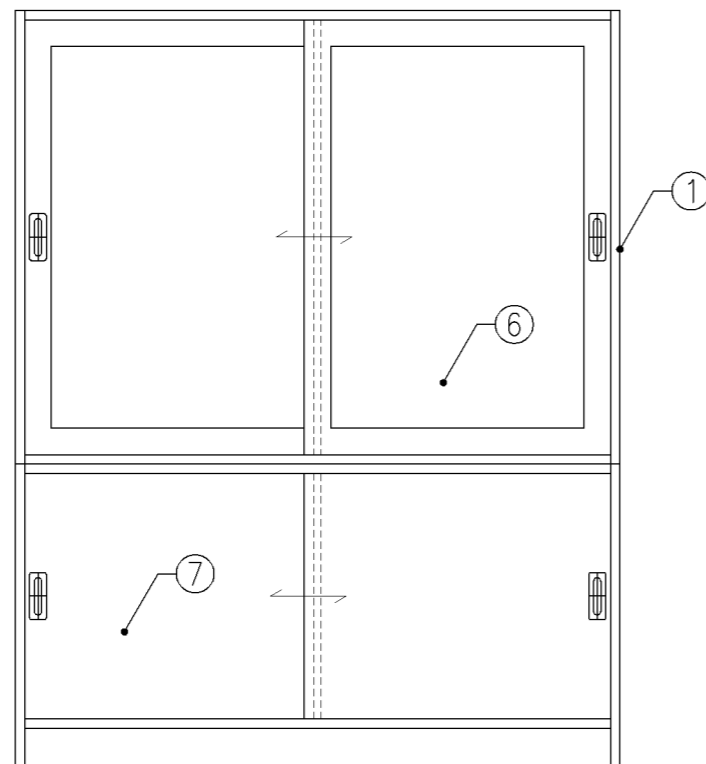


断面図

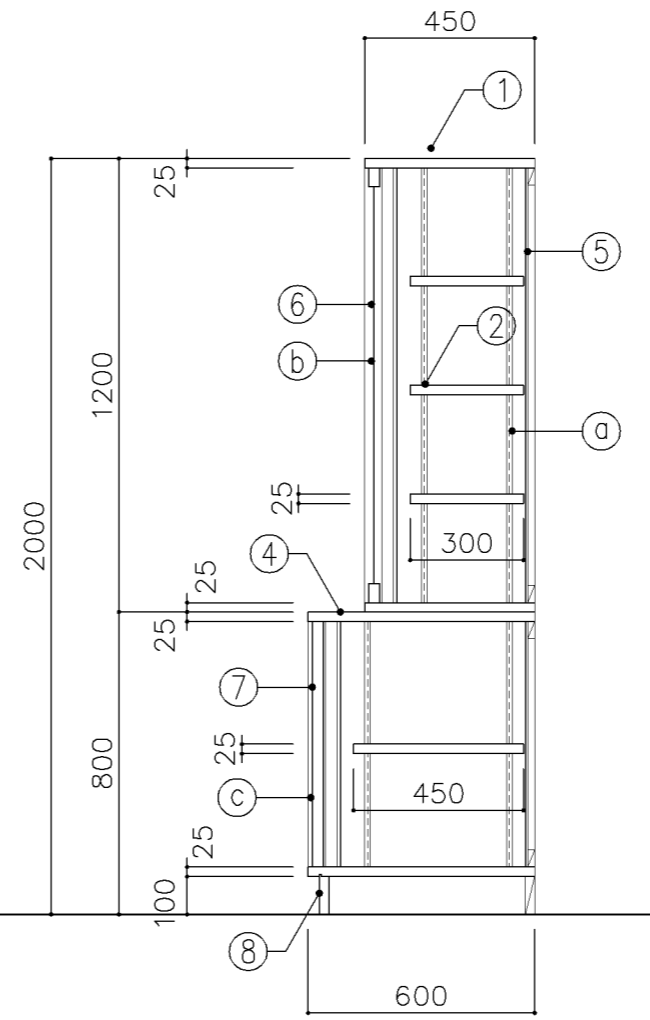
寸 法				
W1,800 x D 600 x H 2,000				
使用箇所				
多目的室（集会・発表等）（小・中学校）				
仕 様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	しな合板	
③	中仕切	A-1	しな合板	
④	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
⑤	裏板	片A-1	しな合板	
⑥	扉	A-1	しな合板 ホワイトボード仕様	
⑦	補強板	B-1	ポリエステル化粧合板	
金 物				
番号	使用箇所	名称		
a	本体	床固定金物		
b	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）		
c	扉	スライド丁番、プッシュラッチ 面付シリンダー錠		
特記事項				
・木口の形状については、G-400より選定する。				
・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。				
・フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。				
・扉の厚みは、20mmを原則とする。				
・芯材は、国産杉芯合板とする。				
名称	収納戸棚・ホワイトボード			
縮尺	1/20	記号	G-414B	
設計年月		令和7年3月		
横浜市建築局				



平面図

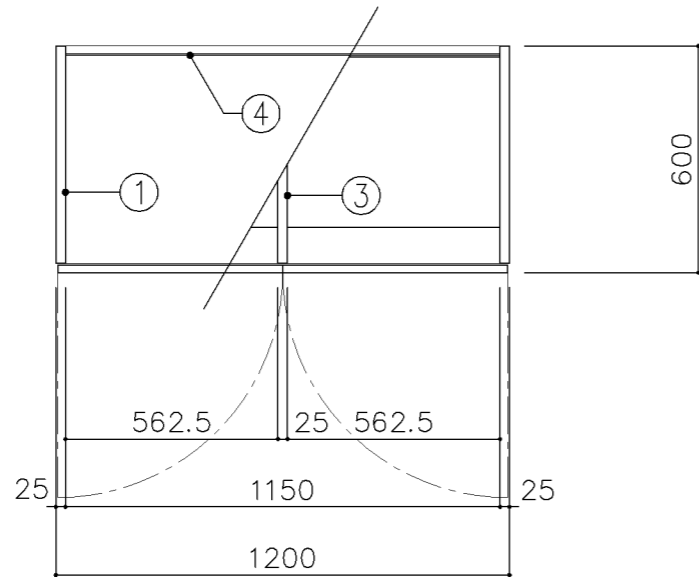


正面図

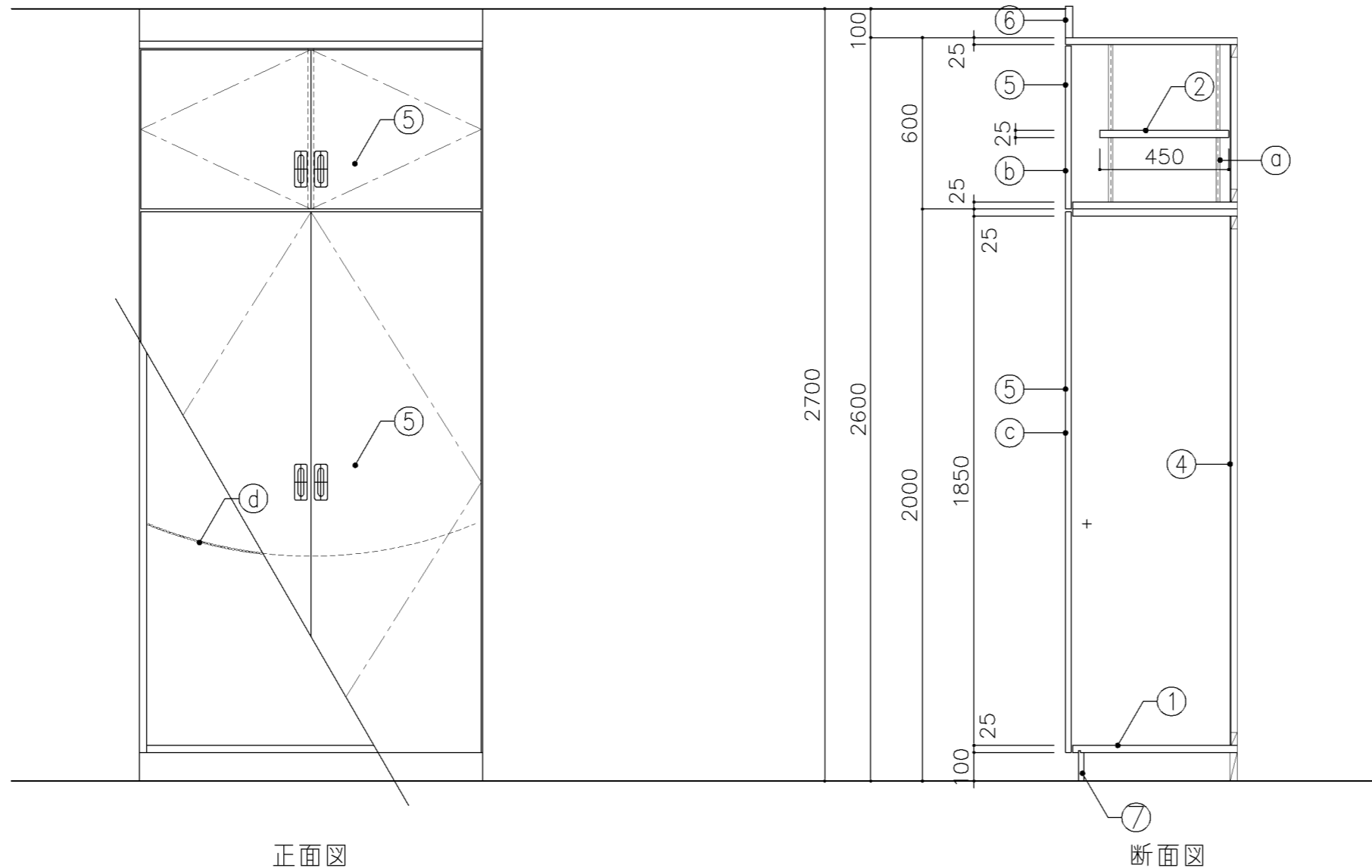


断面図

寸 法				
W1,600 x D 450/600 x H 2,000				
使用箇所				
家庭科教室（小学校） 家庭科準備室（中学校）				
仕 様				
番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A-1	ポリエステル化粧合板	
④	天板	A-1	メラミン化粧板	
⑤	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
⑥	框戸		α3ポリカーボネード板	
⑦	引違戸	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑧	巾木	B-1	ポリエステル化粧合板	
金 物		番号	使用箇所	名称
	可動棚	①		ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
	框戸	②		シリンダー栓錠、国産材掘込引手
	引違戸	③		シリンダー栓錠、国産材掘込引手
特記事項				
・木口の形状については、G-400より選定する。				
・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。				
・フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。				
・引違戸の厚みは、30mmを原則とする。				
・芯材は、国産杉芯合板とする。				
名称		収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G-416	
設計年月		令和7年3月		
横浜市建築局				



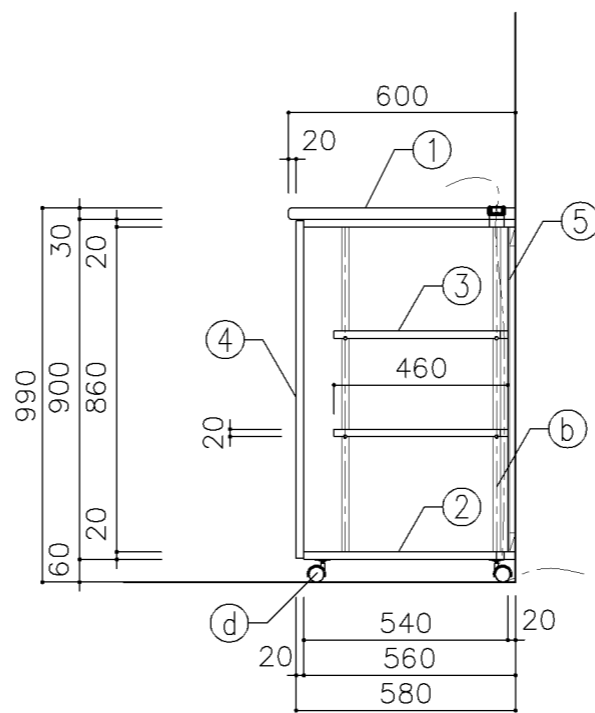
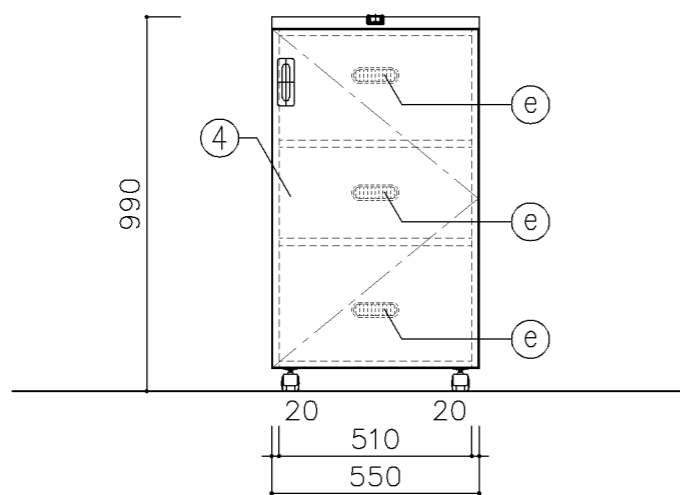
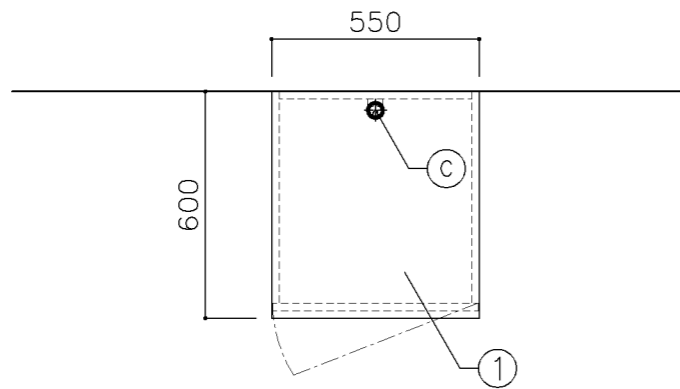
平面図



正面図

断面図

寸法				
W 1,200 x D 600 x H 2,600				
使用箇所				
美術教室				
仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	しな合板	
③	中仕切	A-1	しな合板	
④	裏板	A-1	しな合板	
⑤	扉	A-1	しな合板	
⑥	幕板	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑦	巾木	B-1	ポリエステル化粧合板	
金物				
番号	使用箇所	名称		
Ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱 (番号入り)		
Ⓑ	扉	スライド丁番、国産材掘込引手、耐震ラッチ 面付シリンドー錠		
Ⓒ	扉	スライド丁番、国産材掘込引手 マグネットキャッチ		
Ⓓ	ズレ防止	ステンレス製チェーン		
特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・木口の形状については、G-400より選定する。 ・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。 ・フラッシュ戸 (引違い、扉) 内部は、しな合板とする。 ・扉の厚みは、20mmを原則とする。 ・芯材は、国産杉芯合板とする。 				
名称	イーゼル収納戸棚			
縮尺	1/20	記号	G-417	
設計年月		令和7年3月		
横浜市建築局				



寸 法

W550 × D600 × H990

使用箇所

多目的室（集会等）（小・中学校）

仕 様

番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	天板	B-1	メラミン化粧板	
②	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	可動棚	A-1	ポリエステル化粧合板	
④	扉	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑤	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	

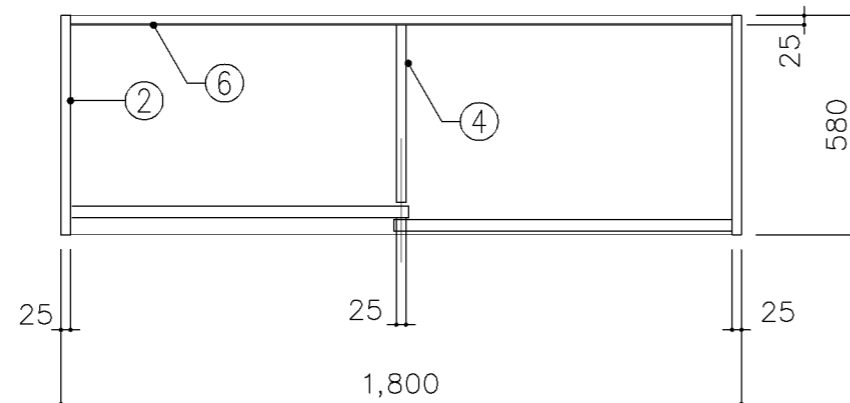
金 物

番号	使用箇所	名 称
①	扉	スライド丁番、国産材掘込引手、耐震ラッチ面付シリンダー錠
②	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
③	天板	通線孔（塩ビ製）
④	本体	ナイロン樹脂キャスター 30Kg用（ストッパー付）
⑤	裏板	通気孔（塩ビ製）

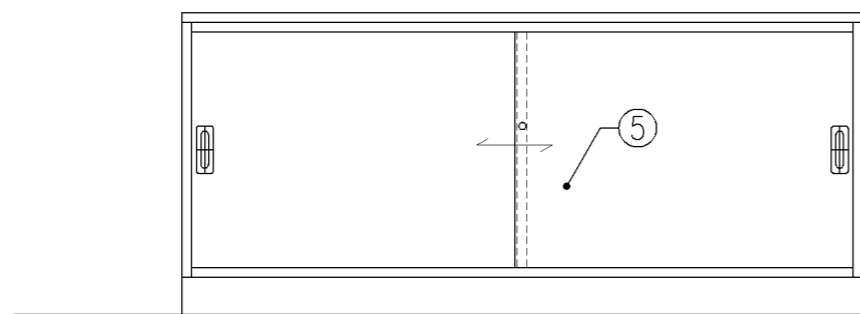
特記事項

- ・木口の形状については、G-400より選定する。
- ・見掛けり部はポリエステル化粧合板とする。
- ・フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- ・扉の厚みは、20mmを原則とする。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

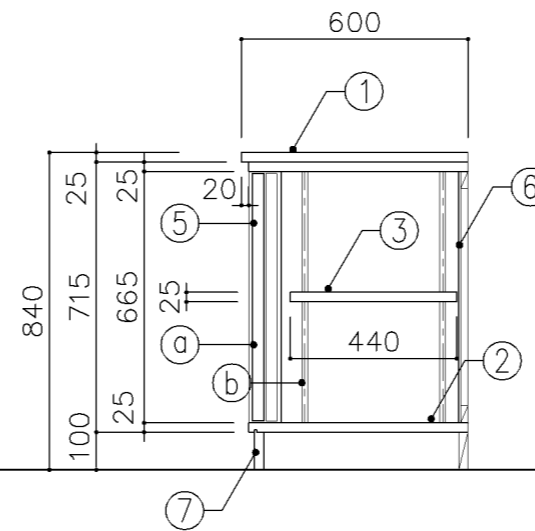
名称	AV機器収納ラック		
縮尺	1/20	記号	G-418
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



平面図



正面図



断面図

寸法
W 1,800 x D 600 x H 840

使用箇所

保健室、理科準備室（小・中学校）

仕様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	天板	B-1	メラミン化粧板	
②	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	可動棚	A-1	しな合板	
④	中仕切	A-1	しな合板	
⑤	引違戸	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑥	裏板	片A-1	しな合板	
⑦	巾木	B-1	ポリエステル化粧合板	

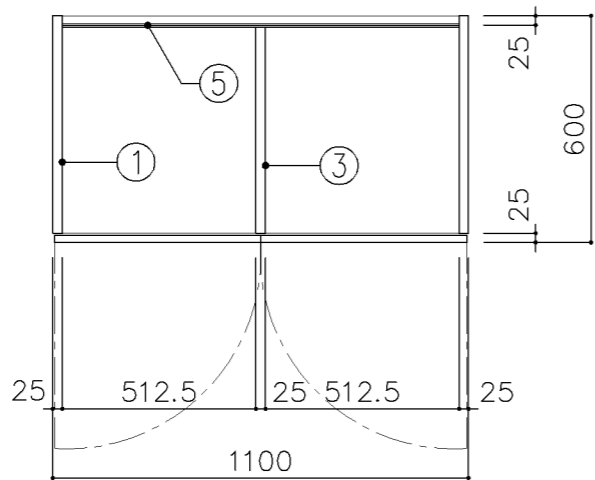
金物

番号	使用箇所	名称
Ⓐ	引違戸	シリンドー栓錠、国産材掘込引手
Ⓑ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）

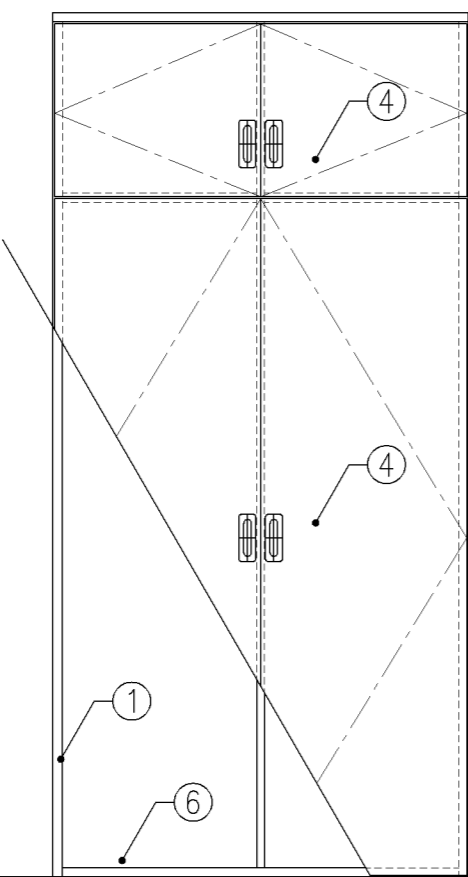
特記事項

- ・木口の形状については、G-400より選定する。
- ・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- ・フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- ・引違戸の厚みは、30mmを原則とする。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。
- ・Bタイプは、③ 可動棚なしとする。

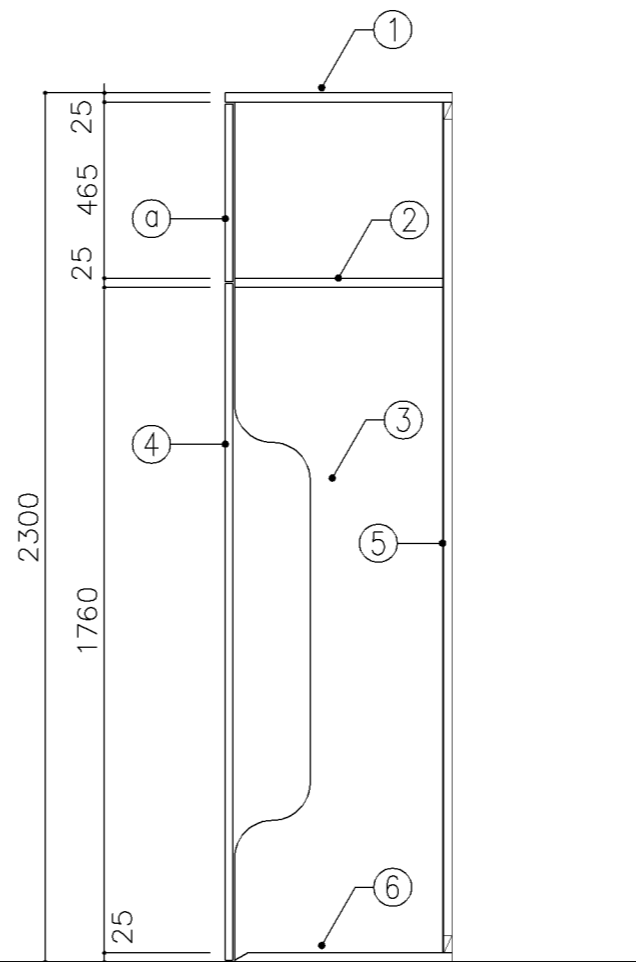
名称	窓下収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G-420
設計年月	令和7年3月		
横浜市建築局			



平面図



正面図



断面図

寸法
W1,100 x D 600 x H 2,300

使用箇所
保健室

仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	固定棚	A-1	しな合板	
③	中仕切	A-1	しな合板	
④	扉	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑤	裏板	片A-1	しな合板	
⑥	底板	B-1	ニードルパンチカーペット	

金物
名称

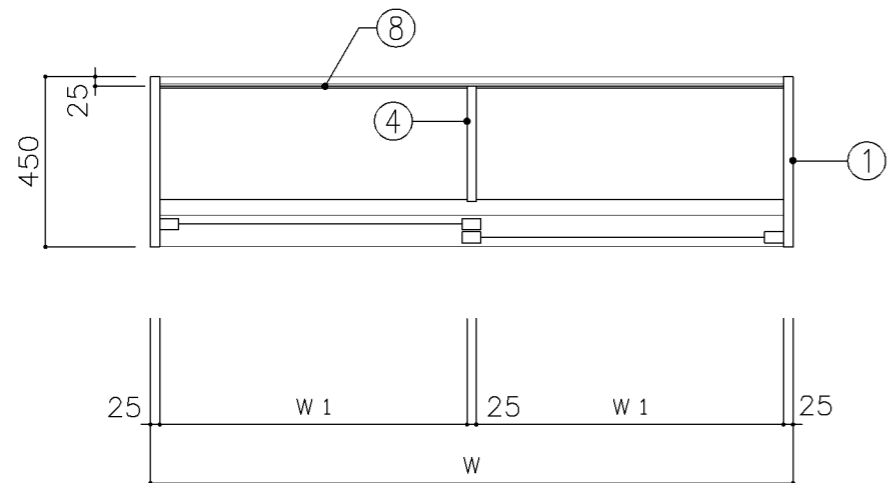
番号	使用箇所	名称
①	扉	スライド丁番、掘込取手、マグネットキャッチ

特記事項

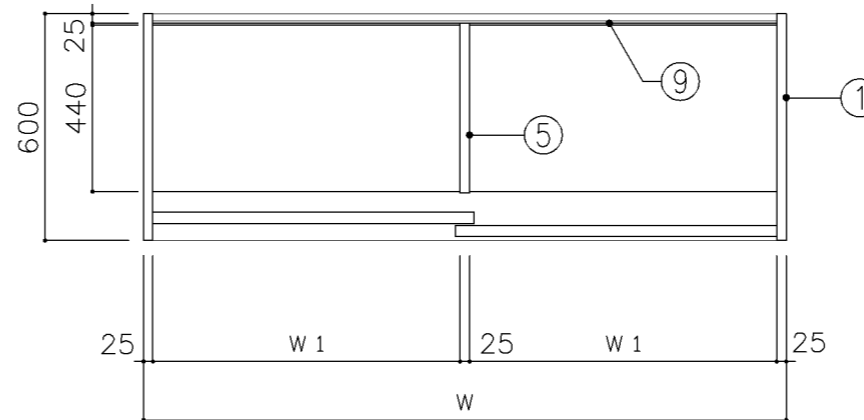
- ・木口の形状については、G-400より選定する。
- ・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- ・フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- ・扉の厚みは、20mmを原則とする。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	備品収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G-421
設計年月	令和7年3月		

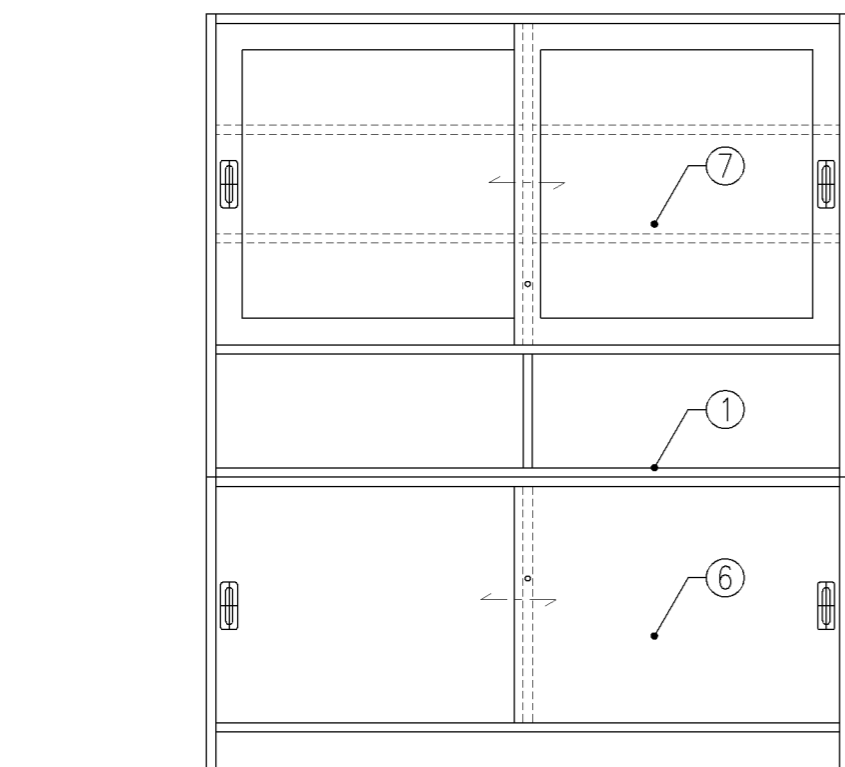
横浜市建築局



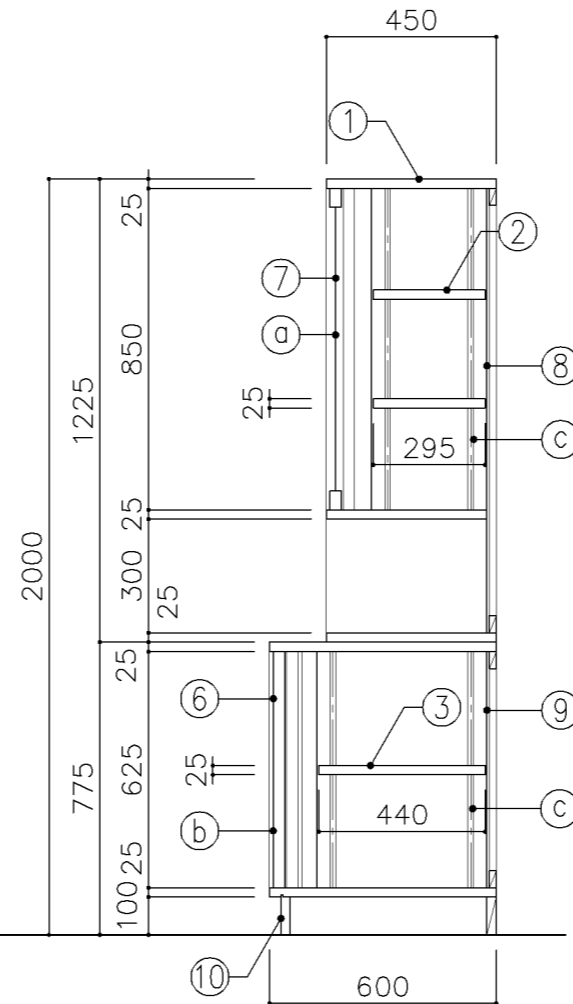
上段平面図



下段平面図

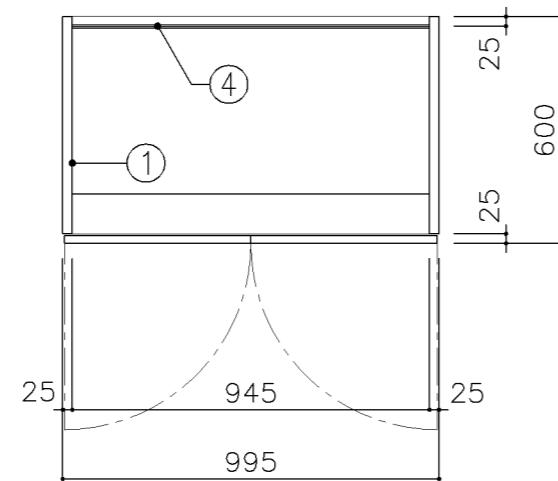


正面図

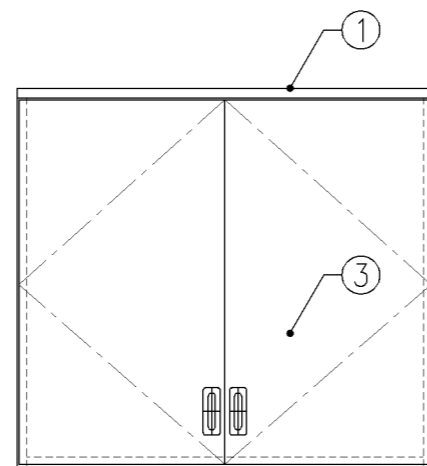


断面図

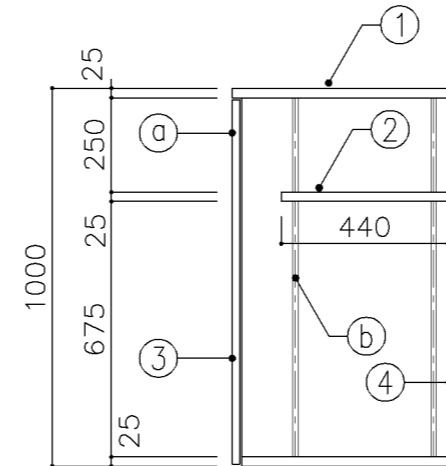
寸 法				
A : W 1,200 x D 450 / 600 x H 2,000				
B : W 1,700 x D 450 / 600 x H 2,000				
使用箇所				
A : 保健室				
B : 保健室				
仕 様				
番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	可動棚	A-1	しな合板	
④	中仕切	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑤	中仕切	A-1	しな合板	
⑥	引違戸	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑦	框戸		3ポリカーボネード板	
⑧	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
⑨	裏板	片A-1	しな合板	
⑩	巾木	B-1	ポリエステル化粧合板	
金 物				
番号	使用箇所	名 称		
a	框戸	シリンドー栓錠、国産材掘込引手		
b	引違戸	シリンドー栓錠、国産材掘込引手		
c	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）		
特記事項				
・木口の形状については、G-400より選定する。				
・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。				
・フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。				
・引違戸の厚みは、30mmを原則とする。				
・芯材は、国産杉芯合板とする。				
名称	収納戸棚			
縮尺	1/20	記号	G-422	
設計年月		令和7年3月		
横浜市建築局				



平面図

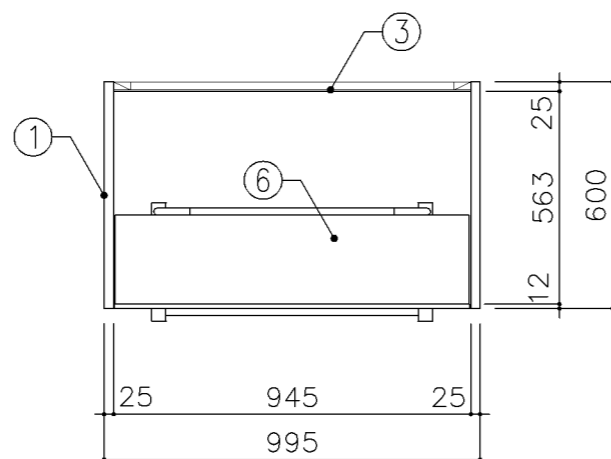


正面図

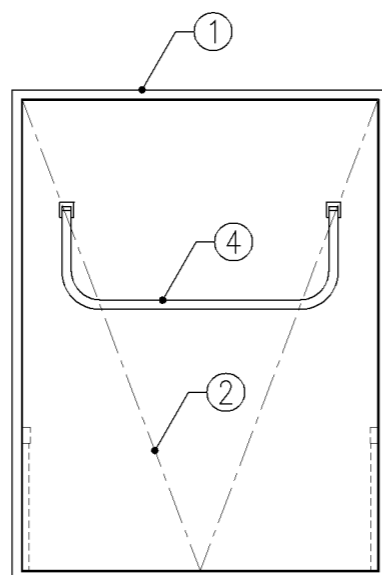


断面図

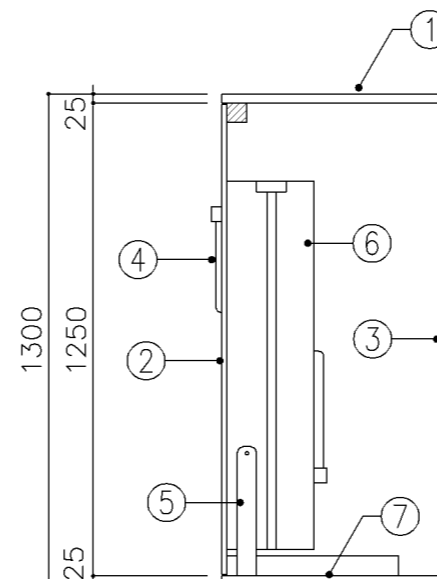
寸 法				
W 995 x D 600 x H 1,000				
使用箇所				
保健室				
仕 様				
番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	しな合板	
③	扉	A-1	ポリエステル化粧合板	
④	裏板	片A-1	しな合板	
金 物				
番号	使用箇所	名 称		
①	扉	スライド丁番、国産材掘込引手、耐震ラッチ 面付シリンダー錠		
②	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）		
特記事項				
・木口の形状については、G-400より選定する。				
・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。				
・フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。				
・扉の厚みは、20mmを原則とする。				
・芯材は、国産杉芯合板とする。				
名称	布団収納戸棚			
縮尺	1/20	記号	G-423	
設計年月			令和7年3月	
横浜市建築局				



平面図

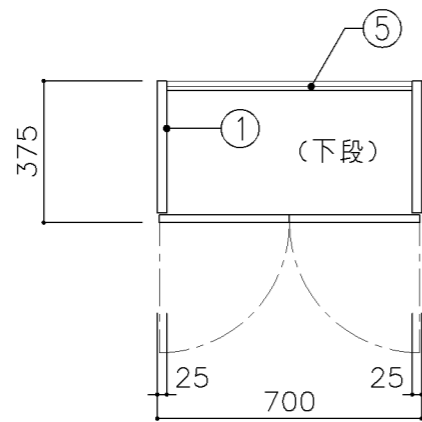


正面図

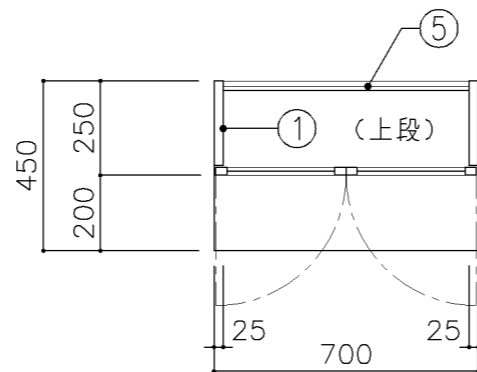


断面図

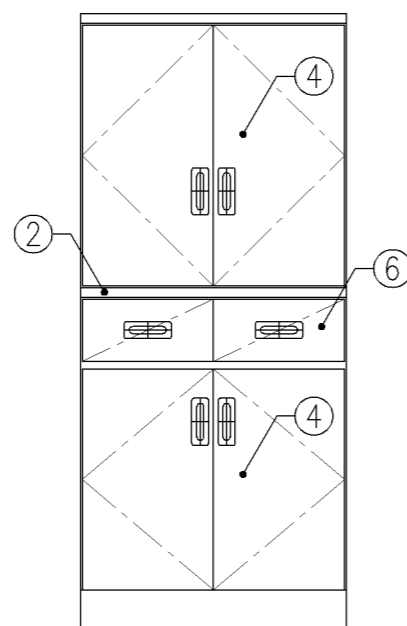
寸 法				
W 995 x D 600 x H 1,300				
使用箇所				
保健室				
仕 様				
番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	前板		ポリエステル化粧合板	
③	裏板	片A-1	しな合板	
④	脚		スチール	クロムメッキ
⑤	フレーム受		スチール	クロムメッキ
⑥	ベッド		ボトムマットレス	
⑦	底板	B-1	しな合板	
金 物				
番号	使用箇所	名 称		
		メーカー仕様		
特記事項				
・木口の形状については、G-400より選定する。				
・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。				
・フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。				
・扉の厚みは、20mmを原則とする。				
・芯材は、国産杉芯合板とする。				
名称	収納式ベッド			
縮尺	1/20	記号	G-424	
設計年月		令和7年3月		
横浜市建築局				



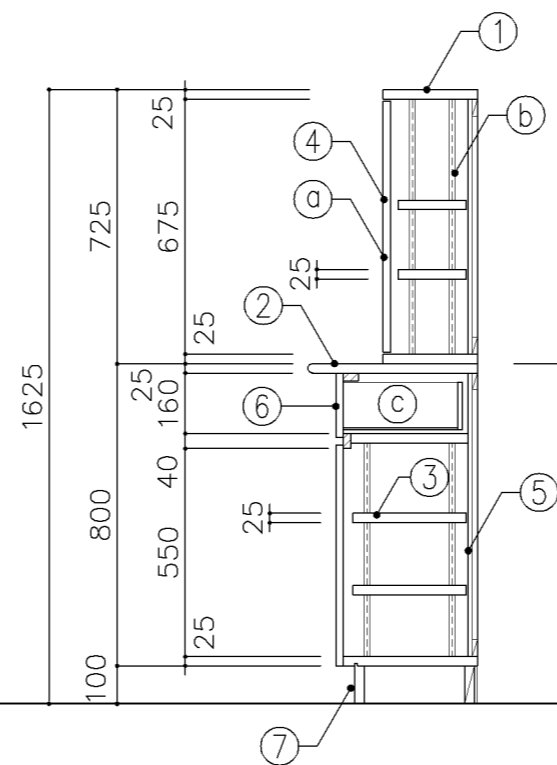
平面図



平面図



正面図



断面図

寸法	
W	700 x D 250/450 x H 1,625

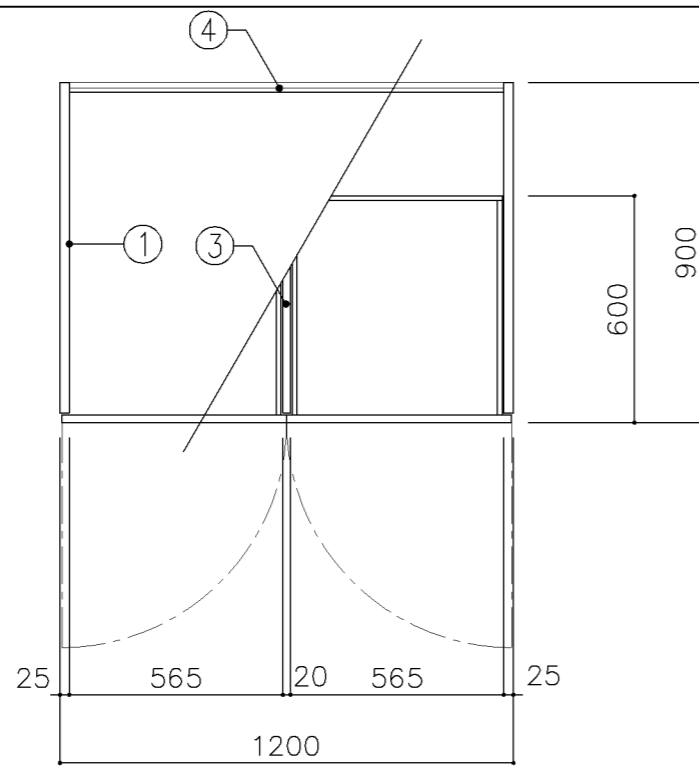
使用箇所	
個別支援教室(第一学習室)(小・中学校)	

仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	しな合板	UC
②	膳板	A-1	しな合板	UC
③	可動棚	A-1	しな合板	
④	扉	A-1	しな合板	UC
⑤	裏板	片A-1	しな合板	
⑥	引出シ		しな合板	UC
⑦	巾木	B-1	しな合板	UC

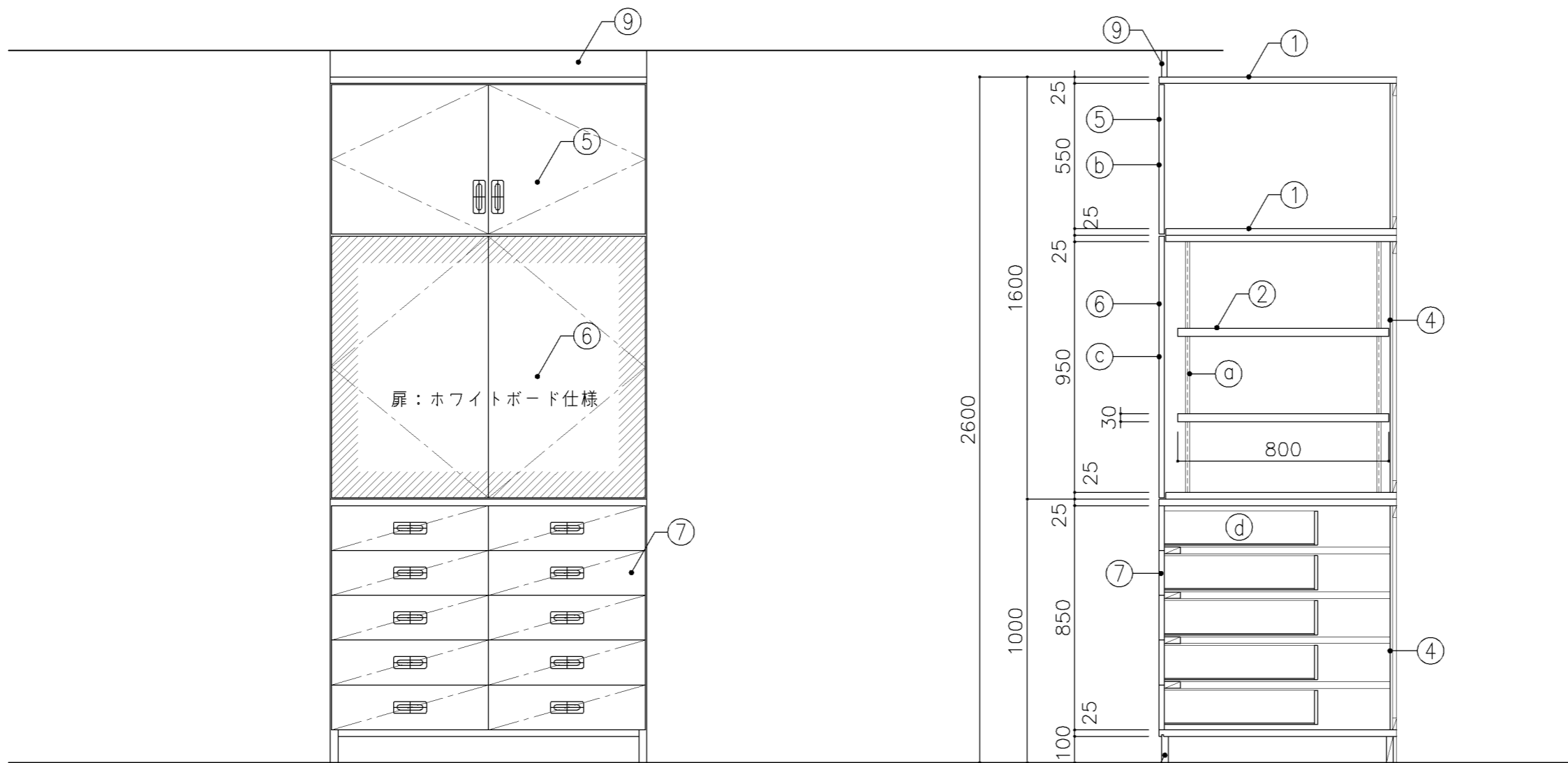
金物		
番号	使用箇所	名称
Ⓐ	扉	スライド丁番、国産材掘込引手、耐震ラッチ 面付シリンダー錠
Ⓑ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱(番号入り)
Ⓒ	引出シ	掘込引手、スベリ鉸、ストッパー

特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・木口の形状については、G-400より選定する。 ・見掛かり部はUC仕上とする。 ・扉の厚みは、20mmを原則とする。 ・芯材は、国産杉芯合板とする。 	

名称	食器戸棚		
縮尺	1/20	記号	G-430
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



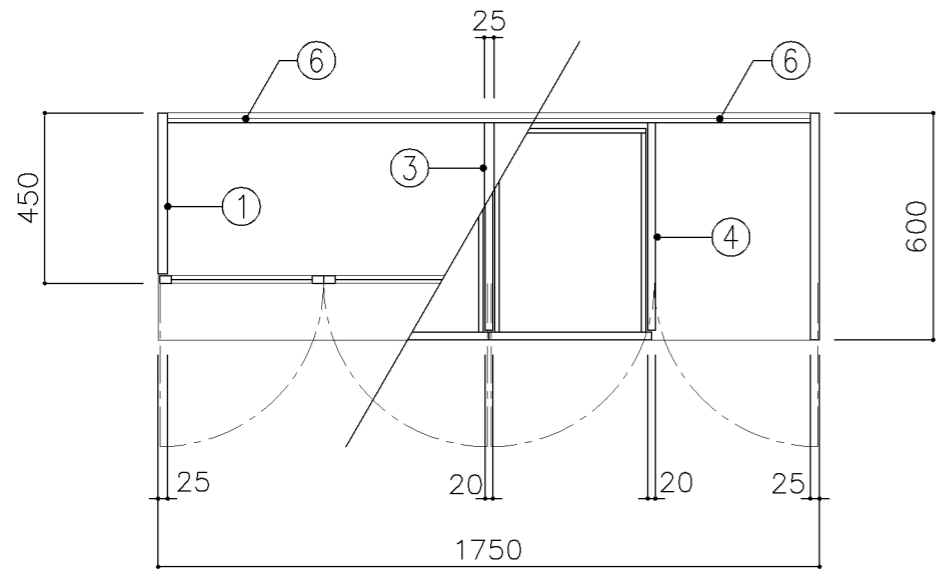
平面図



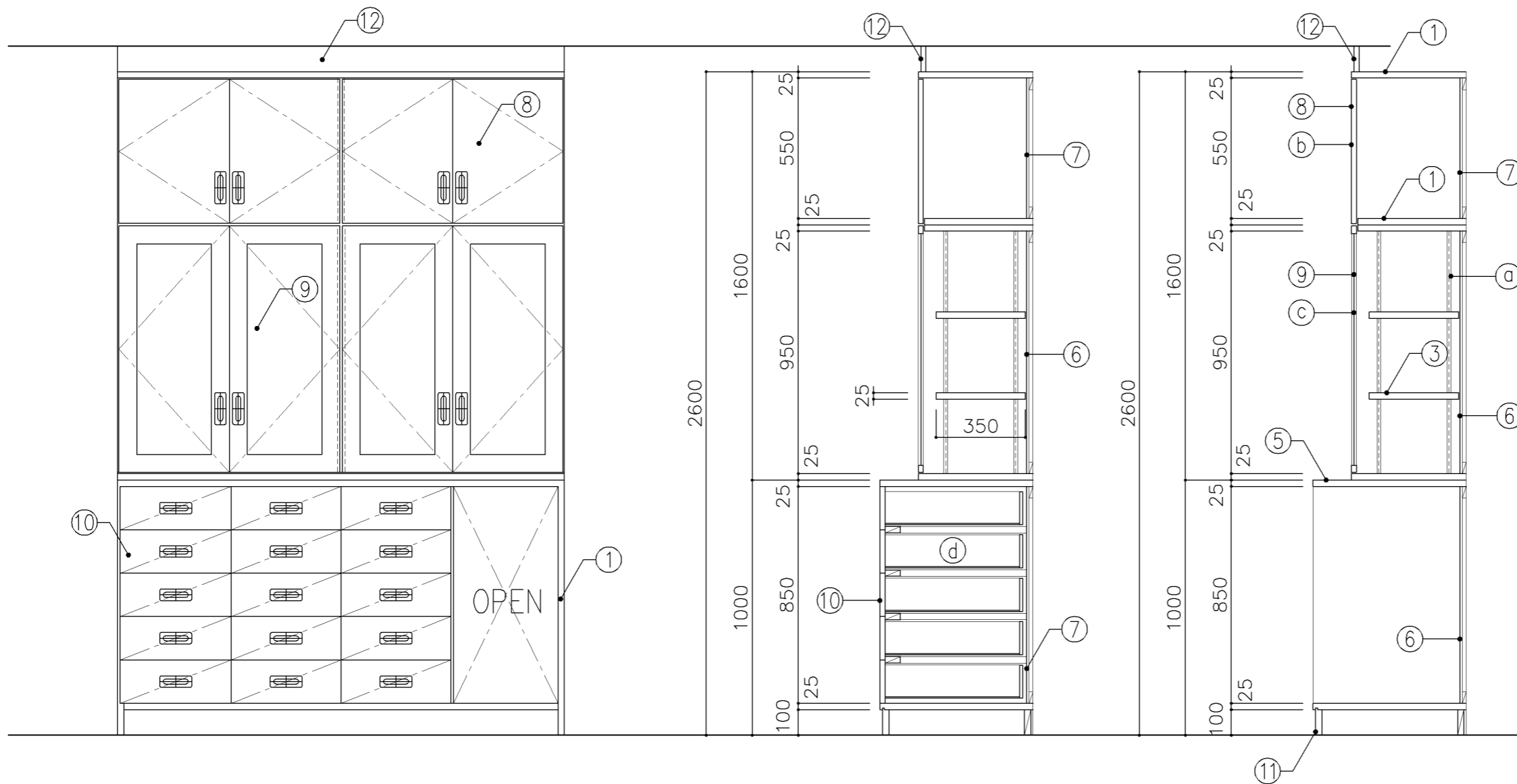
正面図

断面図

寸法				
W1,200 x D 900 x H 2,600				
使用箇所				
音楽教室				
仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	しな合板	
③	中仕切	A-1	しな合板	
④	裏板	片A-1	しな合板	
⑤	扉	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑥	扉	A-1	しな合板 片面ホワイトボード仕様	
⑦	引出シ	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑧	巾木	B-1	ポリエステル化粧合板	
⑨	幕板	A-1	ポリエステル化粧合板	
金物				
番号	使用箇所	名称		
Ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱 (番号入り)		
Ⓑ	扉	スライド丁番、国産材掘込引手、耐震ラッチ 面付シリンダー錠		
Ⓒ	扉	スライド丁番、プッシュラッチ 面付シリンダー錠		
Ⓓ	引出シ	国産材掘込引手、スベリ鉄、ストッパー シリンダーオールロック		
特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・木口の形状については、G-400より選定する。 ・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。 ・フラッシュ戸 (引違い、扉) 内部は、しな合板とする。 ・扉の厚みは、20mmを原則とする。 ・芯材は、国産杉芯合板とする。 				
名称	収納戸棚			
縮尺	1/20	記号	G-431	
設計年月		令和7年3月		
横浜市建築局				



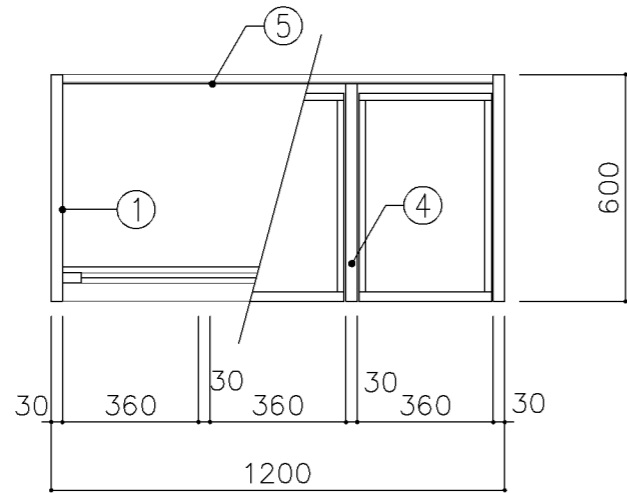
平面図



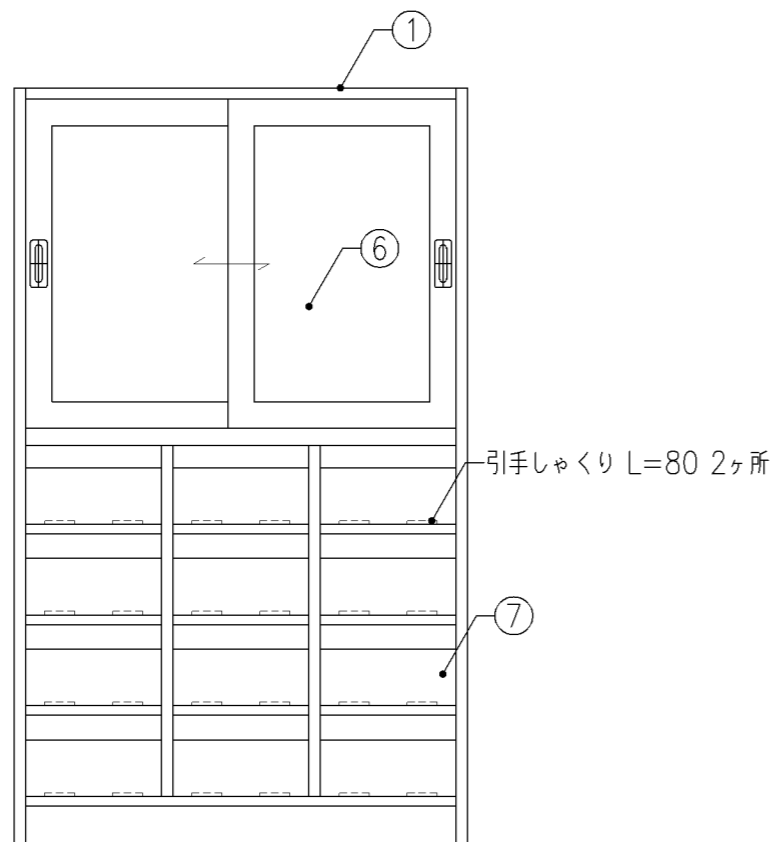
正面図

断面図

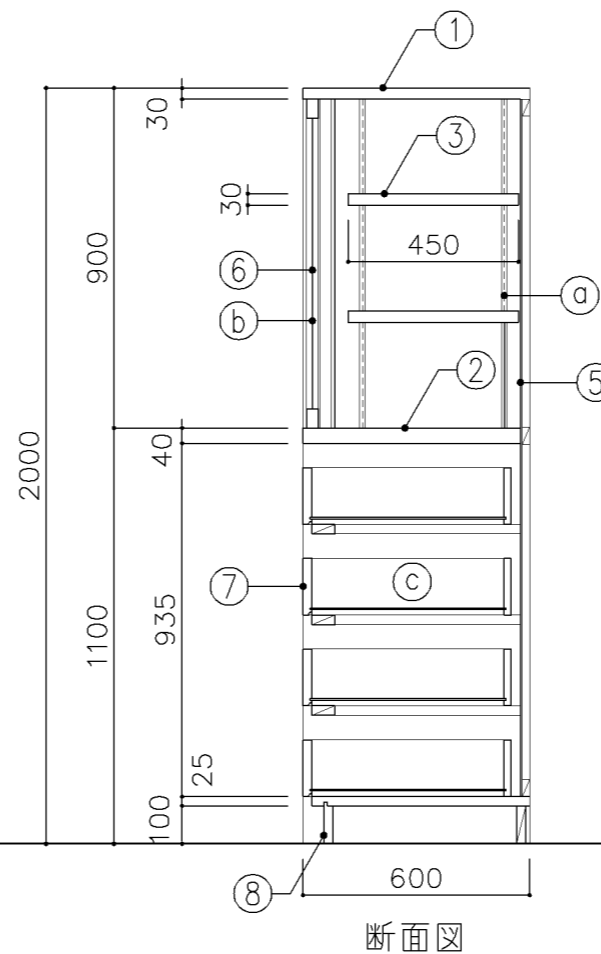
寸法				
W1,750 x D 450/600 xH 2,600				
使用箇所				
音楽準備室				
仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A-1	ポリエステル化粧合板	
④	中仕切	A-1	しな合板	
⑤	天板	A-1	メラミン化粧板	
⑥	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
⑦	裏板	片A-1	しな合板	
⑧	扉	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑨	框戸		ァ3 ポリカーボネード板	
⑩	引出シ	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑪	巾木	B-1	ポリエステル化粧合板	
⑫	幕板	A-1	ポリエステル化粧合板	
金物		名称		
番号	使用箇所	名称		
Ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱 (番号入り)		
Ⓑ	扉	スライド丁番、国産材掘込引手、耐震ラッチ 面付シリンダー錠		
Ⓒ	框戸	スライド丁番、国産材掘込引手、耐震ラッチ 面付シリンダー錠		
Ⓓ	引出シ	掘込引手、スベリ鉸、ストッパー シリンダーオールロック		
特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・木口の形状については、G-400より選定する。 ・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。 ・フラッシュ戸 (引違い、扉) 内部は、しな合板とする。 ・扉の厚みは、20mmを原則とする。 ・芯材は、国産杉芯合板とする。 				
名称	収納戸棚			
縮尺	1/20	記号	G-432	
設計年月	令和7年3月			
横浜市建築局				



平面図



正面図



断面図

寸法
W1,200 x D 600 x H 2,000

使用箇所
技術準備室

仕様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ラワン合板	OS,UC
②	棚板	A-1	ラワン合板	OS,UC
③	可動棚	A-1	ラワン合板	OS,UC
④	中仕切	A-1	ラワン合板	OS,UC
⑤	裏板	片A-1	ラワン合板	OS,UC
⑥	框戸		φ3 ポリカーボネード板	
⑦	引出シ		φ24 ラワン	OS,UC
⑧	巾木	B-1	ラワン合板	OS,UC

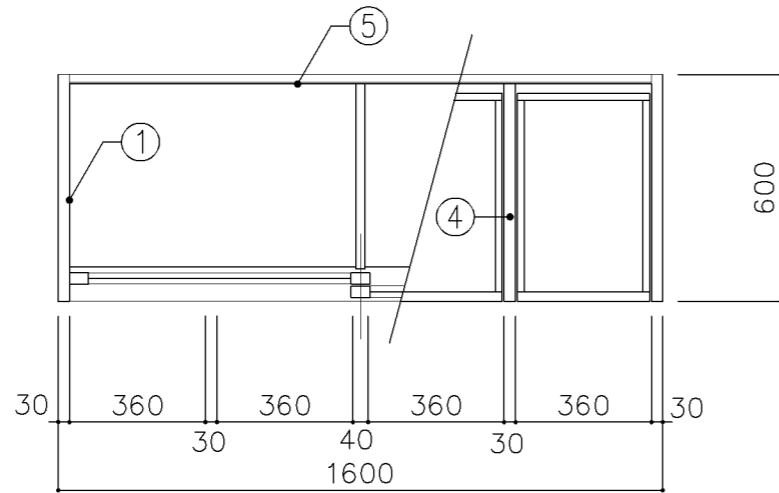
金物

番号	使用箇所	名称
Ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱 (番号入り)
Ⓑ	框戸	シリンドー栓錠、国産材掘込引手
Ⓒ	引出シ	スベリ鋸、ストッパー

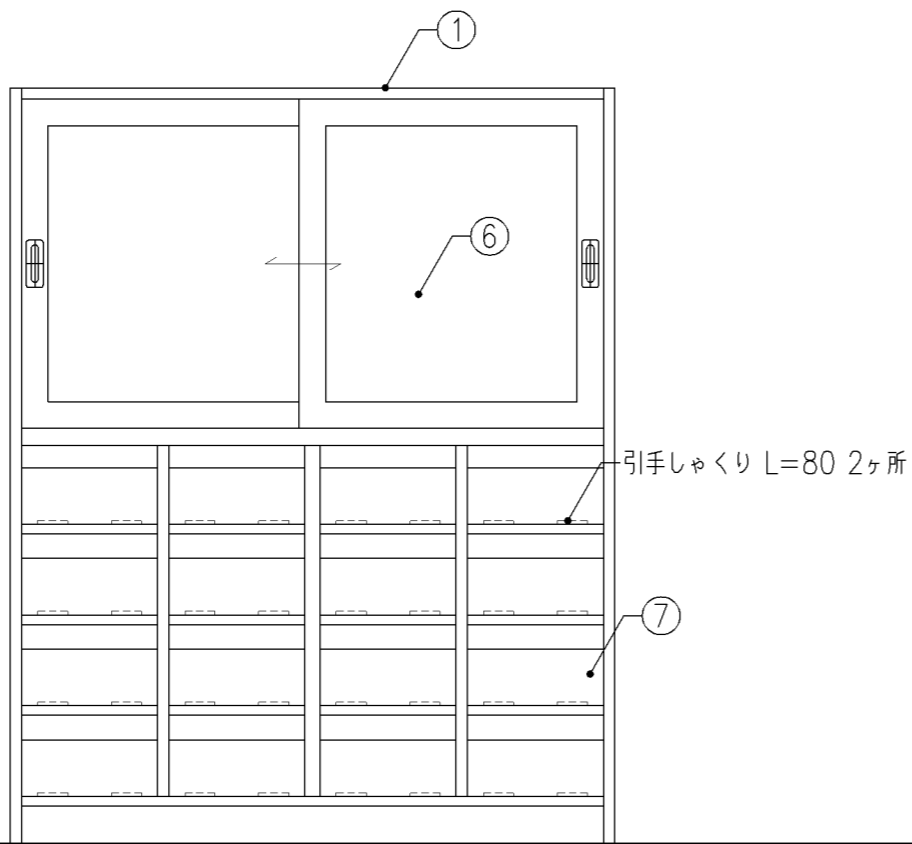
特記事項

- ・木口の形状については、G-400より選定する。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

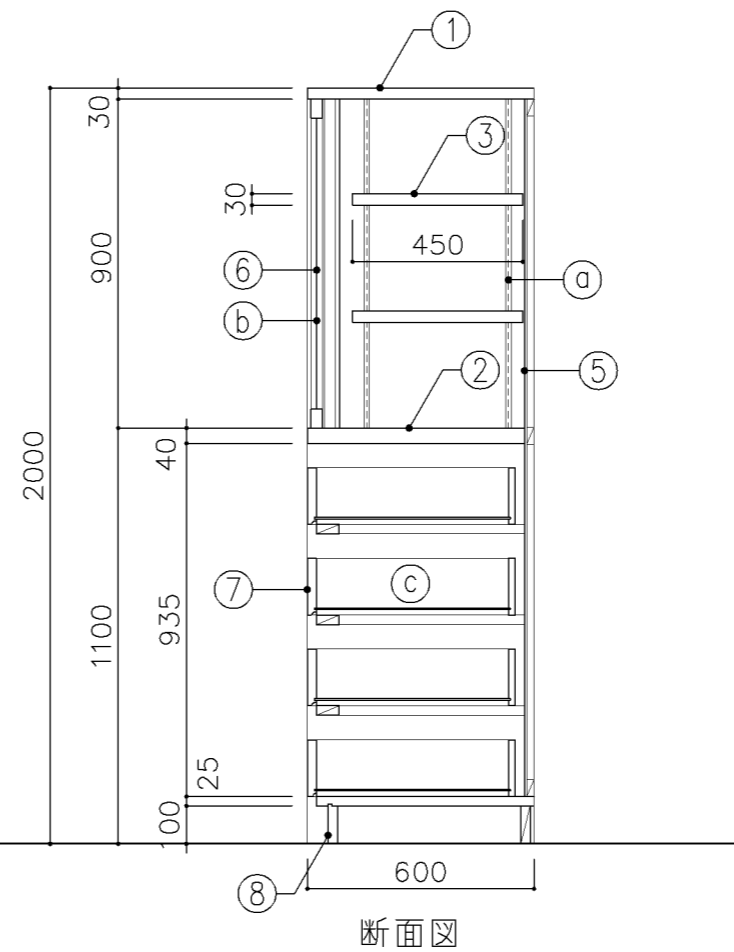
名称	工具収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G-433
設計年月	令和7年3月		
横浜市建築局			



平面図



正面図



断面図

寸法	
W	1,600 x D 600 x H 2,000

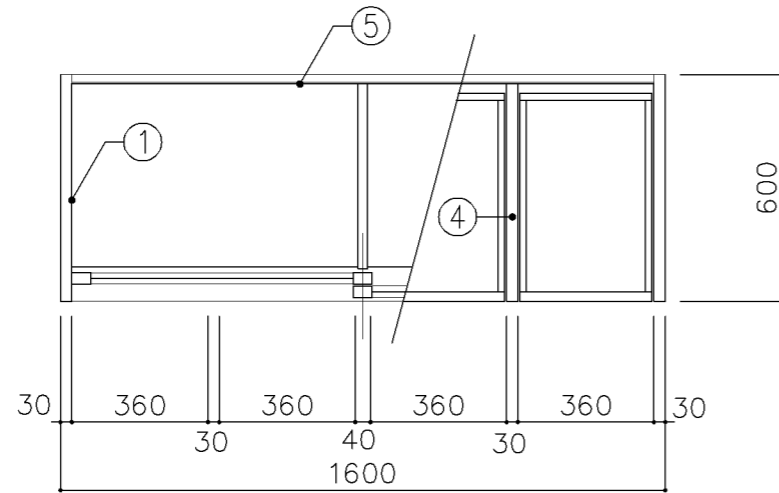
使用箇所	
技術準備室	

仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ラワン合板	OS,UC
②	棚板	A-1	ラワン合板	OS,UC
③	可動棚	A-1	ラワン合板	OS,UC
④	中仕切	A-1	ラワン合板	OS,UC
⑤	裏板	片A-1	ラワン合板	OS,UC
⑥	框戸		φ3 ポリカーボネード板	
⑦	引出シ		φ24 ラワン	OS,UC
⑧	巾木	B-1	ラワン合板	OS,UC

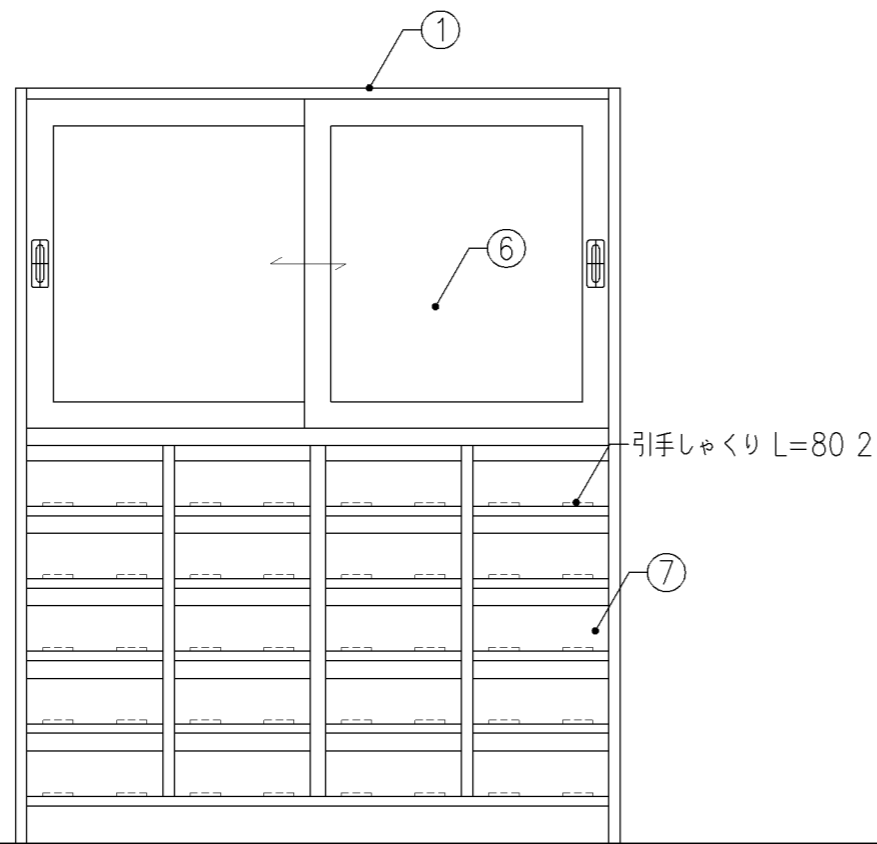
金物		
番号	使用箇所	名称
①	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱 (番号入り)
②	框戸	シリンドー栓錠、国産材掘込引手
③	引出シ	スベリ鋸、ストッパー

特記事項	
・木口の形状については、G-400より選定する。	
・芯材は、国産杉芯合板とする。	

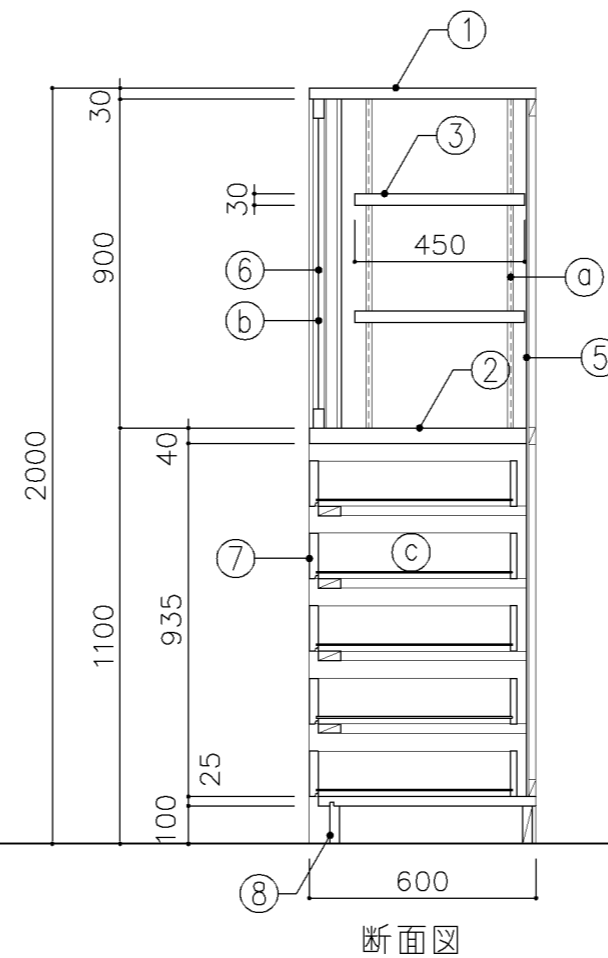
名称	工具収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G-434
設計年月	令和7年3月		
横浜市建築局			



平面図



正面図



断面図

寸法
W1,600 x D 600 x H 2,000

使用箇所
技術準備室

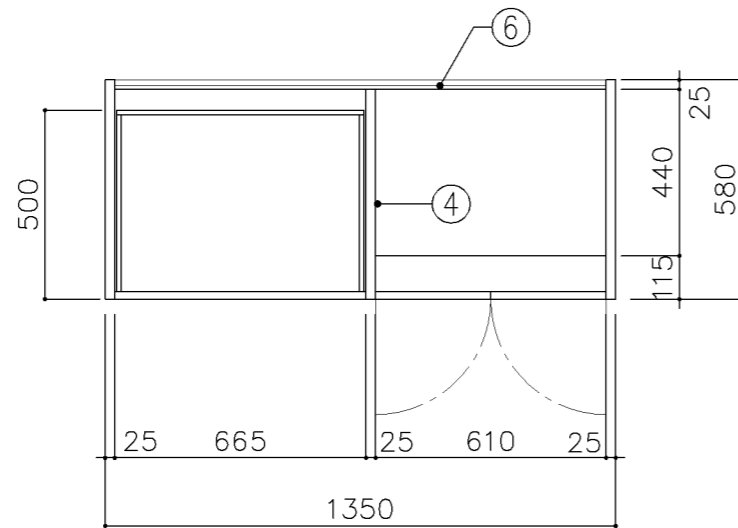
仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ラワン合板	OS,UC
②	棚板	A-1	ラワン合板	OS,UC
③	可動棚	A-1	ラワン合板	OS,UC
④	中仕切	A-1	ラワン合板	OS,UC
⑤	裏板	片A-1	ラワン合板	OS,UC
⑥	框戸		φ3 ポリカーボネード板	
⑦	引出シ		φ24 ラワン	OS,UC
⑧	巾木	B-1	ラワン合板	OS,UC

金物	
番号	使用箇所 名称
Ⓐ	可動棚 ステンレス製耐震棚受・棚柱 (番号入り)
Ⓑ	框戸 シリンダー栓錠、国産材掘込引手
Ⓒ	引出シ スベリ鋸、ストッパー

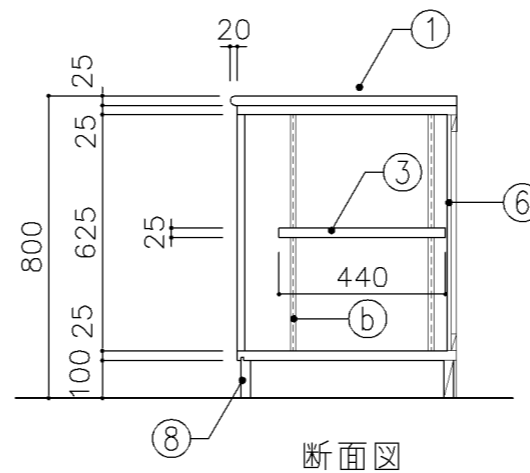
特記事項
 ・木口の形状については、G-400より選定する。
 ・芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	工具収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G-435
設計年月	令和7年3月		

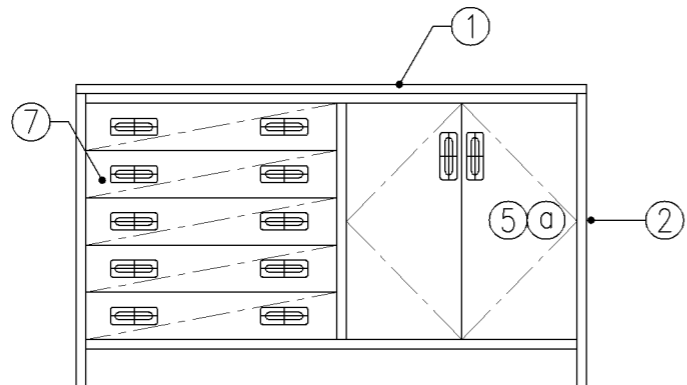
横浜市建築局



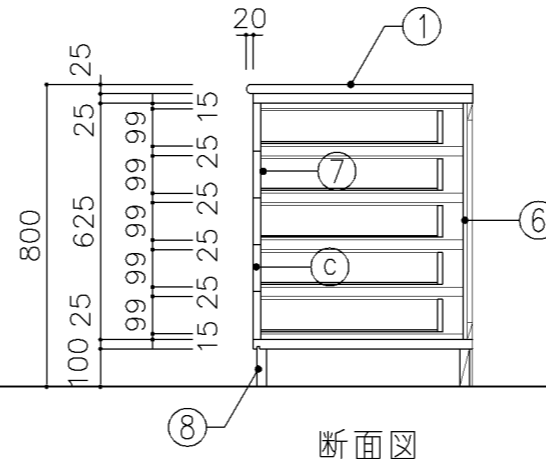
平面図



断面図



正面図



断面図

寸法
W 1,350 x D 600 x H 800

使用箇所

保健室

仕様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	天板	B-1	メラミン化粧板	
②	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	可動棚	A-1	しな合板	
④	中仕切	A-1	しな合板	
⑤	扉		ポリエステル化粧合板	
⑥	裏板	片A-1	しな合板	
⑦	引出シ	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑧	巾木	B-1	ポリエステル化粧合板	

金物

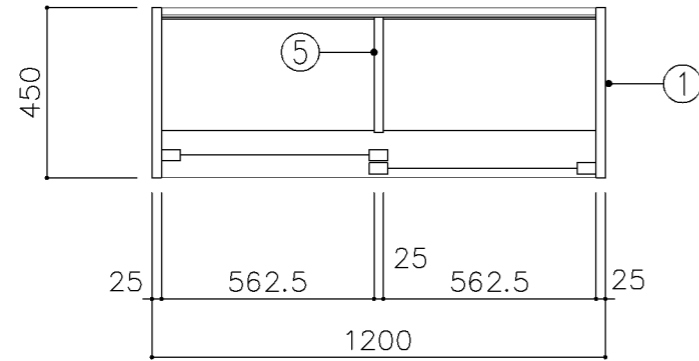
番号	使用箇所	名称
①	扉	スライド丁番、国産材掘込引手、耐震ラッチ 面付シリンドー錠
②	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
③	引出シ	スベリ紙、ストッパー、掘込引手 面付シリンドー錠

特記事項

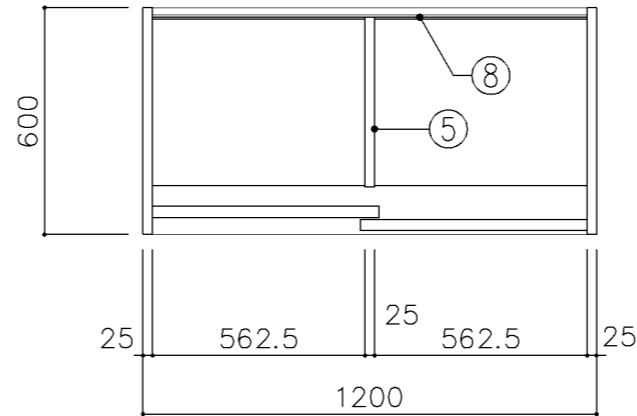
- ・木口の形状については、G-400より選定する。
- ・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- ・フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- ・扉の厚みは、20mmを原則とする。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G-436
設計年月	令和7年3月		

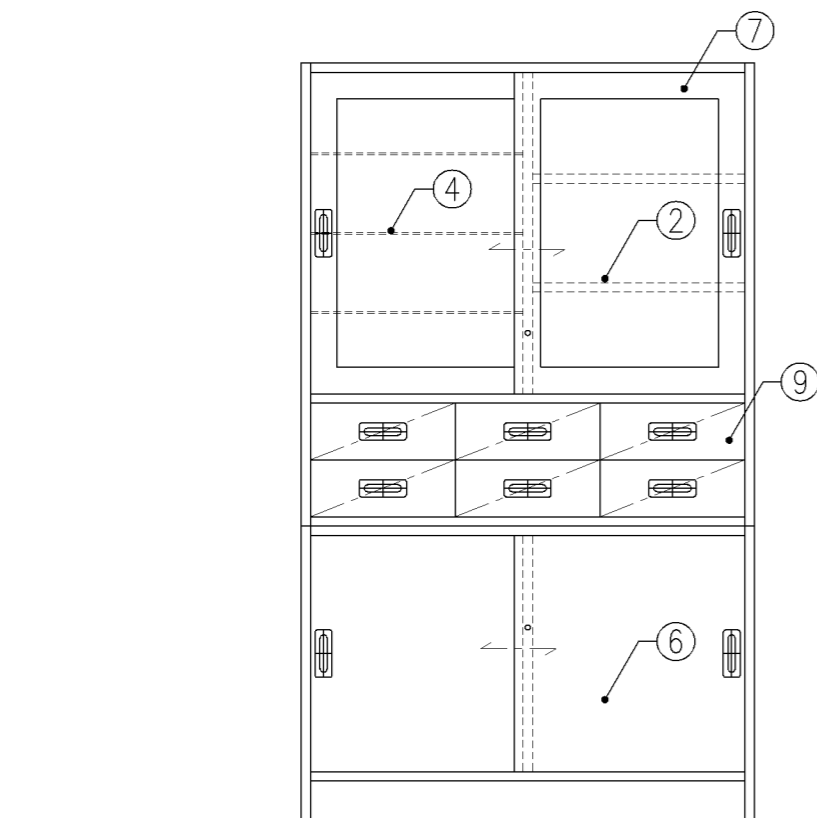
横浜市建築局



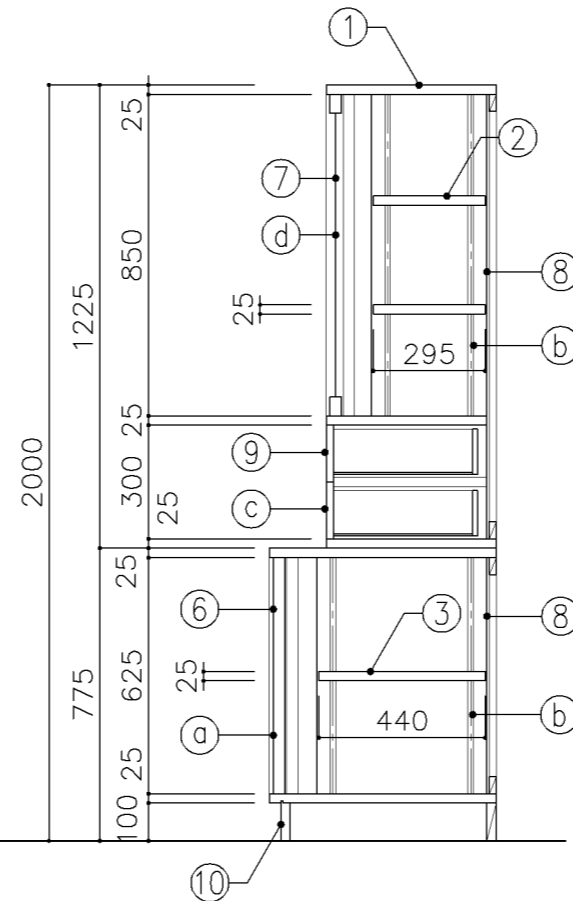
上段平面図



下段平面図



正面図



断面図

寸法	
W	1,200 x D 450/600 x H 2,000

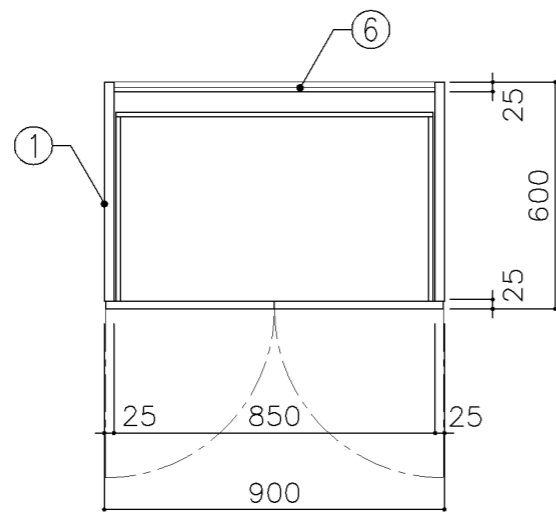
使用箇所	
保健室	

仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	可動棚	A-1	しな合板	
④	ガラス可動棚		透明 75	
⑤	中仕切	A-1	しな合板	
⑥	引違戸	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑦	框戸		73 ポリカーボネード板	
⑧	裏板	片A-1	しな合板	
⑨	引出シ	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑩	巾木	B-1	ポリエステル化粧合板	

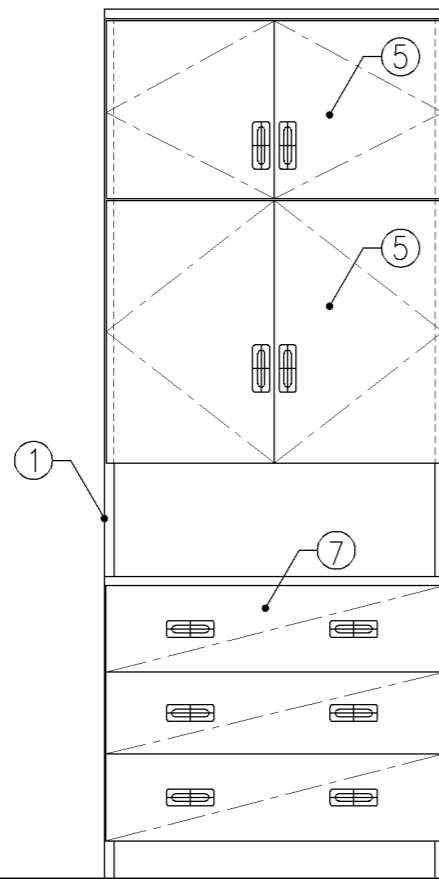
金物		
番号	使用箇所	名称
Ⓐ	引違戸	シリンドー栓錠、国産材掘込引手
Ⓑ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
Ⓒ	引出シ	スベリ紙、ストッパー、掘込引手
Ⓓ	框戸	シリンドー栓錠、国産材掘込引手

特記事項	
・木口の形状については、G-400より選定する。	
・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。	
・フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。	
・引違戸の厚みは、30mmを原則とする。	
・芯材は、国産杉芯合板とする。	

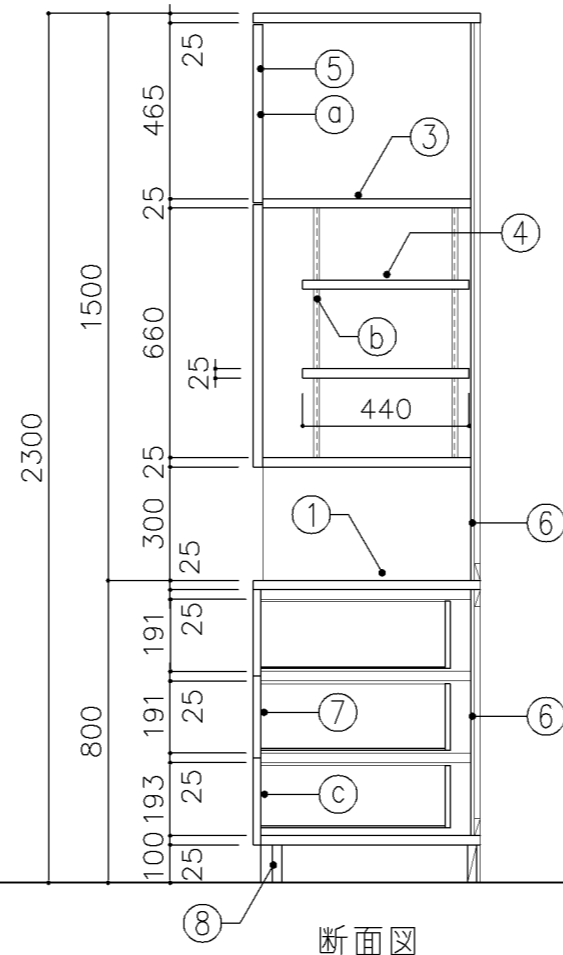
名称	薬品機器戸棚		
縮尺	1/20	記号	G-437
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



平面図



正面図



断面図

寸法	
W 900	x D 600 x H 2,300

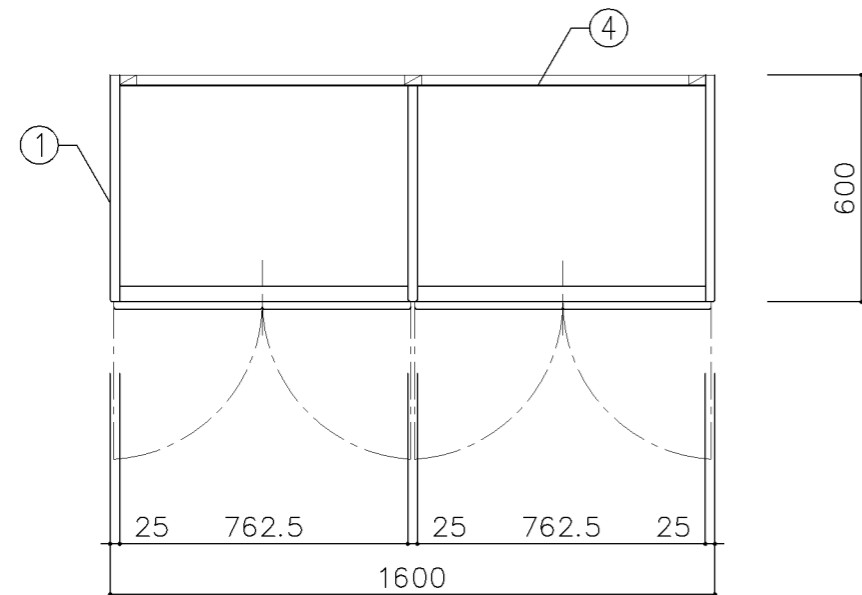
使用箇所	
保健室	

仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	天板	B-1	メラミン化粧板	
②	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	棚板	A-1	しな合板	
④	可動棚	A-1	しな合板	
⑤	扉	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑥	裏板	片A-1	しな合板	
⑦	引出シ	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑧	巾木	B-1	ポリエステル化粧合板	

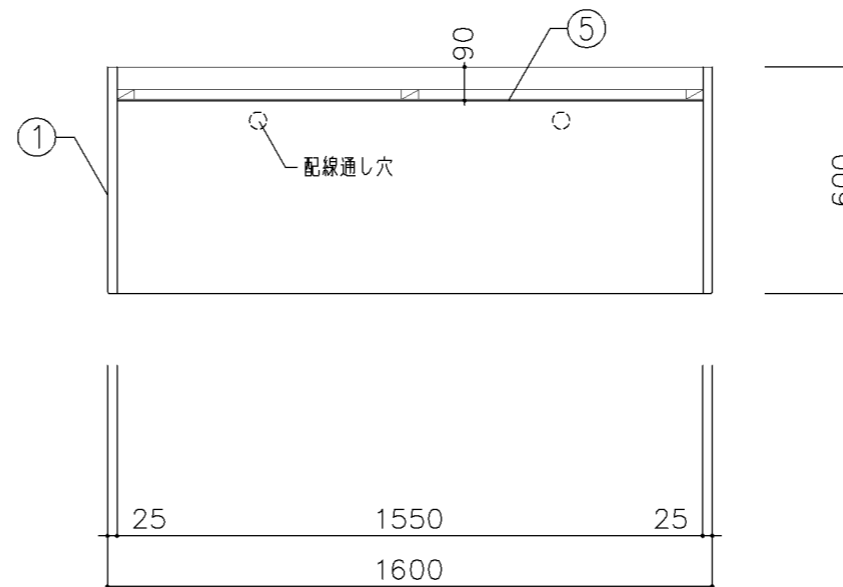
金物		
番号	使用箇所	名称
Ⓐ	扉	スライド丁番、国産材掘込引手、耐震ラッチ 面付シリンダー錠
Ⓑ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
Ⓒ	引出シ	スベリ紙、ストッパー、国産材掘込引手 面付シリンダー錠

特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・木口の形状については、G-400より選定する。 ・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。 ・フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。 ・扉の厚みは、20mmを原則とする。 ・芯材は、国産杉芯合板とする。 	

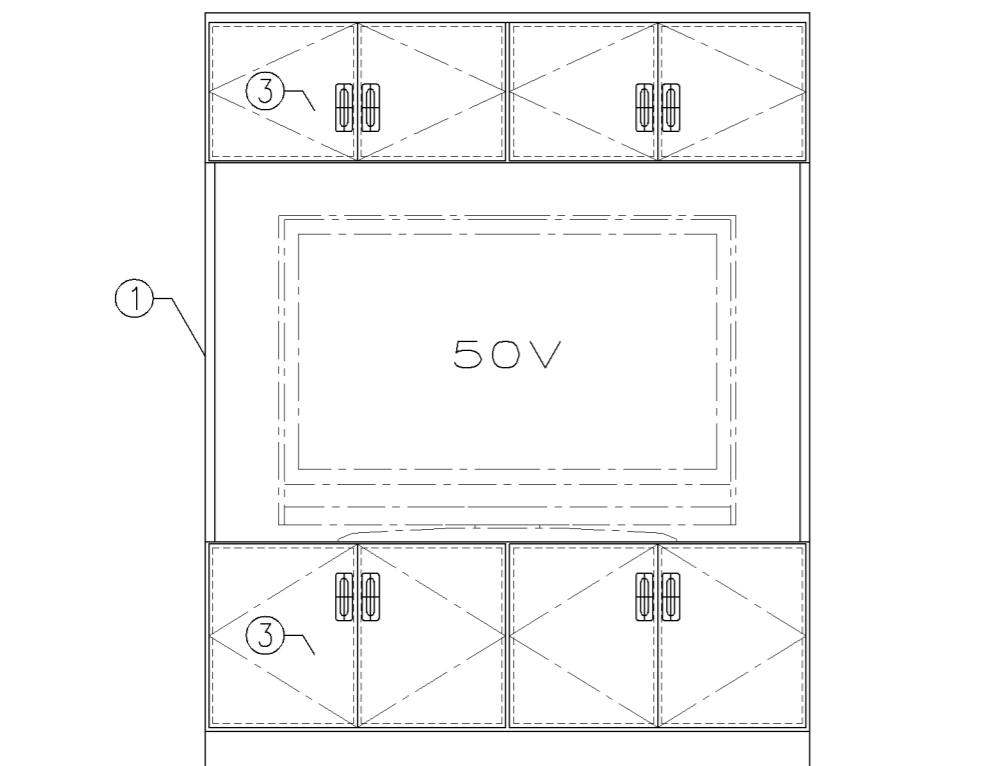
名称	ベッド備品収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G-438
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



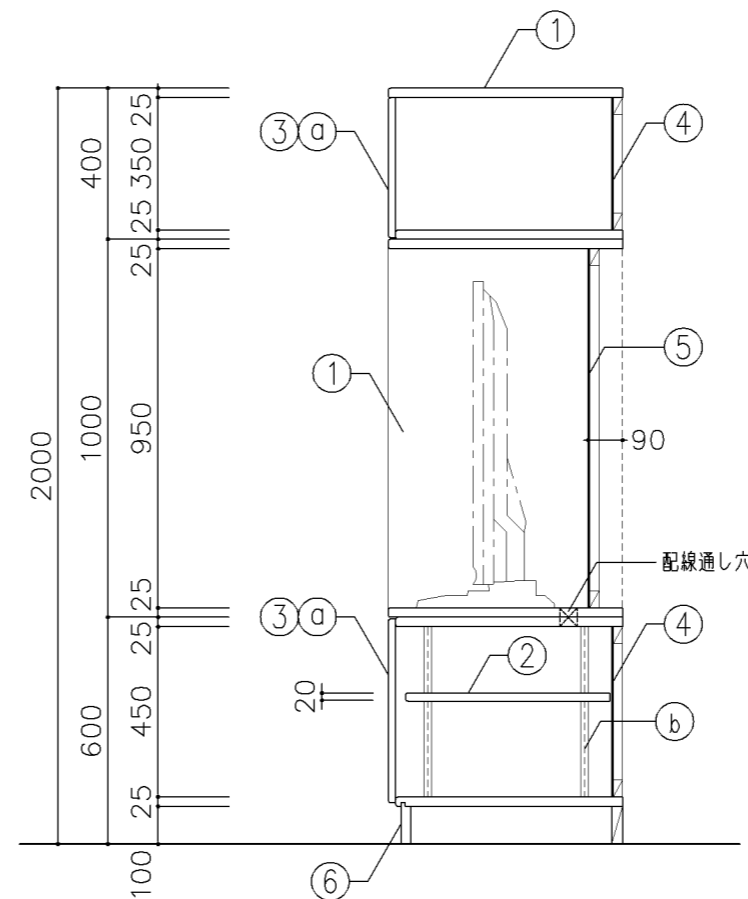
平面図



平面図

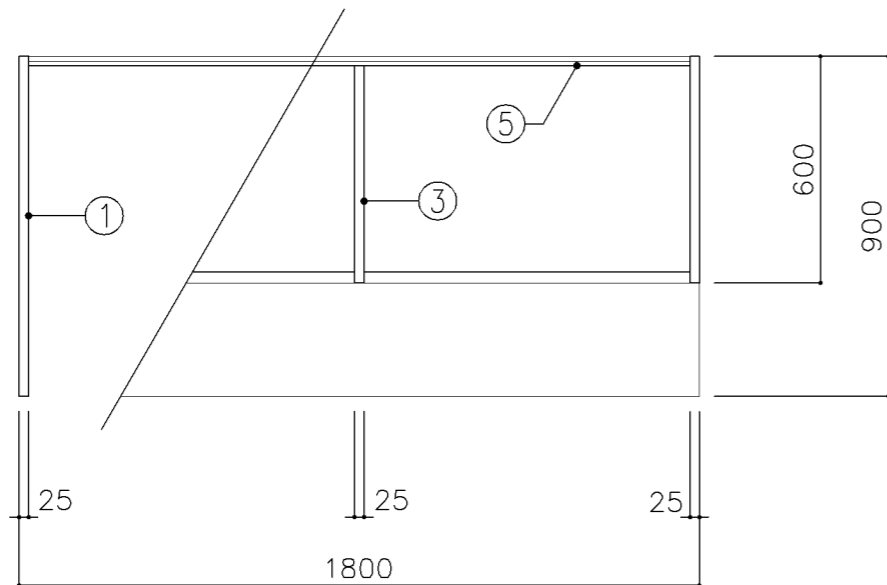


正面図

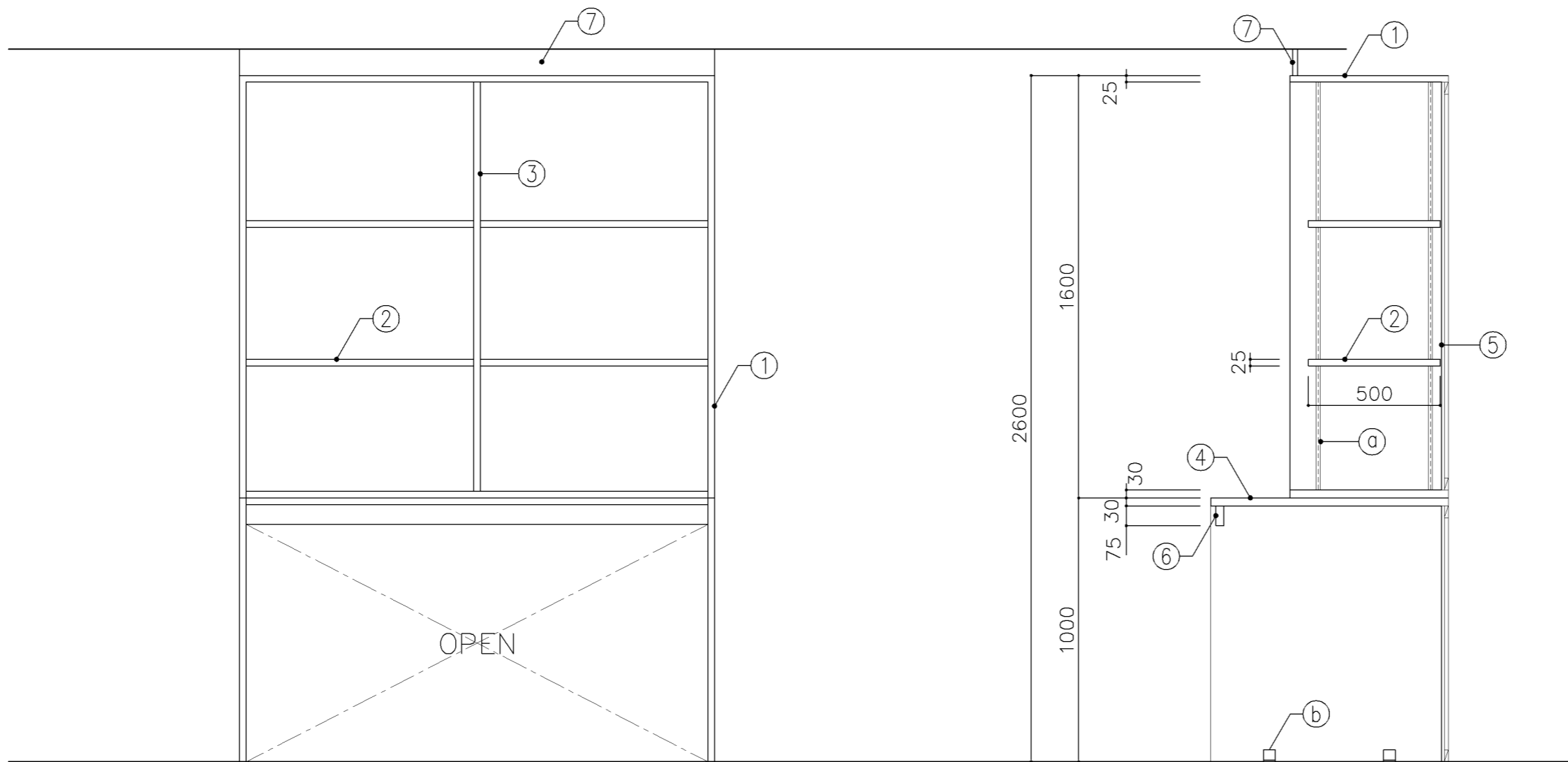


断面図

寸 法				
W1,600 × D600 × H2,000				
使用箇所				
個別支援教室（第一・第二学習室）（小・中学校）				
仕 様				
番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	本体	A-1	シナ合板	UC
②	可動棚	A-1	シナ合板	
③	扉	A-1	シナ合板	UC
④	裏板	片A-1	シナ合板	
⑤	裏板	片A-1	シナ合板	UC
⑥	巾木	B-1	シナ合板	UC
金 物				
番号	使用箇所	名 称		
③a	扉	スライド丁番、国産材掘込引手、耐震ラッチ 面付シリンドー錠		
②b	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）		
特記事項				
・木口の形状については、G-400より選定する。				
・見掛かり部はUC仕上とする。				
・テレビジャック、コンセント開口位置については 電気と打合せとする。				
・テレビ転倒防止ベルト等を設置できる用、転倒 防止金物の取付けをおこなう。				
名称	テレビ棚・収納戸棚			
縮尺	1/20	記号	G-450	
設計年月		令和7年3月		
横浜市建築局				



平面図



正面図

断面図
900

寸法
W1,800 x D 600/900 H 2,600

使用箇所

音楽準備室

仕様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A-1	ポリエステル化粧合板	
④	天板	A-1	メラミン化粧板	
⑤	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
⑥	補強板	B-1	ポリエステル化粧合板	
⑦	幕板	A-1	ポリエステル化粧合板	

金物

番号	使用箇所	名称
Ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱 (番号入り)
Ⓑ	本体	床固定金物

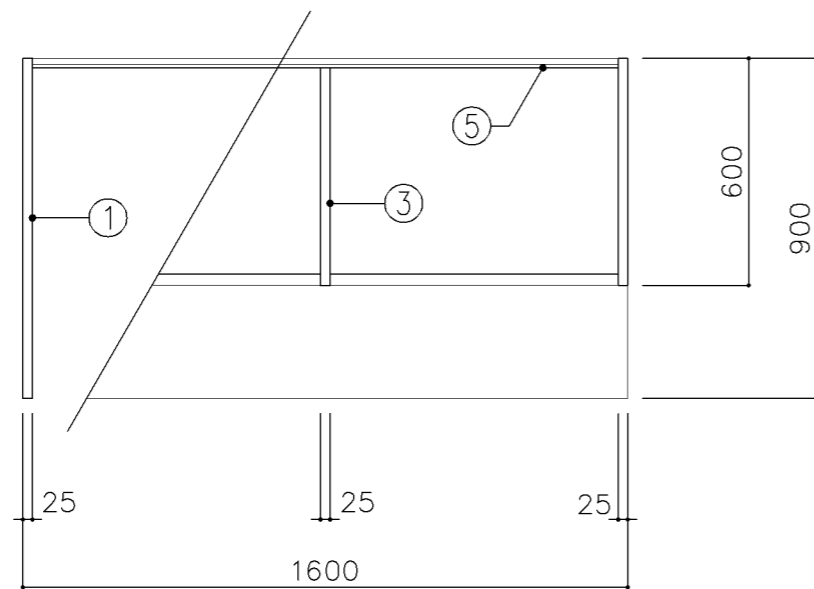
特記事項

- ・木口の形状については、G-400より選定する。
- ・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

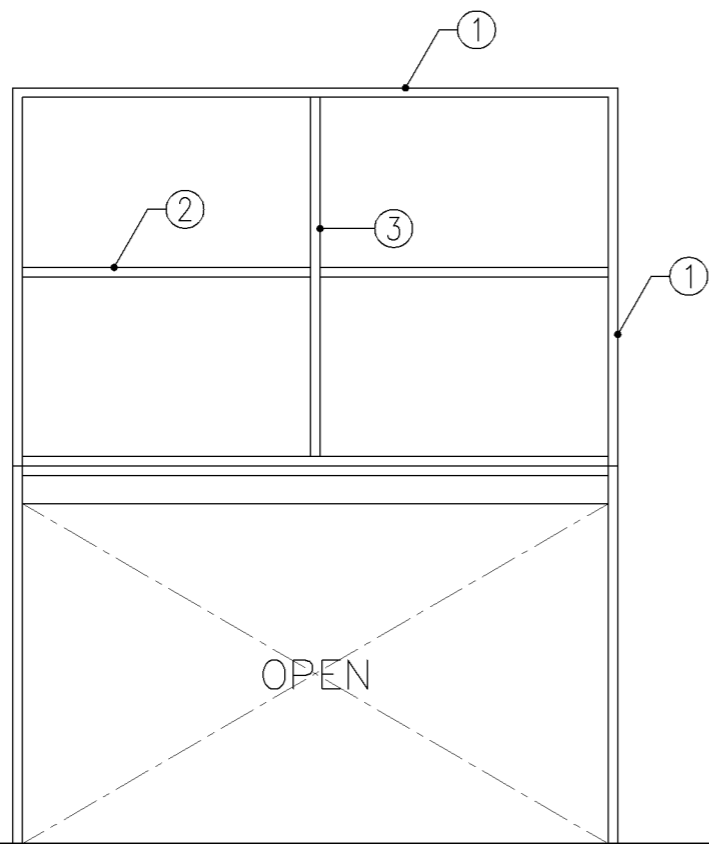
名称	収納棚		
縮尺	1/20	記号	G-451A

設計年月 令和7年3月

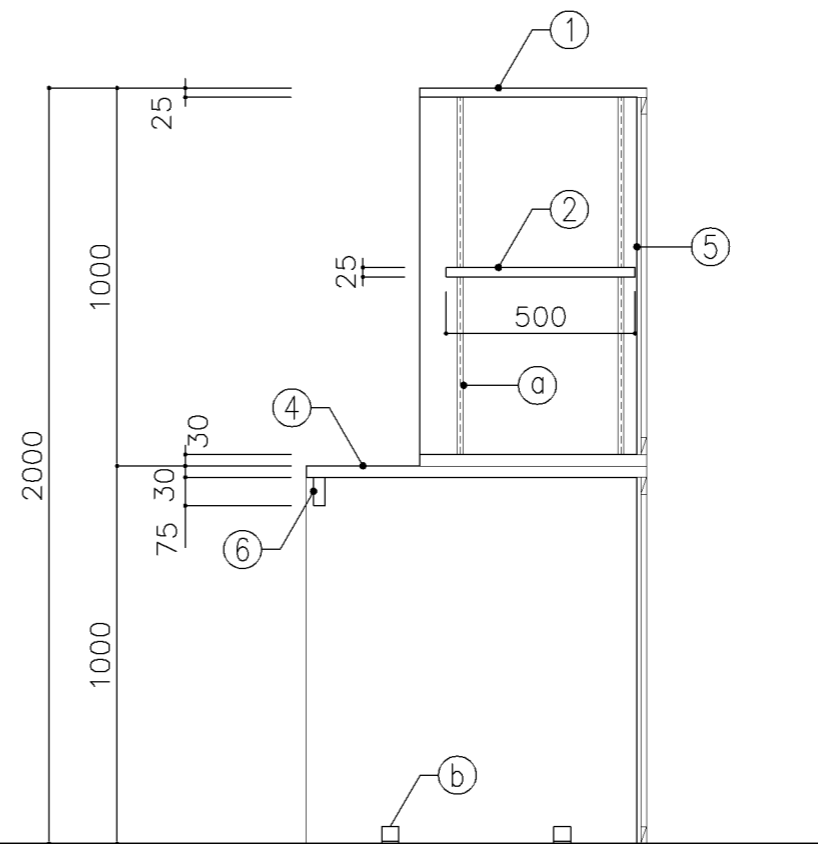
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸法	
W1,600 x D 600/900 x H 2,000	

使用箇所	
多目的室（集会・発表等）準備室（中学校）	

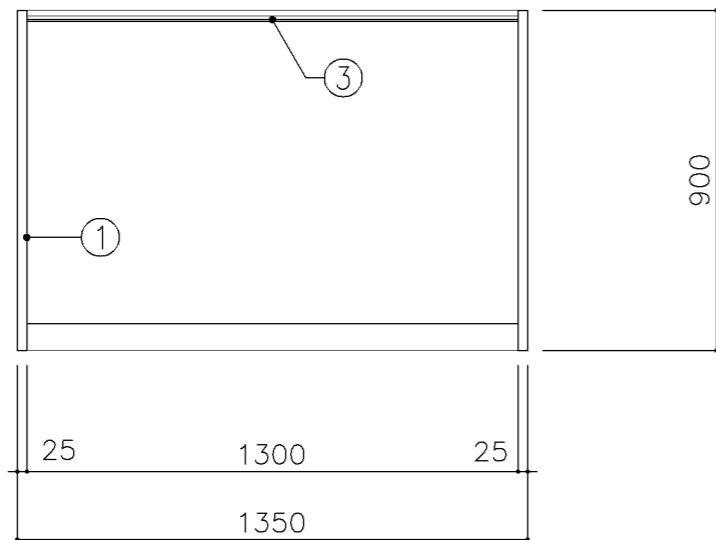
仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A-1	ポリエステル化粧合板	
④	天板	A-1	メラミン化粧板	
⑤	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
⑥	補強板	B-1	ポリエステル化粧合板	

金物		
番号	使用箇所	名称
Ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
Ⓑ	本体	床固定金物

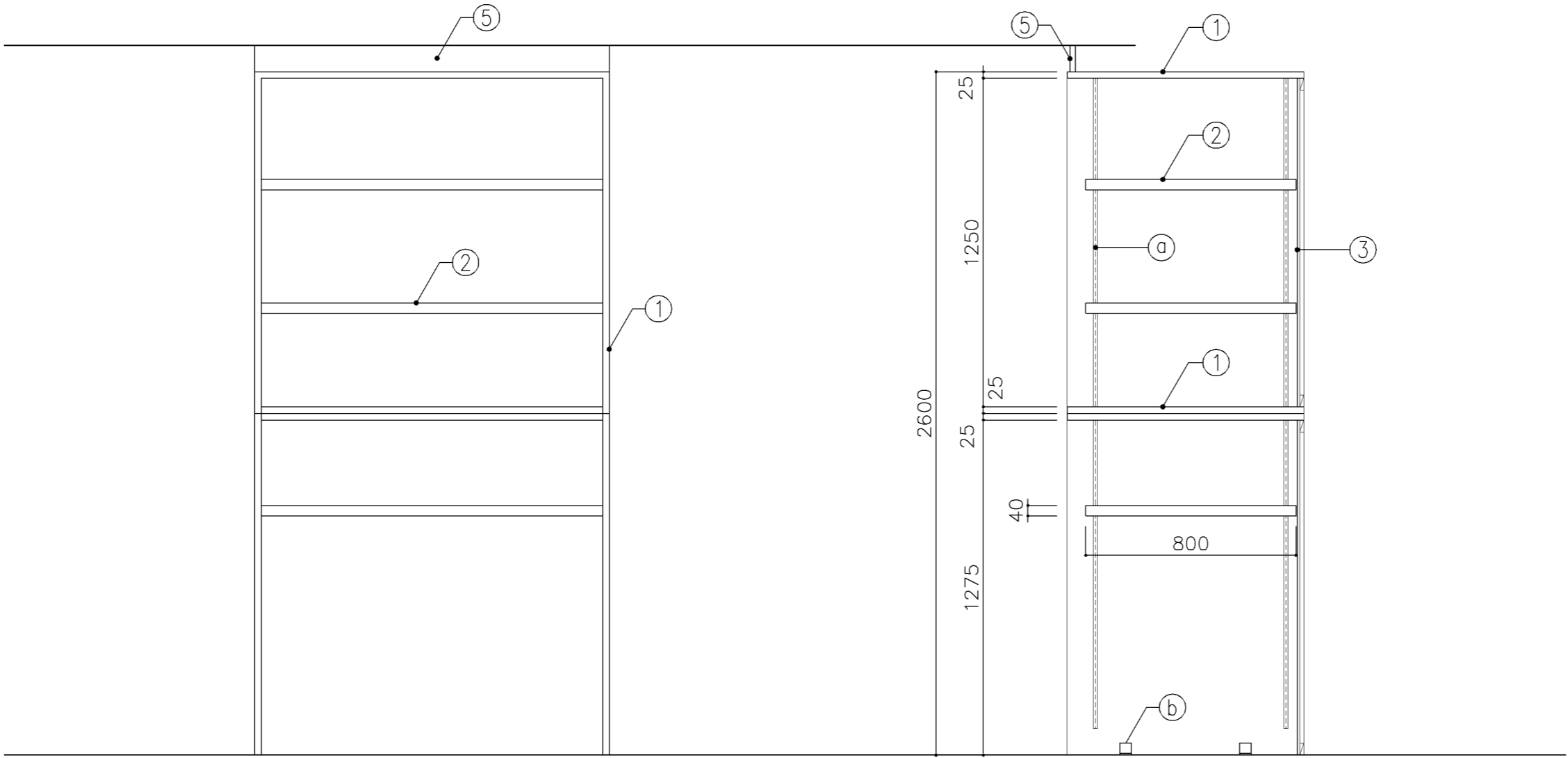
特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・木口の形状については、G-400より選定する。 ・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。 ・芯材は、国産杉芯合板とする。 	

名称	収納棚		
縮尺	1/20	記号	G-451B
設計年月	令和7年3月		

横浜市建築局



平面図



正面図

断面図

寸法	
W	1,350 x D 900 x H 2,600

使用箇所	
音楽準備室	

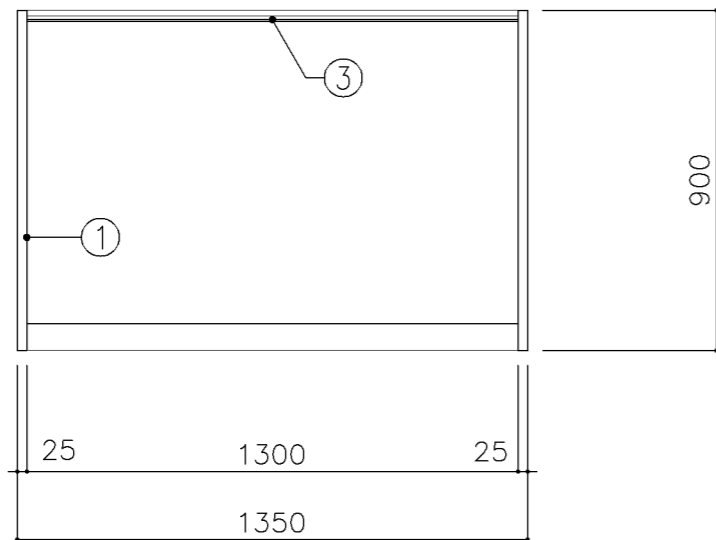
仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
④	巾木	B-1	ポリエステル化粧合板	
⑤	幕板	A-1	ポリエステル化粧合板	

金物		
番号	使用箇所	名称
①	可動棚	全可動棚受柱レール、ダボ
②	本体	床固定金物

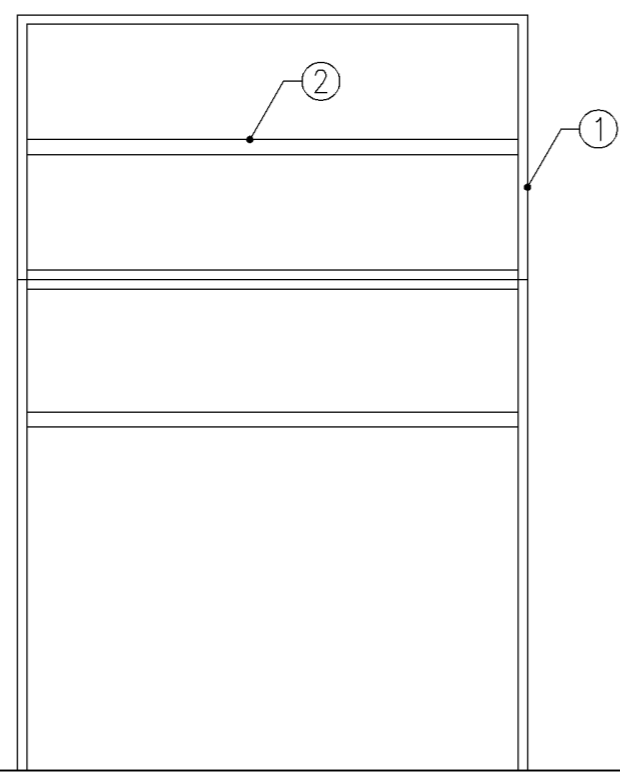
特記事項

- ・木口の形状については、G-400より選定する。
- ・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

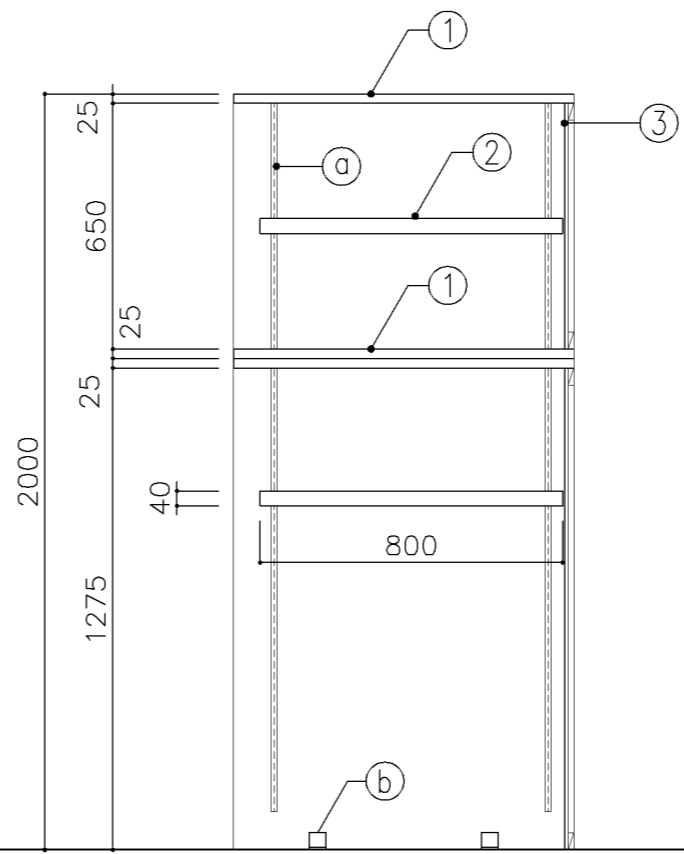
名称	収納棚		
縮尺	1/20	記号	G-452A
設計年月	令和7年3月		
横浜市建築局			



平面図

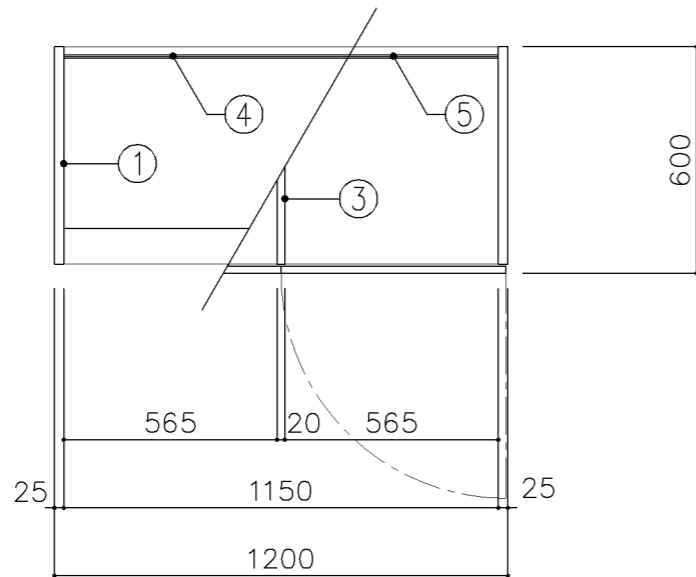


正面図

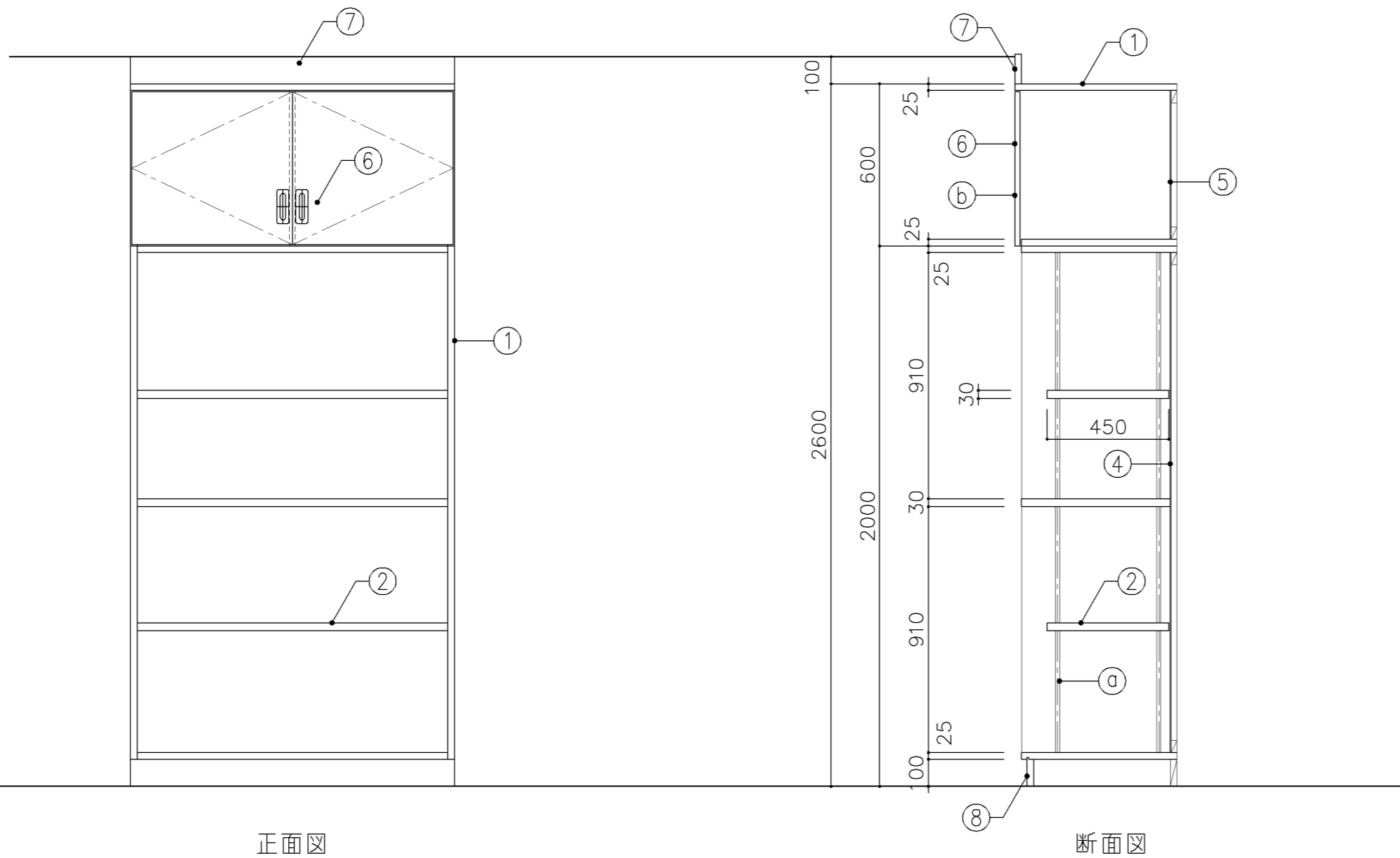


断面図

寸 法				
W1,350 x D 900 x H 2,000				
使用箇所				
多目的室（集会・発表等）準備室（中学校）				
仕 様				
番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
④	巾木	B-1	ポリエステル化粧合板	
金 物				
番号	使用箇所	名 称		
Ⓐ	可動棚	全可動棚受柱レール、ダボ		
Ⓑ	本体	床固定金物		
特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・木口の形状については、G-400より選定する。 ・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。 ・芯材は、国産杉芯合板とする。 				
名称	収納棚			
縮尺	1/20	記号	G-452B	
設計年月		令和7年3月		
横浜市建築局				



平面図



正面図

断面図

寸法
W1,200 x D 600 x H 2,600

使用箇所
美術準備室

仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A-1	しな合板	
④	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
⑤	裏板	片A-1	しな合板	
⑥	扉	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑦	幕板	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑧	巾木	B-1	ポリエステル化粧合板	

金物		名称
番号	使用箇所	名称
①	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱 (番号入り)
②	扉	スライド丁番、国産材掘込引手、耐震ラッチ 面付シリンドー錠

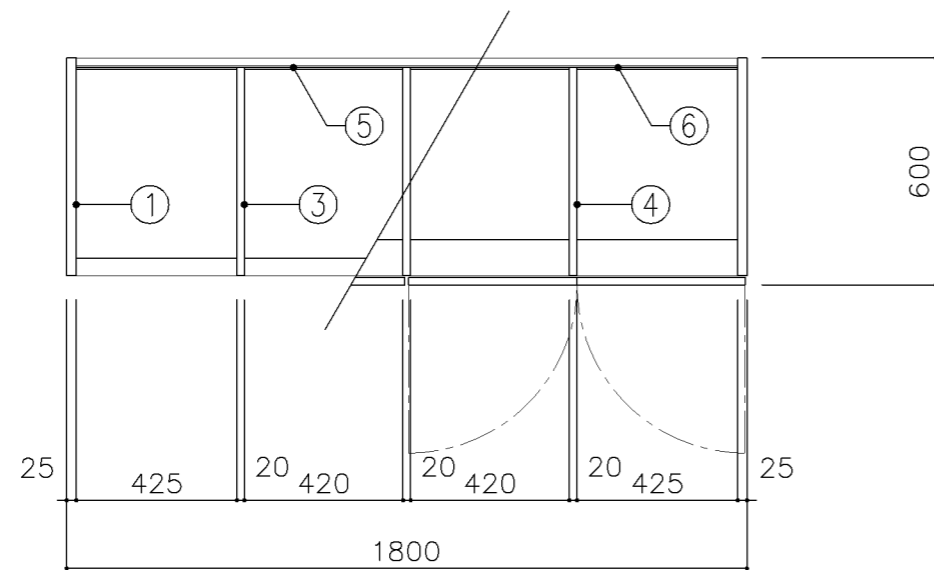
特記事項

- ・木口の形状については、G-400より選定する。
- ・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- ・フラッシュ戸 (引違い、扉) 内部は、しな合板とする。
- ・扉の厚みは、20mmを原則とする。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

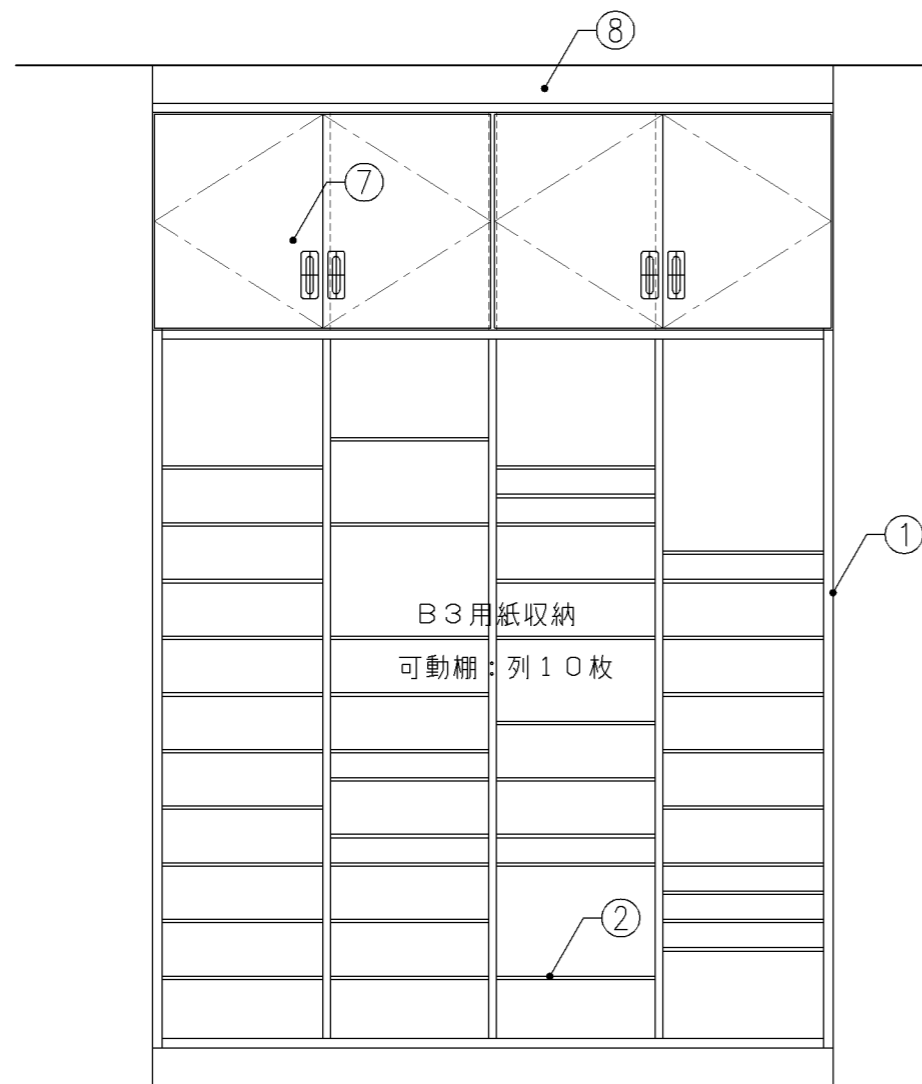
名称	備品収納棚		
縮尺	1/20	記号	G-453

設計年月 令和7年3月

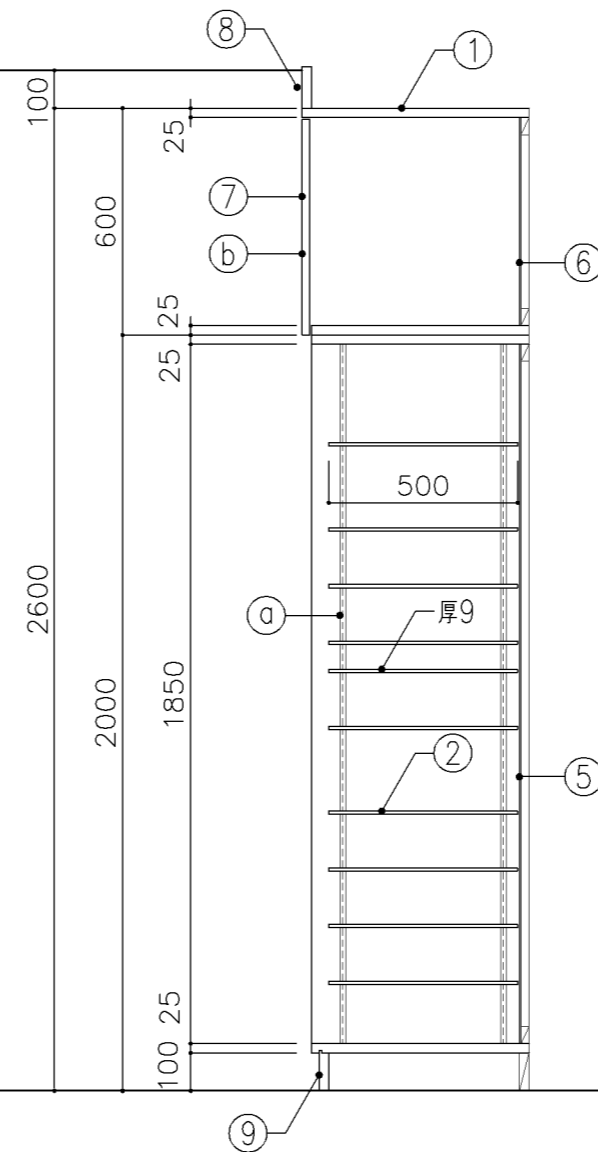
横浜市建築局



平面図

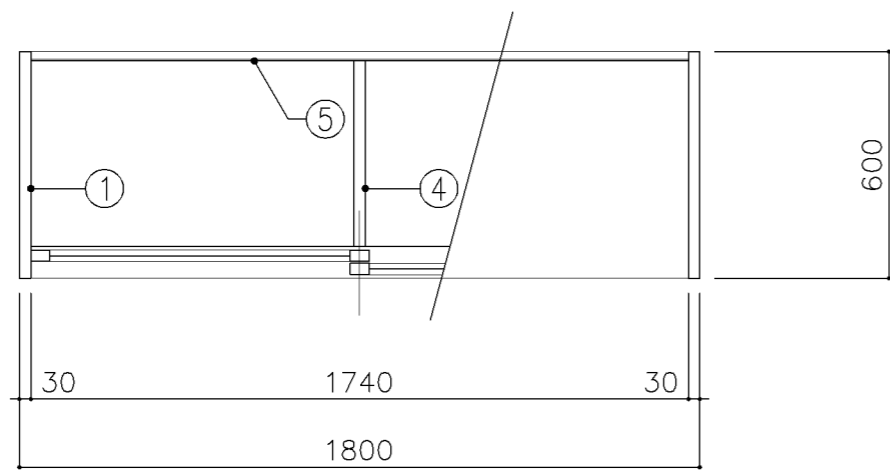


正面図

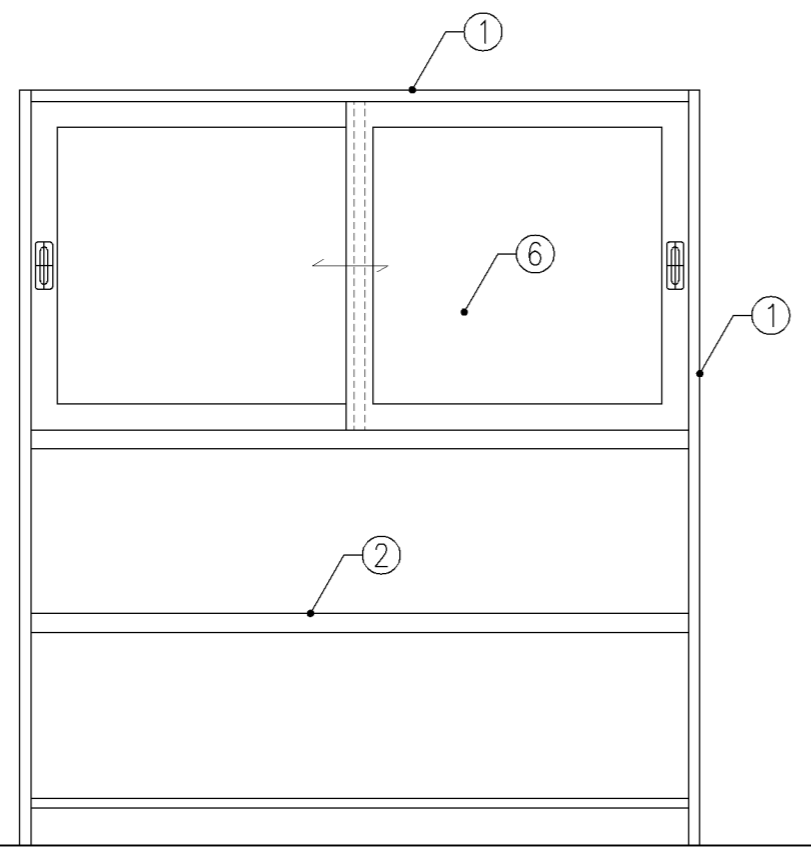


断面図

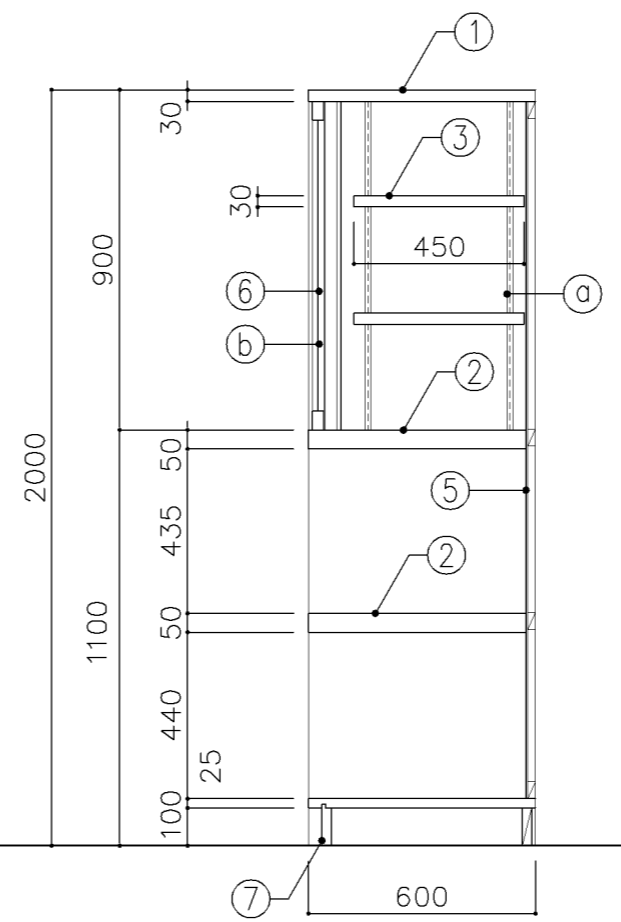
寸法				
W 1,800 x D 600 x H 2,600				
使用箇所				
美術準備室				
仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A-1	ポリエステル化粧合板	
④	中仕切	A-1	しな合板	
⑤	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
⑥	裏板	片A-1	しな合板	
⑦	扉	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑧	幕板	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑨	巾木	B-1	ポリエステル化粧合板	
金物				
番号	使用箇所	名称		
Ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱 (番号入り)		
Ⓑ	扉	スライド丁番、国産材掘込引手、耐震ラッチ 面付シリンドー錠		
特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・木口の形状については、G-400より選定する。 ・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。 ・フラッシュ戸 (引違い、扉) 内部は、しな合板とする。 ・扉の厚みは、20mmを原則とする。 ・芯材は、国産杉芯合板とする。 				
名称	平面作品収納棚			
縮尺	1/20	記号	G-454	
設計年月			令和7年3月	
横浜市建築局				



平面図



正面図



断面図

寸 法				
W 1,800 x D 600 x H 2,000				
使用箇所				
技術準備室				
仕 様				
番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	本体	A-1	ラワン合板	OS,UC
②	棚板	A-1	ラワン合板	OS,UC
③	可動棚	A-1	ラワン合板	OS,UC
④	中仕切	A-1	ラワン合板	OS,UC
⑤	裏板	片A-1	ラワン合板	OS,UC
⑥	框戸		ァ3 ポリカーボネード板	
⑦	巾木		ラワン合板	OS,UC
金 物				
番号	使用箇所	名 称		
Ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱 (番号入り)		
Ⓑ	框戸	シリンドー栓錠、国産材掘込引手		
特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・木口の形状については、G-400より選定する。 ・引違戸の厚みは、30mmを原則とする。 ・芯材は、国産杉芯合板とする。 				
名称	工具棚			
縮尺	1/20	記号	G-455	
設計年月		令和7年3月		
横浜市建築局				

寸 法
W 3,445 x D 600 x H 2,000

使用箇所

倉庫

仕 様

番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	支柱		杉	
②	横材		杉	
③	根太		杉 45×45@400	
④	棚板		しな合板 7.5	
⑤	巾木		杉	

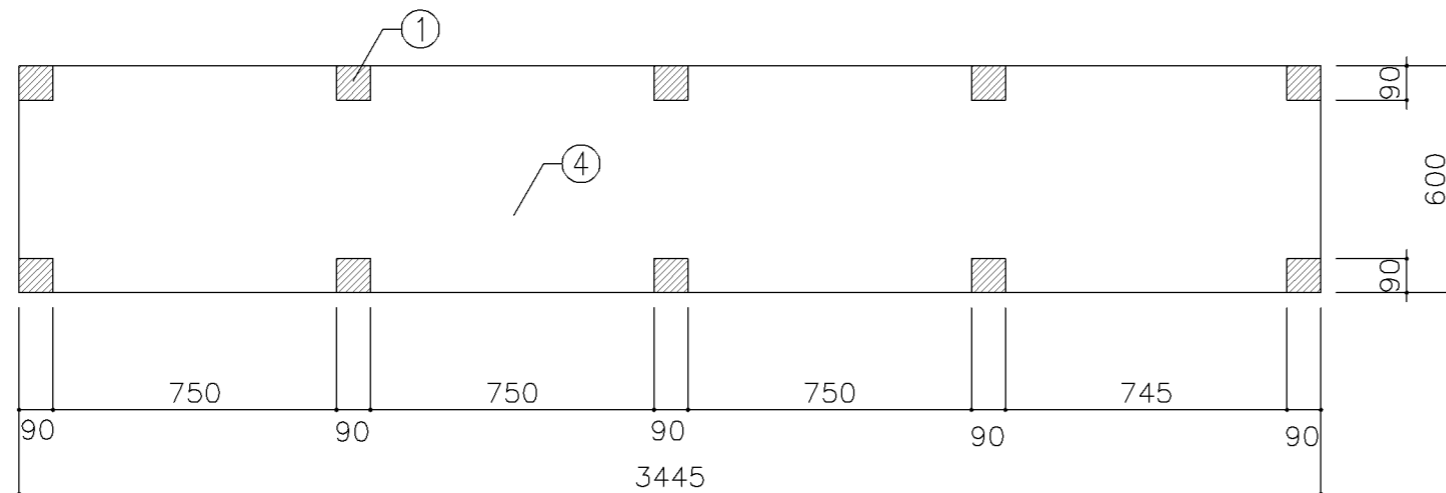
金 物

番号	使用箇所	名 称

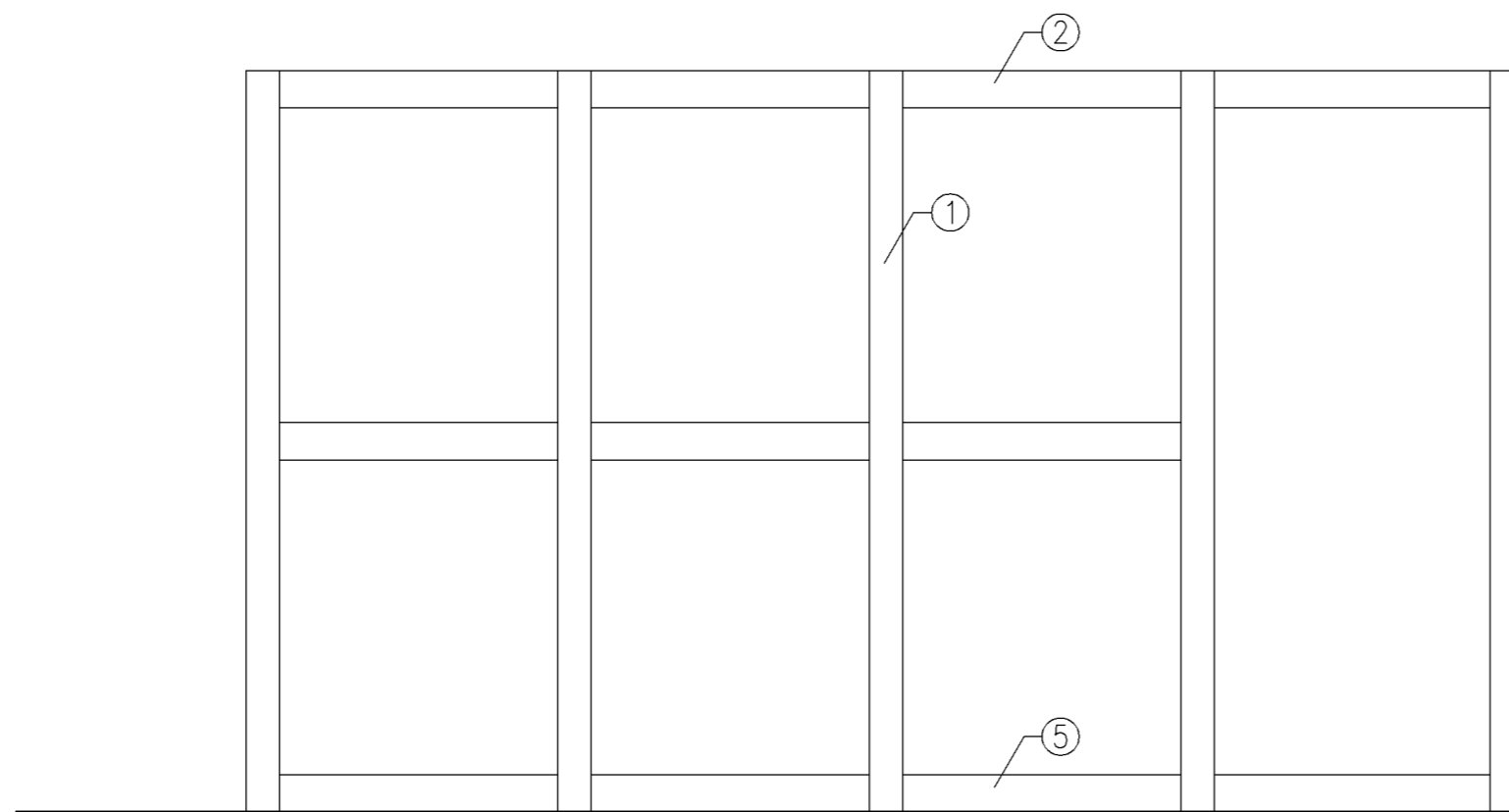
特記事項

名称	木製棚		
縮尺	1/20	記号	G-456
設計年月	令和7年3月		

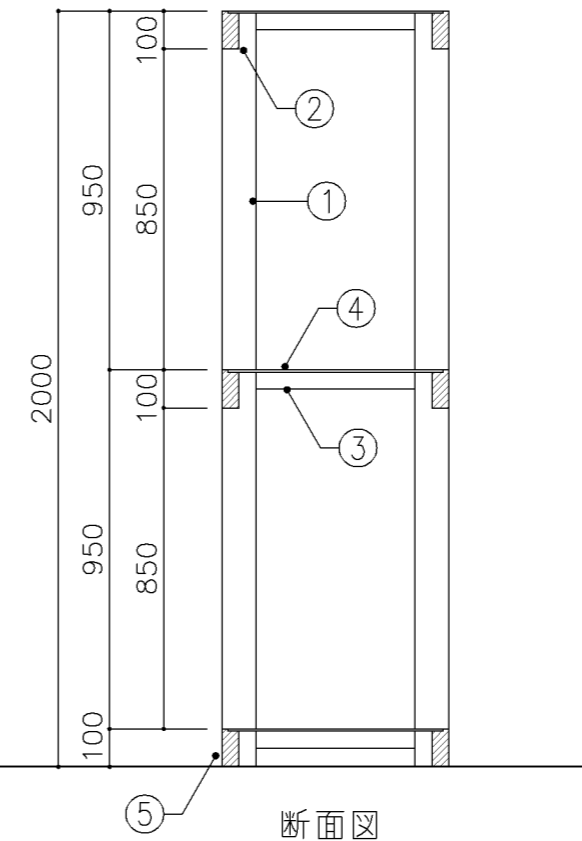
横浜市建築局



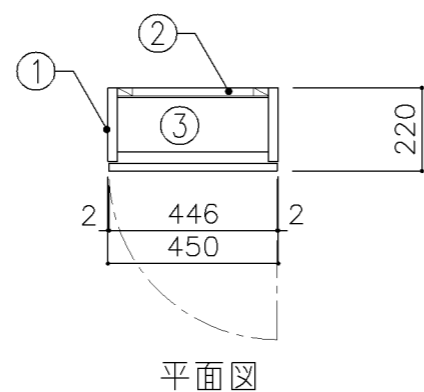
平面図



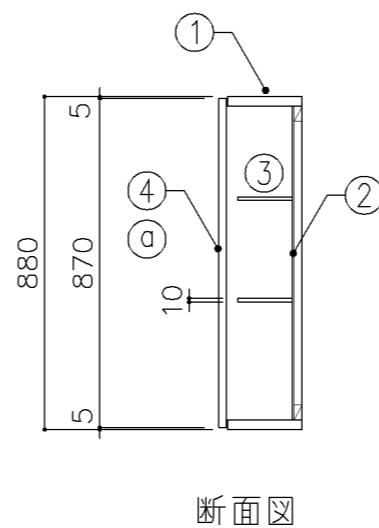
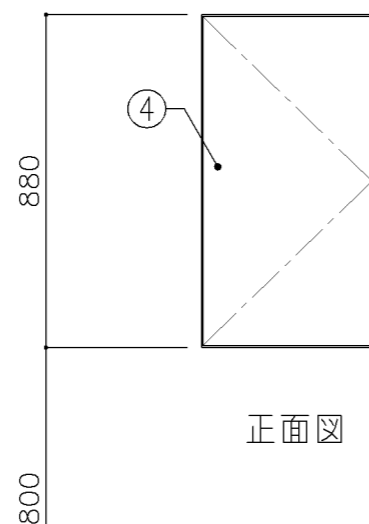
正面図



断面図



*天端高さは床面より1680程度とする。



寸 法
W 450 x D 220 x H 880

使用箇所

職員便所

仕 様

番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	本体	A-1	化粧パーティクルボード	
②	背板	片A-1	化粧パーティクルボード	
③	可動棚	A-1	化粧パーティクルボード	
④	扉	A-1	メラミン化粧板	

金 物

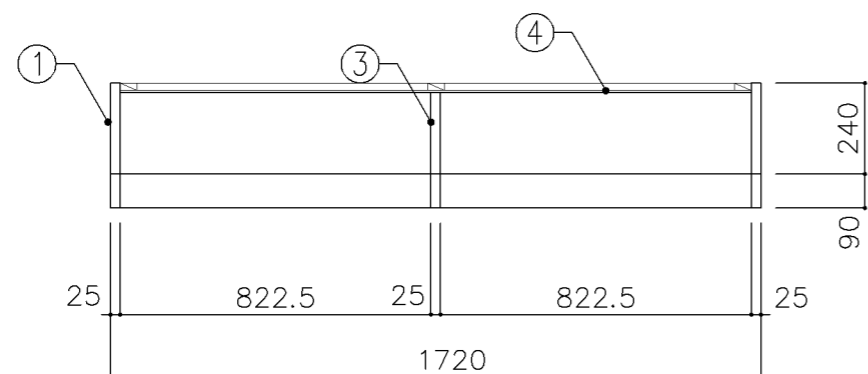
番号	使用箇所	名 称
①	扉	スライド丁番、プッシュラッチ

特記事項

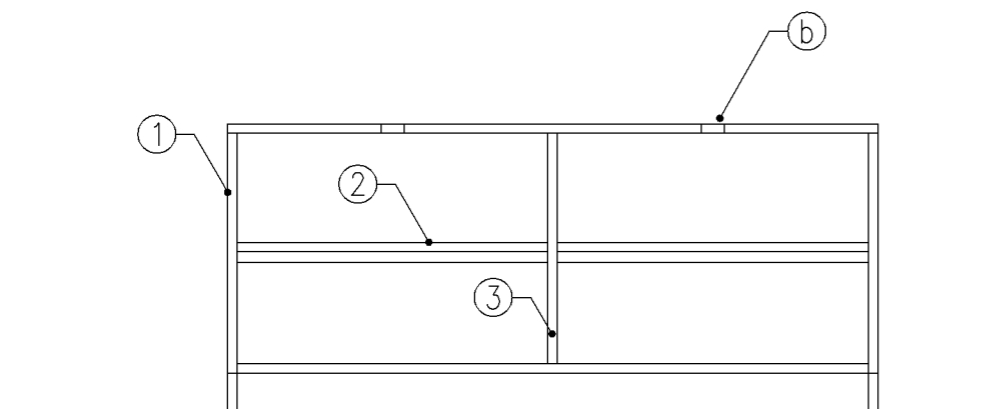
・同程度既製品とする。

名称	壁掛け収納棚		
縮尺	1/20	記号	G-457
設計年月	令和7年3月		

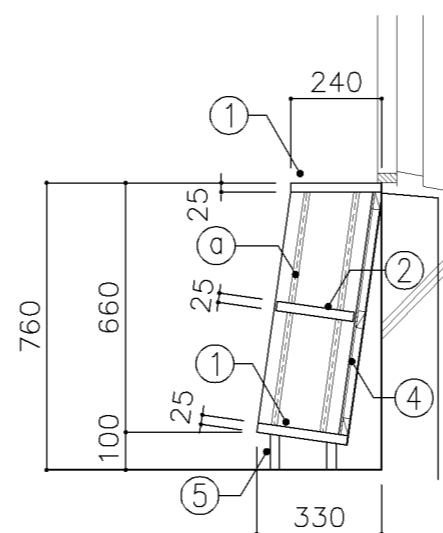
横浜市建築局



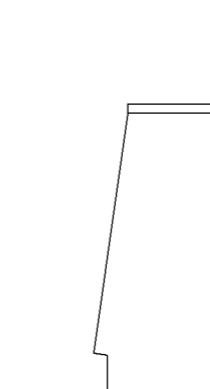
平面図



正面図



断面図



側面図

寸法
W 1,720 x D 330 x H 760

使用箇所
図書室（小・中学校）

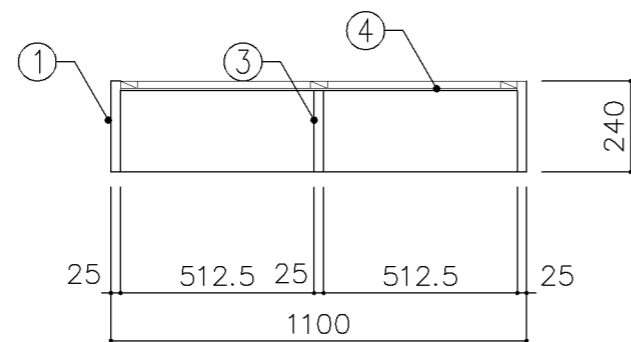
仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	B-1	しな合板	UC
②	可動棚	B-1	しな合板	UC
③	中仕切	B-1	しな合板	UC
④	裏板	片A-1	しな合板	UC
⑤	巾木	B-1	しな合板	UC

金物	
番号	使用箇所 名称
Ⓐ	可動棚 ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
Ⓑ	カード差し 塩化ビニール製

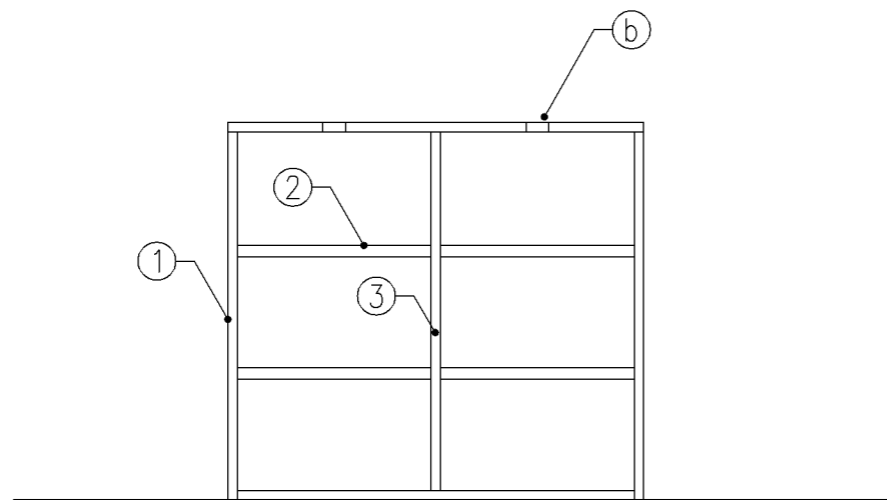
特記事項

- ・木口の形状については、G-400より選定する。
- ・見掛かり部はUC仕上とする。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

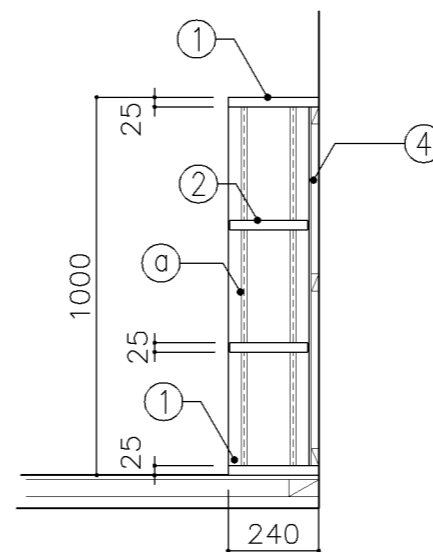
名称	書架		
縮尺	1/20	記号	G-470
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



平面図



正面図



断面図

寸 法
W 1,100 x D 240 x H 1,000

使用箇所
図書室（小学校）

仕 様

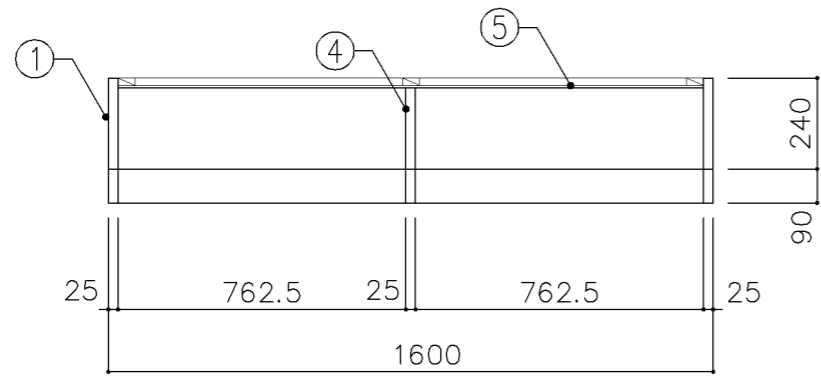
番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	本体	B-1	しな合板	UC
②	可動棚	B-1	しな合板	UC
③	中仕切	B-1	しな合板	UC
④	裏板	片A-1	しな合板	UC

金 物

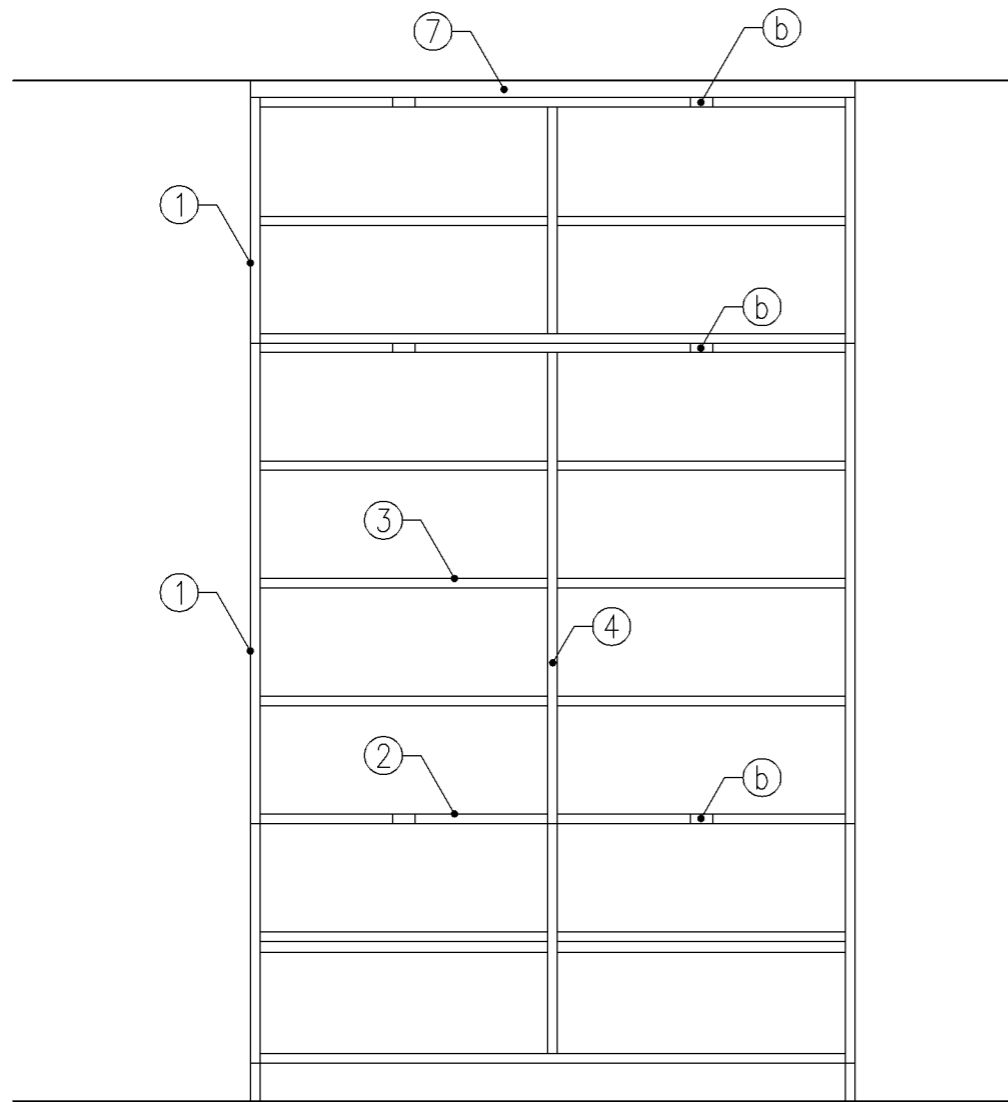
番号	使用箇所	名 称
㊶	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
㊷	カード差し	塩化ビニール製

特記事項
 ・木口の形状については、G-400より選定する。
 ・見掛かり部はUC仕上とする。
 ・芯材は、国産杉芯合板とする。

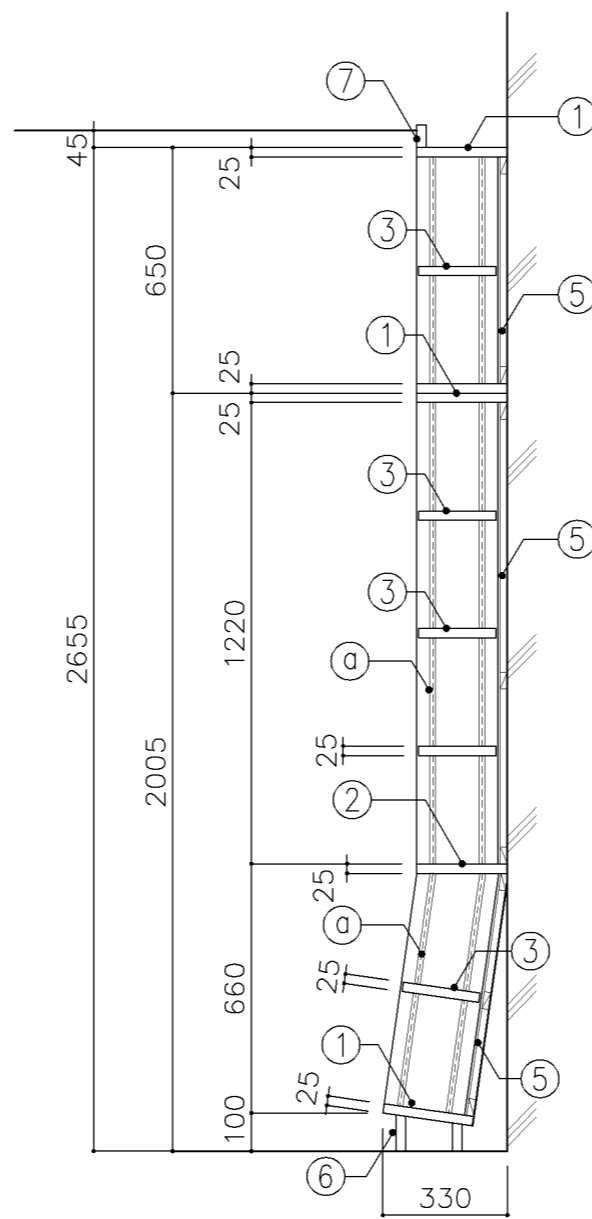
名称	書架		
縮尺	1/20	記号	G-471
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



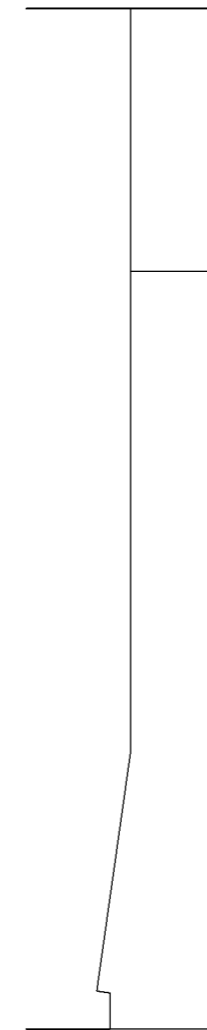
平面図



正面図



断面図



側面図

寸 法
W 1,600 x D 240/330 x H 2,655

使用箇所
図書室（小・中学校）

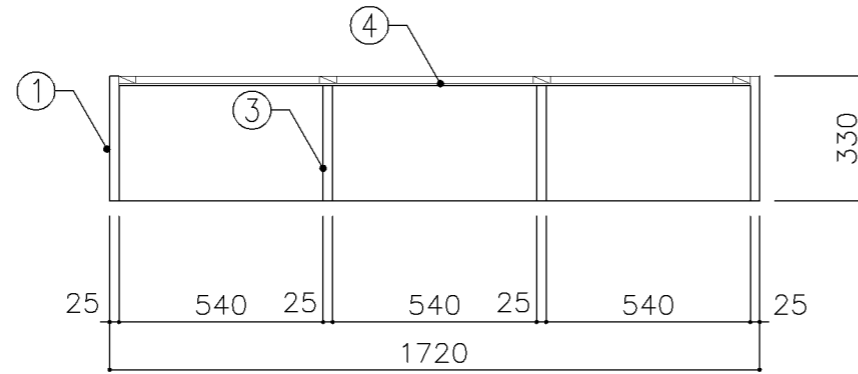
仕 様				
番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	本体	B-1	しな合板	UC
②	棚板	B-1	しな合板	UC
③	可動棚	B-1	しな合板	UC
④	中仕切	B-1	しな合板	UC
⑤	裏板	片A-1	しな合板	UC
⑥	巾木	B-1	しな合板	UC
⑦	幕板	A-1	しな合板	UC

金 物	
番号	使用箇所 名 称
Ⓐ	可動棚 ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
Ⓑ	カード差し 塩化ビニール製

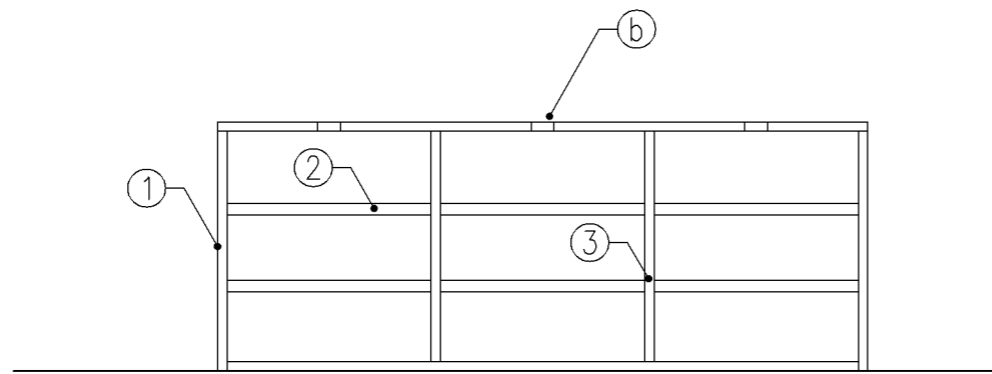
特記事項
 ・木口の形状については、G-400より選定する。
 ・見掛かり部はUC仕上とする。
 ・芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	書架		
縮尺	1/20	記号	G-472
設計年月	令和7年3月		

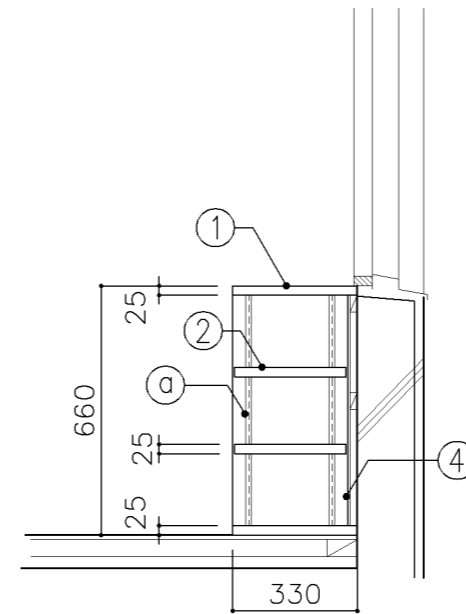
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸法
W 1,720 x D 330 x H 660

使用箇所
図書室（小学校）

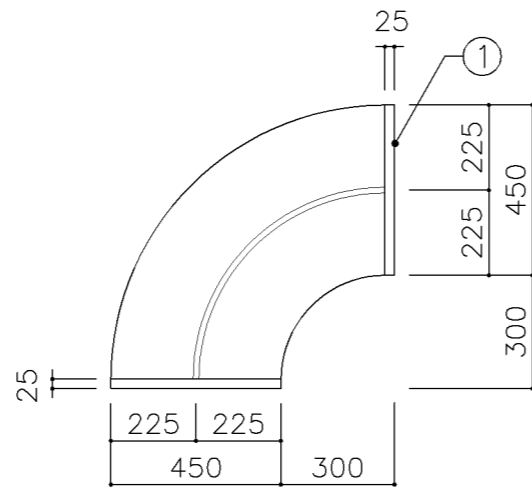
仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	B-1	しな合板	UC
②	可動棚	B-1	しな合板	UC
③	中仕切	B-1	しな合板	UC
④	裏板	片A-1	しな合板	UC

金物	
番号	使用箇所 名称
Ⓐ	可動棚 ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
Ⓑ	カード差し 塩化ビニール製

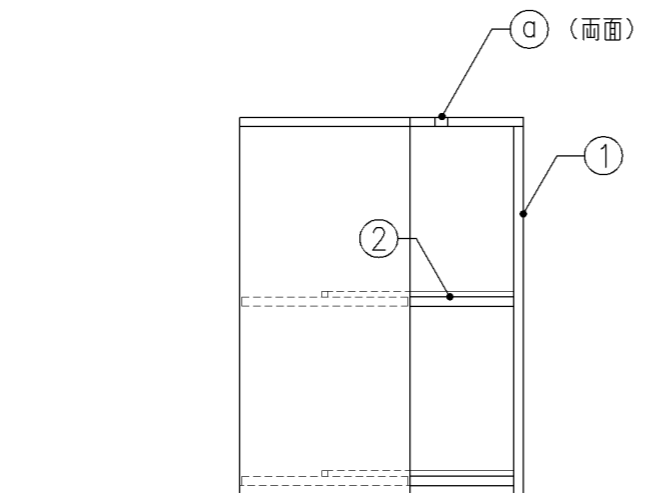
特記事項

- ・木口の形状については、G-400より選定する。
- ・見掛け部はUC仕上とする。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

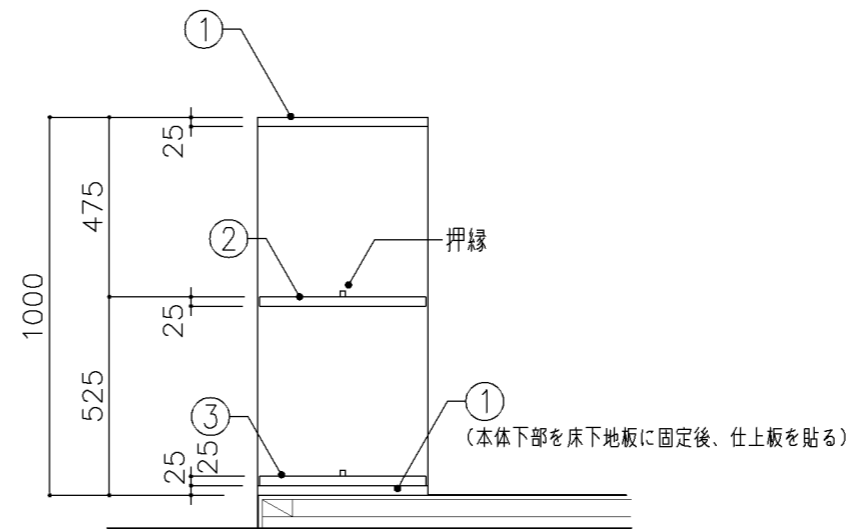
名称	書架		
縮尺	1/20	記号	G-473
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



平面図



正面図



断面図

寸法
W 750 x D 450 x H 1,000

使用箇所
図書室(小学校)

仕様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	天板	B-1	しな合板	UC
②	棚板	B-1	しな合板	UC
③	仕上板	A-1	しな合板	UC

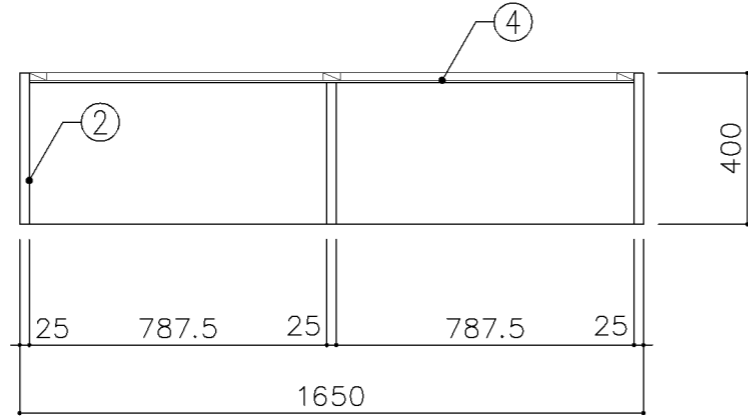
金物

番号	使用箇所	名称
①	カード差し	塩化ビニール製

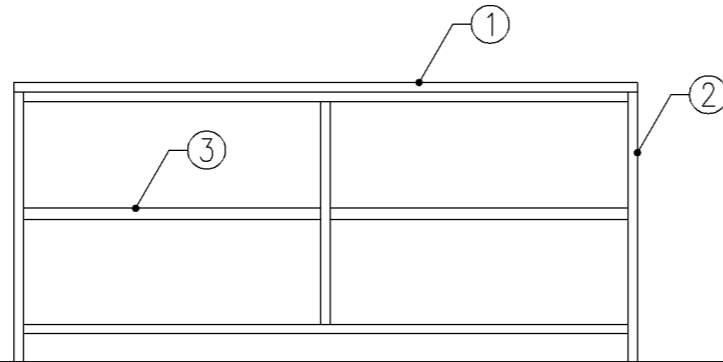
特記事項

- ・木口の形状については、G-400より選定する。
- ・見掛け部はUC仕上とする。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

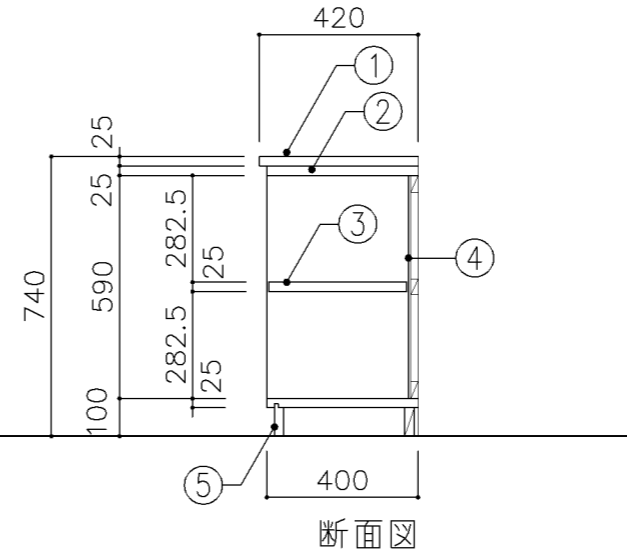
名称	自立書架		
縮尺	1/20	記号	G-475
設計年月	令和7年3月		
横浜市建築局			



平面図



正面図



断面図

寸 法
W1,650 x D 400 x H 740

使用箇所

普通教室（小学校）

仕 様

番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	天板		ア25タモ集成材	UC
②	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	棚板	A-1	ポリエステル化粧合板	
④	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
⑤	巾木	B-1	ポリエステル化粧合板	

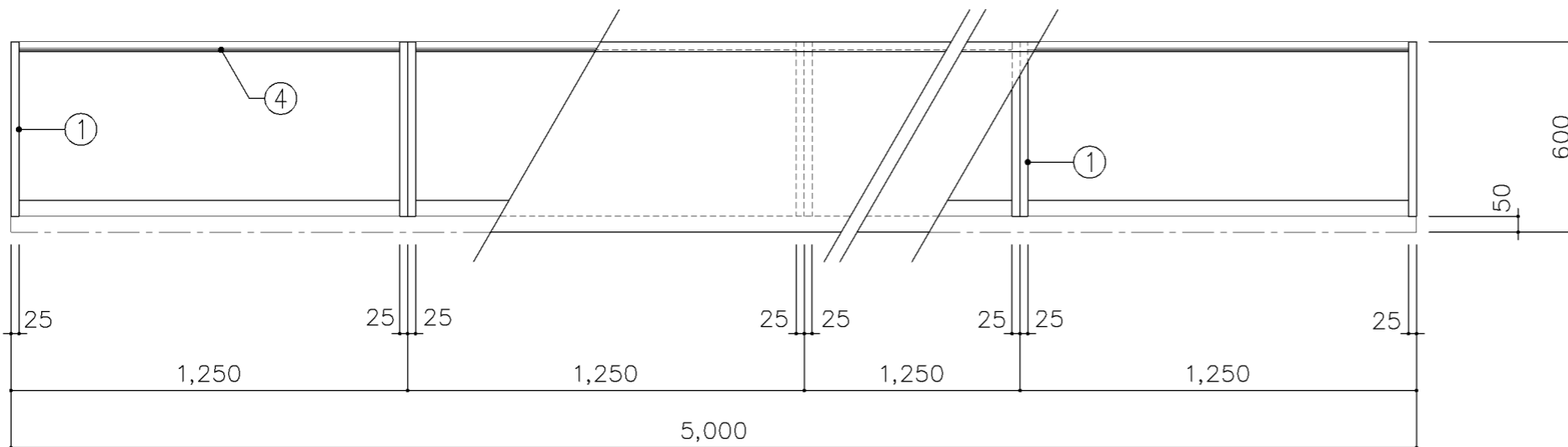
金 物

番号	使用箇所	名 称

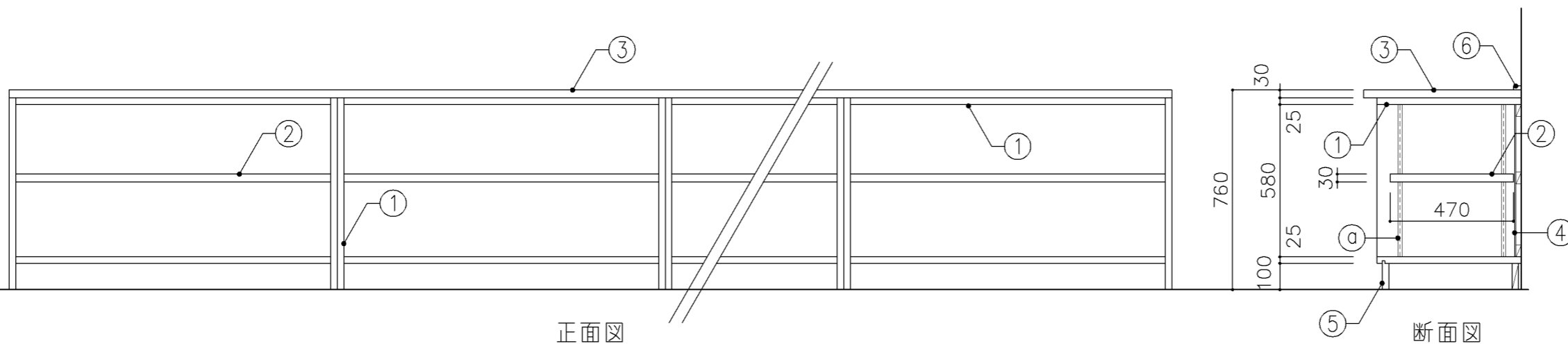
特記事項

- ・木口の形状については、G-400より選定する。
- ・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- ・天板はUC仕上とする。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	観察台		
縮尺	1/20	記号	G-480
設計年月	令和7年3月		
横浜市建築局			



平面図



正面図

断面図

寸法
W5,000 x D 600 x H 760

使用箇所
家庭科教室（中学校）

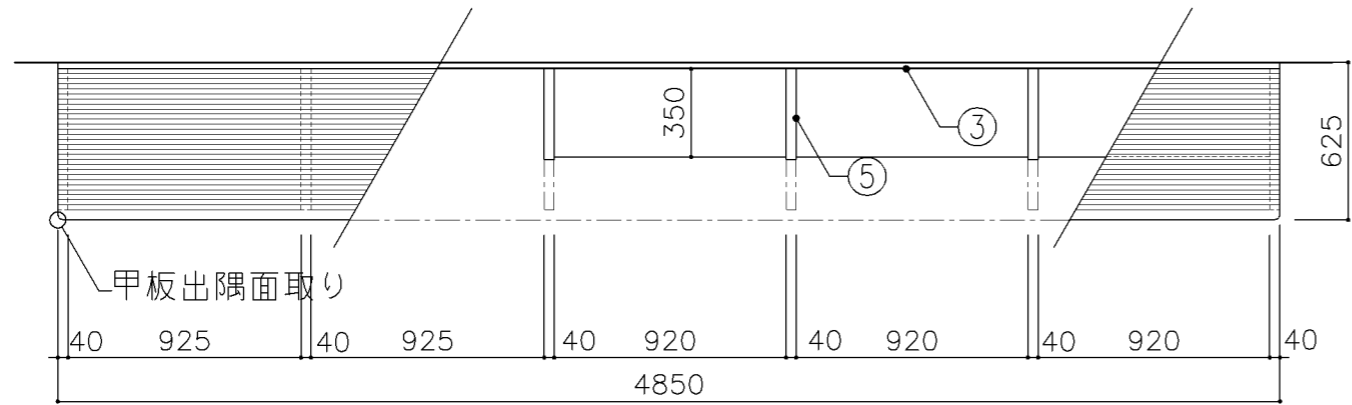
仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	天板	B-1	メラミン化粧板	
④	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
⑤	巾木	B-1	ポリエステル化粧合板	
⑥	雑巾摺		ラワン	UC

金物	
番号	使用箇所 名称
①	可動棚 ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）

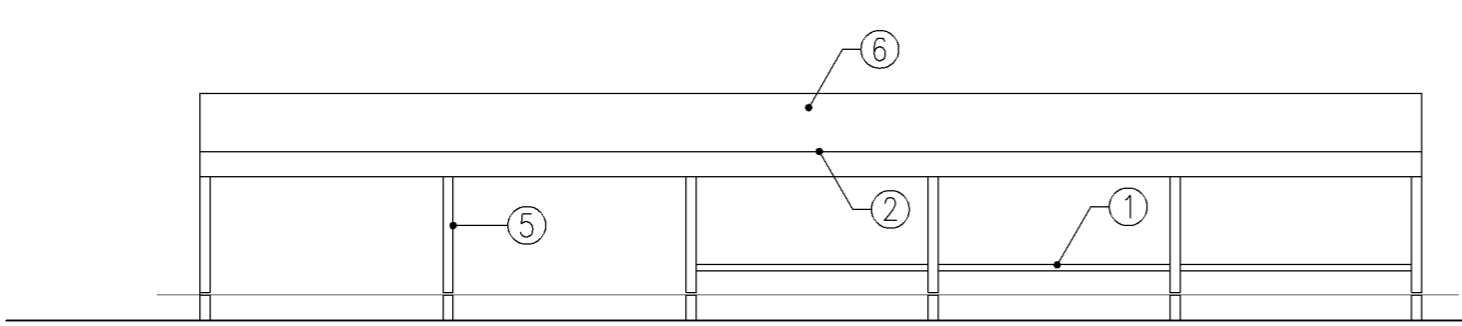
特記事項

- ・木口の形状については、G-400より選定する。
- ・見掛けり部はポリエステル化粧合板とする。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

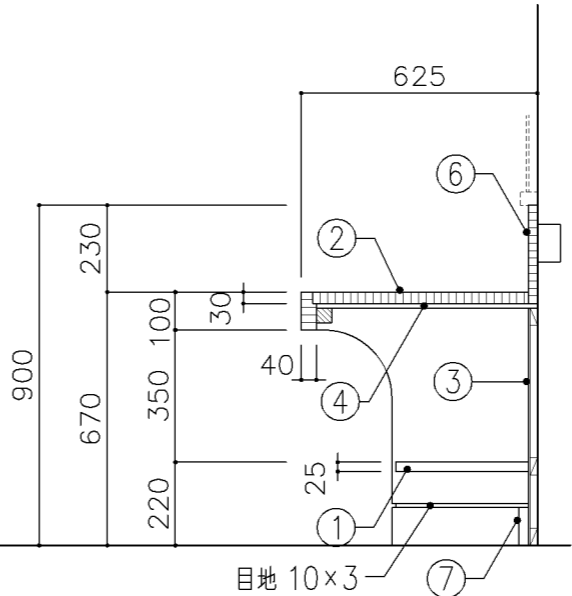
名称	作業台		
縮尺	1/20	記号	G-481
設計年月	令和7年3月		
横浜市建築局			



平面図 S: 1/30



正面図 S: 1/30



正面図 S: 1/20

寸法	
W4,850 x D 625 x H 670	
使用箇所	
図画工作教室	

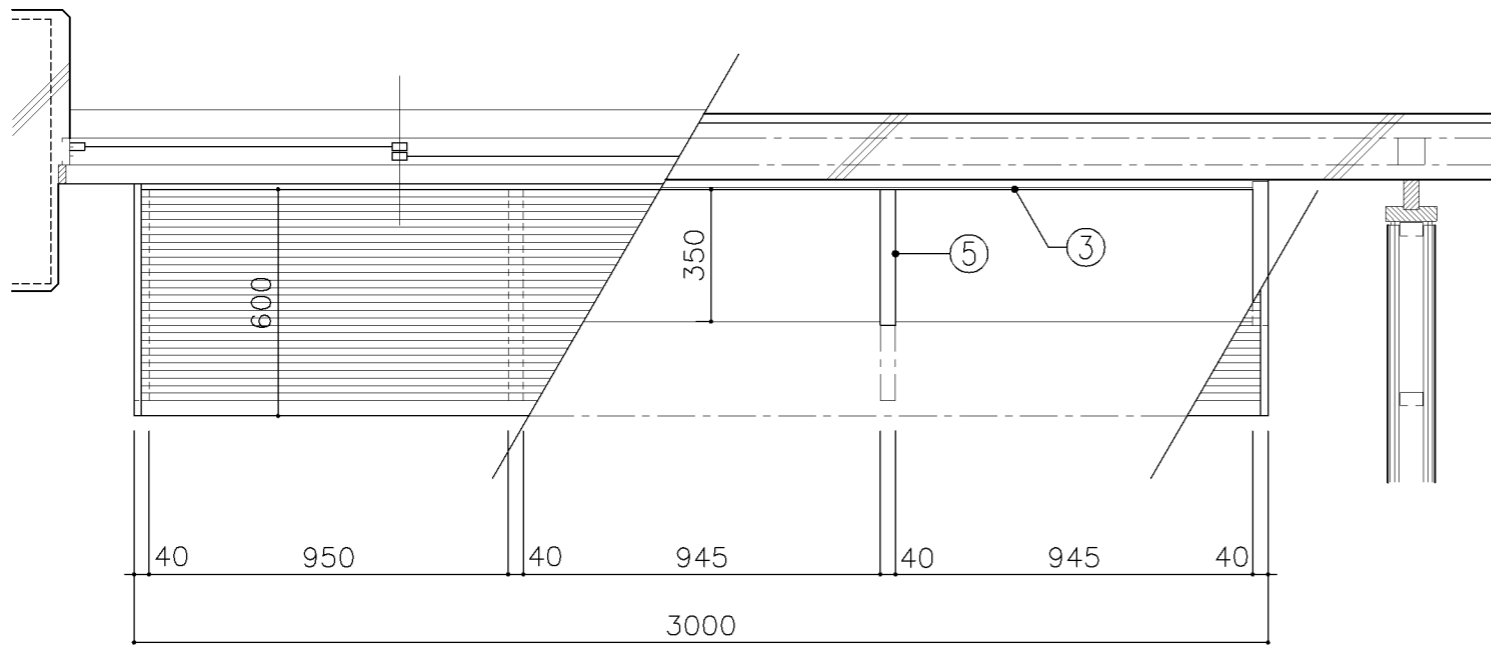
仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	棚板	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	天板		φ30 ナラ集成材	OS,UC
③	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
④	下地板		φ12 ラワン合板	
⑤	脚	B-1	ポリエステル化粧合板	
⑥	立上り		φ20 ナラ集成材	OS,UC
⑦	巾木	A-1	ポリエステル化粧合板	

金物		
番号	使用箇所	名称

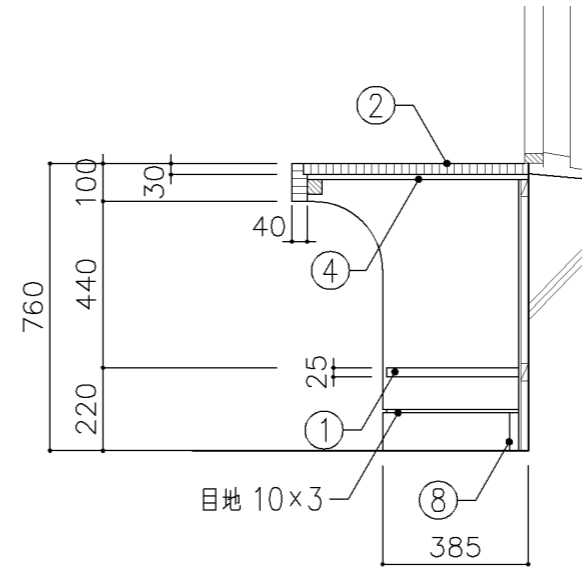
特記事項

- ・木口の形状については、G-400より選定する。
- ・立上り部にコンセント4ヶ所設置
(電気工事)
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

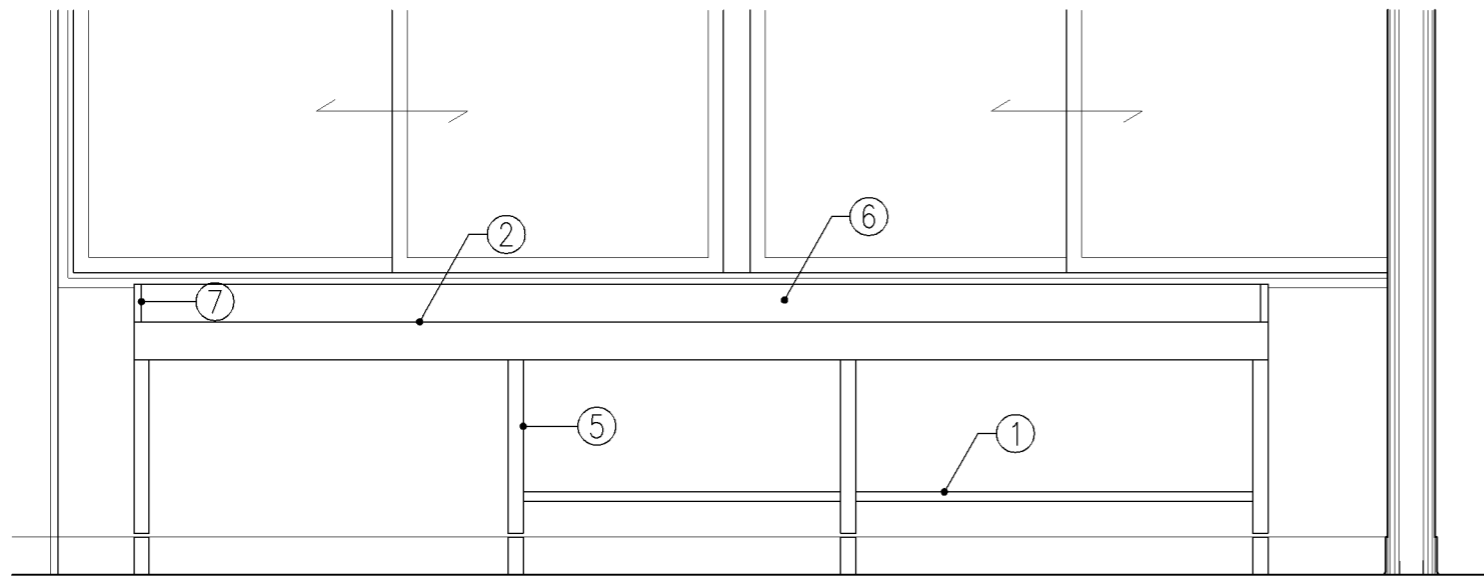
名称	作業台		
縮尺	1/20 1/30	記号	G-482
設計年月	令和7年3月		
横浜市建築局			



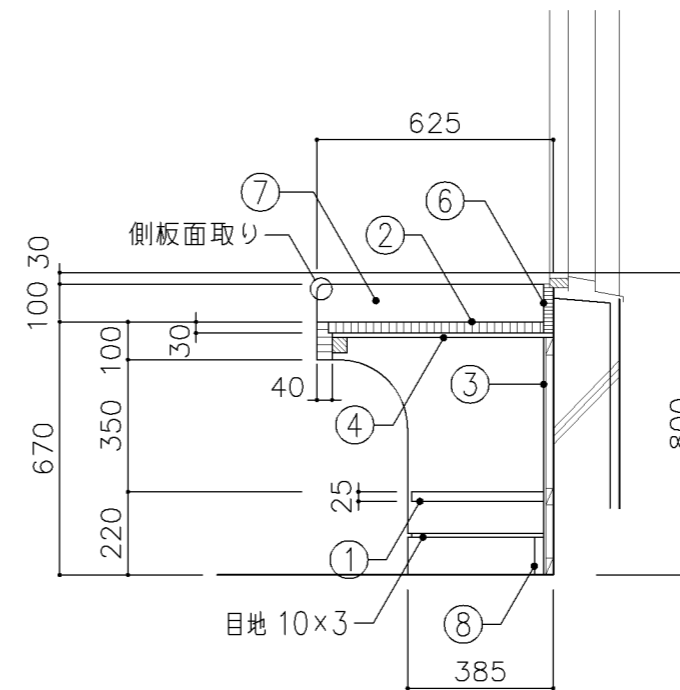
平面図



断面図（Bタイプ）

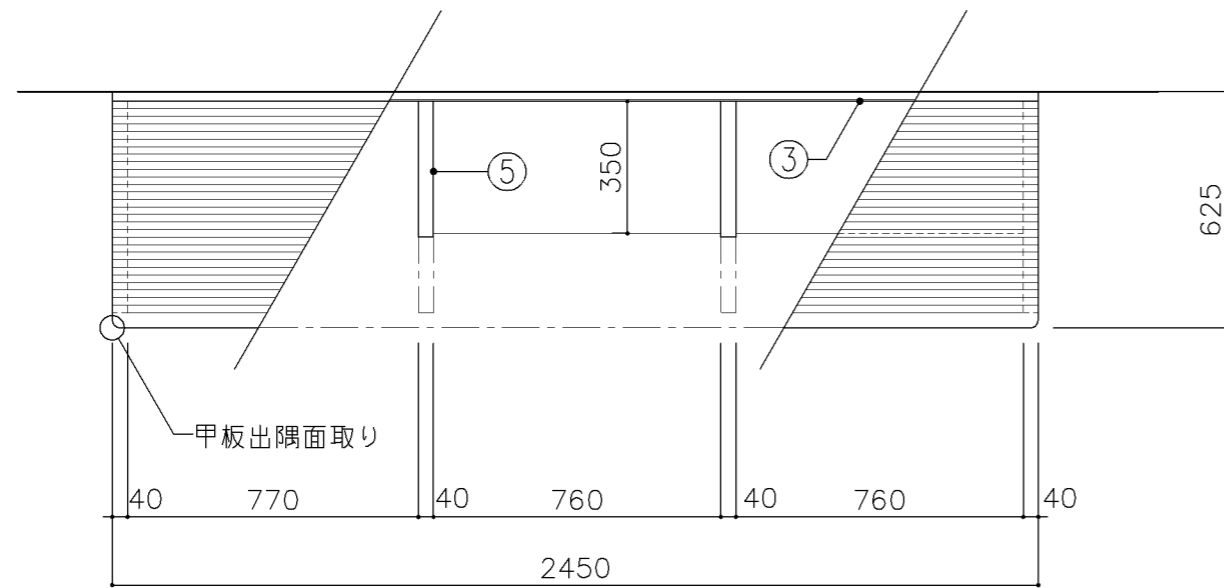


正面図

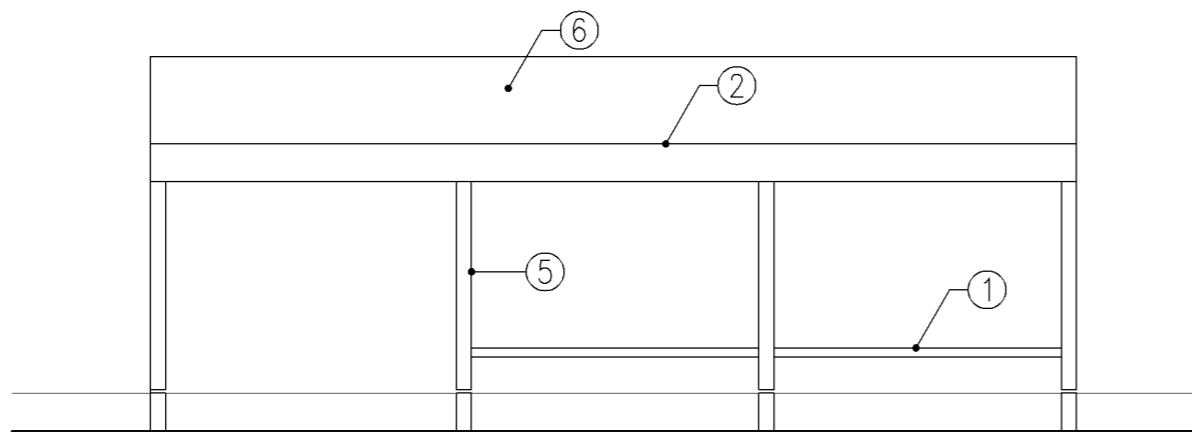


断面図（Aタイプ）

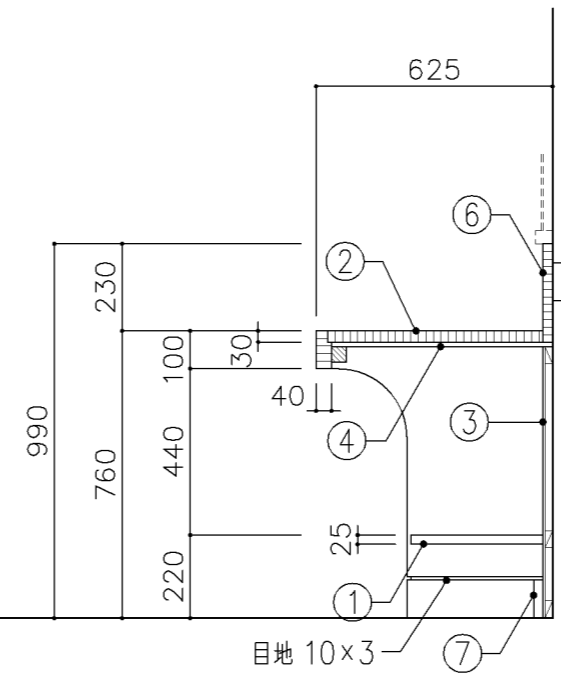
寸法				
A: W3,000 x D 625 x H 670				
B: W3,000 x D 625 x H 760				
使用箇所				
A: 図画工作教室				
B: 美術教室				
仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	棚板	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	天板		φ30 ナラ集成材	OS,UC
③	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
④	下地板		φ12 ラワン合板	
⑤	脚	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑥	立上り		φ20 ナラ集成材	OS,UC
⑦	側板		φ20 ナラ集成材	OS,UC
⑧	巾木	A-1	ポリエステル化粧合板	
金物				
番号	使用箇所	名称		
特記事項				
・ 木口の形状については、G-400より選定する。				
・ 芯材は、国産杉芯合板とする。				
名称	窓下作業台			
縮尺	1/20	記号	G-483	
設計年月			令和7年3月	
横浜市建築局				



平面図



正面図



断面図

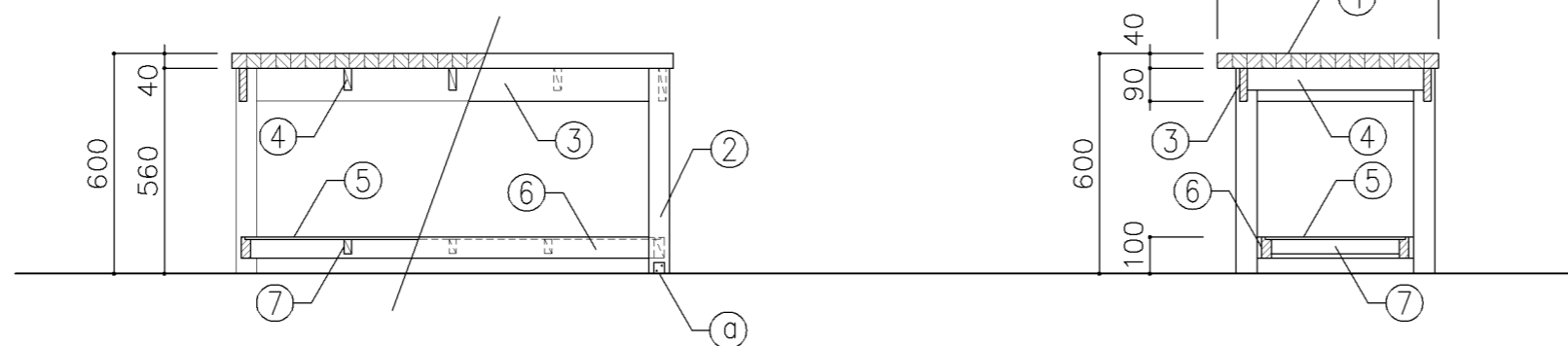
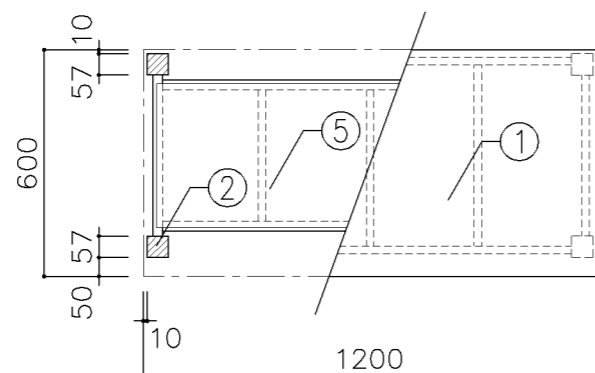
寸法	
W2,450 x D 625 x H 760	
使用箇所	
美術教室	

仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	棚板	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	天板		φ30 ナラ集成材	OS,UC
③	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
④	下地板		φ12 ラワン合板	
⑤	脚	B-1	ポリエステル化粧合板	
⑥	立上り		φ20 ナラ集成材	OS,UC
⑦	巾木	A-1	ポリエステル化粧合板	

金物		
番号	使用箇所	名称

特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・木口の形状については、G-400より選定する。 ・立上り部にコンセント設置（電気工事） ・芯材は、国産杉芯合板とする。 	

名称	作業台		
縮尺	1/20	記号	G-484
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



寸 法	
W1,200 × D 600 × H 600	
使用箇所	
技術教室	

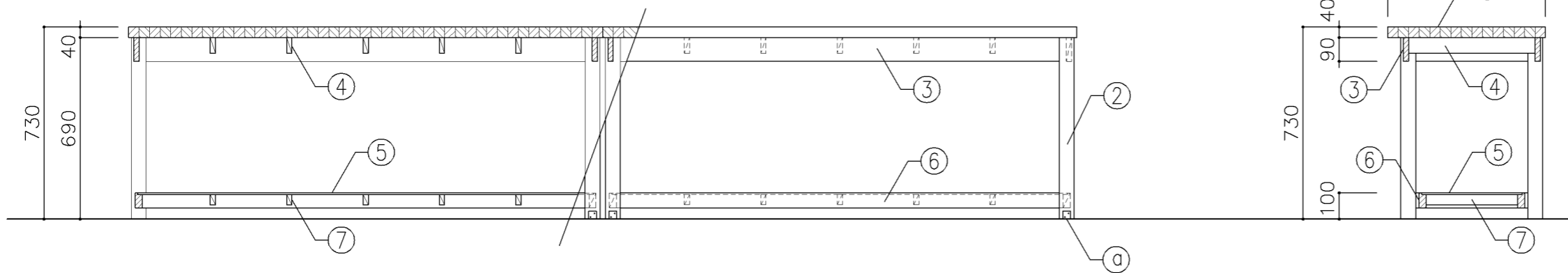
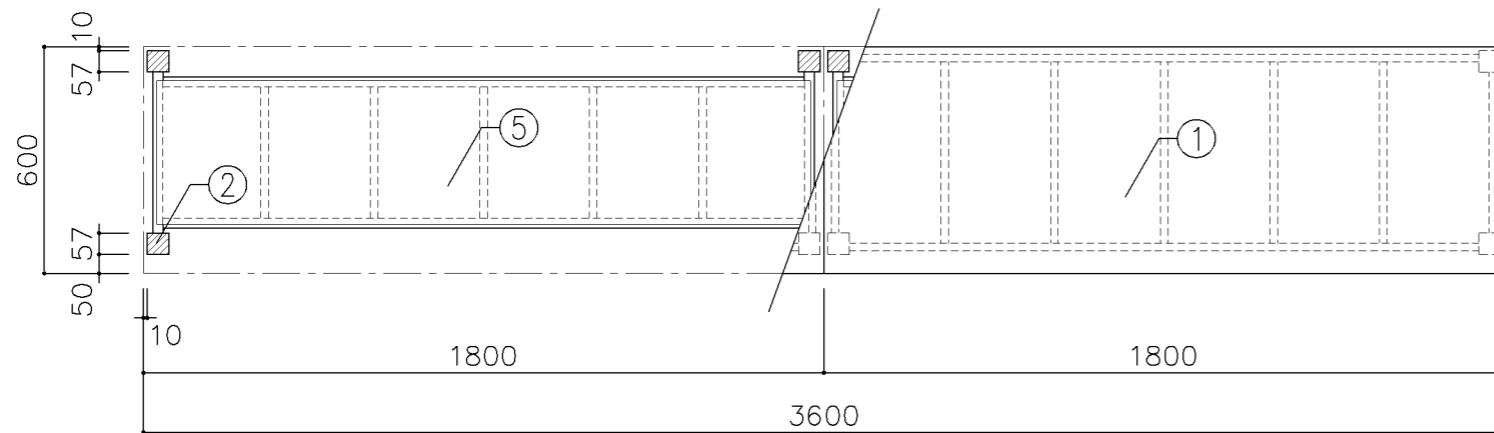
仕 様				
番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	天板		φ 40 タモ・ナラ集成材	NOS
②	脚		57×57 タモ・ナラ材	NOS
③	幕板		20×90 タモ・ナラ材	NOS
④	根太		20×60 国産間伐材	NOS
⑤	棚板		φ 5.5 ラフソ合板	NOS
⑥	棚受け		27×57 タモ・ナラ材	NOS
⑦	根太		20×40 国産間伐材	NOS

金 物		
番号	使用箇所	名 称
ⓐ	脚	床固定金具

特記事項	
・NOS仕上とする。	

名称	ボール盤・帯のご盤台		
縮尺	1/20	記号	G-485
設計年月	令和7年3月		

横浜市建築局



寸 法
W3,600 × D 600 × H 730

使用箇所

技術教室

仕 様

番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	天板		φ40 タモ・ナラ集成材	NOS
②	脚		57×57 タモ・ナラ材	NOS
③	幕板		20×90 タモ・ナラ材	NOS
④	根太		20×60 国産闊伐材	NOS
⑤	棚板		φ5.5 ラフソ合板	NOS
⑥	棚受け		27×57 タモ・ナラ材	NOS
⑦	根太		20×40 国産闊伐材	NOS

金 物

番号 使用箇所 名称

① 脚 床固定金具

特記事項

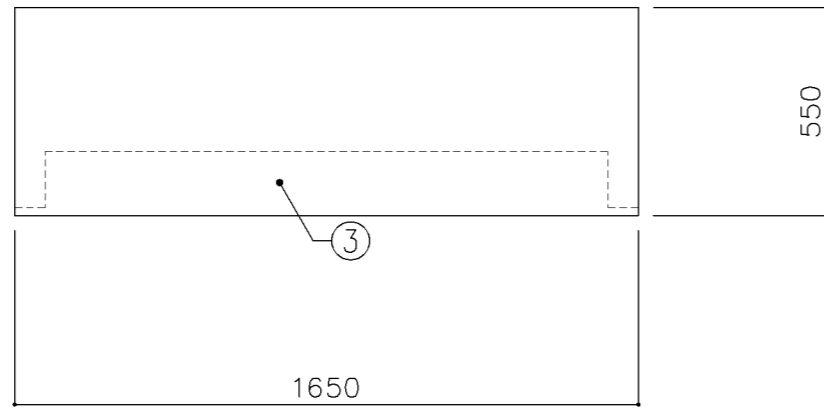
・NOS仕上とする。

名称 糸鋸台

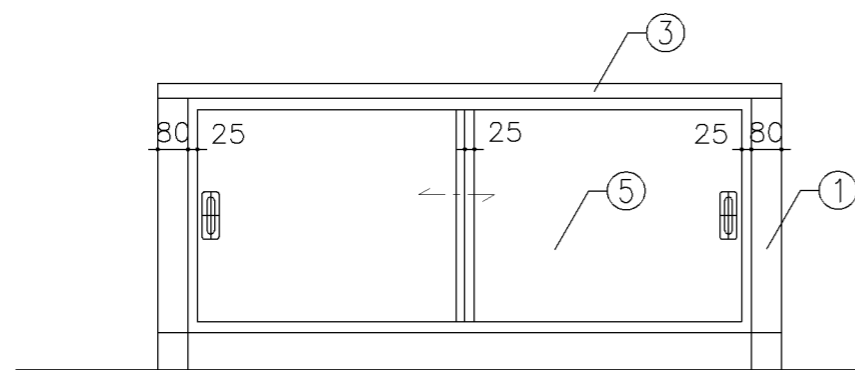
縮尺 1/20 記号 G-486

設計年月 令和7年3月

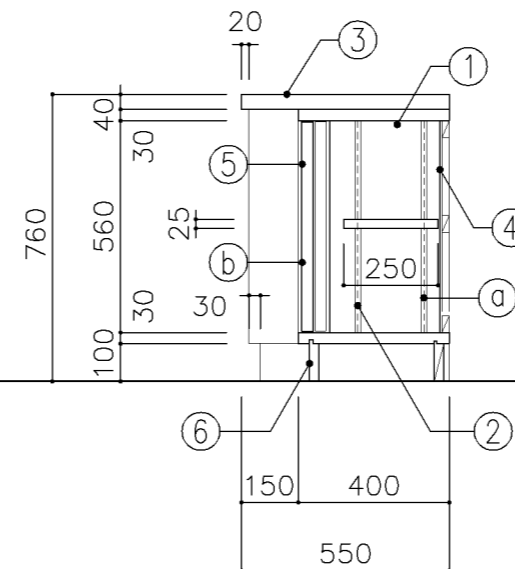
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸法	
W	1,650 x D 550 x H 760

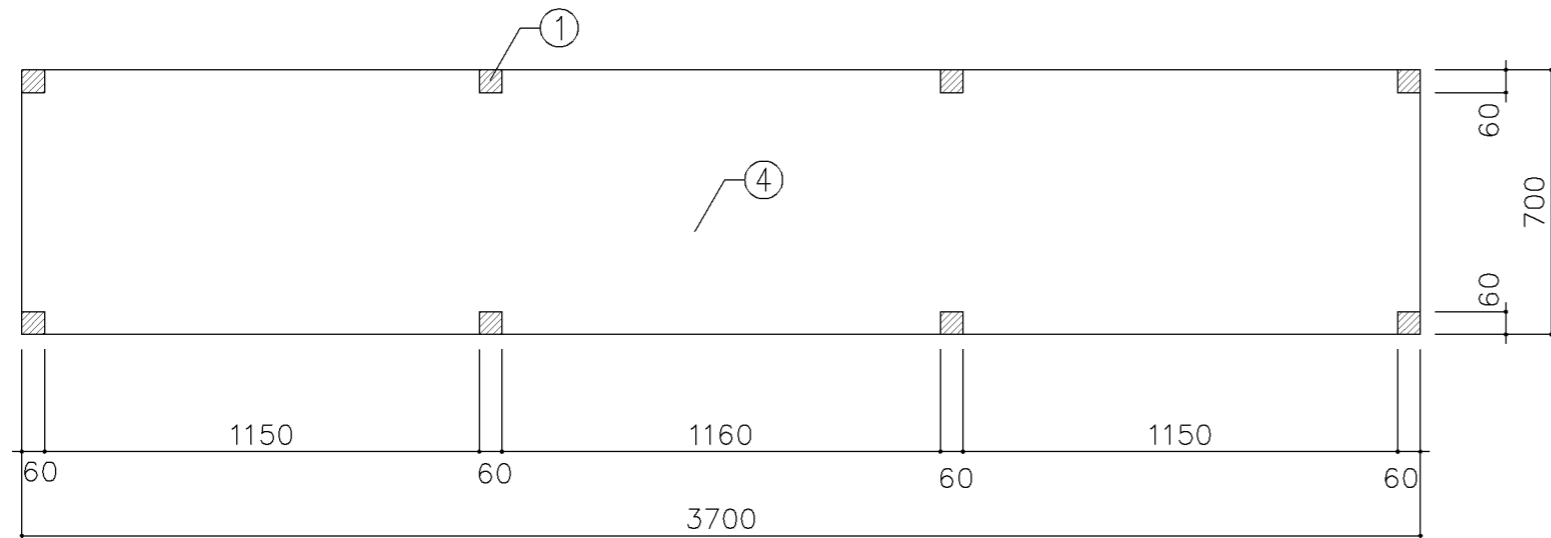
使用箇所	
技術教室、技術準備室	

仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ラワン合板	OS,UC
②	可動棚	A-1	ラワン合板	OS,UC
③	天板		φ40タモ・ナラ集成材	OS,UC
④	裏板	片A-1	ラワン合板	OS,UC
⑤	引違戸	A-1	ラワン合板	OS,UC
⑥	巾木	B-1	ラワン合板	OS,UC

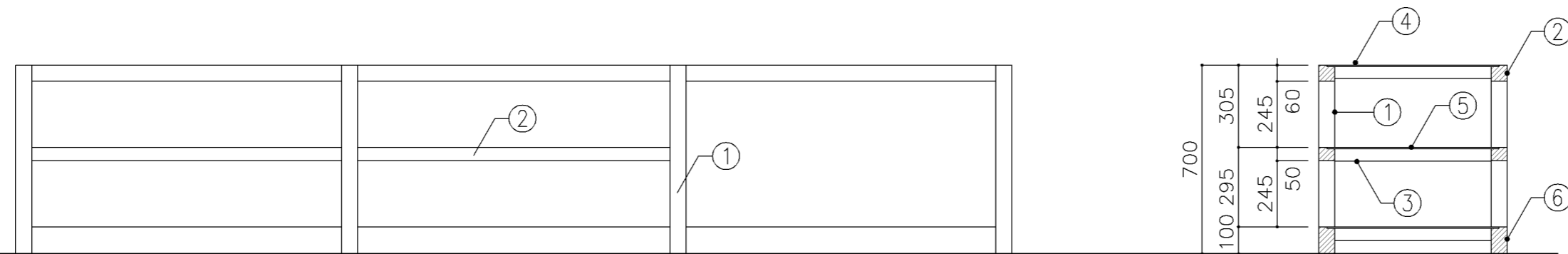
金物		
番号	使用箇所	名称
Ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱 (番号入り)
Ⓑ	引違戸	シリンダー栓錠、国産材掘込引手

特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・木口の形状については、G-400より選定する。 ・引違戸の厚みは、30mmを原則とする。 ・芯材は、国産杉芯合板とする。 	

名称	作業台 (収納付)		
縮尺	1/20	記号	G-487
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



平面図



断面図

寸法
W 3,700 x D 700 x H 700

使用箇所

印刷室

仕様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	支柱		杉	OP
②	横材		杉	OP
③	根太		杉 45×45@400	OP
④	天板		ポリ合板 γ 4+FRP合板 γ 9	
⑤	棚板		しな合板 γ 9	OP
⑥	巾木		杉	OP

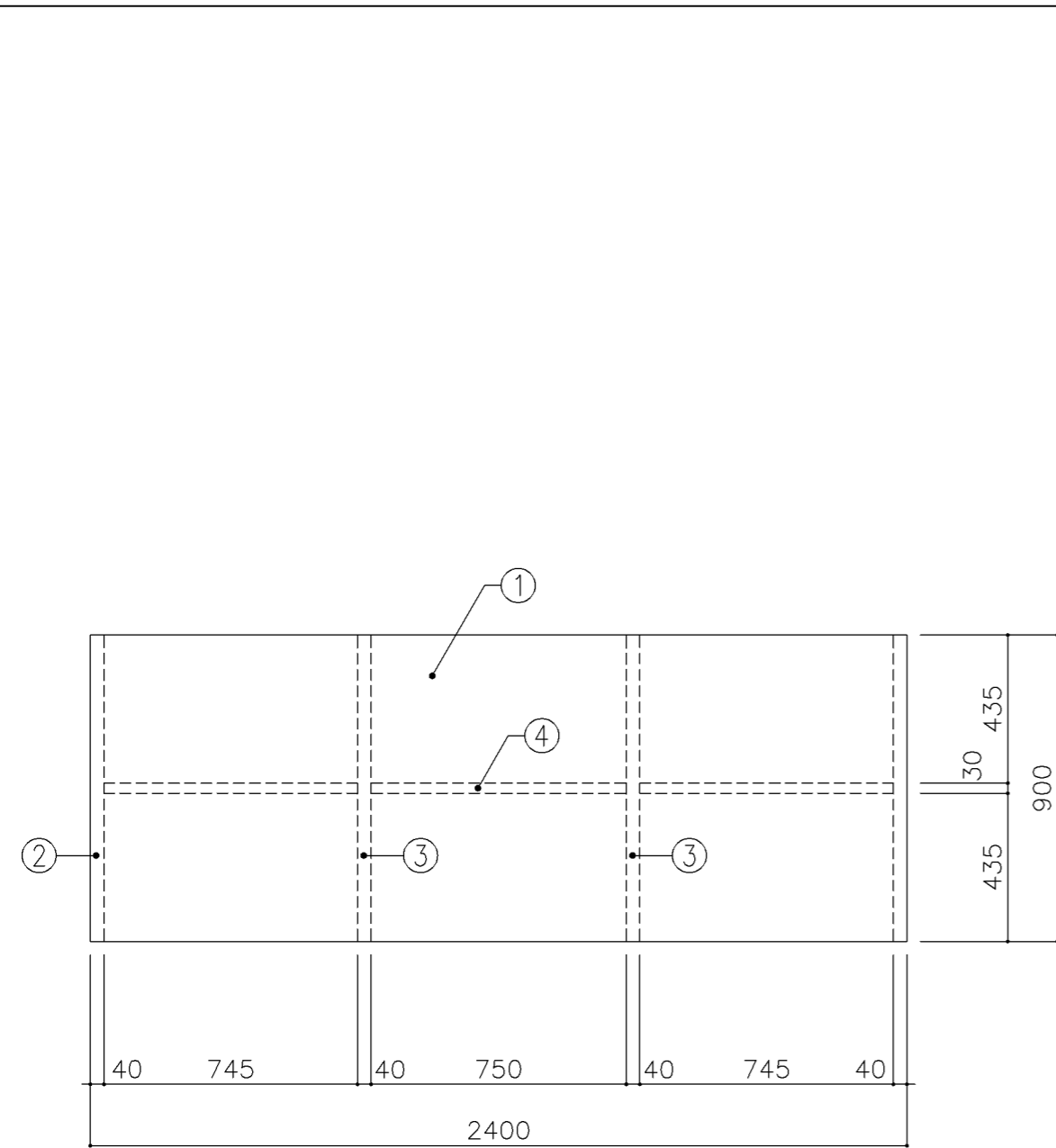
金物

番号 使用箇所 名称

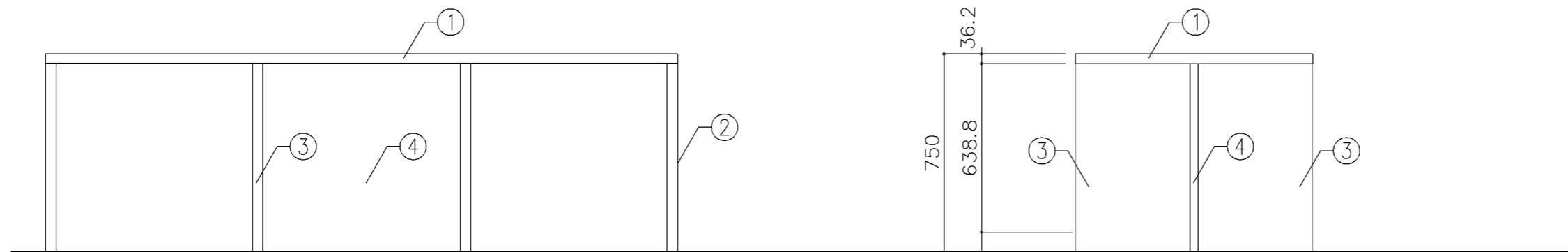
特記事項

名称	機械台		
縮尺	1/20	記号	G-488
設計年月	令和7年3月		

横浜市建築局

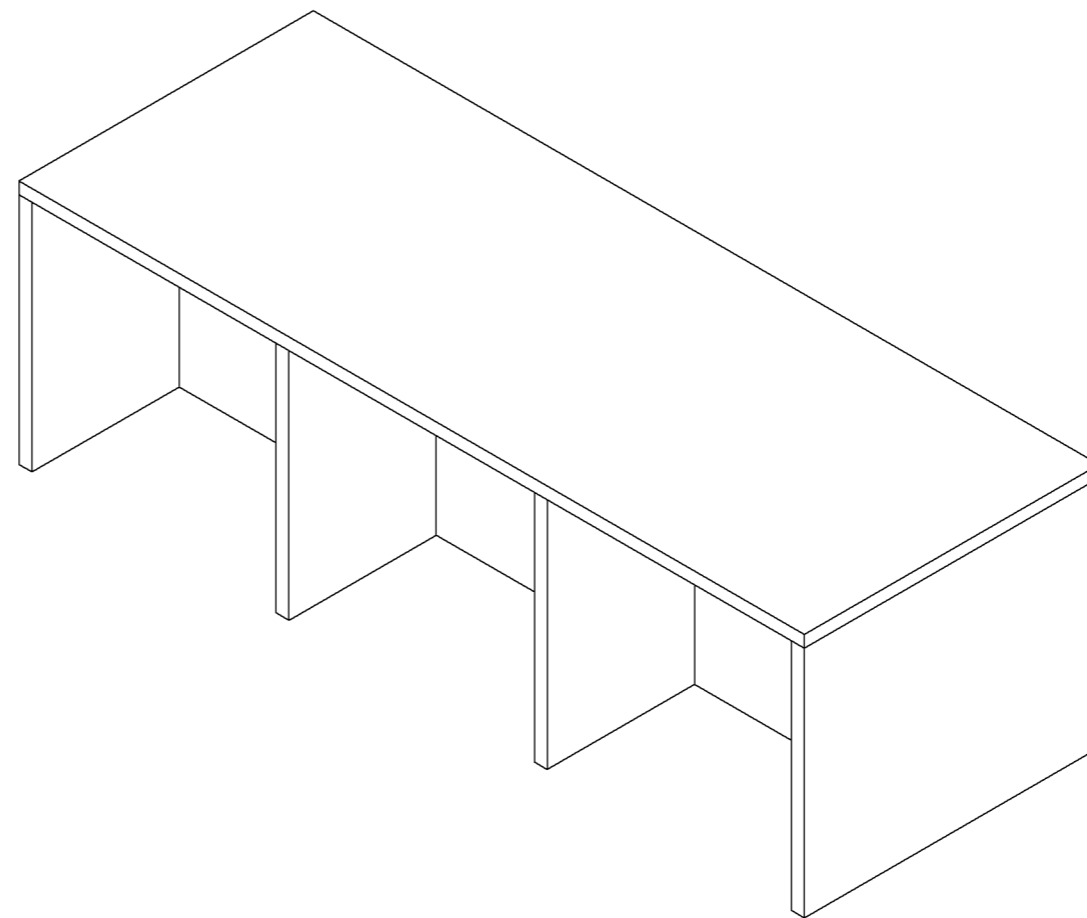


平面図



正面図

断面図



寸法		
W	D	H
2,400	900	750

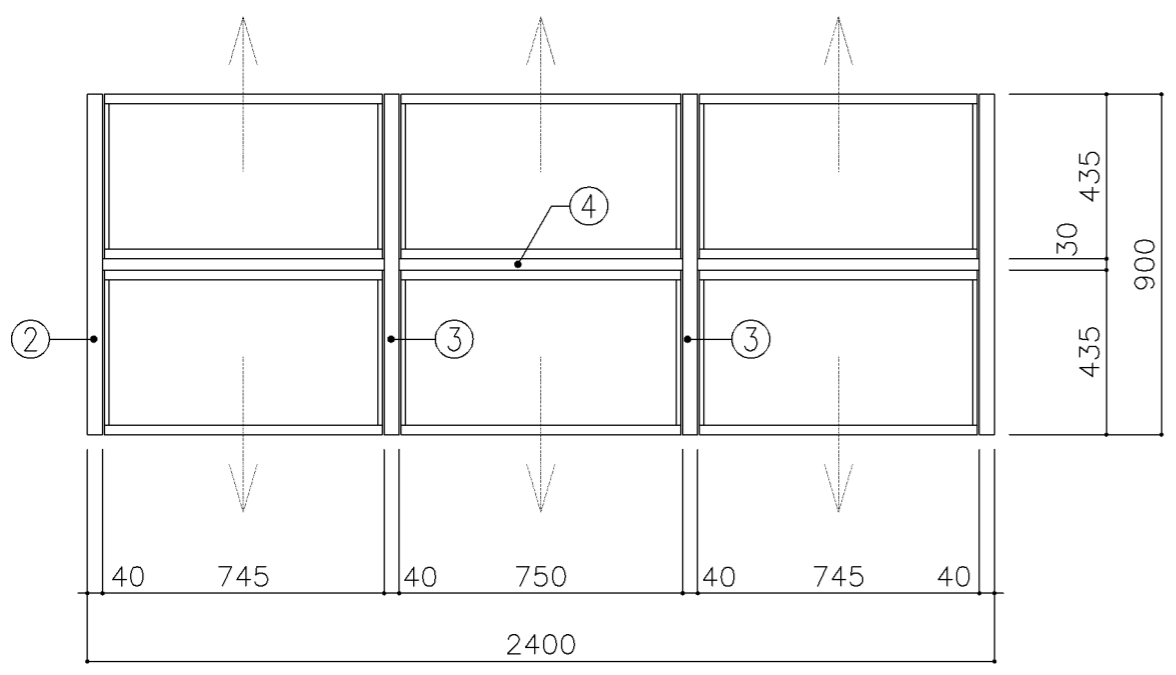
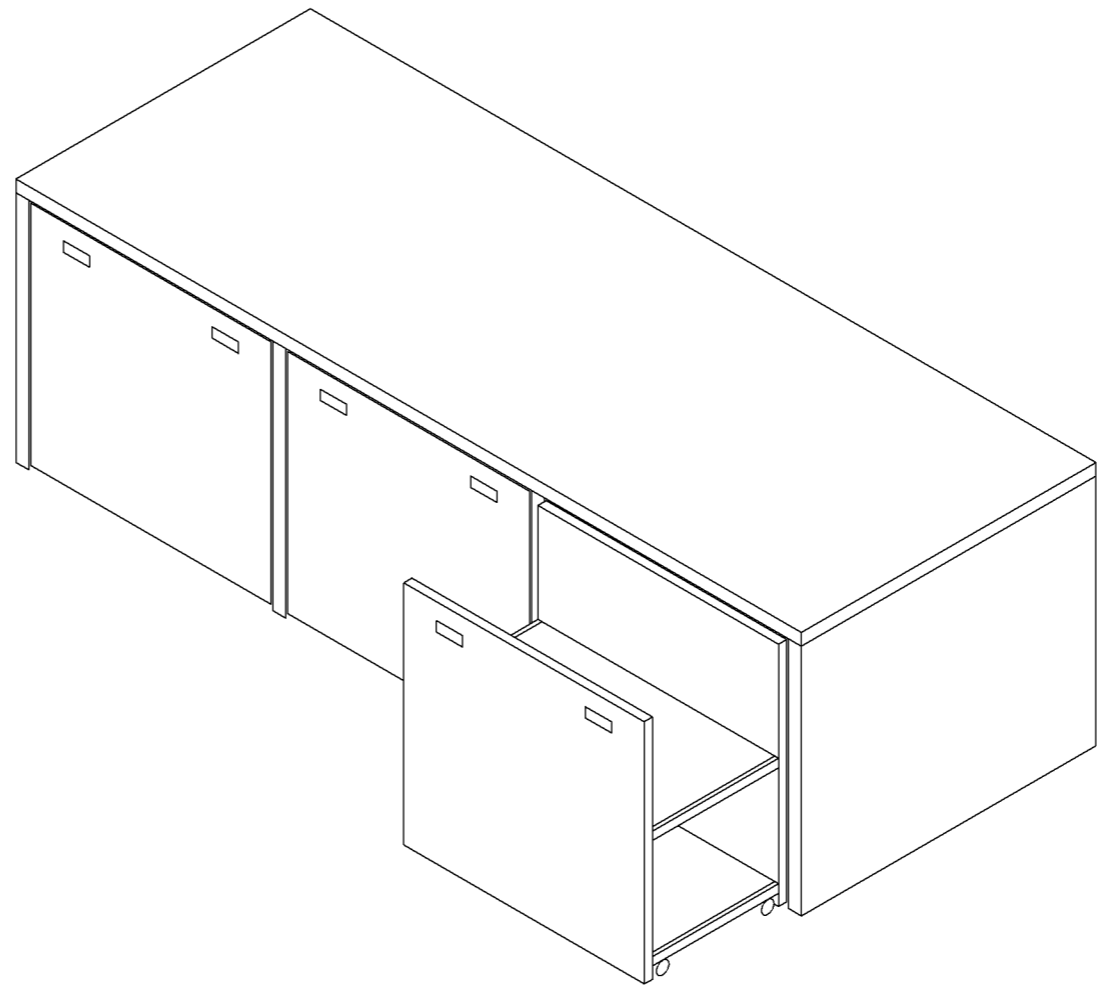
使用箇所		
技術員室 (小学校)		

仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	天板	B-1	メラミン化粧板	
②	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A-1	ポリエステル化粧合板	
④	中仕切	A-1	ポリエステル化粧合板	

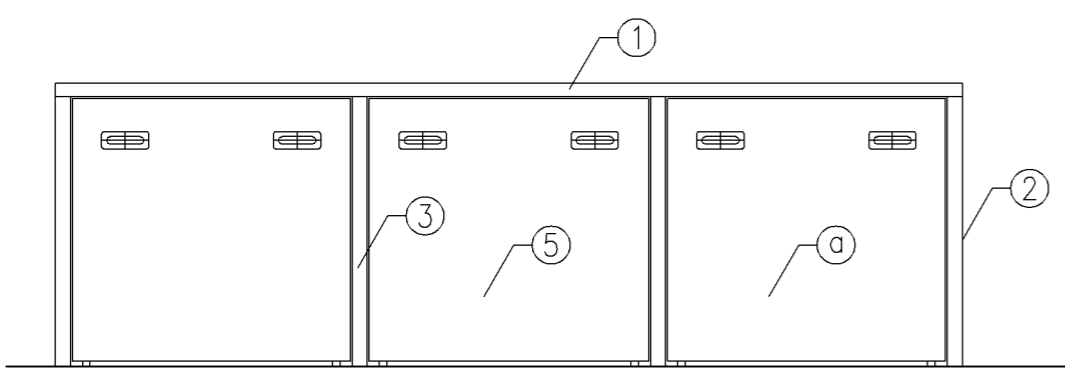
金物		名称	
番号	使用箇所	名称	

特記事項			
・木口の形状については、G-400より選定する。			
・芯材は、国産杉芯合板とする。			

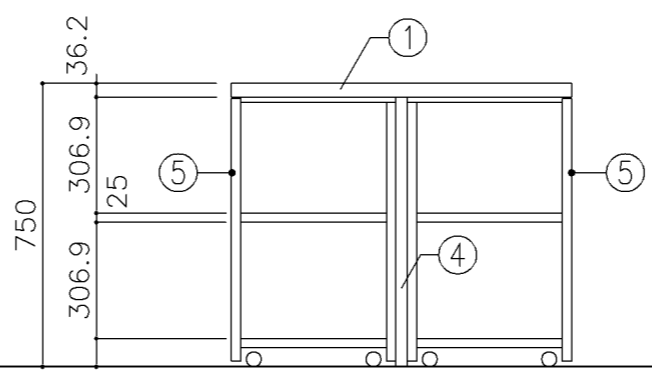
名称	作業机		
縮尺	1/20	記号	G-489A
設計年月	令和7年3月		
横浜市建築局			



平面図



正面図



断面図

寸法	
W	2,400 x D 900 x H 750

使用箇所	
技術員室 (中学校)	

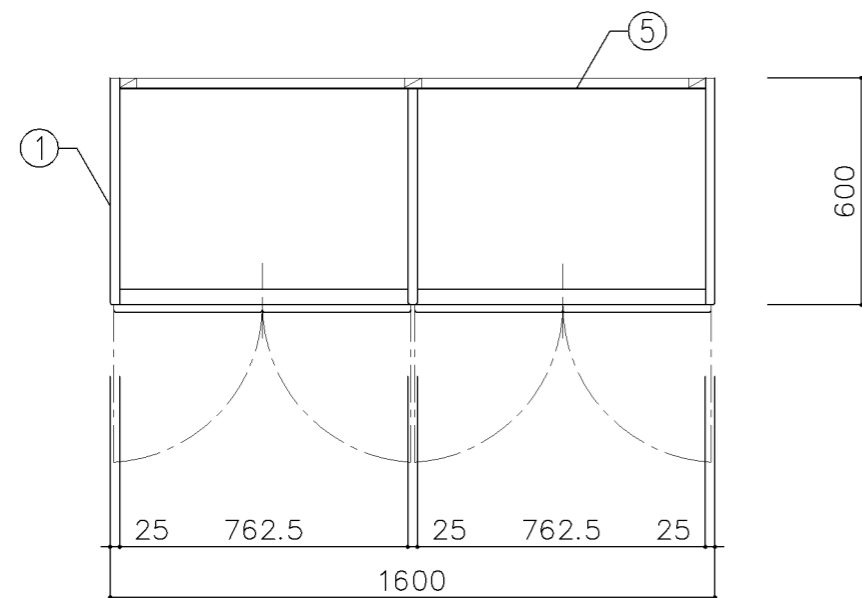
仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	天板	B-1	メラミン化粧板	
②	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A-1	ポリエステル化粧合板	
④	裏板	A-1	しな合板	
⑤	引出シ	A-1	ポリエステル化粧合板	

金物		
番号	使用箇所	名称
①	引出シ	国産材掘込引手、キャスター

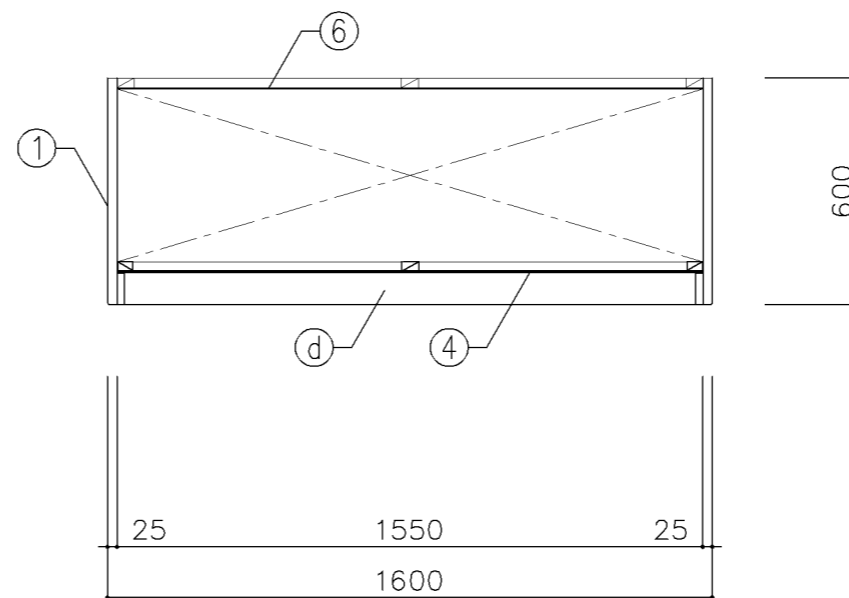
特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・木口の形状については、G-400より選定する。 ・芯材は、国産杉芯合板とする。 	

名称	作業机		
縮尺	1/20	記号	G-489B
設計年月	令和7年3月		

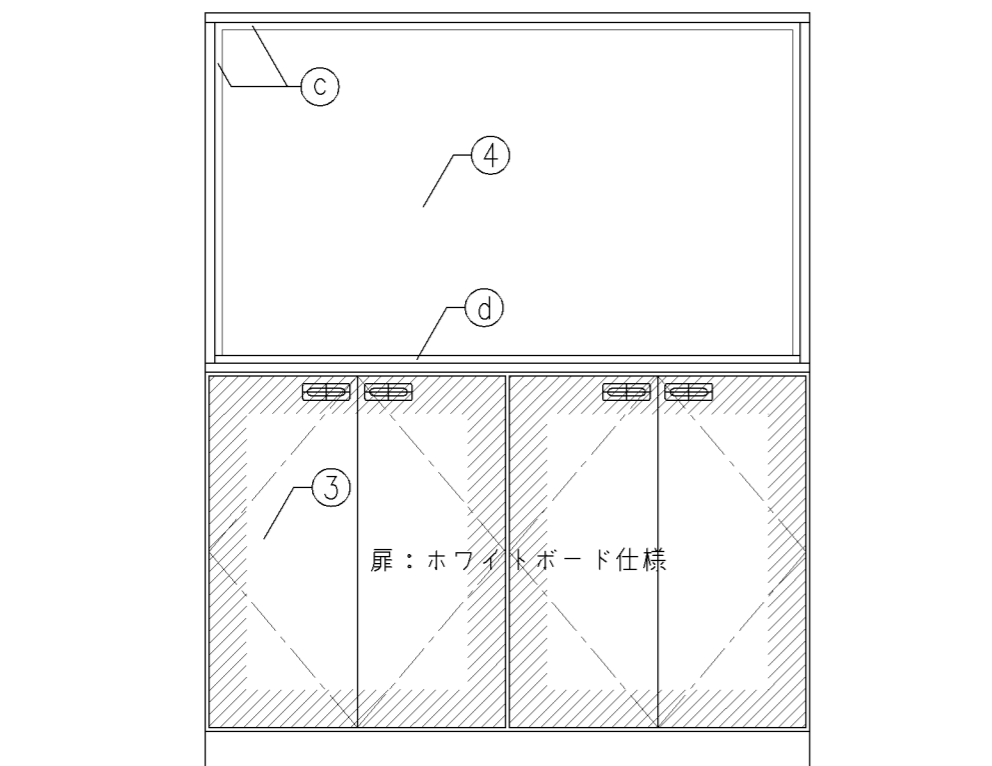
横浜市建築局



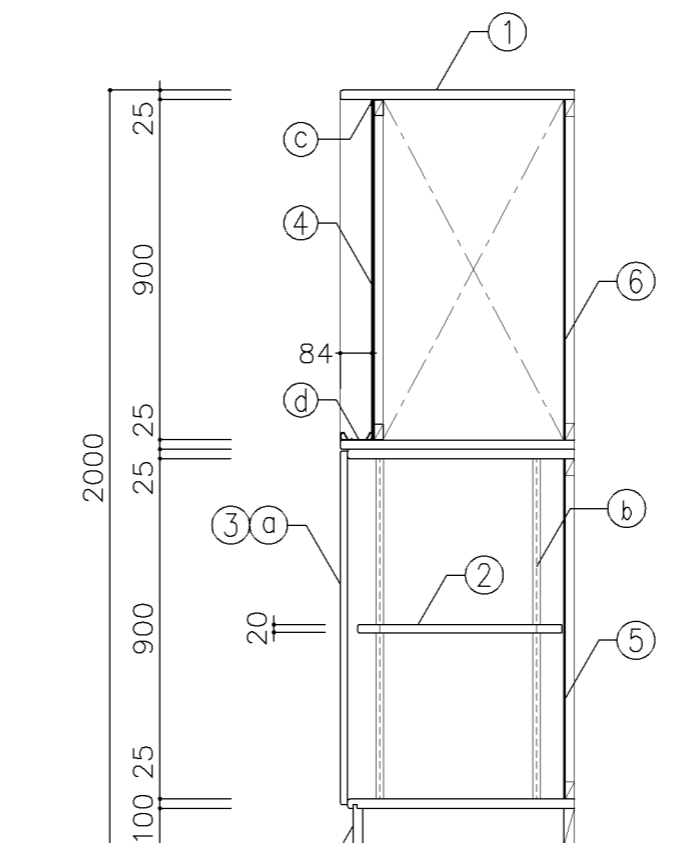
平面図



平面図



正面図



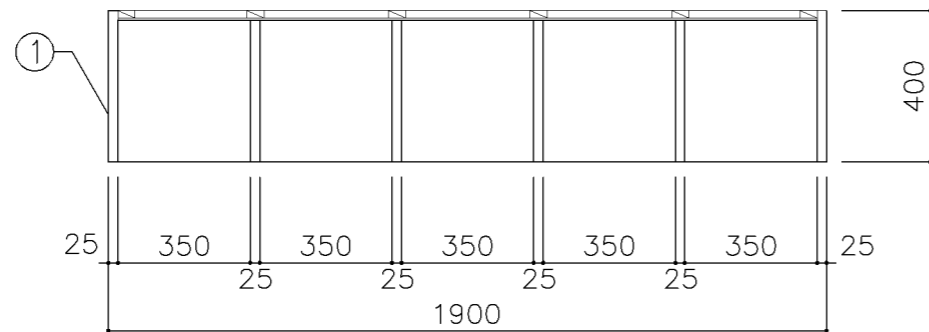
断面図

寸法				
W1,600 × D600 × H2,000				
使用箇所				
個別支援教室（第一・第二学習室）（小・中学校）				
仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	しな合板	UC
②	可動棚	A-1	しな合板	
③	扉	A-1	しな合板 ホワイトボード仕様	
④	黑板	片A-1	ラワン合板 スチールホーロー	
⑤	裏板	片A-1	しな合板	
⑥	裏板	片A-1	ラワン合板	
⑦	巾木	B-1	しな合板	UC

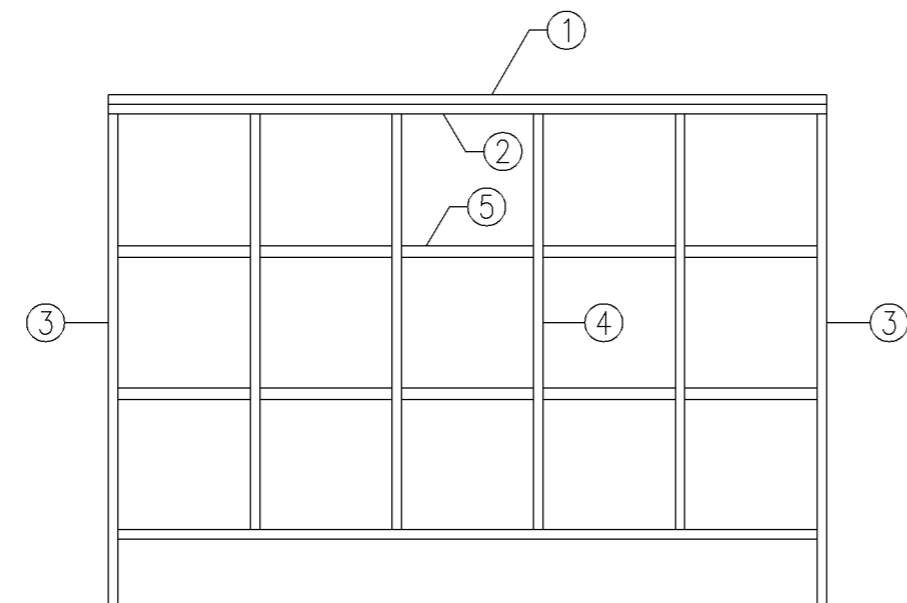
金物		
番号	使用箇所	名称
a	扉	スライド丁番、塩ビ製掘込引手（乳白色） 耐震ラッチ、面付シリンダー錠
b	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
c	枠	アルミ製
d	受枠	アルミ製（チョーク用）

特記事項	
・木口の形状については、G-400より選定する。	
・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。	
・フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。	
・扉の厚みは、20mmを原則とする。	
・芯材は、国産杉芯合板とする。	

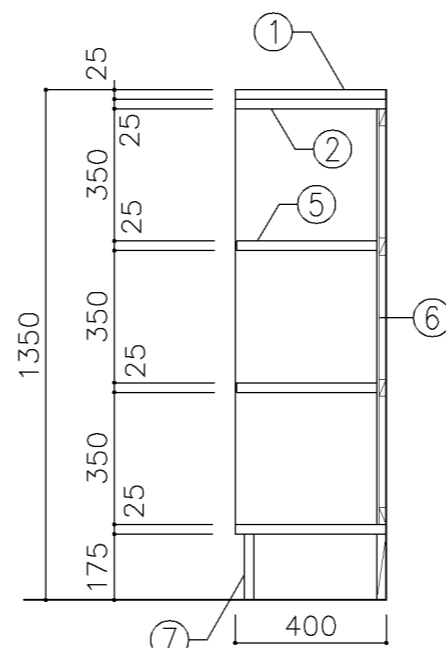
名称	黑板・収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G-490
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



平面図



正面図



断面図

寸 法	
W 1,900 x D 400 x H 1,350	
使用箇所	
児童更衣室	
普通教室(小学校)旧タイプ	

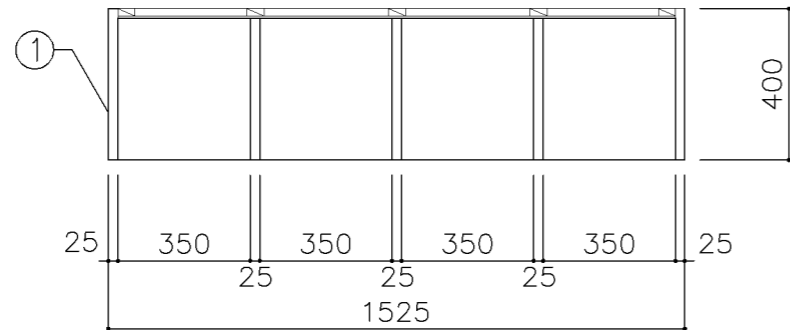
仕 様				
番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	天板		725 タモ集成材	UC
②	本体	A-1	しな合板	
③	本体	B-1	しな合板	UC
④	仕切板	B-1	しな合板	UC
⑤	棚板	B-1	しな合板	UC
⑥	裏板	片A-1	しな合板	UC
⑦	巾木	B-1	しな合板	UC

金 物	
番号	使用箇所

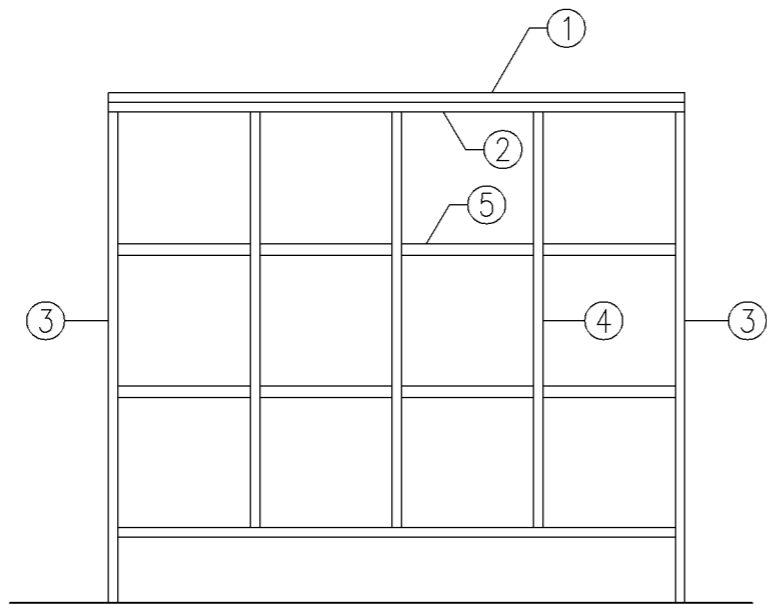
特記事項	
・木口の形状については、G-400より選定する。	
・見掛かり部はUC仕上とする。	
・芯材は、国産杉芯合板とする。	

名称	児童用ロッカー		
縮尺	1/20	記号	G-510A
設計年月		令和7年3月	

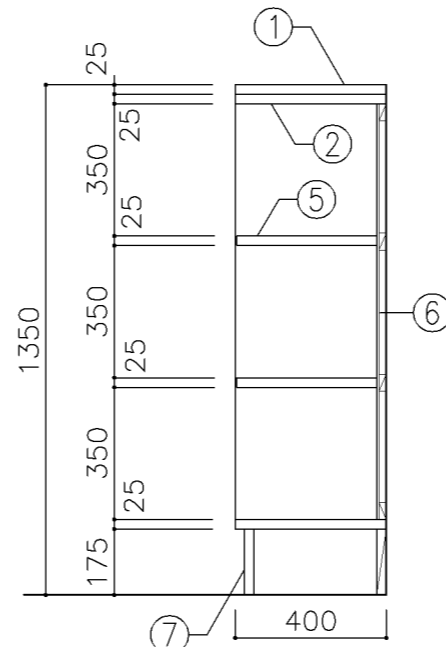
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸法
W 1,525 x D 400 x H 1,350

使用箇所
普通教室（小学校）旧タイプ

仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	天板		725 タモ集成材	UC
②	本体	A-1	しな合板	
③	本体	B-1	しな合板	UC
④	仕切板	B-1	しな合板	UC
⑤	棚板	B-1	しな合板	UC
⑥	裏板	片A-1	しな合板	UC
⑦	巾木	B-1	しな合板	UC

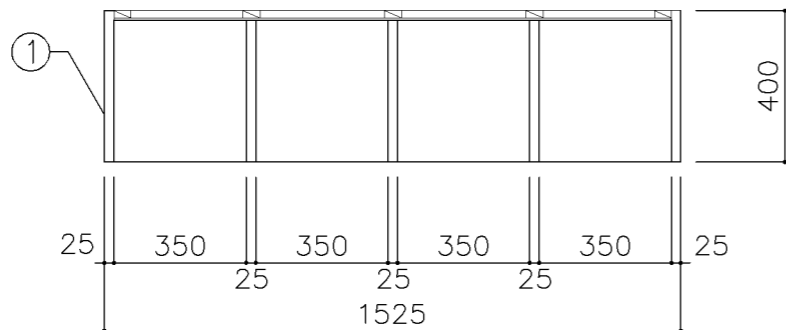
金物
番号 使用箇所 名称

番号	使用箇所	名称

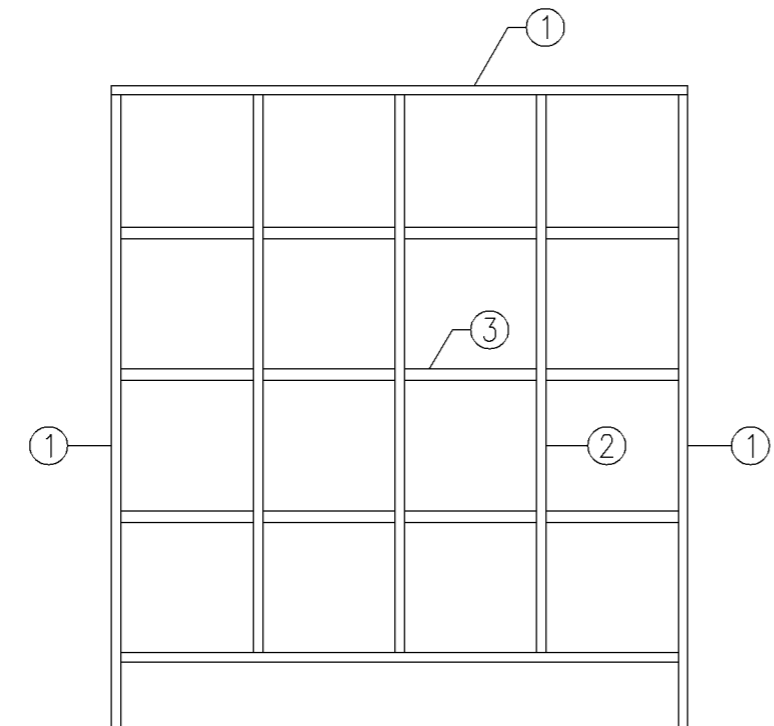
特記事項
 ・木口の形状については、G-400より選定する。
 ・見掛かり部はUC仕上とする。
 ・芯材は、国産杉芯合板とする。

名称 児童用ロッカー
 縮尺 1/20 記号 G-510B
 設計年月 令和7年3月

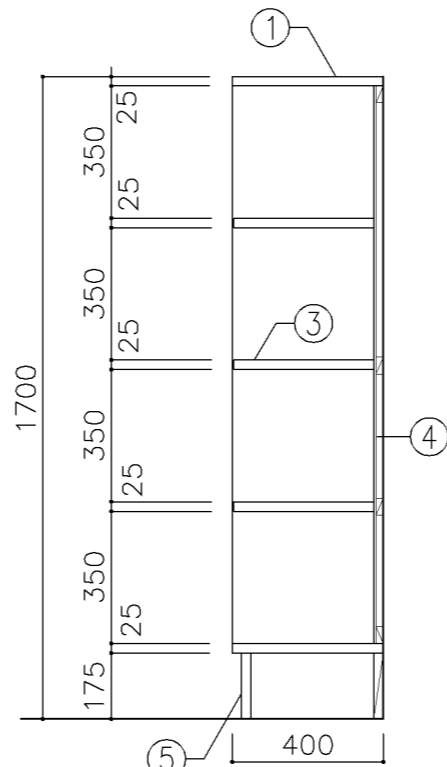
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸 法	
W 1,525 x D 400 x H 1,700	
使用箇所	
特別支援教室（小学校）	

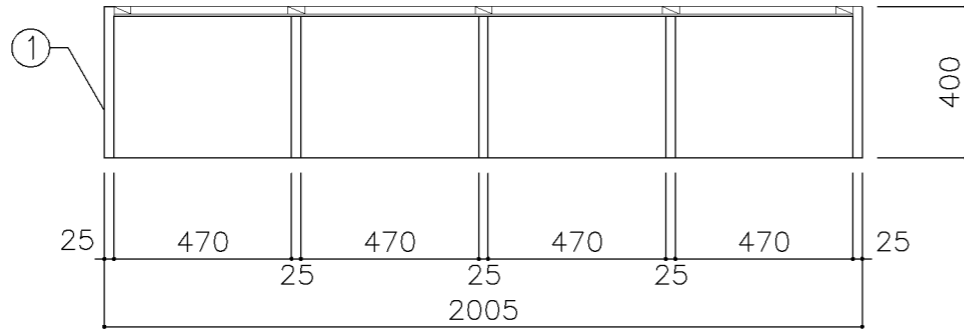
仕 様				
番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	本体	B-1	しな合板	UC
②	仕切板	B-1	しな合板	UC
③	棚板	B-1	しな合板	UC
④	裏板	片A-1	しな合板	UC
⑤	巾木	B-1	しな合板	UC

金 物	
番号	使用箇所

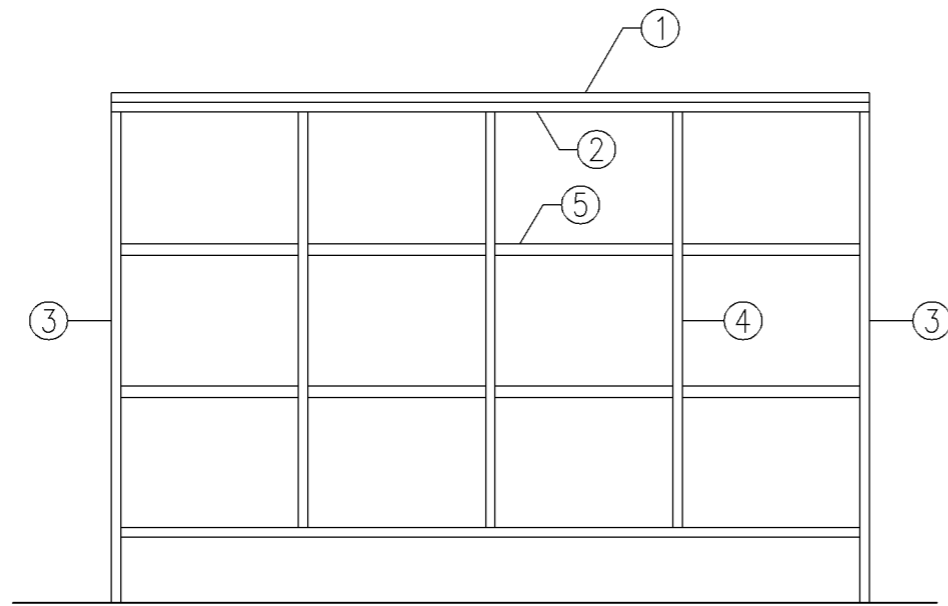
特記事項	
・木口の形状については、G-400より選定する。	
・見掛かり部はUC仕上とする。	
・芯材は、国産杉芯合板とする。	

名称	児童用ロッカー		
縮尺	1/20	記号	G-510C
設計年月		令和7年3月	

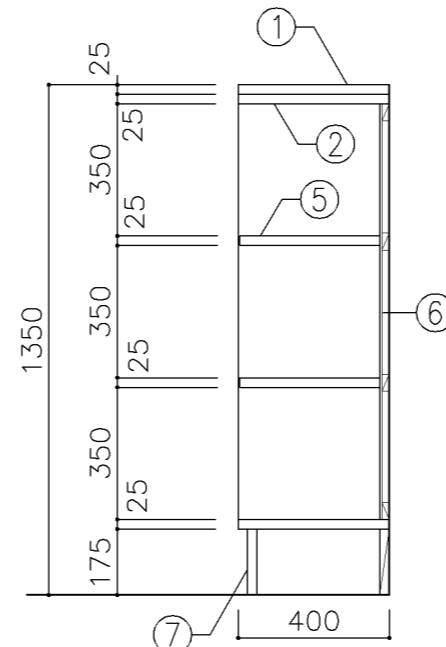
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸法
W 2,005 x D 400 x H 1,350

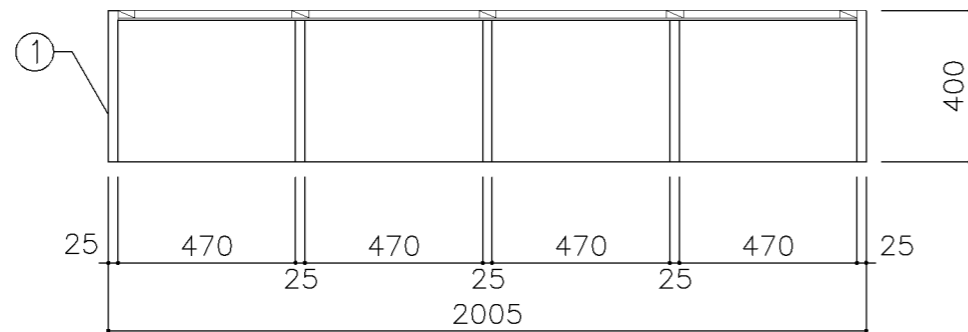
使用箇所
普通教室（小学校）

仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	天板		725 タモ集成材	UC
②	本体	A-1	しな合板	
③	本体	B-1	しな合板	UC
④	仕切板	B-1	しな合板	UC
⑤	棚板	B-1	しな合板	UC
⑥	裏板	片A-1	しな合板	UC
⑦	巾木	B-1	しな合板	UC

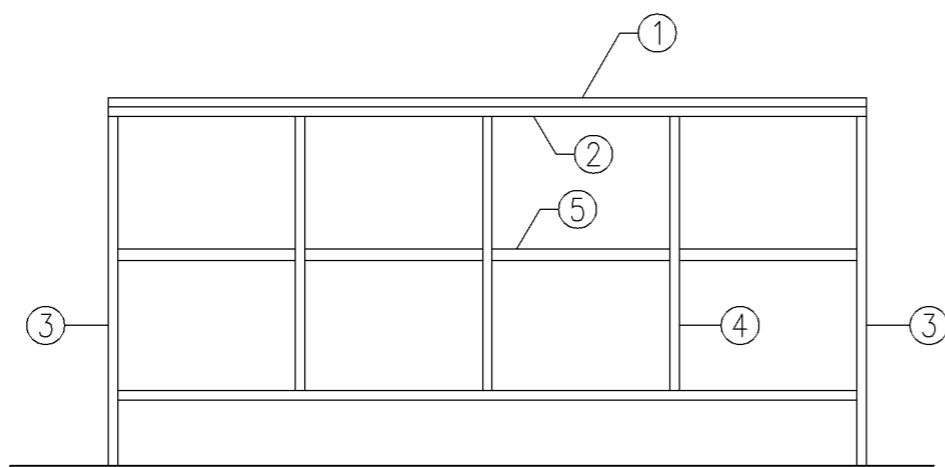
金物		
番号	使用箇所	名称

特記事項
 ・木口の形状については、G-400より選定する。
 ・見掛かり部はUC仕上とする。
 ・芯材は、国産杉芯合板とする。

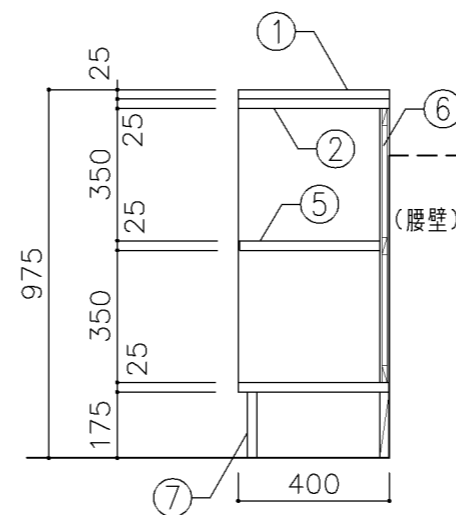
名称	児童用ロッカー		
縮尺	1/20	記号	G-510D
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



平面図



正面図



断面図

寸 法

W 2,005 x D 400 x H 975

使用箇所

個別支援教室（第三学習室）（小学校）

仕 様

番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	天板		725 タモ集成材	UC
②	本体	A-1	しな合板	
③	本体	B-1	しな合板	UC
④	仕切板	B-1	しな合板	UC
⑤	棚板	B-1	しな合板	UC
⑥	裏板	A-1	しな合板	UC
⑦	巾木	B-1	しな合板	UC

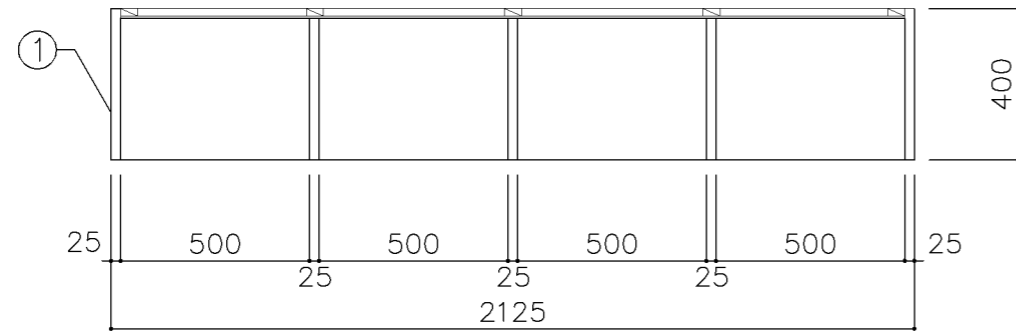
金 物

番号	使用箇所	名 称

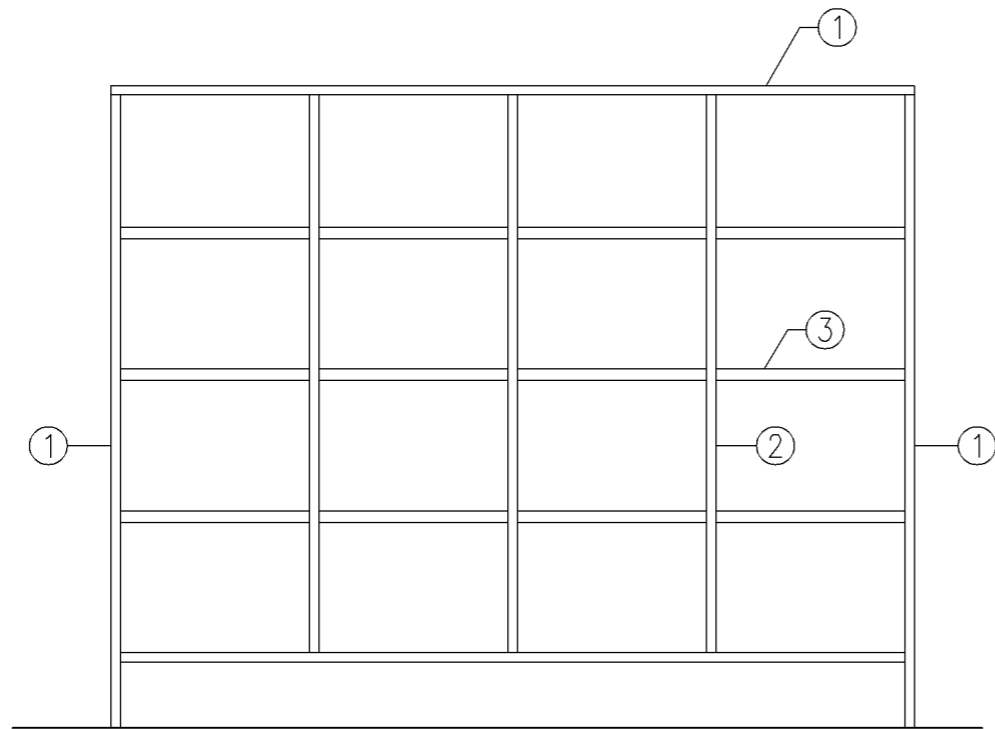
特記事項

- ・木口の形状については、G-400より選定する。
- ・見掛かり部はUC仕上とする。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

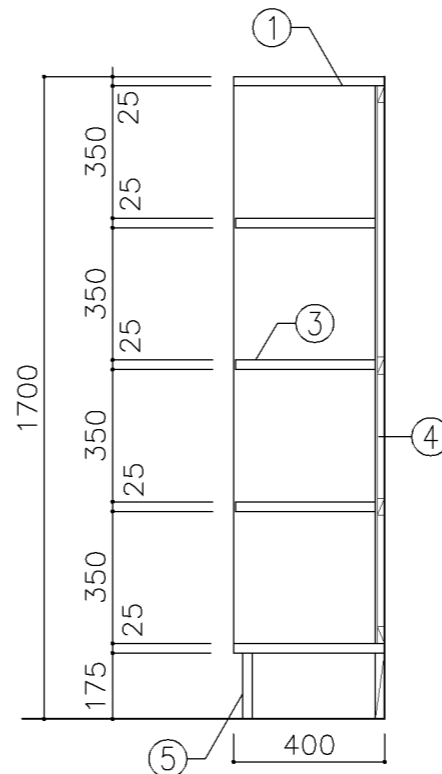
名称	児童用ロッカー		
縮尺	1/20	記号	G-510E
設 計 年 月		令和7年3月	
横浜市建築局			



平面図



正面図



断面図

寸 法
W 2,125 x D 400 x H 1,700

使用箇所
生徒更衣室
普通教室（中学校）旧タイプ

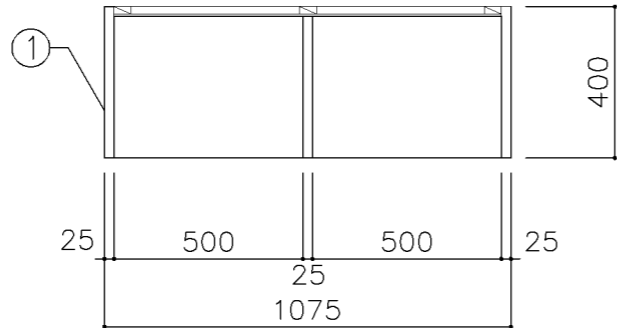
仕 様				
番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	本体	B-1	しな合板	UC
②	仕切板	B-1	しな合板	UC
③	棚板	B-1	しな合板	UC
④	裏板	片A-1	しな合板	UC
⑤	巾木	B-1	しな合板	UC

金 物		名 称
番号	使用箇所	

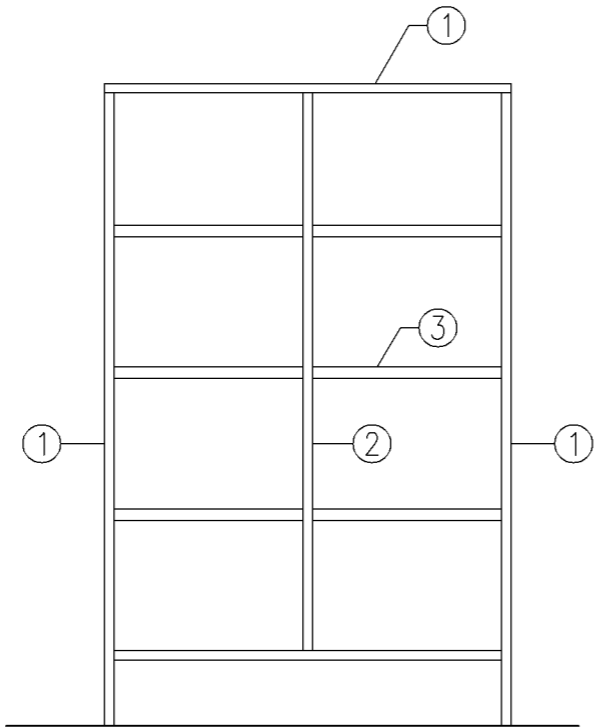
特記事項
 ・木口の形状については、G-400より選定する。
 ・見掛かり部はUC仕上とする。
 ・芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	生徒用ロッカー		
縮尺	1/20	記号	G-511A
設 計 年 月		令和7年3月	

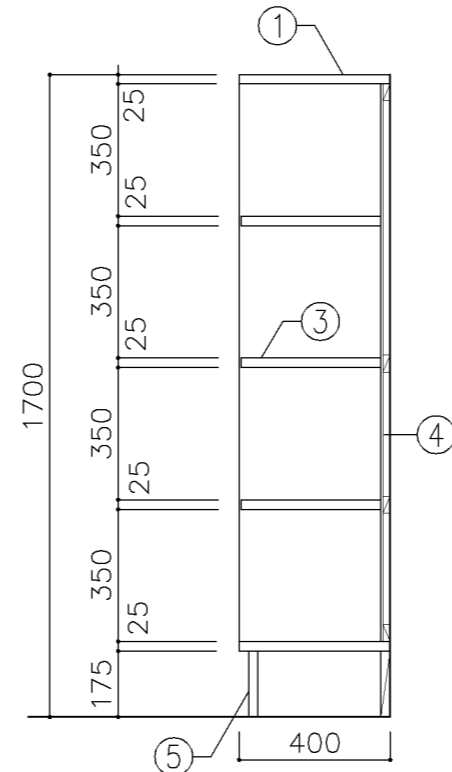
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸法
W 1,075 x D 400 x H 1,700

使用箇所
普通教室（中学校）旧タイプ

仕様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	B-1	しな合板	UC
②	仕切板	B-1	しな合板	UC
③	棚板	B-1	しな合板	UC
④	裏板	片A-1	しな合板	UC
⑤	巾木	B-1	しな合板	UC

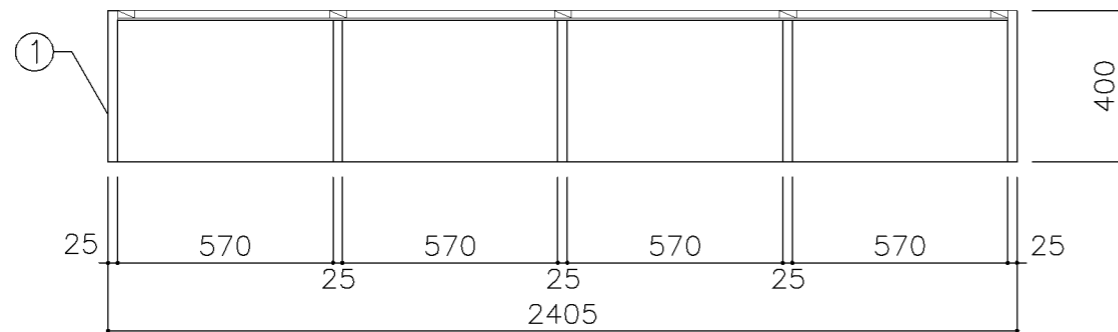
金物

番号	使用箇所	名称

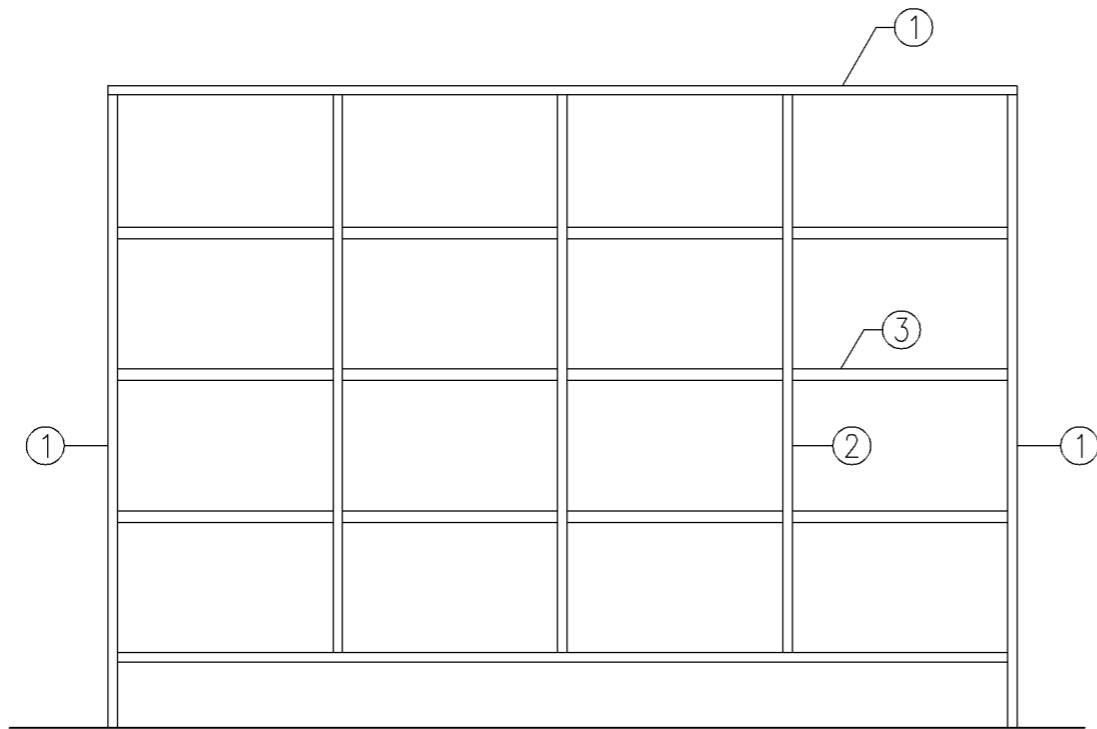
特記事項

- ・木口の形状については、G-400より選定する。
- ・見掛けり部はUC仕上とする。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

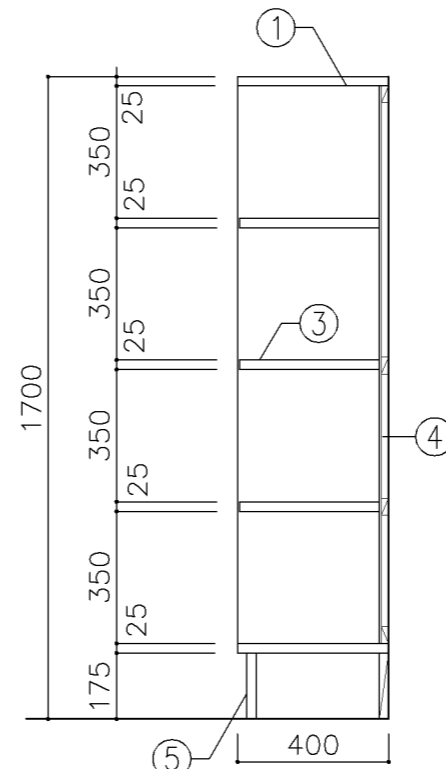
名称	生徒用ロッカー		
縮尺	1/20	記号	G-511B
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



平面図

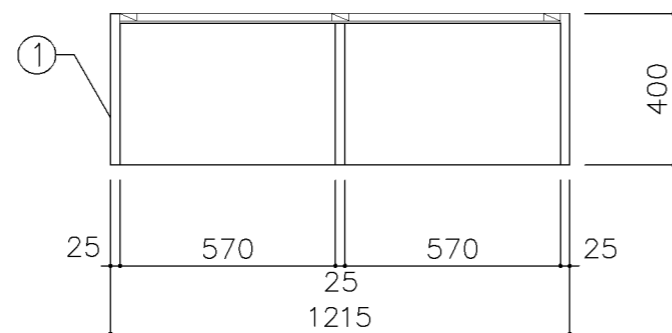


正面図

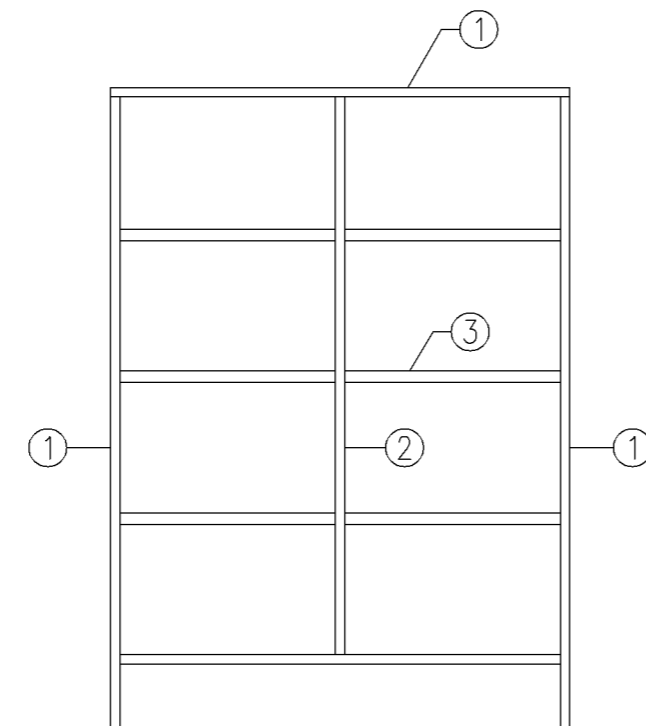


断面図

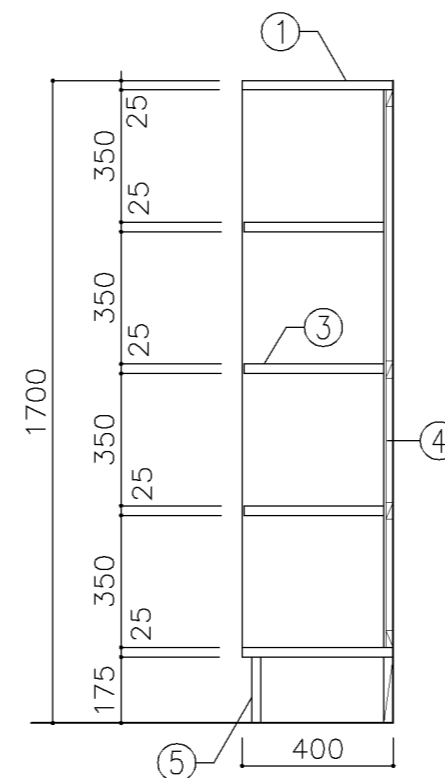
寸 法				
W 2,405 x D 400 x H 1,700				
使用箇所				
普通教室（中学校）				
仕 様				
番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	本体	B-1	しな合板	UC
②	仕切板	B-1	しな合板	UC
③	棚板	B-1	しな合板	UC
④	裏板	片A-1	しな合板	UC
⑤	巾木	B-1	しな合板	UC
金 物				
番号	使用箇所	名 称		
特記事項				
・ 木口の形状については、G-400より選定する。				
・ 見掛かり部はUC仕上とする。				
・ 芯材は、国産杉芯合板とする。				
名称	生徒用ロッカー			
縮尺	1/20	記号	G-511C	
設計年月			令和7年3月	
横浜市建築局				



平面図



正面図



断面図

寸法
W 1,215 x D 400 x H 1,700

使用箇所

普通教室 (中学校)

仕様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	B-1	しな合板	UC
②	仕切板	B-1	しな合板	UC
③	棚板	B-1	しな合板	UC
④	裏板	片A-1	しな合板	UC
⑤	巾木	B-1	しな合板	UC

金物

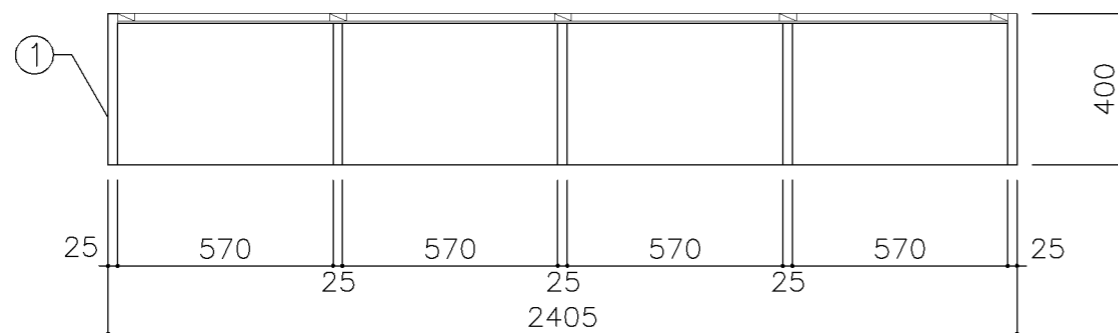
番号 使用箇所 名称

特記事項

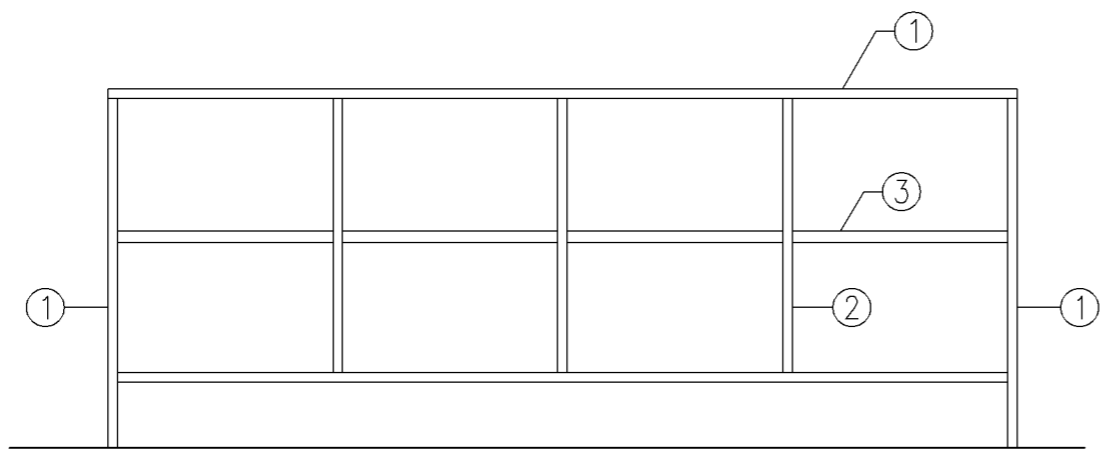
- ・木口の形状については、G-400より選定する。
- ・見掛け部はUC仕上とする。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	生徒用ロッカー		
縮尺	1/20	記号	G-511D
設計年月	令和7年3月		

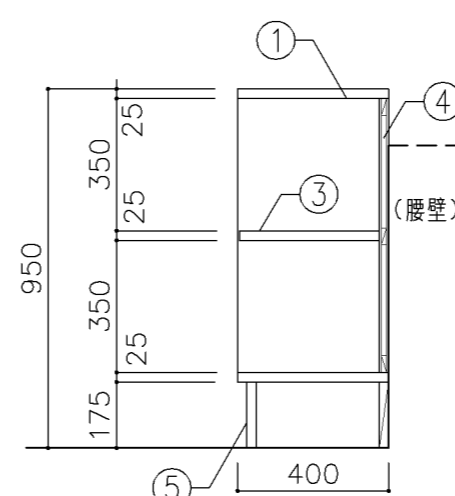
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸法

W 2,405 x D 400 x H 950

使用箇所

個別支援教室（第三学習室）（中学校）

仕様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	B-1	しな合板	UC
②	仕切板	B-1	しな合板	UC
③	棚板	B-1	しな合板	UC
④	裏板	A-1	しな合板	UC
⑤	巾木	B-1	しな合板	UC

金物

番号	使用箇所	名称

特記事項

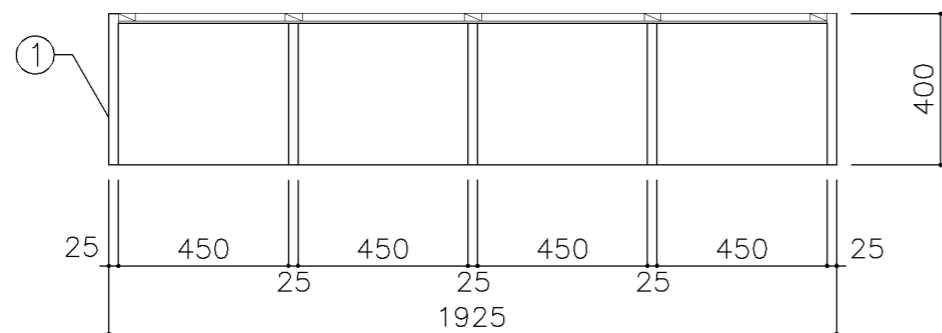
- ・木口の形状については、G-400より選定する。
- ・見掛け部分はUC仕上とする。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

名称 生徒用ロッカー

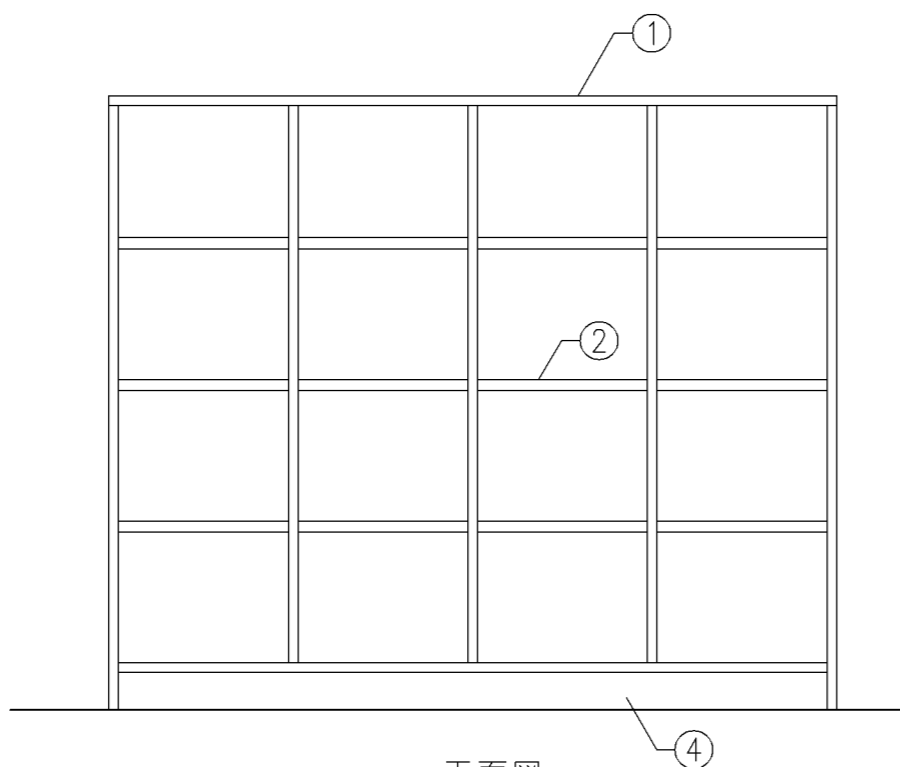
縮尺 1/20 記号 G-511E

設計年月 令和7年3月

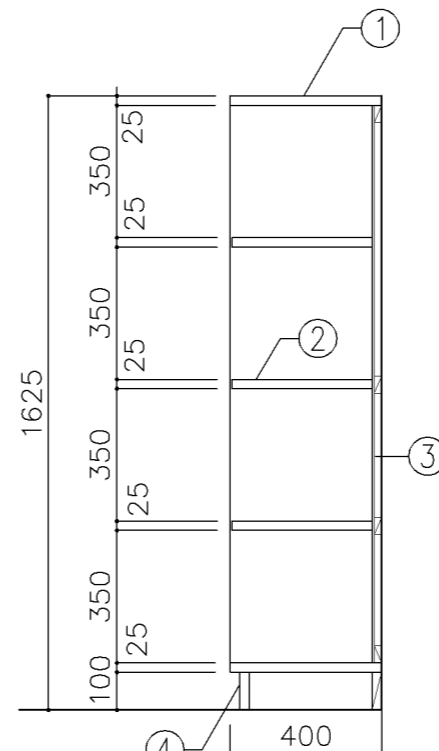
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

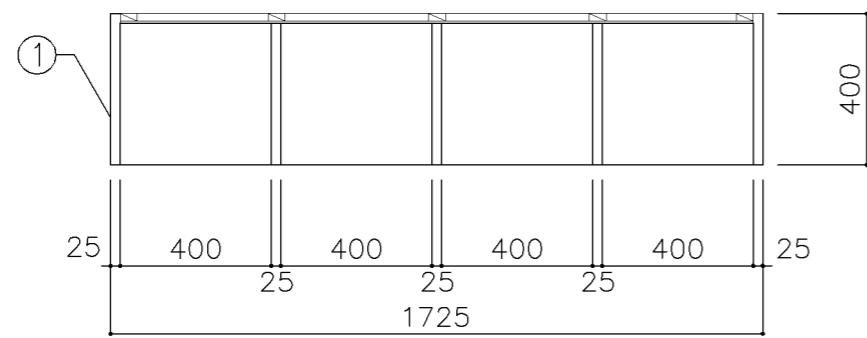
寸法	
W 1,925 x D 400 x H 1,625	
使用箇所	
個別支援教室（第一学習室）（小・中学校）	

仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	しな合板	UC
②	棚板	A-1	しな合板	UC
③	裏板	片A-1	しな合板	UC
④	巾木	B-1	しな合板	UC

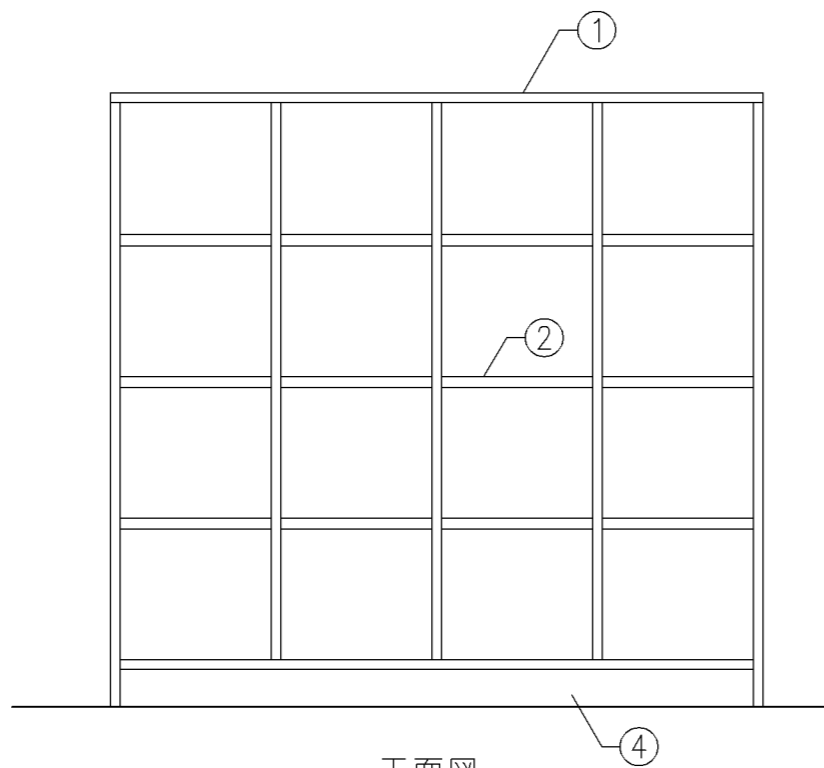
金物	
番号	使用箇所

特記事項	
・木口の形状については、G-400より選定する。	
・見掛かり部はUC仕上とする。	
・芯材は、国産杉芯合板とする。	

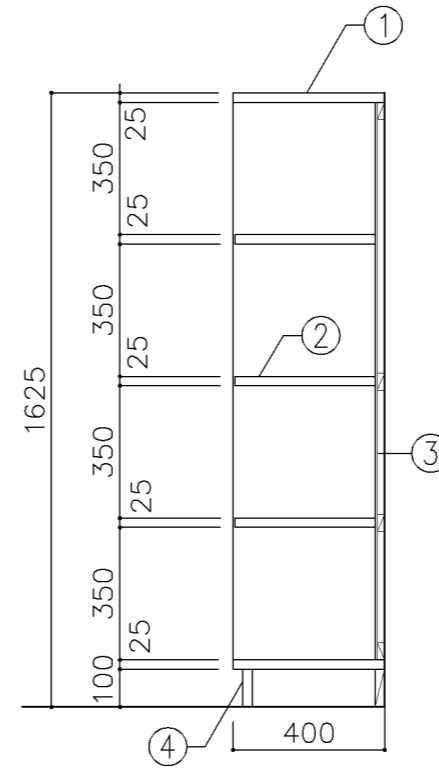
名称	児童・生徒用ロッカー		
縮尺	1/20	記号	G-512
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



平面図



正面図



断面図

寸 法	
W 1,725 x D 400 x H 1,625	
使用箇所	
個別支援教室（第二学習室）（小・中学校）	

仕 様				
番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	本体	A-1	しな合板	UC
②	棚板	A-1	しな合板	UC
③	裏板	片A-1	しな合板	UC
④	巾木	B-1	しな合板	UC

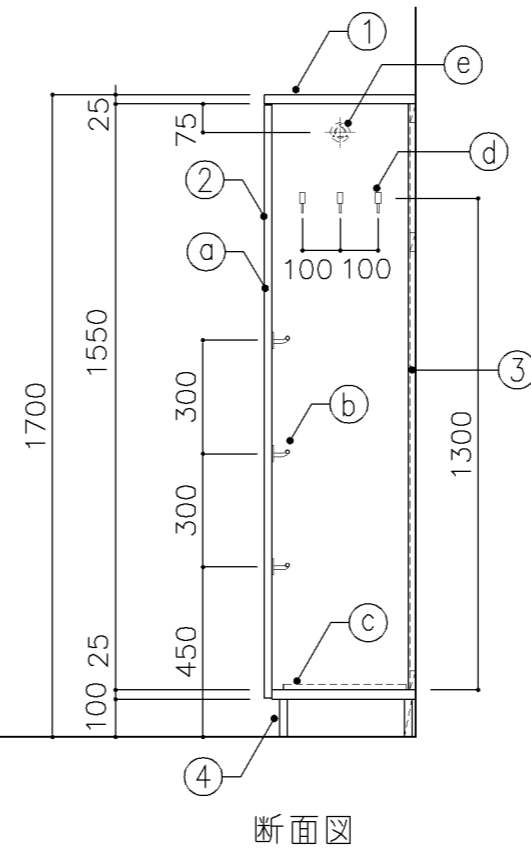
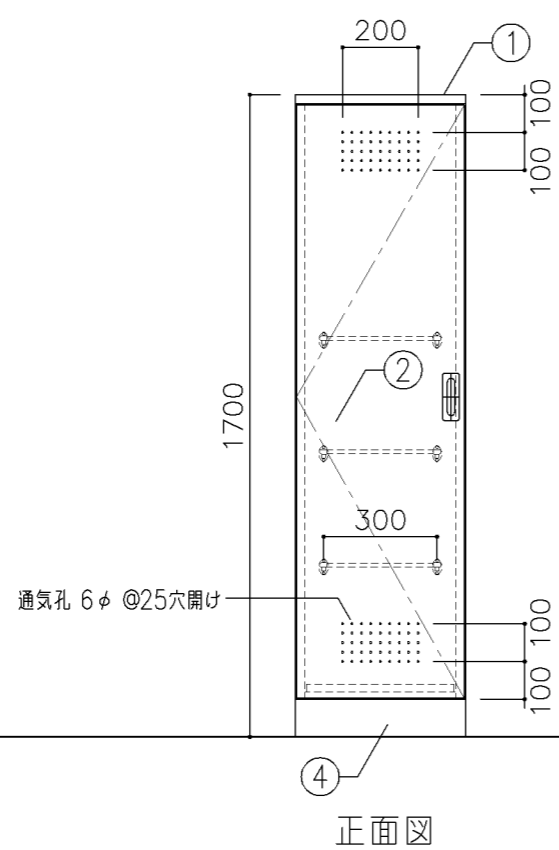
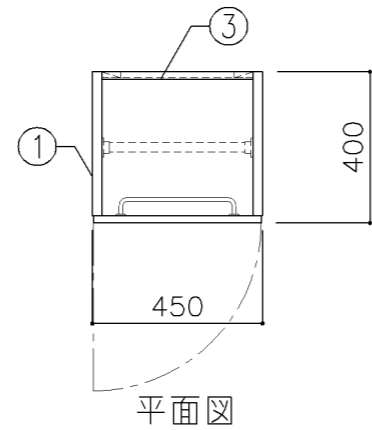
金 物		名 称	
番号	使用箇所		

特記事項

- ・ 木口の形状については、G-400より選定する。
- ・ 見掛かり部はUC仕上とする。
- ・ 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	更衣ロッカー		
縮尺	1/20	記号	G-513
設計年月	令和7年3月		

横浜市建築局



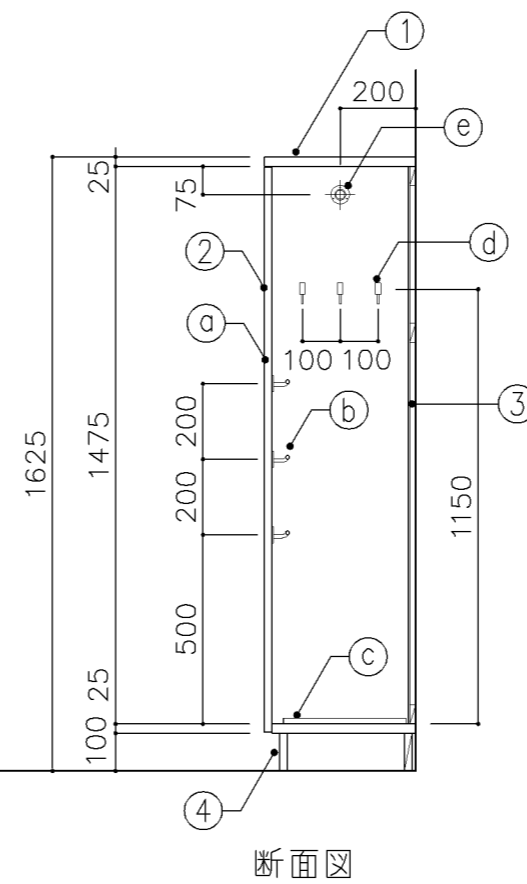
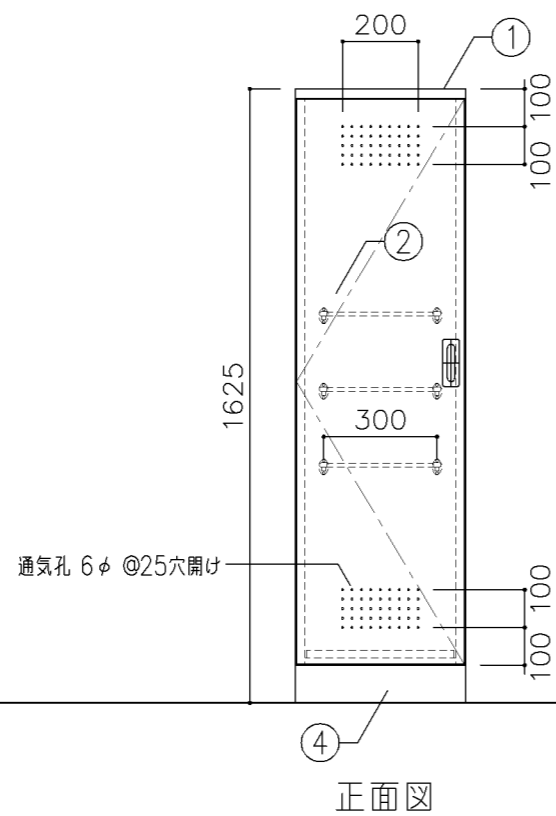
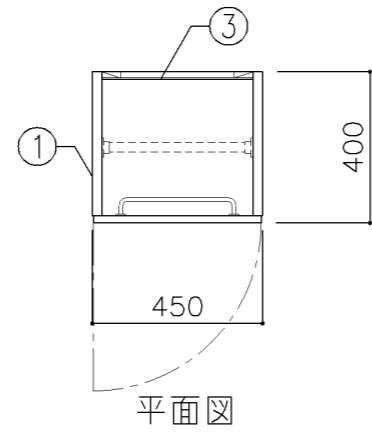
寸法	
W 450 x D 400 x H 1,700	
使用箇所	
普通教室 (小・中学校)	
多目的室 (集会・発表等) (小・中学校)	
多目的室 (少人数) (小・中学校)	
多目的室 (学校指定) (小・中学校)	
特別支援教室 (小・中学校)	
児童更衣室、生徒更衣室	

仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	しな合板	UC
②	扉	A-1	しな合板	UC
③	裏板	片A-1	しな合板	UC
④	巾木	B-1	しな合板	UC

金物		
番号	使用箇所	名称
①	扉	ステンレス丁番、国産掘込引手、戸当り
②	雑巾掛	ステンレス
③	水受皿	ステンレス
④	フック	ステンレス
⑤	パイプ	SUS304 25φ、S環付

特記事項	
・ 木口の形状については、G-400より選定する。	
・ 扉の厚みは、20mmを原則とする。	
・ 芯材は、国産杉芯合板とする。	

名称	掃除用具入		
縮尺	1/20	記号	G-520
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



寸法

W 450 x D 400 x H 1,625

使用箇所

個別支援教室（第一・第二学習室）（小・中学校）

仕様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	しな合板	UC
②	扉	A-1	しな合板	UC
③	裏板	片A-1	しな合板	UC
④	巾木	B-1	しな合板	UC

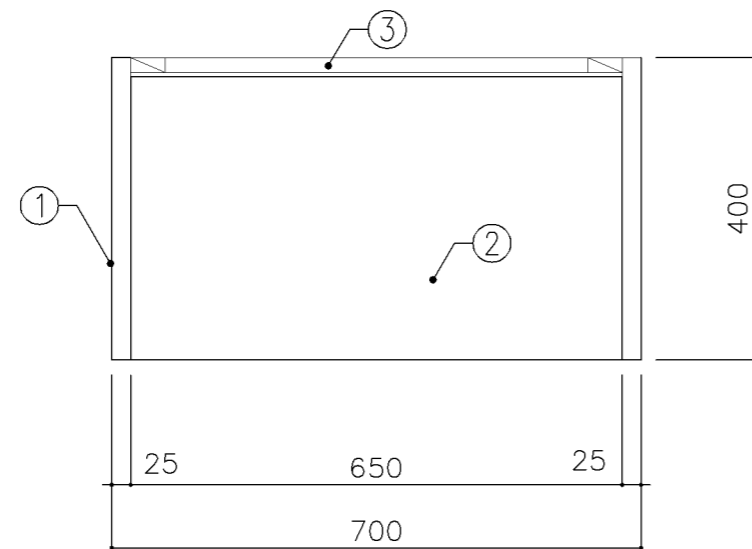
金物

番号	使用箇所	名称
a	扉	ステンレス丁番、国産掘込引手、戸当り
b	雑巾掛	ステンレス
c	水受皿	ステンレス
d	フック	ステンレス
e	パイプ	SUS304 25φ、S環付

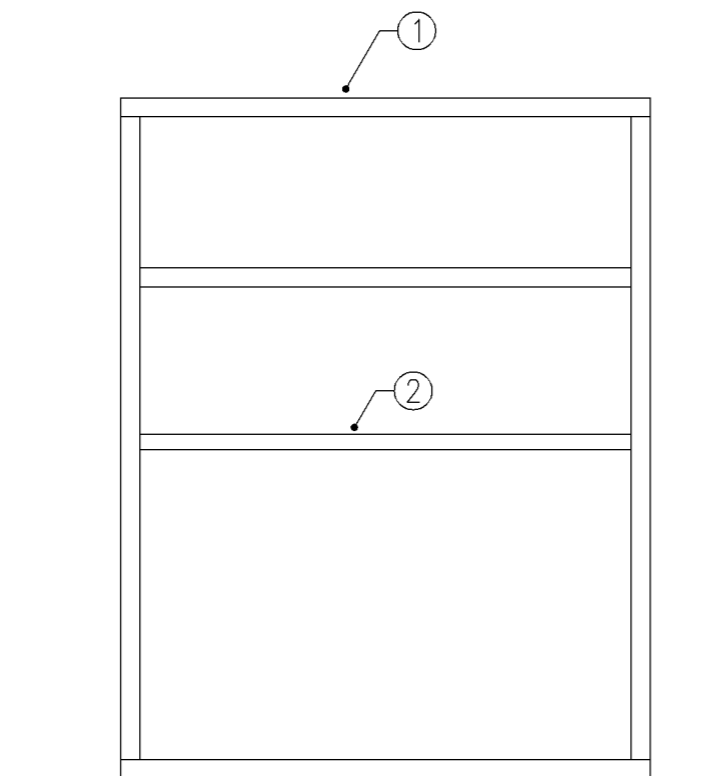
特記事項

- ・木口の形状については、G-400より選定する。
- ・扉の厚みは、20mmを原則とする。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

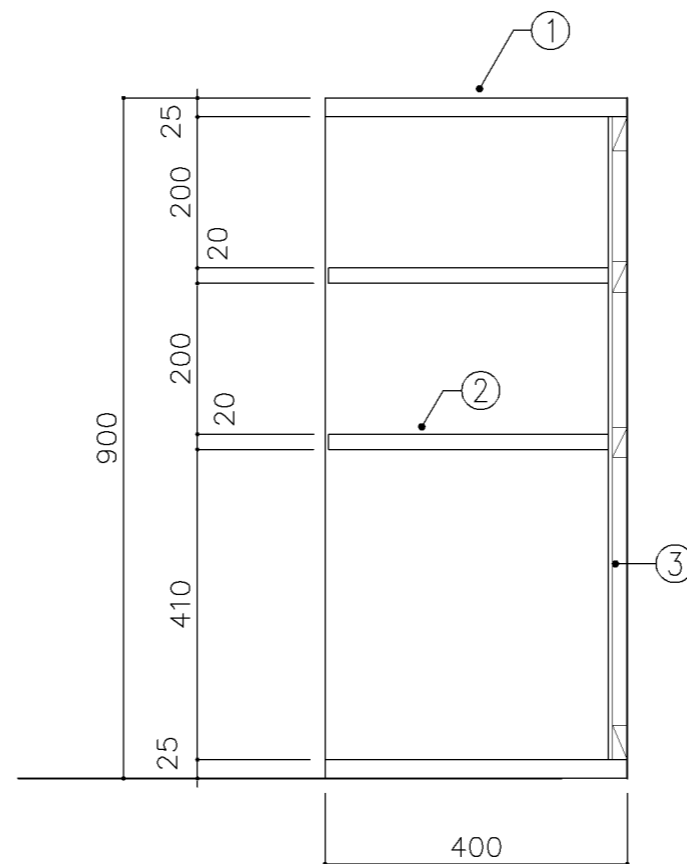
名称	掃除用具入		
縮尺	1/20	記号	G-521
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



平面図

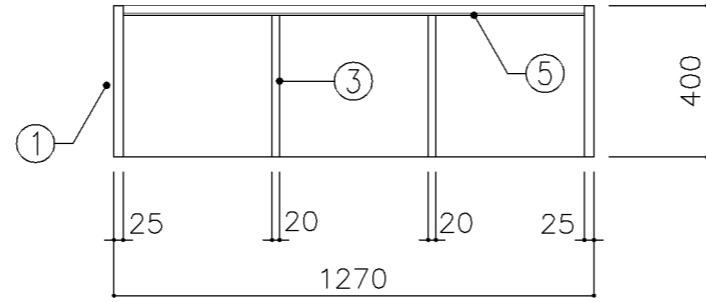


正面図

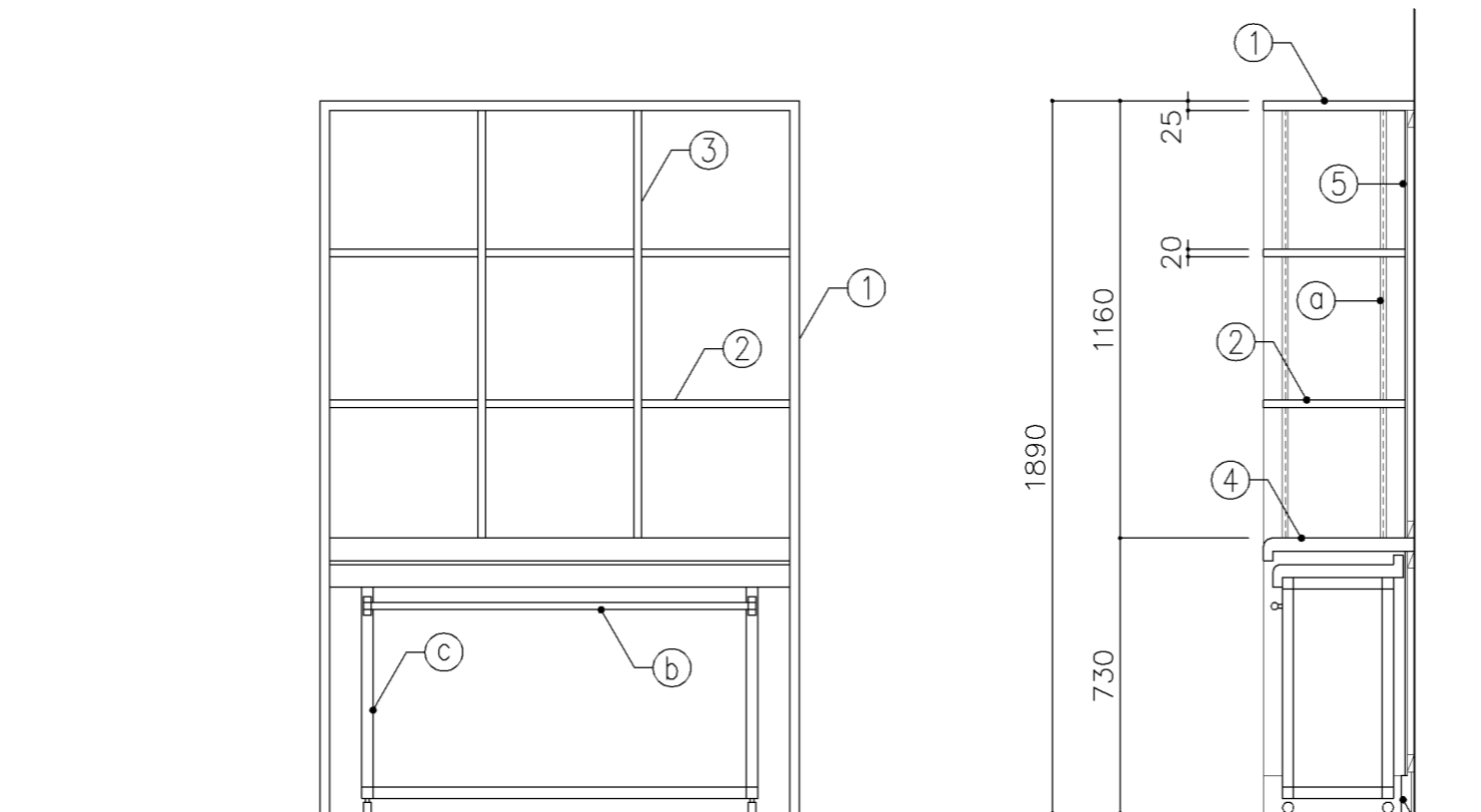


断面図

寸法				
W 700 x D 400 x H 900				
使用箇所				
技術員室（小学校）				
技術員室（中学校）				
仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	棚板	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
金物				
番号	使用箇所	名称		
特記事項				
・木口の形状については、G-400より選定する。				
・見掛りは、ポリエステル化粧合板とする。				
・芯材は、国産杉芯合板とする。				
名称	靴入			
縮尺	1/10	記号	G-530	
設計年月			令和7年3月	
横浜市建築局				

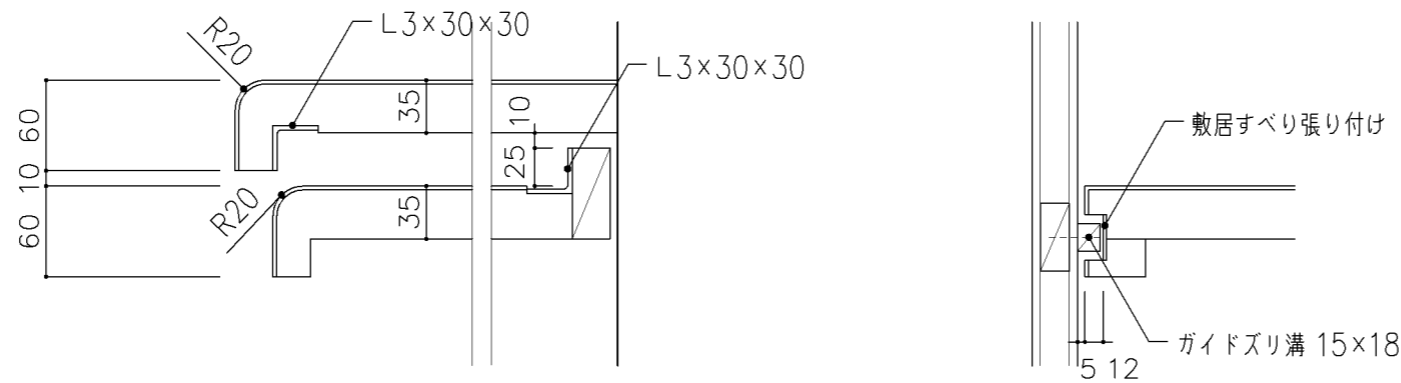


平面図



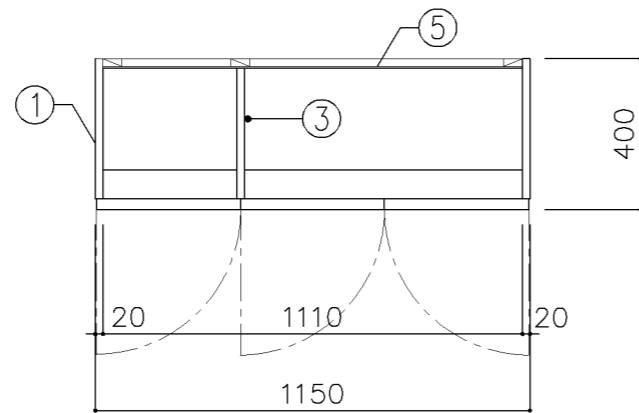
正面図

断面図

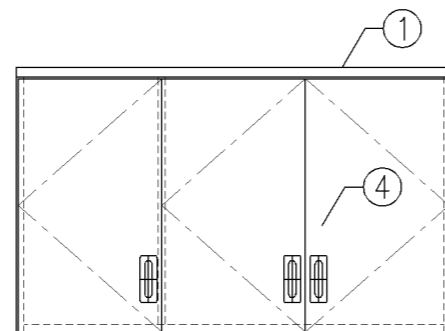


スライドテーブル詳細図 S = 1 / 5

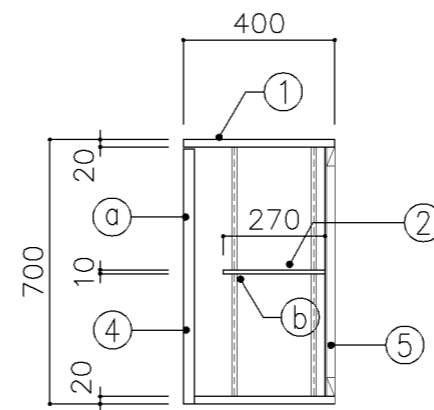
寸法				
W1,270 x D 400 x H1,890				
使用箇所				
理科準備室 (小・中学校)				
仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A-1	ポリエステル化粧合板	
④	天板	B-1	メラミン化粧板 ポストフォーム加工	
⑤	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
⑥	巾木	A-1	ポリエステル化粧合板	
金物				
番号	使用箇所	名称		
Ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱 (番号入り)		
Ⓑ	手掛	ステンレスパイプ 25φ		
Ⓒ	脚	□-31×31×1.6 トラックキャスター-30φストッパー付		
特記事項				
・木口の形状については、G-400より選定する。				
・見掛りは、ポリエステル化粧合板とする。				
・芯材は、国産杉芯合板とする。				
名称	収納棚			
縮尺	1/5 1/20	記号	G-540	
設計年月		令和7年3月		
横浜市建築局				



平面図



正面図



断面図

寸法
W1,150 x D 400 x H 700

使用箇所

技術員室（小学校）
技術員室（中学校）

仕様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A-1	ポリエステル化粧合板	
④	扉	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑤	裏板	片A-1	しな合板	

金物

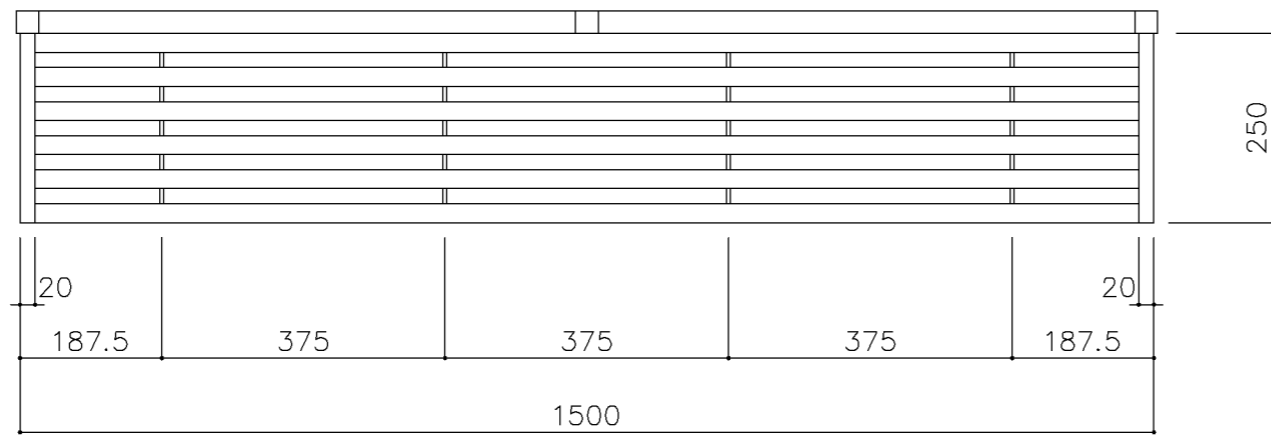
番号	使用箇所	名称
Ⓐ	扉	スライド丁番、国産掘込引手、セーフラッチ
Ⓑ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）

特記事項

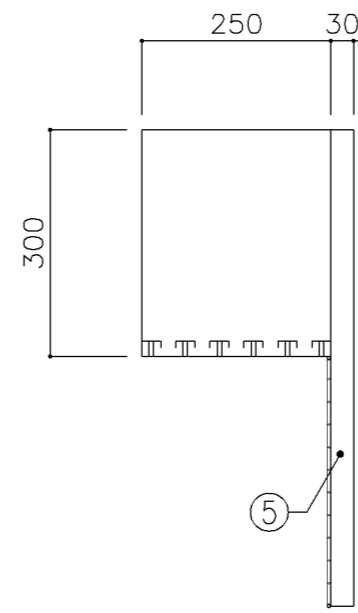
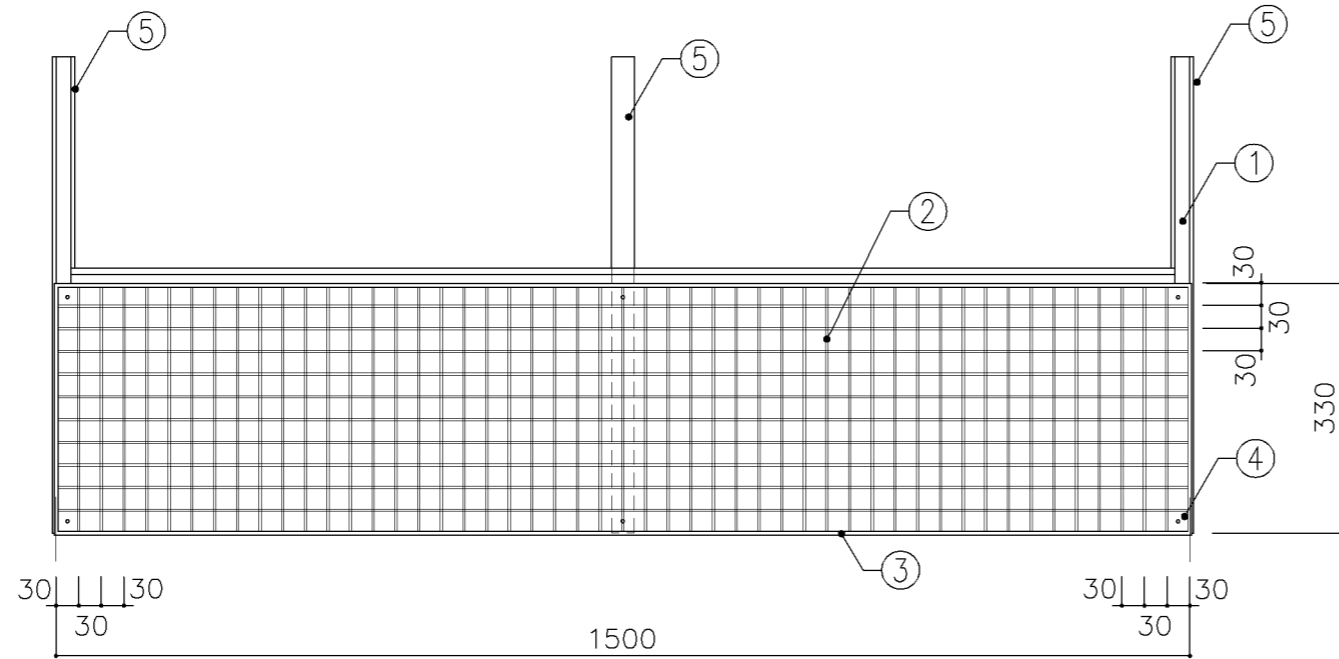
- ・木口の形状については、G-400より選定する。
- ・見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- ・フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- ・扉の厚みは、20mmを原則とする。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	吊戸棚		
縮尺	1/20	記号	G-541
設計年月	令和7年3月		

横浜市建築局



平面図



断面図

寸法	
W1,500 x D 250 x H 300 (水切棚)	
W1,500 x D x H 330	
(ハンガーネット)	

使用箇所	
技術員室 (小学校)	
技術員室 (中学校)	

仕様			
番号	名称	材質	仕上
①	水切棚	SUS304 \times 2.0	
②	芯線	SWRM3.0 ϕ	PE樹脂加工
③	枠	SWRM5.0 ϕ	PE樹脂加工
④	取付板	SPCC30 \times 30 \times 2.0	PE樹脂加工
⑤	取付縦棒	30 \times 30アルミ	

金物	
番号	使用箇所
	名称

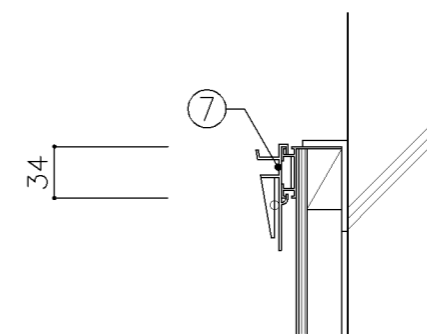
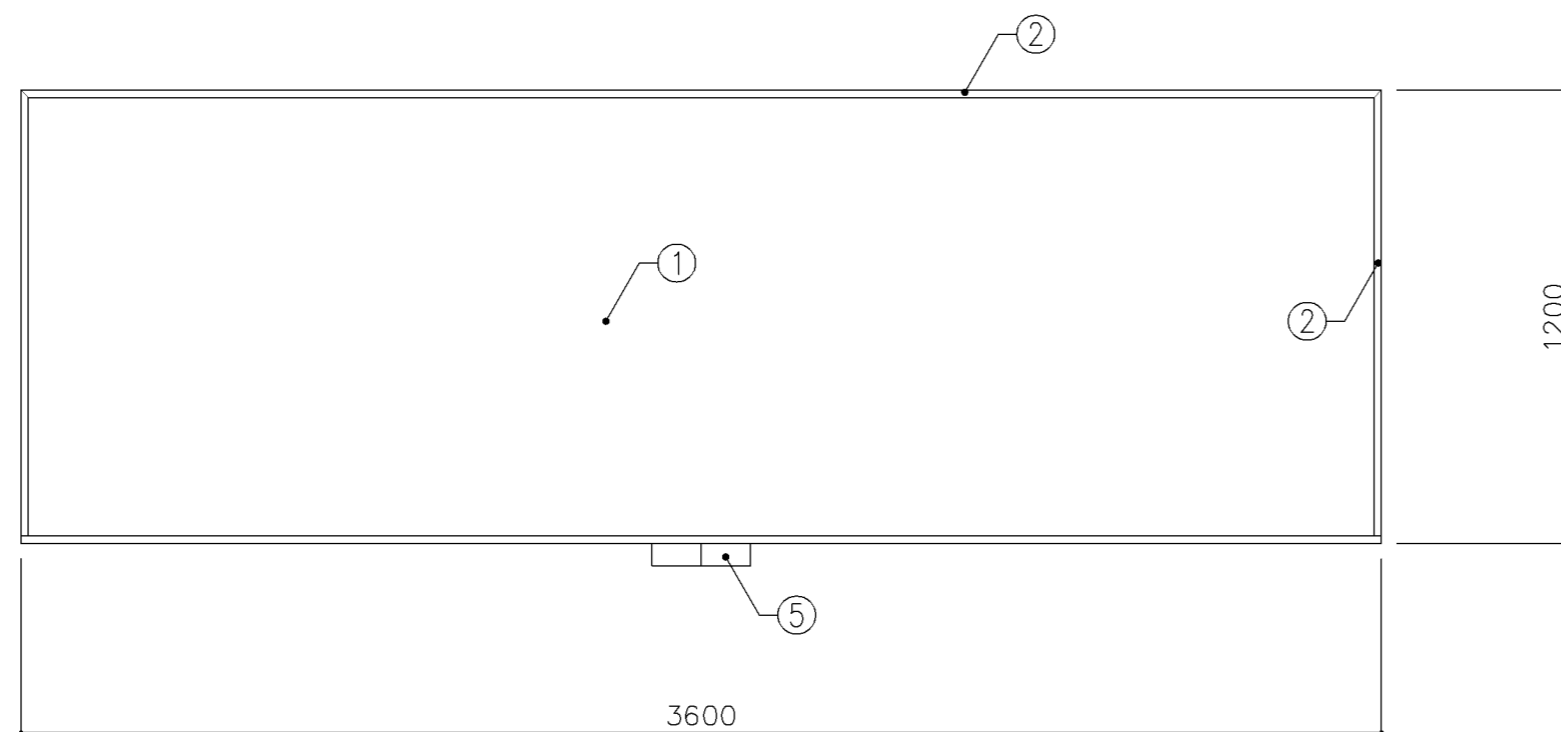
特記事項	
・水切棚についての網目仕様は、各メーカー仕様とする。	

名称	水切棚、ハンガーネット		
縮尺	1/10	記号	G-542
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			

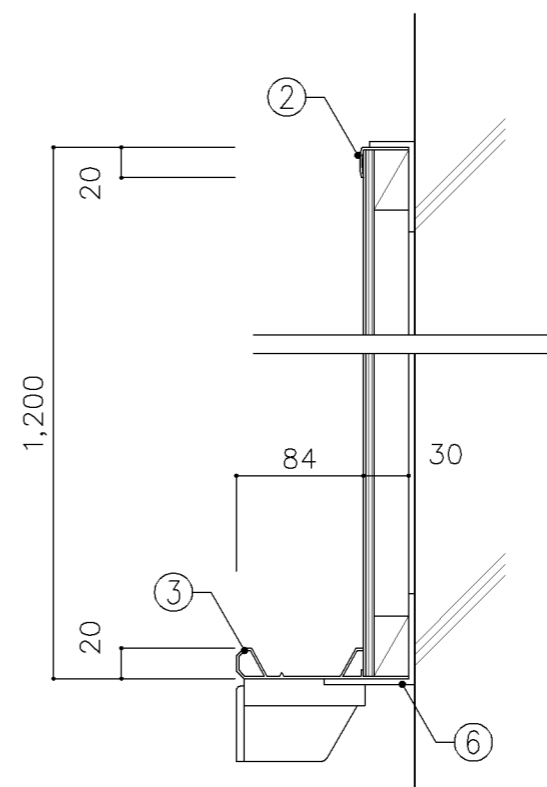
G-600 掲示用家具（黒板・ホワイトボード・掲示板）仕様

1. 普通教室・特別教室の黒板類の取付芯は、各平面図表示の寸法又は、机のレイアウト芯と一致させる。
2. 黒板及びホワイトボードは、スチールほうろう仕様とする。
3. 黒板及びホワイトボードの枠は、メーカー仕様とする。（仕様については監督員の承認を得る事。）
4. 黒板の規格は、黒板通則（JIS S 6101）に基づく焼付け黒板（JIS S 6045）のほうろう仕様とする。
5. ホワイトボードの規格は、ほうろう製品の品質基準（JIS R 4301）に基づくほうろう白板（JIS S 6052）の規格品とする。
6. 上下黒板・引分け黒板等可動部分については、各メーカーの社内規格によるものとする。
7. 掲示板は、アルミ枠掲示板のみを掲載するものとする。
8. 造り付け掲示板は、ディテールシート I-202 に掲載するものとする。

名称	仕様		
縮尺		記号	G-600
設計年月日		令和7年3月	
横浜市建築局			



断面図 S: 1/5

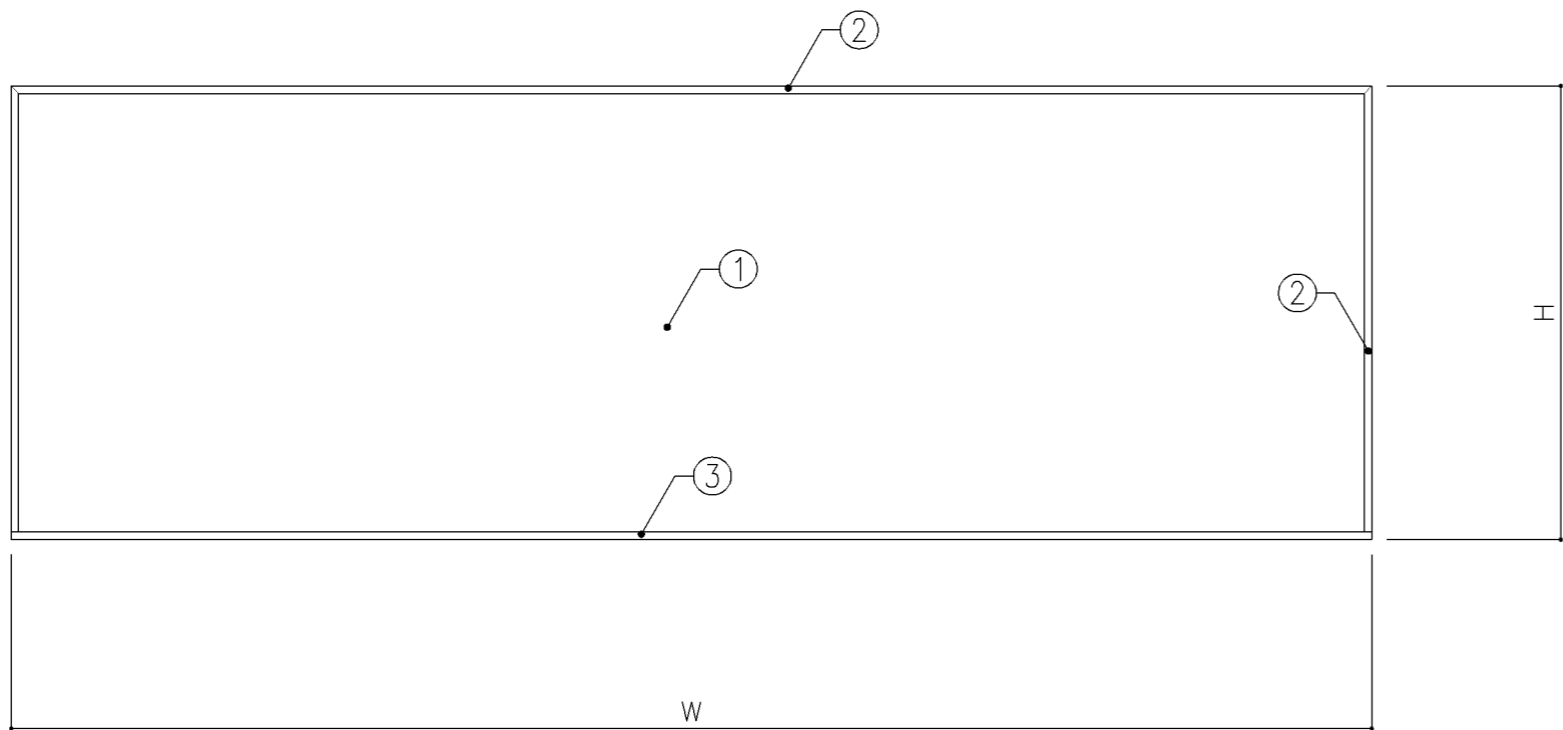


寸 法	
W3,600 x D	x H1,200
使用箇所	
美術教室、図画工作教室	

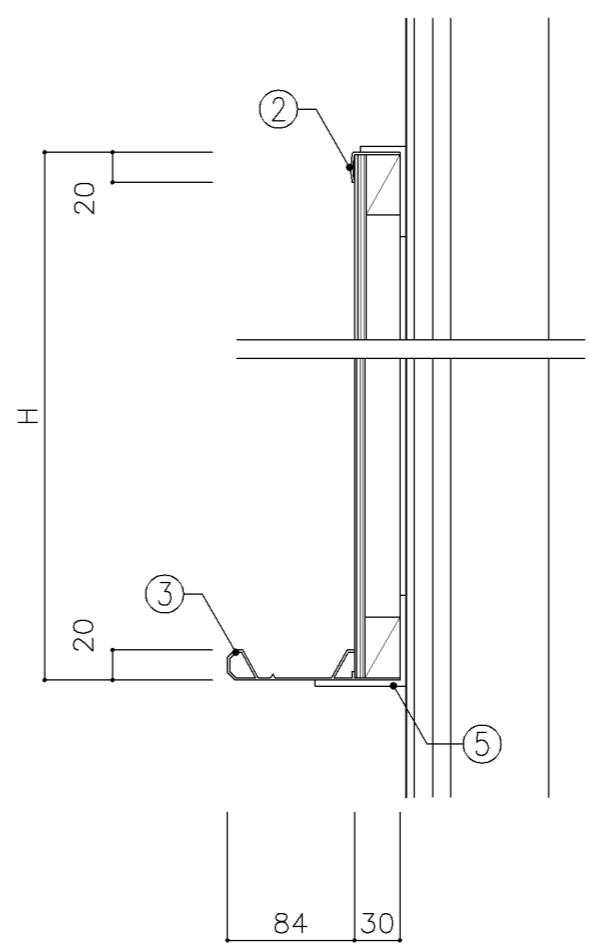
仕 様		
番号	名称	材 質
①	黒板	スチールホーロー φ5.5ベニヤ(T-2)下地
②	枠	アルミ製
③	粉受け	アルミ製
④	サイドキャップ	樹脂製
⑤	チョークボックス	アルミ製(2連)
⑥	受け金物	φ4 スチールユニクロメッキ φ900
⑦	ピクチャーレール	アルミ製 ハンガー部スチール

特記事項

名称	黒板		
縮尺	1/5 1/20	記号	G-610
設計年月	令和7年3月		
横浜市建築局			



正面図 S:1/20



断面図 S:1/5

寸 法	
A: W 900 x D	x H 900
B: W3,600 x D	x H 1,200
C: W3,600 x D	x H 1,200
D: W2,700 x D	x H 900

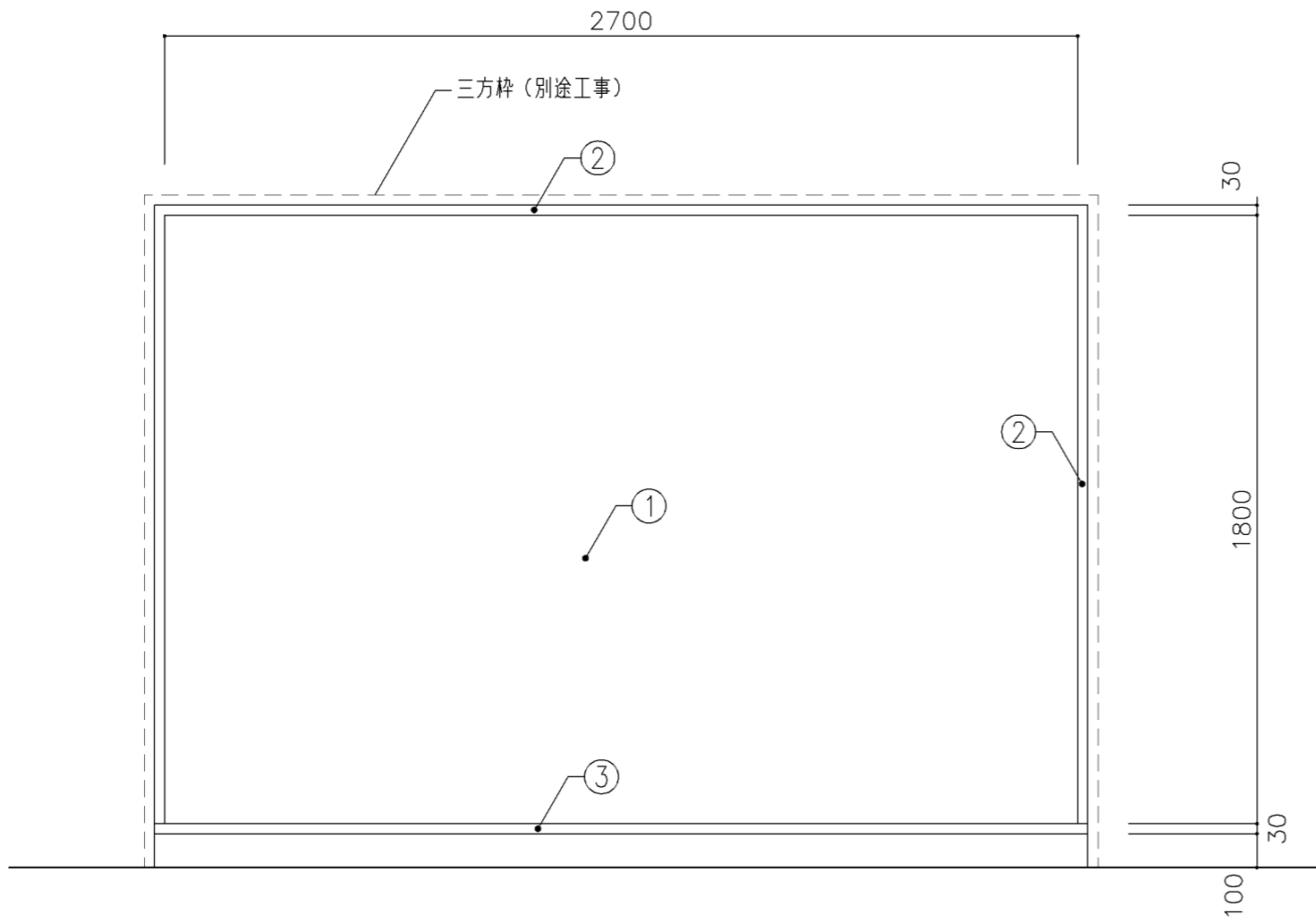
使用箇所
A: 技術員室(小学校)、技術員室(中学校) 普通教室(中学校)
B: 家庭科教室(小・中学校)、特別活動室
C: 音楽教室(5線入り)
D: 地域交流室、PTA室、会議室

仕 様		
番号	名称	材 質
①	ホワイトボード	スチールホーロー φ5.5ペニヤ(T-2)下地
②	枠	アルミ製
③	粉受け	アルミ製
④	サイドキャップ	樹脂製
⑤	受け金物	φ4 スチールユニクロメッキ @900

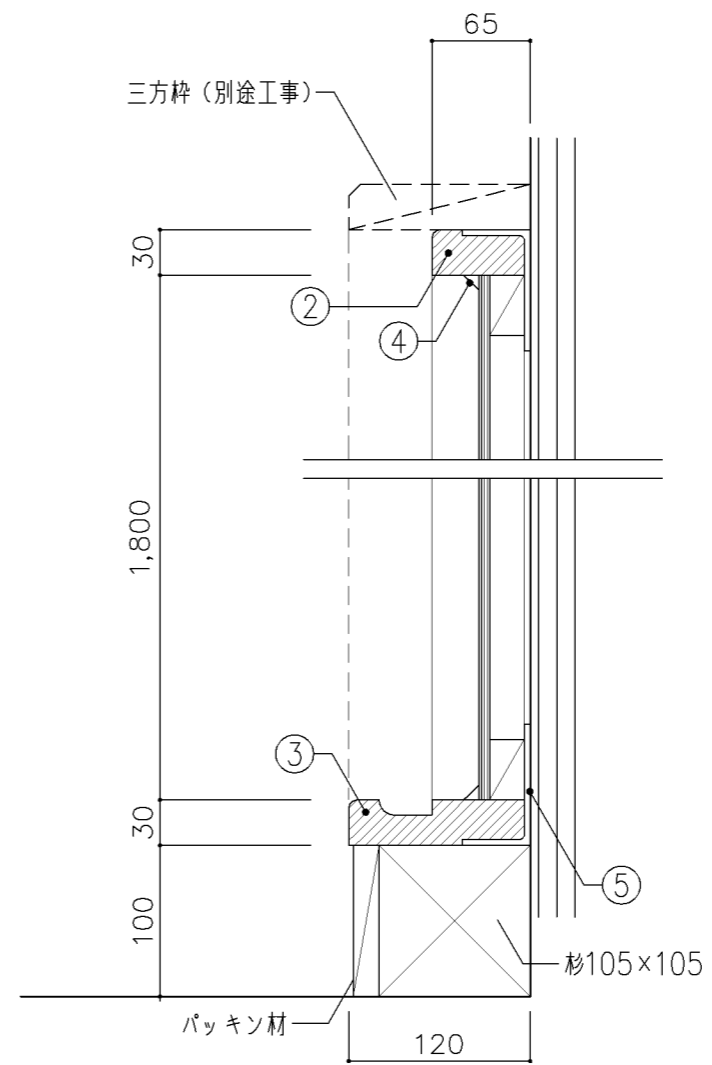
特記事項	
C: 音楽教室は半分を五線入りとする。	
*普通教室(中学校)は、粉受不要とする。	

名称	ホワイトボード		
縮尺	1/5 1/20	記号	G-611
設計年月	令和7年3月		

横浜市建築局



正面図 S:1/20



断面図 S:1/5

寸法
W2,700 x D x H 1,800

使用箇所

個別支援教室 (第一・第二学習室) (小学校)

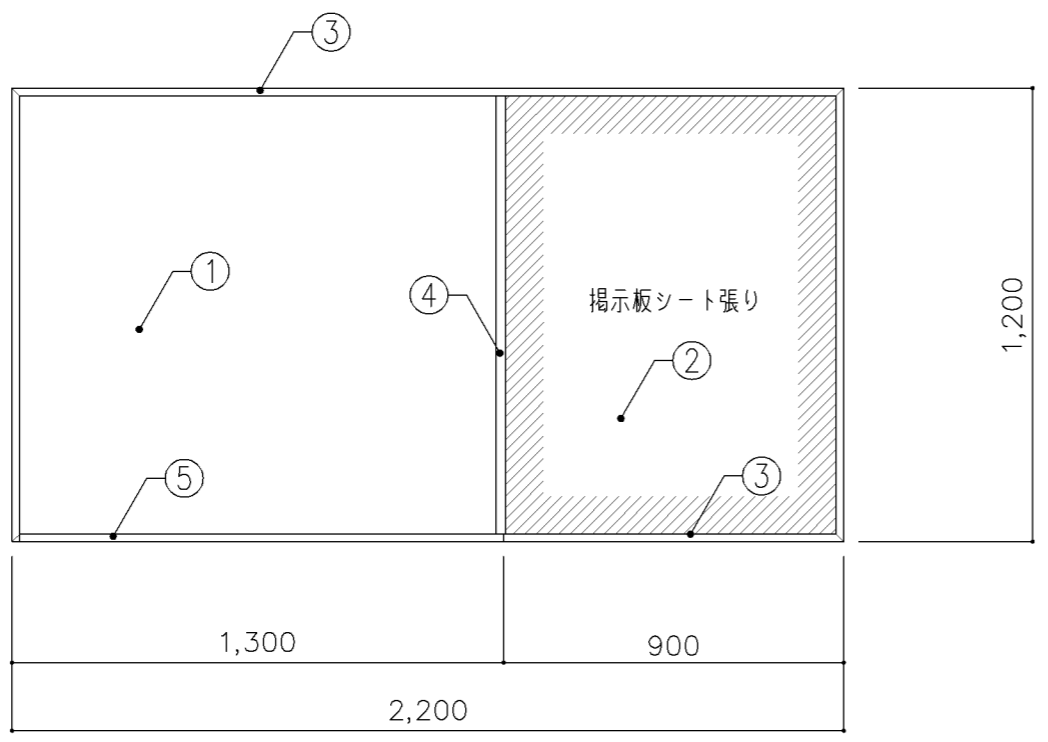
仕様

番号	名称	材質
①	ホワイトボード	スチールホーロー
		φ5.5ベニヤ (T-2) 下地
②	枠	φ30 ラワン
③	粉受け	φ30 ラワン
④	押縁	塩ビ製
⑤	受け金物	φ4 スチールユニクロメッキ @900

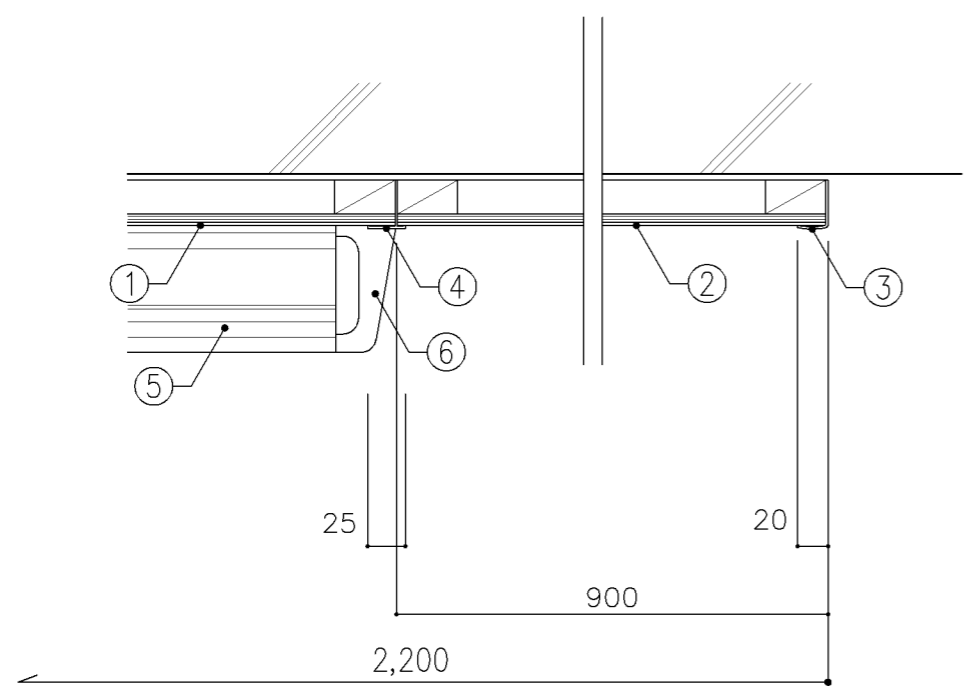
特記事項

・巾木材 教室内の巾木材に合わせる。

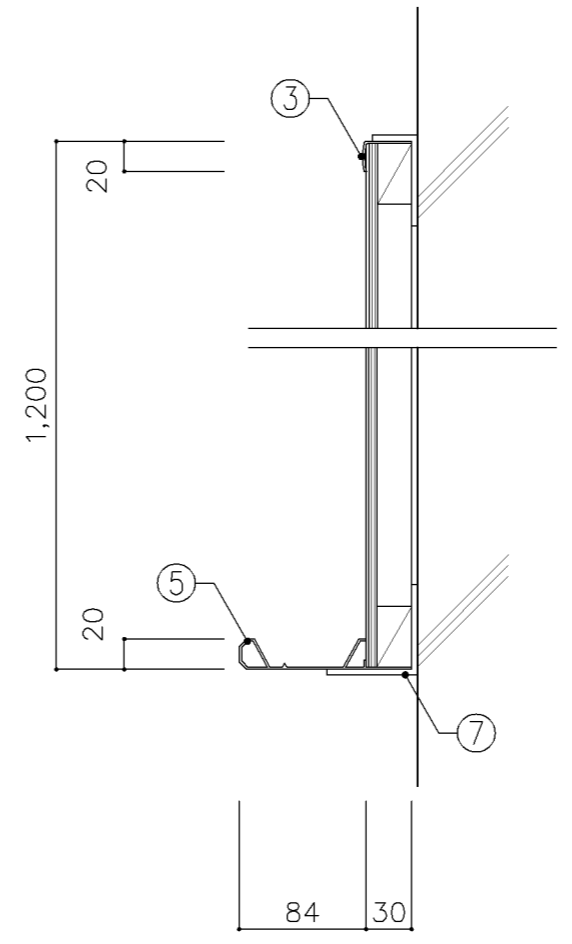
名称	ホワイトボード		
縮尺	1/5 1/20	記号	G-612
設計年月	令和7年3月		
横浜市建築局			



正面図 S: 1/20

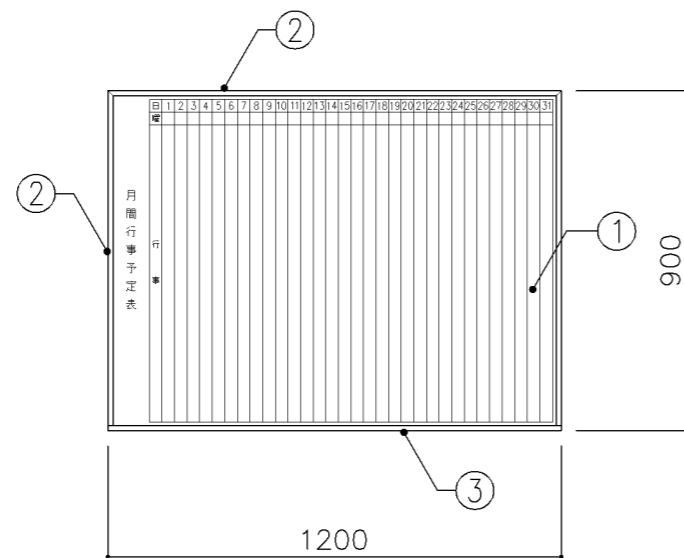


平面図 S: 1/5

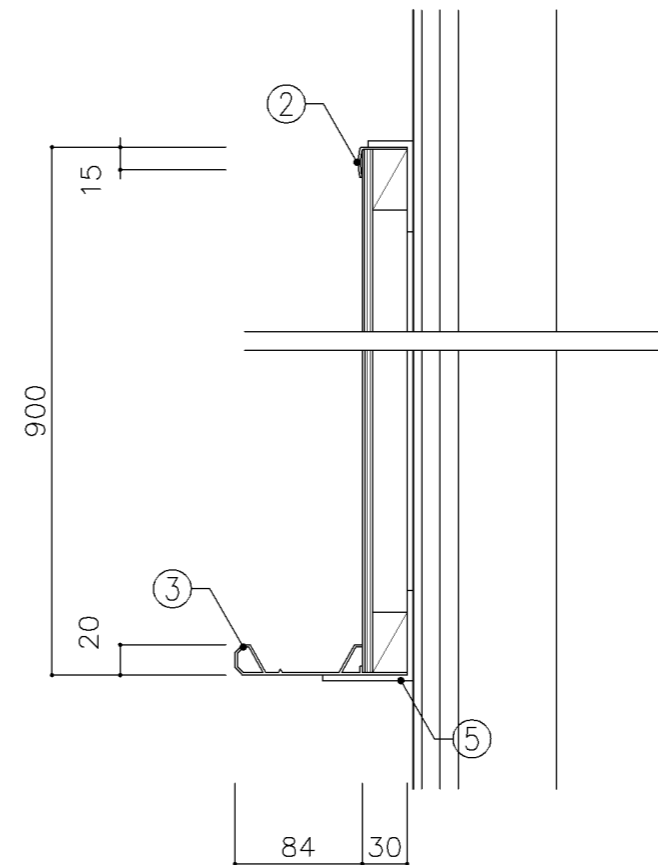


断面図 S: 1/5

寸 法			
	W2,200 x D	x H 1,200	
使用箇所			
保健相談室			
仕 様			
番号	名称	材 質	
①	ホワイトボード	スチールホーロー φ5.5ベニヤ(T-2)下地	
②	掲示板	掲示板シート張り φ5.5ベニヤ(T-2)下地	
③	枠	アルミ製	
④	T型ジョイナー	アルミ製	
⑤	粉受け	アルミ製	
⑥	サイドキャップ	樹脂製	
⑦	受け金物	φ4 スチールエニクロメッキ @900	
特記事項			
名称	ホワイトボード・掲示板		
縮尺	1/5 1/20	記号	G-613
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



正面図 S: 1/20



断面図 S: 1/5

寸法
W1,200 x D x H 900

使用箇所
校長室、事務室

仕様		
番号	名称	材質
①	ホワイトボード	スチールホーロー仕上 φ5.5ベニヤ(T-2)下地
②	枠	アルミ製
③	粉受け	アルミ製
④	サイドキャップ	樹脂製
⑤	受け金物	φ4 スチールユニクロメッキ @900

特記事項
・行事用フォーマット(1ヶ月分)入り

名称	行事用ホワイトボード		
縮尺	1/5 1/20	記号	G-620
設計年月	令和7年3月		

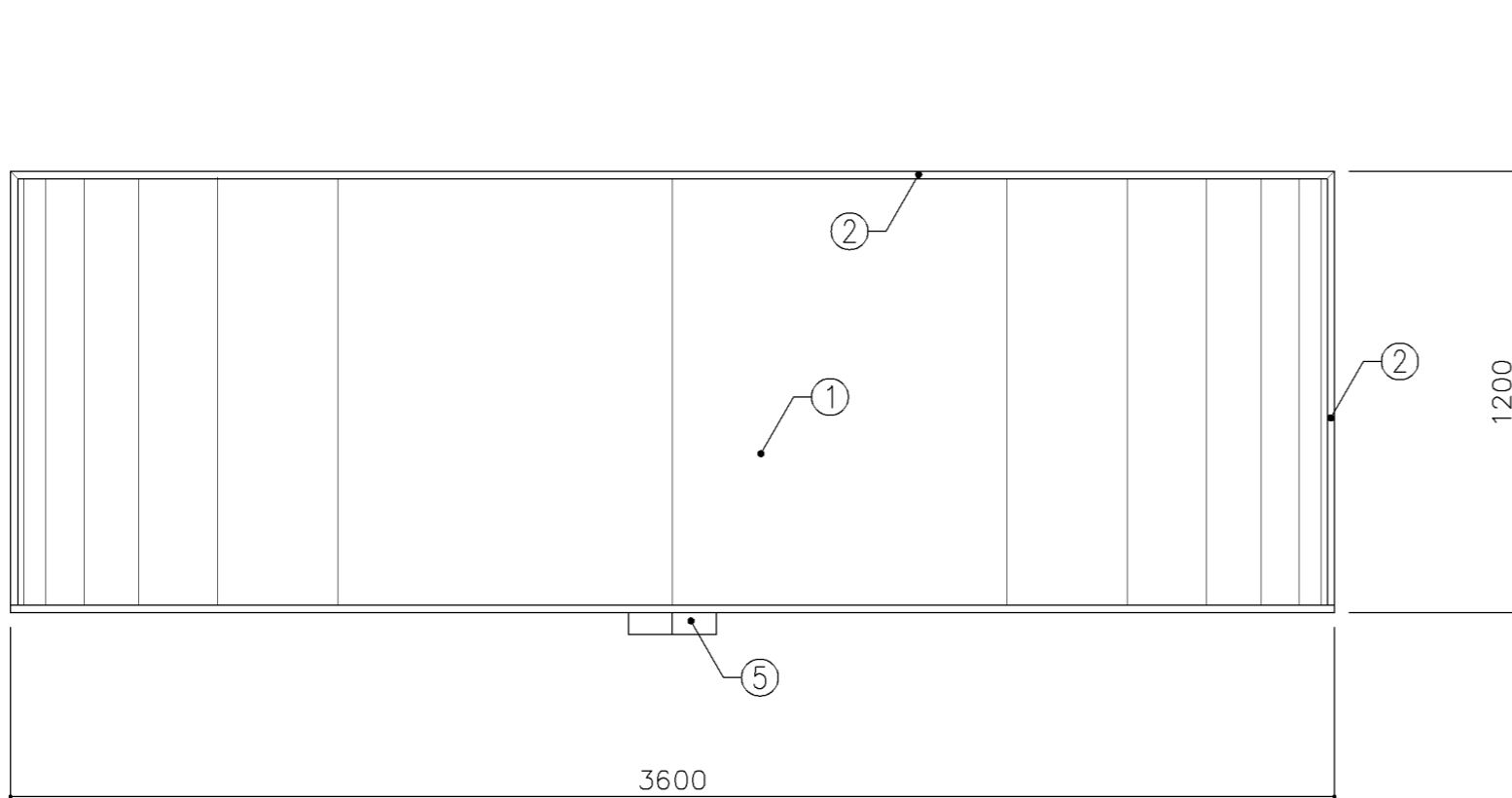
横浜市建築局

寸 法	
W3,600 x D	x H1,200
使用箇所	
普通教室（小・中学校）、技術教室	
多目的室（集会・発表等）（小・中学校）	
多目的室（少人数）（小・中学校）	
多目的室（学校指定）（小・中学校）	

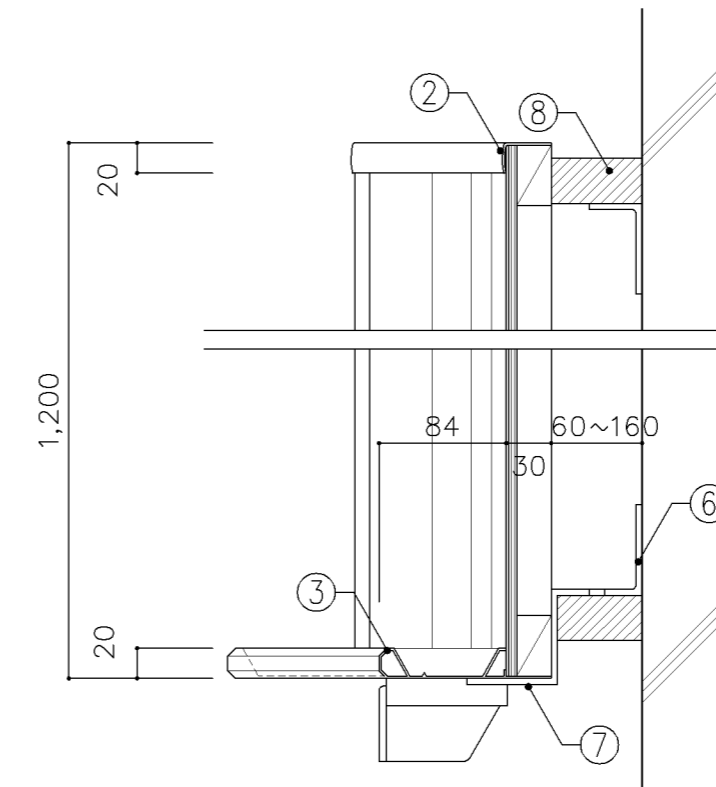
仕 様		
番号	名称	材 質
①	曲面黑板	スチールホーロー φ5.5ベニヤ（T-2）下地
②	枠	アルミ製
③	粉受け	アルミ製
④	サイドキャップ	樹脂製
⑤	チョークボックス	アルミ製（2連）
⑥	受け金物	φ4 スチールエニクロメッキ @900
⑦	受け金物	φ4 スチールエニクロメッキ @900（クランク型）
⑧	捨て枠	φ30 ラフソ

特記事項	

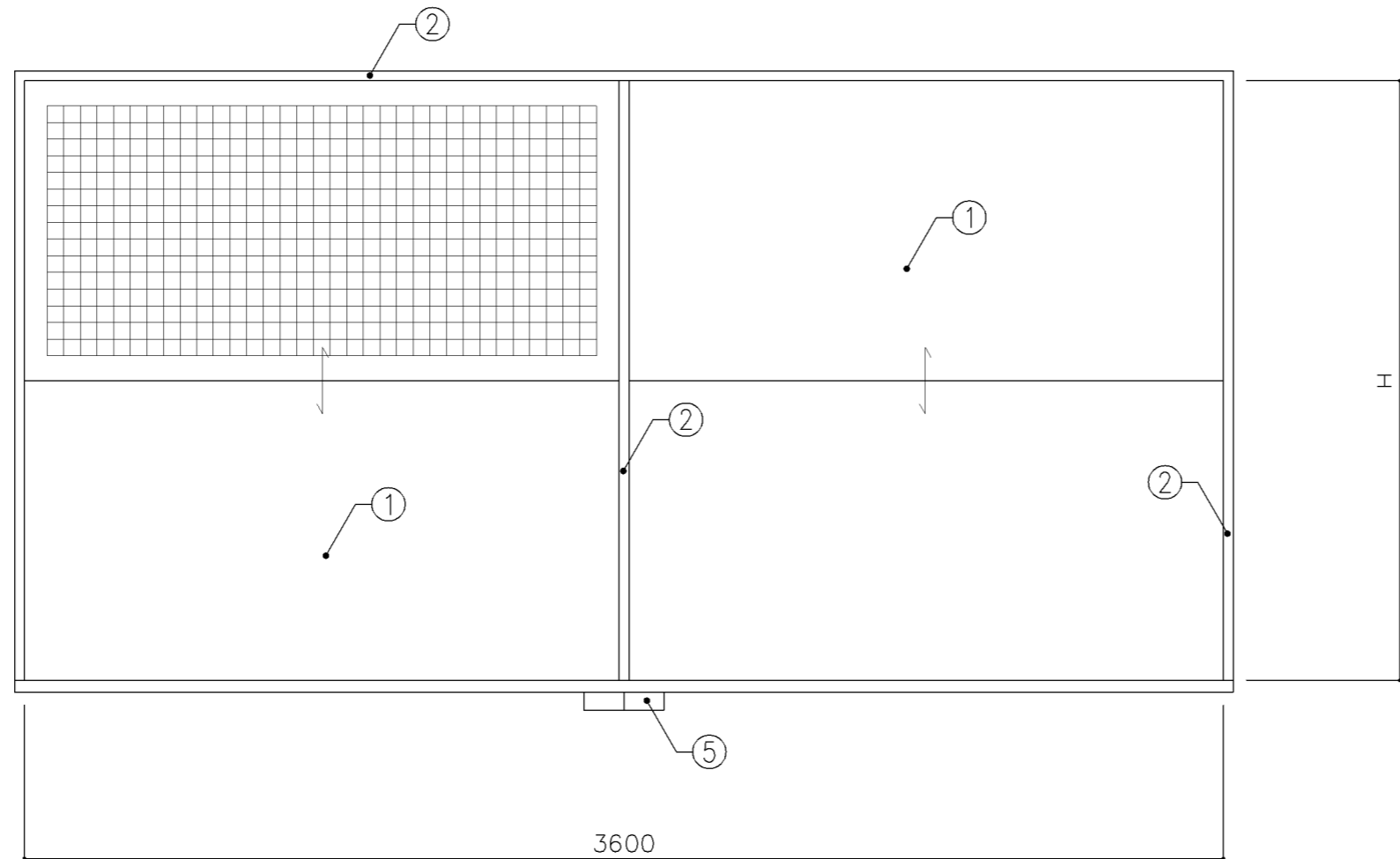
名称	曲面黑板		
縮尺	1/5 1/20	記号	G-630
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



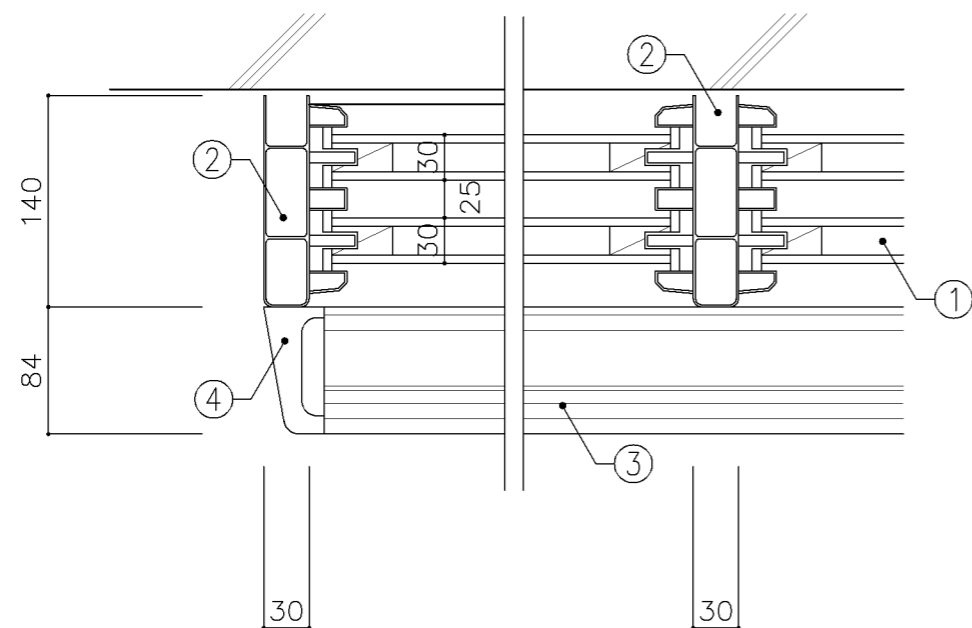
正面図 S:1/20



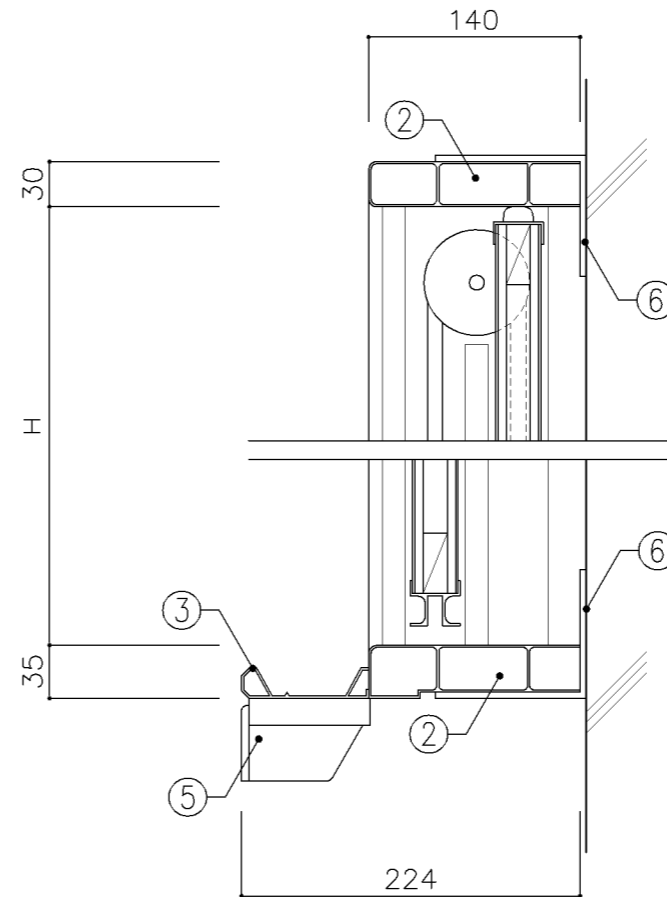
断面図 S:1/5



正面図 S: 1/20

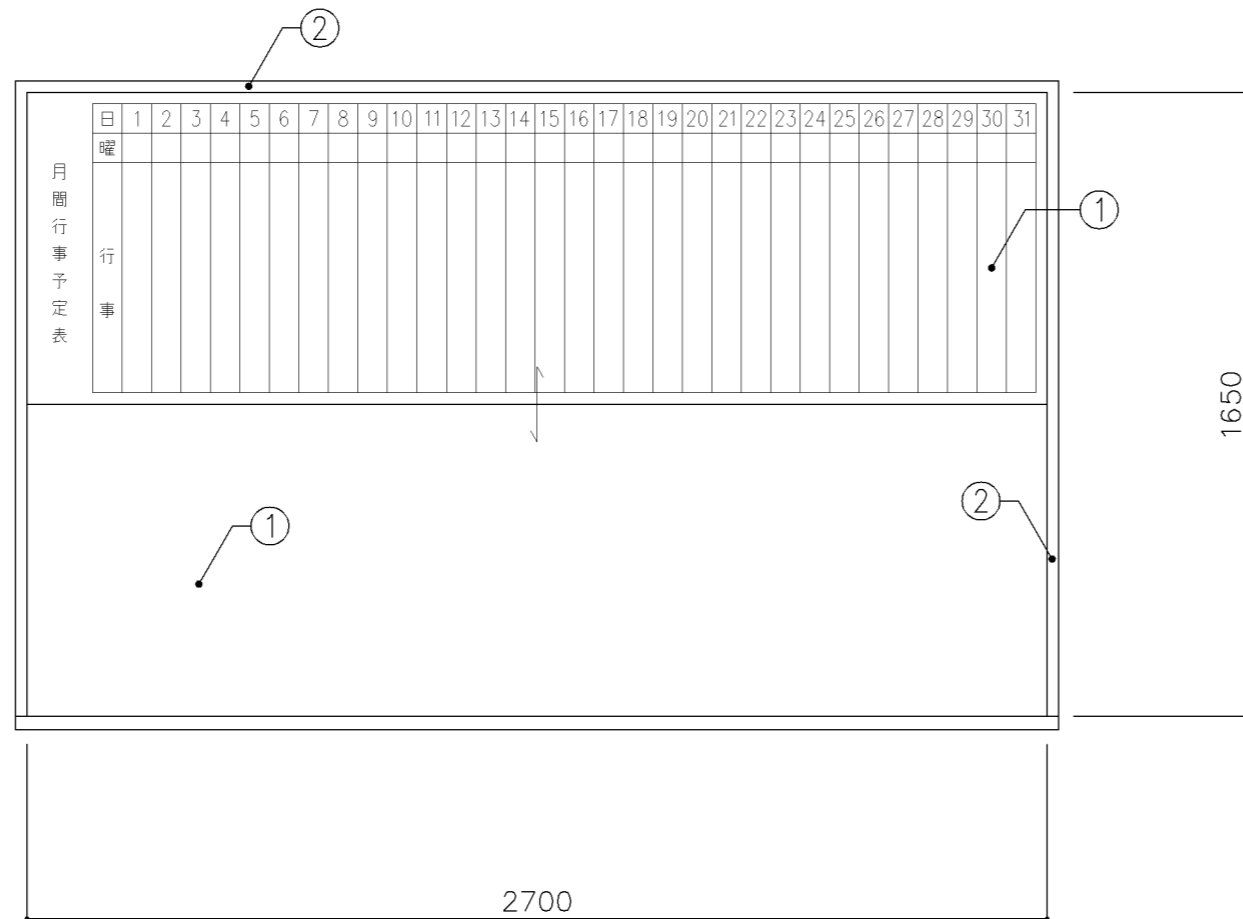


平面図 S: 1/5

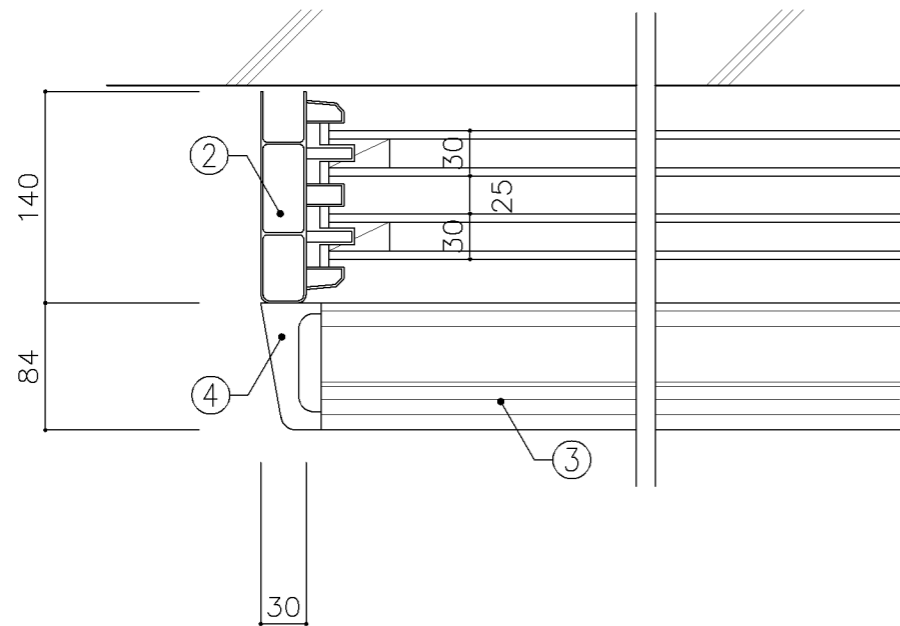


断面図 S: 1/5

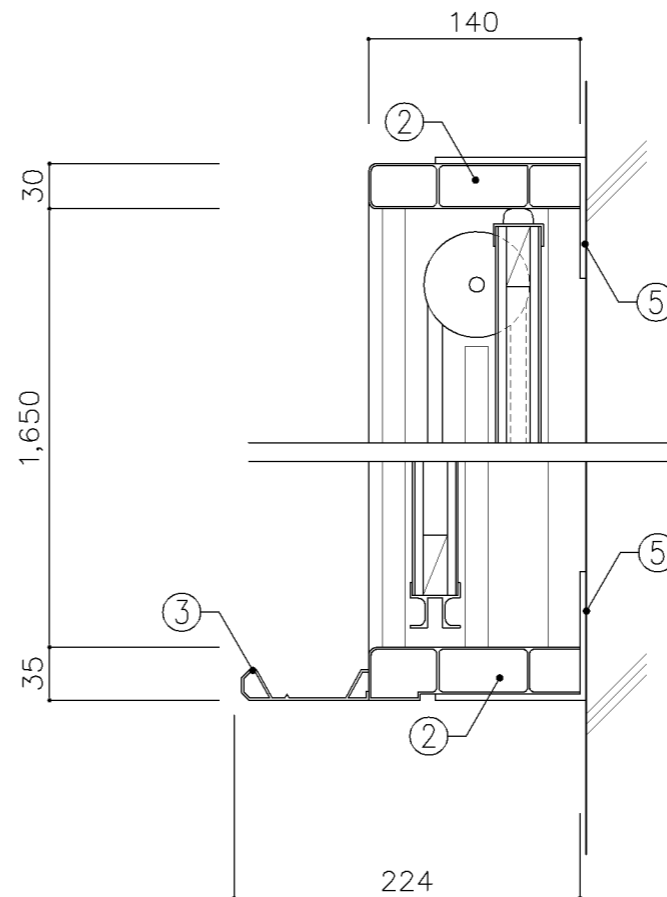
寸法		
A: W3,600 x D	x H1,700	
B: W3,600 x D	x H1,800	
使用箇所		
A: 理科教室(小・中学校)		
B: 多目的室(水廻り学習等)方眼線なし		
仕様		
番号	名称	材質
①	上下黒板	スチールホーロー
		φ5.5ベニヤ(T-2)下地
②	枠	アルミ製
③	粉受け	アルミ製
④	サイドキャップ	樹脂製
⑤	チョークボックス	アルミ製(2連)
⑥	受け金物	φ4 スチールユニクロメッキ
		@900
特記事項		
・一面地色同系色5cm角方眼線入りとする。		
名称		上下黒板
縮尺	1/5 1/20	記号 G-640
設計年月		令和7年3月
横浜市建築局		



正面図 S: 1/20



平面図 S: 1/5



断面図 S: 1/5

寸法
W2,700 x D x H1,650

使用箇所

職員室

仕様

番号	名称	材質
①	上下ホワイトボード	スチールホーロー φ5.5ベニヤ(T-2)下地
②	枠	アルミ製
③	粉受け	アルミ製
④	サイドキャップ	樹脂製
⑤	受け金物	φ4 スチールユニクロメッキ @900

特記事項

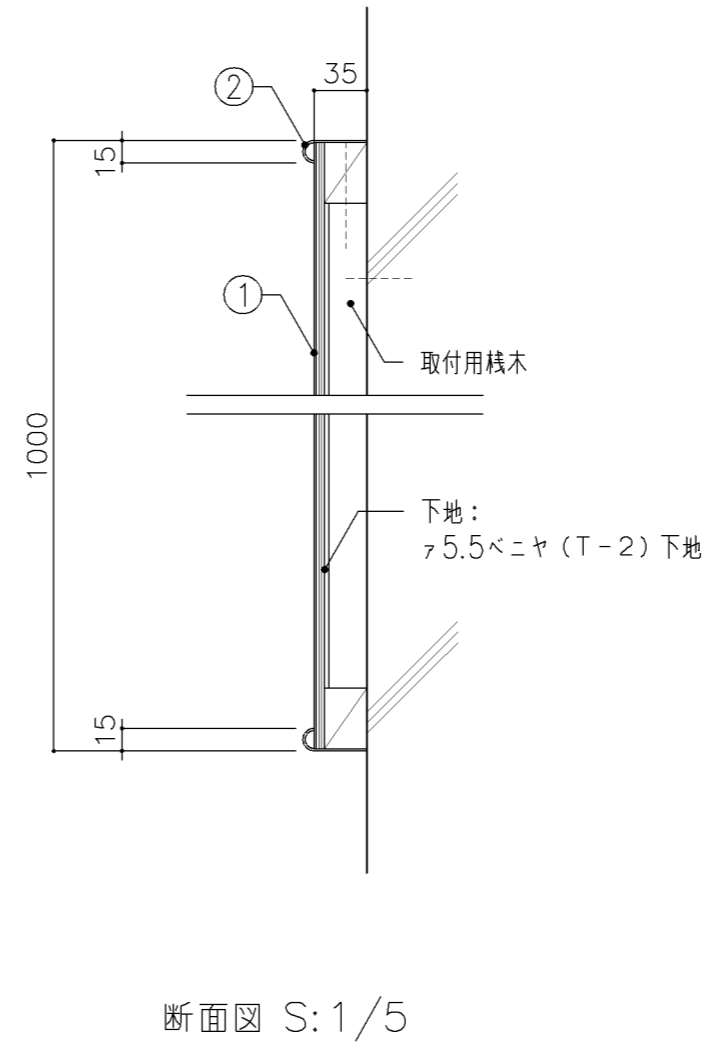
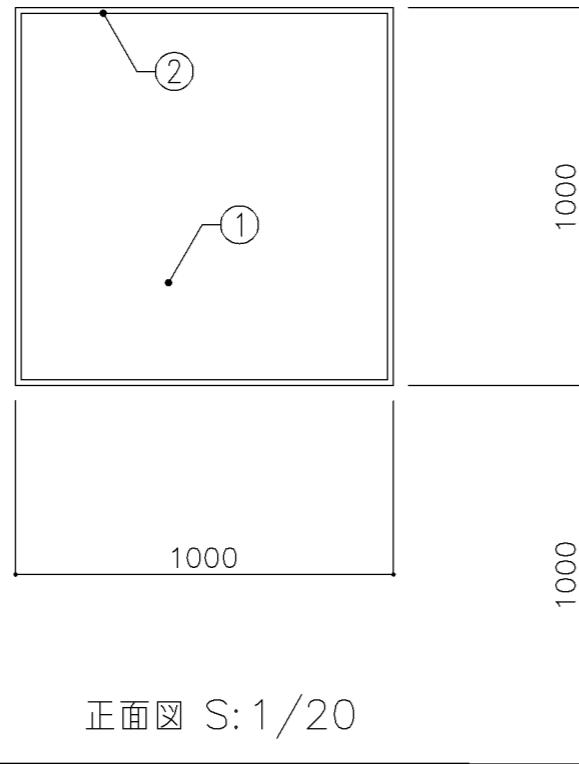
・行事用フォーマット(1ヶ月分)入り

名称 上下ホワイトボード

縮尺 1/5 1/20 記号 G-641

設計年月 令和7年3月

横浜市建築局



寸法
W 1,000 x D x H 1,000

使用箇所
職員・来校者用玄関

仕様	
番号	名称 材質
①	案内板 ホワイトボード 5.5ベニヤ(T-2)下地
②	枠 アルミ製

特記事項
・表示方法：黒ペンキ書き
・表示内容：
1/200程度の各階平面を単線で記入する。
室名は普通教室を除き、全て記入する。

名称	校内案内板		
縮尺	1/5 1/20	記号	G-681
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			

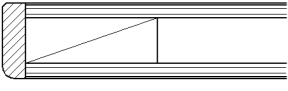
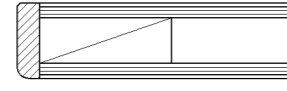
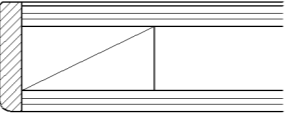
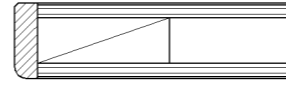
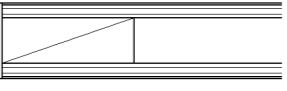
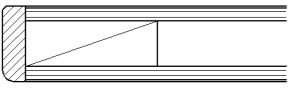
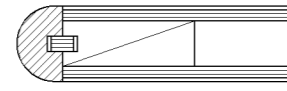
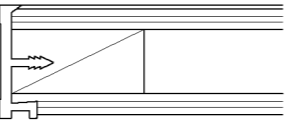
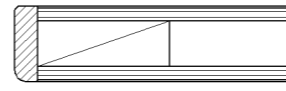
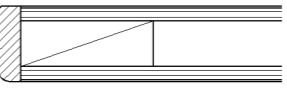
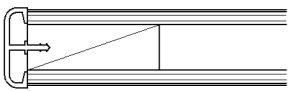
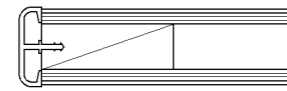
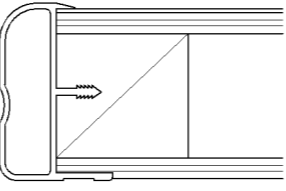
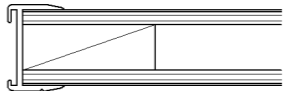
G-700 実習用家具（仕様）

1. 適用範囲	1) 本仕様は、横浜市学校建築工事備品の実習用家具に適用する。 2) 本仕様に明記していない事項については、各製作所の社内規格によるものとし、横浜市建築局公共建築部学校整備課の承認を得る。		
2. 材料及び規格	1) 実習用家具本体及び附属するステンレス流し、ならびにコンロ台等の材料及び規格は、G-100, G-701による。		
3. 仕上及び塗装	1) ステンレス鋼板表面は、#300以上のバフ研磨仕上とする。		
4. 製作	1) ステンレスの溶接は、直流アルゴンアーク溶接とする。 2) 構造は十分な強度を保ち、工作は確実にしなければならない。 3) 接着や溶接は確実にし、見え掛りの接合面は滑らかに仕上げなければならない。また組立は緩みを生じないように確実に締め付けなければならない。 4) 部材には適当な面をとり、手ざわりよく仕上げなければならない。 5) 錠、取手、丁番は戸締された状態で、破壊以外の方法による取りはずしができない構造とする。		
5. 附属金物	1) 排水トラップはオーバーフロー付の場合は、T14AOC-50VP用、その他の場合はT14A-50VP用とし、ゴミ収納器付とする。 2) 小ネジ、ナット等は、日本工業規格（JIS）に適合したもの、合成樹脂はその用途に適合したものとする。		
6. 組立・取付	1) 組立は工場生産とする。 2) 取付は、別途G-702図による。		

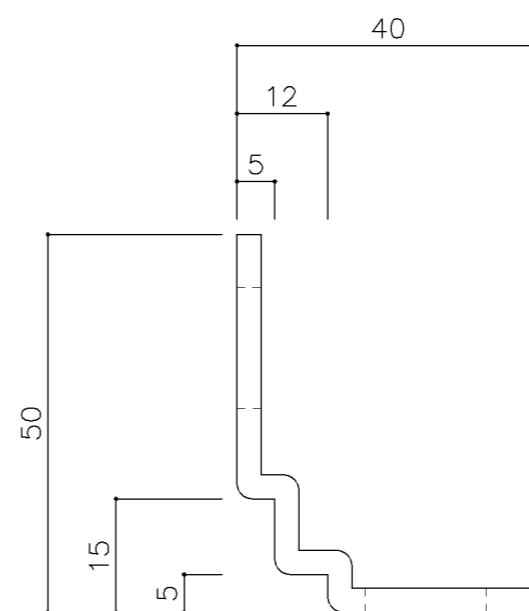
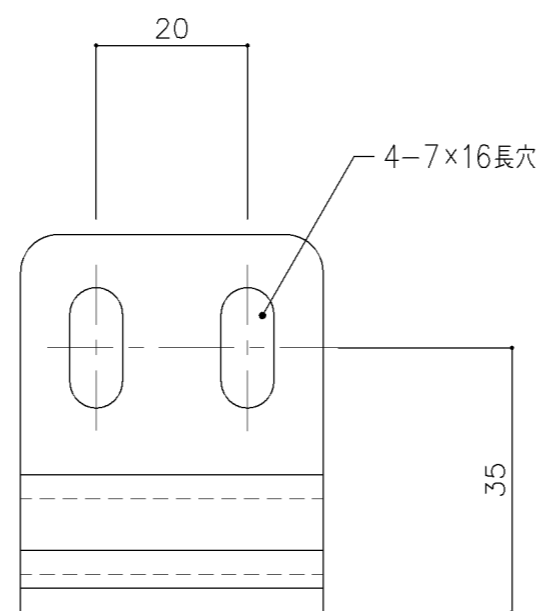
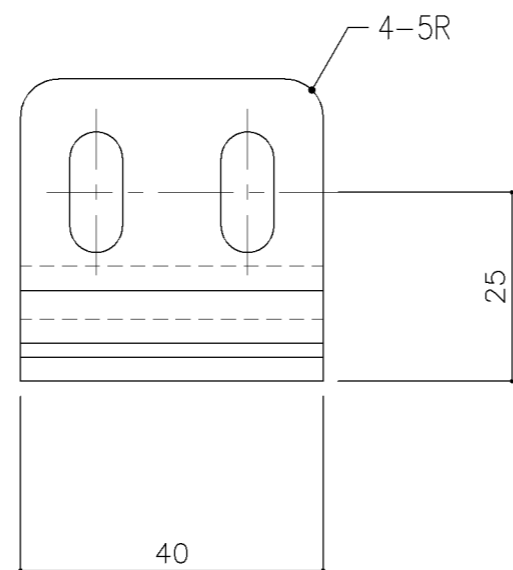
名称	仕様		
縮尺		記号	G-700
設計年月日	令和7年3月		
横浜市建築局			

G-700 実習用家具 共通事項

- 1. 収納家具等の木口材及び芯材は下記による。
- 1. 部位別の表面材と木口材は、下記リスト表より選定するものとする。
尚リスト表に記載されていないものに関しては、横浜市建築工事担当課の承認を得るものとする。
- 1. 芯材は原則として、リスト表によるものとする。
- 1. 各部塗装は、国土交通省仕様を順守の事。

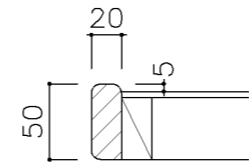
部位別による表面材と木口形状リスト					芯材リスト（凡例） ※各図面の芯材の蘭の表記は下記による	
本体（枠板）	天板形状（甲板）		扉	棚板形状（可動棚）		
㉠ ポリエステル化粧合板  木口：タモ ヲ6（面取加工）	㉠ メラミン化粧板  木口：タモ ヲ6（面取加工）	㉡ 耐薬品特殊アクリル系樹脂化粧板  木口：タモ ヲ6（面取加工）	㉠ ポリエステル化粧合板  木口：タモ ヲ6（面取加工）	㉠ ポリエステル化粧合板  木口：メラミン化粧板	A-1	フラッシュ
㉢ しな合板  木口：タモ ヲ6（面取加工）	㉢ メラミン化粧板  木口：タモ（アール加工）	㉣ 耐薬品特殊アクリル系樹脂化粧板  木口：樹脂成形品	㉢ しな合板  木口：タモ ヲ6（面取加工）	㉢ しな合板 	B-1	ブロックコア
㉣ ポリエステル化粧合板 Or しな合板  木口：塩ビエッジ	㉣ メラミン化粧板  木口：塩ビエッジ	㉥ 耐薬品特殊アクリル系樹脂化粧板  木口：アルミ成形品		㉣ ポリエステル化粧合板 Or しな合板  木口：アルミ成形レール	C-1	ベタ芯

名称	共通事項		
縮尺	記号	G-701	
設計年月日	令和7年3月		
横浜市建築局			

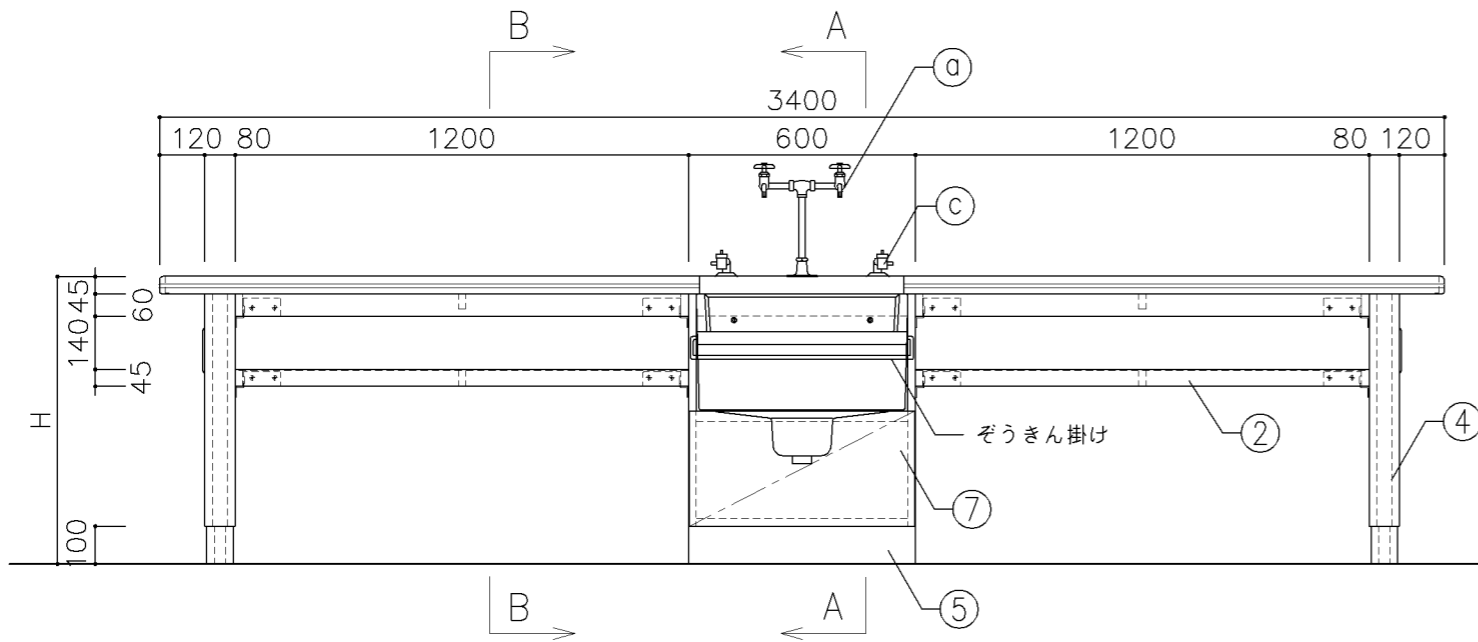
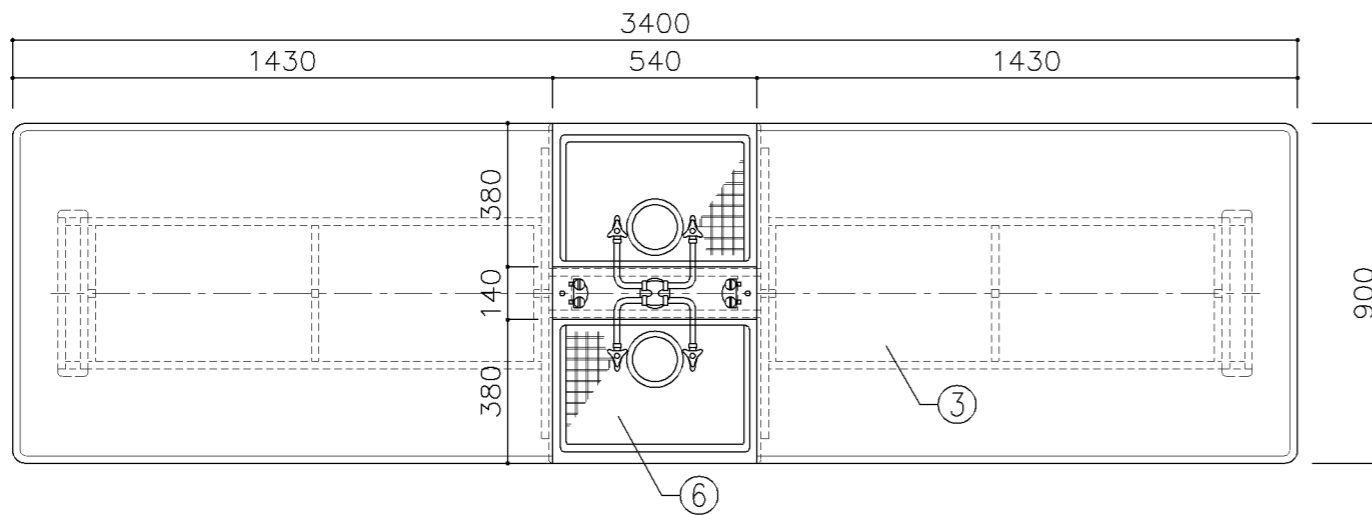


実験台 固定金具（参考図）

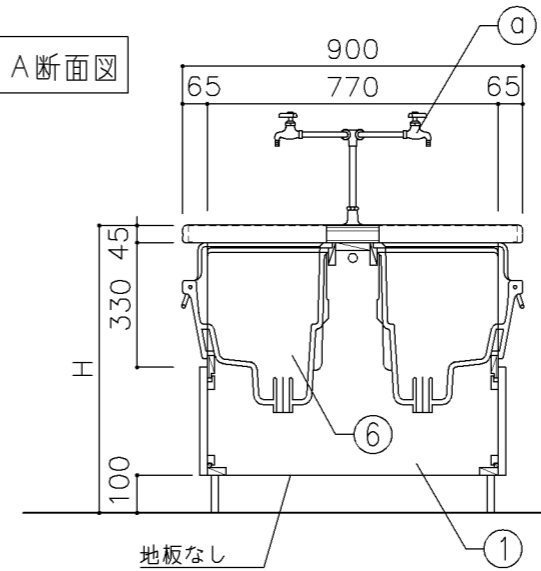
名称	取付仕様		
縮尺	1/1	記号	G-702
設計年月日	令和7年3月		
横浜市建築局			



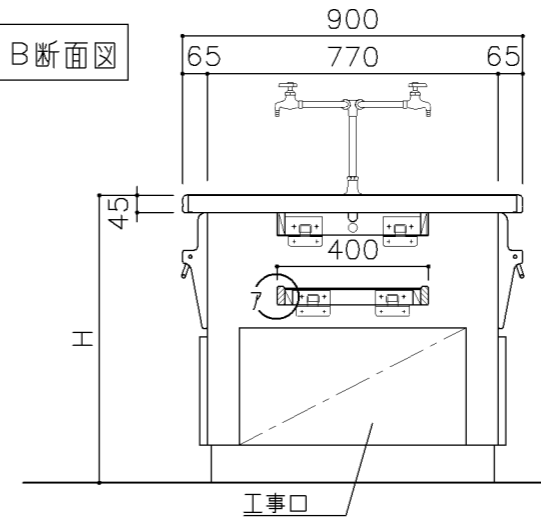
ア部 詳細図 1/5



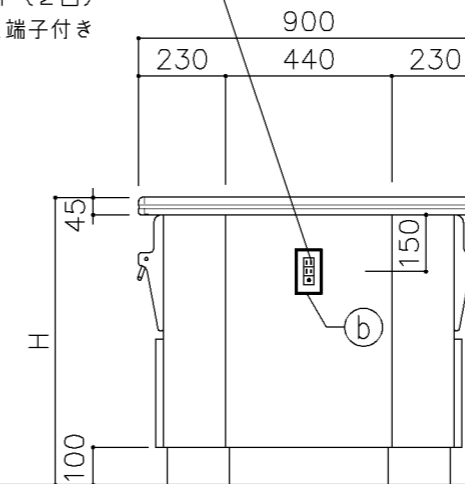
A-A断面図



B-B断面図



両面ACコンセント(2口)
アース端子付き



寸法

A: W3,400 × D900 × H720
B: W3,400 × D900 × H760

使用箇所

A: 理科教室(小学校)
B: 理科教室(中学校)

仕様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	棚板	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	天板	B-1	耐薬品特殊アクリル系樹脂化粧板	
④	脚	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑤	台輪		一般堅木材	着色UC
⑥	シンク		陶器流し(水切りアミ付)	
⑦	ケツドソ扉	A-1	ポリエステル化粧合板	

付属器具

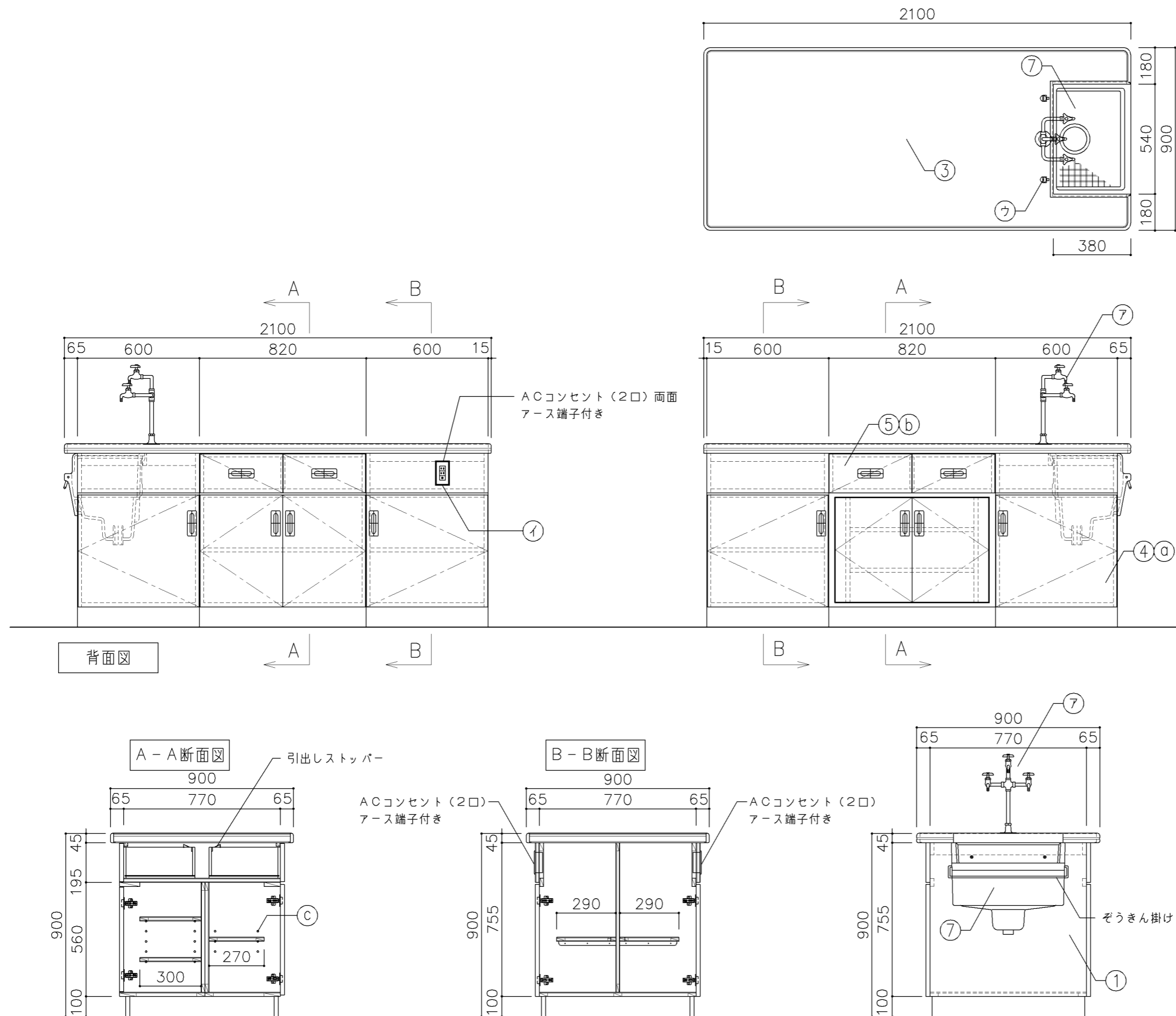
番号	使用箇所	名称
a	水栓	振分式4ツ口化学水栓 1ヵ所(設備工事)
b	コンセント	AC100V15A 2ツ口 2個
c	ガスコック	卓上型 2ツ口 2個(設備工事)
d	固定金具	

特記事項

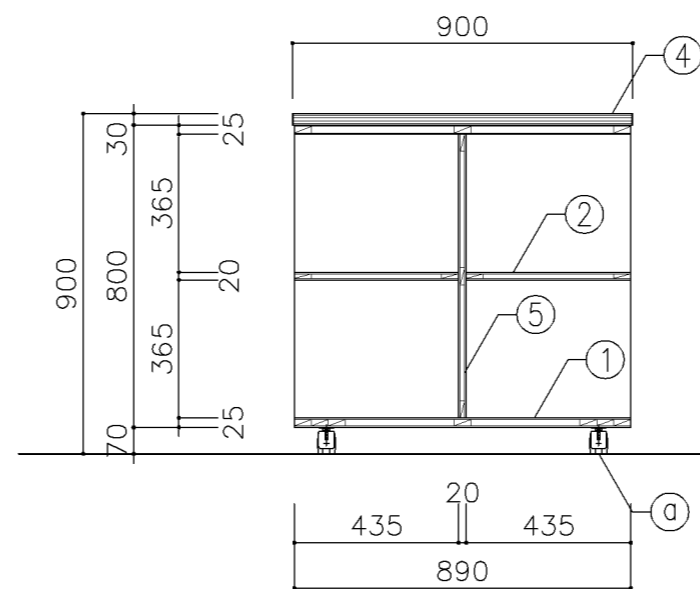
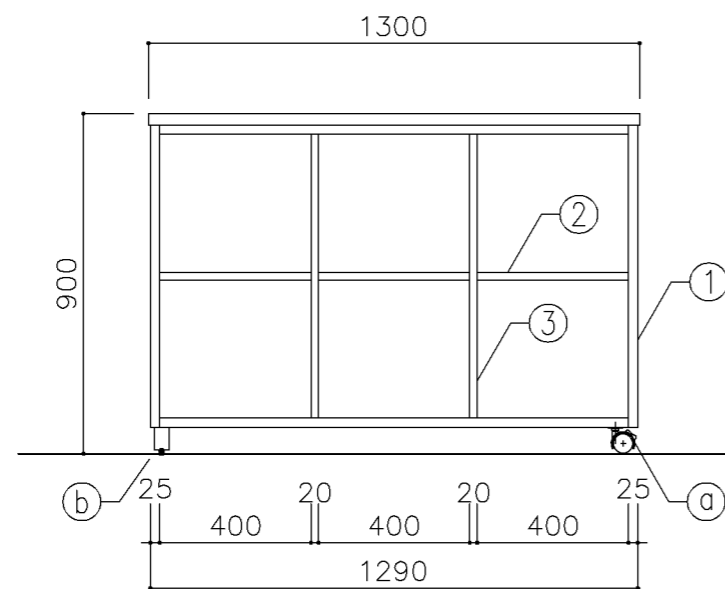
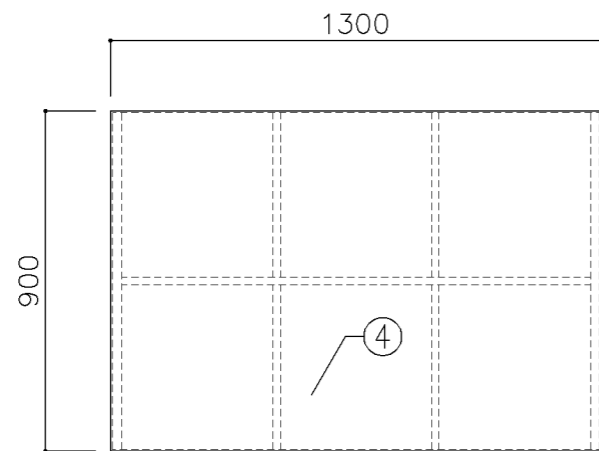
- ・木口の形状については、G-701より選定する。
- ・見掛かりはポリエステル化粧合板とする。
- ・コンセントは、両妻設置とする。
- ・設備用工事口は、パネルビス止めとする。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	児童・生徒用実験台		
縮尺	1/20	記号	G-710
設計年月	令和7年3月		

横浜市建築局



寸法				
W2,100 × D900 × H900				
使用箇所				
理科教室 (小・中学校)				
仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	天板	B-1	耐薬品特殊アクリル系樹脂化粧板	
④	扉	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑤	引出シ	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑥	台輪		一般堅木材	着色UC
⑦	シンク		陶器流し (水切りアミ付)	
金物				
番号	使用箇所	名称		
a	扉	スライド丁番、国産材堀込引手		
b	引出シ	引出しストッパー、国産材堀込引手		
c	可動棚	棚ダボ		
付属器具				
番号	使用箇所	名称		
ア	水栓	3ツ口化学水栓 1ヵ所 (設備工事)		
イ	コンセント	AC100V15A 2ツ口 2個		
ウ	ガスコック	卓上型 1ツ口 2個 (設備工事)		
エ	固定金具			
特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・木口の形状については、G-701より選定する。 ・見掛かりはポリエステル化粧合板とする。 ・設備用工事口は、パネルビス止めとする。 ・扉の厚みは、20mmを原則とする。 ・芯材は、国産杉芯合板とする。 				
名称	教師用操作卓			
縮尺	1/20	記号	G-711	
設計年月	令和7年3月			
横浜市建築局				



寸 法

W1,300 × D900 × H900

使用箇所

理科教室 (小・中学校)
多目的室 (水廻り学習等)

仕 様

番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	棚板	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A-1	ポリエステル化粧合板	
④	天板	B-1	耐薬品特殊アクリル系樹脂化粧板	
⑤	裏板	A-1	ポリエステル化粧合板	

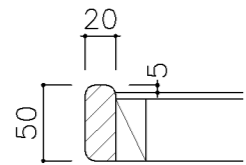
金 物

番号	使用箇所	名 称
①	脚	キャスター (ストッパー付) 50kg耐荷重
②	脚	ゴム脚

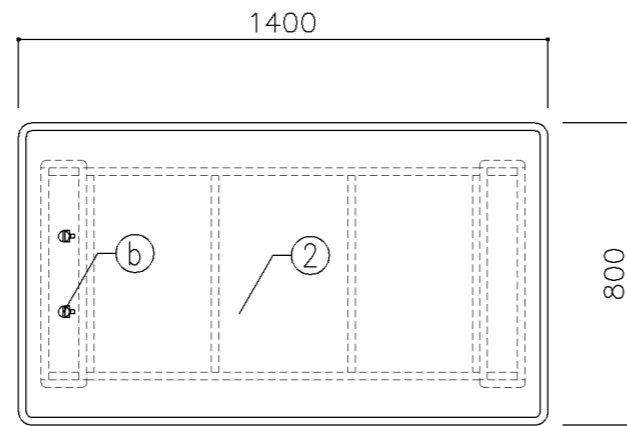
特記事項

- ・木口の形状については、G-701より選定する。
- ・見掛かりはポリエステル化粧合板とする。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

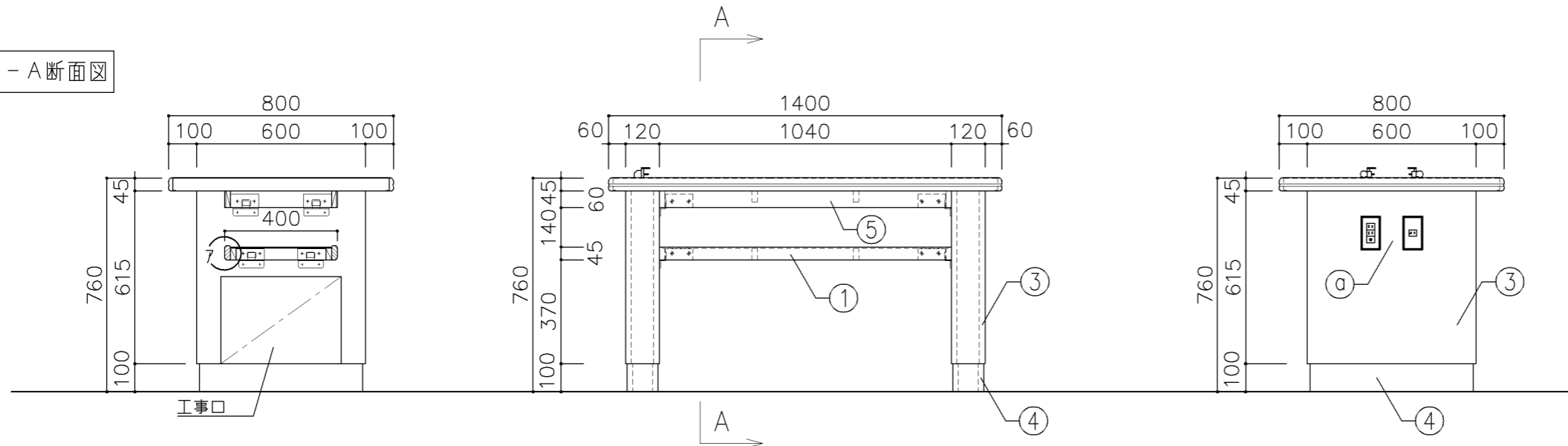
名称	移動式教師用机		
縮尺	1/20	記号	G-712
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



ア部 詳細図 1/5



A-A断面図



寸法

W1,400 × D800 × H760

使用箇所

理科準備室（小・中学校）

仕様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	棚板	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	天板	B-1	耐薬品特殊アクリル系樹脂化粧板	
③	脚	A-1	ポリエステル化粧合板	
④	台輪		一般堅木材	着色UC
⑤	幕板	A-1	ポリエステル化粧合板	

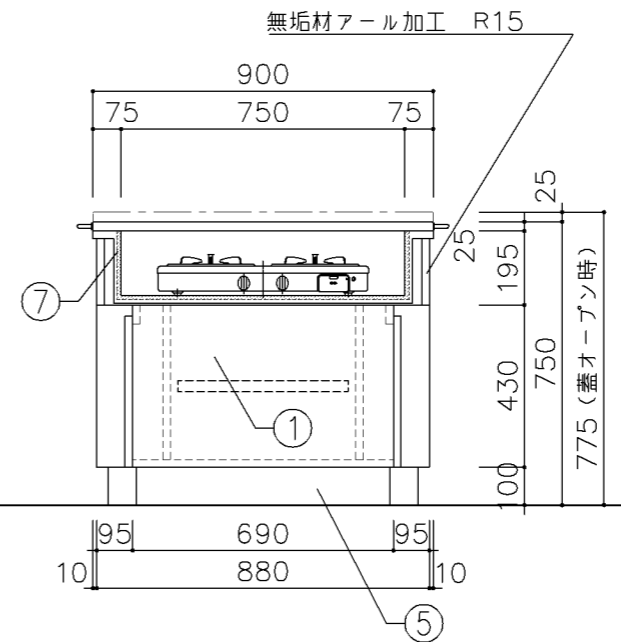
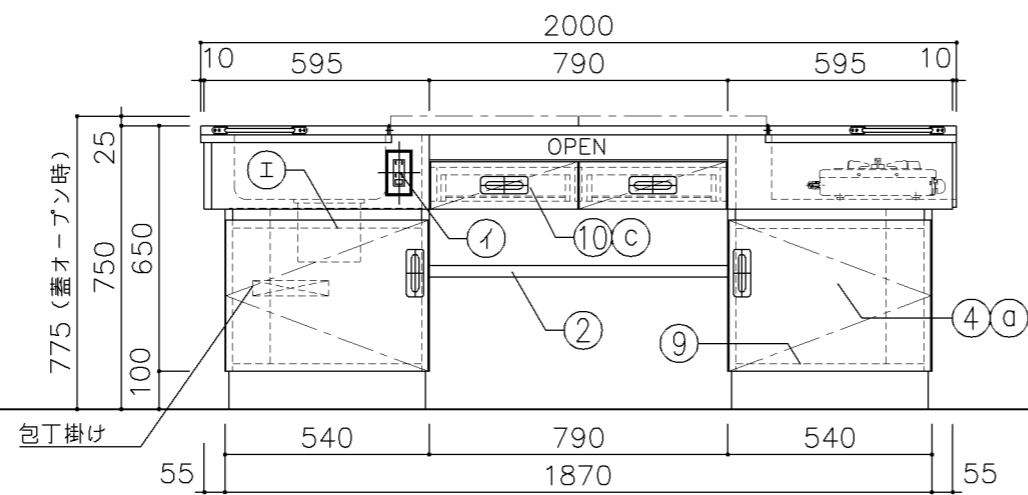
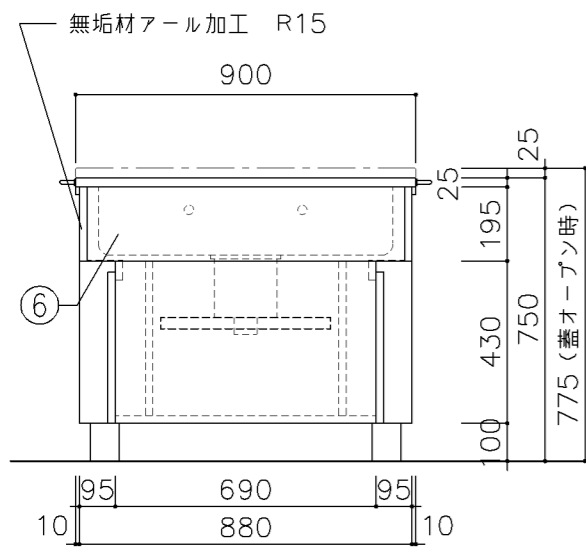
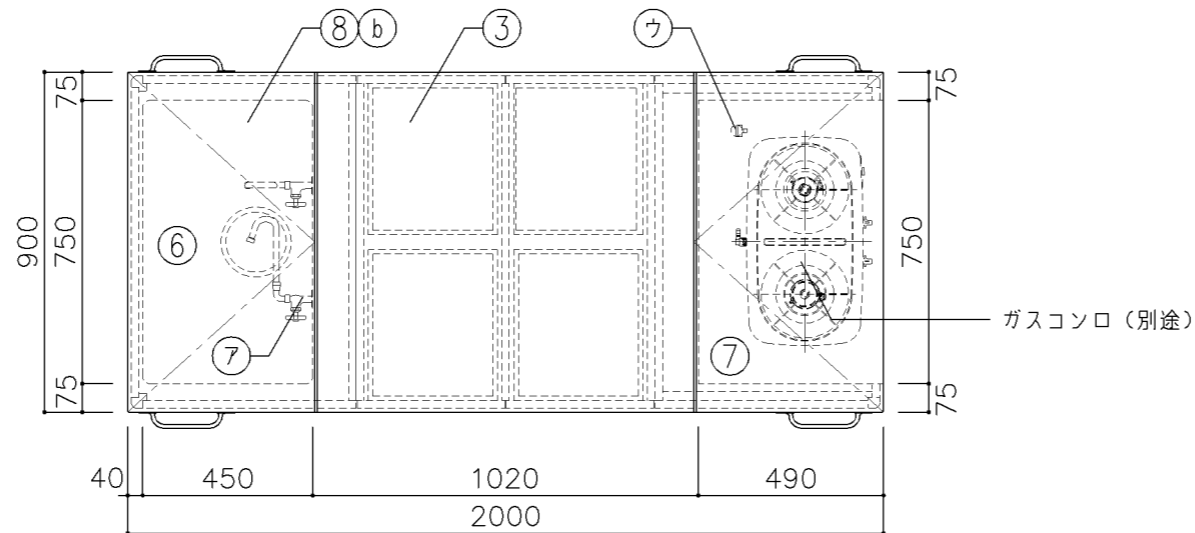
付属器具

番号	使用箇所	名称
ⓐ	コンセント	DC2P20A T型 1個 AC100V15A 2ツロ 1個
ⓑ	ガスロック	卓上型 1ツロ 2個（設備工事）
ⓒ	固定金具	

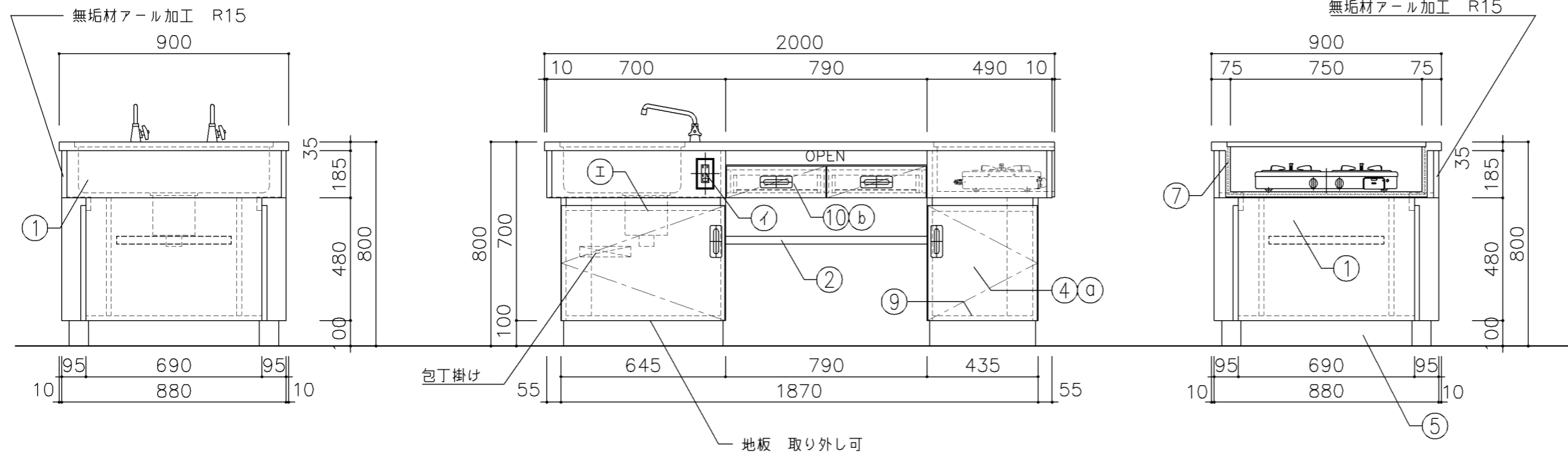
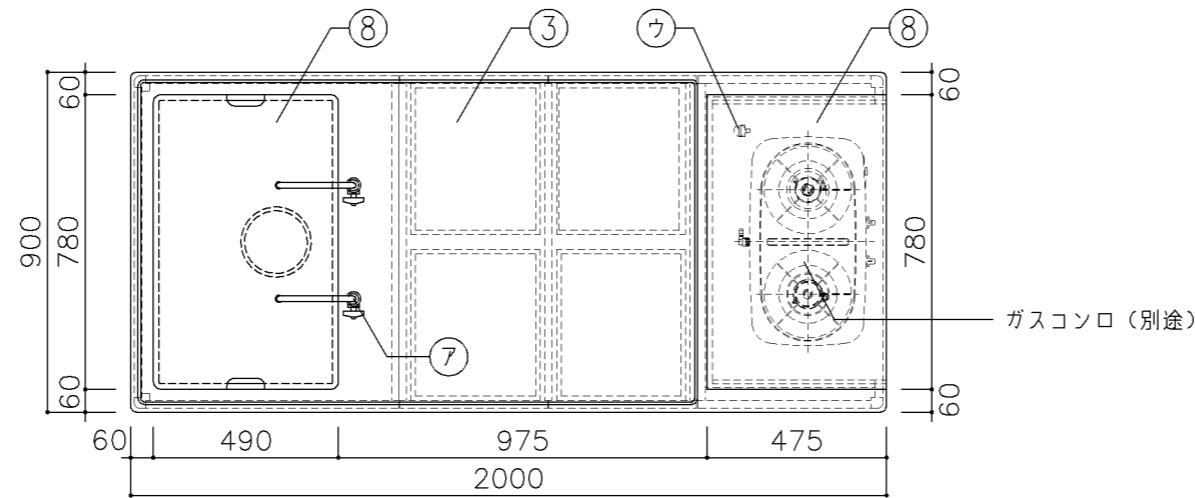
特記事項

- ・木口の形状については、G-701より選定する。
- ・見掛かりはポリエステル化粧合板とする。
- ・コンセントは、両妻設置とする。
- ・設備用工事口は、パネルビス止めとする。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	実験台		
縮尺	1/20	記号	G-713
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



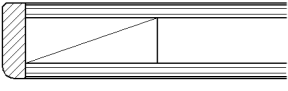
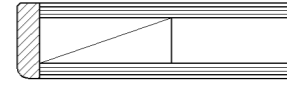
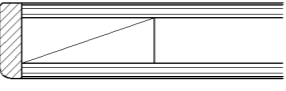
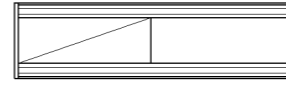
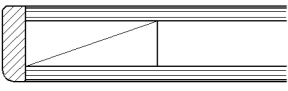
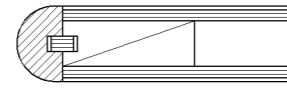
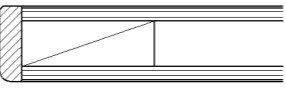
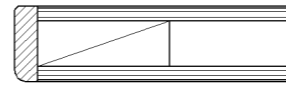
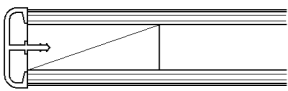
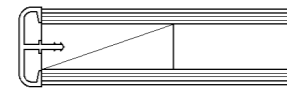
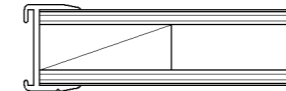
寸 法				
W2,000 × D900 × H775				
※H寸法は蓋を開けた状態を示す				
使用箇所				
家庭科教室 (小学校)				
仕 様				
番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	棚板	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	天板	B-1	メラミン化粧板	
④	扉	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑤	台輪		一般堅木材	着色UC
⑥	シンク		SUS304-1.0t	
⑦	コンロ台		SUS304-1.0t 裏張り: t12 ケイ酸 カルシウム板張り	
⑧	蓋	B-1	メラミン化粧板 裏面: SUS304-1.0t 木口: 挽板 t4張り	
⑨	底板	A-1	SUS304-0.8t	
⑩	引出シ		ポリエステル化粧合板	
金 物				
番号	使用箇所	名 称		
a	扉	スライド丁番、国産材掘込引手		
b	蓋	ステンレスピアノ丁番、ステンレス引手		
c	引出シ	引出シストッパー、国産材掘込引手		
付属器具				
番号	使用箇所	名 称		
ア	水栓	折りタタミ自在水栓 2個 (設備工事)		
イ	コンセント	AC100V15A 2ツ口 2個		
ウ	ガスソック	卓上型 1ツ口 1個 (設備工事)		
エ	トラップ	MK-P1(2724) ゴミ収納器付		
オ	固定金具			
特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・給水×1 ・給湯×1 				
<ul style="list-style-type: none"> ・木口の形状については、G-701より選定する。 ・主材はポリエステル化粧合板とする。 ・扉の厚みは、20mmを原則とする。 ・芯材は、国産杉芯合板とする。 				
名称	教師兼児童用調理台			
縮尺	1/20	記号	G-720	
設計年月		令和7年3月		
横浜市建築局				



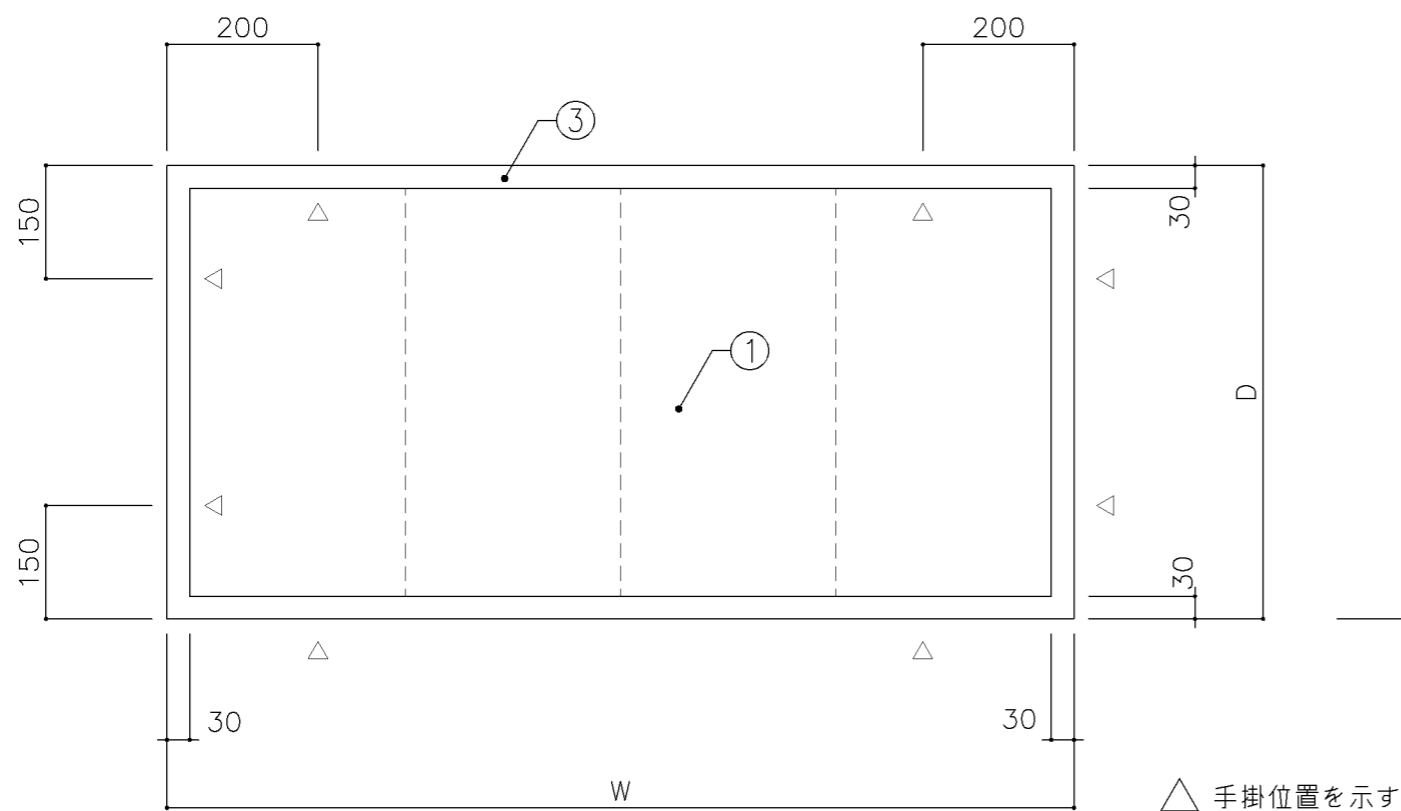
寸 法				
W2,000 × D900 × H800				
使用箇所				
家庭科教室 (中学校)				
仕 様				
番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	棚板	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	天板	B-1	メラミン化粧板	
④	扉	A-1	ポリエステル化粧合板	
⑤	台輪		一般堅木材	着色UC
⑥	シンク		SUS304-1.0t	
⑦	コンロ台		SUS304-1.0t 裏張り: t12 ケイ酸 カルシウム板張り	
⑧	蓋	B-1	SUS304-1.0t	
⑨	底板	A-1	SUS304-0.8t	
⑩	引出シ		ポリエステル化粧合板	
金 物				
番号	使用箇所	名 称		
①	扉	スライド丁番、国産材堀込引手		
②	引出シ	引出シストッパー、国産材堀込引手		
付属器具				
番号	使用箇所	名 称		
①	水栓	(設備工事)		
②	コンセント	AC100V15A 2ツ口 2個		
③	ガスソック	卓上型 1ツ口 1個 (設備工事)		
④	トラップ	MK-P1(2724) ゴミ収納器付		
⑤	固定金具			
特記事項				
・給水×1				
・給湯×1				
・木口の形状については、G-701より選定する。				
・主材はポリエステル化粧合板とする。				
・扉の厚みは、20mmを原則とする。				
・芯材は、国産杉芯合板とする。				
名称	教師兼生徒用調理台			
縮尺	1/20	記号	G-730	
設計年月		令和7年3月		
横浜市建築局				

G-800 雑家具 共通事項

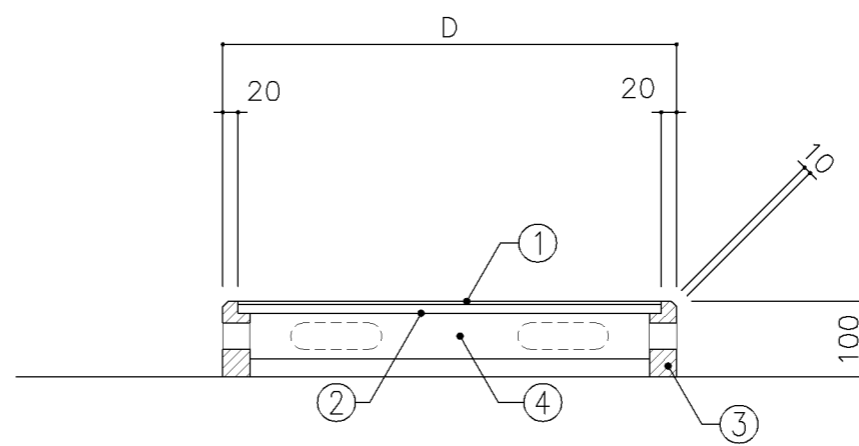
- 1. 収納家具等の木口材及び芯材は下記による。
- 1. 部位別の表面材と木口材は、下記リスト表より選定するものとする。
尚リスト表に記載されていないものに関しては、横浜市建築工事担当課の承認を得るものとする。
- 1. 芯材は原則として、リスト表によるものとする。
- 1. 各部塗装は、国土交通省仕様を順守の事。

部位別による表面材と木口形状リスト					芯材リスト（凡例）	
本体（枠板）	天板形状（甲板）	扉	棚板形状（可動棚）		※各図面の芯材の蘭の表記は下記による	
(A) ポリエステル化粧合板  木口：タモ ャ6（面取加工）	(A) メラミン化粧板  木口：タモ ャ6（面取加工）	(A) ポリエステル化粧合板  木口：タモ ャ6（面取加工）	(A) ポリエステル化粧合板  木口：メラミン化粧板		A-1	フラッシュ
(B) しな合板  木口：タモ ャ6（面取加工）	(B) メラミン化粧板  木口：タモ（アール加工）	(B) しな合板  木口：タモ ャ6（面取加工）	(B) しな合板 		B-1	ブロックコア
(C) ポリエステル化粧合板 Or しな合板  木口：塩ビエッジ	(C) メラミン化粧板  木口：塩ビエッジ		(C) ポリエステル化粧合板 Or しな合板  木口：アルミ成形レール		C-1	ベタ芯

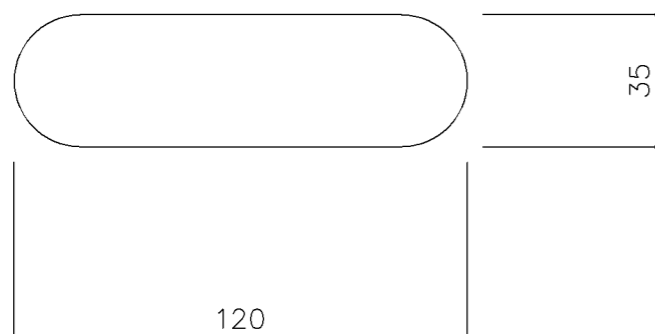
名称	共通事項		
縮尺	記号	G-800	
設計年月日	令和7年3月		
横浜市建築局			



平面図



断面図



手掛詳細図 S: 1/2

寸法

A : W1,200 x D 600 x H 100
 B : W1,200 x D1,000 x H 100

使用箇所

A : 音楽教室
 B : 理科教室 (小・中学校)

仕様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	床板		A : γ 8 Eゴテンコート張り	
			B : γ 2 ビニル床シート張り	
②	下地材		γ 12 ヲ合板 (T-2)	
③	框材		ナラ集成材	UC
④	根太		60x40 @300	

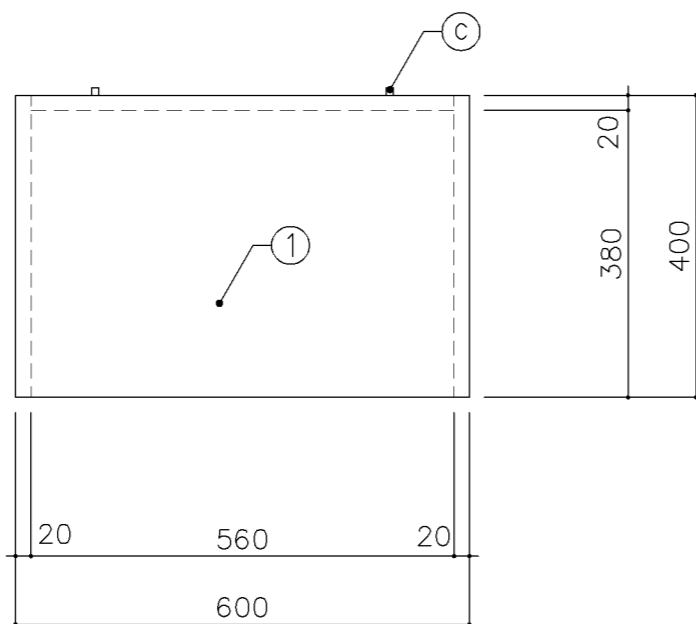
金物

番号	使用箇所	名称

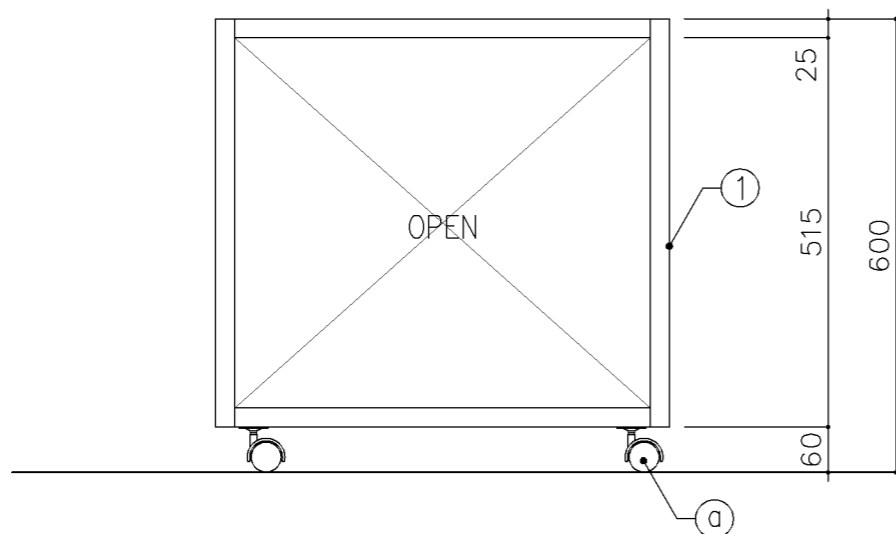
特記事項

・床板は教室仕上に準ずる

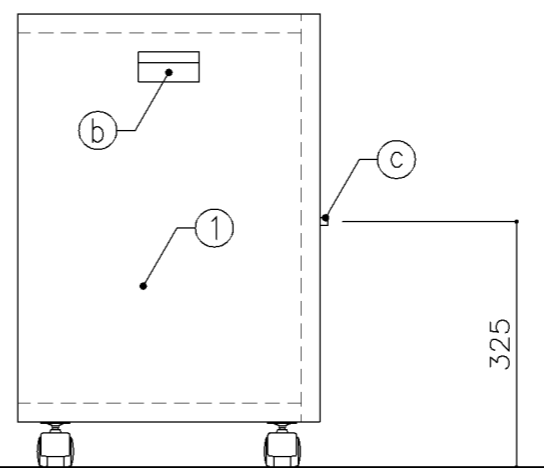
名称	教壇		
縮尺	1/10	記号	G-810
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



平面図



正面図



側面図

寸法
W 400 x D 600 x H 600

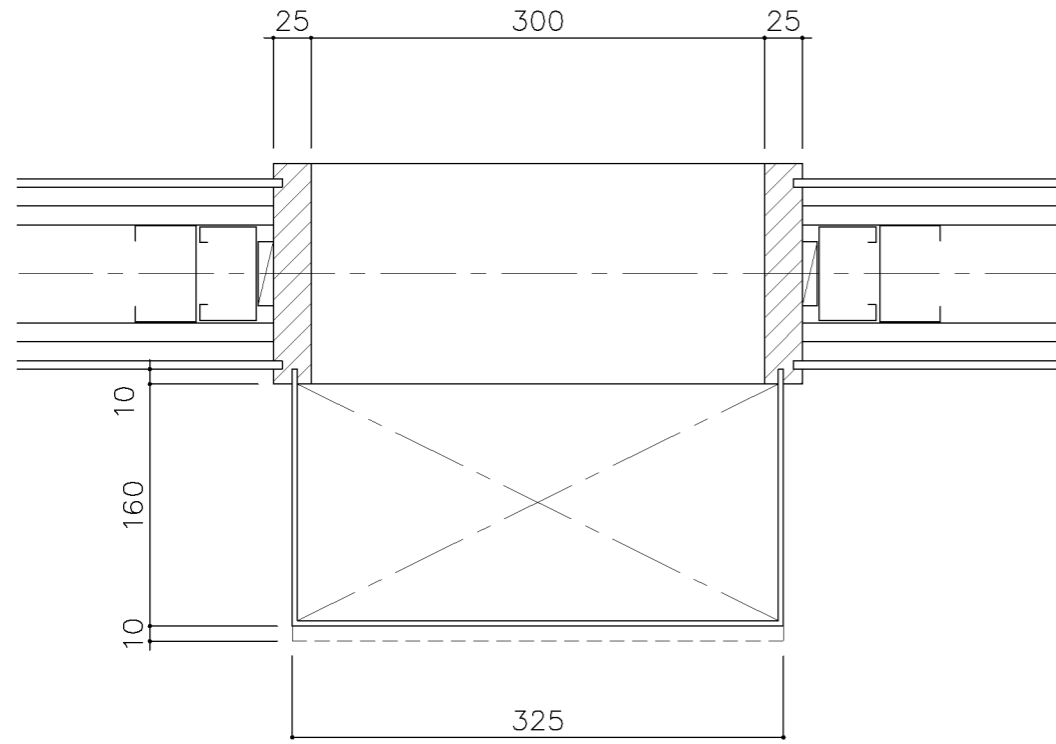
使用箇所
家庭科教室（小・中学校）

仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	耐磨耗シート消臭化粧板	

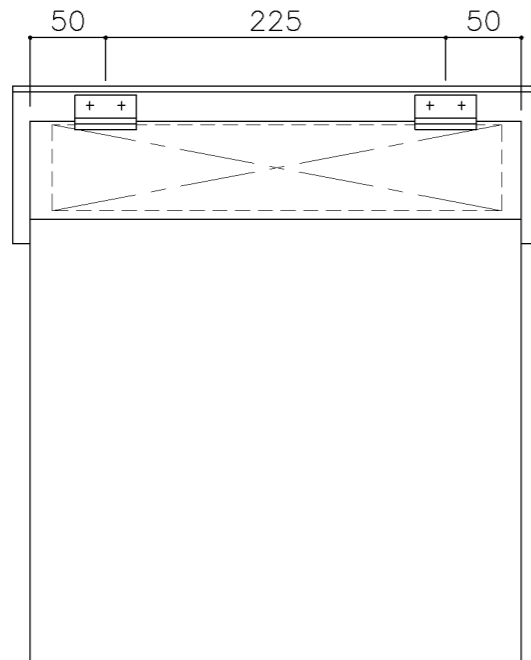
金物		
番号	使用箇所	名称
④	本体	ナイロン樹脂キャスター 30Kg用 （ストッパー付）
②	本体	手掛（埋込型）
③	本体	戸当りゴム 10φ 2個

特記事項
・木口の形状については、G-800より選定する。

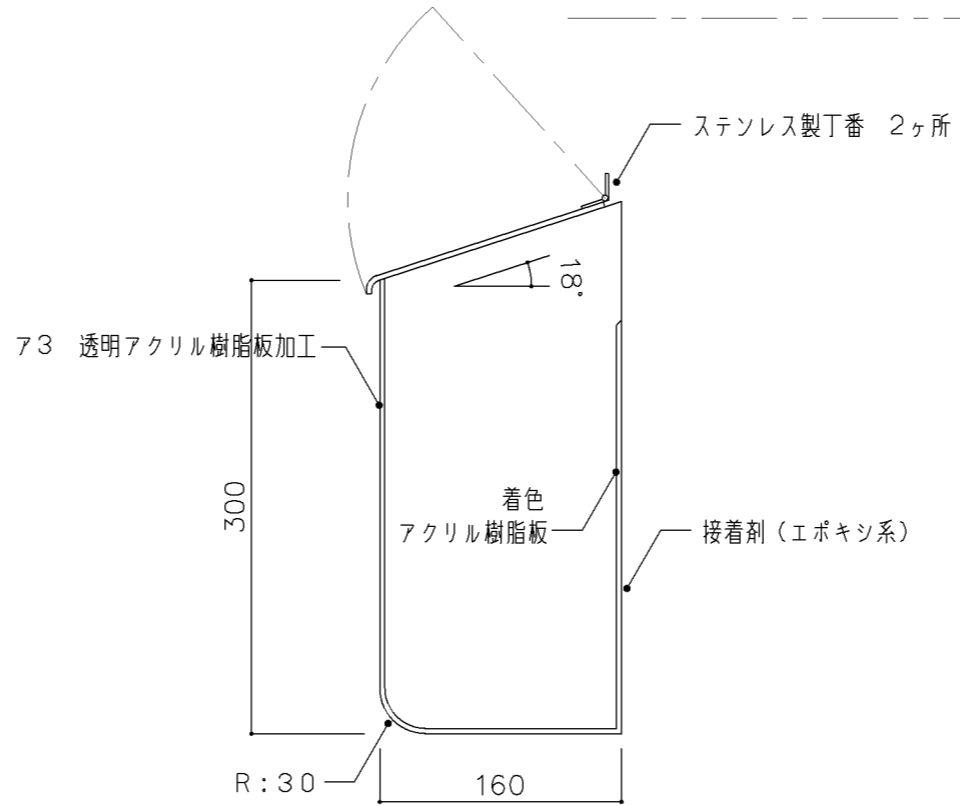
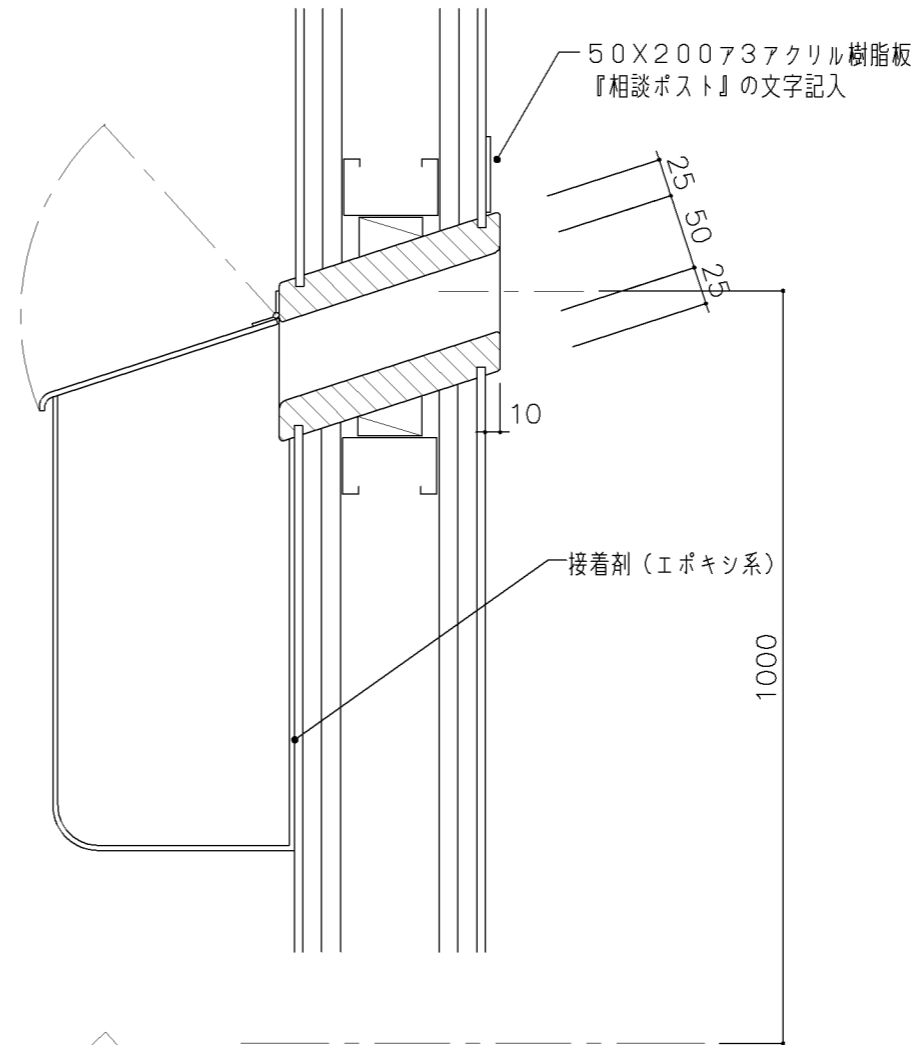
名称	ミシン収納ケース		
縮尺	1/10	記号	G-812
設計年月	令和7年3月		
横浜市建築局			



平面図



立面図



断面図

寸法
W 325 x D 160 x H 300

使用箇所

教育相談室

仕様

番号	名称	芯材	材質	仕上
			図示による	

金物

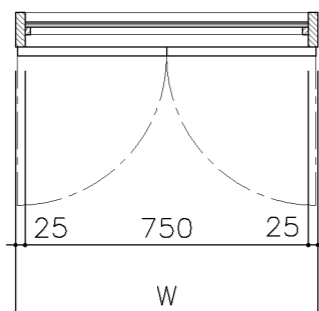
番号	使用箇所	名称
		図示による

特記事項

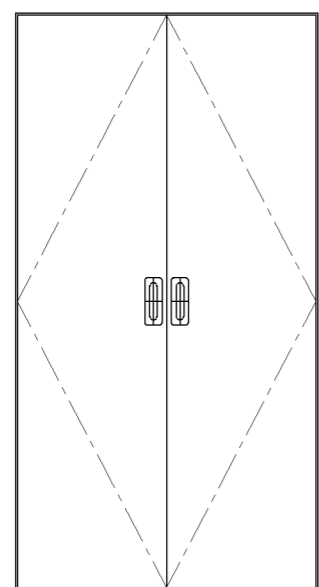
名称	相談ポスト		
縮尺	1/5	記号	G-813

設計年月 令和7年3月

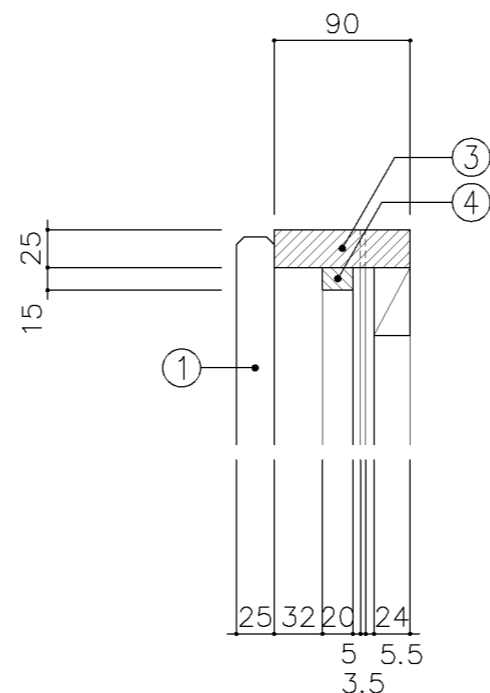
横浜市建築局



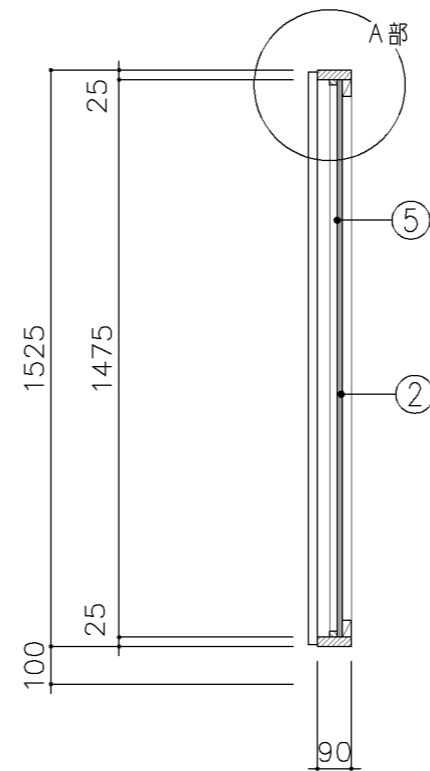
平面図 S: 1/20



正面図 S: 1/20

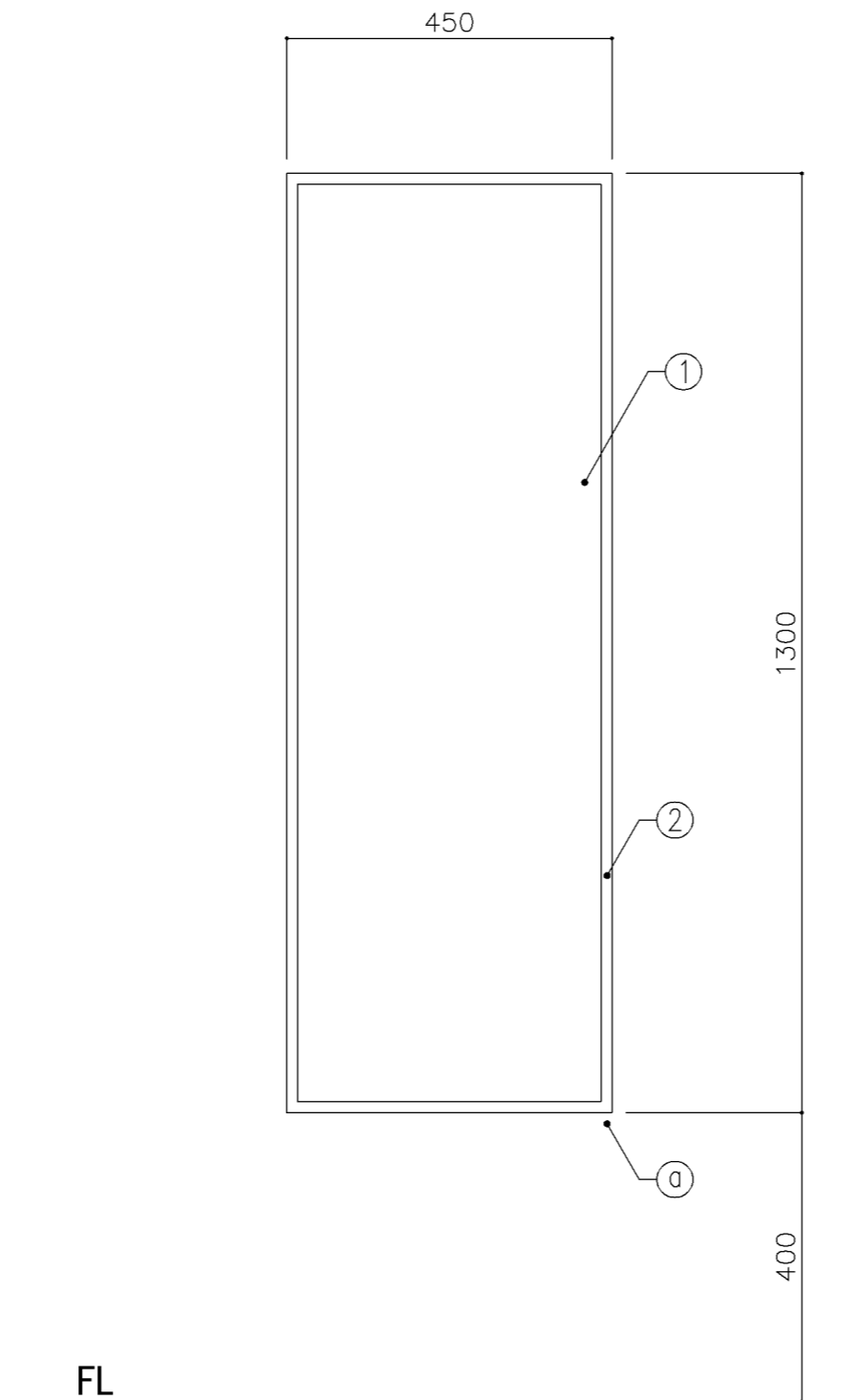


A部 詳細図 S: 1/5



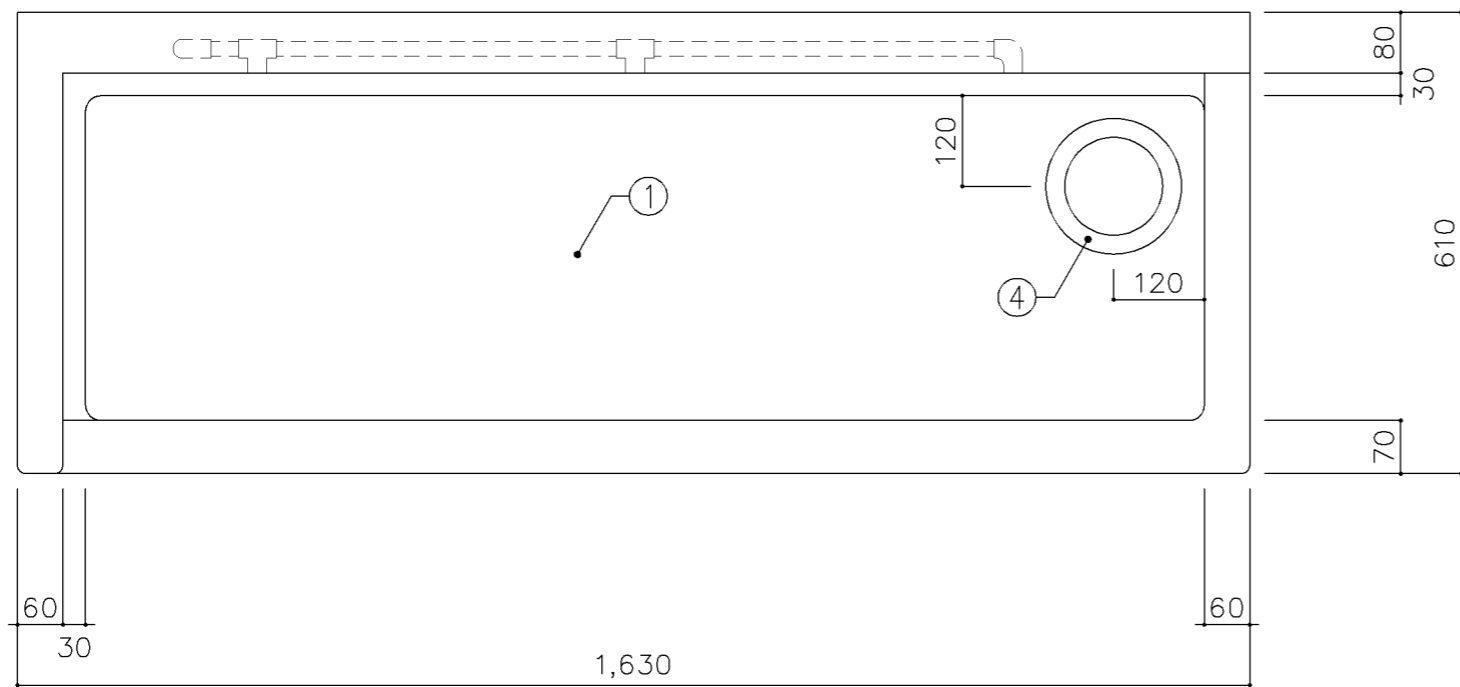
断面図 S: 1/20

寸法				
A: W	800	x D	x H	1,525
B: W	900	x D	x H	1,525
使用箇所				
A: 図画工作教室				
B: 個別支援教室(第二学習室)小・中学校				
仕様				
A				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	扉	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	枠		25×90 スプルス	OP
③	押縁		15×20 スプルス	OP
B				
①	扉	A-1	しな合板	
②	枠		25×90 スプルス	UC
③	押縁		15×20 スプルス	UC
共通				
④	裏板	片A-1	ラワン合板(T-1)	
⑤	鏡		φ5 鏡 接着併用	
⑥	胴縁		25×45 @450 タテ・ヨコ共 杉	
金物				
番号	使用箇所	名称		
①	扉	隠し丁番、国産材掘込取手、マグネットキャッチ		
特記事項				
・扉の木口の形状については、G-800より選定する。				
名称 姿見				
縮尺	1/5 1/20	記号	G-830	
設計年月			令和7年3月	
横浜市建築局				

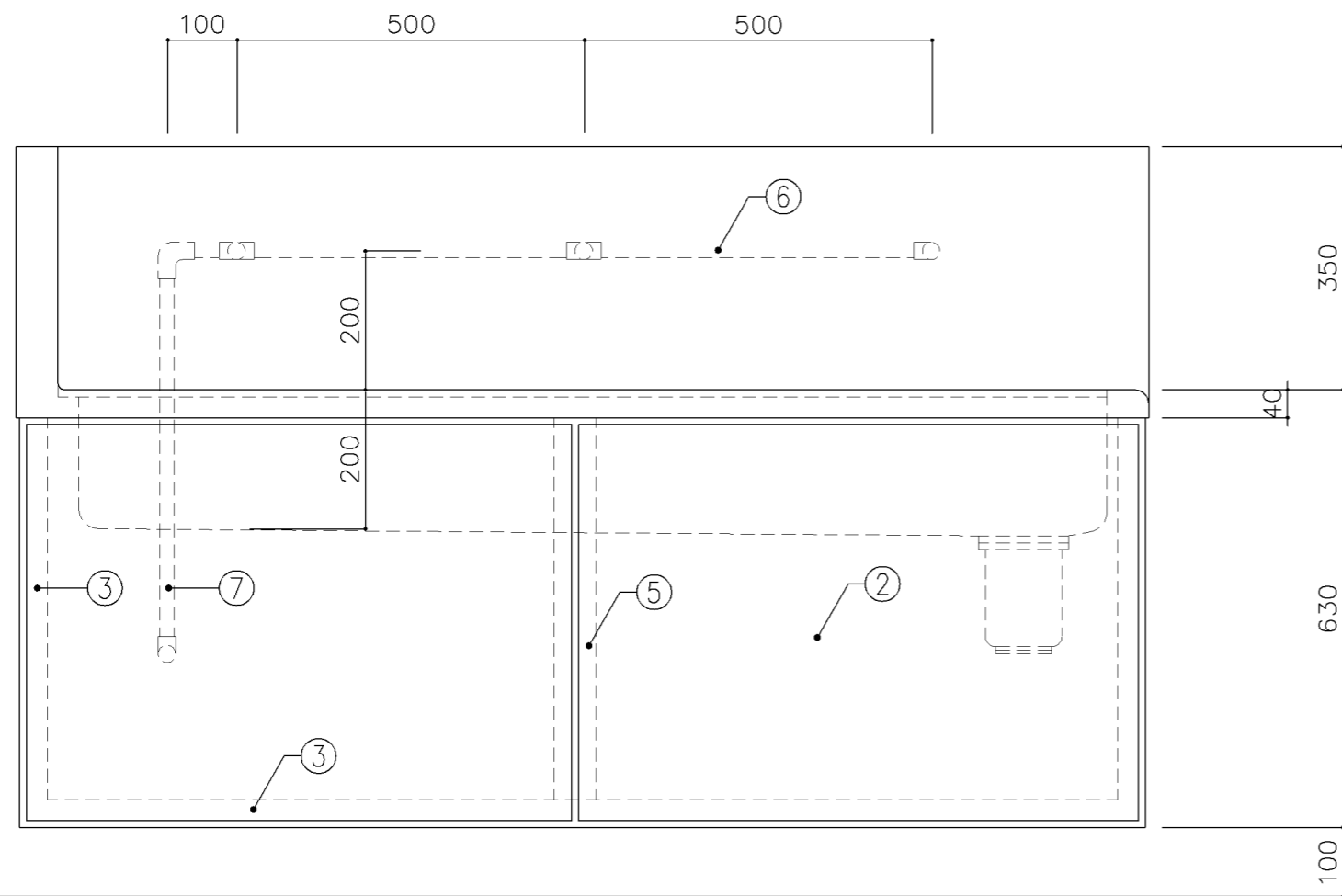


正面図

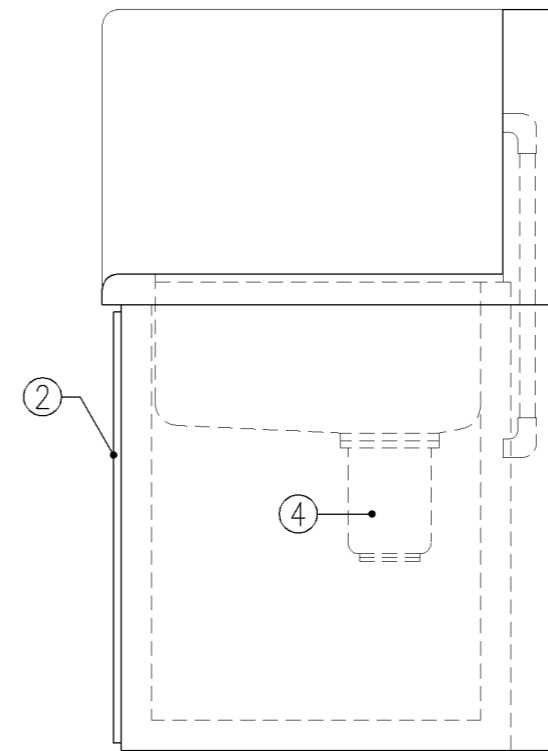
寸 法			
W 450 × D		× H 1,300	
使用箇所			
生徒用便所、職員便所			
仕 様			
番号	名称	材 質	仕上
①	本 体	鏡 t5.0	
②	四方枠	SUS304 t0.8HLL曲加工品	
金 物			
番号	名称	仕 様	
③	コーナーガード	SUS304 t0.8HLL曲加工品	
特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・同程度既製品とする。 ・枠およびコーナーカバーは、R1.5程度系面とする。 ・下枠には水抜き孔を設ける。(φ5程度×1箇所) 			
名称	姿見		
縮尺	1/10	記号	G-832
設 計 年 月		令和7年3月	
横浜市建築局			



平面図

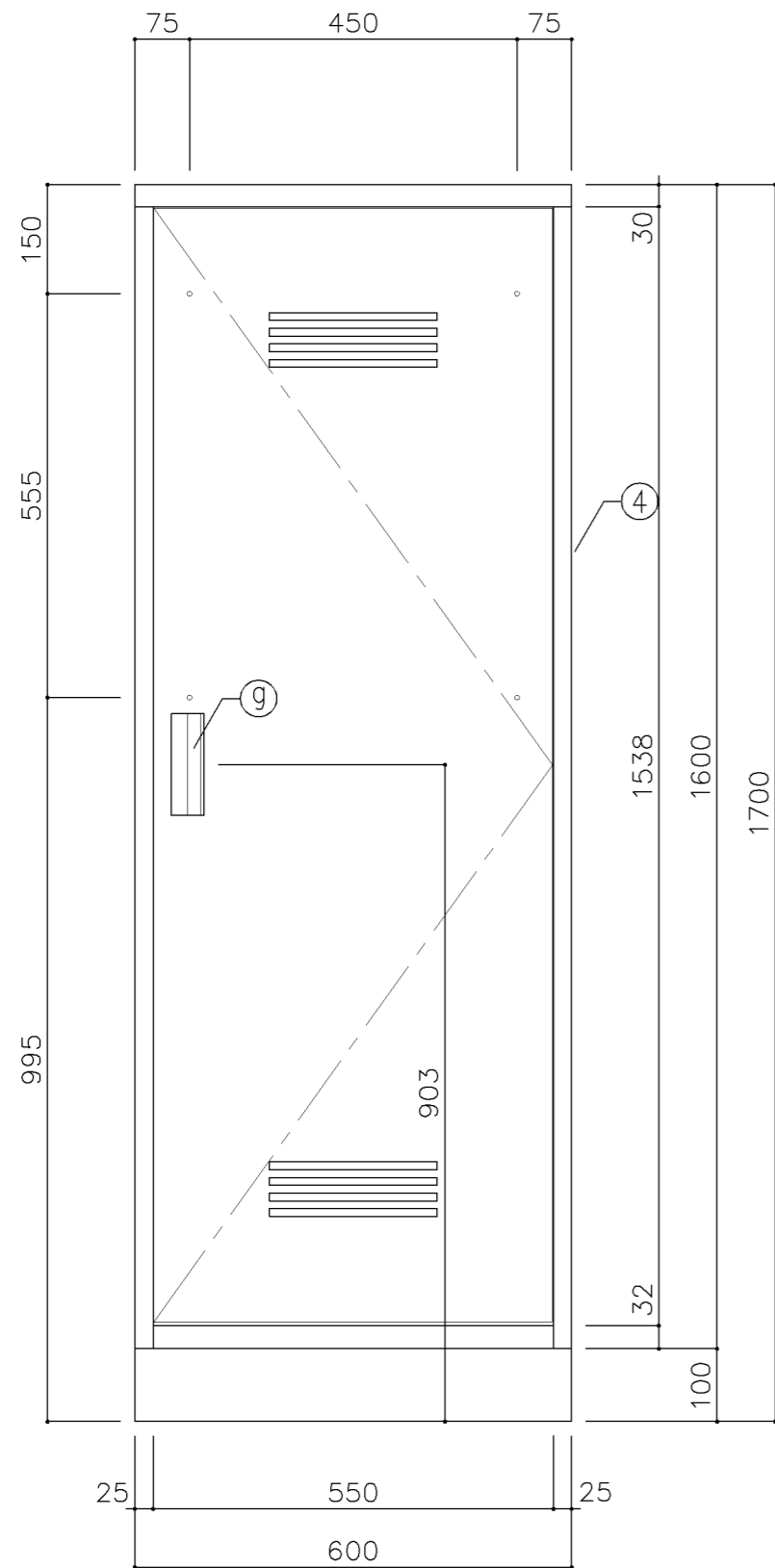


正面図

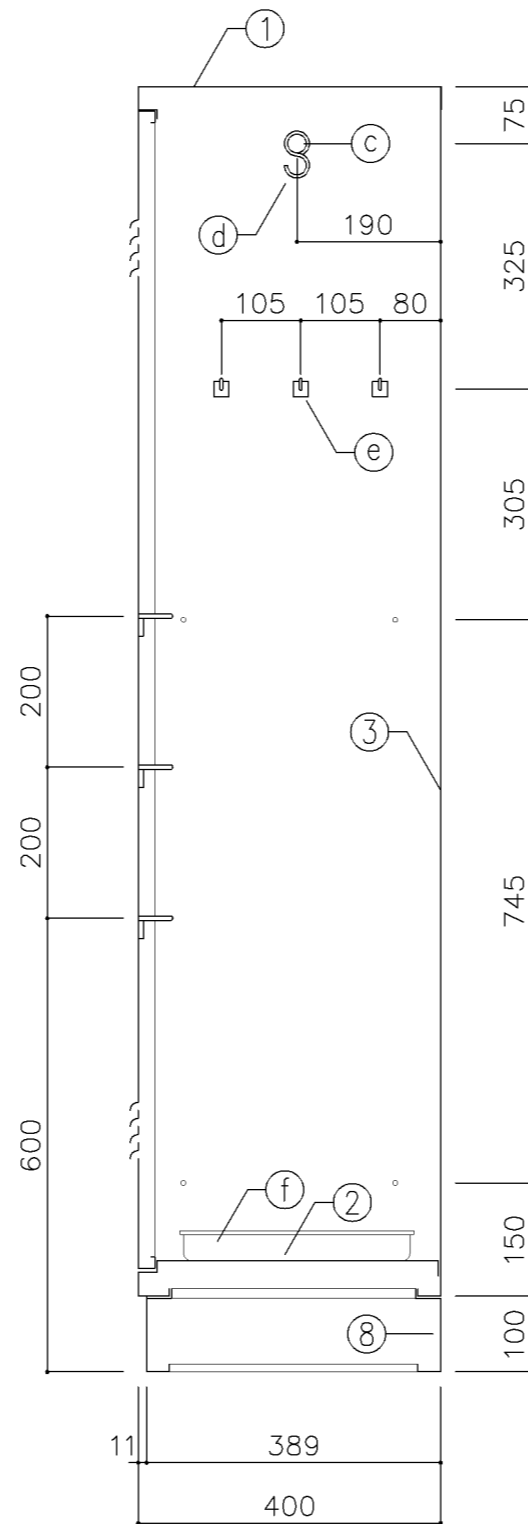


側面図

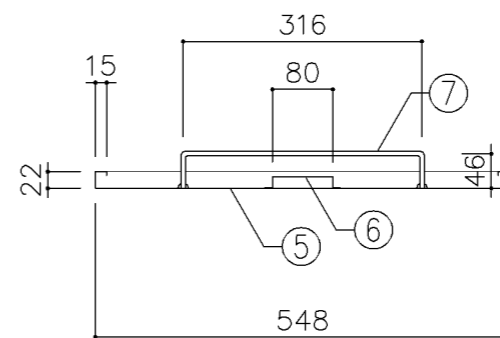
寸 法		
W1,630 x D610 x H630		
使用箇所		
武道場 (ホール)		
仕 様		
番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304-1.0t
②	幕板	SUS 304-1.0t
③	骨組	SUS 430-L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AVP用 ゴミ収納付
⑤	補強材	SUS 430-1.5t×60
⑥	給水横引管	20A VA
⑦	給水縦引管	20A VA
金 物		
番号	使用箇所	名称
特記事項		
給水×3		
名称		一槽手洗い流し
縮尺	1/10	記号 G-1121
設計年月日		令和7年3月
横浜市建築局		



正面図



断面図



扉断面図

寸法
W 600 x D 400 x H 1,700

使用箇所
武道場、部室

仕様

番号	名称	材質	仕上
①	天板	SPCC 0.8	焼付塗装
②	地板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	裏板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	側板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	扉板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	扉補強	SPCC 0.8	焼付塗装
⑦	雑巾掛	SWRM 6φ	
⑧	ベース	SPCC 1.0	
⑨	隅金具	SPCC 2.3	
⑩	アジャスター	SWRM PE	

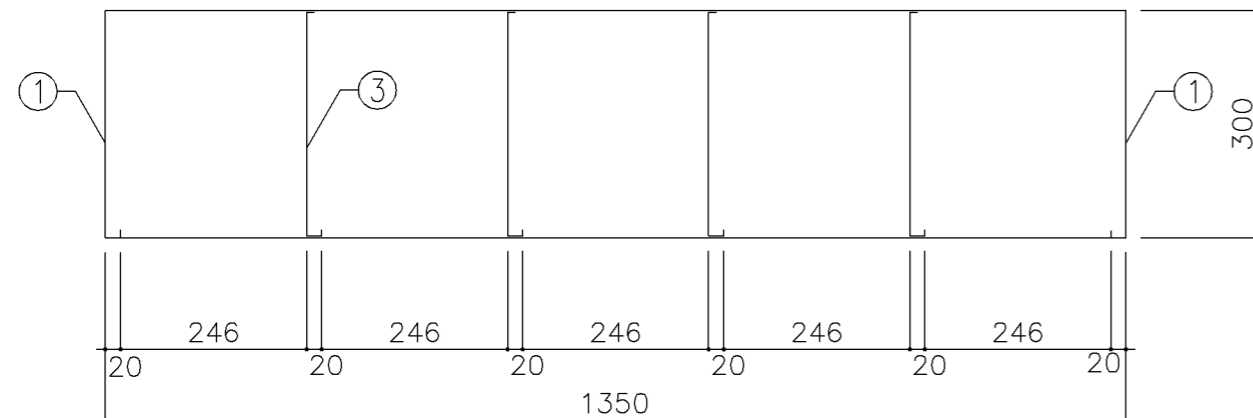
金物及びその他

番号	名称	材質	仕上
Ⓐ	丁番	SPCC 1.2	
Ⓑ	マグネット		
Ⓒ	ハガパイ	ハガパイ (SUS) 25φ	
Ⓓ	Sカン	SWRM 3φ	
Ⓔ	フック	ABS	
Ⓕ	トレー	SUS304	
Ⓖ	把手	A6063S	

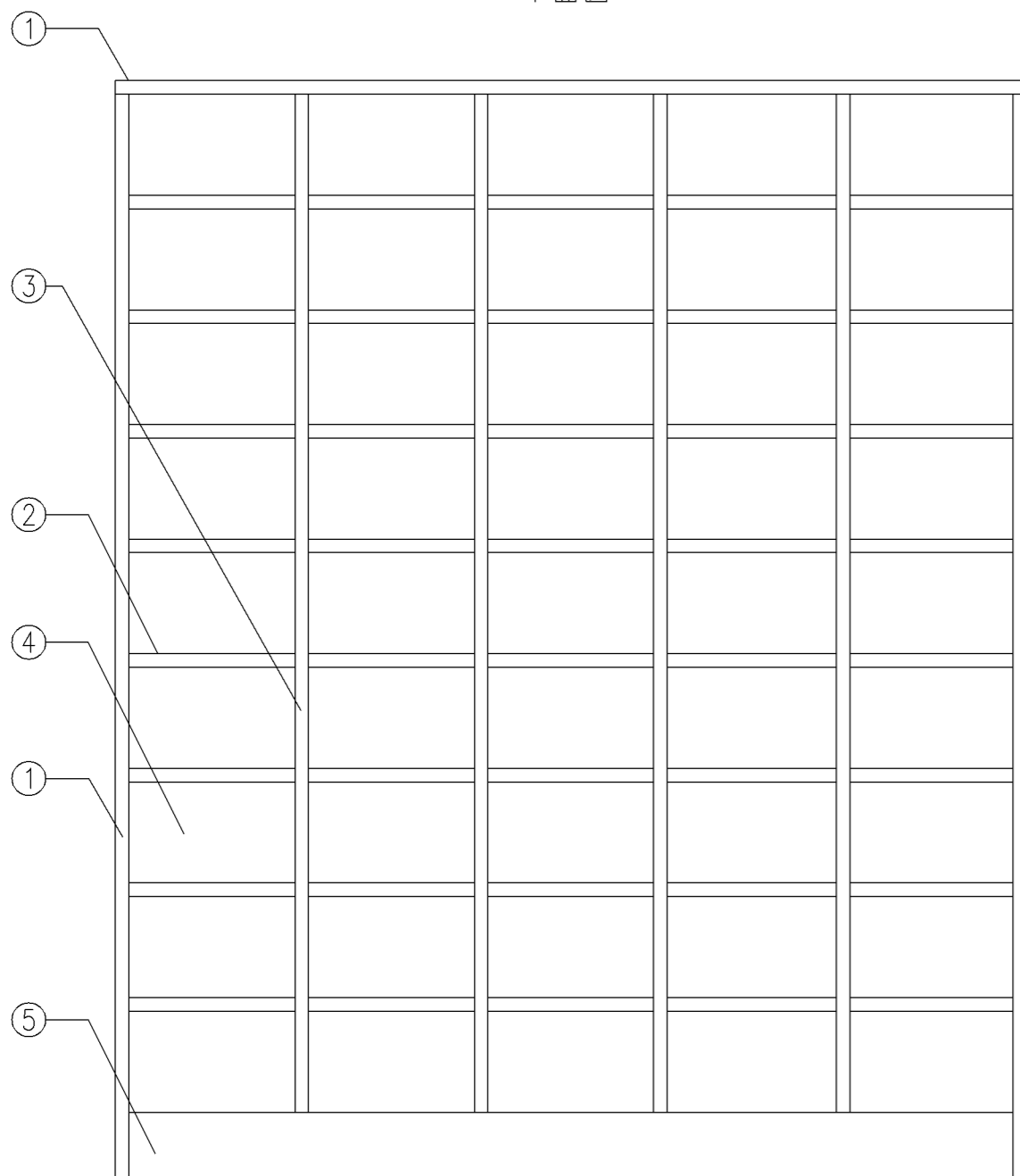
特記事項

名称	掃除用具入		
縮尺	1/10	記号	G-1280
設計年月日	令和7年3月		

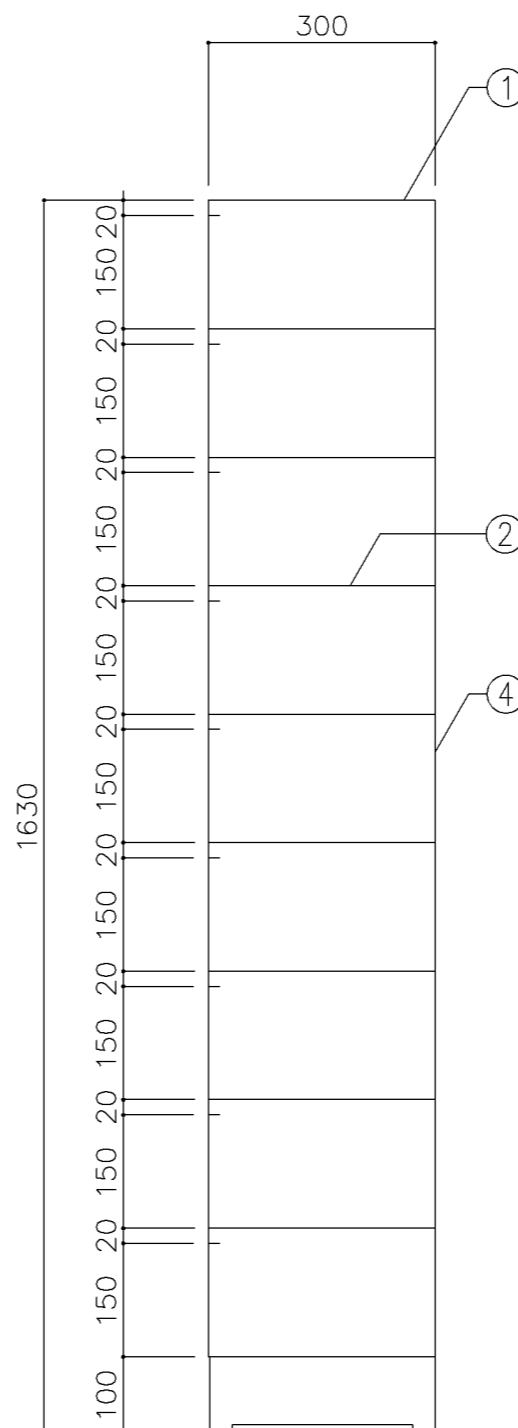
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸法
W1,350 x D 300 x H 1,630

使用箇所
武道場（玄関）、部室（玄関）
屋内運動場（改修）

仕様

番号	名称	材質	仕上
①	本体	SPCC 0.8	焼付塗装
②	棚板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	仕切板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	裏板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	ベース	SPCC 1.0	焼付塗装

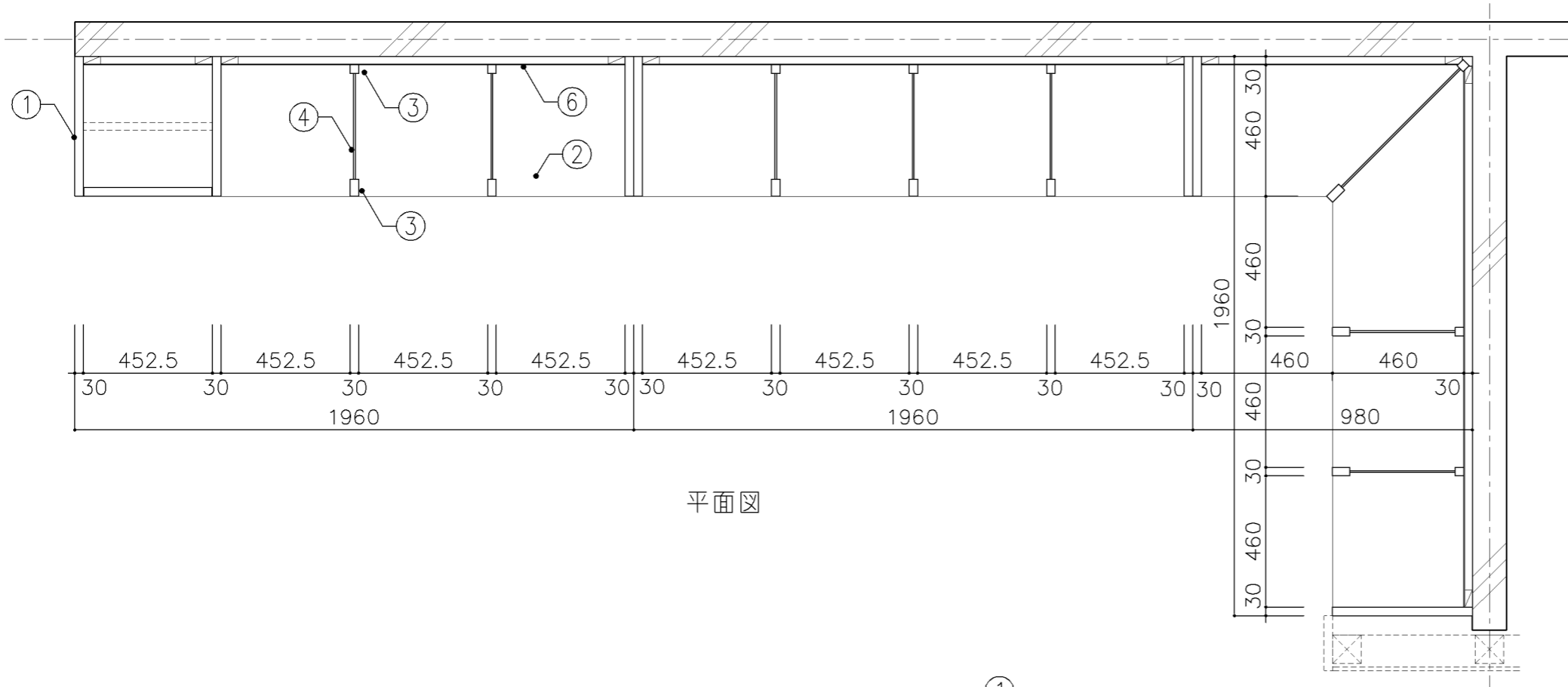
金物及びその他

番号	名称	材質	仕上

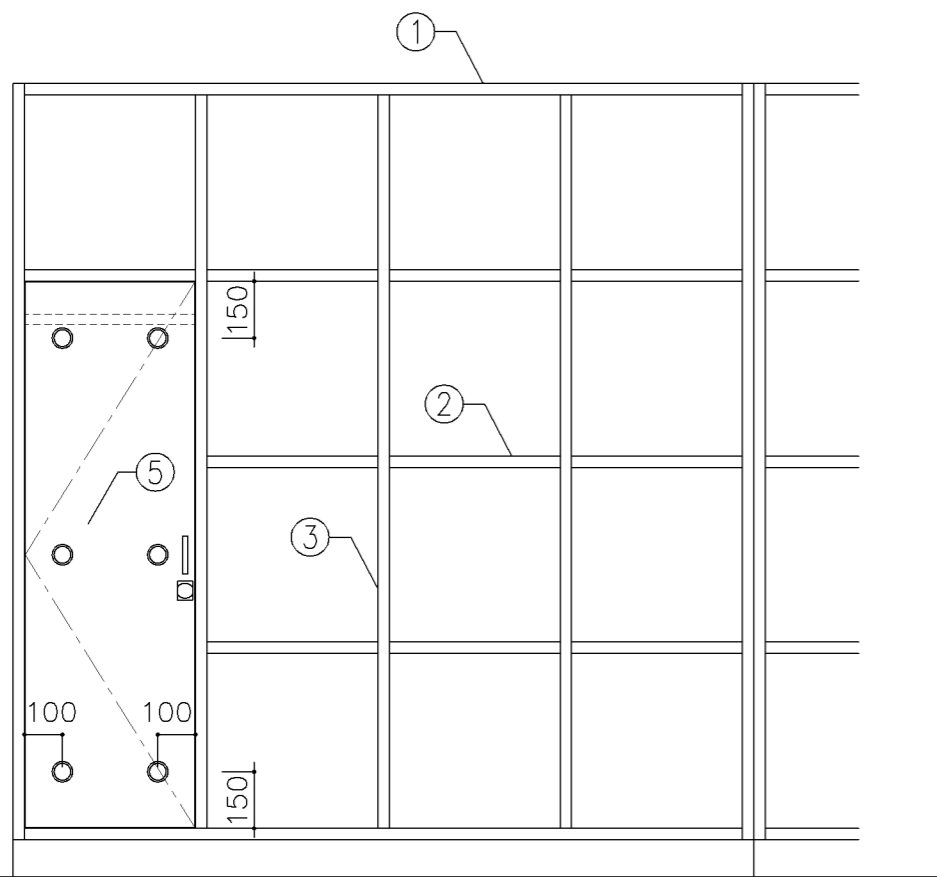
特記事項

名称	靴 入		
縮尺	1/10	記号	G-1291
設計年月日	令和7年3月		

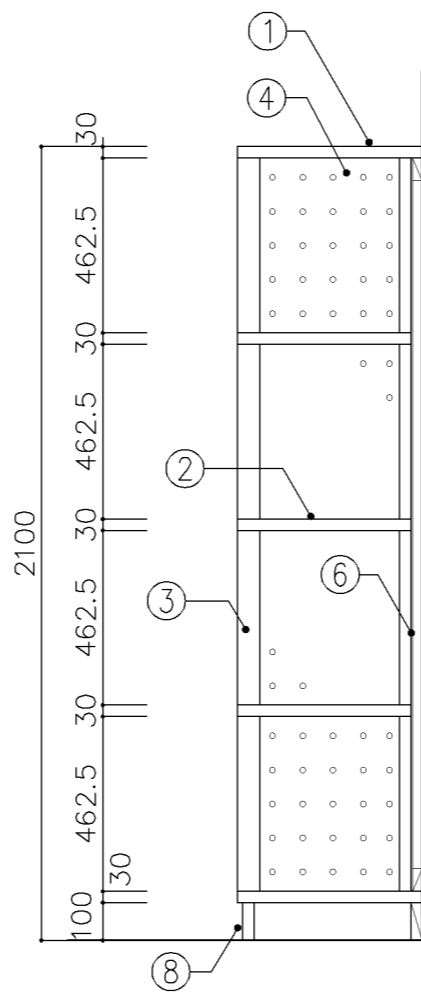
横浜市建築局



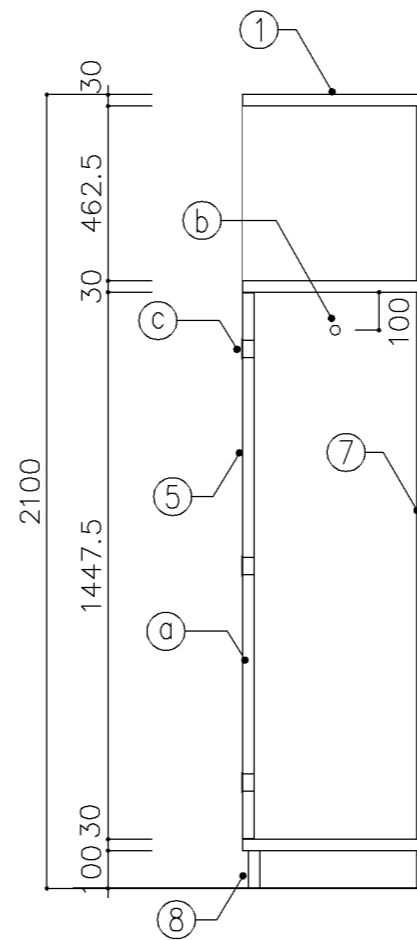
平面図



正面図



断面図



断面図

寸法
W 4,900 x D 490 x H 2,100

使用箇所
武道場（剣道器具庫）

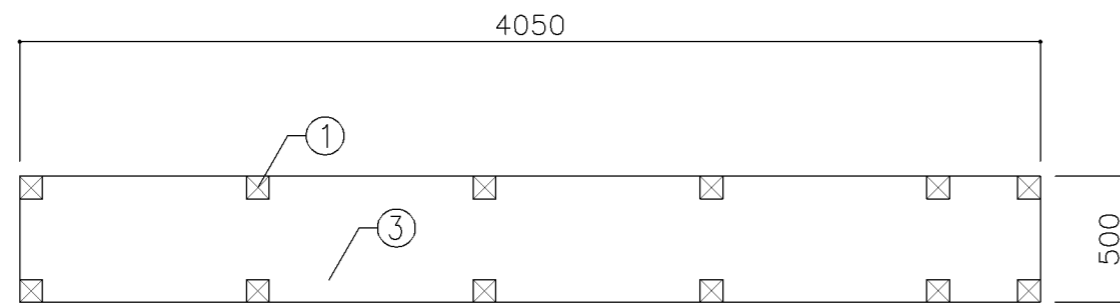
仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	B-1	しな合板	OP
②	棚板	B-1	しな合板	OP
③	仕切	B-1	しな合板	OP
④	隔板		75.5有孔しな合板	OP
⑤	扉	A-1	しな合板	OP
⑥	裏板	片A-1	しな合板	OP
⑦	裏板	片A-1	しな合板	OP
⑧	巾木	B-1	しな合板	OP

金物	
番号	使用箇所 名称
Ⓐ	扉 スライド丁番 掘込引手 マグネットキャッチ シリンダー錠
Ⓑ	ステンレスパイプφ27.2 S環5ヶ
Ⓒ	塩ビ製 換気孔φ45

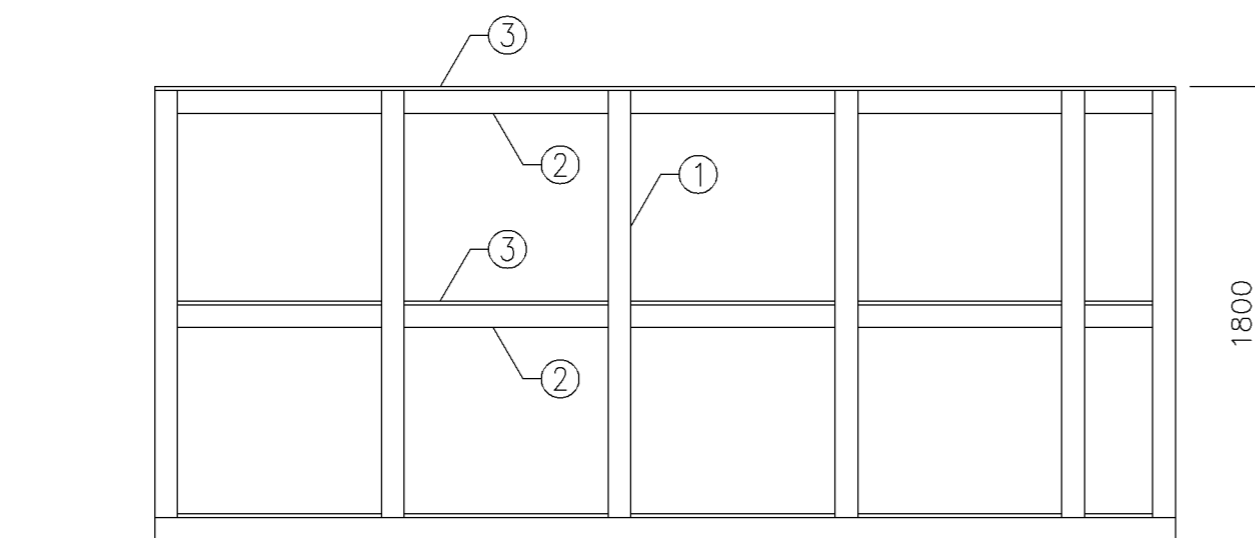
特記事項
 ・木口の形状については、G-400より選定する。
 ・見掛けり部はOP仕上とする。
 ・扉の厚みは、30mmを原則とする。
 ・芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	剣道具収納棚		
縮尺	1/20	記号	G-1450
設計年月	令和7年3月		

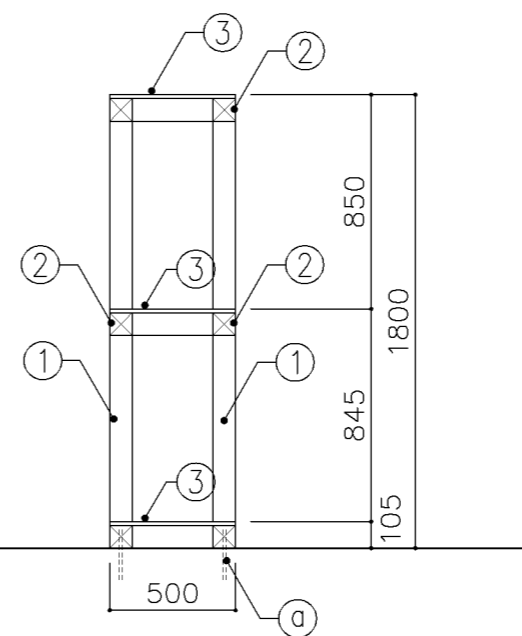
横浜市建築局



平面図



立面図



断面図

寸法	
W	4,050 x D 500 x H 1,800

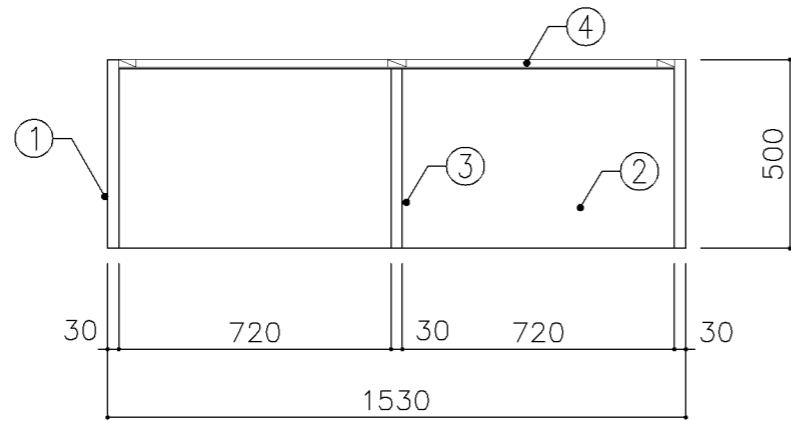
使用箇所	
プール (倉庫)	

仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	支柱		杉 90角 @900	
②	枠		杉 90角	
③	棚板		φ15 ラフソ合板	

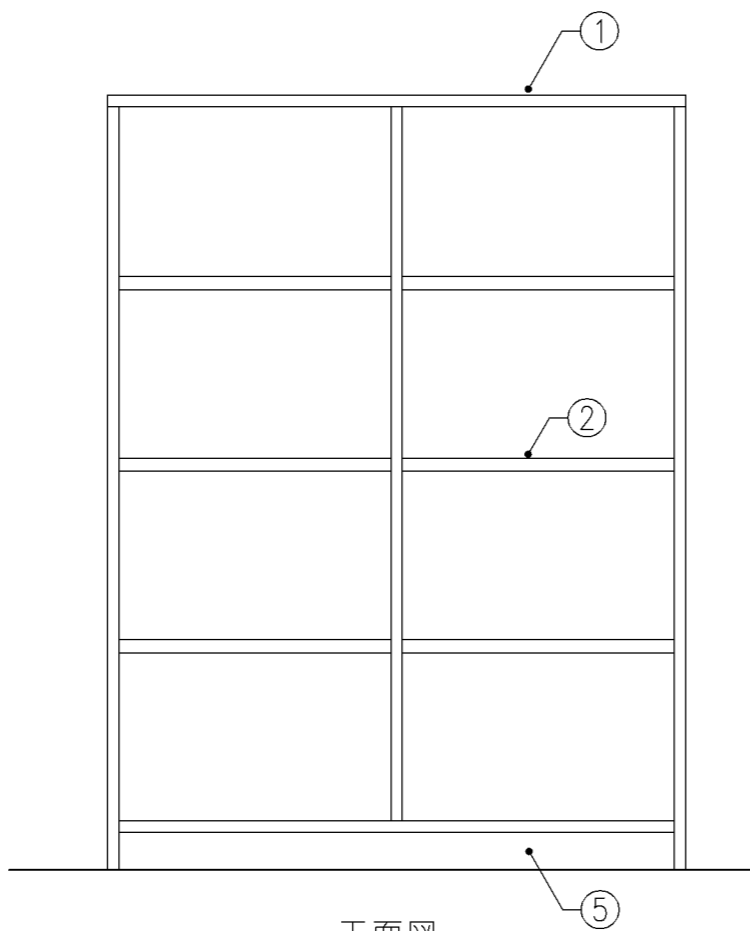
金物		
番号	使用箇所	名称
ⓐ		φ13アンカーボルト @1800

特記事項	

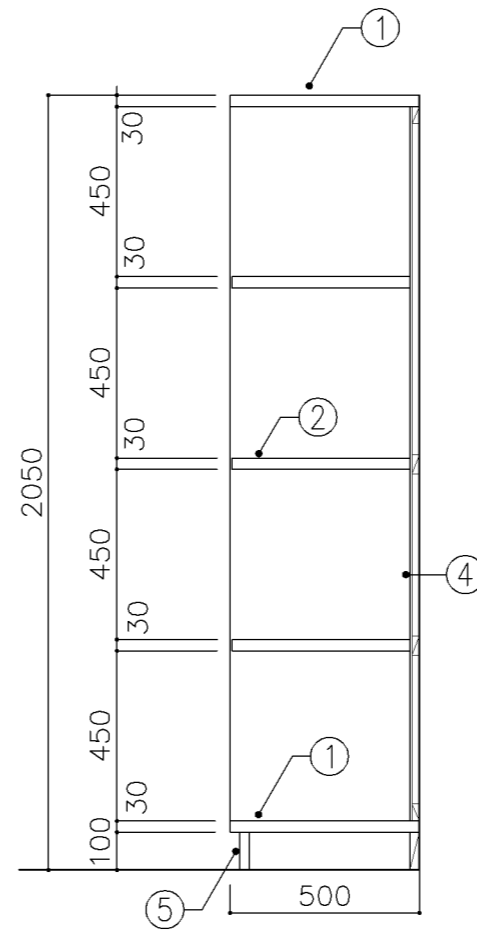
名称	収納棚		
縮尺	1/30	記号	G-1460
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



平面図



正面図



断面図

寸法

W 1,530 x D 500 x H 2,050

使用箇所

武道場（更衣室）

仕様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	B-1	ポリエステル化粧合板	
②	棚板	B-1	ポリエステル化粧合板	
③	仕切板	B-1	ポリエステル化粧合板	
④	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
⑤	巾木	B-1	ポリエステル化粧合板	

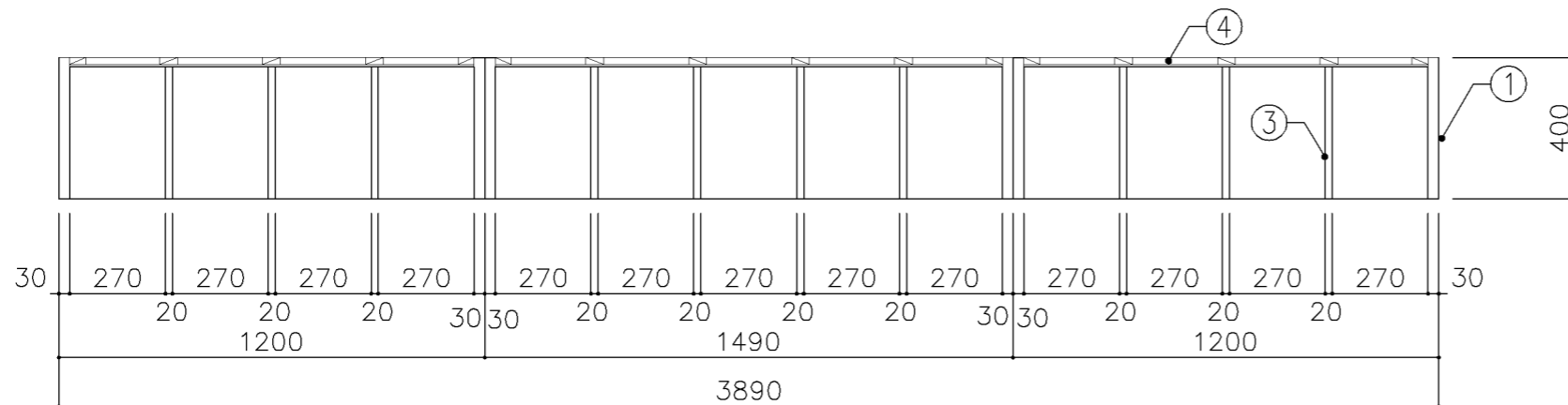
金物

番号	使用箇所	名称

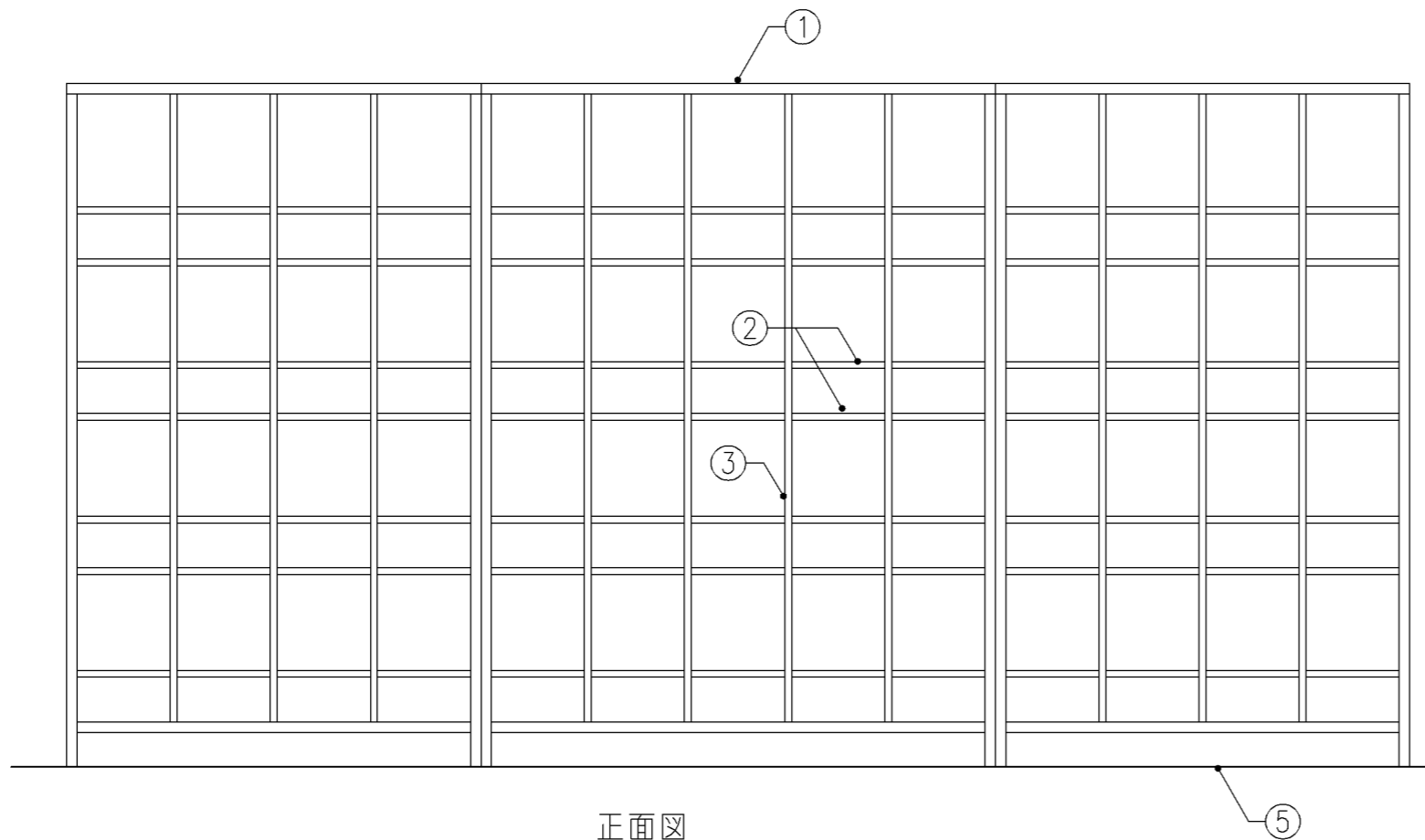
特記事項

- ・木口の形状については、G-400より選定する。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

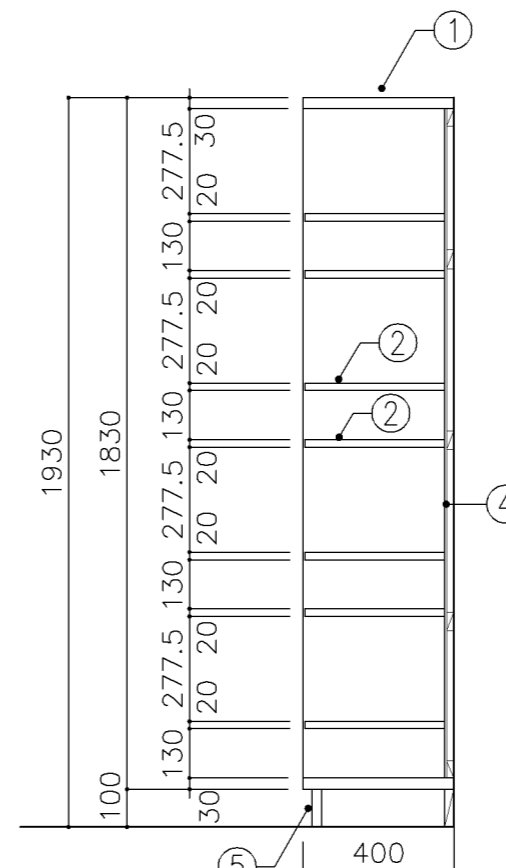
名称	更衣ロッカー		
縮尺	1/20	記号	G-1510
設計年月	令和7年3月		
横浜市建築局			



平面図



正面図



断面図

寸法
W 3,890 x D 400 x H 1,930

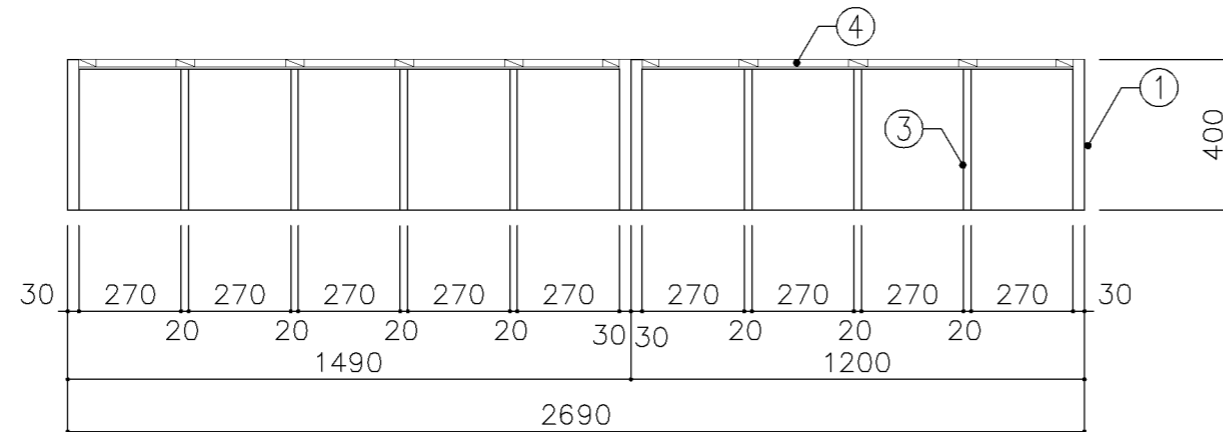
使用箇所
プール（更衣室）

仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	B-1	ポリエステル化粧合板	
②	棚板	B-1	ポリエステル化粧合板	
③	仕切板	B-1	ポリエステル化粧合板	
④	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
⑤	巾木	B-1	ポリエステル化粧合板	

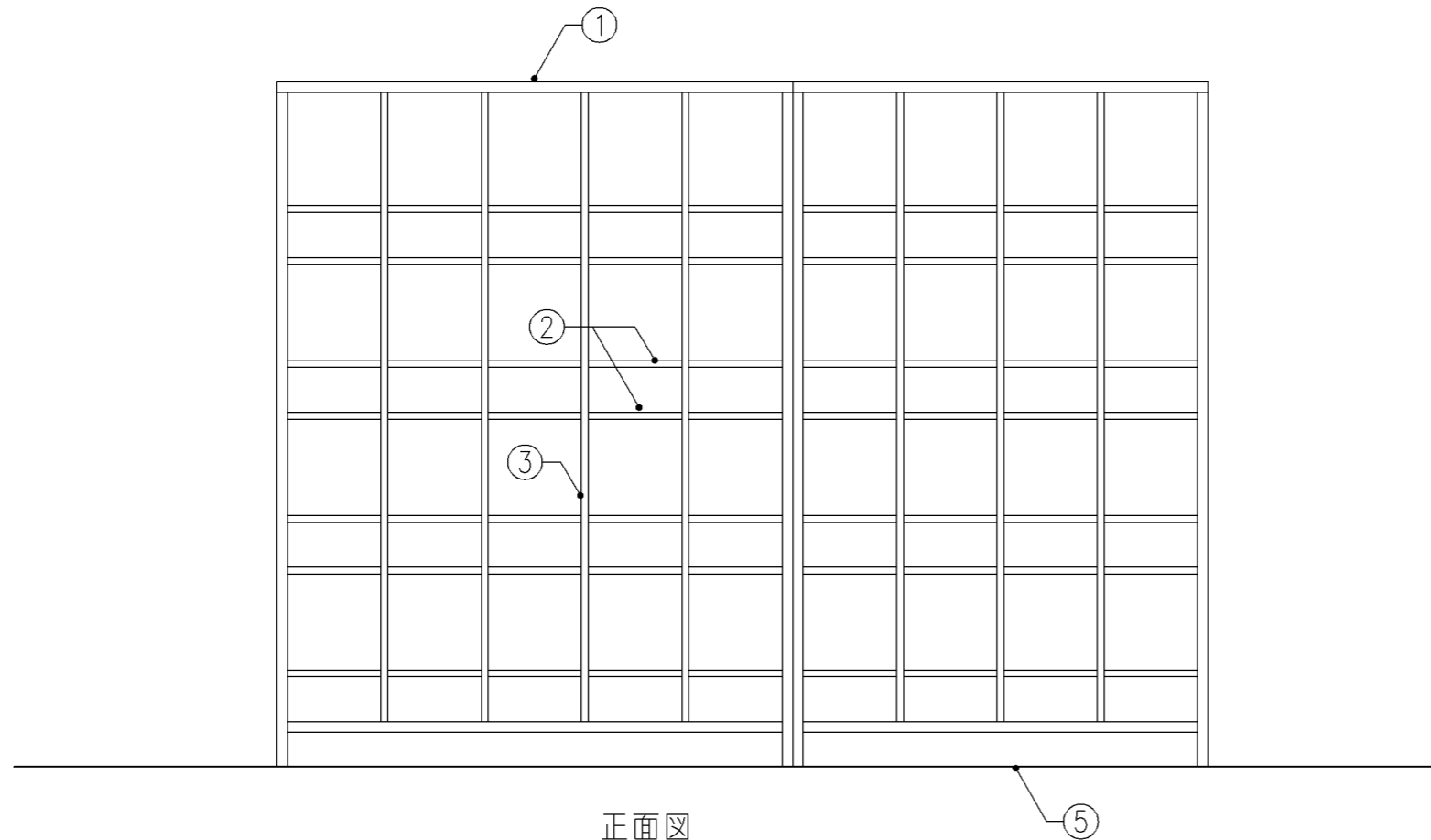
金物		名称
番号	使用箇所	

特記事項
 ・木口の形状については、G-400より選定する。
 ・芯材は、国産杉芯合板とする。

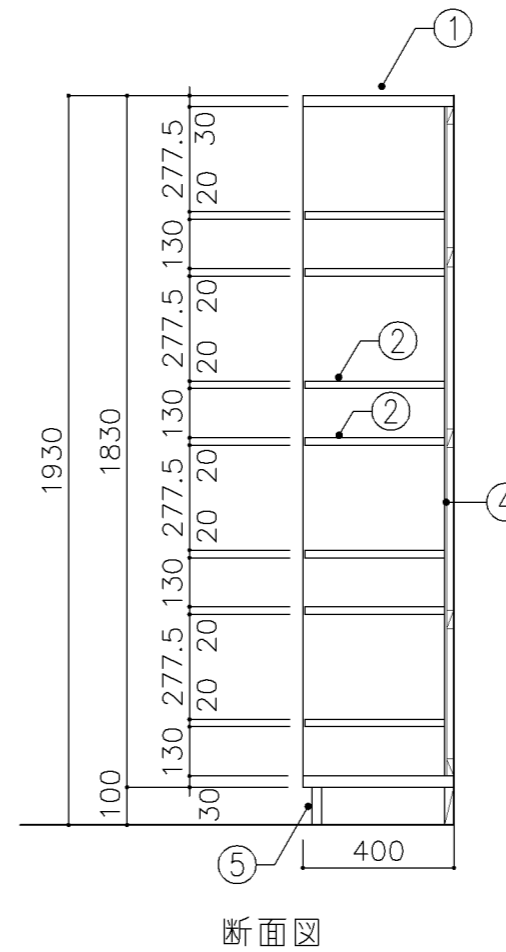
名称	更衣ロッカー		
縮尺	1/20	記号	G-1511A
設計年月	令和7年3月		
横浜市建築局			



平面図



正面図



断面図

寸法
W 2,690 x D 400 x H 1,930

使用箇所
プール（更衣室）

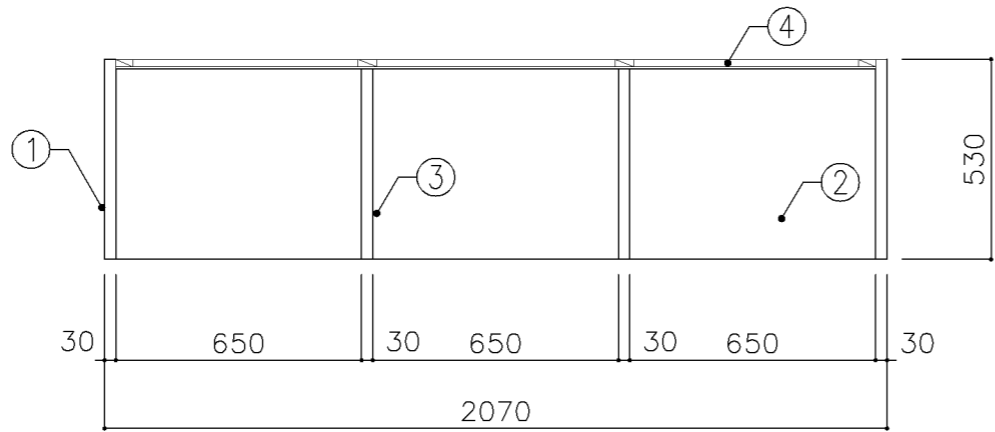
仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	B-1	ポリエステル化粧合板	
②	棚板	B-1	ポリエステル化粧合板	
③	仕切板	B-1	ポリエステル化粧合板	
④	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
⑤	巾木	B-1	ポリエステル化粧合板	

金物		名称
番号	使用箇所	

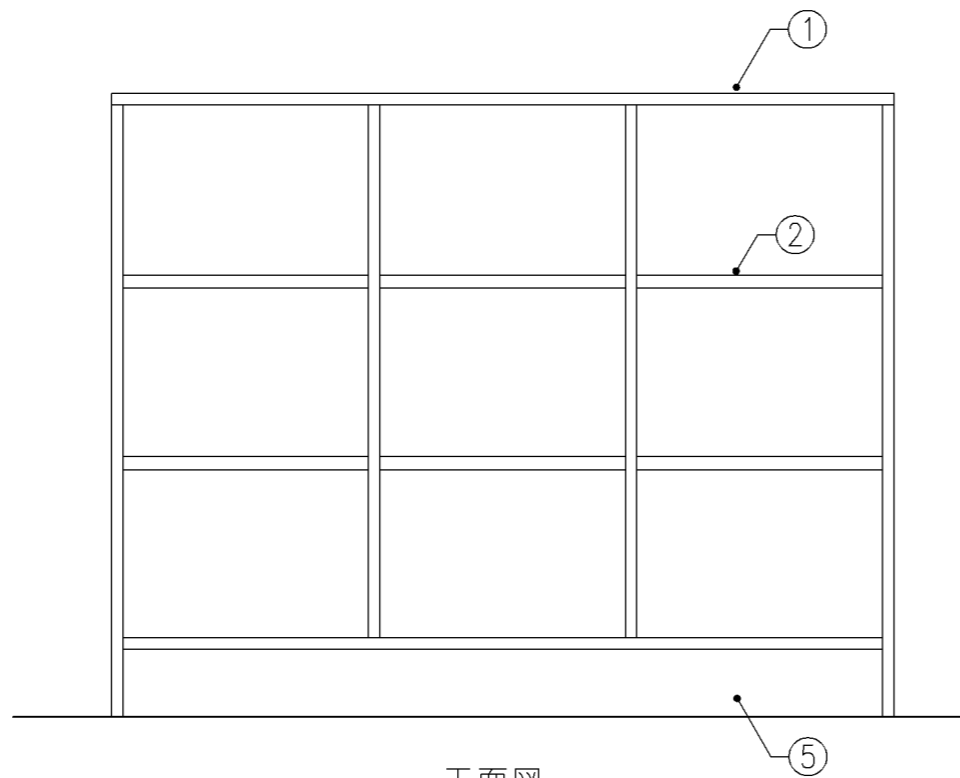
特記事項

- ・木口の形状については、G-400より選定する。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

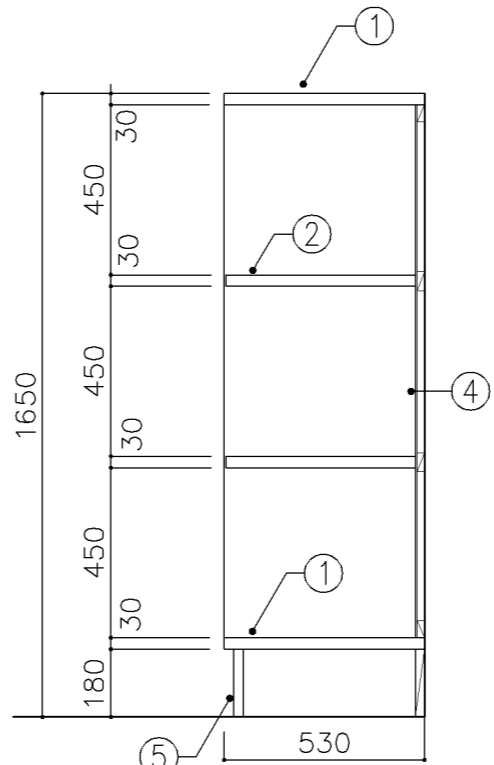
名称	更衣ロッカー		
縮尺	1/20	記号	G-1511B
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



平面図



正面図



断面図

寸法

W 2,070 x D 530 x H 1,650

使用箇所

部室（更衣室）

仕様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	B-1	ポリエステル化粧合板	
②	棚板	B-1	ポリエステル化粧合板	
③	仕切板	B-1	ポリエステル化粧合板	
④	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
⑤	巾木	B-1	ポリエステル化粧合板	

金物

番号	使用箇所	名称

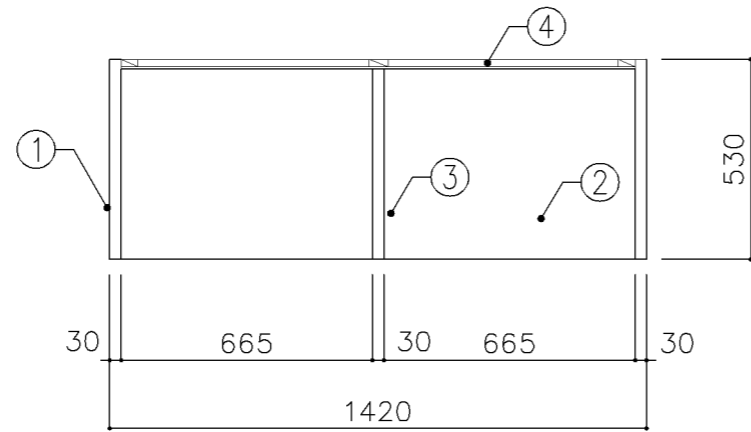
特記事項

- ・木口の形状については、G-400より選定する。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

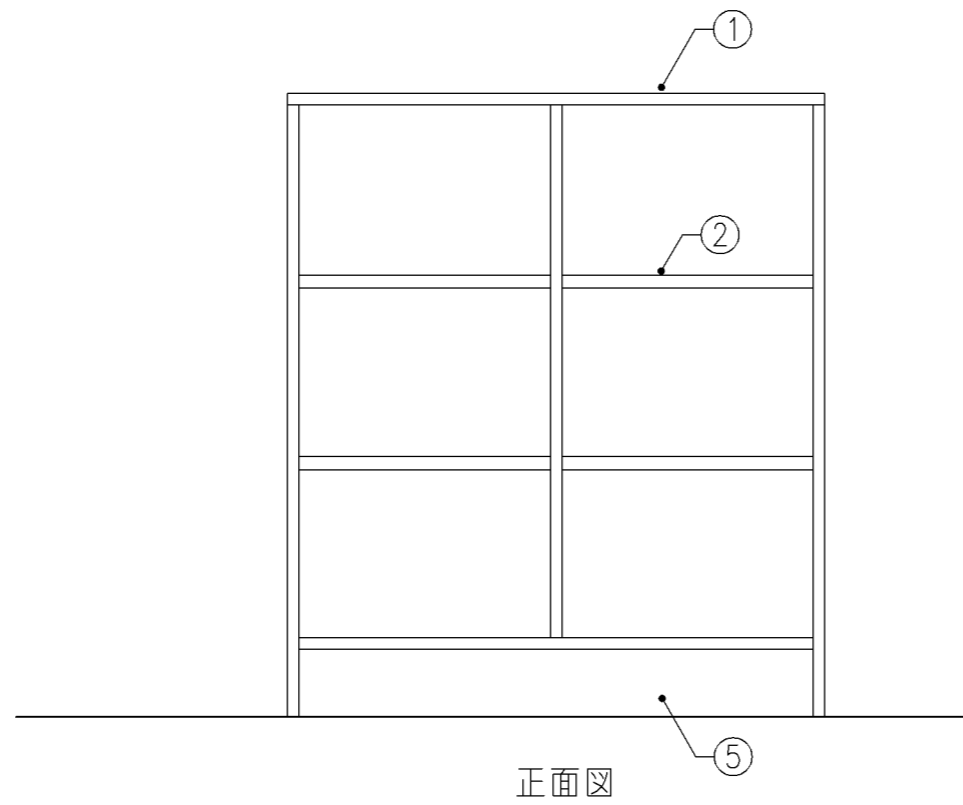
名称	更衣ロッカー		
縮尺	1/20	記号	G-1512A

設計年月 令和7年3月

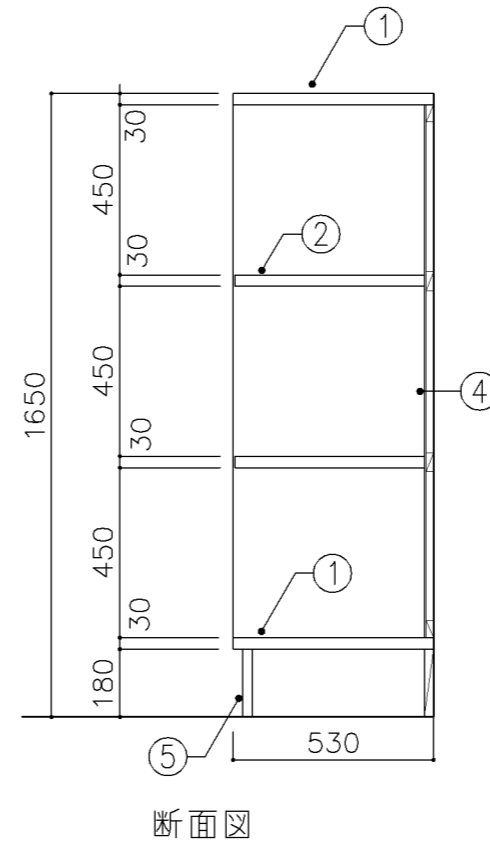
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸法
W 1,420 x D 530 x H 1,650

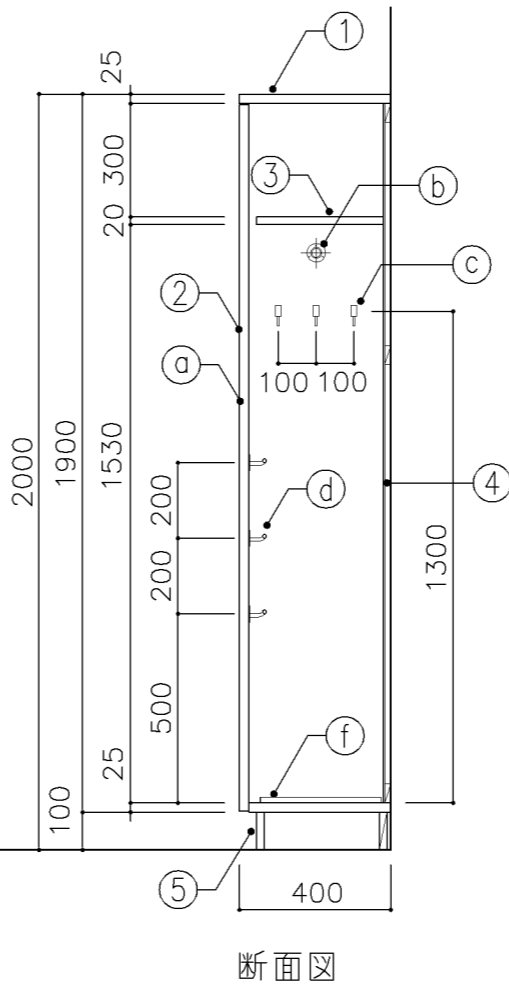
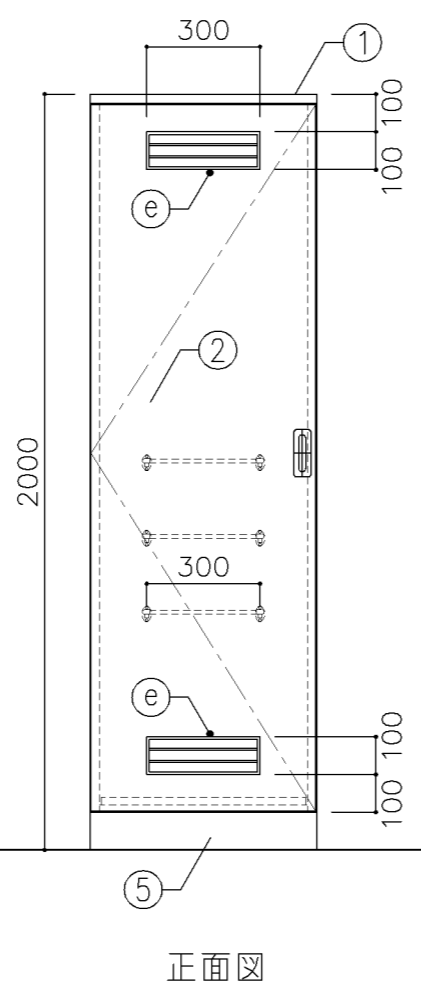
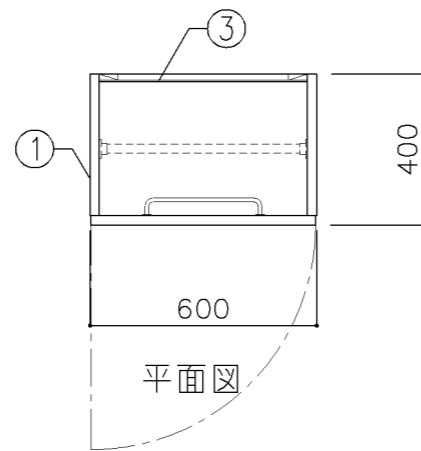
使用箇所
部室（更衣室）

仕様				
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	B-1	ポリエステル化粧合板	
②	棚板	B-1	ポリエステル化粧合板	
③	仕切板	B-1	ポリエステル化粧合板	
④	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
⑤	巾木	B-1	ポリエステル化粧合板	

金物		名称
番号	使用箇所	

特記事項
 ・木口の形状については、G-400より選定する。
 ・芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	更衣ロッカー		
縮尺	1/20	記号	G-1512B
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



寸 法

W 600 x D 400 x H 2,000

使用箇所

プール（更衣室）

仕 様

番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	扉	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	棚板	A-1	ポリエステル化粧合板	
④	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
⑤	巾木	B-1	ポリエステル化粧合板	

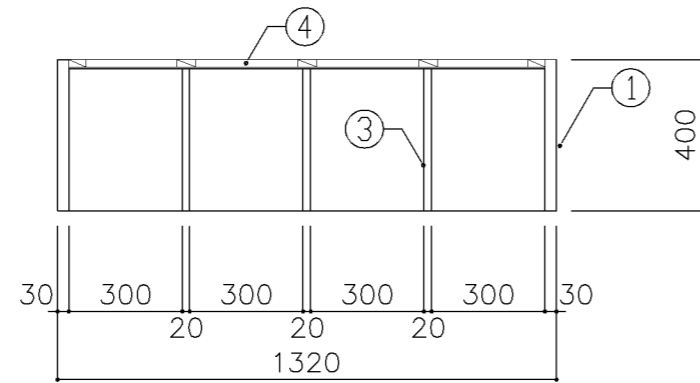
金 物

番号	使用箇所	名 称
①	扉	ステンレス丁番、国産掘込引手、戸当り
②	パイプ	ステンレスパイプ27.2φ、S環付
③	フック	ステンレス
④	雑巾掛	ステンレス製 W=300
⑤	換気孔	塩ビ製
⑥	水受皿	ステンレス製 250X450X40

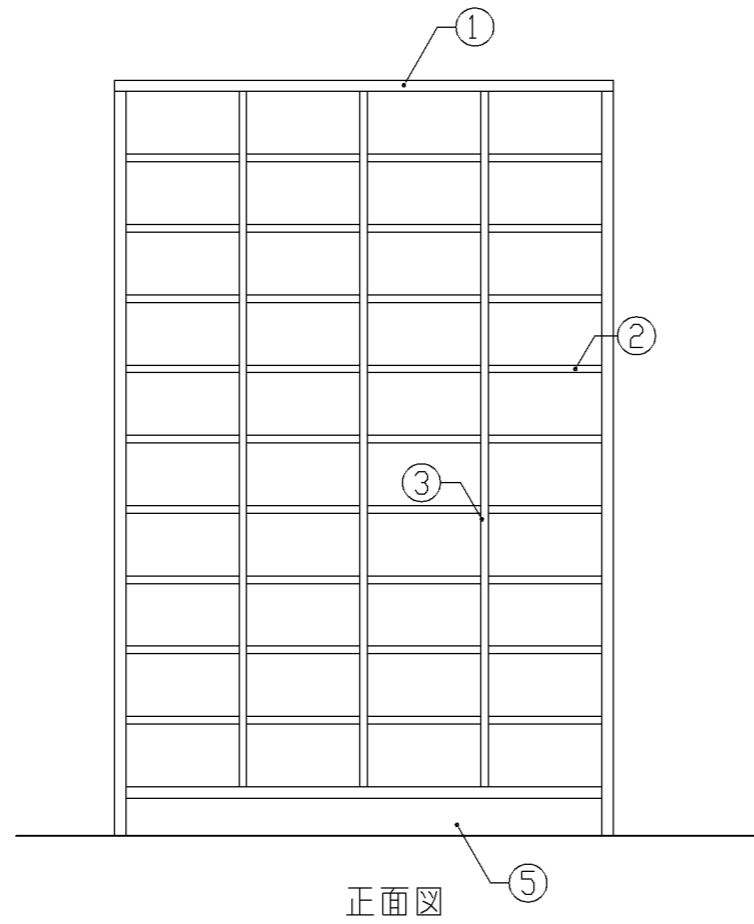
特記事項

- ・木口の形状については、G-400より選定する。
- ・扉の厚みは、25mmを原則とする。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

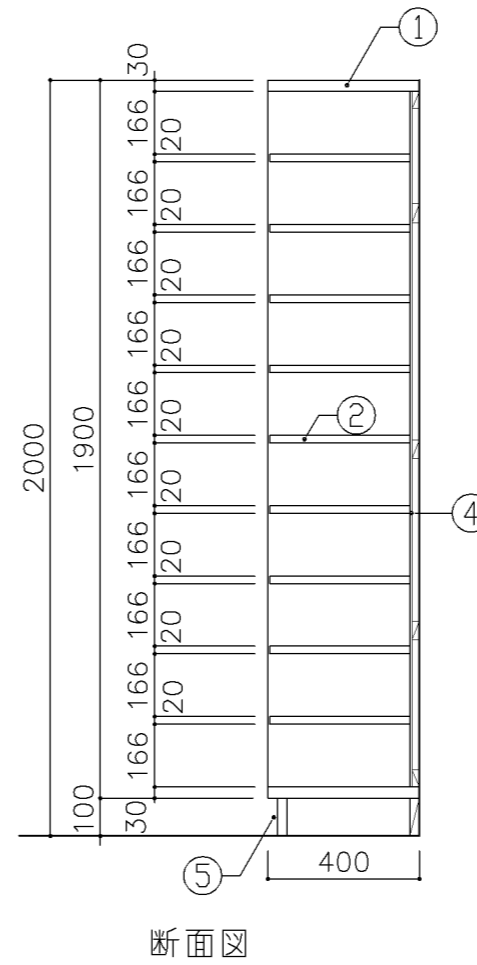
名称	掃除用具入		
縮尺	1/20	記号	G-1520
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



平面図



正面図



断面図

寸法
W 1,320 x D 400 x H 2,000

使用箇所

プール（更衣室）

仕様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板	
②	棚板	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	仕切板	A-1	ポリエステル化粧合板	
④	裏板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
⑤	巾木	B-1	ポリエステル化粧合板	

金物

番号 使用箇所 名称

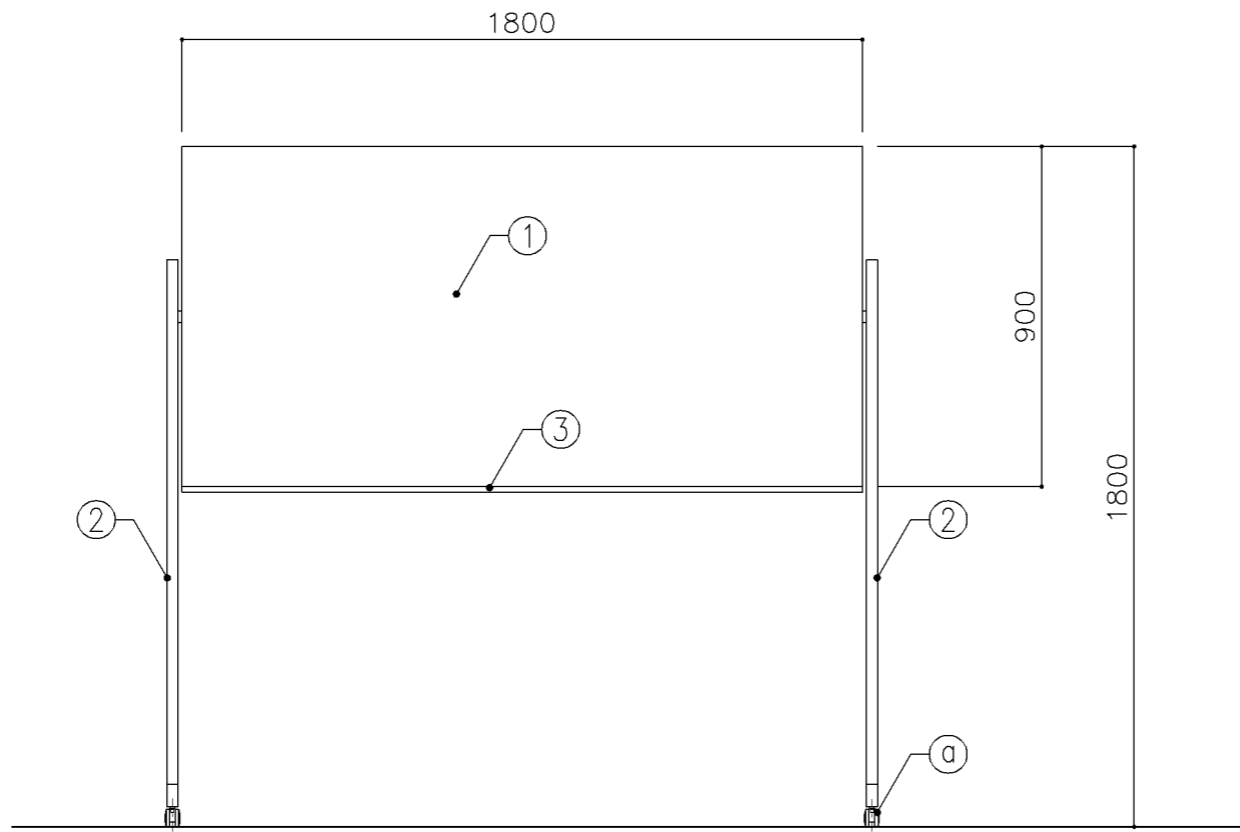
特記事項

- ・木口の形状については、G-400より選定する。
- ・見掛りは、ポリエステル化粧合板とする。
- ・芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	靴入		
縮尺	1/20	記号	G-1530

設計年月 令和7年3月

横浜市建築局



正面図

寸 法			
W1,800 x H 1,800 (900)			
使用箇所			
部室 (ミーティングルーム)			

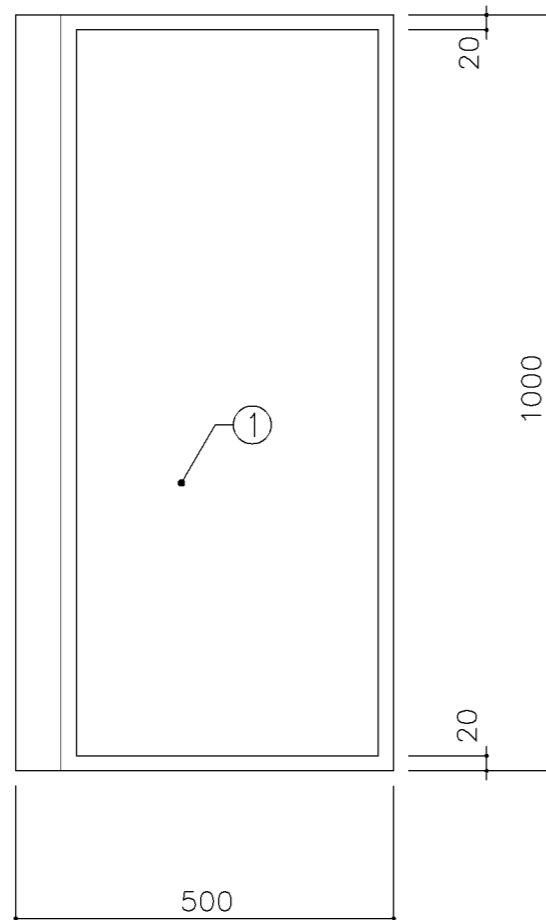
仕 様			
番号	名称	材 質	仕上
①	可動ホワイトボード	スチールホーロー	
②	脚部	スチール製	焼付塗装
③	粉受け	アルミ製	

金 物	
番号	使用箇所 名 称
ⓐ	キャスター (ストッパー付き)

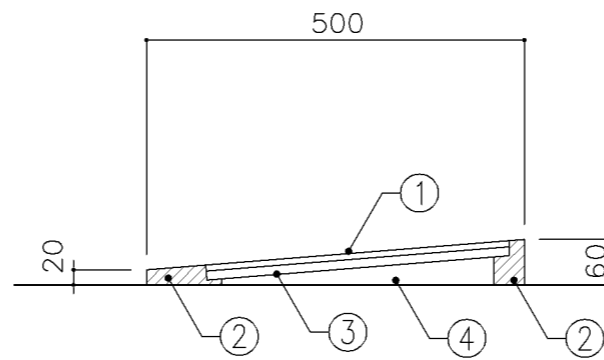
特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・レバー式ワンタッチ回転式 ・マーカー、マグネット付き ・その他の仕様は、メーカー仕様による。 	

名称	脚付きホワイトボード		
縮尺	1/20	記号	G-1610
設計年月		令和7年3月	

横浜市建築局



平面図



断面図

寸法

W1,000 x D500 x H60

使用箇所

武道場（道場）

仕様

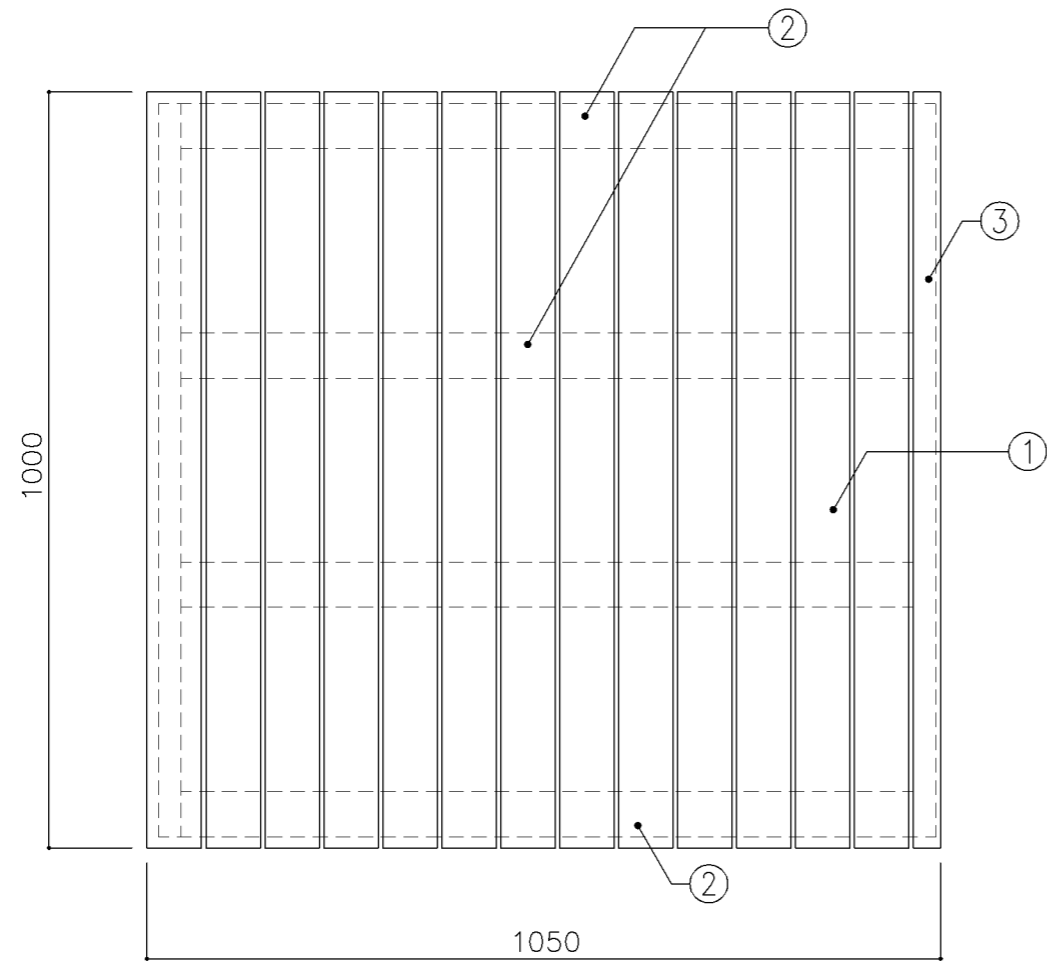
番号	名称	芯材	材質	仕上
①	床板		78 珪藻石パネル張り	
②			ラワン積層材	UC
③	下地板		79 ラワン合板 (T-2)	
④			79 ラワン合板 (T-2)	
⑤			ガラス繊維シート張り W=30 @≒100	

金物

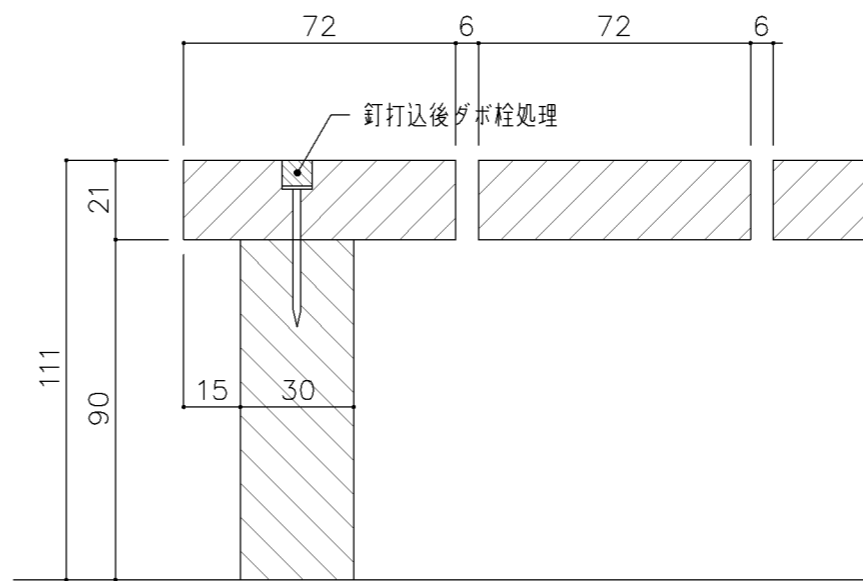
番号	使用箇所	名称

特記事項

名称	可動式スロープ		
縮尺	1/10	記号	G-1810
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



平面図



詳細図 1 / 2

寸 法				
W1,050 × D1,000 × H111				
使用箇所				
武道場 (畳収納庫)				
仕 様				
番号	名称	芯材	材 質	仕上
①	スノコ板		桧 (一等材) 715	UC
②	根太		同上 60×90	UC
③	根太		同上 30×90	UC
金 物				
番号	使用箇所	名 称		
特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・サイズは基本的な大きさを示す。 ・Hは床仕上げ等との関連があると思われるので検討の事。 ・重量300Kg/m² (長期荷重) を考慮の上耐えられるものとする。 				
名称	スノコ			
縮尺	1/2 1/10	記号	G-1812	
設計年月			令和7年3月	
横浜市建築局				

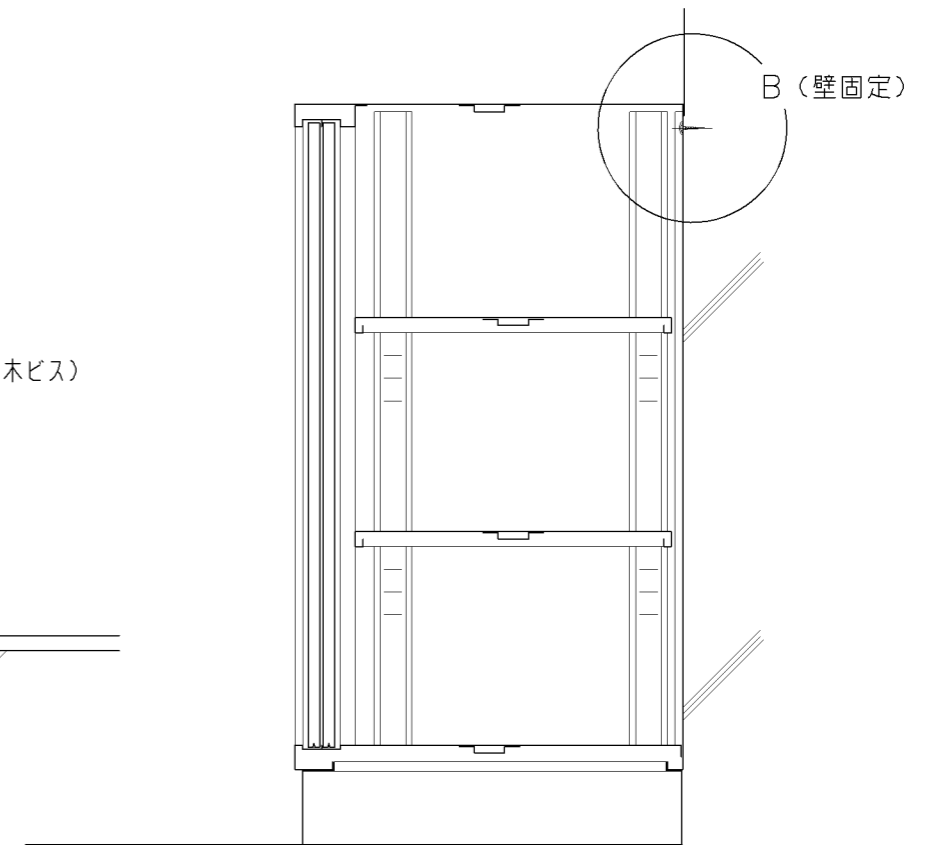
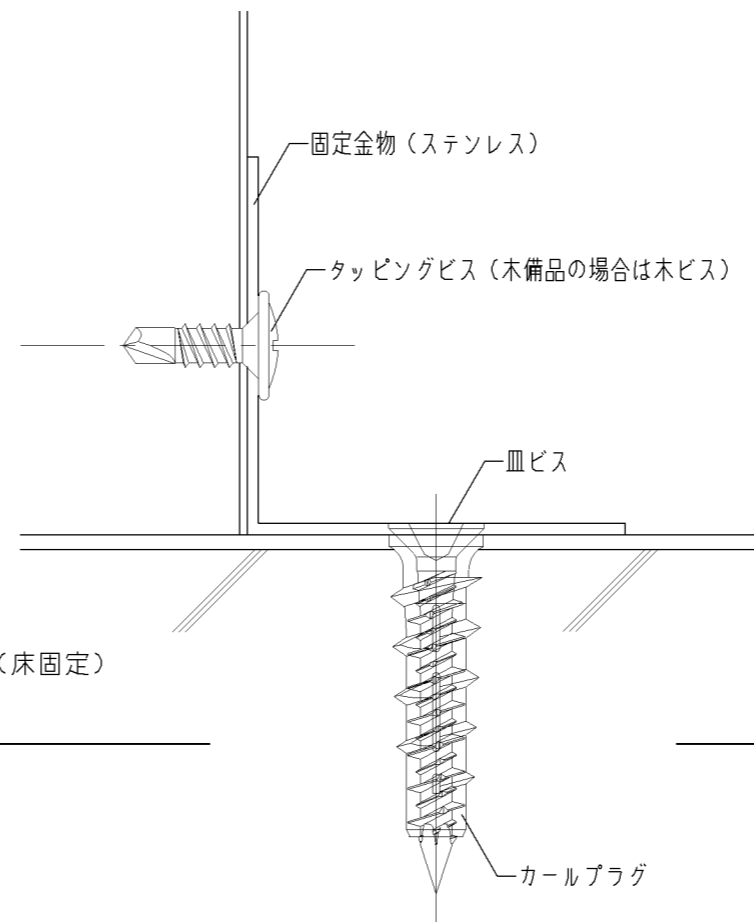
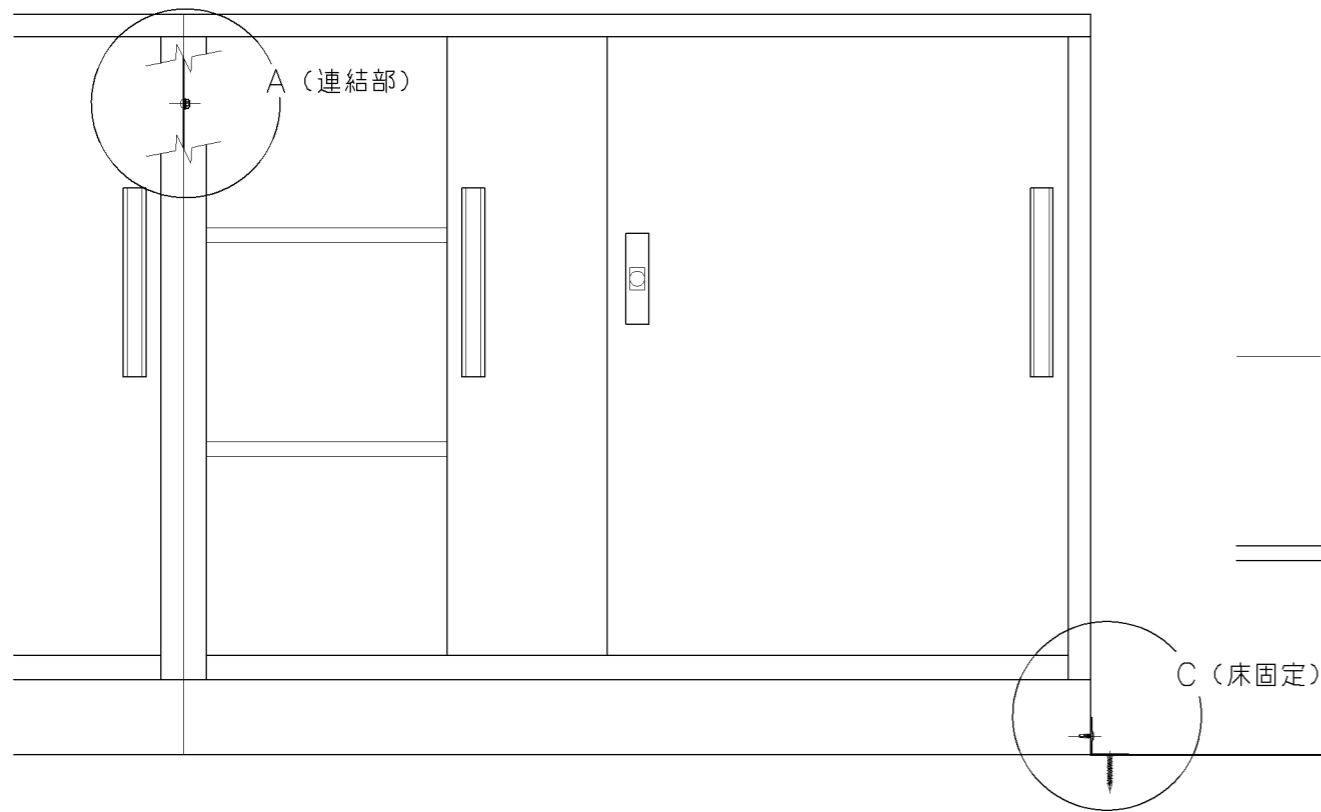
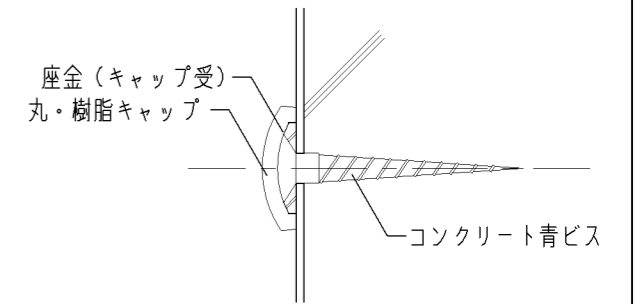
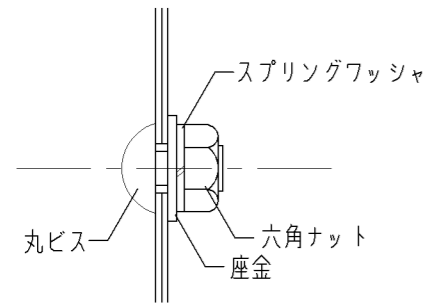
図面記号の構成 J系列分類表

	区分番号	備品番号	備品名称	備品番号	備品名称	備品番号	備品名称	備品番号	備品名称
校舎	100	J-103B	下足入	J-103C	下足入				
		J-127	書架(単式)	J-128	書架(複式2連)				
		J-133	ファイリングキャビネット						
		J-141	ファイリングキャビネット	J-143	ファイリングキャビネット				
	200	J-202	文書整理ケース	J-203	文書整理ケース				
	300								
	400	J-451	キャレルデスク	J-452	複式書架	J-453	複式書架(文庫本用)		
	900	J-901	大型ポスト						

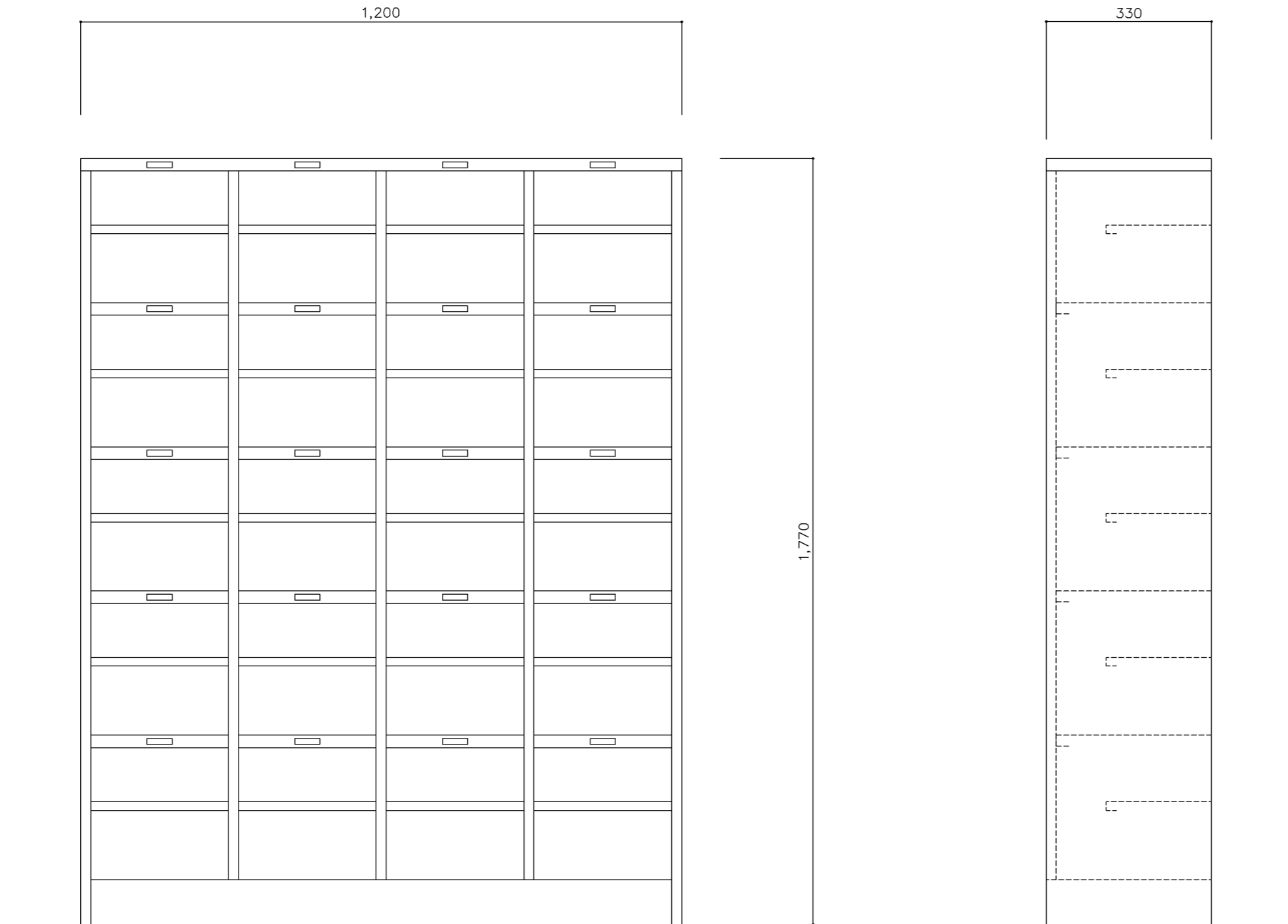
※J備品については既製品の採用とします。

名称	分類表		
縮尺		記号	J-000
設計年月日		令和7年3月	
横浜市建築局			

備品類取付仕様



名称	備品類取付仕様		
縮尺	記号	J-001	
設計年月日	令和7年3月		
横浜市建築局			



正面図

断面図

寸法
W 1,200 x D 330 x H 1,770

使用箇所

昇降口（中学校）

仕様

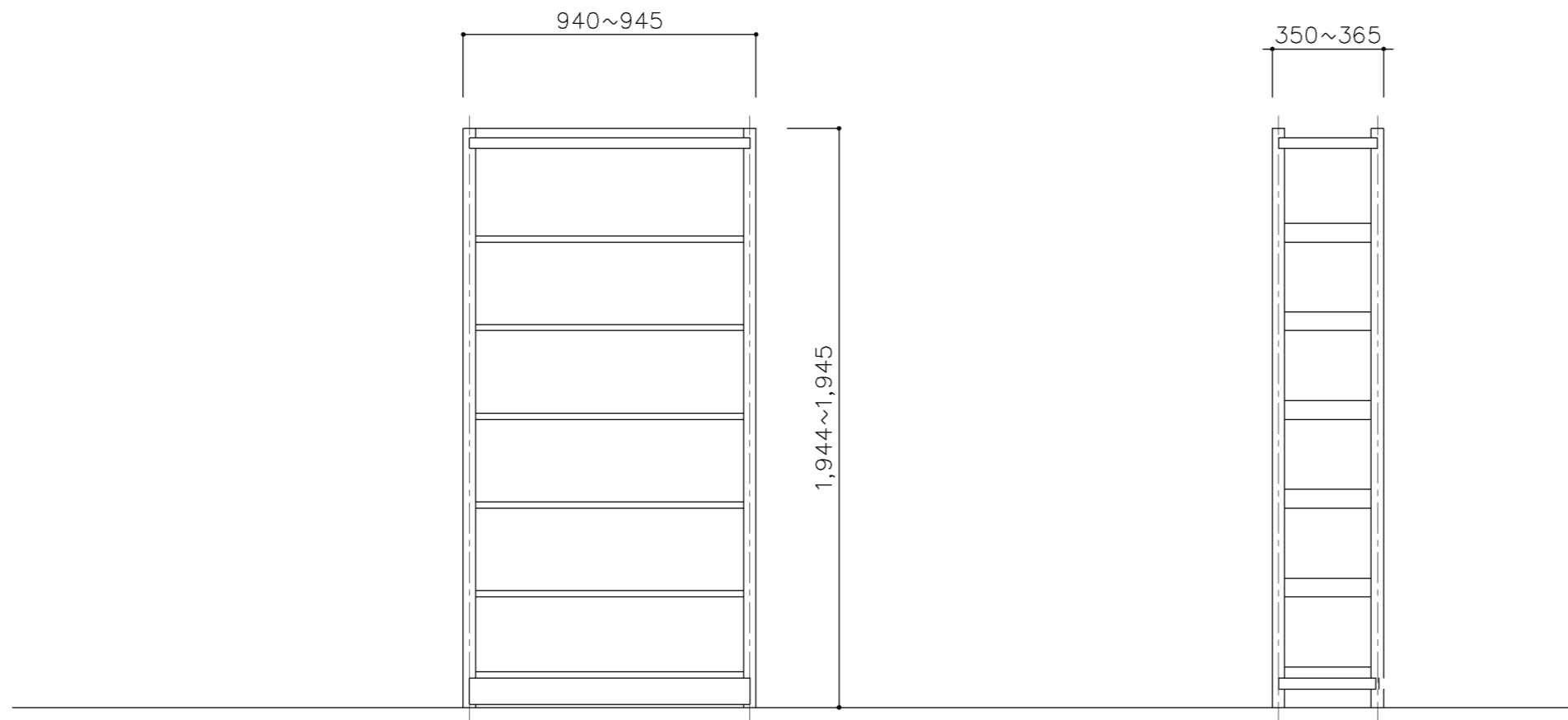
- ・スチール製品
- ・4列5段 20人用
- ・中棚付き

金物

特記事項

- ・既製品とする（グリーン購入法適合品）
- ・詳細、寸法はメーカー仕様による
- ・耐震金物にて固定（床、壁）

名称	下足入		
縮尺	1/10	記号	J-103C
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



正面図

断面図

寸法			
W 945 x D 365 x H 1,945			
使用箇所			
印刷室			
仕様			
・スチール製品			
・6段			
・棚板サイズ A4対応			
金物			
特記事項			
・既製品とする（グリーン購入法適合品）			
・詳細、寸法はメーカー仕様による			
・耐震金物にて固定（床、壁）			
名称	書架（単式）		
縮尺	1/20	記号	J-127
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			

寸 法

W 1,845 x D 685 x H 1,945

使用箇所

倉庫

仕 様

- ・スチール製品
- ・6段
- ・棚板サイズ A4対応
- ・複式2連タイプ

金 物

特記事項

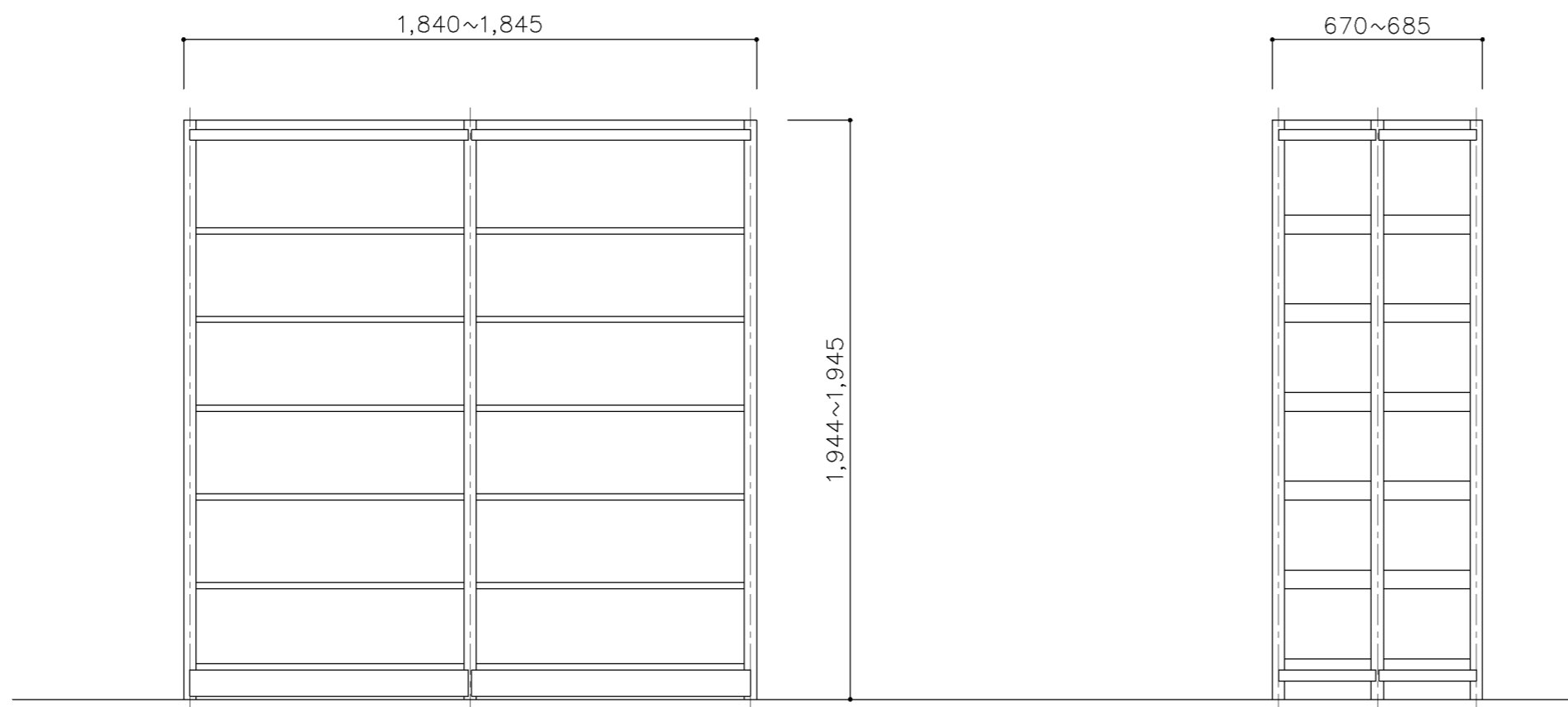
- ・既製品とする（グリーン購入法適合品）
- ・詳細、寸法はメーカー仕様による
- ・耐震金物にて固定（床、壁）

名称 書架（複式2連）

縮尺 1/20 記号 J-128

設計年月 令和7年3月

横浜市建築局



正面図

断面図

寸 法

W 456 x D 620 x H 1,400

使用箇所

耐火書庫

仕 様

- ・スチール製品
- ・4段

金 物

特記事項

- ・既製品とする（グリーン購入法適合品）
- ・詳細、寸法はメーカー仕様による
- ・耐震金物にて固定（床、壁）

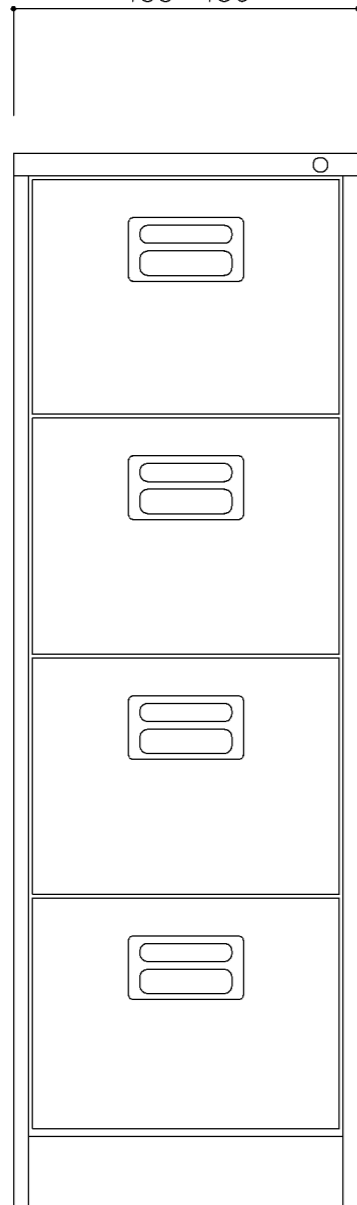
名称 ファイリングキャビネット

縮尺 1/10 記号 J-133

設計年月 令和7年3月

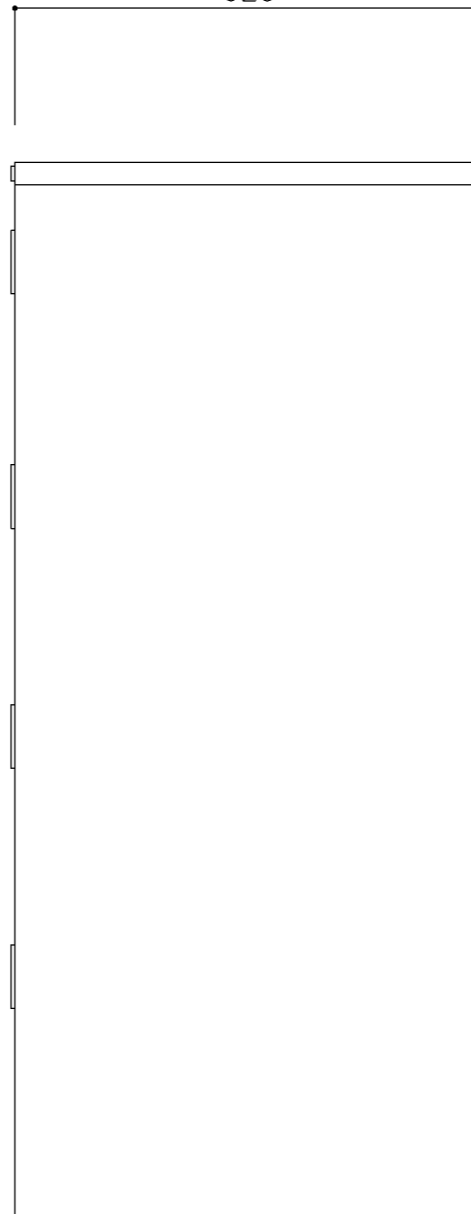
横浜市建築局

455~456



正面図

620



側面図

1,400

寸 法

W 388 x D 620 x H 740

使用箇所

校長室、事務室

仕 様

- ・スチール製品
- ・2段
- ・A4サイズ対応

金 物

特記事項

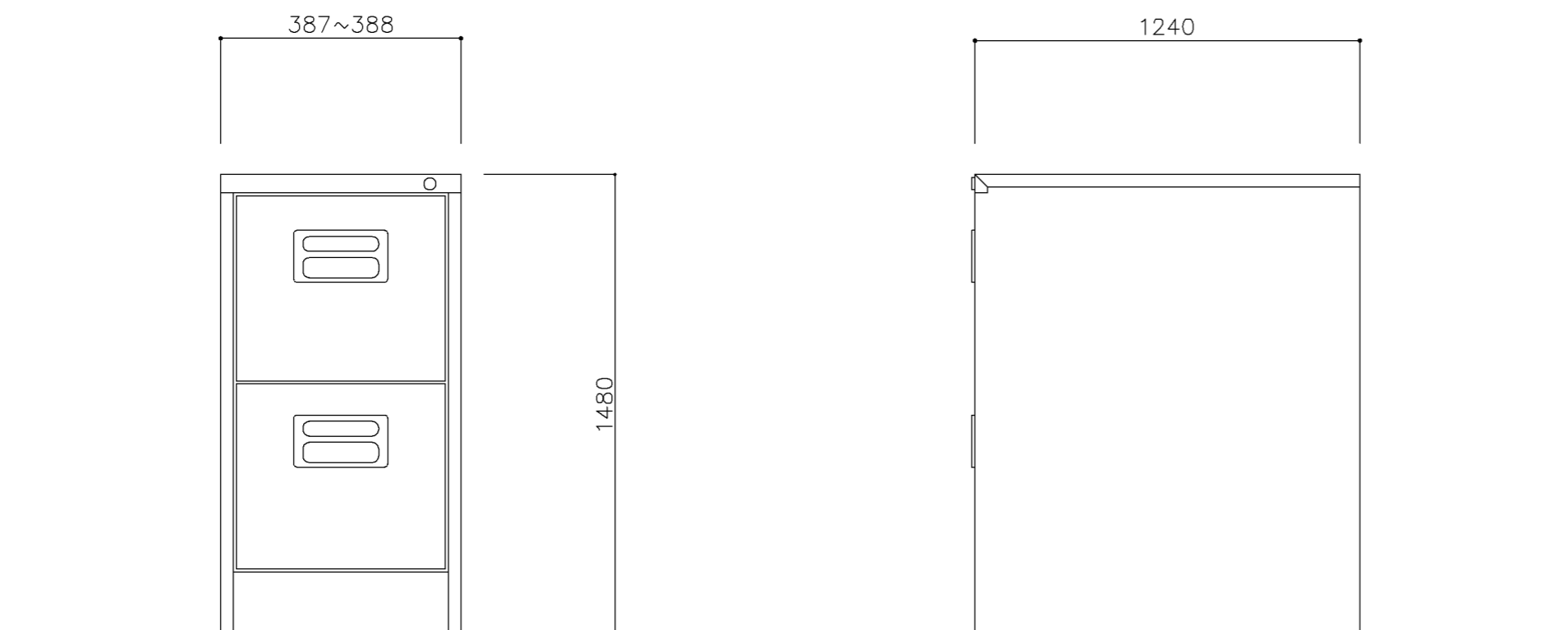
- ・既製品とする（グリーン購入法適合品）
- ・詳細、寸法はメーカー仕様による
- ・耐震金物にて固定（床、壁）

名称 | ファイリングキャビネット

縮尺 | 1/10 | 記号 | J-141

設計年月 | 令和7年3月

横浜市建築局



正面図

側面図

寸 法
W 590 x D 400 x H 880

使用箇所
職員室

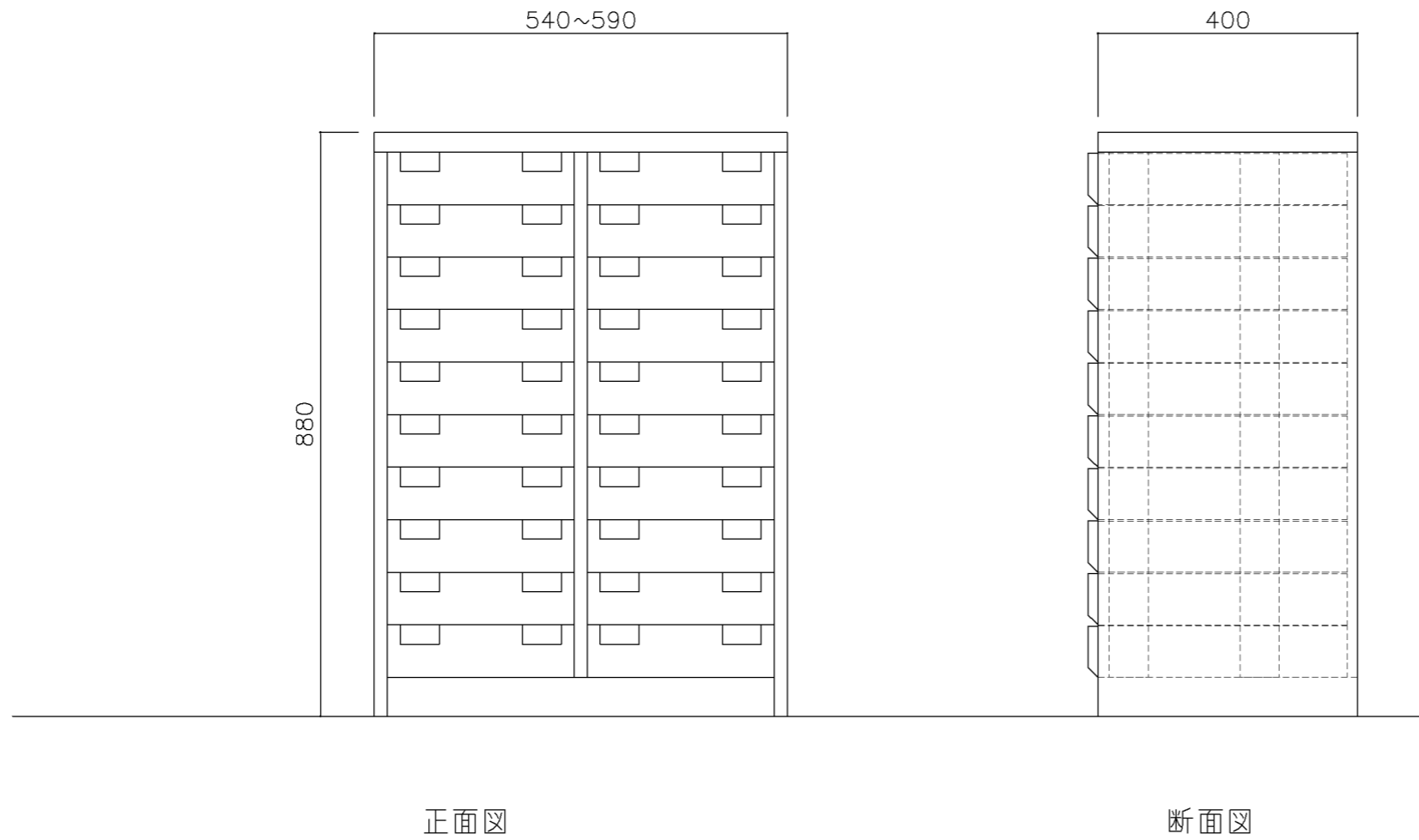
仕 様
・スチール製品
・2列9段または2列10段
・A4対応

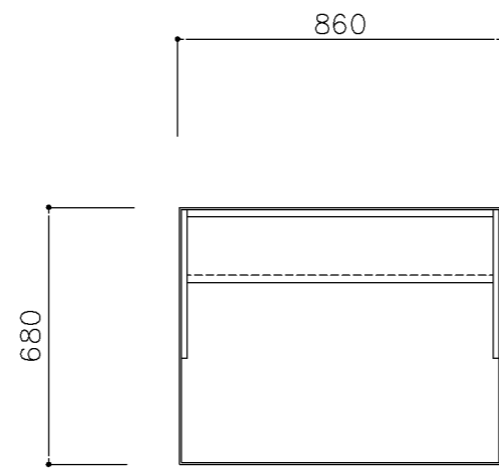
金 物

特記事項
・既製品とする（グリーン購入法適合品）
・詳細、寸法はメーカー仕様による
・耐震金物にて固定（床、壁）

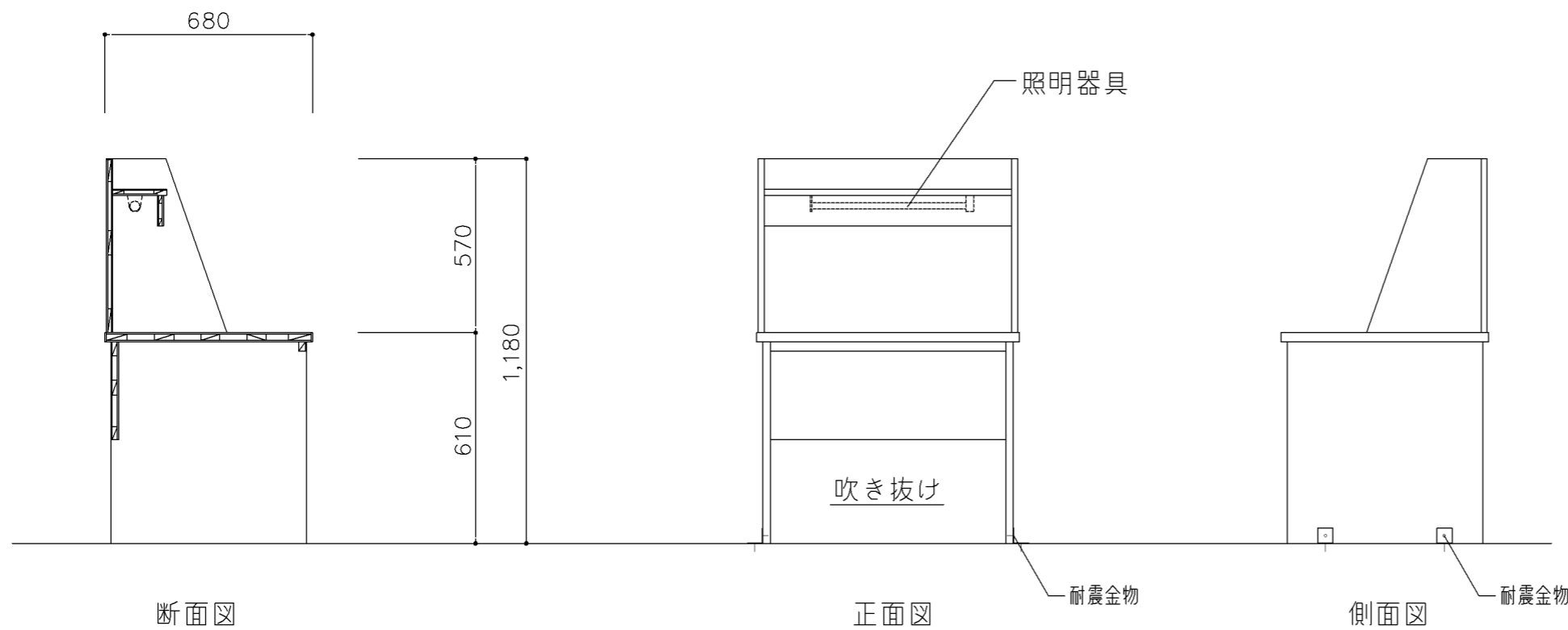
名称	文書整理ケース		
縮尺	1/10	記号	J-203
設計年月		令和7年3月	

横浜市建築局





平面図



断面図

正面図

側面図

寸法
W 860 x D 680 x H 1,180

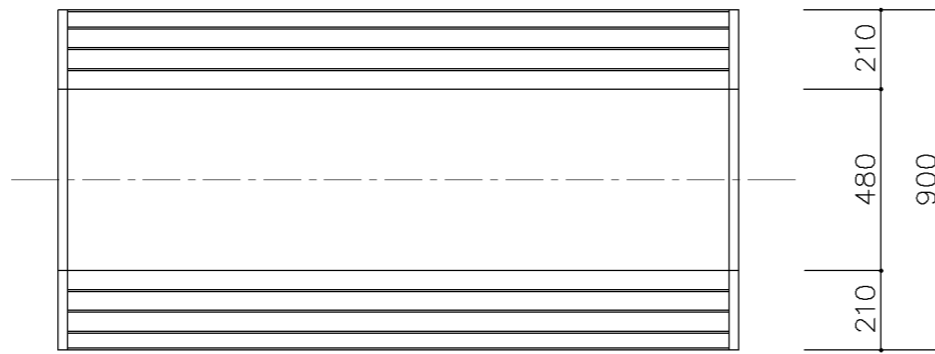
使用箇所
特別支援教室（小学校）

仕様
・木製
・照明付き

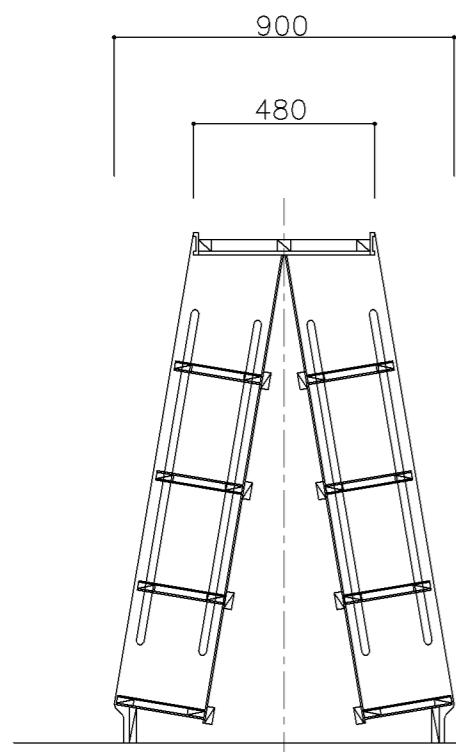
金物

特記事項
・既製品とする（グリーン購入法適合品）
・詳細、寸法はメーカー仕様による
・耐震金物にて固定（床）

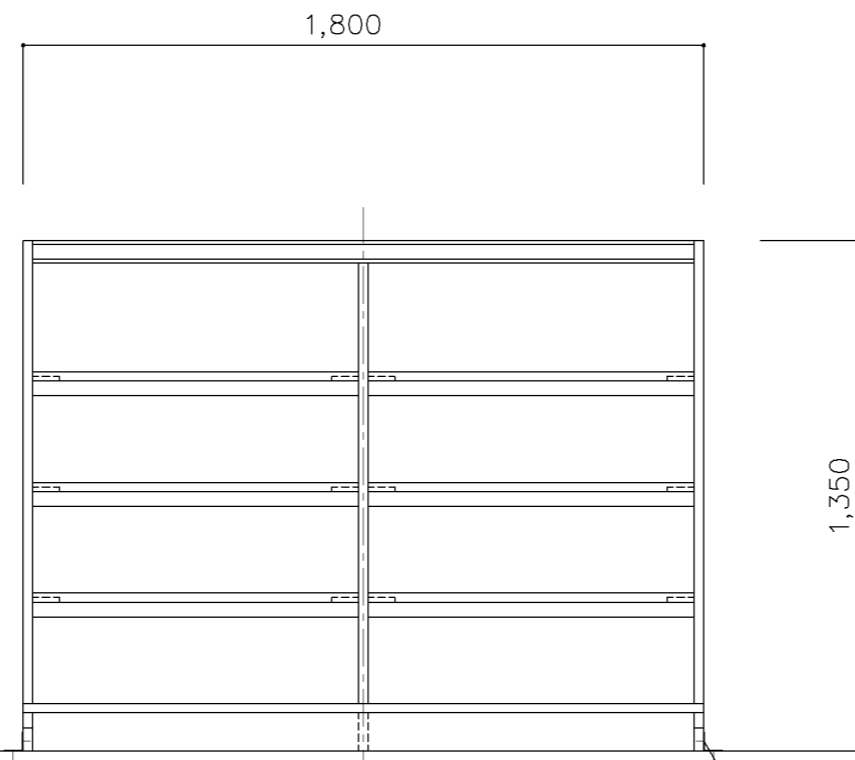
名称	キャレルデスク		
縮尺	1/10	記号	J-451
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



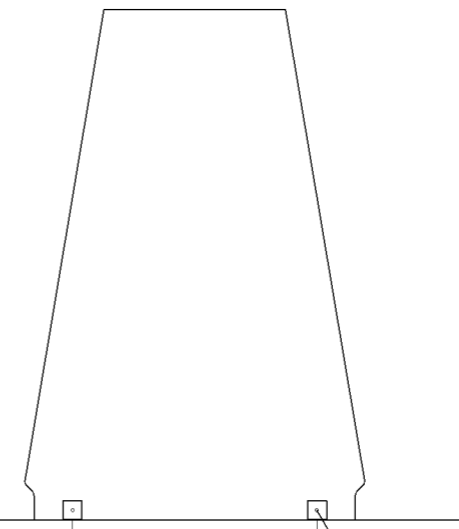
平面図



断面図



正面図



側面図

寸法
W 1,800 x D 480/900 x H 1,350

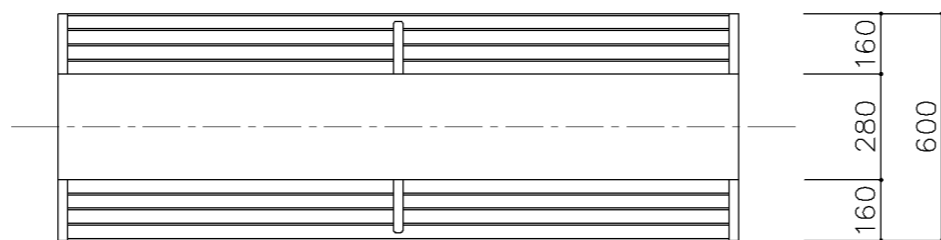
使用箇所
図書室（小学校）、図書室（中学校）

仕様
・木製

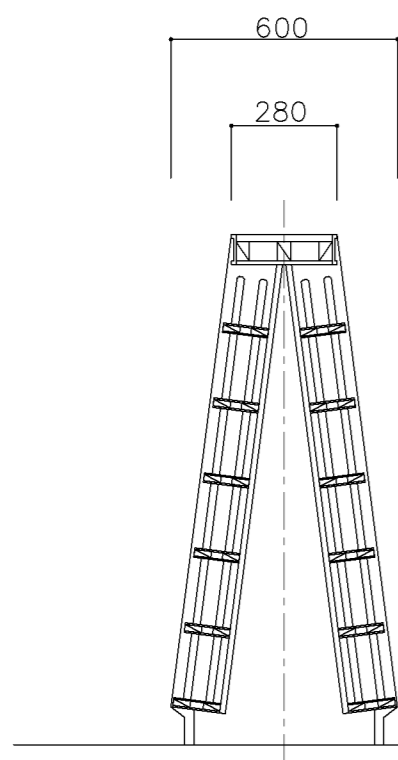
金物

特記事項
・既製品とする（グリーン購入法適合品）
・詳細、寸法はメーカー仕様による
・耐震金物にて固定（床）

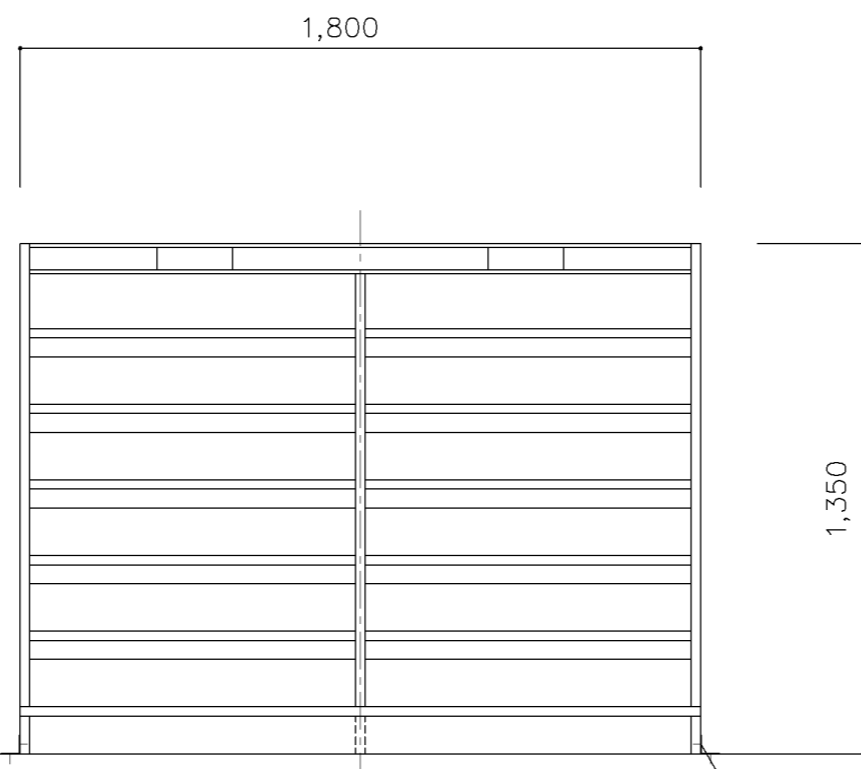
名称	複式書架		
縮尺	1/10	記号	J-452
設計年月		令和7年3月	
横浜市建築局			



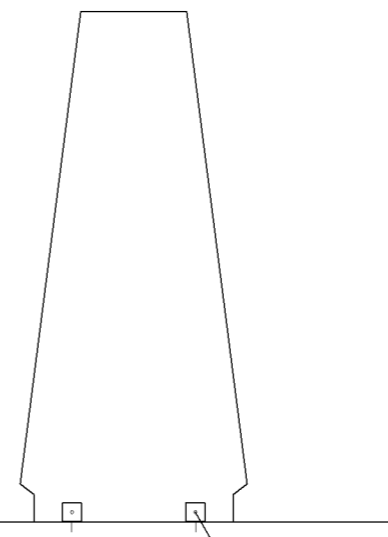
平面図



断面図



正面図



側面図

寸法
W 1,800 x D 280/600 x H 1,350

使用箇所
図書室（中学校）

仕様
・木製

金物

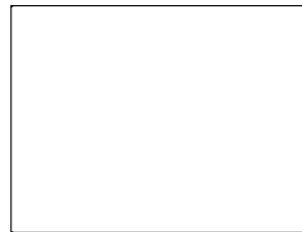
特記事項
 ・既製品とする（グリーン購入法適合品）
 ・詳細、寸法はメーカー仕様による
 ・耐震金物にて固定（床）

名称 複式書架（文庫本用）

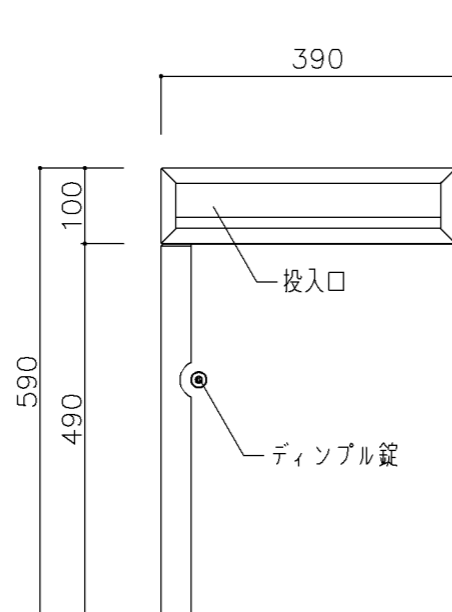
縮尺 1/10 記号 J-453

設計年月 令和7年3月

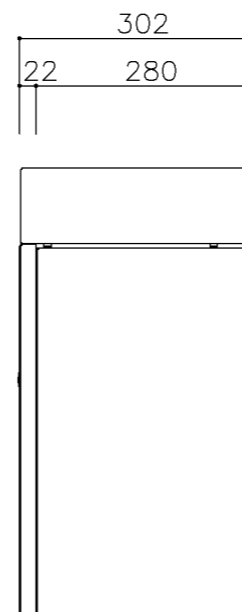
横浜市建築局



平面図



正面図



側面図

寸法

W 390 x D 302 x H 590

使用箇所

正門
 ※設置場所・取付方法については、実施設計対応とする。

仕様

- ・ステンレス製
- ・防滴タイプ

金物

特記事項

- ・既製品とする（グリーン購入法適合品）
- ・詳細、寸法はメーカー仕様による

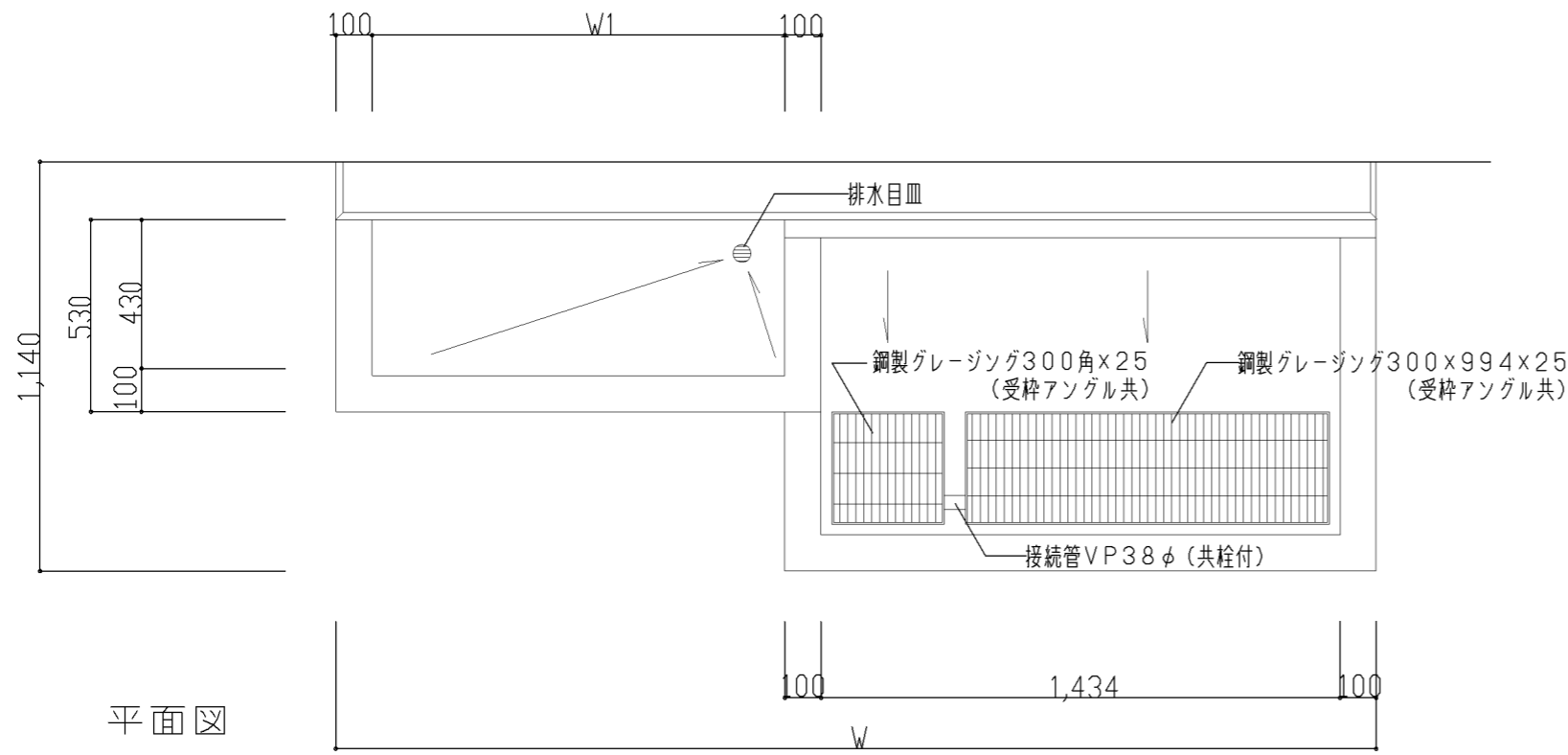
名称	大型ポスト		
縮尺	1/5	記号	J-901
設計年月		令和7年3月	

横浜市建築局

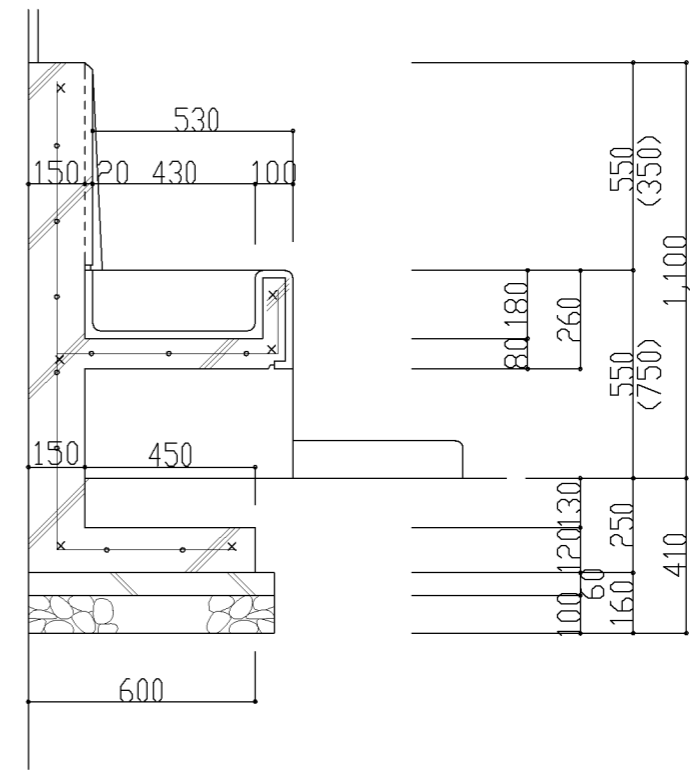
横浜市立小・中学校標準図 校舎95型12改

(1 詳細図)

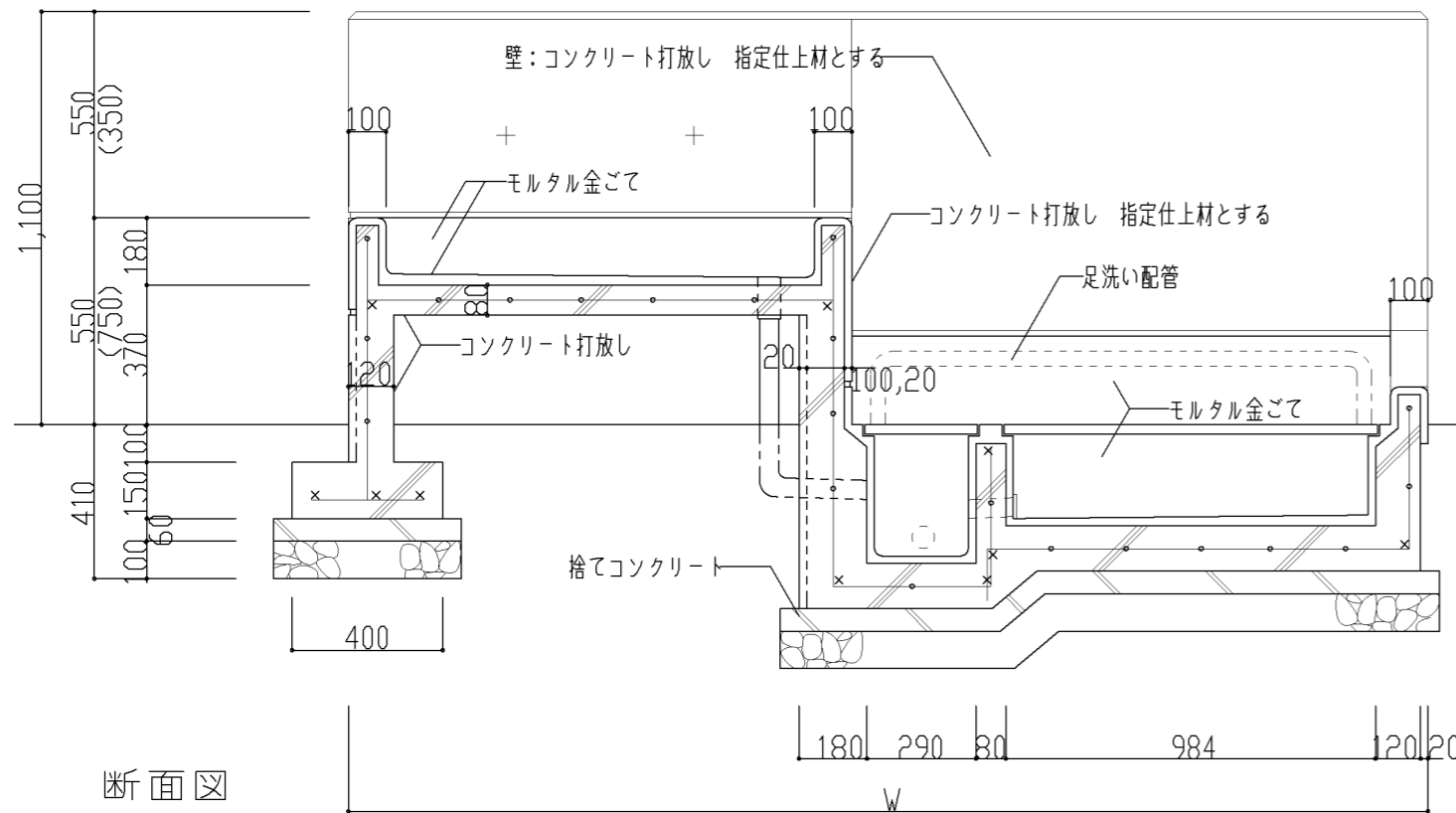
【令和6年度改訂版】



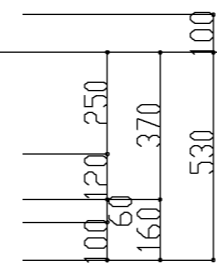
平面図



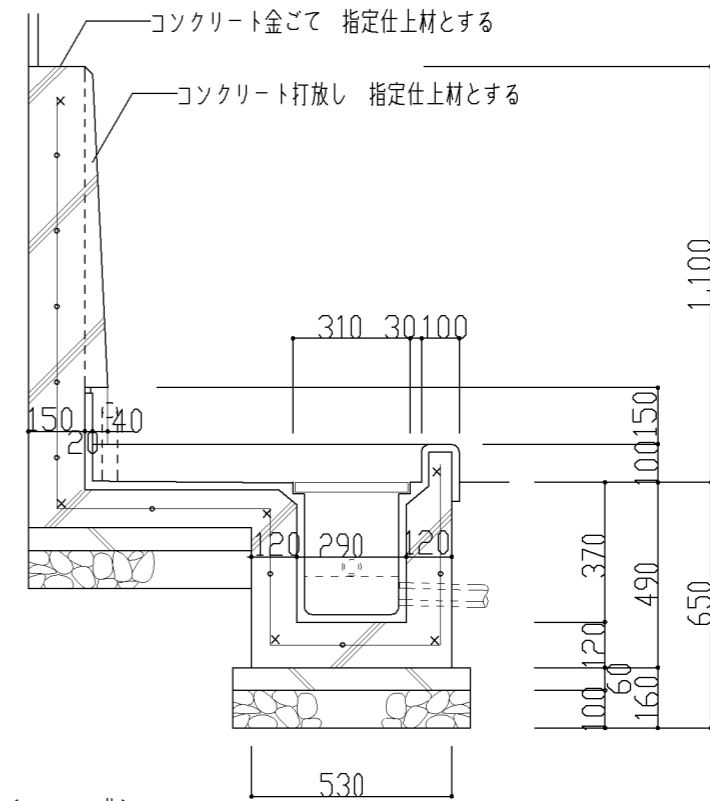
断面図



断面図

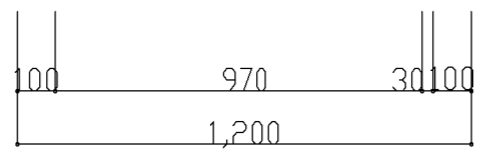
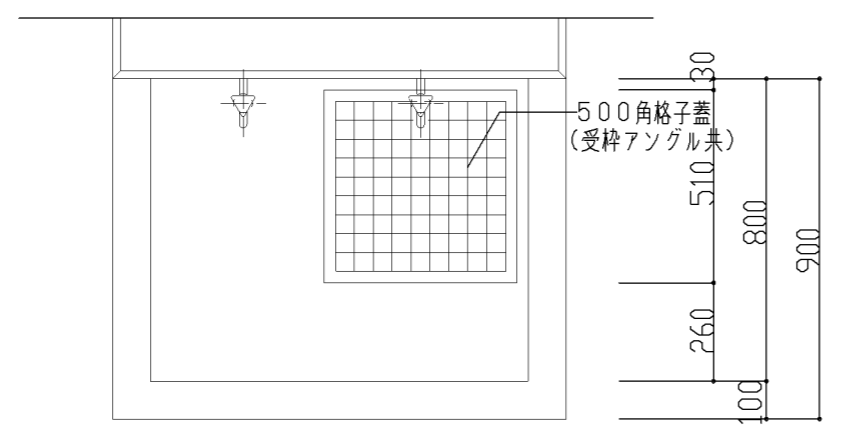


* 配筋 端部 D13
 その他 D10@200 (タテヨコ共)

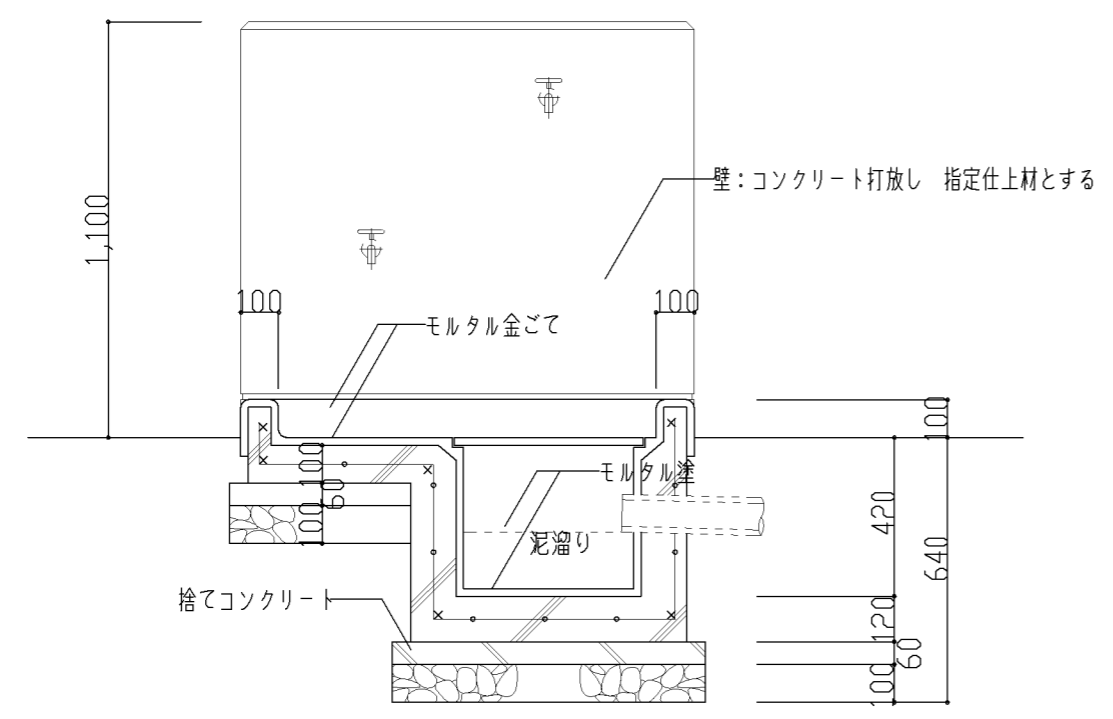


断面図

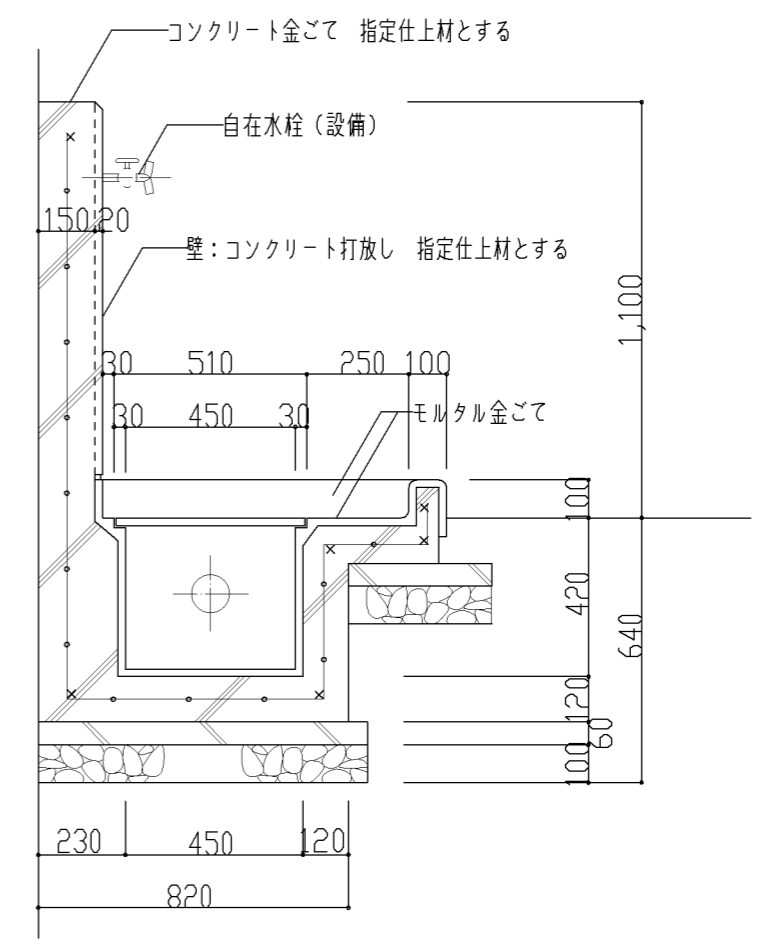
仕様	特記事項	設計上の留意点		
	1) () 内寸法は、中学校型を示す。	図面名称	手洗い、足洗い (昇降口)	
		縮尺	1/20	令和7年3月
			横浜市建築局	I-102



平面図



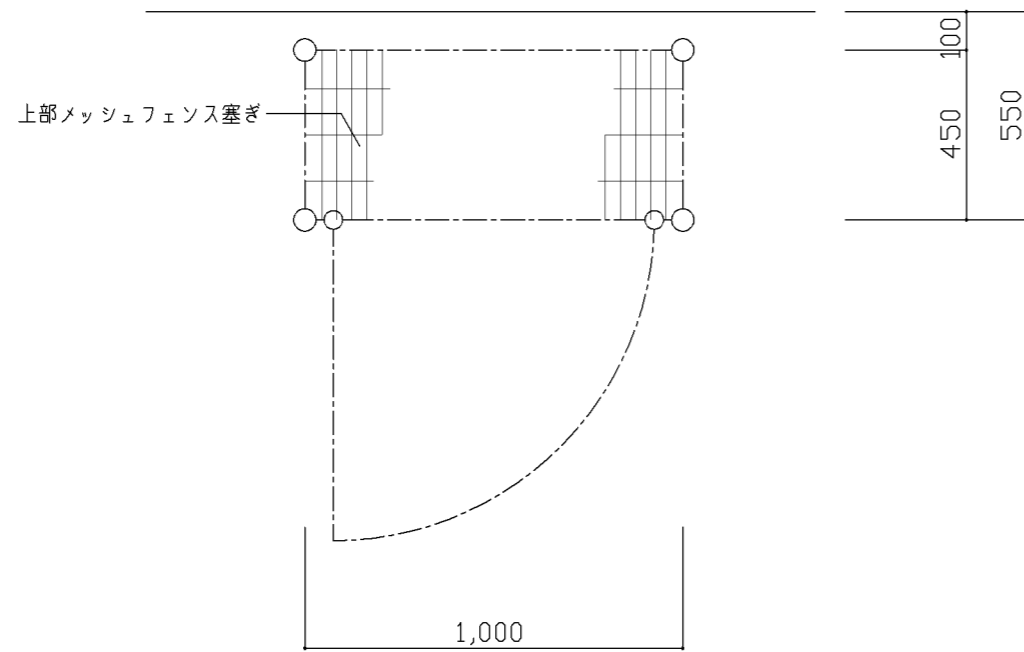
断面図



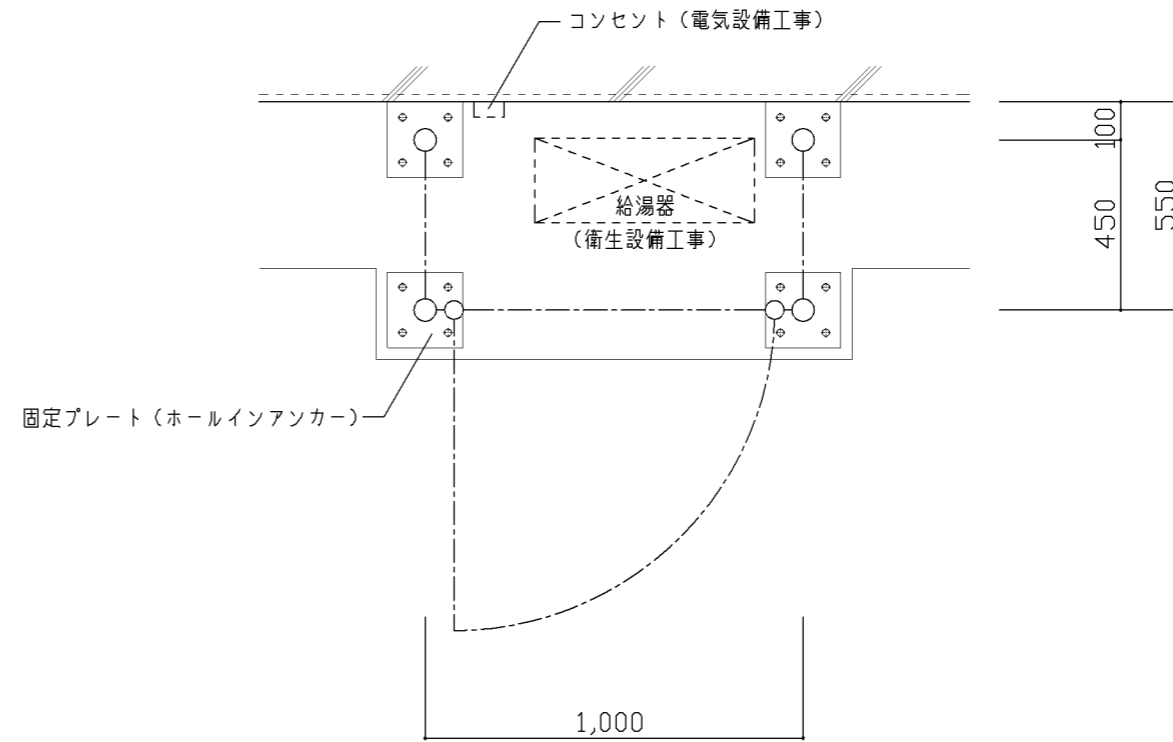
断面図

* 配筋 端部 D13
 その他 D10@200 (タテヨコ共)

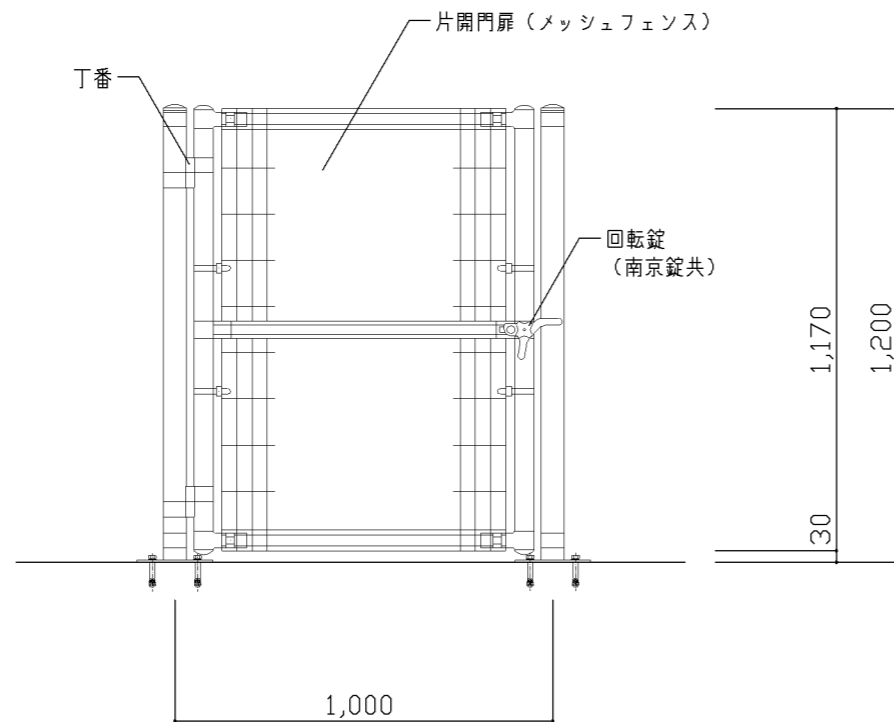
仕様	特記事項	設計上の留意点	図面名称	外部流し (個別支援教室・倉庫)	
			縮尺	1/20	令和7年3月
			横浜市建築局		I-104



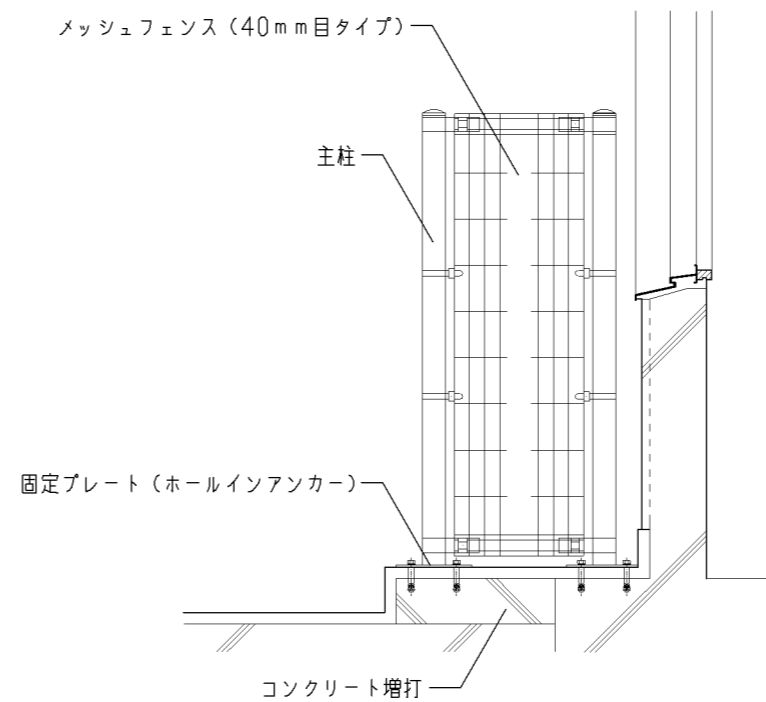
伏図



平面図

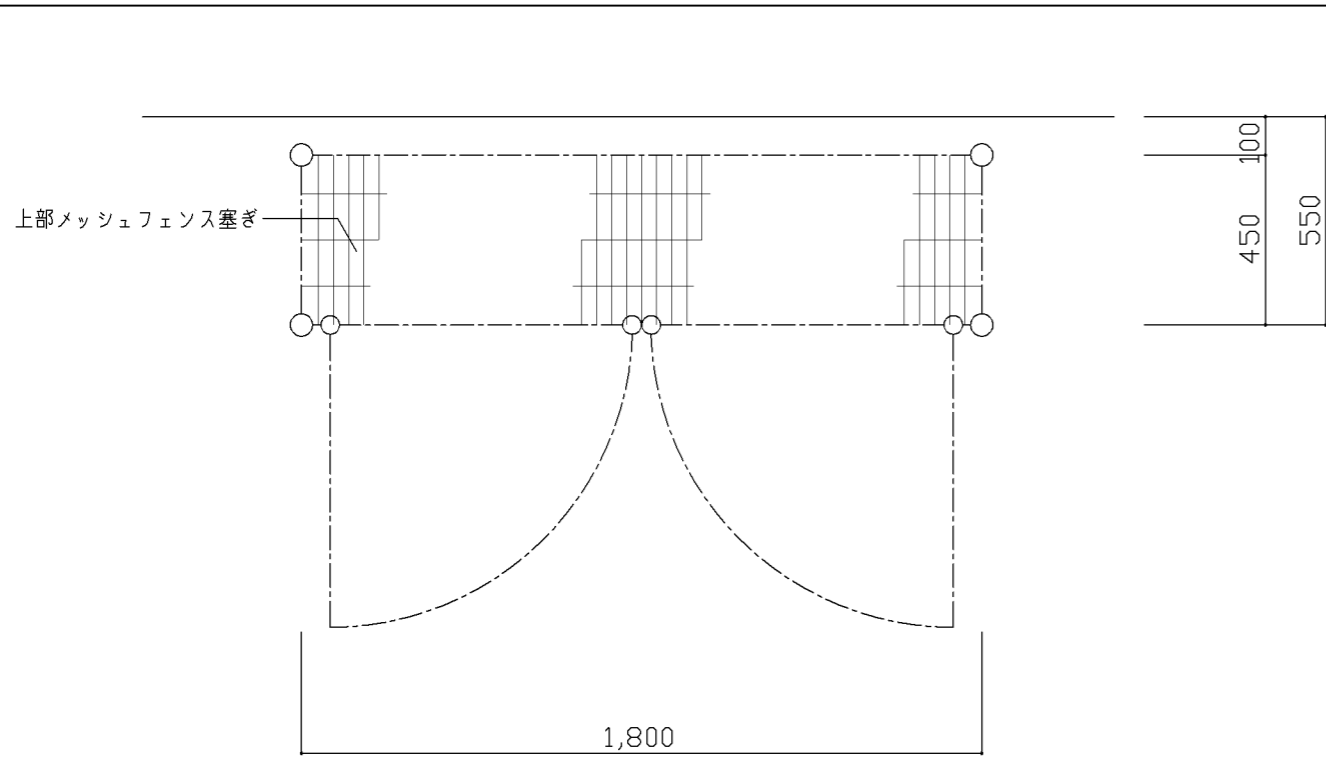


正面図

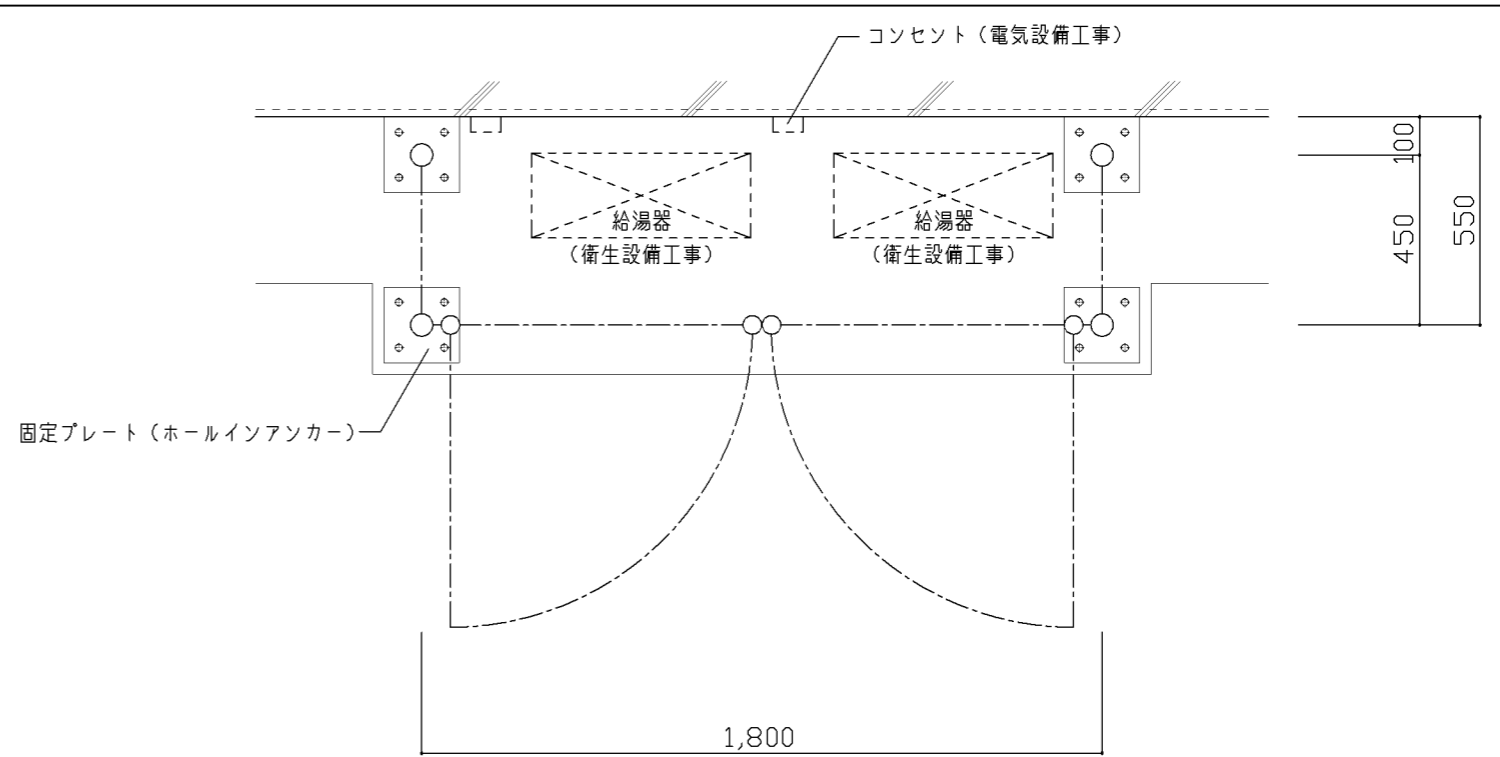


断面図

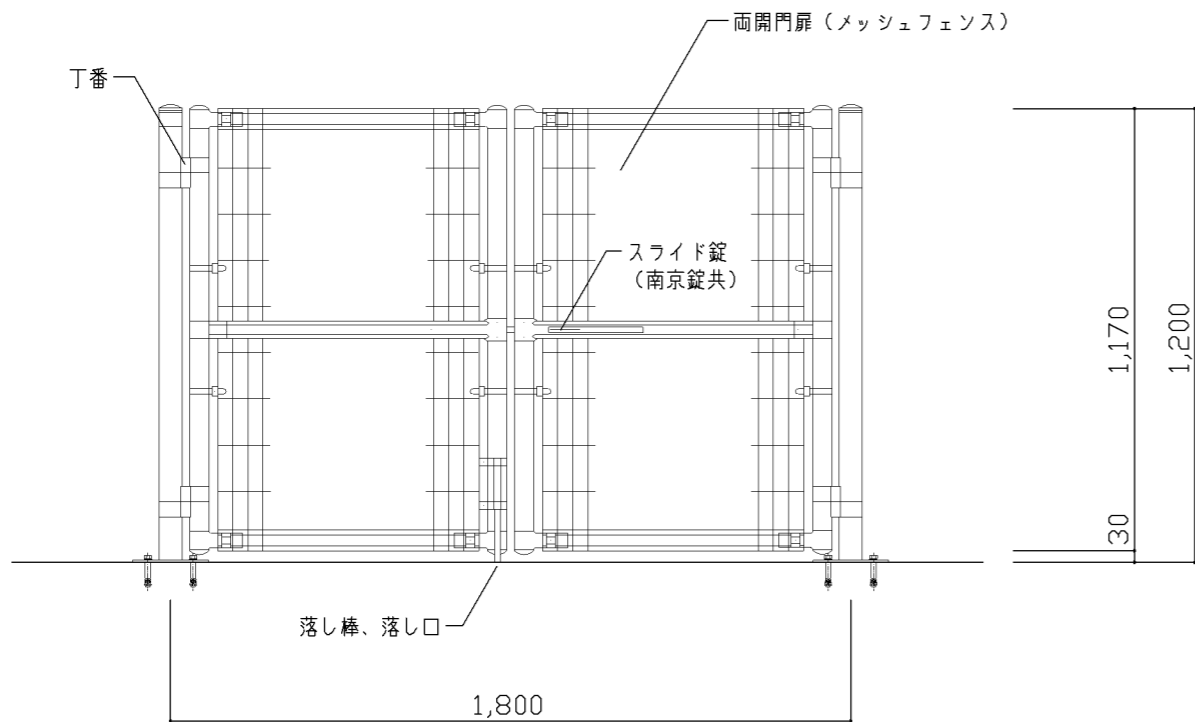
仕 様 1) 部材は、メッシュフェンス（溶融亜鉛めっき仕様）とする。 2) 各部材は、メッシュフェンスメーカー仕様に準ずる。	特記事項 1) バルコニー、及びテラス部分の給湯器カバーを示す 2) 個別支援学級、理科教室、家庭科教室（小学校）、美術教室、保健室、技術員室	設計上の留意点 1) 給湯器はメーカーによりサイズが異なる為、設備と打合せの上寸法を決定する事	図面名称	給湯器カバー（1台用）	
			縮 尺	1/20	令和7年3月
			横浜市建築局		I-105A



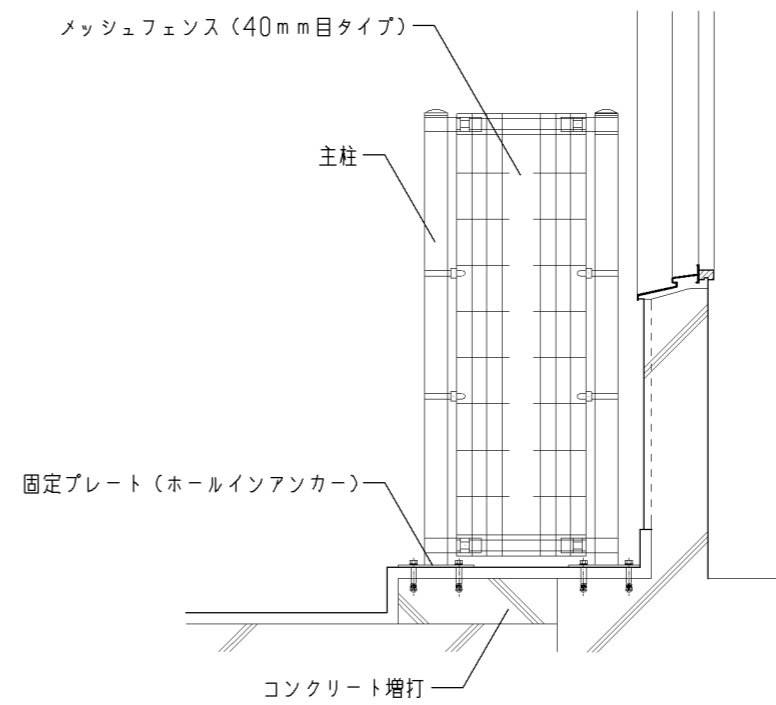
伏図



平面図

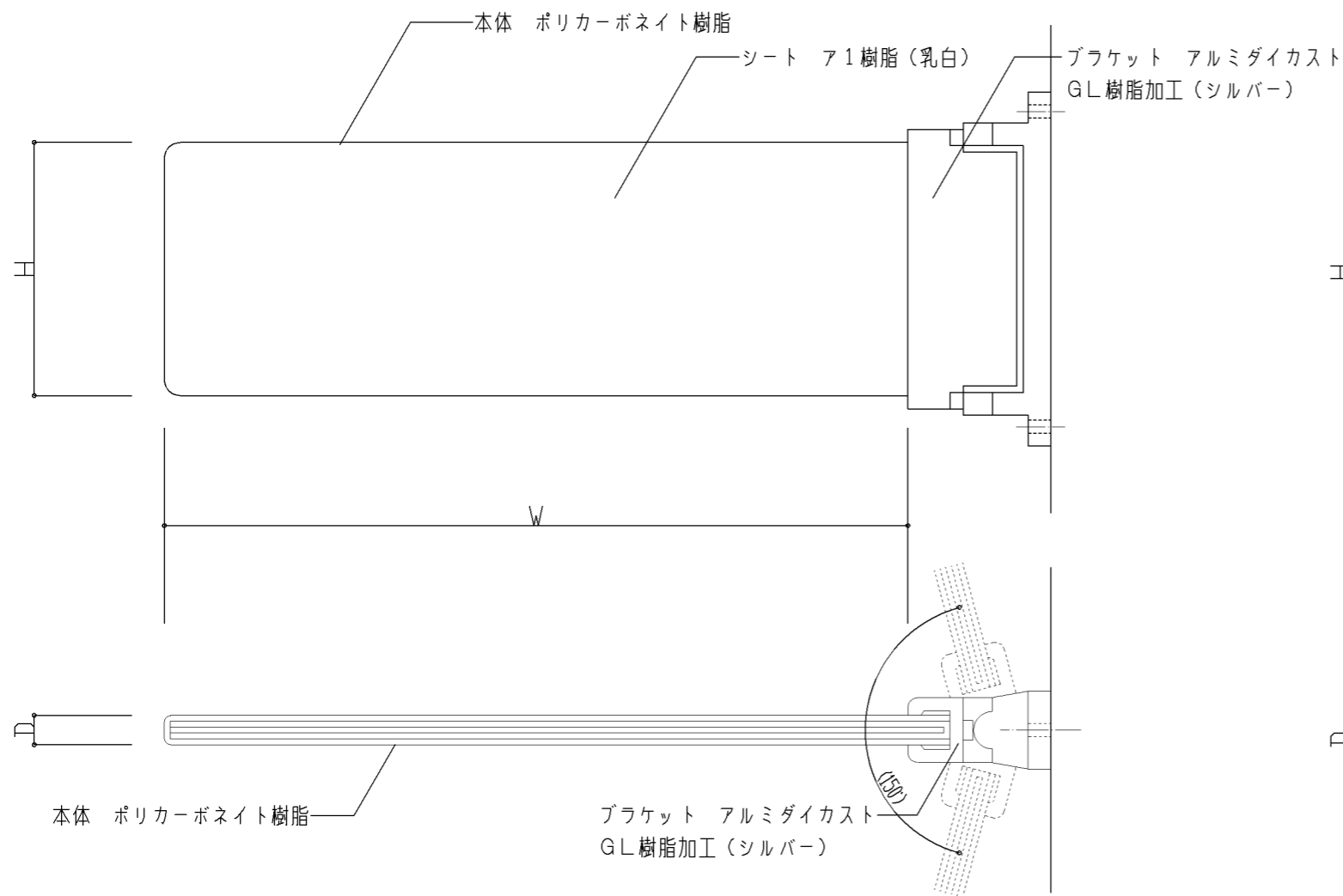


正面図

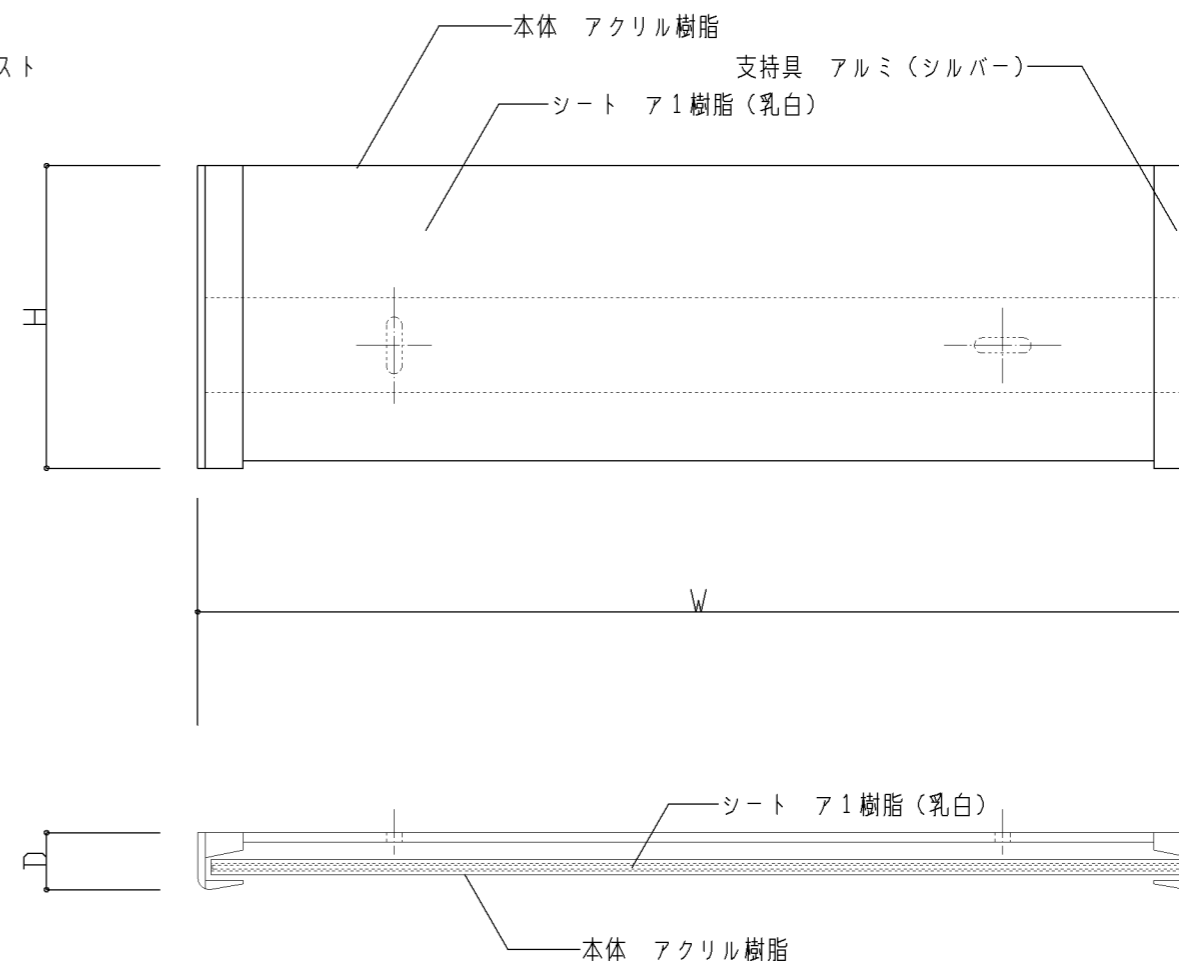


断面図

仕様 1) 部材は、メッシュフェンス（溶融亜鉛めっき仕様）とする。 2) 各部材は、メッシュフェンスメーカー仕様に準ずる。	特記事項 1) バルコニー、及びテラス部分の給湯器カバーを示す 2) 家庭科教室（中学校）、職員更衣室、休養室（職員更衣室併用型）	設計上の留意点 1) 給湯器はメーカーによりサイズが異なる為、設備と打合せの上寸法を決定する事	図面名称	給湯器カバー（2台用）	
			縮尺	1/20	令和7年3月
			横浜市建築局		I-105B



A 持出しタイプ

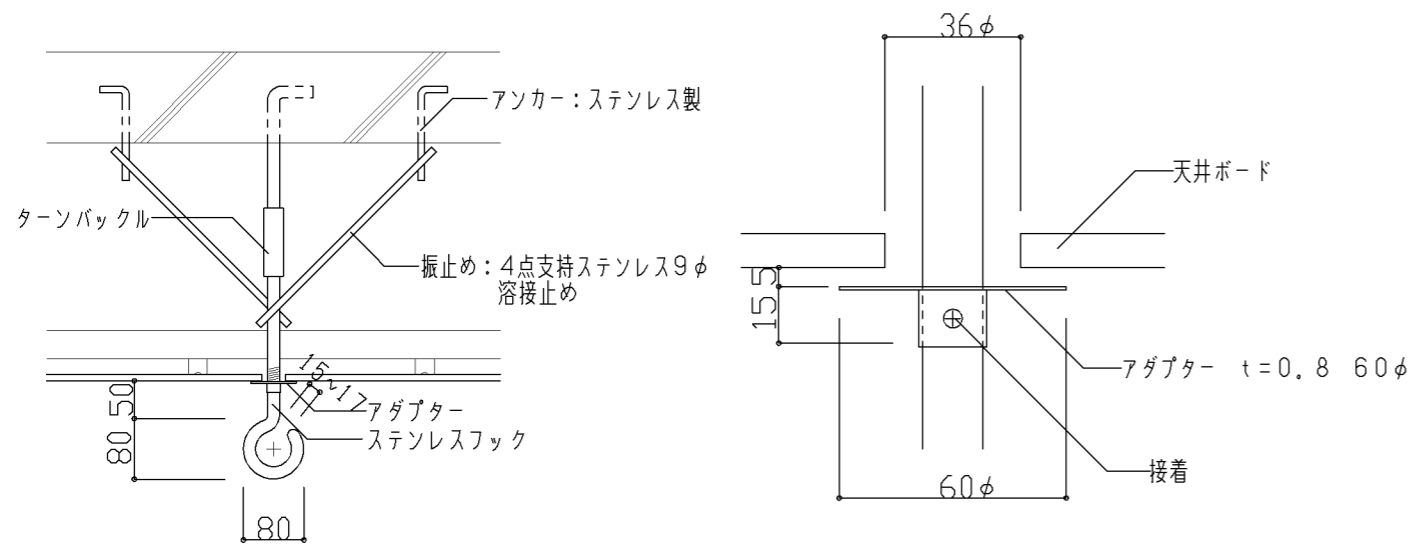


B 平付けタイプ

仕様	特記事項 1) A:小学校 持出しタイプ (W229×D9×H78) 2) B:中学校 平付けタイプ (W265×D15×H80)	設計上の留意点	図面名称	室名札	
			縮尺	1/2	令和7年3月
			横浜市建築局		I-204

A、B - 天井吊りフック 1/10,1/2

1/10,1/2



アダプター詳細図 縮尺 1/2

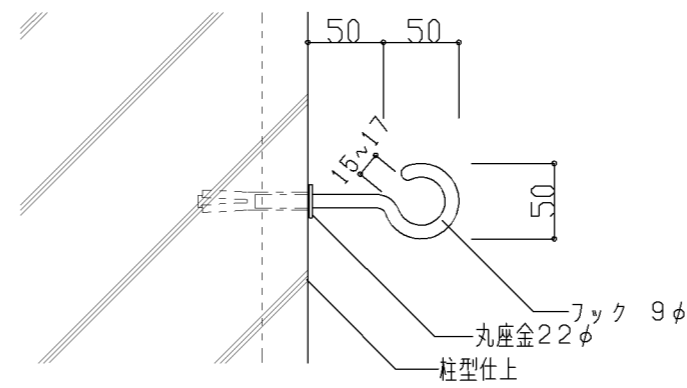
※天井材には接着しないこと

A ステンレスフック 16φ: 小学校個別支援教室 (第二学習室)

B ステンレスフック 9φ: 理科準備室・家庭科教室

C - 柱型付フック 1/5

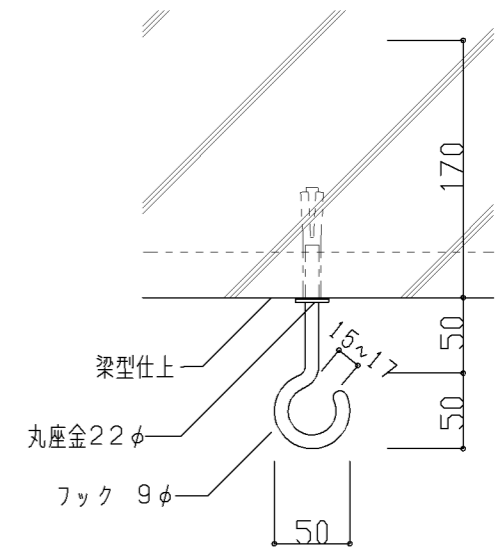
1/5



図画工作教室

D - 梁型付フック 1/5

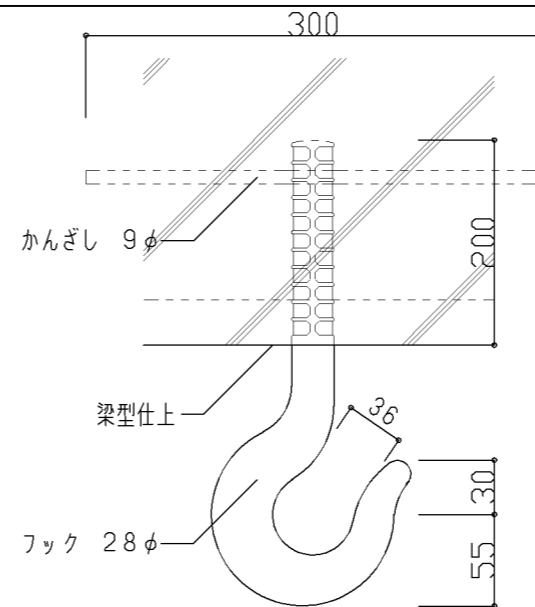
1/5



理科教室

E - 梁型付フック 1/5

1/5



変電室

※ 吊り下げ耐荷重 1,000kg以上

仕様

特記事項

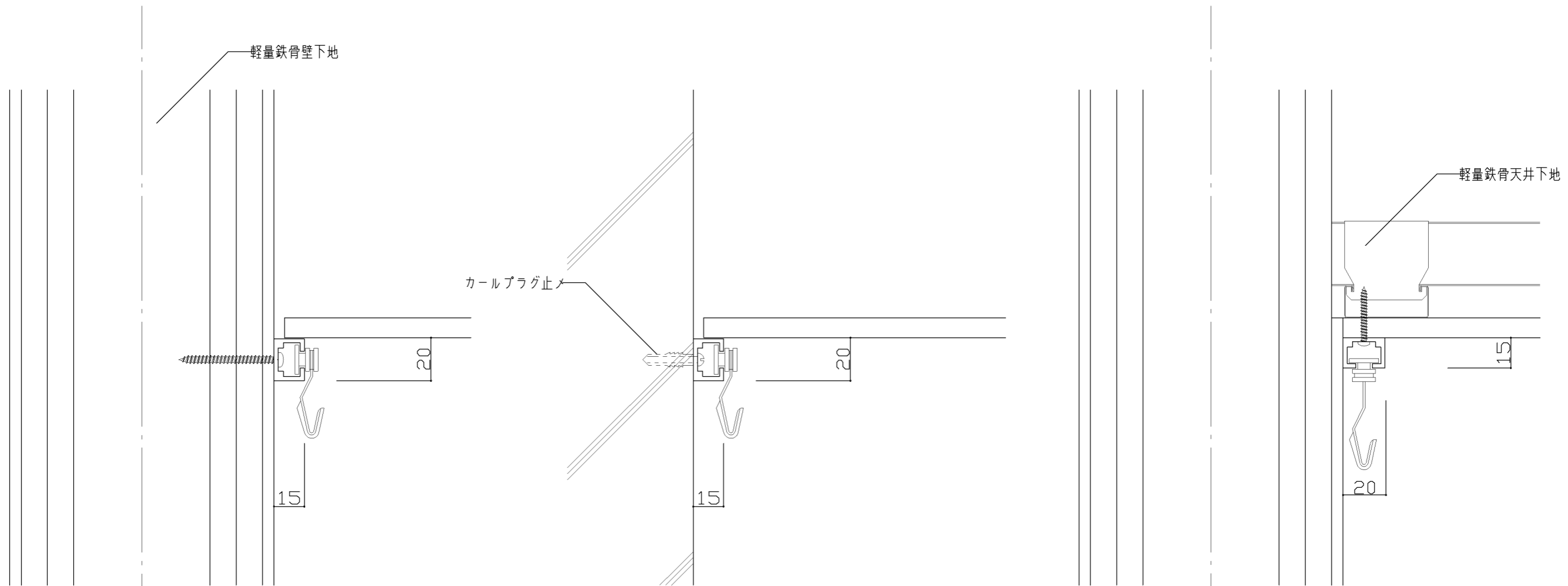
- 1) Aは小学校個別支援教室 (第二学習室) に設置する
- 2) Bは理科準備室・家庭科教室に設置する
- 3) Cは図画工作教室に設置する
- 4) Dは理科教室に設置する
- 5) Eは変電室に設置する

設計上の留意点

- 1) フックを使用する物品等の形状や重量を確認すること

図面名称	ステンレスフック	
------	----------	--

縮尺	1/2,1/3,1/10	令和7年3月
横浜市建築局		I-208

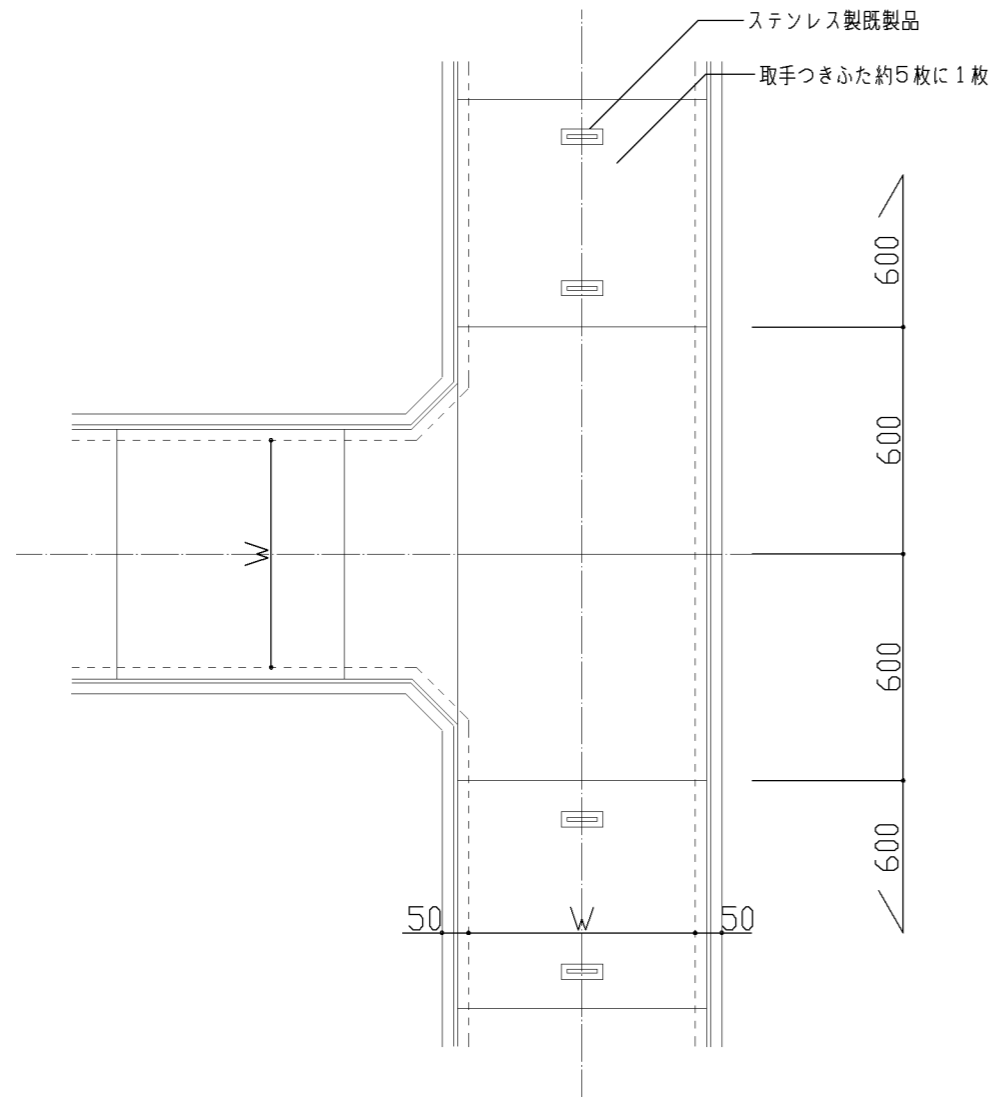


A 壁後付けタイプ (荷重: 25kg程度)

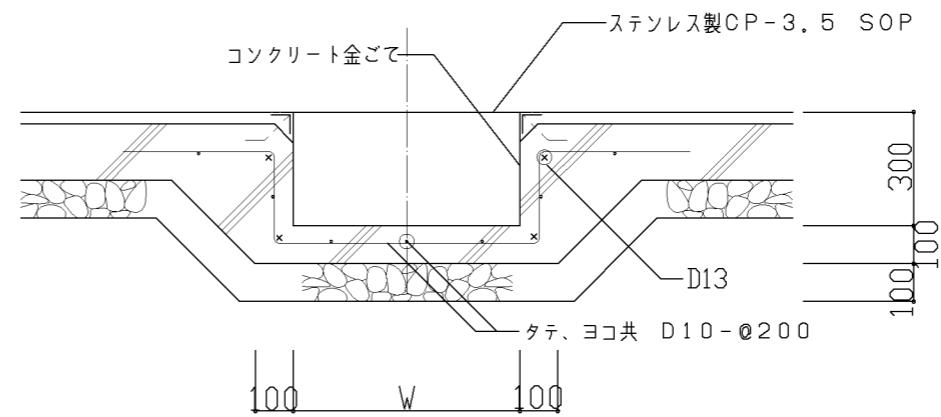
B 壁後付けタイプ (荷重: 25kg程度)

C 天井後付けタイプ (荷重: 25kg程度)

仕 様 1) レール: アルミ製 2) フック: アルミダイカスト製	特記事項 1) Aは、図画工作教室・美術教室・教育相談室・進路指導室に適用。 2) A・Bは、校長室用とする。 3) Cは、普通教室廊下面に適用。	設計上の留意点	図面名称	ピクチャーレール	
			縮 尺	1/2	令和7年3月
			横浜市建築局		I-209



平面図 縮尺 1/20

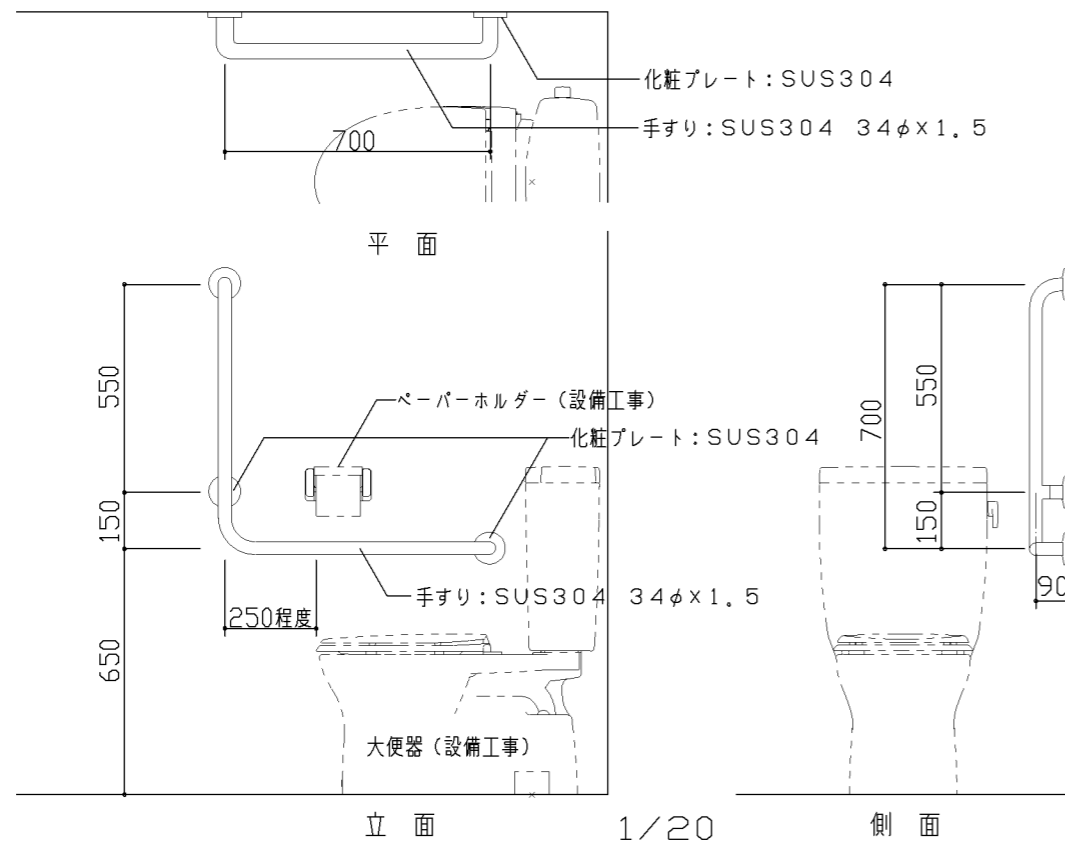


断面図 縮尺 1/20

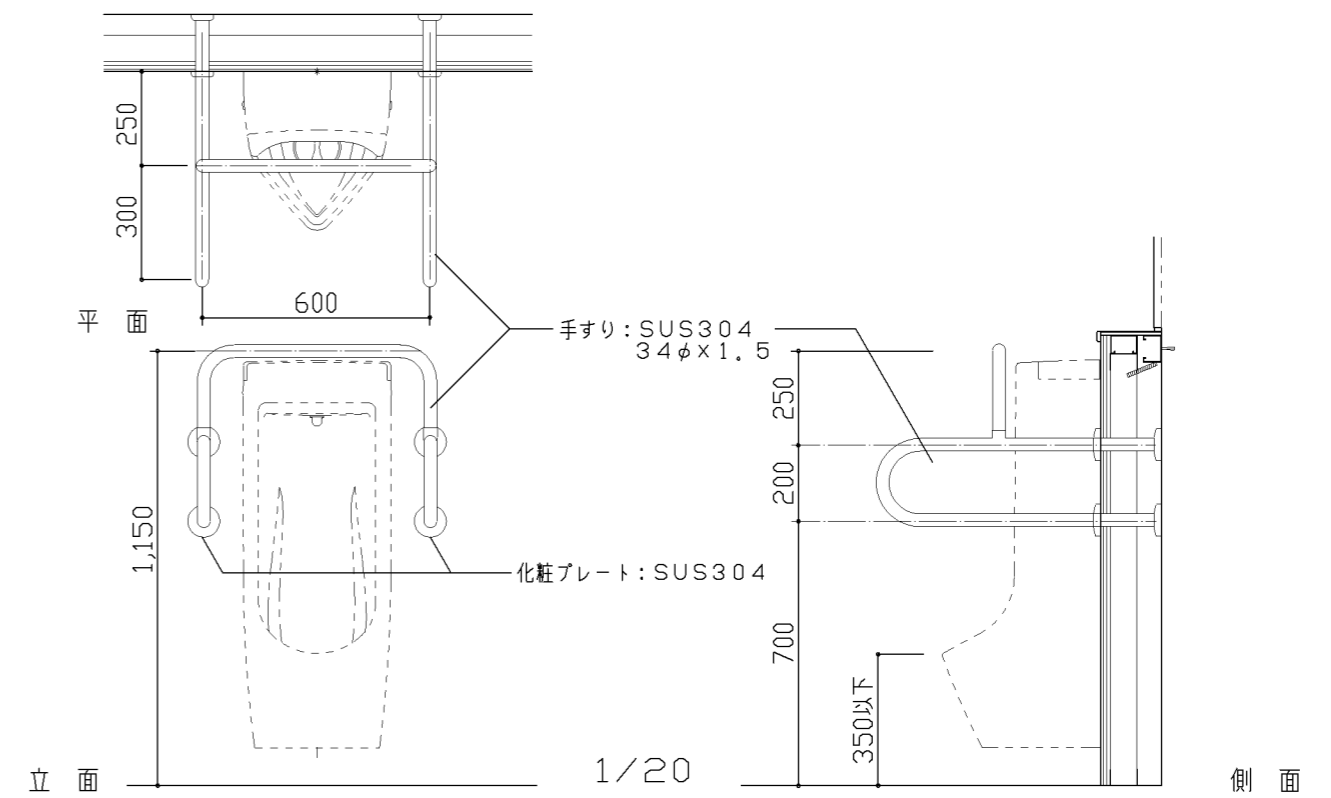
W=600 変電室配線ピット

仕様 1) ふたの鉄面及び配線ピット内の鉄面の塗装はOP塗りとする。	特記事項 1) 変電室に設置	設計注意事項 1) 水が浸入する恐れがある場合は水処理を考慮する。 2) 電気室配線ピットのコーナは角切を行う。	図面名称	床ピット	
			縮尺	1/5, 1/20	令和7年3月
			横浜市建築局		I-211

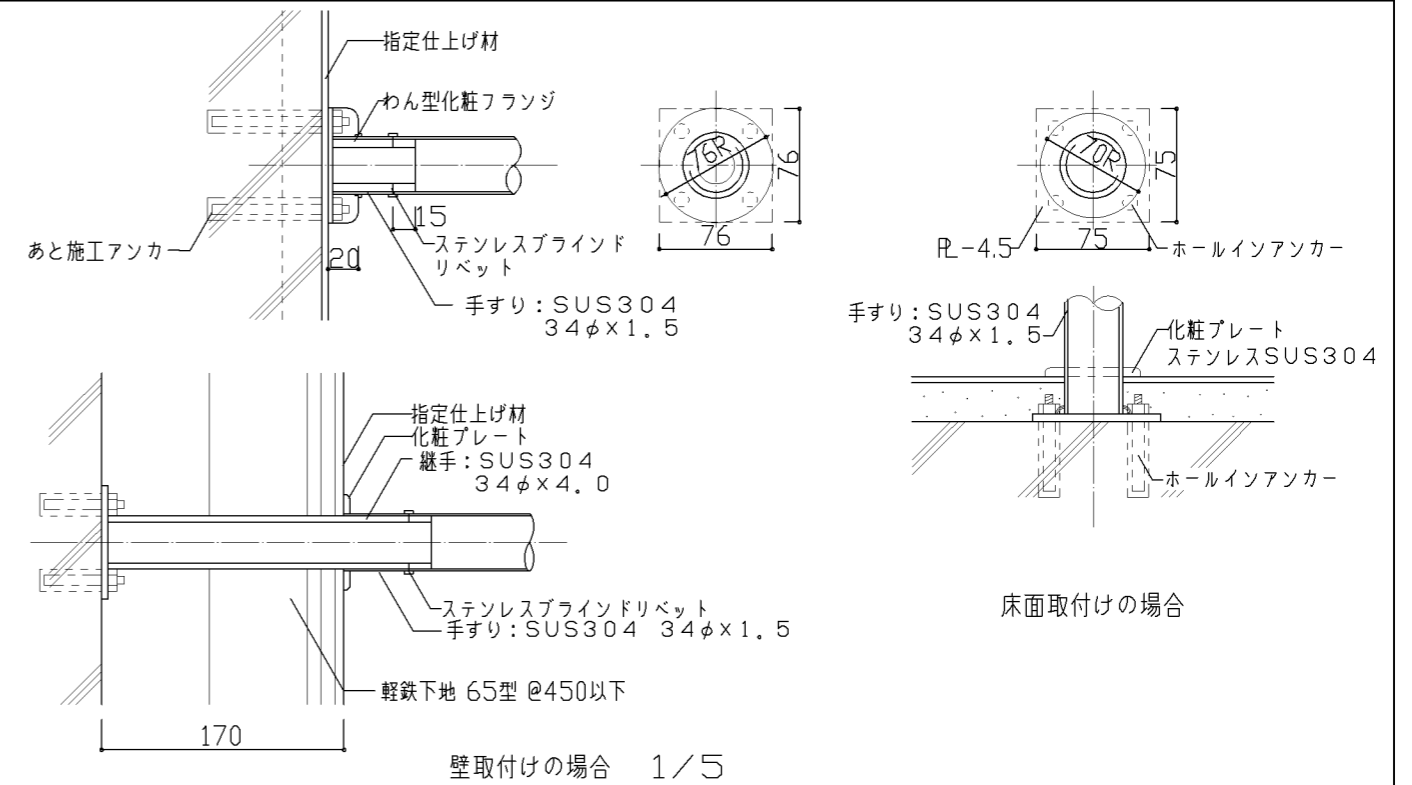
△ 洋大便器用手すり



B 小便器用手すり



取付部詳細

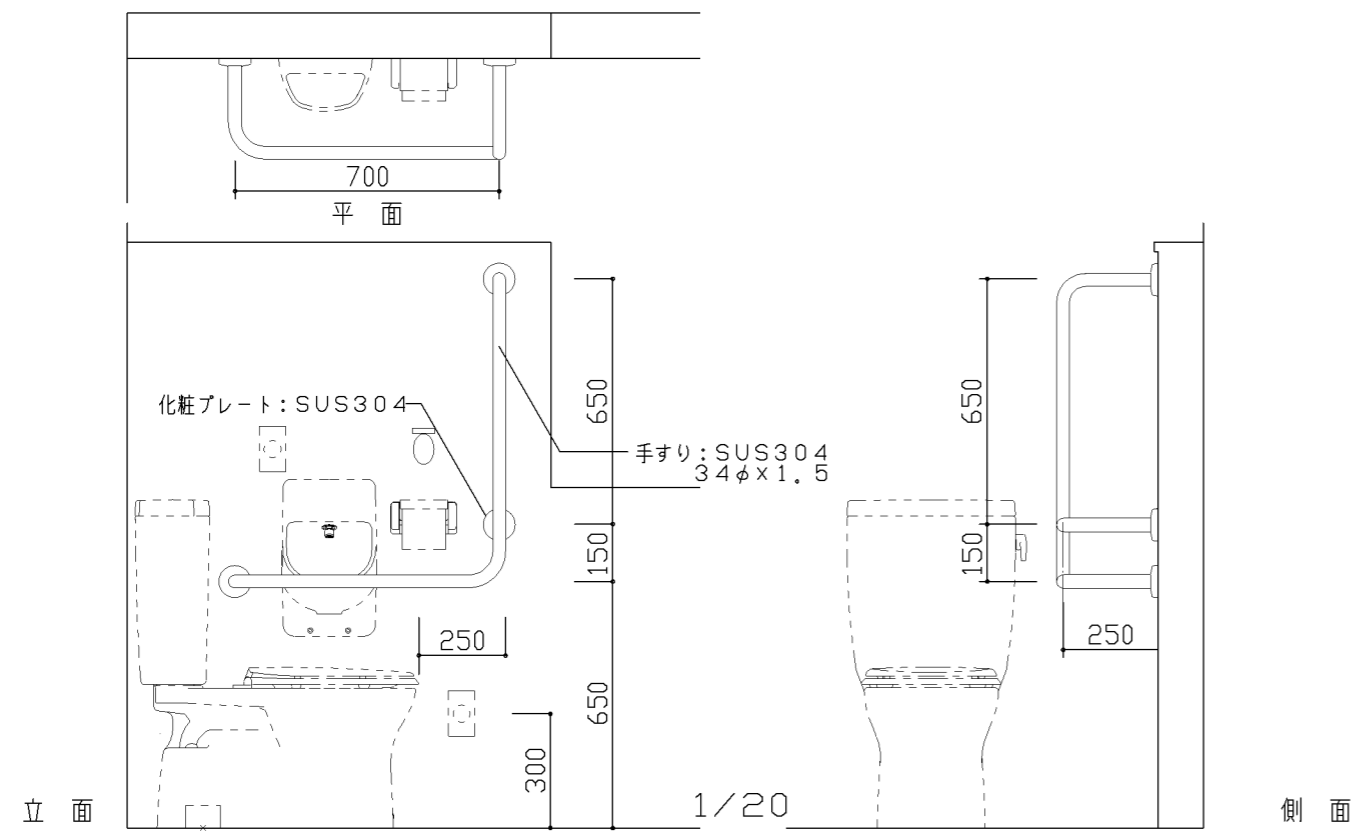


仕様	特記事項
----	------

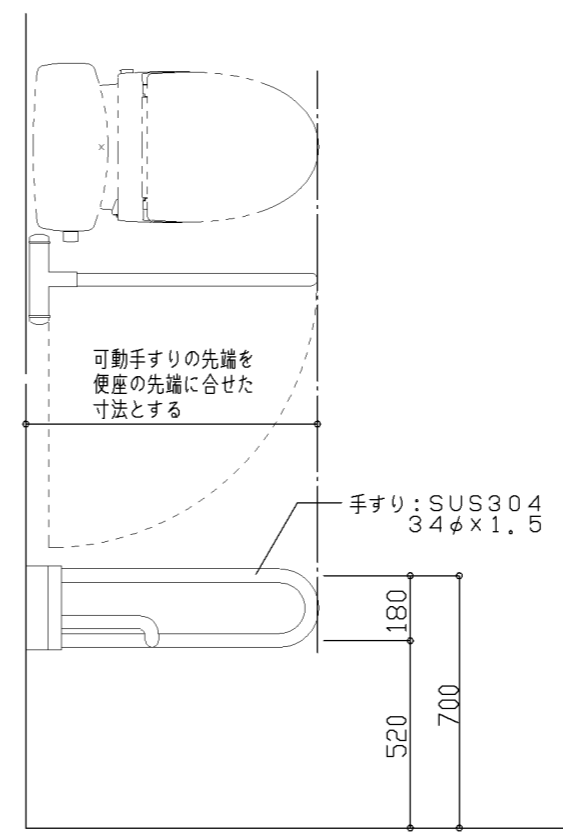
設計上の留意点	図面名称	便所手すり
	縮尺	1/5, 1/20
	横浜市建築局	

令和7年3月
I-212

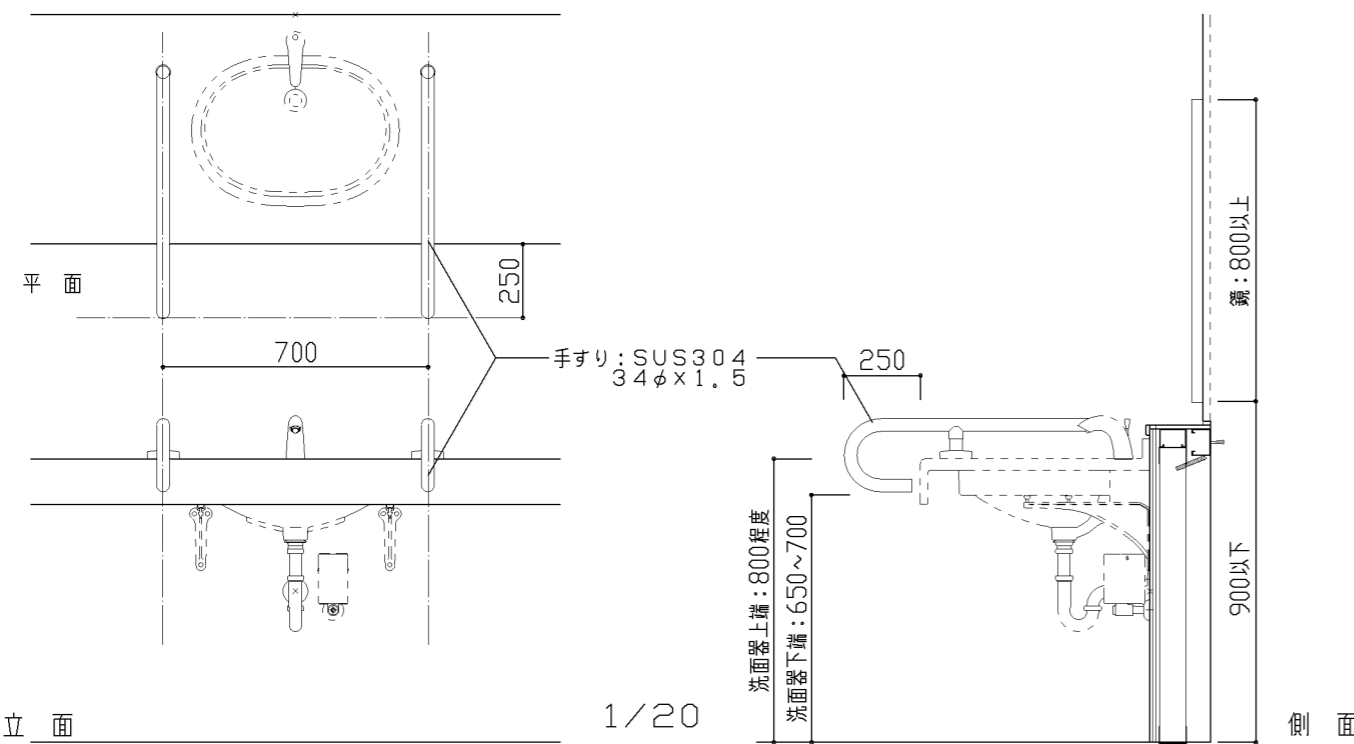
△ 便所（車いす用）手すり



B 可動手すり



○ 洗面器手すり

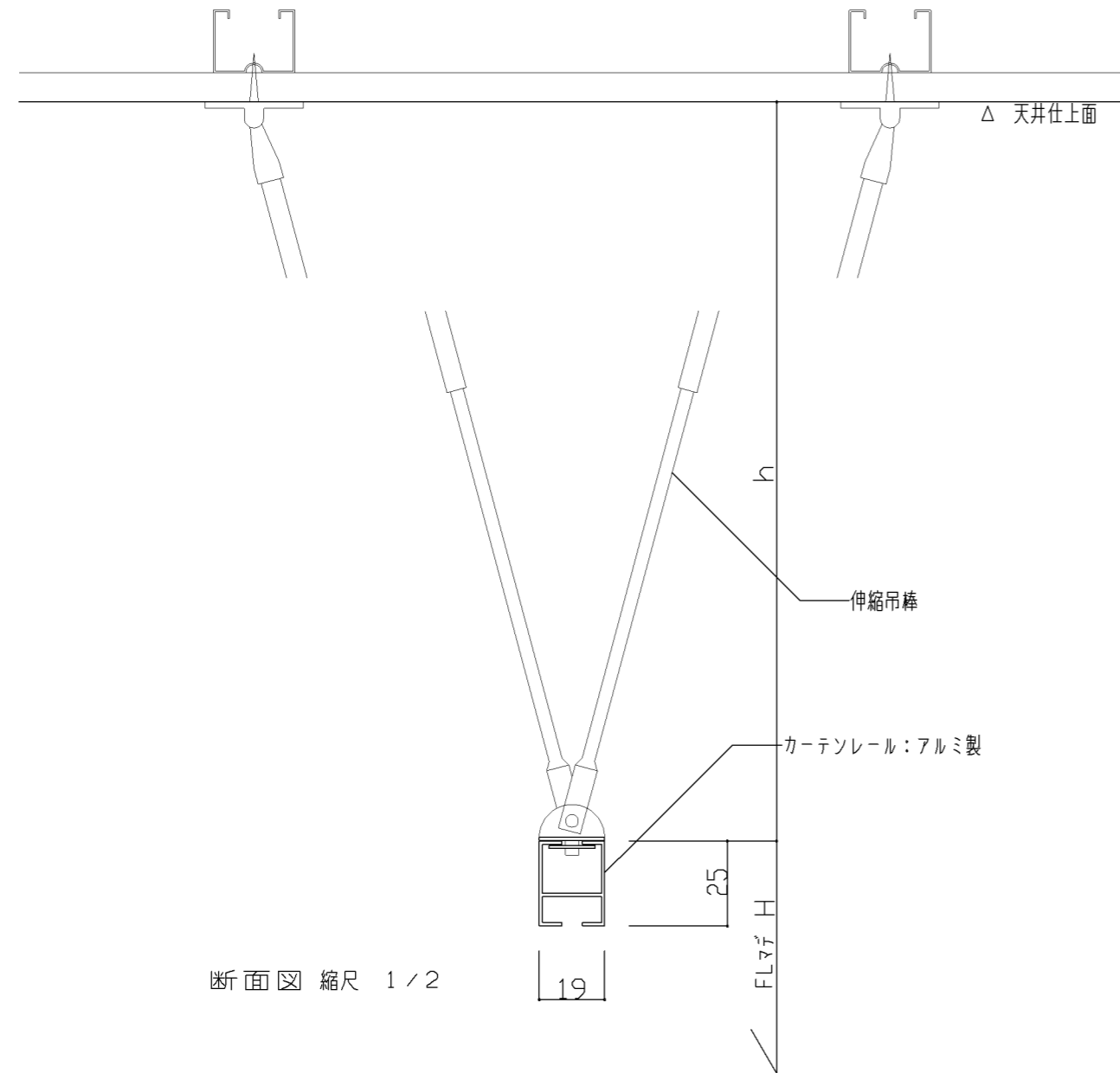


仕様	特記事項
----	------

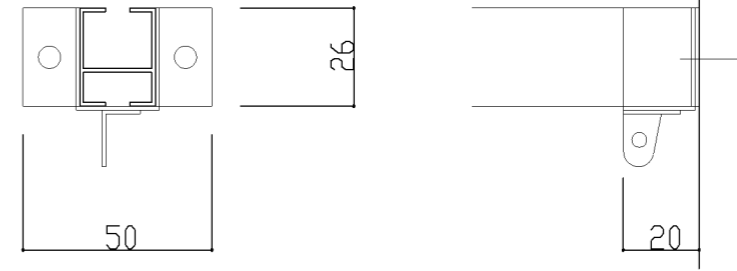
設計上の留意点

図面名称	便所（車いす用）手すり	
縮尺	1/20	令和7年3月
横浜市建築局		I - 213

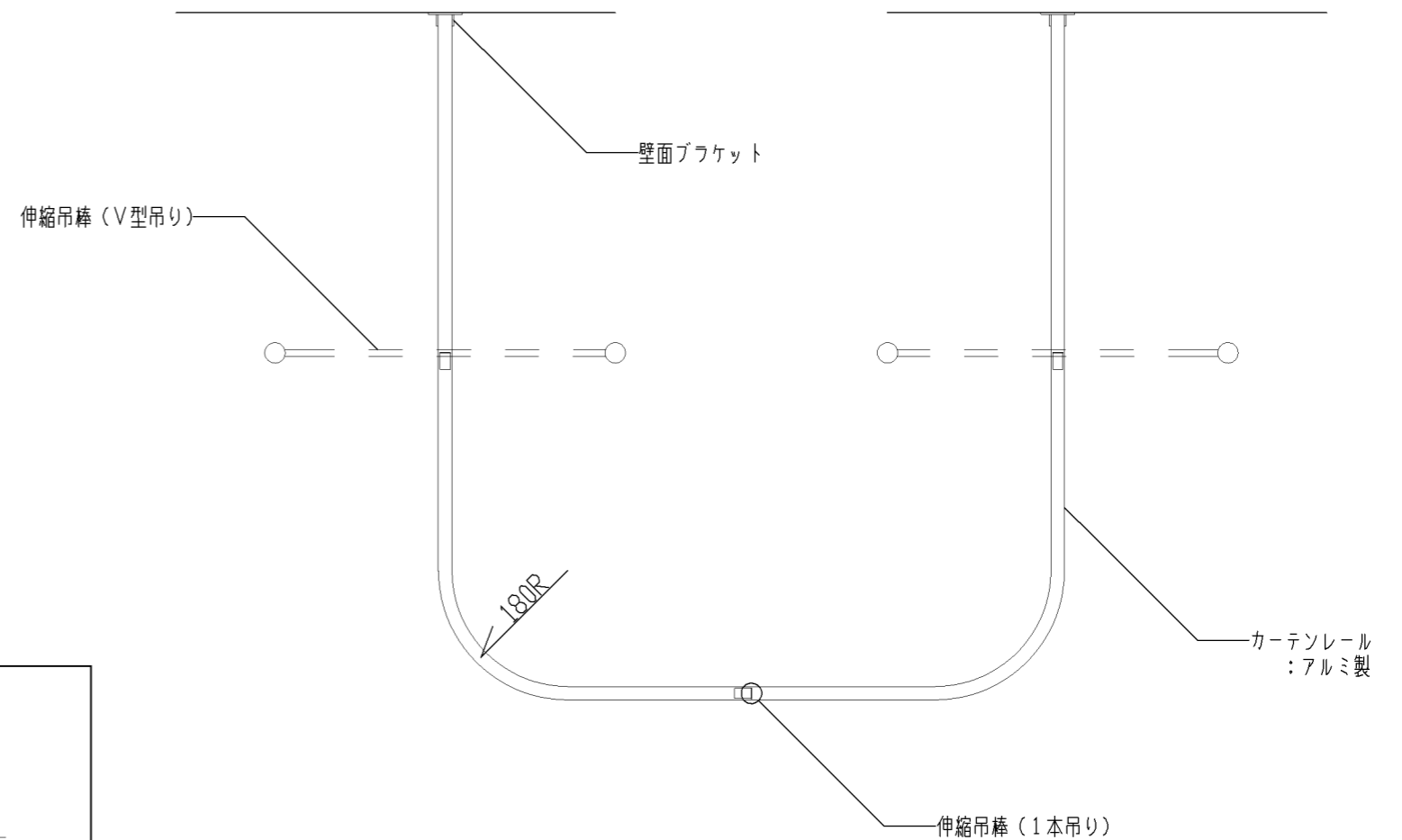
吊りカーテンレール



断面図 縮尺 1/2

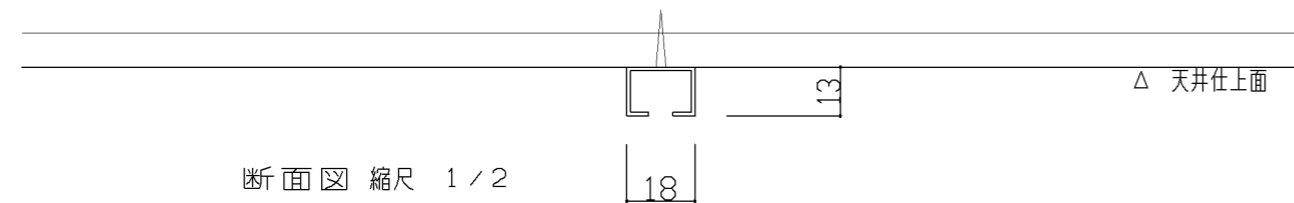


壁面ブラケット詳細図 縮尺 1/2



平面図 縮尺 1/10

直付けカーテンレール



断面図 縮尺 1/2

仕様

- 1) カーブレールの規格は、180R。
- 2) カーテン・ブラケット：アルミ押出型材アルマイト仕上（既製品）
その他附属金物一式

特記事項

- 1) 普通教室（小）・個別支援教室（小・中）・児童更衣室
：H=2, 150、h=550
- 2) 保健室：H=2, 350、h=350
- 3) 休養室（単独型）・休養室（職員更衣室併用型）・職員更衣室
：H=2, 100、h=400
- 4) 生徒更衣室：直付けタイプとする

設計上の留意点

- 1) 1本吊り：レールの長さが2m以上の場合、1.5m間隔以内に1ヶ所の割で吊棒を設置。
- 2) V型吊り：カーブレールのコーナー部。または、レールの片端を固定できない場合。
- 3) 三脚吊り：前後左右の揺れを防止する場合。

図面名称

カーテンレール

縮尺

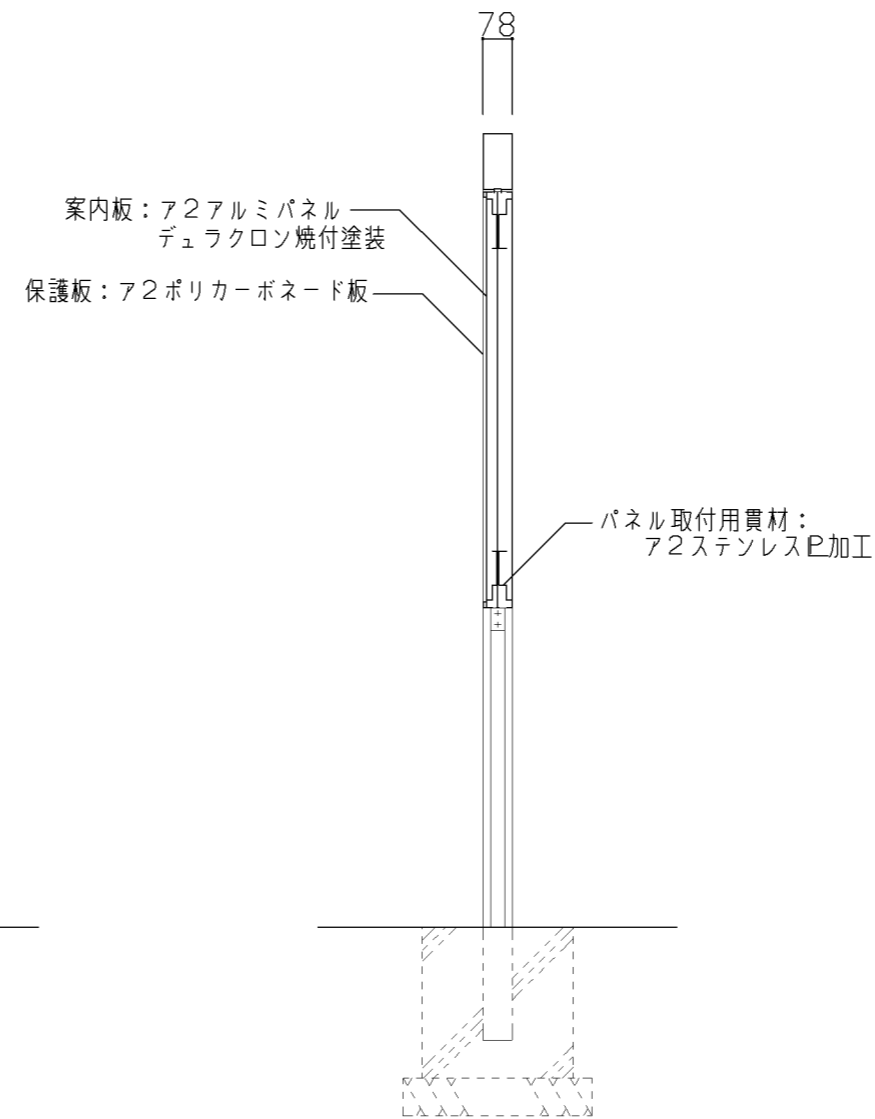
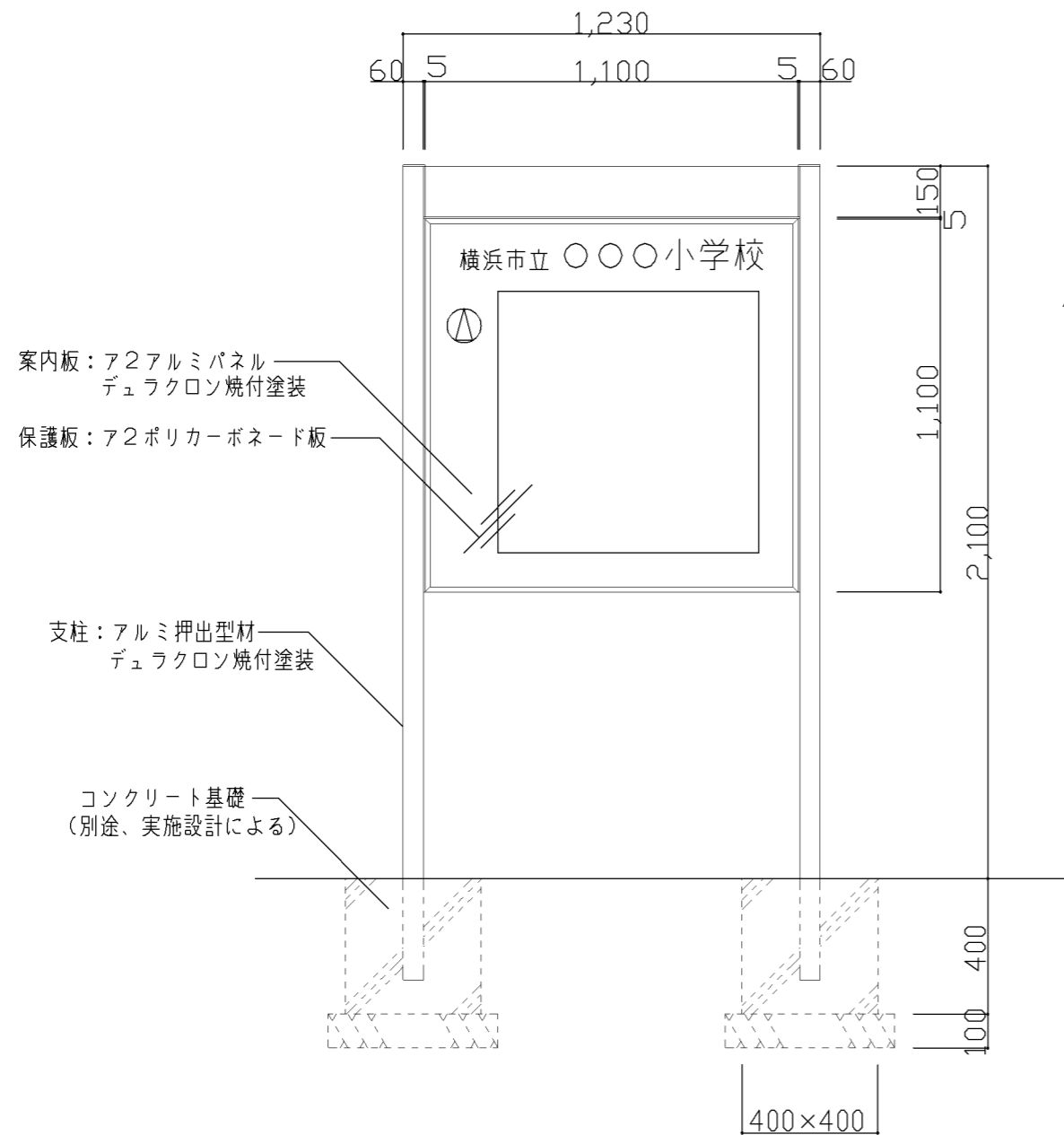
1/2, 1/10

令和7年3月

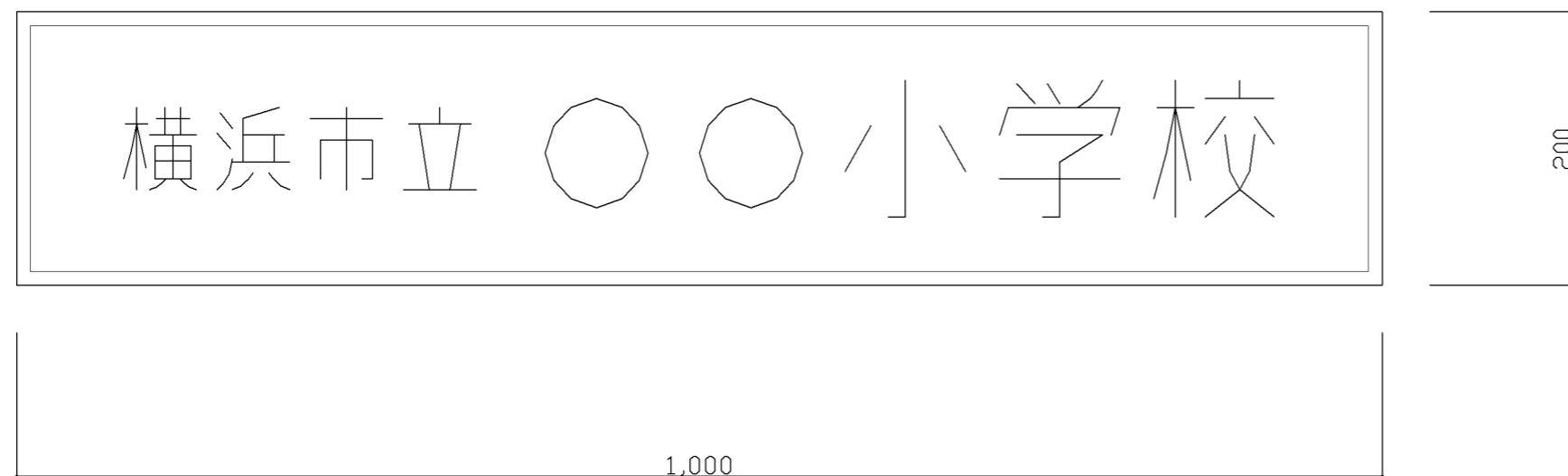
横浜市建築局

I-219

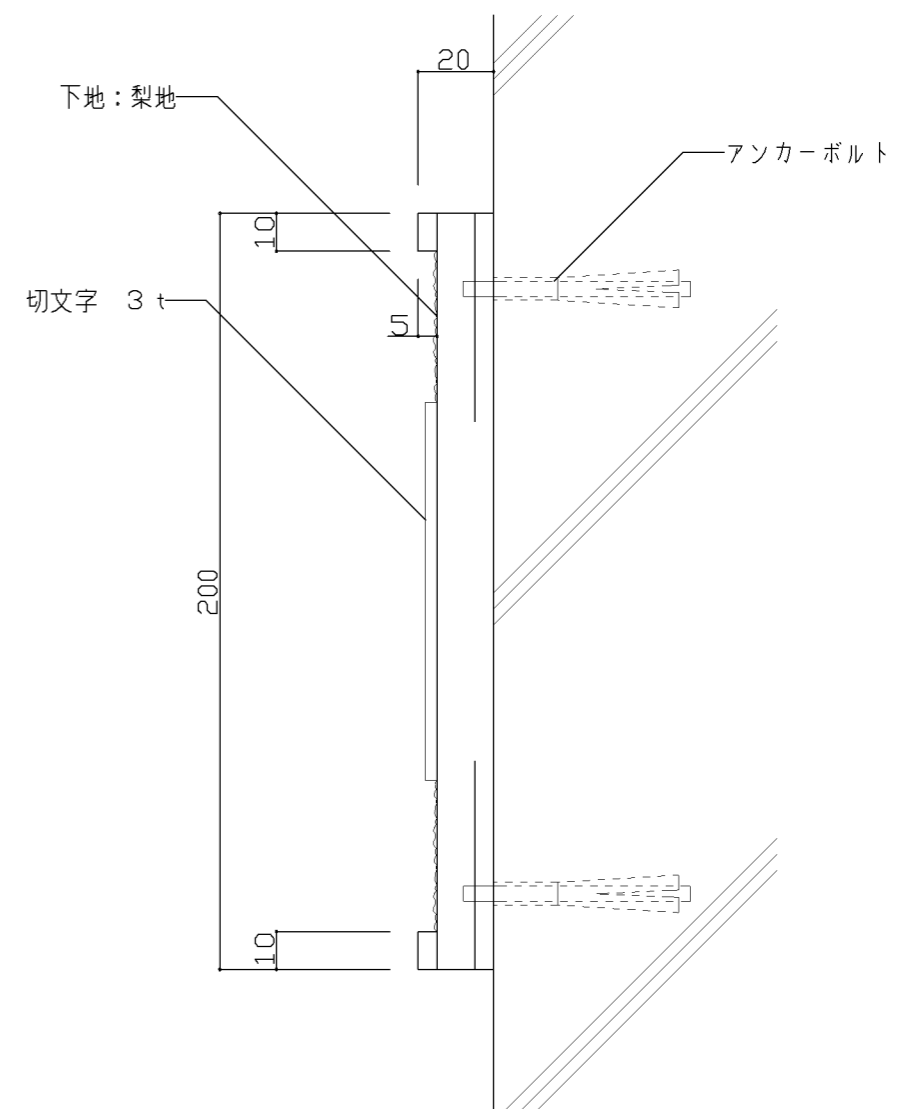
- ※ 注意事項
- ・ 設置場所：正門付近
 - ・ 表示方法：シルクスクリーン印刷（3～4色）
 - ・ 表示内容：
 - 学校名・オリエンテーション・現在地・校舎・体育館・屋上プール・給食室・グラウンド・昇降口・職員玄関・コミュニティハウス出入口・図書館出入口・屋上プール出入口・体育館出入口
 - その他、特記すべき事項（公開空地、ふれあい広場、等）
 - ・ 案内板設置位置と配置図の向きを合わせる
 - ・ コミュニティハウスの案内板は別途設置の事



仕様	特記事項	設計上の留意点 1) 案内板は照明無しを原則とするが、夜間の利用者がある為、電気工事の外灯照明位置に注意する事。	図面名称	屋外案内板	
			縮尺	1/20	令和7年3月
			横浜市建築局		I-301



姿 図 縮尺 1/5

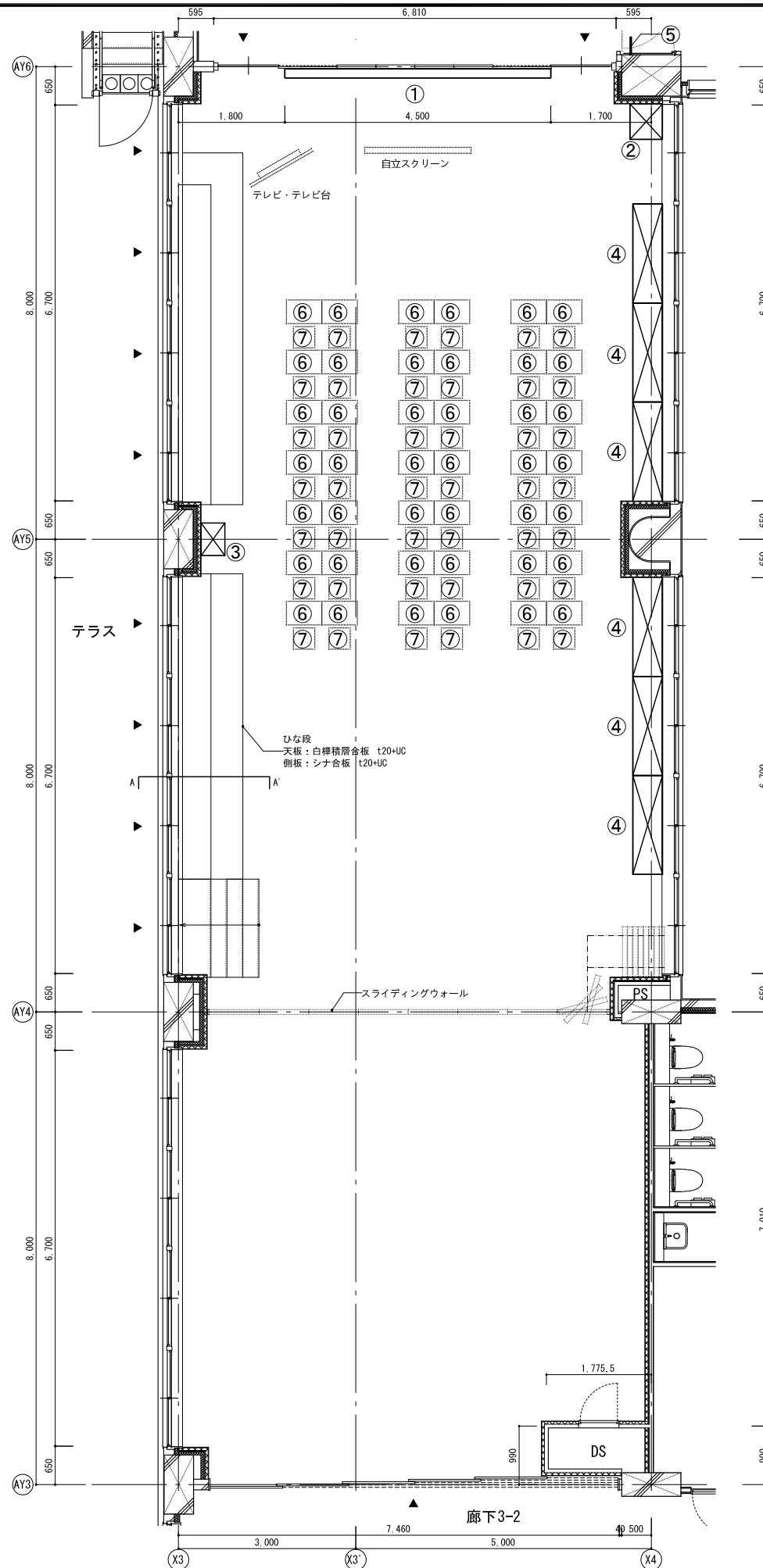


断面図 縮尺 1/2

仕 様 1) 材質（真鍮、ステンレス、銅、等）、仕上は実施設計による。	特記事項 1) 正門に1ヶ所設置 その他に出入り口がある場合は協議により決定とする 2) その他の門については、実施設計にて対応する	設計上の留意点 1) 寸法は、「横浜市立」：60角、「○○小学校」：100角とした場合の例を示す。	図面名称	校名板	
			縮 尺	1/2, 1/5	令和7年3月
			横浜市建築局		I - 305

多目的室（集会・発表等）

質問No. 223 回答図

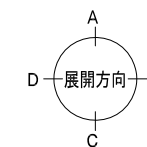
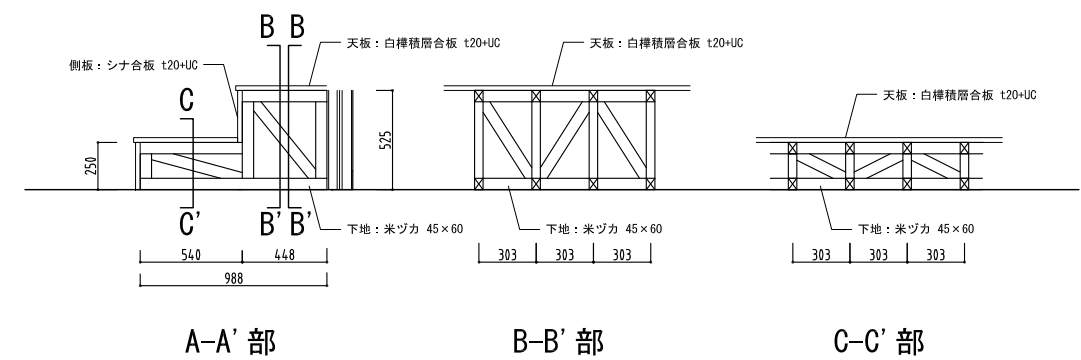


【備品リスト 多目的室（集会・発表等）】

NO.	備品	個数	W	D	H	備品番号	工事区分	
							工事	教育
①	黒板	1	4500		1200	G-610	○	
②	AV機器収納ラック	1	550	600	990	G-418	○	
③	掃除用具入	1	550	400	2600	F-404	○	
④	収納戸棚	6	1675	500	1100	F-424	○	
⑤	室名札	1	持出しタイプ			サイン図による	○	
⑥	机	42				K-301		○
⑦	椅子	42				K-301		○
⑧	チリ箱	2	図示表記なし			K-104		○
⑨	暗幕	2	図示表記なし			K-601		○

【内部仕上表 多目的室（集会・発表等）】

床	幅木	幅木H	壁	天井	梁型	備考
NC（木目調）発泡層あり	WB	100	有孔シナ合板目透かし張り t=9（吸音材入り） シナ合板目透かし張り t=9（吸音材入り）	DR12（下地 GB-R9.5）	カラークリア塗装	



<特記事項>

- ※F-〇〇〇 符号の家具は家具詳細図を参照すること。
- ※G-〇〇〇 符号の家具は、横浜市立小・中学校詳細・備品関係詳細図によるが、下記項目は下記事項に変更とする。
- ・シナ合板の見えがかり部の塗装は UCとする。また、寸法は本図面を正とする。
- ※G-N〇〇番台の共通事項は、F-N〇〇番台にも適用する。（全ページ共通）

横浜市建築局			工事名	菊名小学校建替工事（建築工事）	
年月日	R7.12	縮尺	A1 1:50, 1:100 A3 1:100, 1:200	図面名称	多目的室（集会・発表等）平面詳細図
設計	松田 平田 設計・白川 設計 株式会社	監理	松田 平田 設計・白川 設計 株式会社	図面番号	095 A457

令和8年度

建設発生土受入手続

令和8年4月1日

横浜市港湾局
横浜港埠頭株式会社

この「建設発生土受入手続」は、横浜市内の公共事業等で発生する建設発生土を中継所に搬入する場合の、搬入できる事業、受入基準、料金、申込み方法等について定めたものです。

本手続については、横浜港埠頭株式会社（以下、「埠頭会社」という。）建設発生土受入事業課（TEL：045-671-0500）にお問い合わせください。

工事発生総土量が500m³以上（ほぐし）となる場合は、申込み手続きの際、①検定試験表（原本）（土砂検定試験結果）、試料採取箇所平面・断面図（印入り原本）等及び②横浜市みどり環境局が発行する申込書類事前確認通知書の写しが必要となります。

【お問い合わせ先】

- ①：港湾局新本牧事業推進課（TEL：045-671-7390）
 - ②：みどり環境局公園緑地維持課 建設発生土等担当（TEL：045-671-3692）
- 市庁舎住所：〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10

【搬入申込窓口】

横浜港埠頭株式会社 建設発生土受入事業課
〒231-0023 横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル4階
TEL 045-671-0500
FAX 045-671-0521

<窓口受付時間>

8：45～12：00 13：00～17：00

<窓口休業日>

土曜日 日曜日 祝日 振替休日 および年末年始（12月29日～1月3日）

【建設発生土の受入れ手続のご案内】

- 1 建設発生土受入れ情報の確認方法
建設発生土受入れの最新情報は埠頭会社のホームページに掲載しています。
 - ・トップページ：<https://yokohamaport.co.jp>
画面右上の「建設発生土の受入」をクリックすると、建設発生土専用ページへ移動できます。
- 2 建設発生土に関する主な掲載内容
 - ・「建設発生土の受入」ページ：<https://yokohamaport.co.jp/business/soil>
このページでは、以下の情報をご覧いただけます。
 - 受入手続きについて
受入れに必要な手続き方法、提出書類、受付の流れなどを説明しています。
 - 受入不可の内容について
中継所に受入れできない土砂や条件などを掲載しています。
 - 初めてご利用される方へ
初めて埠頭会社をご利用いただく方のための説明資料をまとめています。
 - よくある質問（Q&A）
お問合せが多い事項を分かりやすくまとめています。
- 3 様式（書式）ダウンロードについて
各種様式と記入例のダウンロードは以下の URL をご利用ください。
 - ・様式ページ：<https://yokohamaport.co.jp/business/soil/download>

【注意】 様式は随時改訂されています。最新の様式を確認の上、ご利用ください。

目 次

	(頁)
1 建設発生土を搬入できる事業	1
2 搬入できる建設発生土の性状等	1
3 中継所の受入時間及び休業日	1
4 搬入期間と事前受付	1
表－1・2 中継所受入時間及び休業日・搬入期間	2
別図1・2 中継所位置図・案内図	3・4
5 受入料金(表－3 受入料金表)	5
6 搬入申込み手続き	5
7 申込み内容の変更等	6
8 未使用搬入整理券の払戻し	6
9 未使用券の紛失・盗難等の対応	7
10 注意事項	7
表－4 搬入申込み手続き	8
表－5 副申書・建設発生土搬入申込書(様式1)の記入の流れ	9
副申書・建設発生土搬入申込書(様式1)の記入例・注意事項	10
納入通知書(振込依頼書)見本	11
建設発生土搬入申込み手続フロー	12～14
様式	
(1) 副申書・建設発生土搬入申込書(様式1)見本	15
(2) 建設発生土搬入車両登録書(様式2)	16
(3) 建設発生土搬入整理券還付請求書(様式3)	17
(4) 搬入車証追加申込書(様式4)	18
(5) 建設発生土搬入整理券紛失・盗難等届(様式5)	19
(6) 建設発生土搬入整理券還付請求承諾書(様式6)	20
(7) 建設発生土搬入事前協議書(様式7)	21
別紙・別表	
臨海部埋立地への建設発生土受入れに係る土砂検定試験実施要領	22・23
試験項目及び受入基準とその検定方法	24

1 建設発生土を搬入できる事業

建設発生土対策協議会が認めた事業等とします。

2 搬入できる建設発生土の性状等

搬入できる建設発生土は次に示す性状等をすべて満たしたものとします。

- (1) 有害物質を含んでいないもの
- (2) 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の「廃棄物」に該当しないもの
- (3) 含水比が高くないもの
- (4) 悪臭を放たないもの
- (5) 別紙「臨海部埋立地への建設発生土受入れに係る土砂検定試験実施要領」に示す受入基準に適合したもの
- (6) 土壌汚染対策法に規定する要措置区域等（要措置区域、形質変更時要届出区域）の指定（指定予定を含む）された土地から発生する土砂ではないもの（法第 16 条第 1 項で定められた認定調査により、基準適合認定を受けた土砂を除く）
- (7) 「海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律」並びにその関連する法令、規則及び通達、その他受入地の状況から埋立用材に適合するもの
- (8) (1) ～ (4) について中継所のゲートでの確認で受入可能と判断されたもの

3 中継所の受入時間及び休業日

- (1) 中継所の受入時間及び休業日は、表－1（2 頁）のとおりです。
- (2) 夜間の受入れは、大黒ふ頭中継所のみで実施します。なお、安全確保について埠頭会社と協議してください。
- (3) 各中継所の受入時間及び受入れの可否については、天候や中継所の状況等により制限する場合がありますので、表－1 の問合せ先に電話等で確認してください。
- (4) その他、やむを得ない理由により発券や中継所への受入れを制限させていただく場合があります。
- (5) 中継所の位置図及び案内図は、別図 1（3 頁）・別図 2（4 頁）のとおりです。

4 搬入期間と事前受付

建設発生土を中継所に搬入する期間は、表－2（2 頁）のとおり、年度を上期と下期に分け、搬入整理券と搬入車証を半期毎に切り替えて発券しています。

なお、4 月 1 日又は 10 月 1 日（期初すぐ）に搬入を開始するための事前受付は概ね 1 週間前から行います。（受付開始日はそれぞれ 3 月・9 月の中旬頃に埠頭会社ホームページでお知らせします。）

表-1 中継所受入時間及び休業日

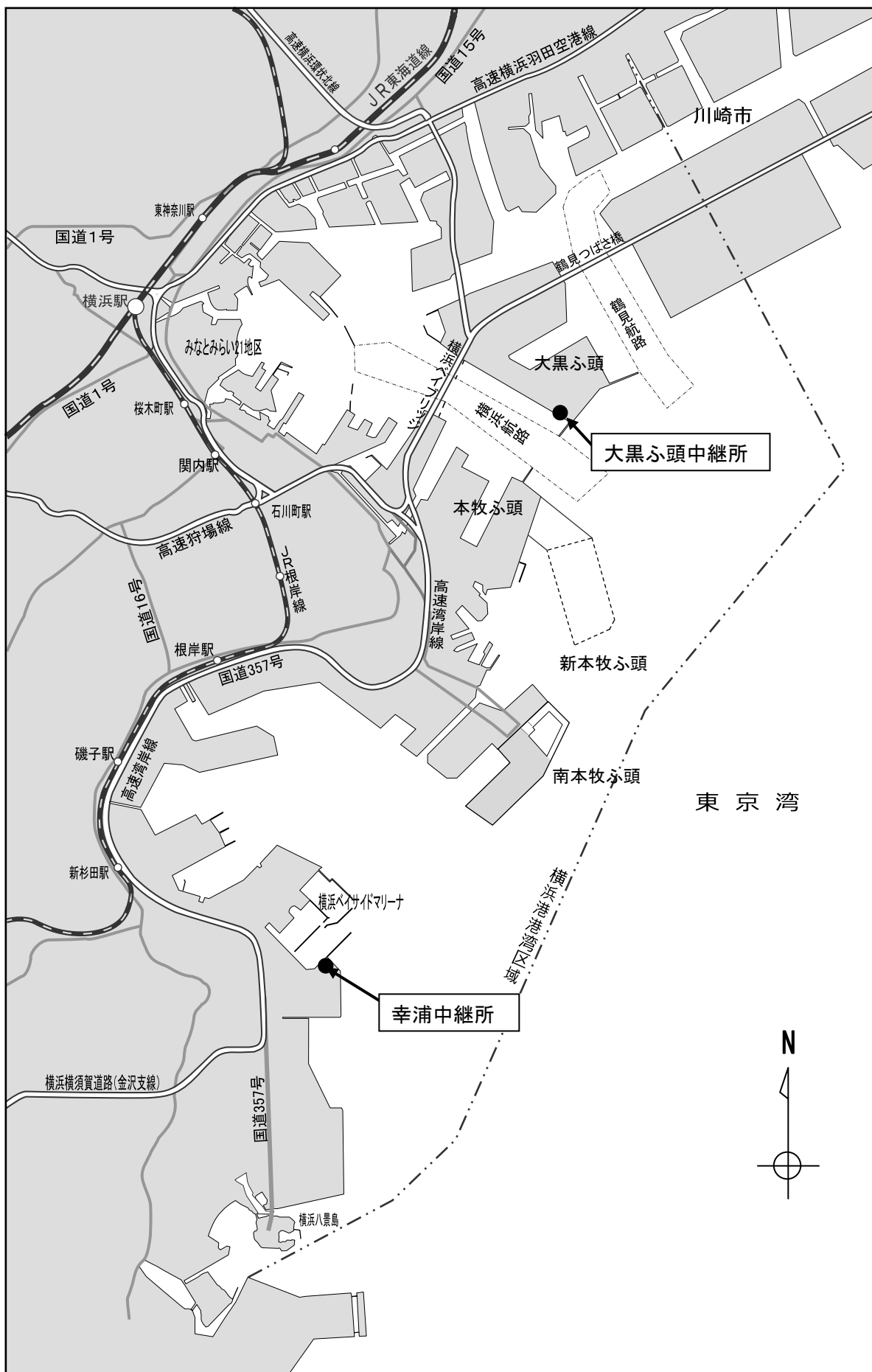
昼夜別	中継所及び受入時間	休業日
昼	大黒ふ頭及び幸浦中継所 夏時間（4月～9月） 8：00～12：00 13：00～18：00 秋春時間（10月・3月） 8：00～12：00 13：00～17：30 冬時間（11月～2月） 8：00～12：00 13：00～16：30	1 日曜日 2 毎月第2・第4土曜日 3 5月の祝日 5月3日～5日 4 夏季休暇期間 8月13日～16日 5 年末年始休暇期間 12月29日～1月3日 6 年度末 3月24日～3月31日 7 その他 (1) 悪天候等により中継所内の状態が悪い場合 (2) 中継所施設の事故及び修理等により受入れが困難となった場合 (3) 台風接近等により、事前に情報提供する場合は、埠頭会社のホームページ「新着情報」に掲載します。
夜	大黒ふ頭中継所 (通年) 19：00～24：00 1：00～6：30	
問い合わせ先		
大黒ふ頭中継所（搬入ゲート） 住 所：鶴見区大黒ふ頭20番地 電話・FAX：045-506-5986		幸浦中継所（搬入ゲート） 住 所：金沢区幸浦一丁目7番地 電話・FAX：045-771-8681

表-2 搬入期間

上期搬入期間	令和8年 4月1日～令和8年9月30日
下期搬入期間	令和8年10月1日～令和9年3月23日

(※搬入期間内でも、表-1の中継所休業日は搬入できませんので、前もってご確認ください。)

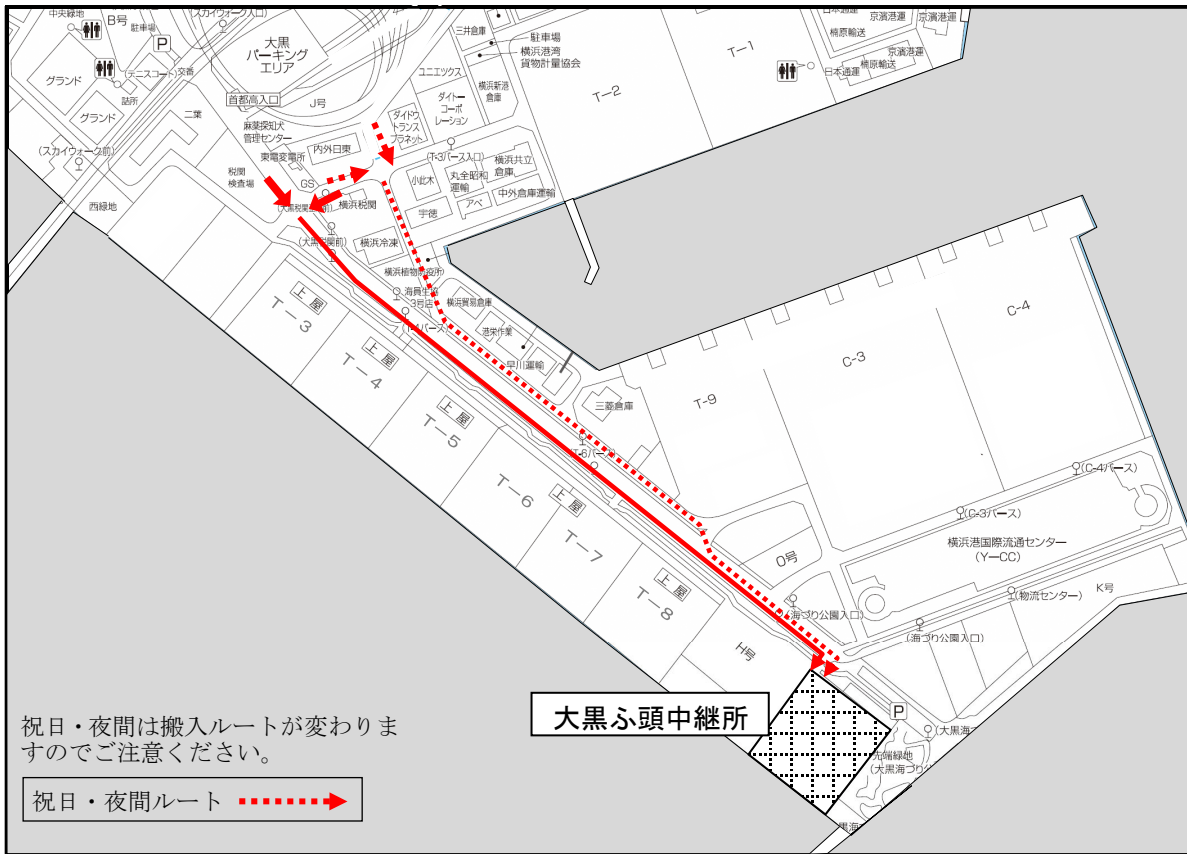
中継所位置図



中継所案内図

(別図2)

大黒ふ頭中継所



幸浦中継所



5 受入料金

受入料金は、表－3のとおりです。

表－3 受入料金表

券種	1台あたりの料金(税込み)	
	昼間	夜間
2 t 券 (1.3m ³)	7,464円 (本体価格 6,786円)	8,894円 (本体価格 8,086円)
3 t 券 (2.0m ³)	11,484円 (本体価格 10,440円)	13,684円 (本体価格 12,440円)
4 t 券 (2.7m ³)	15,503円 (本体価格 14,094円)	18,473円 (本体価格 16,794円)
8 t 券 (5.4m ³)	31,006円 (本体価格 28,188円)	36,946円 (本体価格 33,588円)
10 t 券 (6.5m ³)	37,323円 (本体価格 33,930円)	44,473円 (本体価格 40,430円)

※1 上段の金額は、本体価格と消費税相当額(10%)の合計です。

※2 各券種に示したt数の登録車両でのみ使用できます。

(例：10t券は10t車登録の車両でのみ使用可)

※3 券種()内のm³数は、ほぐし土量です。()内のm³数を上回る場合は搬入できません。

※4 8t券は4t券2枚1組に「8t」の表示を加えたものです。切り離れたものは無効となりますのでご注意ください。

6 搬入申込み手続き

建設発生土を中継所に搬入する場合は、表－4(8頁)により申込み手続きを行ってください。工事発生総土量によって手続き方法が異なります。

申込み手続きは、搬入時期に応じて年度毎に上期と下期にそれぞれ行ってください。(搬入が上期、下期にまたがる場合は、当該年度の上期と下期にそれぞれ申込みが必要となります。)

【重要】 申込書類は必ず原本を提出してください。(特に印が複写ではない事を確認してください。)

(1) 「副申書・建設発生土搬入申込書」(様式1)の記入の流れ

表－5(9頁)を参照してください。

(2) 「副申書・建設発生土搬入申込書」(様式1)の記入例・注意事項

「副申書・建設発生土搬入申込書」(様式1)は、発注者が記入する「副申書」と申込者(元請会社)が記入する「建設発生土搬入申込書」に分かれています。

記入方法等については、「副申書・建設発生土搬入申込書」(様式1)の記入例・注意事項(10頁)を参照してください。

(3) 「建設発生土搬入車両登録書」(様式2)

ア 「副申書」記載の搬入期間に使用するダンプトラックの車両番号を記入し、提出してください。(ただし、一日に搬入する土量に対し、登録台数が多い場合は、窓口で台数制限する場合があります。)

イ 荷台等を改造した車両、アームロール車、「土砂等禁止」車両は登録できません。

ウ 車両登録台数が多い場合は、車両登録地名に関係なく、車両番号(4桁)の数字の小さい順(昇順)に記入してください。

エ 車両区分は最大積載量を基準としています。(例：10t車として登録できるのは最大積載量8,000kg超10,000kg以下の車両。他の車両区分に関しても同様の考え方。)必ず最大積載量を確認してください。

(4) 料金の支払い、建設発生土搬入整理券の受渡し

ア 埠頭会社の窓口では、「副申書・建設発生土搬入申込書」の申込み手続き終了後、「納入通知書(振込依頼書)」(11頁)をお渡ししますので、銀行窓口で振込みにより受入料金をお支払いください。振込みは必ずこの「振込依頼書」を使用してください。また、振込みは元請会社(の代表者)の名義で行ってください。

イ 振込みは、現金、通帳又は銀行発行の預金小切手(預手)のみの取扱いとします。

なお、振込み料金が10万円を超える場合は、銀行窓口で取引時確認のための書類提出が求められますので事前に確認してください。(通帳持参の場合はこの限りではありません。)

確認に際し必要な書類としては、法人の登記事項証明書、印鑑登録証明書等と振込みされる方の運転免許証、委任状(代表者以外の方)等となっています。(犯罪による収益の移転防止に関する法律—最近改正平成28年10月1日施行—)

※ この項の詳細は各金融機関にお問い合わせください。

ウ 受入料金を銀行に振り込んだ後は、「振込金受取書(控)(写不可)」を埠頭会社の窓口に参加してください(受取書と納入通知書(控)の付いたL字型のもの)。埠頭会社では入金を確認して、建設発生土搬入整理券及び搬入車証をお渡しいたします。お預かりした「振込金受取書」は、その場でお返しします。

また、「副申書・建設発生土搬入申込書」の内容を電子計算機で処理した「確認書」を一緒にお渡ししますので内容を確認し、発注者、申込者の控としてお持ちください。この「確認書」には埠頭会社への問い合わせや継続申込等に必要の「整理番号」が記載されています。

なお、建設発生土搬入整理券及び確認書に出力される工事名等は、入力文字数に制限がありますので、一部省略する場合や印字されない場合があります。

7 申込み内容の変更等

(1) ダンプトラックの追加登録

ダンプトラックを追加登録する場合は、申込み時に準じ、「建設発生土搬入車両登録書」に追加するダンプトラックのみの車両番号と確認書記載の「整理番号」を記入し埠頭会社窓口へ提出してください。なお、緊急に追加登録する必要がある場合、埠頭会社に連絡し、指示に従ってください(受付営業時間8:45~12:00、13:00~17:00の間、対応可能です)(土・日・祝日等は除く)。

(2) 搬入車証の追加発行

搬入車証を追加する場合は、「搬入車証追加申込書(様式4)」に必要事項及び搬入車証の必要枚数を記入し、埠頭会社窓口へ提出してください。

(3) 搬入車証の期限の変更(半期内に限る)

搬入期限を変更する場合は、搬入車証の期限変更の手続きが必要です。

工期変更の年月日が確認できる「工事設計変更指示書」、「工事変更契約書」等の写しと「確認書」、変更前の「搬入車証」を埠頭会社窓口へ提出してください。ただし、搬入開始日の変更はできません。

8 未使用搬入整理券の払戻し

(1) 還付手続き

未使用搬入整理券が生じた場合は、「建設発生土搬入整理券還付請求書」(様式3)に必要な事項を記入のうえ、未使用搬入整理券と合わせて埠頭会社窓口へ提出してください。

(2) 還付請求期限

未使用搬入整理券の還付請求は、券に記載されている還付請求期限内に手続きを終了してください。請求期限を過ぎた場合は、還付手続きができませんのでご注意ください。

上期券(令和8年9月30日まで) → 還付請求期限:令和8年11月30日まで

下期券(令和9年3月23日まで) → 還付請求期限:令和9年4月20日まで

※還付請求期限内でも、窓口休業日(裏表紙参照)は還付手続きができません。

- (3) 適格返還請求書（返還インボイス）の発行
適格請求書等保存方式（インボイス制度）に基づき、建設発生土搬入整理券還付請求書に係る弊社からの還付金のお支払いに際し、適格返還請求書（返還インボイス）を発行します。
還付金の支払日の翌月末日までに、還付請求書に記入されたメールアドレスあてに弊社から送信します。
- ※「適格返還請求書（返還インボイス）」とは
「適格請求書発行事業者には、課税事業者に返品や値引き等の売上げに係る対価の返還等を行う場合、買手である課税事業者に対して適格返還請求書を交付する義務が課されています」（国税庁のホームページより抜粋）
還付は、上に記載されている「売上げに係る対価の返還等」にあたります。

9 未使用券の紛失・盗難等の対応

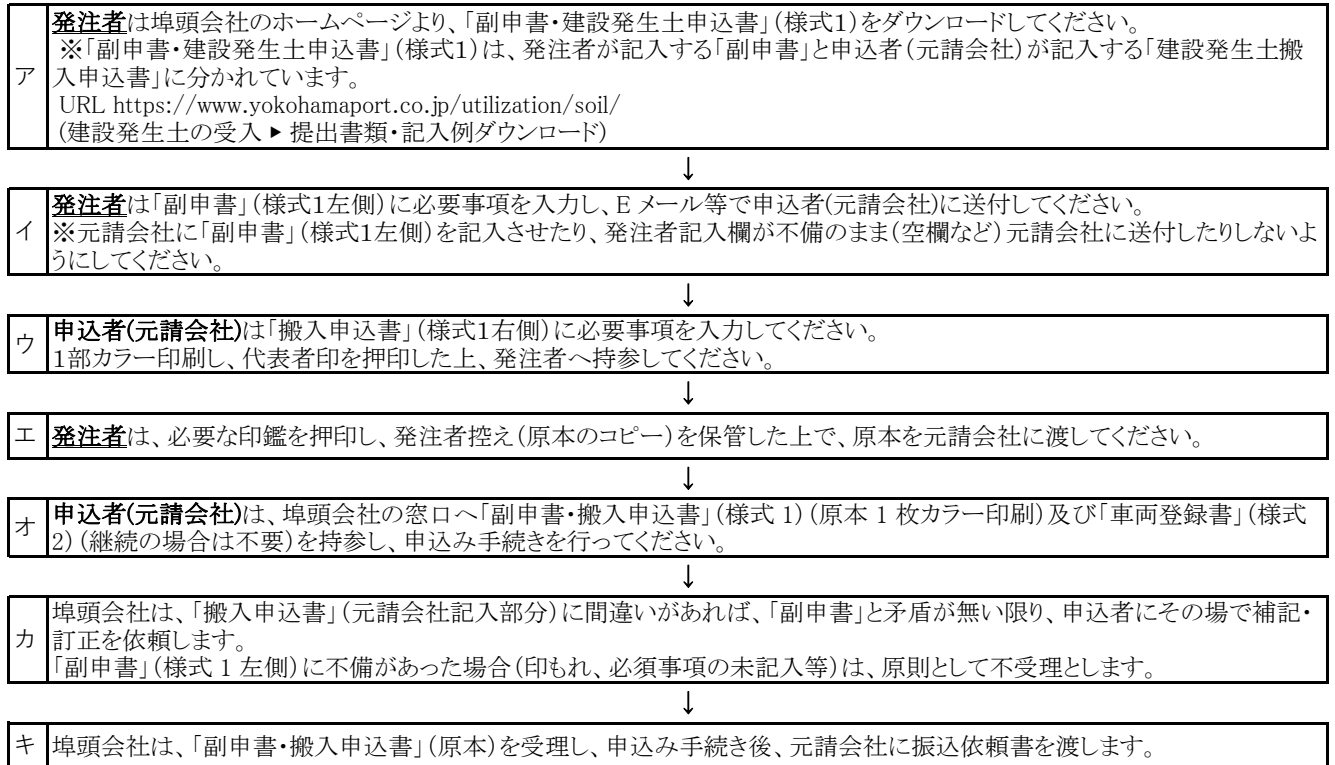
- (1) 未使用搬入整理券が紛失、盗難により使用できなくなった場合は、直ちに警察に届けた後、「建設発生土搬入整理券紛失・盗難等届」（様式5）に記入のうえ届け出てください。なお、汚損等による場合は、「様式5」に当該搬入整理券を添付し、届け出てください。
- (2) 汚損した当該搬入整理券を使用する場合は、再発行いたしますので、受付窓口でお申し出ください。
- (3) 紛失・盗難により使用できなくなった未使用搬入整理券については、埠頭会社が届出を受理した後、当該搬入整理券の使用停止処置を行い、事後の搬入が出来ないように措置します。
- (4) 紛失・盗難により、建設発生土搬入整理券を再購入する場合は、新たに搬入申込み手続きを行ってください。
- (5) 当該未使用搬入整理券を還付請求する場合は、還付請求期限内に限り、払い戻しを行います。「建設発生土搬入整理券還付請求書」（様式3）に「建設発生土搬入整理券還付請求承諾書」（様式6）を添えて、払い戻し手続きを行ってください。なお、紛失・盗難した搬入整理券が、使用停止措置以前に使われた場合は、払い戻しは行わないものとします。

10 注意事項

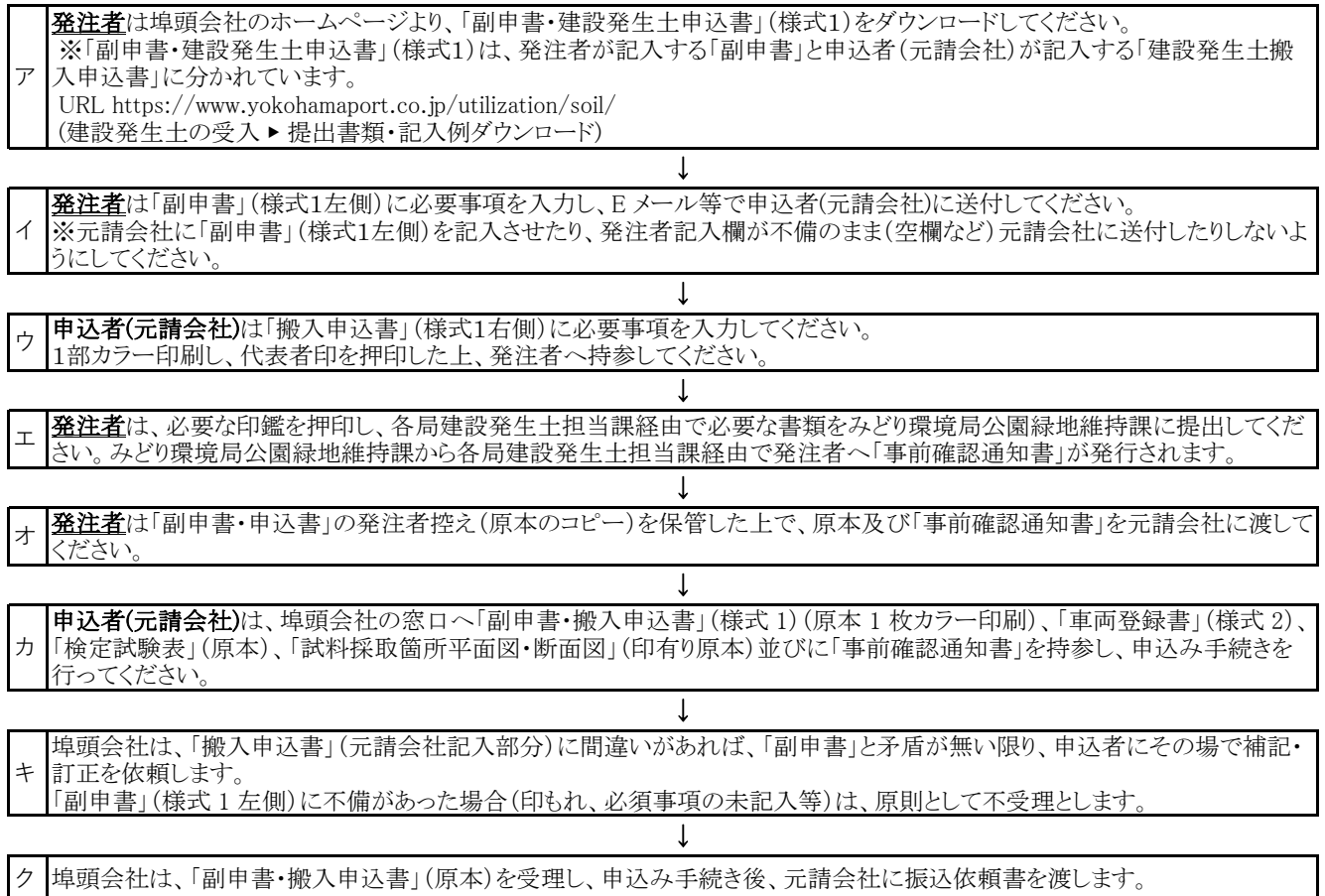
- (1) 中継所のゲートでは、搬入車証と車両番号を記入した建設発生土搬入整理券（3連綴り、切り離し無効）を係員に渡し、その指示に従ってください。
- (2) 搬入できるダンプトラックは、「建設発生土搬入車両登録書」（様式2）で登録した車両に限ります。
- (3) 搬入開始日前は、中継所に搬入できませんので、事前に「確認書」等でご確認ください。また、搬入開始日の変更はできませんのでご注意ください。
- (4) 関係法令を遵守し、使用する車両には必ずあおり等で土砂の転落、飛散を防ぐ措置を講じてください。
- (5) 九都県市ディーゼル車規制に適合した車両を使用してください。
- (6) 搬入された建設発生土に建設発生土以外のものが混入しないように注意してください。
- (7) ダンプトラック荷台枠の天端を不当に高くする「さし枠」などを設置したダンプトラックでの搬入は禁止します。また、アームロール車や「土砂等禁止」車両による搬入はできません。
- (8) 建設発生土搬入整理券は、第三者に譲渡することを禁止します。
- (9) 年度を跨って500m³以上の建設発生土を搬入する場合は、年度毎に港湾局新本牧事業推進課と事前協議が必要です（1万m³以上の場合は、埠頭会社との事前協議も必要です）。また、土量搬入の時期等について変更がある場合も同様に事前協議が必要となります。
- (10) 申込者の社名・代表者氏名等に変更があった場合は、すみやかに登記簿の履歴事項証明書の写真、又は横浜市入札資格者名簿に登録された内容の変更届を行った後の受付番号の入った写しを提出してください。

表-5 「副申書・建設発生土搬入申込書」(様式1)の記入の流れ

(1) 1工事で発生する総土量が 500m³ 未満(ほぐし)の工事



(2) 1工事で発生する総土量が 500m³ 以上 10,000m³ 未満(ほぐし)の工事、
 1工事で発生する総土量が10,000m³ 以上(ほぐし)の工事



(記入例・注意事項)

必ず登録した建設発生土担当課長印を押印してください。
※印影に相違があるものは受付できません。

(様式1) 【A4横・カラー】 2025年4月改訂
副申書 令和〇年〇月〇日 (発注者記入)

昼夜区分 昼・夜
副申書 新規・継続

半期内で初めての申込の場合は「新規」
半期内で2回目以降の申込の場合は「継続」
に〇を付けてください。

局名(横浜市役所以外の場合は「新規」
は、組織名・会社名等)・役職
名に加えて、氏名・押印も必要
です。

「大黒ふ頭」又は「幸浦」
(ブルダウリストから選択)

区以降必ず1文字以上
記入してください。
(“一円”等でも可)

発注者側の監督員氏名を記
入してください。※元請の現
場代理人ではありません。

JV(共同企業体)の場合は、
JV名を記入してください。

搬入開始日と終了日は同じ半期
内の日付を記入してください。
開始日が申込日よりさかのぼった
日付でも問題ありません。
また、「継続」の場合は、初回申込
時の開始日を記入してください。

1件の工事で発生する土砂
の総土量を記入します。

〇は受付の条件ですので必ず
記入してください。

副申書番号 〇〇-〇〇-〇〇-〇〇-〇〇-〇〇
 発注局コード 課・所コード 中継所コード 所管課管理用
 例① 〇〇局〇〇課長〇〇〇〇〇〇
 例② 〇〇局〇〇事務所長〇〇〇〇〇〇
 例③ 〇〇区〇〇土木事務所副所長〇〇〇〇
 例④ 〇〇県〇〇局〇〇課長〇〇〇〇〇〇

次の建設発生土については、「建設発生土受入手続」の基準等に適合している
ものであり、大黒ふ頭 中継所を搬入場所として指定したく副申します。

工事名称	〇〇〇〇建設工事	
施工場所	横浜市 〇〇区 〇〇-〇〇-〇〇	電話番号 999-9999
監督員氏名	△△□□	元請会社名 〇〇〇〇建設株式会社
搬入期間	令和〇年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日	当半期の副申土量 (ほぐし) [中継所・昼夜別]
工事発生総土量 (ほぐし)	10,000.0 m ³	今回副申土量 (ほぐし) 7,000.0 m ³
土質	粘性土 砂質土 礫質土 その他 (〇〇土)	今回副申土量 (ほぐし) 6,000.0 m ³
土壌汚染対策法に規定する「要措置区域等」の指定 (今後指定を含む)	あり	なし (どちらかを選択し〇をつけてください)

※訂正した場合は、訂正印(建設発生土担当課長印)を押してください。

土量は0.1m³単位で
記入してください。

大黒(昼)、大黒(夜)、幸浦毎の当半期内に搬入する
土砂の合計土量(今回副申土量を含む)を記入します。

副申書(左側)を訂正した場合は、建設発生土担当課長の訂正印(登録印)が必要です。

日付は記入しないでください。
(横浜港埠頭欄)で受付日を記入します)

受付 確認
港務局受入通知
事前確認通知
受付日(令和〇年〇月〇日)

建設発生土搬入申込書

左記の副申書工事について、次のとおり建設発生土の搬入を申し込みます。

整理番号	〇〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〒	〇〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	横浜市 〇〇区 〇〇-〇〇-〇〇	(申込者記入)
申元	〇〇〇〇建設株式会社	フリガナ	マルマルケンセツカブシキカイシャ	〇〇〇〇建設株式会社	
代表者	代表取締役社長 □□▲▲	代表者印(○印)を押印してください。 ※社印(□印)は無効です。			
電話番号	999-9999				
FAX番号	999-9999				
メールアドレス	◎				
現場代理人	◇◇□□				
氏名					
電話番号	999-9999				
建設発生土搬入整理券枚数	2 t 券 (1.3m ³) 0 枚 3 t 券 (2.0m ³) 0 枚 4 t 券 (2.7m ³) 0 枚 8 t 券 (5.4m ³) 0 枚 10 t 券 (6.5m ³) 924 枚				
登録するダンプ台数	100 台	1 日搬入予定土量	500.0 m ³		
必要搬入車証枚数	25 枚				

青線枠内を記入してください。

※1 「継続」で申し込みの場合は、前回発券時にお渡しした「確認書」に記載してある整理番号を記入し、確認書も持参してください。

※2 「継続」で申し込む場合は、「0」と記入してください。

※3 1日に稼働するダンプの実台数を目安に申し込みください。

トラックは、使用することが確実な車両に限定してください。
車検証に「土砂等禁止」と記載のある車両は登録できません。

「継続」(半期内で2回目以降)で
申し込む場合に前回の整理番号
(枝番号まで)を記入してください。

JV(共同企業体)の場合は、JV名と
代表会社、代表者名を記入してく
ださい。

代表者印(○印)を押印して
ください。
※社印(□印)は無効です。

申込土量を搬入整理券(残土券)
の土量で割った枚数を購入してく
ださい。
※端数は切り上げてください。

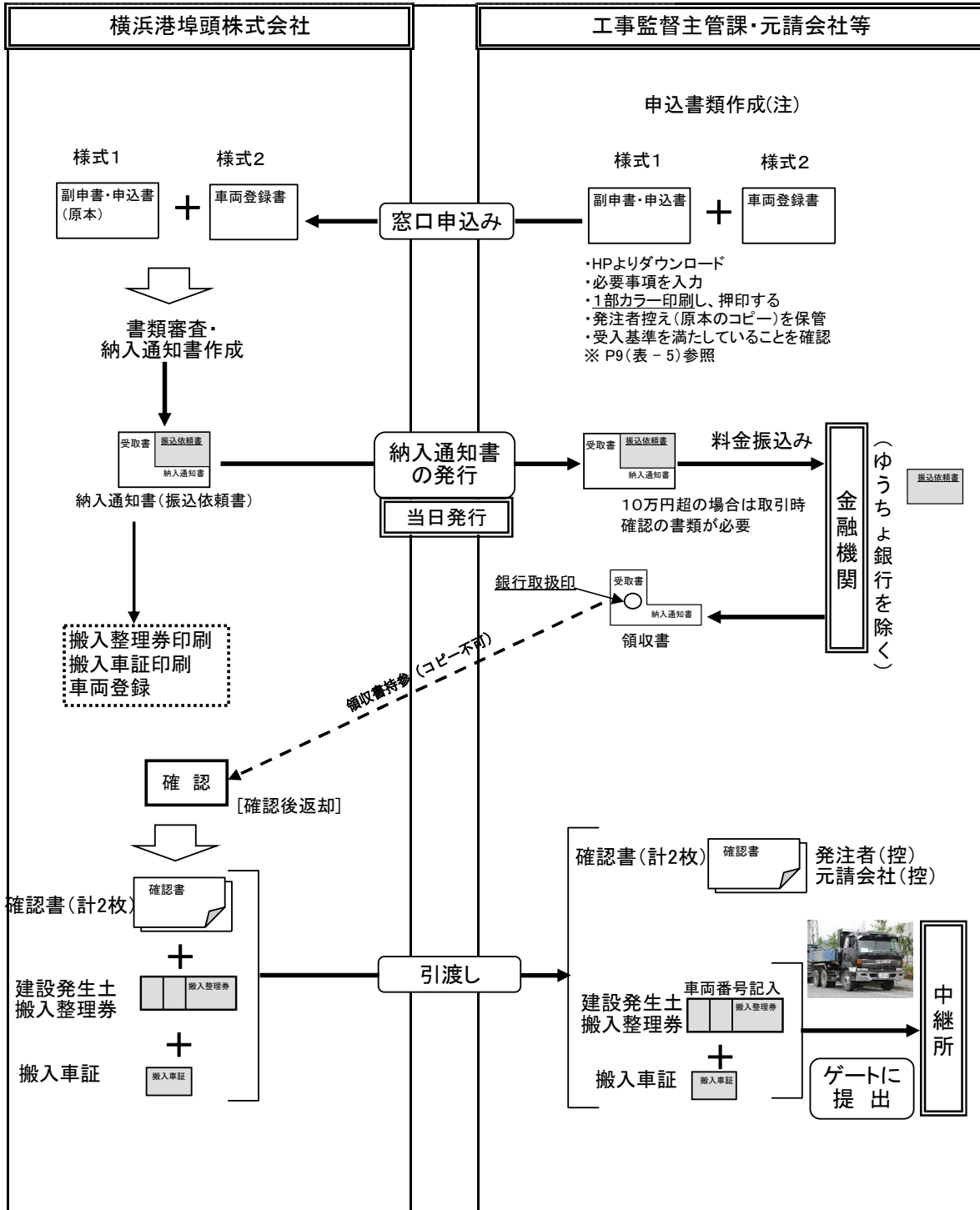
例) 申込土量6,000.0m³を10t車
(積載土量6.5m³)で搬入する場合
6,000.0m³÷6.5m³=923.0769...
⇒924枚を購入してください。
※端数分を2t券等で購入するこ
とも可能です。
(別途車両登録が必要です)

搬入車証(ステッカー)は、登録し
たダンプであればトナ数を問わず
どのダンプでも、また何度でも使
用できます。
枚数は、1日に稼働するダンプの
実台数を目安にしてください。

建設発生土搬入申込書(右側)を訂正した場合は、訂正印は不要です。

建設発生土搬入申込み手続フロー

1. [工事発生総土量が500m3未満(ほぐし)の場合]

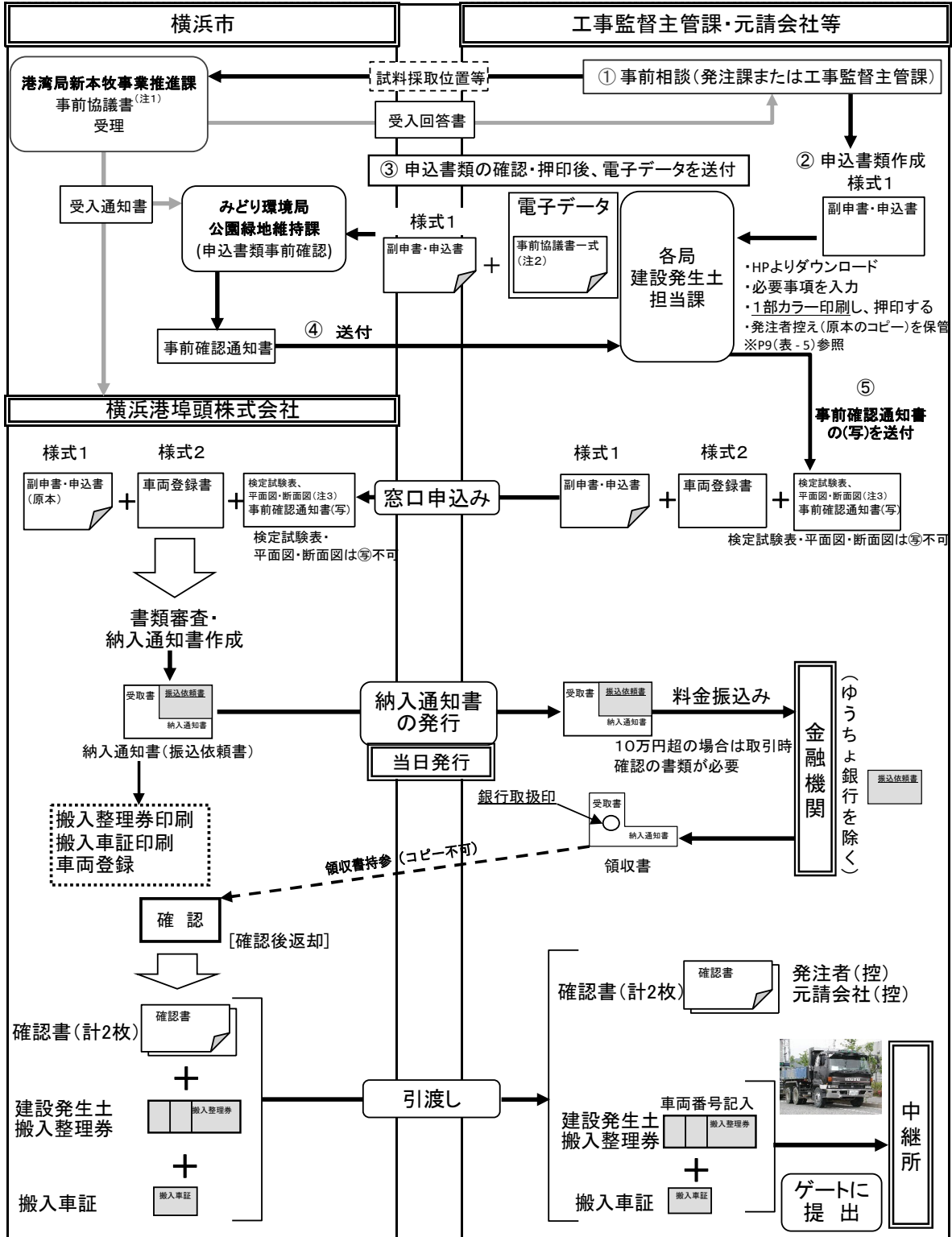


注1) 河川、工場用地、工場跡地及び研究施設等からの建設発生土については、窓口申込時に検定試験表(土砂検定試験結果)原本の提出が必要となりますので、港湾局新本牧事業推進課に事前相談してください。

なお、埠頭会社には、申込箇所の検定試験表と併せて、試料採取箇所平面図・断面図(印入り原本)が必要となります。

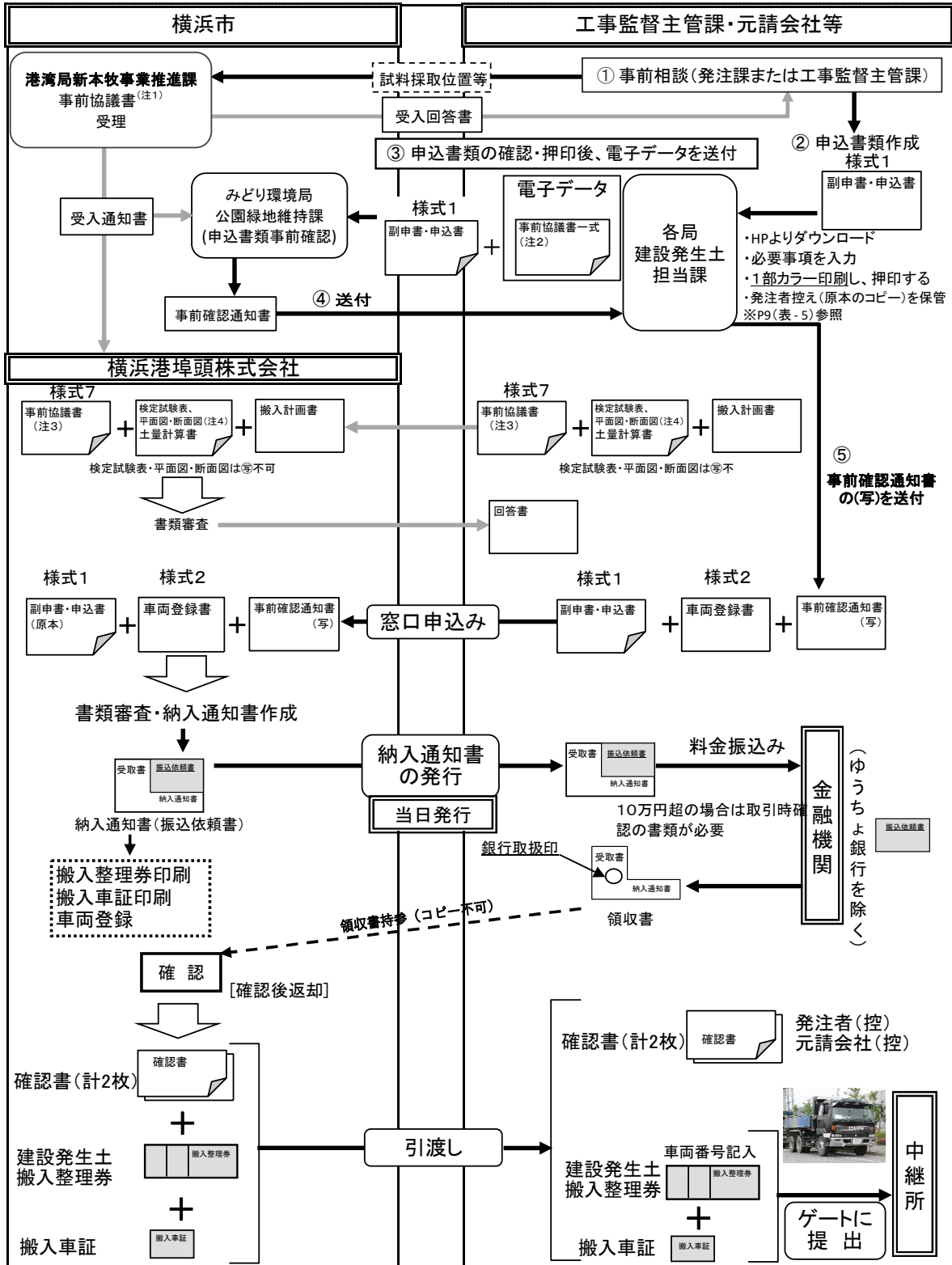
注2) 受入可能な工事発生総土量は500m3未満です。500m3に近い計画土量で500m3以上になる可能性がある場合には、500m3以上のフローを参考に港湾局新本牧事業推進課に事前相談してください。

2.[工事発生総土量が500m3以上10,000m3未満(ほぐし)の場合]



- 注1) 港湾局へ提出する事前協議書の様式については、事前相談を受けた際に提示します。
- 注2) 港湾局へ提出した事前協議書一式と同じものを提出してください。港湾局と変更協議を行った場合は、最新の事前協議書一式を提出してください。また、変更協議を行わず、月別搬出計画を変更した場合は、当初の事前協議書一式と変更内容が確認できる「変更月別搬出計画表」を提出してください。
- 注3) 初回および追加で検定が行われた場合は、窓口申込み時に申込み箇所の「検定試験表(土砂検定試験結果)の原本」、「試料採取箇所平面図・断面図(印入り原本)」の提出が必要です。
- 注4) 年度を跨って建設発生土を搬入する場合は次年度以降、港湾局新本牧事業推進課への事前協議(継続)が必要です。また、土量や搬入時期等について変更がある場合も港湾局新本牧事業推進課への事前協議(変更)が必要となります。ただし、半期内の搬入期限の変更のみの場合は事前協議(変更)は不要となりますが、p6.7(3)搬入車証の期限の変更の手続きを行ってください。

3.[工事発生総土量が10,000m3以上(ほぐし)の場合]



- 注1) 港湾局へ提出する事前協議書の様式については、事前相談を受けた際に提示します。
- 注2) 港湾局へ提出した事前協議書一式と同じものを提出してください。港湾局と変更協議を行った場合は、最新の事前協議書一式を提出してください。
また、変更協議を行わず、月別搬出計画を変更した場合は、当初の事前協議書一式と変更内容が確認できる「変更月別搬出計画表」を提出してください。
- 注3) 1万m³以上は、申し込み前に埠頭会社との事前協議も必要です。
- 注4) 初回および追加で検定が行われた場合は、窓口申込み時に申込み箇所の「検定試験表(土砂検定試験結果)の原本」、「試料採取箇所平面図・断面図(印入り原本)」の提出が必要です。
- 注5) 年度を跨って建設発生土を搬入する場合は次年度以降、港湾局新本牧事業推進課及び埠頭会社への事前協議(継続)が必要です。また、土量や搬入時期等について変更がある場合も港湾局新本牧事業推進課及び埠頭会社への事前協議(変更)が必要となります。ただし、半期限内の搬入期限の変更のみの場合は事前協議(変更)は不要となりますが、p6.7(3)搬入車証の期限の変更の手続きを行ってください。

(様式2)

建設発生土搬入車両登録書 (/)

令和 年 月 日

新規・追加

整理番号

横浜港埠頭株式会社 様

申込業者名
(元請会社)

代表者職名・氏名

電話 ()

印

中継所	中継所 昼・夜	
工事名		
(発注者) 工事主管局 課(所)名		
搬入期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日	
登録するダンプトラック台数	台	1日搬入予定土量 m ³
No.	車 両 番 号	車 種 (ト)
1		7
2		8
3		9
4		10
5		11
6		12
		(記入例) 10 横 浜 1 0 0 に 1 2 3 4

(申込者用)

No.	車種 (ト)	車 両 番 号	No.	車種 (ト)	車 両 番 号
13			32		
14			33		
15			34		
16			35		
17			36		
18			37		
19			38		
20			39		
21			40		
22			41		
23			42		
24			43		
25			44		
26			45		
27			46		
28			47		
29			48		
30			49		
31			50		

- ※1 登録するダンプトラックは、使用することが確実な車両に限定してください。
- ※2 台数が多い場合は、車両番号を数字(4桁)の小さい順(昇順)に記入してください。
- ※3 追加登録の場合は、確認書、搬入車証等に記載の整理番号を記入してください。
- ※4 アームローラー車や「土砂等禁止」車両は登録はできません。

令和 年 月 日

横浜港埠頭株式会社 様

住 所

会社名

代表者(職名・氏名)

印

搬入車証追加申込書

次の工事の建設発生土搬入に係る搬入車証の追加を申し込みます。

工 事 名											
発 注 者											
中 継 所	(大黒ふ頭 ・ 幸浦) 中継所										
整 理 番 号	<table border="1"><tr><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>—</td><td>□</td><td>□</td></tr></table>	□	□	□	□	□	□	□	—	□	□
□	□	□	□	□	□	□	—	□	□		
搬入車証枚数	枚										

埠頭会社受付欄

(様式5)

発注局承認欄

工事監督
主管課・所長印

--

令和 年 月 日

横浜港埠頭株式会社 様

住 所

会社名

代表者(職名・氏名)

印

建設発生土搬入整理券紛失・盗難等届

次の建設発生土搬入整理券について、紛失・盗難等がありましたのでお届けします。

1 工 事 名

2 施工場所

3 発 注 者

4 中 継 所

5 整理番号

							-		
--	--	--	--	--	--	--	---	--	--

6 搬入整理券番号 (t:枚数)

7 紛失・盗難等年月日

8 紛失・盗難等理由

9 警察署受付番号 No. _____ [_____ 警察署 年 月 日遺失届出]

埠頭会社記入欄 -----

1 受理年月日 令和 年 月 日

2 停止処理 未 ・ 済 (令和 年 月 日予定)

令和 年 月 日

横浜港埠頭株式会社 様

(発注者)

住 所

局・機関名

工事監督主管課・所長

印

建設発生土搬入整理券還付請求承諾書

次の建設発生土搬入整理券について、紛失・盗難又は汚損等の理由により、元請会社が貴社あて「建設発生土搬入整理券還付請求書（様式3）」を提出することについて承諾いたします。

1 工 事 名

2 元請会社名

3 整 理 番 号

							-		
--	--	--	--	--	--	--	---	--	--

4 搬入整理券番号（t：枚数）

5 還 付 理 由 (1) 紛失・盗難

 (2) 汚損等

6 添 付 資 料

「建設発生土搬入整理券紛失・盗難等届（様式5）」（写）

横浜港埠頭株式会社 様

(発注者)

局・機関名

代表者(職名・氏名)

建設発生土搬入事前協議書

次の工事の建設発生土について、 中継所に搬入したく協議します。

1 工 事 件 名

2 施 工 場 所

3 発 注 者

4 施 工 業 者

5 搬 入 土 量 約 m3 (ほぐし・今年度分) (総搬入土量 約 m3)

6 搬 入 期 間 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日
(総搬入期間 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日)

7 土 質

8 添 付 資 料 工事概要、工事図面(平面図・断面図)、土量計算書、
月別搬出計画表、検定試験実施位置図(試料採取箇所平面図・
搬出範囲図)原本(印あり)、検定結果一覧表、検定試験表(原本)、
採取現場写真、ボーリング柱状図、協議対象土砂の性状、
施工上の留意事項、中継所までの運搬経路、安全管理計画

9 発注者連絡先

所 属

氏 名

電 話 番 号

メ ー ル

臨海部埋立地への建設発生土受入れに係る土砂検定試験実施要領

昭和 53 年 3 月 27 日制定実施

最近改正 令和 5 年 4 月 1 日

臨海部埋立地へ建設発生土を受入れるにあたり、次のとおり土砂検定試験実施要領を定めるものとする。

1 検定試験表提出基準

(1) 1 工事で発生する総土量が 500 m³以上（ほぐし）の工事については、次の基準により「検定試験表」、「試料採取位置を記入した平面図・断面図」及び「試料採取の状況が確認できる写真」を提出すること。

ア 試料採取及び検定試験は、建設発生土搬入申込み、または事前協議前 3 か月以内に第三者機関が行うこと。

イ 「検定試験表」には、「試料採取位置を記入した平面図・断面図」に記入された場所で採取された試料であることがわかるよう採取場所や工事件名等を明記すること。

ウ 「試料採取位置を記入した平面図・断面図」には、各ページにアの試料採取者名、検定試験者名（環境計量士）、調査機関名及び採取年月日を明記し、それぞれ押印すること。

エ 「試料採取位置を記入した平面図・断面図」には、搬出しようとする土砂の範囲を明示し、面積表、又は面積算定できる寸法を記入すること。

(2) 1 工事で発生する土砂が 500 m³未満（ほぐし）でも河川、工場用地、工場跡地及び研究施設等から発生する建設発生土については、(1) ア～エの基準により「検定試験表」等を提出すること。

2 提出方法

1 工事について、建設発生土搬入申込時、又は事前協議書提出時に「検定試験表」、「試料採取位置を記入した平面図」、及び「試料採取の状況が確認できる写真」を提出すること（詳細は建設発生土受入手続参照）。

3 試験項目及び受入基準

土砂検定に係る試験項目、受入基準及び検定方法は、別表の通りとし、化学性状に係る試料採取方法等については、次に示すとおりとする。

(1) 試験項目 1 から 37 について

ア 採取箇所は、面積 2,500 m²ごとに 1 箇所を原則とする。それを超える場合は、面積 2,500 m²ごとに 1 箇所ずつ追加して採取すること。面積が 2,500 m²に満たない場合は、1 箇所採取すること。

イ 原則として地表面（土層最上面）より 50cm 前後の位置及び深度方向 5m 毎に採取すること。

ウ トンネル工事等の場合は、断面内又はその付近から採取すること。

エ 計量を行う事業者は、計量法第 107 条に定める計量証明の事業の登録を受けていること。

(2) 試験項目 38 及び 39 について

- ア 採取箇所は原則として100mメッシュ毎に1箇所とし、100mメッシュに満たない場合でも1箇所採取すること。
- イ 原則として地表面（土層最上面）より15cm以内の位置から採取すること。
- ウ 試料の採取は、R4.3環境省水・大気環境局土壌環境課「ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル」によること。ただし、河川しゅんせつにより発生する土砂については、R4.3環境省水・大気環境局土壌環境課「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル」によること。
- エ 計量を行う事業者は、計量法施行規則第49条の2第2号に掲げる区分に係る事業について、同法第121条の2の規定による特定計量証明事業の認定を受けていること。

(3) 試験項目 1 から 39 に共通な事項

工事発生総土量が500m³以上の場合、事前に横浜市港湾局新本牧事業推進課に相談し、試料採取箇所を決定すること。

(4) 試験項目 29 について

銅の検液の作成方法については、環境庁告示第14号（昭和48年2月17日）「海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律施行令第5条第1項に規定する埋立場所等に排出しようとする廃棄物に含まれる金属等の検定方法」によること。

(5) 試験項目 37 について

油分の検定方法については、環廃産発第070814001号 環地保発第070814001号（平成19年8月14日）「海洋投入処分できる産業廃棄物に含まれる油分の検定方法の当面の扱いについて」で通知されている代替手法によることができる。

(6) 試験項目 1 から 5 及び 25 から 27 について

基準値超過が自然的原因等と考えられる場合は、別途、横浜市港湾局新本牧事業推進課と協議すること。

(7) 土砂検定後の管理について

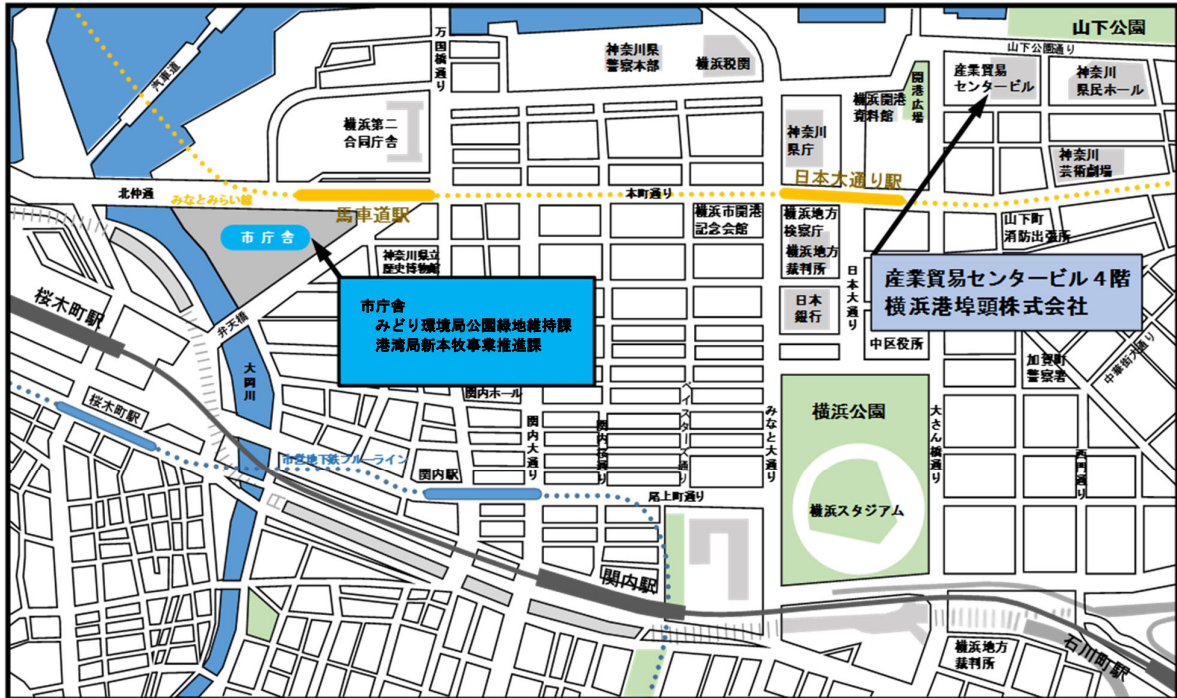
土砂検定後に不適切な管理が行われた土砂については事前協議後であっても受入できなくなることがあります。（他土砂の混入のおそれがある場所での仮置き等。）

試験項目及び受入基準とその検定方法

(別表)

	試験項目	基準値	検定方法
1	総水銀	検液10につき 0.0005mg以下	H3. 8. 23環境庁告示第46号 「土壌の汚染に係る環境基準について」に定める方法によること。
2	カドミウム	検液10につき 0.003mg以下	
3	鉛	検液10につき 0.01mg以下	
4	六価クロム	検液10につき 0.05mg以下	
5	砒素	検液10につき 0.01mg以下	
6	全シアン	検液中に検出されないこと	
7	アルキル水銀	検液中に検出されないこと	
8	有機燐	検液中に検出されないこと	
9	PCB	検液中に検出されないこと	
10	ジクロロメタン	検液10につき 0.02mg以下	
11	四塩化炭素	検液10につき 0.002mg以下	
12	クロロエチレン	検液10につき 0.002mg以下	
13	1, 2-ジクロロエタン	検液10につき 0.004mg以下	
14	1, 1-ジクロロエチレン	検液10につき 0.1mg以下	
15	1, 2-ジクロロエチレン	検液10につき 0.04mg以下	
16	1, 1, 1-トリクロロエタン	検液10につき 1mg以下	
17	1, 1, 2-トリクロロエタン	検液10につき 0.006mg以下	
18	トリクロロエチレン	検液10につき 0.01mg以下	
19	テトラクロロエチレン	検液10につき 0.01mg以下	
20	1, 3-ジクロロプロペン	検液10につき 0.002mg以下	
21	チウラム	検液10につき 0.006mg以下	
22	シマジン	検液10につき 0.003mg以下	
23	チオベンカルブ	検液10につき 0.02mg以下	
24	ベンゼン	検液10につき 0.01mg以下	
25	セレン	検液10につき 0.01mg以下	
26	ふっ素	検液10につき 0.8mg以下	
27	ほう素	検液10につき 1mg以下	
28	1, 4-ジオキサン	検液10につき 0.05mg以下	
29	銅	検液10につき 1.0mg以下	H15.7.22厚生労働省令第261号「水質基準に関する省令の規定に基づき厚生労働大臣が定める方法」によること。
30	亜鉛又はその化合物	検液10につき 亜鉛 2mg以下	S48.2.17環境庁告示第14号「海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律施行令第5条第1項に規定する埋立場所等に排出しようとする廃棄物に含まれる金属等の検定方法」によること。
31	ベリリウム又はその化合物	検液10につき ベリリウム 2.5mg以下	
32	クロム又はその化合物	検液10につき クロム 2mg以下	
33	ニッケル又はその化合物	検液10につき ニッケル 1.2mg以下	
34	バナジウム又はその化合物	検液10につき バナジウム 1.5mg以下	
35	有機塩素化合物	試料1kgにつき 塩素 40mg以下	
36	水銀、PCBについての含有濃度	水銀 25ppm未満 PCB 10ppm未満	H24.8.8環水大発第120725002号「底質調査方法について」によること。
37	油分	検液10につき 15mg以下 (代替手法の場合5mg以下) 投入処分時に視認できる油膜が生じないこと	S51.2.27環境庁告示第3号「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条第1項第4号に規定する海洋投入処分を行うことができる産業廃棄物に含まれる油分の検定方法」によること。
38	ダイオキシン類	検液10につき 10pg (TEQ換算値) 以下	H15.6.13環境省告示第68号「海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律施行令第5条第1項に規定する埋立場所等に排出しようとする廃棄物に含まれる金属等の検定方法」の一部を改正する省令に定める方法によること。
39	ダイオキシン類の含有濃度	試料1gにつき 150pg (TEQ換算値) 以下	R4.3環境省水・大気環境局土壌環境課「ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル」によること。

案内図



申込み・問い合わせ先

横浜港埠頭株式会社建設発生土受入事業課

〒231-0023 横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル4階

TEL 045-671-0500

FAX 045-671-0521

<窓口受付時間>

8:45~12:00

13:00~17:00

<窓口休業日>

土曜日 日曜日 祝日 振替休日

年末年始(12月29日~1月3日)

※この「受入手続」のほか、建設発生土受入れに関する情報は当社ホームページ
でご覧いただけます。(https://yokohamaport.co.jp)